長南町役場庁舎建設工事

株式会社　千町村建築研究所

図面番号	図　面　名　称
Ａ－００	図面リスト
Ａ－０１	特記仕様書１
Ａ－０２	特記仕様書２
Ａ－０３	特記仕様書３
Ａ－０４	配置・案内図
Ａ－０５	敷地面積求積図
Ａ－０６	建築面積・床面積求積図
Ａ－０７	外部仕上表
Ａ－０８	内部仕上表-１
Ａ－０９	内部仕上表-２
Ａ－１０	１階平面図（確認）
Ａ－１１	２階平面図（確認）
Ａ－１２	３階平面図（確認）
Ａ－１３	ＰＨ階平面図（確認）
Ａ－１４	法チェック用各室面積
Ａ－１５	１階平面図（法チェック図）
Ａ－１６	２階平面図（法チェック図）
Ａ－１７	３階平面図（法チェック図）
Ａ－１８	１階平面図
Ａ－１９	２階平面図
Ａ－２０	３階平面図
Ａ－２１	ＰＨ階平面図
Ａ－２２	屋根伏図
Ａ－２３	全体立面図-１
Ａ－２４	全体立面図-２
Ａ－２５	増築立面図-１
Ａ－２６	増築立面図-２
Ａ－２７	断面図
Ａ－２８	矩計図-１
Ａ－２９	矩計図-２
Ａ－３０	階段詳細図-１
Ａ－３１	階段詳細図-２
Ａ－３２	外階段詳細図
Ａ－３３	トイレ詳細図
Ａ－３４	トイレ展開図
Ａ－３５	連絡通路廻り断面詳細図
Ａ－３６	ポーチ・車寄断面詳細図
Ａ－３７	風除室・ポーチ平面詳細図・展開図
Ａ－３８	議場廻り断面詳細図
Ａ－３９	１階平面詳細図
Ａ－４０	２階平面詳細図
Ａ－４１	３階平面詳細図
Ａ－４２	連絡通路廻り平面詳細図・展開図
Ａ－４３	展開図-１
Ａ－４４	展開図-２
Ａ－４５	展開図-３
Ａ－４６	展開図-４
Ａ－４７	展開図-５
Ａ－４８	展開図-６
Ａ－４９	展開図-７
Ａ－５０	展開図-８

図面番号	図　面　名　称
Ａ－５１	展開図-９
Ａ－５２	１階天井伏図
Ａ－５３	２階天井伏図
Ａ－５４	３階天井伏図
Ａ－５５	１階建具キープラン
Ａ－５６	２階建具キープラン
Ａ－５７	３階建具キープラン
Ａ－５８	ＰＨ階建具キープラン
Ａ－５９	建具表-1
Ａ－６０	建具表-2
Ａ－６１	建具表-3
Ａ－６２	家具キープラン
Ａ－６３	家具詳細図-１
Ａ－６４	家具詳細図-２
Ａ－６５	家具詳細図-３
Ａ－６６	家具詳細図-４
Ａ－６７	家具詳細図-５
Ａ－６８	家具詳細図-６（書庫）
Ａ－６９	部分詳細図-１ アルミサッシ詳細図（１）
Ａ－７０	部分詳細図-２ アルミサッシ詳細図（２）
Ａ－７１	部分詳細図-３ アルミサッシ詳細図（３）
Ａ－７２	部分詳細図-４ アルミサッシ詳細図（４）
Ａ－７３	部分詳細図-５ 会計課金庫扉詳細図
Ａ－７４	部分詳細図-６ 税務住民課書庫扉詳細図
Ａ－７５	部分詳細図-７ スライディングウォール詳細図
Ａ－７６	部分詳細図-８ 多目的トイレ詳細図
Ａ－７７	部分詳細図-９ 自動ドア詳細図
Ａ－７８	部分詳細図-１０ 議場スクリーン詳細図（１）
Ａ－７９	部分詳細図-１１ 議場スクリーン詳細図（２）
Ａ－８０	部分詳細図-１２ EXP.J・笠木金物詳細図
Ａ－８１	部分詳細図-１３ 勾配屋根詳細図
Ａ－８２	部分詳細図-１４
Ａ－８３	車寄せ軒天カバー全体図
Ａ－８４	車寄せ軒天カバー詳細図
Ａ－８５	エレベーター詳細図
Ａ－８６	サイン計画　1階キープラン
Ａ－８７	サイン計画　2階キープラン
Ａ－８８	サイン計画　3階キープラン
Ａ－８９	サイン図-１
Ａ－９０	サイン図-２
Ａ－９１	サイン図-３
Ａ－９２	ユニットバス詳細図
Ａ－９３	システムキチン詳細図
Ａ－９４	ミニキッチン詳細図
Ａ－９５	仮設計画図・外構撤去復旧図
Ａ－９６	既存庁舎分館1階平面図
Ａ－９７	既存庁舎分館2階平面図
Ａ－９８	既存波及詳細図

図面番号	図　面　名　称
Ｓ－０１	構造設計特記仕様書
Ｓ－０２	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）
Ｓ－０３	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）
Ｓ－０４	鉄骨構造標準図（１）
Ｓ－０５	鉄骨構造標準図（２）
Ｓ－０６	現場打ち一体式PRC工事特記仕様書
Ｓ－０７	ボーリング柱状図
Ｓ－０８	基礎伏図
Ｓ－０９	１階床・梁伏図
Ｓ－１０	２階床・梁伏図
Ｓ－１１	３階床・梁伏図
Ｓ－１２	Ｒ階床・梁伏図
Ｓ－１３	軸組図（１）
Ｓ－１４	軸組図（２）
Ｓ－１５	軸組図（３）
Ｓ－１６	軸組図（４）
Ｓ－１７	軸組図（５）
Ｓ－１８	基礎・地中梁リスト
Ｓ－１９	柱リスト
Ｓ－２０	大梁リスト（１）
Ｓ－２１	大梁リスト（２）
Ｓ－２２	小梁・壁・スラブリスト
Ｓ－２３	PRC大梁関連図
Ｓ－２４	架構配筋図
Ｓ－２５	雑詳細図
Ｓ－２６	鉄骨小屋伏図
Ｓ－２７	鉄骨軸組図
Ｓ－２８	鉄骨詳細図（１）
Ｓ－２９	鉄骨詳細図（２）
Ｓ－３０	鉄骨詳細図（３）
Ｓ－３１	鉄骨詳細図（４）

図面番号	図　面　名　称

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

一級建築士登録
第１６５８１４号
鹿　間　義　弘

日　付	縮　尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和　3年　月	-	図面名称	図面リスト	Ａ－００

仕　様　書

①一般共通事項

1．工 事 概 要

・工 事 名 称　長南町役場庁舎建設工事（建築工事）

・工 事 場 所　千葉県長生郡長南町長南２１１０

2．工 事 種 目

1）建築工事
直接仮設工事、土工事、地業工事、鉄筋工事、コンクリート工事、型枠工事、鉄骨工事、組石工事、防水工事
石工事、木工事、屋根工事、タイル工事、金属工事、左官工事、金属製建具工事、ガラス工事、塗装工事
内装工事、間仕切り工事、仕上ユニット工事、家具工事、サイン工事、エレベーター設備工事、外構工事

3．建 築 工 事 仕 様

1）図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事共通仕様書」（平成31年度版）による。
2）本特記仕様書は、各共通仕様書及び補足事項を特記するものであり、各工事において他の工事との関連ある事項は、各々該当工事の記載事項を参照する。
3）本工事請負業者は、契約後直ちに工事内訳明細書、下請け承認願書、及びメーカーリスト、その他必要事項を指示により作成して着工に先立ち係員の承諾を受けること。
4）各工事は、施工上必要な所官庁への提出は全て請負業者にて漏れなく手続きをし、又、一切の費用は請負業者の負担とする。
4．各工事共、施工図、納図、原寸図等を作成して事前に承認を受けてから施工する事。
5．工事場の管理は、労働基準法、労働安全衛生規則、その他関係法令に従い、常に風紀、火災盗難、その他事故防止に努め工事場の管理整頓に注意すること。
6．設計図書、及び仕様書に明記なきものでも建築施工常識として当然なすべき事項は、請負業者と係員の協議により行い、軽微なるものは請負金額の増減は行わない。
7．別途工事、及び附帯設備工事等と相互の緊密な連絡調整を図り、協力しあい安全、円滑に実施すること。
8．本工事の完成引渡まで工事目的物及び工事材料を火災保険、建設工事保険その他の保険に附すること。
9．保証期間は引渡し後２年間とし、期間中における工事施工上の事故等については、全て請負者の負担にて復旧すること。
10．本工事完了（目的物引渡し）後、１年及び２年目に点検を行うこととする。
11．設計書又は設計図に記載あるもの、本工事に含むものとする。
12．既存建物と今回工事の取合い部分、その他ではつり及び工事の都合などにより破損、損傷させた箇所は、今回工事仕上げ及び旧工事仕上同材にて完全に補修すること。
13．仮設工事以外の諸材料は、全て新品として係員の承諾を受けてから施工すること。又、係員の指示により成績表の提出、試験所での試験をうけること。尚、試験等に要する諸費用は、全て請負者の負担とする。
14．竣工引き渡しに先立ち、空気中の化学物質の濃度測定を行い報告すること。
測定は、6品目（文部科学省指定）２３室行う。

特記仕様の取り扱いについて

1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2）特記事項は、◎印のついたものを適用する。◎印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
◎印と◉印のついた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載（　　）内表示番号は、建築工事共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
①一般共通事項	①適 用 基 準 等	○建築工事標準詳細図　　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（平成28年版） ○工事写真の撮り方（改訂第２版）建築編　（建設大臣官房官庁営繕部監修） ・建築鉄骨設計基準及び同解説　　建設大臣官房官庁営繕部監修（　　版） ・鉄筋コンクリート構造配筋要領　　建設大臣官房官庁営繕部監修（　　版） ・千葉県福祉のまちづくり条例　　施設整備マニュアル
	②工事実績情報の登録（工事カルテ作成・登録）	請負者は、受注時又は変更時において工事請負金額が500万円以上の工事について 工事実績情報サービス（ＣＯＲＩＮＳ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事 実績情報として「工事カルテ」を作成し監督職員の確認を受けたうえ70受注時は契約 後10略ね内に、登録内容の変更時は変更のあった日から10日以内に、完成時は工事完成 後10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請しなければならない。（ただし、工事 請負金額500万円以上2,500万円未満の工事については、受注・訂正時のみ登録する ものとする。）　また、（財）日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督職員に提出しなければならない。なお、変更時と完成 時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。勘ね内に、登録内容の 変更時は変更のあった日から10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録機関に 登録申請しなければならない。（ただし、工事　請負金額500万円以上2,500万円未満の工事については、受注・訂正時のみ登録する ものとする。 また、（財）日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」が請負者に届いた 際には、その写しを直ちに監督職員に提出しなければならない。なお、変更時と完成 時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。
	③発生材の処理	・引渡しを要するもの　［　　］(1.1.13) ・発生土は場外搬出　再生処分 受入れ施設名・住所(Km) ・指定副産物の搬出

種　類	受 入 れ 施 設 名 ・ 住 所 (km)
・アスファルトコンクリート塊	
・セメントコンクリート塊	
・建 設 発 生 木 材	

・現場再利用発生材　［　　］
・その他の廃棄物(安定型)　［　　］
受け入れ施設名・住所（ km ）
・その他の廃棄物(管理型)　［　　］
受け入れ施設名・住所（ km ）

	④ リサイクルガイドライン	再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書の提出 建設リサイクルガイドライン(平成１０年８月４日付け建設省技調発第１６７号、建設省経事発第２２号)に基づき、工事着手前時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、また、工事完了時に同計画書の実施報告書(書式は同一)を監督職員に提出するものとする。

①一般共通事項	5．概 成 工 期	工事期限より　　日前　(1.2.1)
	6．電気保安技術者	※ 適用する　・ 適用しない　(1.3.3)
	7．施 工 条 件	・ 図示　・ 工事補足説明事項　(1.3.5)
	8．技 能 士	※ 適用する　・ 適用しない　(1.5.2) 適用職種 鉄筋工事(・鉄筋施工) コンクリート工事(・左官 ・型枠施工) 鉄骨工事(・とび) ブロック・ALCパネル・PCカーテンウォール工事(・ブロック建築 ・ALCパネル施工 ・カーテンウォール施工) 防水工事(・防水施工) 石工事(・石材施工) タイル工事(・ヤ゛ル張り) 木工事(・建築大工) 屋根及びとい工事(・建築板金 ・スレート施工) 金属工事(・内装仕上げ施工(調製下地)) 左官工事(・左官) 建具工事(・サッシ施工 ・ガラス施工) 塗装工事(・塗装) 内装工事(・内装仕上げ施工(床、天井仕上げ等) ・表装) 植栽工事(・造園)ヤ゛ル張り) 木工事(・建築大工) 屋根及びとい工事(・建築板金 ・スレート施工) 金属工事(・内装仕上げ施工(調製下地)) 左官工事(・左官) 建具工事(・サッシ施工 ・ガラス施工) 塗装工事(・塗装) 内装工事(・内装仕上げ施工(床、天井仕上げ等) ・表装) 植栽工事(・造園)
	9．建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(平成１３年版)」によるほか、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 また、同上評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとすることができる。
	10．特別な材料の工法	建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法による。
	11．騒音振動の防止	「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程」に基づき、建設大臣が指定した建設機械を使用する。
	12．完 成 写 真	下記のものを監督職員に提出する。

分　類	規　格	撮影箇所数	部　数	原版の大きさ(mm)
カ ラ ー	※ キャビネ判	箇所	２部	※ １００×１２５以上
	・ 全紙パネル	箇所	部	・ ２４×３６以上
	・ スライド	箇所	部	２４×３６以上
	・			

・ キャビネ判各枚数　３部追加(裁判所関係)
・ キャビネ判各枚数　１部追加(法務関係)
・ キャビネ判２枚　４部追加(広報関係)
写真の撮影業者　※ 監督職員の承諾する撮影業者

	13．設備工事との取合い	施工範囲　・ 工事区分表による 施工図　設備機器の位置、取り合いなどを検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	14．設 計 GL	※ 図示（又は係員の指示）　○既存庁舎設計GL合せとする。
	15．提 出 書 類	下記に定める他、係員の指示及び仕様書補足事項による　(1.7.1)(1.7.2)(1.7.3.)

提　出　図　書	部数	提　出　時　期	備　考
１．工事請負契約書	3	契約時	控となるもの
２．工事工程表	3	契約後速やかに	ネットワーク工程表
３．現場代理人届	3	契約後速やかに	経歴書、資格写し
４．主任技術者	3	契約後速やかに	経歴書、資格写し
５．協力業者名簿	3	契約後速やかに	
６．メーカーリスト	3	契約後速やかに	
７．仮設計画図	3	契約後速やかに	
８．施工図、制作図	3	実施15日前	
９．工事工程報告書	3	1ヶ月毎	
１０．打合せ議事録	3	その都度	
１１．変更工事見積書	3	その都度	
１２．出来高承認願い	3	その都度	
１３．官公署届出書類控え	3	その都度	
１４．材料試験報告	3	試検後15日以内	
１５．各種検査願	3	その都度	
１６．工事竣工届	3	竣工時	
１７．工事竣工引渡書	3	竣工時	
１８．工事竣工図	3	竣工時より20日以内	
１９．工事竣工写真	3	竣工時より20日以内	
２０．各種保証書	3	竣工時	
２１．鍵リスト	3	竣工時	
２２．建物維持管理説明書	3	竣工時	
２３．業者連絡先リスト	3	竣工時	

・工事竣工図は、黒表紙金文字入製本を　２　部、２つ折製本を　２　部提出する。
工事関係図書はA4版ファイルに整理保管し、工事中に監督職員から請求のあった場合には速やかに提出できるようにする。完成時には、工事関係図書一式を監督職員に提出すること。
工事写真はカラー写真（サービス版程度）とする。

工事区分表

工　事　内　容	建築	電気	機械
ドレイン（屋根、中継）及び縦樋（GL-100まで）	◎		
縦樋からの接続			◎
天井埋込み器具廻りの切り込み（仕上材共）		◎	
天井埋込み器具廻りの下地補強		◎	◎
流し台、ガス台、吊戸棚、洗面化粧台	◎		◎
流し台の排水金物及び接続			◎
換気扇（枠共）及び取付			
天井点検口（補強共）	◎		
防水層部分設備配管貫通廻りの防水処理	◎		
配管貫通部廻り穴埋め及びシーリング処理		◎	◎
フード及びチャンバー			◎
鏡			◎
消火器			◎
機器の基礎屋内設備			
機器の基礎屋上設備	◎		◎
機器の基礎屋外設備		◎	
機器の基礎　特記した基礎	◎		
床・梁の貫通部スリーブ入れ		◎	◎
上記スリーブ補強鉄筋入	◎		
床・梁の貫通部型枠（盤類、風道、消火栓箱、吸込口、吹出口、便器等の貫通型枠）	◎		
上記スリーブ補強鉄筋入	◎		

②仮設工事

	1．監督職員事務所	※ 設ける　・ 設けない　(表2.3.1) ・ 1号　・ 2号　・ 3号　・ 4号　・ 5号　・ 備品は下記のものを備える。　(監督職員　　人分程度) 机、いす、書棚、黒板、掛時計、寒暖計、ゴム長靴、雨合羽、保護帽、安全帯、冷暖房機器、衣類ロッカー請負者加入電話の子機、消火器、湯沸機、テレビ、懐中電灯 連絡員　※ おかない　・ おく
	2．工事用水及び電力	工事用水　構内既存の施設　○利用できる(※ 有償　・ 無償)　※利用できない 工事用電力　構内既存の施設　○利用できる(※ 有償　・ 無償)　※利用できない

③土工事

	①埋戻し及び盛土の種　類	・ A 種　○ B 種　・ C 種　・ D 種　(3.2.3)(表3.2.1) C種の場合　建設発生土受入量　　m3 発生場所 受入条件
	②建設発生土の処理	※ 建設副産物適正処理推進要綱に従い処理する。　(3.2.5) 構外搬出距離　Kmを超え　　Km以下　(DID地区　・有　・㊒) (土の処分費用のみ別途とする) ・ 構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・住所(Km) ・ 構外指示の場所にする。 ・ 構外指示の場所にたい積する。
	3.建設発生土情報交換システム	・ 登録済　・ 未登録 請負者は登録内容に変更がある場合データの変更を行う
	4.山 留 め	(3.3.1)(3.3.2)(3.3.3)

④地業工事

	1.既製コンクリート杭地　　業	杭の種類　(4.3.2) ・ プレストレストコンクリート杭(・JIS規格品)　・A種　・B種　・C種 ・ 外殻鋼管付コンクリート杭(SC杭)SKK４００，t＝９ｍｍ　(4.3.2)

	記号	杭径(mm)	長さ(m)及び種別	本数(セット数)	備考
試験杭					
本 杭					

継　手　※ アーク溶接継手　・無溶接継手　(4.3.6)(4.4.4)
先端部形状　・ 閉そく平たん形　・ 開放形　(4.3.2)(4.4.2)
杭の施工法
・ 掘削打撃併用工法　プレボーリングの掘削深さ　現地盤 － m　オーガー径　杭径－50mm程度　(4.3.3)(4.4.3)
・ セメントミルク工法　(4.3.4)
・ 特定埋込杭工法(旧建築基準法第３８条の規定に基づき認定された工法)　(4.3.5)
杭打機の種類
ハンマー種別　・低騒音型油圧パイルハンマー　・ドロップハンマー
低騒音型油圧パイルハンマー仕様
建設技術評価規定(昭和５３年建設省告示第９７６号)に基づき評価されたもの又は低騒音型油圧パイルハンマー施工研究報告書(昭和５９年９月(財)国土開発技術研究センター)に記載されたもの
パイルドライバー　※ 三点支持式クローラークレーン
騒音・振動の測定　・行う　※ 行わない

	2.場所打ちコンクリート杭地業	コンクリートの種別　・ A 種　・ B 種　(4.5.3)(表4.5.1) 掘削工法　・ アースドリル工法　※ 安定液使用　(4.5.4) ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法　孔内の水張り　※行う　・行わない
	3.床下防湿層	※ 設ける　・ 設けない　(4.6.6) 敷込み範囲は共通詳細図７－０１－３による

⑤鉄筋工事

	1.鉄 筋 の 種 類	(5.2.1)

規　格　名　称	種　類　の　記　号	径　(mm)
鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SD295A	※ D16以下　・
	※ SD345	※ D19以上　・

	2.溶 接 金 網	※ JIS規格品　(5.2.2)
	3.鉄筋の継手	径19mm以上　※ ガス圧接　・ 重ね継手　(5.3.4)
	4.耐力上不利な個所の鉄筋のかぶり厚さ	(5.3.5)

施　工　個　所	表5.3.6の値に加える寸法(mm)

	5.杭 頭 の 補 強	・ A型　・ B型　・ 図示　(別図1.1)(図1.1)
	6．柱 の 帯 筋	※ H形　・　(別図2.2)(図2.2)
	7．梁貫通孔の補強	補強形式　※ H形　・　(別図7.1)(図7.2)
	8．圧接完了後の試験	試験方法　※ 超音波探傷試験　・ 引張試験　(5.4.9)

⑥コンクリート工事（別記）

	1．設計基準強度	普通コンクリート(N/mm2)　(6.1.4)

設計基準強度	施 工 個 所 (構 造 体 コ ン ク リ ー ト)
※ 21	
○ 18	基礎、床スラブ、犬走り

	2．レディーミクストコンクリート	類別　※ Ⅰ 類　・ Ⅱ 類　(表6.1.1)
	3．打放し仕上げの種類	(表6.2.3)

種　別	施 工 個 所
・A 種	
※B 種	
・C 種	

	4．セメントの種類	※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種　(6.3.2) 但し普通ポルトランドセメントにおいては、ＪＩＳＲ５２１０による他、下記による。

項　目		規　定
水 和 熱	7 日	84cal/g以下
	28 日	96cal/g以下
全 ア ル カ リ		0．75 % 以下
塩　素		0．02 % 以下

全アルカリの算出は、ＪＩＳＲ５２１０ポルトランドセメント(低アルカリ形)による。
・高炉セメントB種

	5．型　　枠	せき板の種類　(6.9.3) ※ 合　板 ・床型枠用鋼製デッキプレート（フラットデッキ）　(6.9.3)

板　厚 (mm)	適　用　箇　所

建築技術評価制度「鉄筋コンクリート建築物等における床型枠用鋼製デッキプレートの開発」において評価を取得したもの又は評価名簿による。

	6．軽量コンクリート	(6.11.1)(表6.11.1)

種　別	適　用　箇　所	所要気乾単位容積量 (tonf/m3)

	7．無筋コンクリート	適用箇所は６．１４．１による他、下記による。　(6.14.1)

適　用　範　囲

	8．断熱材兼用型枠	厚さ　２０～４０ｍｍ 建築技術評価「断熱材兼用型枠工法の開発」において評価を取得したもの。 熱抵抗値０．７３㎡Ｋ／Ｗ以上を有するもの。

⑦鉄骨工事（別記）

	1．鉄骨製作工場	・監督職員の承諾する製作工場　(7.1.3) ・「溶接作業条件判定要領(判定基準)」に適合する製作工場又は旧建設省告示第1103号に基づき建設大臣が認定した製作工場のうち下記の条件を満足する製作工場 契約電力　ｋＷ以上、　１級建築士　　名以上、　２級建築士　名以上、 ＷＥＳ８ｂ０３　１級　以上、２級　以上　ＮＤＩＵＴ　種　以上 超短波探傷試験機又は放射線透過試験装置　台以上、Ｐ０３　１級　以上、２級以上　ＮＤＩＵＴ　種　以上 超短波探傷試験機又は放射線透過試験装置　台以上、　(7.1.4)
	2．施工管理技術者	
	3．鋼材の種類	(7.2.1)

材　質	規　格　等
SS400	・ 規格品(JIS G 3101)　・ 7.2.10(a) に合格するもの
SSC400	・ 規格品(JIS G 3350)　・ 7.2.10(a) に合格するもの
STK400	・ 規格品(JIS G 3444)　・ 7.2.10(a) に合格するもの
STKR400	・ 規格品(JIS G 3466)　・ 7.2.10(a) に合格するもの
SN400	・ 規格品(JIS G 3136)
SN490	・ 規格品(JIS G 3136)

	4．高力ボルト	(7.2.2)

ボ ル ト 種 別	ヒ ッ ト の 種 類
※ トルシア形高力ボルト	※ 2種　・
・ ＪＩＳ形高力ボルト	※ 2種　・
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト	※ 1種　・

	5．溶接部の試験	(7.6.11)

試験の種別	ＡＯＱＬ	検査水準	備　考
※ 超音波探傷試験			2段階抜き取り

	6．錆止め塗料	※　表18.3.1表による。　(7.8.3)(18.3.2)
	7．耐火被覆	(7.9.2)(7.9.4~6)

種　別	材 料 及 び 工 法	備　考
・ ラス張りモルタル塗り	１５　章　２　節　に　よ　る	
・ 耐火材吹付け	建築基準法に基づく認定を受けたもの	
・ 耐 火 板 張 り	建築基準法に基づく認定を受けたもの	

	8．アンカーボルトの保持及び埋込み方法	(7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)

種　別	アンカーボルトの種類	適　用　箇　所
※Ａ 種		
・Ｂ 種		
・Ｃ 種		

	9．柱底均しモルタル	(7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)

種　別	適 用 箇 所	柱 底 均 し モ ル タ ル
※ Ａ 種		無収縮モルタル　評価名簿による
・ Ｂ 種		7．2．9，7．10．3

	10．溶融亜鉛めっき	(7.12.3)(14.2.3)

種　別	適　用　箇　所
※ Ａ 種	

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所
一級建築士登録
第１６５８１４号
鹿　間　義　弘

日　付	縮　尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	－	長南町役場庁舎建設工事	Ａ－０１
		図面名称 特記仕様書（1）	

⑧ 押出成形セメント板工事 コンクリートブロック・ALCパネル

1．コンクリートブロック帳壁及び塀

ブロックの種類 (8.3.2)(表8.3.1)
※ 空洞ブロック 16
（ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック 08とすることができる。）

②．押し出し成形セメント板

評価名簿による (8.5.2)(表8.5.1)(表8.5.2)

3．ALCパネル

工 法	パネル種類	厚さ	巾	種 別	施 工 箇 所	耐火指定
・ 外壁パネル工法	ALC板	120・125	592		外壁	耐火１時間
・間仕切り壁パネル工法	ALC板	120・125			間仕切り壁	耐火１時間

⑨ 防水工事

1．アスファルト防水 (9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3～8)

種 別	施 工 箇 所

アスファルトの種類 ※ ４ 種
施工標識 工事完了後監督職員指示の場所に取り付ける。

2．伸縮調整目地
※成形伸縮目地(天端ＥＰＴゴム、サイド ブチルゴム製) 評価名簿による (9.2.2)

3．乾式保護材
評価名簿による (9.2.2)

4．改質アスファルトシート防水 (9.3.3)(表9.3.1)

種 別	施 工 箇 所
ＡＳ－１	
ＡＳ－２	

施工業者 上記製品の製造所又は、その指定業者とする。

5．合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.3)(表9.4.1)

種 別	施 工 箇 所	仕上塗料(露出)
・ Ｓ－Ｆ１		※ カラー
・ Ｓ－Ｆ２		・ シルバー
・ Ｓ－Ｍ２		
・		

施工業者 上記製品の製造所又は、その指定業者とする。

⑥．塗 膜 防 水 (9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

種 別	施 工 箇 所	仕上塗料(露出)
Ｘ－１		※カラー ・シルバー
Ｘ－２		※カラー ・シルバー

⊙ 脱気装置 材 質 ステンレス製又はアルミ製
設置数量 箇 所
施工業者 上記製造所又は、その指定業者とする。

⑦．シーリング用材料
※ 表９．６．１による。

8．塗布型防水材
日本建築学会材料規格ＪＡＳＳ８Ｔ－３０１ケイ酸質系塗布防水材料の品質及び試験方法に定めた品質規格に適合したもの。

⑩ 石工事

1． 石 材 (10.2.1)(表10.1.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

石材の種類	品 質	施 工 箇 所	工 法	産地 ・ 名称	仕 上 の 種 類
御影石	１等	床、上り框	湿式		水磨き

2． 汚 れ 防 止
床のワックスかけ ・行う ・行わない

⑪ タイル工事

①．タ イ ル

タイルの種類 (11.2.1)

施工箇所	形状寸法(mm)	きじ 磁器	きじ 寒冷地	きじ せっ器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 有	役物 無	色 標準	色 注文	再生資源化タイル	備 考
床	300角	⊙	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
床	50角	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
ノンスリップ	150	⊙	・	・	・	⊙	・	・	⊙	・	・	

タイルの見本焼き ※ 行わない ・行う (11.2.1)
磁器質タイル・せっ器質タイル(標準品) 評価名簿による

2．既製調合モルタル
評価名簿による (11.3.2)

3．タイル下地コンクリート
後張りタイル下地コンクリート素地面の処理 (11.3.3)
・ 行う(下記のいずれかとする) ・ 行わない

素地表面処理の工法	下地モルタル	適 用 箇 所
ＭＣＲ工法	共仕15.2.5(C)	
ＭＣＲ工法	ポリマーセメントモルタル	
目荒し工法(高圧水洗)	共仕15.2.5(C)	
目荒し工法(高圧水洗)	ポリマーセメントモルタル	

ＭＣＲ工法はせき板面にMCR工法用シート張りとし共仕6.9.3（ｅ）による
目荒し工法の高圧水洗は共仕１５．２．．４（Ｃ）による
ポリマーセメントモルタルの調合は共仕１５．２．３（ｂ）による。
共仕１１．１．４(b)接着力試験の引張接着強度は０．６N/mm2以上とする。
ポリマーセメントモルタル 評価名簿による

4．陶磁器質タイル張り

内装タイルの工法 (表11.3.2)
※積上げ張り 施工箇所（ ）
※接着剤張り 施工箇所（ 壁 ）

外装タイルの工法 (表11.3.2)
※密着張り 施工箇所（ ）
※先 付 け 施工箇所（ ）

ユニットタイルの後張り工法 (表11.3.2)
※ マスク張り

12 木工事

1．木 材
代用樹種を使用しない箇所 (表12.2.3)
※ なし ・ あり（ ）

2．集 成 材
造作用集成材は12.2.2(2)による

等 級	見掛かり		その他	
	※ １等	・ ２等	※ １等	・ ２等
単 材 の 樹 種	タモ			
単材の厚さ(mm)	１０～１５		１０～１５	

3．接 着 材
接着剤に含まれる可塑材は、難揮発性のものとする。 (表12.2.6)

4．木 材 保 存 剤
木材保存剤(木材の防腐・防蟻処理)は、非有機リン系のものとする。 (12.2.8)
防腐・防蟻の方法
工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて木材保存剤を塗布する。

⑬ 屋根及びとい工事

1．長尺亜鉛めっき鋼板葺 (13.2.3)(表13.2.1)

屋 根 葺 形 式	厚さ	材 種	下葺材料
・フラット葺（ボルトレス）	※０．４	塗装溶融亜鉛－５％アルミニウム合金めっき鋼板（ＣＺＡＣＣＲ－２０－Ｙ２５）フッ素樹脂焼付け塗装仕上	ゴムアスシート
・			

専門工事業者は製造所の指定業者とする
建築基準法による指定
風速（Ｖｏ） ・ ３０ ・ ３２ ・ ３４
地表面粗度区分 ・ Ⅰ ・ Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ
多雪区域の指定 ・ 有 ・ 無

2．折 板 葺
ＪＩＳ Ａ ６５１４ による。

形 式	材 種	厚さ	山高及び山ピッチ	断熱材	防火性能
・重ね式	塗装溶融亜鉛－５％アルミニウム合金めっき鋼板（ＣＺＡＣＣＲ－２０－Ｙ２５）フッ素樹脂焼付け塗装仕上	※０．８	山高175程度	・ 有（4mm）	・ 有（耐火30分）

山高及び山ピッチによる区分はＪＩＳによる。
建築基準法による指定
風速（Ｖｏ） ・ ３０ ・ ３２ ・ ３４
地表面粗度区分 ・ Ⅰ ・ Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ
多雪区域の指定 ・ 有 ・ 無

3．粘 土 瓦 葺

④．と い (13.6.2)(表13.6.1)(表13.6.4)(表13.6.5)

材 種	防 露
※ カラーステンレス管	※表１３．６．５により行う ・行わない
⊙ 硬質塩化ビニル管（カラー）	
・	

5．ルーフドレン
高耐食型 (13.6.3)

⑭ 金属工事

1．あと施工アンカー
引抜き耐力の確認試験 ・行う ※行わない (14.1.3)

2．アルミニウム及びアルミニウム合金の表 面 処 理 (14.2.2) (表14.2.1)

種 別	施 工 箇 所	色 合
・ 一 種		
・ 一 種		

3．鉄の亜鉛めっき (14.2.3) (表14.2.2)

亜鉛めっきの種別	施 工 箇 所
・ Ａ 種	
・	
・	

④．軽量鉄骨天井下地
野縁などの種類 (14.4.2) (表14.4.1)
屋 内 ※19形 ・25形 屋 外 ・19形 ※25形
屋外の野縁受、吊りボルト間隔 ・ 野縁間隔 ・ (14.4.3)

5．インサート
床版で断熱材打込部分は断熱材用インサートとする (14.4.2)

⑥．軽量鉄骨壁下地
スタッド、ランナーなどの種類 (14.5.2) (表14.5.1)
※表１４．５．１による

7．金属成形板張り (14.6.2) (表14.2.1)

材 種	製 法	寸 法	形 状	表 面 処 理 等	色 合
アルミニウム	・押出し ・プレス ・ロール	板 幅 ・ 板 厚 ・			

伸縮調整継手 ・設ける ・設けない

⑧．アルミニウム製笠木
表面処理 (14.7.2) (表14.2.1)
※ Ａ－１種又はＢ－１種 ・ Ａ－２種又はＢ－２種(色合)
隅角部及び突当り部の役物の使用 ※ 使用する
建築基準法による指定
風速（Ｖｏ） ・ ３０ ・ ３２ ・ ３４
地表面粗度区分 ・ Ⅰ ・ Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ
多雪区域の指定 ・ 有 ・ 無

9．手すり及びタラップ (14.8.2) (14.8.3)

	材 料 の 種 別	表 面 処 理 の 種 別
手 す り	・ ステンレスSUS304	HL仕上程度
	・ 鋼 製	外部HL仕上程度、内No２B仕上程度
タラップ	・ 鋼 製	亜鉛めっきの場合 表１４．２．２のC種

⑮ 左官工事

1．吸水調整材
評価名簿による (15.2.2)

2．防水モルタル
防水剤 評価名簿による (15.2.2) (表15.2.2)
床、壁塗りの場合は下記による
調合 セメント１：砂２ 厚さ１５ 下地処理１５．２．４
塗り回数 床１回 壁２回

3．セルフレベリング材
せっこう系 ・セメント系 (15.4.2)

4．防 火 材 料
屋内の壁及び天井の仕上げ材は防火材料又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるもの。 (15.2.2)

⑤．仕上塗材仕上げ (15.2.2) (表15.5.1) (表15.5.2)

規 格 名 称	種類(呼び名)	仕 上	工 法	上 塗 り 材
・薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・砂 壁 状	※ 吹 付 け	
	・ 内装薄塗材E	・砂壁状じゅらく	・ ロ ー ラ ー	
⊙複層仕上塗材	・ 複層塗材 Si	・ ゆず肌	※ 吹 付 け	溶媒
	・ 複層塗材 E	・ ゆず肌	※ 吹 付 け	※ 水 系
	・ 複層塗材 RE	・ ゆず肌	※ 吹 付 け	・ 溶剤系
	・ 複層塗材 RS			・ 弱溶剤系
	・ 複層塗材 CE			外観(※１色 ・２色)
	⊙ 防水形複層塗材E			※ つやあり
	・ 防水形複層塗材RS			・ メタリック
				樹脂
				※ アクリル系
				・ シリカ系
				・ ポリウレタン系
				・ アクリルシリコン系
				・ ふっ素系
・軽量骨材仕上塗材	・ 吹付用軽量塗材	※ 砂 壁 状	※ 吹 付 け	色 彩
	・ こて塗用軽量塗材	※ 平 坦 状	※ こて塗り	※ 生地色 ・着 色

⑥．ロックウール吹付け
吹付け厚さ １０（ｍｍ） (15.7.3)

16 建具工事

1．見本の製作等
製作 ※行わない ・ 行う(建具表による) (16.1.4)
仮組 ※行わない ・ 行う(建具表による)

②．アルミニウム製建具 (16.2.2) (16.2.4) (表16.2.1) (表14.2.1)

外部に面する建具

性能項目／種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法（ｍｍ）
	Ｓ－５	Ａ－４	Ｗ－５	７０(引違い・片引き・上げ下げ窓で複層ガラスの場合１００)
	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	１００
・				

表面処理			
外部に面する建具	※ Ｂ－１種	・ Ｂ－２種
内 部 建 具	※ Ｃ－１種	・ Ｃ－２種

Ｂ－２種、Ｃ－２種の場合 ・ブロンズカラー(※標準色 ・ 黒色)
・ステンカラー

網戸(防虫網戸)
使用方法による区分 ※外面収まりの可動式 ・内部収まりの開き式
防鳥網
がらりへの取付 ※行わない ・ 行う(建具表による)
防音ドアセット、防音サッシ ※適用しない ・ 適用する(建具表による)
適用する場合の遮音性の等級 ・ T－１ ・T－２ ・T－３
断熱ドアセット、断熱サッシ ※適用しない ・ 適用する(建具表による)
適用する場合の断熱性の等級 ・ H－２ ・ H－３
耐震ドアセット ※適用しない ・ 適用する(建具表による)
適用する場合の面内変形追随性の等級 ・ Ｄ－１ ・ Ｄ－２

③．鋼 製 建 具
評価名簿による (16.3.2) (16.3.4) (16.3.6) (表16.3.2)
簡易気密型ドアセット ※適用する ・ 適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ※Ｓ－４ ・ Ｓ－５
建具寸法が共仕１６．３．４（ａ）を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ

区分		使用箇所	厚さ(ｍｍ)
窓	枠類	枠、方立、無目、	表１６．３．２に同じ
出入口	枠類	一般部分	２．３
	戸	中骨	２．３
上記以外			表１６．３．２に同じ

標準型鋼製建具 ※使用する ・ 使用しない

④．鋼製軽量建具
評価名簿による (16.4.2) (16.4.3) (16.4.4) (表16.4.1)
簡易気密型ドアセット ※適用する ・ 適用しない
戸の鋼板 ※ 表面処理亜鉛めっき鋼板
・ ビニル被覆鋼板
・ カラー鋼板
標準型鋼製軽量建具 ※使用する ・使用しない
標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※鋼製 ・ アルミ製

⑤．ステンレス製建具
評価名簿による (16.5.4) (16.5.5)
表面仕上げ ・ＨＬ仕上げ ※鏡面仕上げ ・アクリル樹脂エナメル焼付け
鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角だし曲げ

6．木製建具 (16.6.2)
かまち戸の樹種 かまちは杉上小節程度 桟、鏡板は杉無節程度
ふすまの上張り 新鳥の子程度又はビニル紙程度
ふすまの種類 ※戸ふすま ・ 在来型 ・ チップ型

⑦．建具用金物 (16.7.2) (16.7.4) (表16.7.1)

金 物 の 種 類	形 式 等	製 造 所 等
シリンダー箱錠	レバーハンドル	評価名簿による
シリンダー箱錠	握り玉	
本締り付きモノロック	握り玉	
本締り錠	シリンダー	
空錠	レバーハンドル	
空錠(モノロック)	握り玉	
フロアヒンジ	中心吊り込み	
ヒンジクローザー	丁番形	
ヒンジクローザー	ピボット形中心吊り込み	
ドアクローザー	標準取付け	
ドアクローザー	パラレル取付け	
ピボットヒンジ	竪枠取付け型	建具製造所の指定のもの

標準型鋼製建具及び標準型鋼製軽量建具(準標準型共)のドアクローザー、シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。
マスターキーの製作 ※ 製作する ・ 製作しない
マスターキーは、標準型建具と標準型建具以外の建具共通となるよう調整する。

⑧．自動ドア開閉装置
自動扉機構 評価名簿による (16.8.3) (表16.8.3)
自動扉の開閉方法 スライディングドア(※引分け ・ 片引き)
センサーの種類 ※光線(反射)スイッチ ・ タッチスイッチ
全半開装置 ※設ける(半開幅=) ・ 設けない
凍結防止措置 外部に面する自動扉に行う(補助センサー共)

⑨．自閉式上吊り引戸装置
自閉式上吊り引戸機構(手動開き式) 評価名簿による (16.9.2)

⑩．重量シャッター
鋼製重量シャッター (16.10.2) (表16.10.1)
防煙シャッター以外の製造所 評価名簿による
種類 ※一般重量シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター
一般重量シャッター、外壁用防火シャッターの耐風圧性能
ＪＩＳ Ａ ４７０５による強さの区分 ・ ５０ ・ ８０ ・ １２０
開閉機能による種類 ※上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式
一般重量シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・設けない

11．軽量シャッター
評価名簿による (16.11.2) (16.11.4) (表16.11.1)
開閉形式 ・上部電動式(手動併用) ※手動式
耐風圧性能
ＪＩＳ Ａ ４７０４による強さの区分 ・５０ ・６５ ・８０
スラットの形状 ※インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形
シャッターケース ・ 設ける(材質はスラットに同じ) ・ 設けない

12．オーバーヘッドドア
評価名簿による (16.12.2) (16.12.3)

セクション材料による区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレール
※ スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電 動 式	※ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ バーチカル形	※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼版

鋼板、アルミニウム板のセクション材料の仕上げは製造所仕様の着色とする。(標準色)

耐風圧性能
ＪＩＳ Ａ ４７１５による強さの区分 ・５０ ・７５ ・１００

⑬．板ガラスの品質・規格
共通仕様書の規定による品質・規格を満たす材料又は評価名簿による (16.13.2)

⑭．板ガラスの種類等 (16.13.2)
強化ガラス
材料板ガラスの種類 ・ フロート強化ガラス ・ 強化型ガラス
特性による種類 Ⅰ 類(ＴＩ)
複層ガラス
断熱性・日射熱遮へい性による区分 ※１種 ・ ２種 ・ ３種 ・
熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類 ・ フロート板ガラス及び磨き板ガラス
・ 平面フロート強化ガラス
映像調整 ・行う(カーテンウォール部のみ) ・行わない

⑮．ガラスの留め材
木製格子戸等のガラスは押縁留めとし、その他はシーリング (16.13.2)
防火戸のガラスの留め材シーリングは、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けたシーリング材とする

⑯．ガラス溝の寸法形状等
表１６．１３．１による。ただし強化ガラスは下記による (16.13.3) (表16.13.1)
強化ガラス溝の大きさ（mm）

種 類	ガラス厚さ（t）	面クリアランス（a）	エッジクリアランス（b） 部 位	固定部	可動部	掛り代（c）
カーテンウォール以外	６以下	７以上	上・縦	５以上	３以上	１０以上
			下	７以上	７以上	
	８以上	１０以上	上・縦	８以上	６以上	
			下	８以上	８以上	
カーテンウォール	６以下	７以上	上	６以上	６以上	１０以上
			縦・下	７以上	７以上	
	８以上	１０以上	上・縦	８以上	８以上	
			下	８以上	８以上	

熱線反射ガラスで映像調整を行う場合の面クリアランスは上表に２加算する

17．ガラスブロック（中空）
JIS Ａ ５２１２又は評価名簿による (16.13.5)
JISによる区分

表面形状による区分	モジュール呼び寸法による区分(長さ×高さ)	厚さによる区分
正方形	・ １６０×１６０ ・ ２００×２００ ・ ３２０×３２０	・ ８０ ・ ９５ ・ １２５
長方形	・ ２５０×１２５ ・ ３２０×１６０	

品質等

ガラス種別	柄	目地色	金属枠	耐火性能
・ 一般ガラス ・ 乳白ガラス ・ カラーガラス ・ 熱反射ガラス	・ 無 ・ 有	・ 白 ・ グレー	・ アルミニウム製(表面処理) ・ ステンレス製(表面仕上)	・ 規定しない ・ 有（ 分間）

建築基準法による指定
風速（Ｖｏ） ・ ３０ ・ ３２ ・ ３４
地表面粗度区分 ・ Ⅰ ・ Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ
多雪区域の指定 ・ 有 ・ 無

17 カーテンウォール工事

1．カーテンウォールの性能 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)

カーテンウォール種別	・ メタルカーテンウォール	・
材 種		
耐 風 圧 性		
耐 震 性		
気 密 性		
水 密 性		
耐 火 性		
耐 温 度 差 性		
遮 音 性		
断 熱 性		
枠 見 込 み		
表 面 仕 上 げ		

実大性能試験 ※行わない
製造所、評価名簿 アルミニウム製建具区分 ③ に同じ

⑱ 塗装工事

①．材 料
塗料は、ホルマリン不検出のもので、水性形のものとする (18.1.3)

②．防 火 材 料
屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定のあるものとする (18.1.3)

③．床 用 塗 料
表面仕上げの種類 平滑仕上(艶有り)
ウレタン樹脂溶剤系の屋内防塵用床塗り材とし、プライマーを含み３回塗り、総塗付量0.6kg/㎡以上のもの

一級建築士事務所 千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社 千町村建築研究所
一級建築士登録 第１６５８１４号 鹿 間 義 弘

日 付	縮 尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図 面 番 号
令和 3年 月	―	図面名称	特記仕様書 (2)	Ａ－０２

19 内装工事

① 接着剤
壁紙張り、ビニル床タイル、ビニル床シート及びビニル幅木に使用する接着材はホルマリン不検出のもので、水性形のものとする。ただし、表18．2．1でエポキシ樹脂系の指定のある部分は除く。
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 (19.2.2)

② ビニル床シート
ＪＩＳ Ａ 5705による (19.2.2) (19.2.3)

種類の記号	色　柄	厚さ(mm)	熱溶接工法
DC	※ 無地 ⊙ 柄物	※ 2.0 ・ 2.3	※ ビニル床シート部すべて ・右記の室（　　）

③ 化粧ビニル床シート
ＪＩＳ Ａ 5705を満たす材料又は評価名簿ビニル床シートによる材料で、表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの

種類の記号	色　柄	厚さ(mm)	熱溶接工法
NC又はNF	・木目調 ・石目調	2.0	※ 化粧ビニル床シート部すべて ・ 右記の室（　　）

④ ビニル床タイル
上記以外はすべてビニル床シートに同じ (19.2.2)

種類		色柄	厚さ(mm)
※コンポジションビニル床タイル	※半硬質　・軟質	－	2.0
・ホモジニアスビニル床タイル	－	サンド調	

⑤ 特殊機能床材
ビニル床タイルは共通仕様書の規定による品質、規格を満たす材料又は評価名簿による (19.2.2)

床材	品質	厚さ(mm)	寸法(mm)	工法
帯電防止ビニル床タイル	JIS A 5705によるHT程度	4～5	500×500	置き敷き

⑥ 視覚障害者用床タイル
(19.2.2)

材質	寸法(mm)
・塩化ビニル系　・磁器質又はせっ器質タイル	※300　150角

⑦ ビニール幅木
材種　※軟質　・硬質　・溶接 (19.2.2)
高さ(mm)　※60　・75　⊙100

⑧ カーペット敷き
・タフテッドカーペット (19.3.3) (19.3.4) (表19.3.2)

施工箇所	パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	品質
			※ 全面接着工法 ⊙ グリッパー工法	

品質は参考商品名である
⊙ タイルカーペット (19.3.3) (19.3.4) (表19.3.2)

施工箇所	種類	パイル形状	工法	総厚さ	帯電性
	第1種	ループパイル	タイルカーペット 全面接着工法	6.5	製造所の仕様による

⑨ フローリング張り
(19.5.2) (19.5.3) (19.5.5) (19.5.6) (19.5.7) (表19.5.3) (表19.5.4)

類別	材種	工法	塗装
※ 複合1種フローリング ⑧ 複合2種フローリング ※ 複合3種フローリング	※ かば ・ なら	※ 釘留工法 (種別・A種・B種 ※C種) ・ 接着工法	ウレタン樹脂 ワニス塗り

⑩ 畳敷き
畳の種別　・A種　※B種　・C種　・D種 (19.6.2) (表19.6.1)

⑪ 石こうボード、その他ボード及び合板張り
(19.7.2) (表19.7.1)

種類又は記号	種別など	厚さ(mm)		規格番号
けい酸カルシウム板 (繊維強化セメント板) 0.8FK又は1.0FK		壁	・ 8(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 5430 (タイプ2)
		天井	⊙ 6(不燃) ・ 12(不燃)	
グラスウール吸音ボード (吸音材料)GW－B	ガラスクロス(JIS R 3414 EP18程度) 額縁張り品	25(不燃)		JIS A 6301 (32K)
ロックウール化粧吸音板 (吸音材料)DR	※ 内部用 ・ 軒天用	普通	※ 9(不燃) ⊙ 12(不燃)	JIS A 6301
		立体模様	⊙ 12(不燃) ・ 15(不燃) ⊙ 19(不燃)	
せっこうボード (せっこうボード製品) GB－R		壁	⊙ 9.5(準不燃) ⑧ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)	JIS A 6901
		天井	⊙ 9.5(準不燃) ※ 12.5(不燃)	
シージングせっこうボード (せっこうボード製品) GB－S		壁	12.5(準不燃)	JIS A 6901
		天井	※ 9.5(準不燃) ・ 12.5(準不燃)	
化粧石こうボード (せっこうボード製品) GB－NC	トラバーチン模様 (色　※白　・黄)	⊙9.5(不燃)		JIS A 6901
化粧石こうボード (せっこうボード製品) GB－D	木目模様	壁	・ 9.5(準不燃) ※ 12.5(不燃)	JIS A 6901
	木目模様(裏桟付き)	天井	・ 9.5(準不燃) ※ 12.5(不燃)	
	特殊模様			

⑫ 遮音シール材
・アクリル系シーリング材　※ジョイントコンパウンド (19.7.2)

⑬ 壁紙張り
(19.8.2)

施工箇所	品質	防火性能の級別
全室	普及品	⊙ 1級　・ 2級
		・ 1級　・ 2級
		・ 1級　・ 2級
		・ 1級　・ 2級

⑭ 断熱材
ホルムアルデヒドの放散量等が「生活環境の安全に配慮したインテリア材料に関するガイドライン(ISM)」あるいはそれと同等の基準、性能に適合するもの。 (19.9.2) (19.9.3)

種類	材料	施工箇所	厚さ(mm)	品質
※ポリエチレンフォーム (発泡プラスチック保温材)	押出法 2種b	下記以外	※ 20 ・ 50	JIS A 9511の規格品
	押出法 3種b (スキン層付き)	接地部分及び屋根防水部分ピット内部		
・吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	現場発泡断熱材 (特定フロンによるものを除く)		※ 20	JIS A 9526による 難燃性 ・2級 ※3級 評価名簿による
・			・	

20 ユニット及びその他の工事

① フリーアクセスフロア
3,000N (20.2.2)
5,000Nは建設技術評価「耐震型フリーアクセスフロアの開発」において評価を取得したもの又は評価名簿による

施工箇所	職員室、PC教室		
耐荷重	・3000N　・5000N		
設定高さ			
構成	・パネル構造　・溝構造		
許容水平力(G)	・0.6　・1.0		
ボーダー部	一般部分の仕様に準じる		
床表面仕上	・タイルカーペット ・帯電防止ビニル床タイル(置き敷き) ・帯電防止ビニル床タイル(圧着)		

床表面仕上げ材の品質は内装工事による
配線取り出し用切り欠きパネルは1枚／m2以上とする

② 可動間仕切(パーテーション)
ＪＩＳ Ａ 6512又は評価名簿による (20.2.3)
構造形式による種類　スタッド式密閉形
構成材の種類　アルミニウム合金系又はスチール系
パネル表面材　焼付塗装鋼板(標準色) t=0.5以上
遮音性　36dB以上
防火性能　不燃

③ 移動間仕切(スライディングドア)
評価名簿による (20.2.4)
パネルの操作方法による種類　規定しない
パネル表面材の材質及び仕上げ　製造所仕様の化粧鋼板(標準色)t=0.5以上
パネル圧接装置の操作方法　ハンドル回転式又はワンタッチ上下式
遮音性　36dB以上
防火性能　＝0　不燃
取り付け用あと施工アンカー　材質・寸法等は図示又は製造所の仕様による　0不燃
取り付け用あと施工アンカー　材質・寸法等は図示又は製造所の仕様による(⊙0.2.5)
評価名簿による
表面材：施ゆうセメント珪酸カルシウム板　厚30　幅木：ステンレス製　H=60
フレーム：アルミ製　アール形アルミ製エッヂ　帽子掛け戸当たり付き
材種　ステンレス(SUS304)ビニルタイヤ入り(幅約40mm) (20.2.6)
取り付け方法　※ 接着工法　・ 埋込み工法
フラットエンド　※ ビニール　・ ステンレス

④ トイレブース
形式　・平面　・曲面　・ (20.2.8)

⑤ 階段滑止め(ノンスリップ)
t=5　ステンレスフレーム付き (20.2.9)

⑥ 黒板及びホワイトボード
衝突防止表示　ステンレス製　HL仕上げ　φ30程度　市販品 (20.2.10)

⑦ 鏡
⑧ 表示
⑨ 煙突ライニング
煙突用成形ライニング材　評価名簿による (20.2.11)
安全使用温度　・400℃　・650℃ (20.2.12)

⑩ ブラインド

形式	※ 横型ブラインド	・ 縦形ブラインド
スラット	※ アルミニウム合金	※ クロススラット
開閉方式	※ ギヤ式　・ コード式	※ 2本操作コード方式
スラットの成形(mm)	※ 25	・ 80　・ 100

⑪ ロールスクリーン
操作方式　・ ワンタッチ式　※チェーン式 (20.2.13)
スクリーンの生地　無地で製造所仕様の標準タイプ

⑫ カーテン
(20.2.14) (表20.2.1)

名称・品質など	ひだの種類	形式	引分け装置
ポリエステル	※箱ひだ、つまひだ　・	・片引き　⊙引分け	※手引　・ひも引　・電動
	※箱ひだ、つまひだ　・	・片引き　・引分け	※手引　・ひも引　・電動

※換気扇干渉部分はメッシュ張りとする。

⑬ 敷地境界石標
(20.5.1) (表20.5.1)
種別　・A種　※B種

⑭ 誘導標識
市販品

⑮ 点検口

施工部位	材質等	寸法	見え掛かり	製造所
天井	アルミニウム製	※ 450×450 ・ 600×600	※ 目地タイプ ⊙ 額縁タイプ	評価名簿による
床	ステンレス製	・ 450×450 ※ 600×600	※ 一般形貼物用 ・ 一般形充填用	評価名簿による

⑯ ステンレス流し台
※ BL商品(システム　※ A-I型　・　)トラップ付

⑰ コンロ台
※ BL商品(システム　※ A-I型　・　)バックカード(※ 有　・無)

⑱ つり戸棚
※ BL商品(システム　※ A-I型　・　)

⑲ 水切棚
※ 1段　・ 2段

⑳ 旗竿受金物
ステンレス製(SUS304)彫り込みタイプ　既製品

㉑ 屋内掲示板
既製品　アルミニウム製枠　表面塩ビ発泡シート張り

㉒ かぎ箱
市販品　フック数(本)　・30　・60　⊙100　・

㉓ 出隅面取り材
材種　アルミニウム合金製
高さ　※　天井まで　・ 1.8m程度

㉕ 木製収納家具
合板類のホルムアルデヒドの放散量はJASで定めるＦｃ０のもの
ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放出量はJISで定めるＥ０のもの　Ｆ☆☆☆☆に読替え

㉗ 便所手すり
材質　ステンレス鋼管SUS304+軟質塩化ビニール被覆
小便器用　形状は標準詳細図６－２４－１
多目的便所　形状は標準詳細図６－２３－１
可動手すり(L=600)
固定手すり(A)(L=800、H=700)
直線手すり(L=1,000)

㉘ ポストフォームカウンター
㉙ 視覚障害者用誘導ブロック
屋外　※ コンクリート製　・磁器質又はせっき質タイル(※300角・150角)

㉚ 旗竿
形式　※ テーパー式　・ 同一断面式　H=　m
材種　※ アルミニウム合金　・
操作方式※ ハンドル式　・ロープ式

㉛ 消火器ボックス
鋼製　既製品

㉜ ピクチャーレール
アルミ製　既製品

㉝ 完成図書用キャビネット
鋼製　W900XH1,800XD450　両開き扉　棚板４枚　既製品

21 排水工事

① グレーチング
評価名簿による (21.2.2)
※ 鋼製　・ステンレス製

② 鋳鉄製マンホールふた
評価名簿による
マンホールふたは簡易密閉型とし、表面に用途別の標準文字付きとする。 (21.2.2)

③ 充填用鋳鉄製マンホールふた
角型、充てん深さ65～80簡易密閉型 (21.2.2)
製造所　評価名簿　鋳鉄製マンホールふたに同じ

22 舗装工事

① 再生材
※ 使用する　・ 使用しない (22.1.3)

② 盛土材料
路床の盛土材料「3章　土工事　1．埋戻し及び盛土の種別」による (22.2.3)

③ しゃ断層及び凍上抑制層用材料
しゃ断層　※ 川砂、海砂又は良質な山砂 (22.2.3)
凍上抑制層　※ 再生クラッシャラン
・ 切込砂利又は切込砕石

④ 路床安定処理
路床安定処理用添加材料 (22.2.3) (表22.2.2)
※普通ポルトランドセメント　・ 生石灰特号

⑤ 路床土の支持力比(ＣＢＲ)試験
※ 行わない　・ 行う(※ 乱した土　・乱さない土) (22.2.5)

⑥ 路床締固め度の試験
※ 行わない　・ 行う (22.2.5)

⑦ 砂の粒度試験
※ 行わない　・ 行う (22.2.5)

⑧ 路盤材料
砕石及び再生材のクラッシャラン又はクラッシャラン鉄鋼スラグ (22.3.3)

⑨ 路盤の締め固め度試験
※ 行わない　・ 行う (22.3.5)

⑩ アスファルト舗装
加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.3) (22.4.4) (22.4.6) (表22.4.6)

表層	※ 再生密粒度アスファルト混合物(13) ・ 細粒度アスファルト混合物(13)
基層	※ 再生粗粒度アスファルト混合物(20) ・ 粗粒度アスファルト混合物(20)

カラー舗装の種類　※ 表層に着色した加熱アスファルト混合物を用いる
着色骨材の種類　(　　)
アスファルト混合物の抽出試験　・ 行う　※ 行わない

⑪ コンクリート舗装
早強セメント　・ 使用する　※ 使用しない (22.5.3)
溶接金網　※ あり　・なし
コンクリート版の厚さの試験　・ 行う　※行わない

⑫ ブロック系舗装
・コンクリート平板舗装　※ 砂目地　・ モルタル目地 (22.8.2) (表22.8.1)
・舗石基層　※ コンクリート舗装　・ アスファルト舗装
・インターロッキングブロック舗装　評価名簿による (22.8.3)

⑬ 砂利敷き
・ A種　※B種 (22.10.2)

⑭ 区画線
3種1号　白幅　※100　・図示 (22.11.1) (表22.11.1)

23 植栽工事

① 植栽地の試験
透水性及び土壌硬度の試験　※行う　・行わない (23.1.3)
塩分量及び土壌の酸度の試験　※行う　・行わない

② 植栽基盤
・ 適用する　※ 適用しない (23.2.2) (表23.2.2)

種別	樹種等	植栽基盤の適用
・ A種	樹木	・ 適用する　※ 適用しない
・ B種	芝、地被類	※ 適用する　・ 適用しない
・ C種		
・ D種		

③ 植込み用土
※ 現場発生の良質土　・ 客土 (23.2.3)

④ 土壌改良材
※ 適用する　・適用しない (23.2.3)
土壌改良材は、植栽を行う植込等の面積1m2当たりバーク堆肥で50リットル、発酵下水汚泥コンポストで10リットルとする。

⑤ 芝
種別　※ こうらい芝の類　・ 野芝の類 (23.4.2)

メーカーリスト（同等品以上）及び注意事項

タイル工事　50角二丁掛磁器タイル接着材貼りは、INAX「はるかべ工法」とする。
50角二丁掛磁器タイルはINAX「バックドラフト」程度とする。

屋根工事　鋲合式平滑吹き は、元旦ビューティー工業（株）「マッタラールーフ」とする。

金属工事　軽量鉄骨耐震天井下地は、大建工業（株）「ハイブリッド天井」又は同等品

外装目隠しルーバーは、ＡＢＣ商会「アースウッドカオス　ＫＤ－５０１」又は同等品

塗装工事　抗ウイルス抗菌塗料は、日本ペイント（株）「インテリアウォール　VK-200」又は同等品

内装工事　OAフロアー軽量コンクリート補強　厚40は、共同カイテック（株）
「ネットワークフロアー40」又は同等品

OAフロアー軽量コンクリート補強　厚40は、共同カイテック（株）

タイルカーペットは、（株）サンゲツ「NT700H」程度

ループ状カーペットは、（株）サンゲツ「ウールタフト・サンマーチ」程度

ロールカーペットは、（株）サンゲツ「カラータフト・サンエレガンス」程度

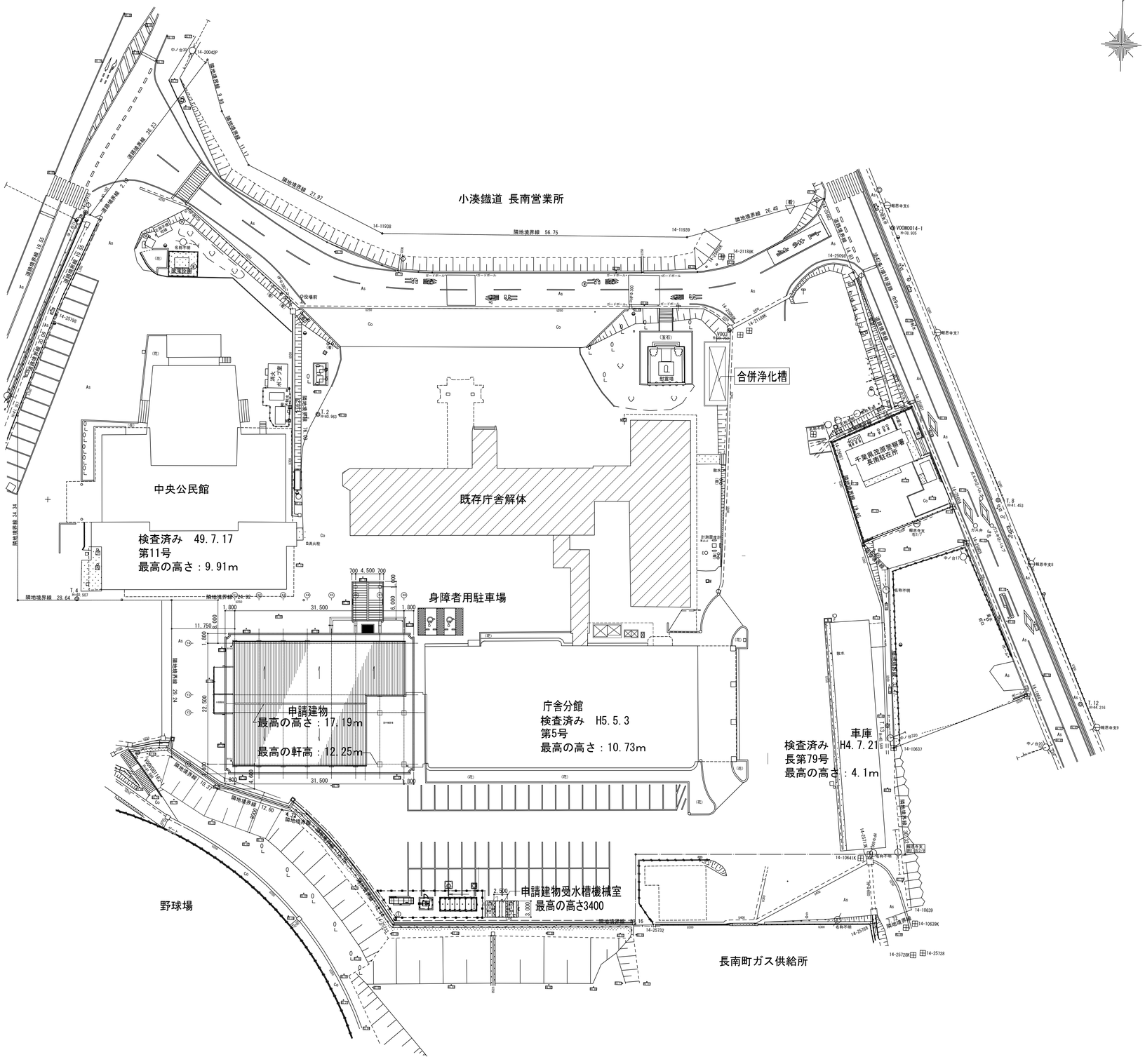
壁抗ウイルス不燃メラミン化粧板は、アイカ工業（株）「セラールウイルテクト」

壁木調ルーバーは、大建工業（株）「グラビオルーバーUS」は同等品

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所
一級建築士登録
第１６５８１４号
鹿間義弘

特記事項　日付　図面形式　設計　製図

日付	縮尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	縮尺	図面番号
令和　3年　月	－	図面名称	特記仕様書 (3)		A－03



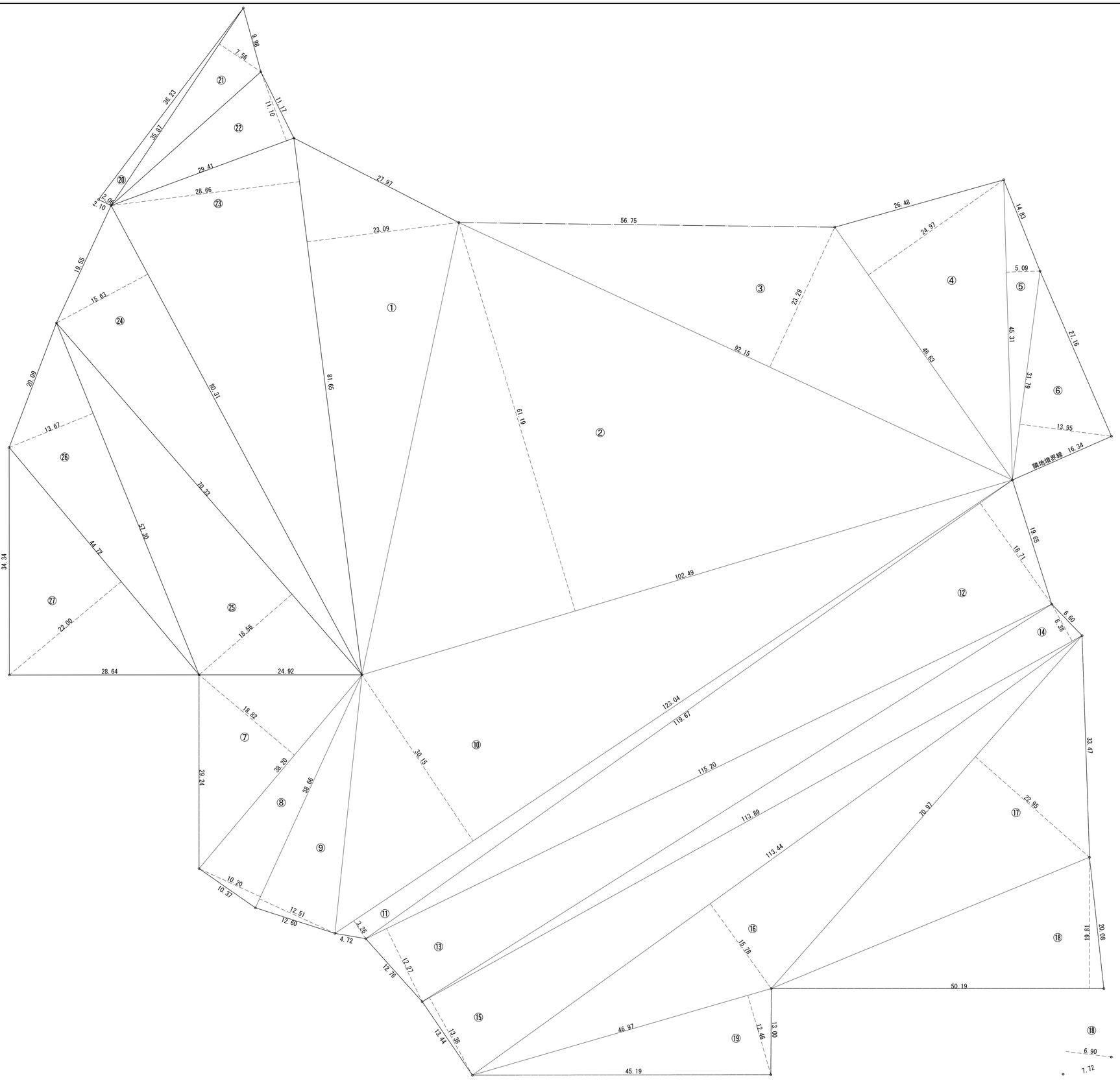


建設地：千葉県長生郡長南町長南2110番地

面積表			㎡
敷地面積			18,045.17
	申請部分	申請以外の部分	合計
建築面積			
庁舎	935.52	1300.67	2,236.19
受水槽機械室	7.50		7.50
既存中央公民館		1085.29	1085.29
既存車庫棟		293.28	293.28
合　計	943.02	2,679.24	3,622.26
延べ床面積			
庁舎			
1階床面積	790.09	1,136.91	1,927.00
2階床面積	743.77	1,151.90	1,895.67
3階床面積	719.33		719.33
塔屋床面積	15.74		15.74
庁舎 計	2,268.93	2,288.81	4,557.74
受水槽機械室	7.50		7.50
既存中央公民館		1,475.40	1,475.40
既存車庫棟		293.28	293.28
合　計	2,276.43	4,057.49	6,333.92

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所
一級建築士登録
第１６５８１４号
鹿　間　義　弘

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:400 A3　1:800	長南町役場庁舎建設工事	A－04
		図面名称：配置図	

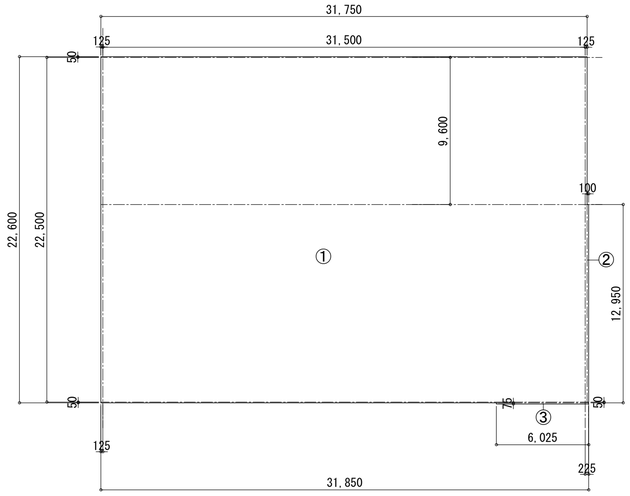


敷地面積求積表			
	底辺	高さ	倍積
①	81.65	23.09	1,885.2985
②	102.49	61.19	6,271.3631
③	92.15	23.29	2,146.1735
④	46.63	24.97	1,164.3511
⑤	45.31	5.09	230.6279
⑥	31.79	13.95	443.4705
⑦	38.20	18.82	718.9240
⑧	38.66	10.20	394.3320
⑨	38.66	12.51	483.6366
⑩	123.04	30.15	3,709.6560
⑪	123.04	3.26	401.1104
⑫	119.67	18.71	2,239.0257
⑬	115.20	12.27	1,413.5040
⑭	113.89	6.38	726.6182
⑮	113.89	13.38	1,523.8482
⑯	113.44	15.78	1,790.0832
⑰	70.97	22.95	1,628.7615
⑱	50.19	19.81	994.2639
⑲	46.97	12.46	585.2462
⑳	36.23	2.06	74.6338
㉑	35.87	7.56	271.1772
㉒	29.41	11.10	326.4510
㉓	81.65	28.66	2,340.0890
㉔	80.31	15.63	1,255.2453
㉕	70.33	18.56	1,305.3248
㉖	57.30	13.67	783.2910
㉗	44.72	22.00	983.8400
合計			36,090.3466
1/2			18,045.17

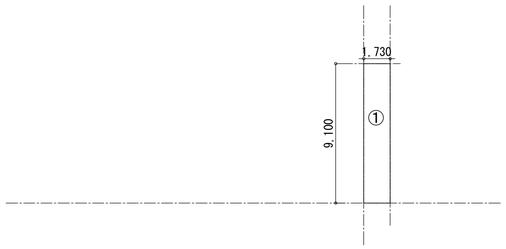
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

一級建築士登録
第１６５８１４号
鹿　間　義　弘

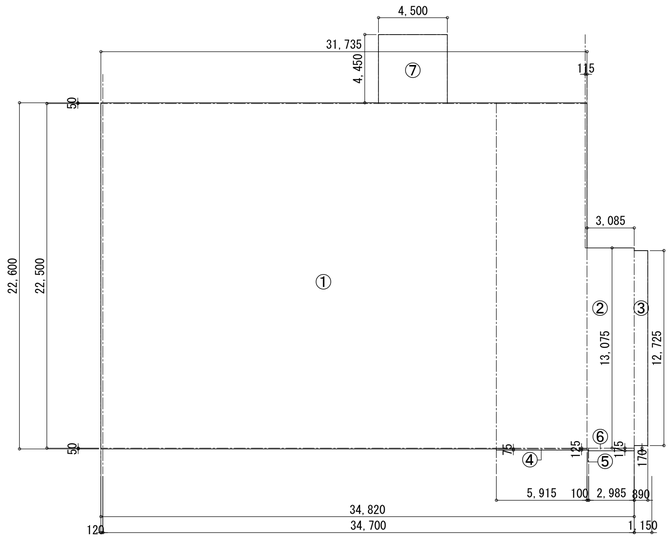
日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:300 A3　1:600	長南町役場庁舎建設工事	A－05
		図面名称：敷地求積図・求積表	



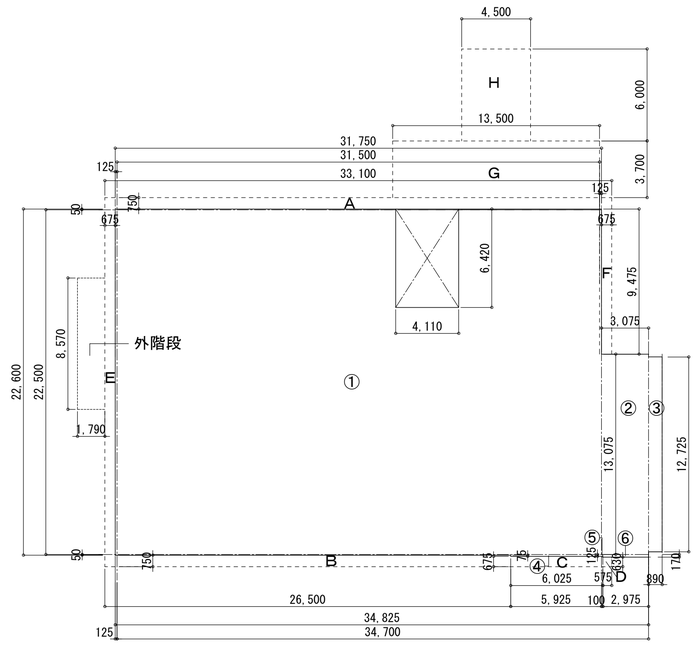
3階求積図　　S=2/100



RH階求積図　　S=2/100



1階求積図　　S=2/100



2階求積図　　S=2/100

求積表

延べ床面積	1F				備　考
	①	31.74	22.60	717.3240	
	②	3.09	13.08	40.4172	
	③	0.89	12.73	11.3297	
	④	5.92	0.08	0.4736	
	⑤	0.10	0.13	0.0130	
	⑥	2.99	0.17	0.5083	
	⑦	4.50	4.45	20.0250	
	計			790.0908	
	2F				
	①	31.75	22.60	717.5500	
	②	3.08	13.08	40.2864	
	③	0.89	12.73	11.3297	
	④	5.93	0.08	0.4744	
	⑤	0.10	0.13	0.0130	
	⑥	2.98	0.17	0.5066	
	2F計			770.1601	
	⑦	4.11	-6.42	-26.3862	
	2F総計			743.7739	
	3F				
	①	31.75	22.60	717.5500	
	②	0.10	12.95	1.2950	
	③	6.03	0.08	0.4824	
				719.3274	
	PF				
	①	1.73	9.10	15.7430	
	延床面積			2268.9351	
建築面積	A	33.10	0.75	24.8250	
	B	26.50	0.75	19.8750	
	C	6.03	0.68	4.1004	
	D	0.58	0.63	0.3654	
	E	0.68	22.60	15.3680	
	F	0.68	9.48	6.4464	
	G	13.50	3.70	49.9500	
	H	4.50	6.00	27.0000	
	2F			770.1601	
	外階段	1.99	8.76	17.4324	
計				935.5227	

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所
一級建築士登録
第１６５８１４号
鹿　間　義　弘

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:200 A3　1:400	長南町役場庁舎建設工事 建物求積表・求積図	A－06

外部仕上表

■ 屋　　根

屋根（屋上機械置場、樋）	コンクリート金コテ下地（躯体勾配1/100）、塗膜防水t=3（歩行用）：DD60工法 同等品以上
	スラブ硬質フォームプラスチックス打込み t＝20
勾配屋根	鉄骨下地フッ素ガルバニュウム鋼板ｔ＝0.5大和葺（下葺き材：防水シート、断熱材+野地板ボード、ユ鋼共）30分耐火　FRO30RF-1861（2）
バルコニー床	コンクリート金コテ下地（モルタル勾配）、塗膜防水t=3（歩行用）：DD60工法 同等品以上 立上り：LS-K工法
	スラブ硬質フォームプラスチックス打込み t＝20

■ パラペット・笠木

パラペット笠木	カラーアルミ製W=250（新意匠系陰影笠木）
壁面部　笠木	カラーアルミ手摺付き笠木

■ 外　壁　等

壁面（南面）	柱・梁型：コンクリート打ち放し補修50角２丁掛け磁器タイル　貼り
	一部壁：押出整形セメント板ｔ＝60下地50角2丁掛け磁器タイル貼り（ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ塗り下地）
壁面（北面）	柱・梁型：コンクリート打ち放し補修50角２丁掛け磁器タイル
	車寄せ柱：50角二丁掛磁器タイル縦張
	ピロティー柱梁：コンクリート打放補修50角2丁掛け磁器タイル貼り
壁面（東面）	柱・梁型：コンクリート打ち放し補修50角２丁掛け磁器タイル貼り（柱縦張）
	壁　　：コンクリート打ち放し補修50角２丁掛け磁器タイル貼り
壁面（西面）	柱・梁型：コンクリート打ち放し補修50角２丁掛け磁器タイル貼り
	壁　　：コンクリート打ち放し補修50角２丁掛け磁器タイル貼り
	外階段壁：コンクリート打放補修　超低汚染水性フッ素樹脂塗料塗　人工木目調目隠しルーバー
大屋根妻壁	ラムダサイディングt=18超低汚染型水性フッ素樹脂塗料塗、（耐火仕様：透湿防水シート＋硬質PBt=15二重張り下地）
軒天井	ピロティー：　LGS下地カラーアルミスパンドレル t=1.0
	バラペット軒裏：LGS下地カラーアルミスパンドレル t=1.0
	車寄せ軒・天井　：カラーアルミパネル　t=2.0加工
庇	
	出入り小庇：アルミハニカムパネル既製品（仕上面ヨリ出寸法,600）
床	ピロティー・車寄せ：磁器質100角タイル貼
犬走り	コンクリート金ゴテ
ガラス	建具表参照
トップライト	アルミ製固定トップライト
定礎石	御影石　400ｘ300ｘ30
館銘板	カラーステンレス箱文字　200ｘ200ｘ20　7文字

■ 外部金物（材種・防錆処理・仕上）

竪樋	SUSパイプ165.2φ×1.2(バルコニー)、89.1φ×0.8（ピロティ―）		
軒樋	樋バンド：ステンレスFB-2.0×20 @1,200		
ルーフドレーン	屋上：縦型ドレインSUS鋳鋼製150φ、SUSｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管φ60.5（4ヵ所）		
	バルコニー：　横引きドレイン　SUS製80φ　SUS飾り桝		
	ピロティ―：　横引きドレイン　SUS製80φ		
バルコニー手摺	カラーアルミ手摺付き笠木		
EXP.J金物	アルミ製既製品W=150用（耐火１時間）		

■ 外部工作物

	自立式SUS製ポスト
	SUS製コーナーガードφ76.3　H=650

■ 外　　構　＊詳細は外構平面図・詳細図による

※ 別途工事	

■ 特記事項

1、室内の仕上、下地、接着剤等はシックハウス対策上、F☆☆☆☆又は規制対象外を使用する
2、軽鉄天井下地は耐震（落下防止）天井とする。
　（ハイブリッド天井下地）
3、EVピット・床下ピットの床・壁仕上はケイ酸質系浸透性塗布防水トスル。
4、トイレ等ピットの床・壁仕上はモルタル金ゴテ　トスル。

■ 認定番号

間仕切壁（非耐力壁）：強化石膏板ｔ＝12.5+硬質石膏版t=9.5 両面（1時間）FP060NP-0199	
耐火ボードパネル（アルミサッシ裏打ち）ｔ＝35（1時間）	FP060NE-9176
石膏ボード(不燃) t=12.5	NM-8619
硬質石膏ボード(不燃) t=9.5	NM-9645
強化石膏ボードｔ＝12.5	NM-8615
不燃化粧石膏ボード(不燃) t=9.5	NM-1864
ビニールＬクロス(不燃)	NM-0280
	QM-9406
化粧岩綿吸音板(不燃)t=12	NM-8599
化粧岩綿吸音板(不燃)t=19キューブ	NM-8599
不燃化粧塩化ビニルシート	NM-2394
グラスウール保温板(不燃)	NM-8605
ロックウール保温板(不燃)	NM-8600
メラミン不燃化粧板	NM-2183

略　語

ＯＰ	油性調合ペイント	ＸＥＢ	エポキシ樹脂エナメル　（焼付型）	ＰＢ	：石膏ボード	ＳＵＳ	ステンレス	ＬＣ	軽量コンクリート			ｗ（Ｗ）	幅		
ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント	ＦＵ	フッ素樹脂塗装　（常温型、重防食または長期耐候性塗装・低汚染型）	ＰＢ-Ｄ	：化粧せっこうボード	ＳＺ	亜鉛メッキ鋼板	ＰＣ	プレキャストコンクリート板			ｄ（Ｄ）	奥行		
ＬＥ	ラッカーエナメル	ＦＵＢ	フッ素樹脂塗装　（焼付型）	ＲＢ	：ロックウール吸音板	ＡＬ	アルミニウム板	ＡＬＣ	軽量気泡コンクリートパネル			ｈ（Ｈ）	高さ		
ＦＥ	フタル酸樹脂エナメル	ＥＰ	合成樹脂エマルションペイント	ＧＷ	：グラスウール	ＬＧＳ	軽量鉄骨	ＣＢ	コンクリートブロック			ｌ（Ｌ）	長さ		
ＶＥ	塩化ビニール樹脂エナメル	ＡＬ	アクリルラッカー	ＧＷ-Ｂ	：グラスウールボード	ＦＢ	フラットバー（平鋼）	ＴＢ	テラゾーブロック			ｔ	厚さ		
ＡＥ	アクリル樹脂エナメル　（常温型）	ＣＬ	クリアラッカー	ケイカル板	：ケイ酸カルシウム板	ＨＬ	ヘアライン	Ｃ	コンクリート下地			φ	径		
ＡＥＢ	アクリル樹脂エナメル　（焼付型）	ＵＣ	ウレタン樹脂ワニス	フレキ	：フレキシブルボード	ＮＷ	ノンワックス	Ｍ	モルタル下地						
ＵＥ	ポリウレタン樹脂エナメル　（常温型）	ＥＰ-Ｍ	多彩模様塗料塗り					ＡＳ	アスファルト						
ＵＥＢ	ポリウレタン樹脂エナメル　（焼付型）	ＯＳＣＬ	オイルステンクリアラッカー					ＡＳ防水	アスファルト防水						
ＸＥ	エポキシ樹脂エナメル　（常温型）	ＩＮＷＬ	室内用高機能（抗ウイルス・抗菌・低臭）塗料												

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

一級建築士登録
第１６５８１４号
鹿　間　義　弘

日　付	縮　尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和　3年　月	A1　1:100 A3　1:200	図面名称	仕上表（１）	Ａ－０７

内部仕上表(1)

階	室名	床 下地	床 仕上	床 FL 床ｽﾗﾌﾞ高	巾木 下地	巾木 仕上	巾木 H	巾木 塗装	腰 下地	腰 仕上 (H)	腰 塗装	壁 下地	壁 仕上	壁 内装制限	天井 下地	天井 仕上	天井 CH	天井 廻り縁	天井 内装制限	摘要 サイン	摘要 ブラインド	摘要 ※ サインはサイン図に依る。
1階	風除け室	M	磁器質300角磁器質タイル貼	±0 -50			100					ｺﾝｸﾘｰﾄ	大理石張　t＝20　乾式工法	不燃	耐震天井 LGS	アルミスパンドレル	3,000	アルミ製	不燃			カバー付き掲示板
	玄関ロビー	M	磁器質300角磁器質タイル貼	±0 -50		金属巾木	100					LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ＝19 PBt=9.5捨て張	3,000 7,300	塩ビ製	不燃			車椅子対応電話台、総合案内板、自立式点字触知図案内板 吊下げ式案内板
	客溜り	M	磁器質300角磁器質タイル貼	±0 -50		金属巾木	100			PB t=12.5+9.5下地 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）	1,000	LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルスク壁紙貼り	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ＝19 PBt=9.5捨て張	2,770	塩ビ製	不燃			吊下げ案内板、ピクチャーレール
	事務室（税務住民課）	OAフロアー	重歩行用タイルカーペットt=6.5	±0 -50		ソフト巾木	100			PB t＝12.5+9.5下地 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）	1,000	LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルスク壁紙貼り	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ＝12 PBt=9.5捨て張	2,770	アルミ製	不燃		○	システムカウンター
	税務住民課　書庫	M	長尺塩ビシートｔ＝2.0	±0 -50		ソフト巾木	100					RC	モルタル金鏝EP	不燃	耐震天井 LGS	不燃化粧石膏ボードｔ＝9.5	2,500	塩ビ製	不燃			耐火書庫扉、スライド式収納
	事務室（福祉課・健康保険課）	OAフロアー	重歩行用タイルカーペットt=6.5	±0 -50		ソフト巾木	100			PB t＝12.5+9.5下地 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）		LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ＝12 PBt=9.5捨て張	2,770	塩ビ製	不燃		○	システムカウンター
	事務室（会計課）	OAフロアー	重歩行用タイルカーペットt=6.5	±0 -50		ソフト巾木	100			同　上		LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ＝12 PBt=9.5捨て張	2,770	塩ビ製	不燃		○	システムカウンター
	会計課　金庫	M	長尺塩ビシートｔ＝2.0	±0 -50		ソフト巾木	100					RC	モルタル金鏝EP	不燃	LGS	不燃化粧石膏ボードｔ＝9.5	2,500	塩ビ製	不燃			耐火金庫扉
	会計課　窓口	M	磁器質300角磁器質タイル貼	±0 -50		金属巾木	100					LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ＝19 PBt=9.5捨て張	2,770	塩ビ製	不燃		○	システムカウンター
	相談室	M	重歩行用タイルカーペットt=6.5	±0 -50		ソフト巾木	100			PB t＝12.5+9.5下地 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）		LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ＝12 PBt=9.5捨て張	2,770	塩ビ製	不燃		○	
	宿直室	M 置床	重歩行用長尺塩ビシート t=2.0（NW） 耐水合板ｔ＝12（物入れ）	±0 -50		ソフト巾木	100					LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り 耐水合板張t=9（物入れ）	不燃	耐震天井 LGS	不燃化粧石膏ボードｔ＝9.5	2,770	塩ビ製	不燃		○	ミニキッチン、ＵBL=1050、仮眠用木製ベッド 吊りカーテン（防炎）、スチールパーティション
	現業室	M	重歩行用長尺塩ビシート t=2.0（NW）	±0 -50		ソフト巾木	100					LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り	不燃	耐震天井 LGS	不燃化粧石膏ボードｔ＝9.5	2,770	塩ビ製	不燃		○	
	放送室	OAフロアー	重歩行用タイルカーペットt=6.5	±0 -50		木製巾木UC	100					LGS RC	有孔不燃音響内装材厚12+GW20	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ＝12 PBt=9.5捨て張	2,500	塩ビ製	不燃			
	更衣室（１）	M	重歩行用長尺塩ビシート t=2.0（NW）	±0 -50		ソフト巾木	100					LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 抗ウイルス抗菌塗料塗 外壁面ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt=20打込み	不燃	耐震天井 LGS	化粧石膏ボードｔ＝9.5	2,770	塩ビ製	不燃		○	吊りカーテン、ロッカー
	湯沸室	M	抗菌防滑長尺塩ビシートt=2.0	±0 -50		抗菌防滑長尺塩ビシートt=2.0巻上						LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ） 外壁面ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt=20打込み	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ＝12 PBt=9.5捨て張	2,500		不燃			システムキッチン、吊戸棚、レンジフード
	サーバー室	OAフロアー	重歩行用タイルカーペットt=6.5	±0 -50		ソフト巾木	100					LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 抗ウイルス抗菌塗料塗	不燃	耐震天井 LGS	化粧石膏ボードｔ＝9.5	2,500	塩ビ製	準不燃		○	
	印刷室	M	長尺塩ビシート t=2.0	±0 -50		ソフト巾木	100					LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 抗ウイルス抗菌塗料塗	不燃	耐震天井 LGS	化粧石膏ボードｔ＝9.5	2,500	塩ビ製	準不燃			
	更衣室前通路（1） 連絡通路（1）	M	重歩行用長尺塩ビシート t=2.0（NW）	+50 -50		ソフト巾木	100			PB t＝12.5+9.5下地一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）		LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り		耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ＝12 PBt=9.5捨て張	2,500（通路1） 2,770(連絡通路1)	塩ビ製	不燃			
2階	ホール	M	重歩行用タイルカーペットｔ＝6.5	+50 -50		ソフト巾木	100					LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ＝19 PBt=9.5捨て張	3,000	塩ビ製	不燃			吊下げ案内板
	客溜り	M	重歩行用タイルカーペットｔ＝6.5	+50 -50		ソフト巾木				PB t＝12.5+9.5下地一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）		LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ＝19 PBt=9.5捨て張	2,770	塩ビ製	不燃			吊下げ案内板、ピクチャーレール
	事務室（財政・企画政策課）	OAフロアー	重歩行用タイルカーペットｔ＝6.5	±0 -50		ソフト巾木	100			PB t＝12.5+9.5下地一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）		LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ＝12 PBt=9.5捨て張	2,770	塩ビ製	不燃		○	システムカウンター
	事務室（総務課）	OAフロアー	重歩行用タイルカーペットｔ＝6.5	±0 -50		ソフト巾木	100			PB t＝12.5+9.5下地一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）		LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ＝12 PBt=9.5捨て張	2,770	塩ビ製	不燃		○	システムカウンター
	町長室	M	ループパイルカーペット（毛足７mm）	±0 -50		桧OSCL	100					LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ＝19 PBt=9.5捨て張	2,770 3,000	塩ビ製	不燃		○	洗面台・ワードローブ、腰下収納
	応接室	M	重歩行用タイルカーペットｔ＝6.5	±0 -50		桧OSCL	100					LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ＝19 PBt=9.5捨て張	2,770	塩ビ製	不燃		○	
	副町長室	M	ループパイルカーペット（毛足７mm）	±0 -50		桧OSCL	100					LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ＝12 PBt=9.5捨て張	2,770	塩ビ製	不燃		○	ワードローブ
	前室	M	ループパイルカーペット（毛足７mm）	±0 -50		ソフト巾木	60			PB t＝12.5+9.5下地一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）		LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ＝12 PBt=9.5捨て張	2,770	塩ビ製	不燃			ミニキッチン　L=1200
	受付	M	重歩行用タイルカーペットｔ＝6.5	±0 -50		ソフト巾木	60			PB t＝12.5+9.5下地一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）		LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ＝12 PBt=9.5捨て張	2,770	塩ビ製	不燃			カウンター
	防災室・会議室	M	重歩行用タイルカーペットｔ＝6.5	±0 -50		ソフト巾木	60			PB t＝12.5+9.5下地一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）		LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ＝12 PBt=9.5捨て張	2,770	塩ビ製	不燃		○	
	職員休憩室	M W	防滑抗菌性ビニル床シートt=2.0	±0 -50		ソフト巾木	100			PB t＝12.5+9.5下地一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）		LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ＝12 PBt=9.5捨て張	2,770	塩ビ製	不燃		○	カウンター、システムキッチン、吊戸棚、レンジフード
	書庫（１）（２）	M	長尺塩ビシートt=2.0	±0 -50		ソフト巾木	100					LGS	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 EP塗	不燃	耐震天井 LGS	不燃化粧石膏ボードｔ＝9.5	2,400	塩ビ製	不燃			ハンドル式移動棚（書庫１）、中量棚（書庫2）

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

一級建築士登録
第１６５８１４号
鹿　間　義　弘

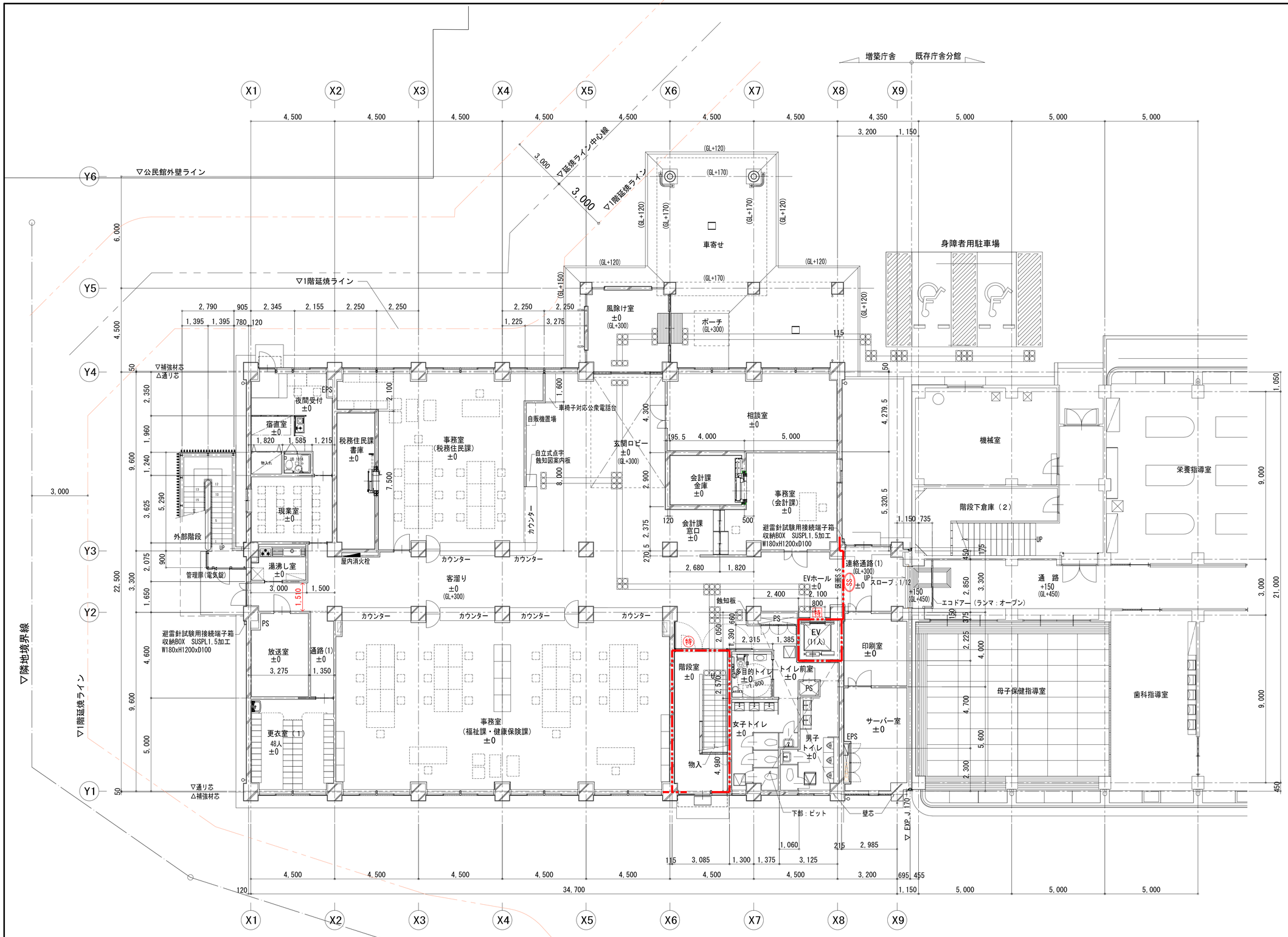
日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:100 A3　1:200	長南町役場庁舎建設工事	A－０８
		図面名称：仕上表（２）	

内部仕上表(2)

階	室名	床 下地	床 仕上	床 FL 床ｽﾗﾌﾞ高	巾木 下地	巾木 仕上	巾木 H	巾木 塗装	腰 下地	腰 仕上 (H)	腰 塗装	壁 下地	壁 仕上	壁 内装制限	天井 下地	天井 仕上	天井 CH	天井 廻り縁	天井 内装制限	サイン	ブラインド	摘要 ※ サインはサイン図に依る。
2階	更衣室（2）	M	重歩行用長尺塩ビシート t=2.0（NW）	±0 -50		ソフト巾木	100					LGS	PB t=12.5+9.5下地 一部t=12.5GL工法 抗ウイルス抗菌塗料塗	不燃	LGS	不燃化粧石膏ボードｔ=9.5	2,500	塩ビ製	不燃		○	吊りカーテン、ロッカー
	連絡通路（2） 更衣室前通路（2）	M	重歩行用長尺塩ビシート t=2.0（NW）	±0 -50		ソフト巾木	100			PB t=12.5+9.5下地一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）		LGS	PB t=12.5+9.5下地 一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り	不燃	LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ=12 PBt=9.5捨て張	2,500（通路2） 2,770（連絡通路1）	塩ビ製	不燃			
3階	ホール・廊下	M	重歩行用タイルカーペットｔ=6.5	±0 -50		ソフト巾木	100			PB t=12.5+9.5下地 一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）		LGS	PB t=12.5+9.5下地 一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ=19 PBt=9.5捨て張	2,700	塩ビ製	不燃		○	吊下げ案内板
	委員会室	M	重歩行用タイルカーペットｔ=6.5	±0 -30		桧OSCL	100		LGS			LGS	PB t=12.5+9.5下地 一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ=19 PBt=9.5捨て張	2,770	**塩ビ製**	不燃		○	
	応接室	M	重歩行用タイルカーペットｔ=6.5	±0 -30		桧OSCL	100		LGS			LGS	PB t=12.5+9.5下地 一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ=19 PBt=9.5捨て張	2,770	**塩ビ製**	不燃		○	
	議会事務局	M	重歩行用タイルカーペットｔ=6.5	±0 -30		ソフト巾木	100		LGS	PB t=12.5+9.5下地 一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）		LGS	PB t=12.5+9.5下地 一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ=12 PBt=9.5捨て張	2,770	塩ビ製	不燃		○	
	議会図書室	M	重歩行用タイルカーペットｔ=6.5			ソフト巾木	100			PB t=12.5+9.5下地 一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）		LGS	PB t=12.5+9.5下地 一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ=12 PBt=9.5捨て張	2,770	塩ビ製	不燃		○	カウンター、書棚
	議員控室	M	重歩行用タイルカーペットｔ=6.5	±0～300 -30		桧OSCL	**100**					LGS	PB t=12.5+9.5下地 一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ=19 PBt=9.5捨て張	2,770	塩ビ製	不燃		○	ロッカー
	議場	M及び 鋼製床組	ロールカーペット毛足7 総厚10 フェルト厚8	±0 -30		桧OSCL	**100**					LGS	PB t=12.5+9.5下地 一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）	不燃	耐震天井 LGS	アルミ製ルーバー 一部ロックウール化粧吸音板ｔ=12（捨て張） スラブ、梁型セラミタイトエコG吹付EP着色	2,650～ 3,200	塩ビ製	不燃			電動ロールスクリーン、電動吊下げバトン、壁木質ルーバー 吸気口：スチール製焼付塗装
	傍聴席	鋼製床組	重歩行用タイルカーペットt=6.5	+400		桧OSCL	100					LGS	PB t=12.5+9.5下地 一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ=12 PBt=9.5捨て張	2,625	塩ビ製	不燃			電動ロールスクリーン、窓SUS手摺φ34
	調整室	鋼製床組	重歩行用タイルカーペットt=6.5	+450		木製巾木UC	**100**					LGS	有孔不燃音響内装材厚12+GW20	不燃	**LGS**	ロックウール化粧吸音板ｔ=12 PBt=9.5捨て張	2,500	塩ビ製	不燃		○	窓SUS手摺φ34
	議場前室	M	重歩行用長尺塩ビシート t=2.0（NW）	+300		ソフト巾木	100			PB t=12.5+9.5下地 一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）		LGS	PB t=12.5+9.5下地 一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り		耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ=12 PBt=9.5捨て張	2,700	塩ビ製	不燃		○	
	3階湯沸室	M	抗菌防滑長尺塩ビシートt=2.0	±0 -50		抗菌防滑長尺塩ビシートt=2.0巻上						LGS	PB t=12.5+9.5下地 一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ） 外壁面ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt=20打込み	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ=12 PBt=9.5捨て張	2,500		不燃			システムキッチン、吊戸棚、レンジフード
R階	階段室	M	長尺塩ビシート t=2.0	±0 -30		ソフト巾木	100					LGS	PB t=12.5+9.5下地 複層塗材E（ローラー）		LGS	不燃化粧石膏ボードｔ=9.5	2,400	塩ビ製	不燃			
				±0 -30																		
R階	階段室	M	重歩行用長尺塩ビシートt=2.0	±0 -30		ソフト巾木 ササラソフト巾木	100					LGS	PB t=12.5GL工法下地 抗ウイルス抗菌塗料塗	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ=12 PBt=9.5捨て張 段裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修複層塗材E（ローラー）	2,800	塩ビ製	不燃			壁付樹脂製抗菌手摺、SUS自立手摺（樹脂製抗菌バー）
	男子トイレ	M	抗菌防滑長尺塩ビシートt=2.0	±0 -30		床材巻上	100					LGS	PB t=12.5+9.5下地 一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ=12 PBt=9.5捨て張	2,500	塩ビ製	不燃			
	女子トイレ	M	抗菌防滑長尺塩ビシートt=2.0	±0 -30		床材巻上	100					LGS	PB t=12.5+9.5下地 一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ=12 PBt=9.5捨て張	2,500	塩ビ製	不燃			
	多目的トイレ	M	抗菌防滑長尺塩ビシートt=2.0	±0 -50		床材巻上	100					LGS	PB t=12.5+9.5下地 一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ=12 PBt=9.5捨て張	2,500	塩ビ製	不燃			
	EVホール	M	磁器質300角磁器タイル貼（1階） 重歩行用タイルカーペット ｔ=6.5 （2，3階）	±0 -50		メタル巾木（1階） ソフト巾木（2，3階）	100 100					LGS	PB t=12.5+9.5下地 一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）	不燃	耐震天井 LGS	ロックウール化粧吸音板ｔ=19 PBt=9.5捨て張	2,770	塩ビ製	不燃			
	各室外部に接する柱、壁												硬質ウレタンフォームA種1H t=20									
	各室外部に接する梁、1，2Fスラブ															硬質ウレタンフォームA種1H t=30						

一級建築士事務所 千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社 千町村建築研究所
一級建築士登録
第１６５８１４号
鹿間義弘

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和 3年 月	A1 1:100 A3 1:200	長南町役場庁舎建設工事	A－０９
		図面名称 仕上表（3）	



階段室（1階）	
有効巾員	1,332.5
蹴上	166.7
踏面	280
手摺付	H=850

外部階段（1階）	
有効巾員	1,155
蹴上	166.7
踏面	280
手摺付	H=850

□ 特記

1. 面積区画は1,500㎡以内とする。
2. 延焼の恐れのある部分の開口部は防火設備換気口及び吸気口等はすべてFD付とする。
3. 防火区画開口部は特定防火設備貫通部は不燃材FD付とする。
4. 内装仕上はすべて準不燃以上とする
5. PS DSは　水平区画スラブ付
6. 異種用途区画・階段・EV 防火区画の特定防火設備は遮煙性能あり

□ 凡例

- ・・延焼のおそれのある部分ライン
- ・・排煙区画
- ・・防火区画
  コンクリート壁
  LGS下地PB 12.5+硬質PB 9.5 両面貼
- Ⓐ・・サッシ部；耐火ボード（t=35）W=900
- ・・避難経路
- ・・自然排煙　・・自然排煙i位置
- (二)・・H12告示第1436号四ハ（2）
- (四)・・H12告示第1436号四ハ（4）
- SS・・常時開放式・熱感連動特定防火設備
  非常停止装置付
- 特・・特定防火設備（常時閉鎖戸）
- 特・・特定防火設備
  随時閉鎖式・熱感連動自閉式特定防火設備
- 防・・防火設備　常時閉鎖式防火設備
- 防・・防火設備（網入り板ガラス窓）
- ・・非常進入口位置（3Ｆ）
- ・・屋内消火栓位置

1 階平面図　S=1/100

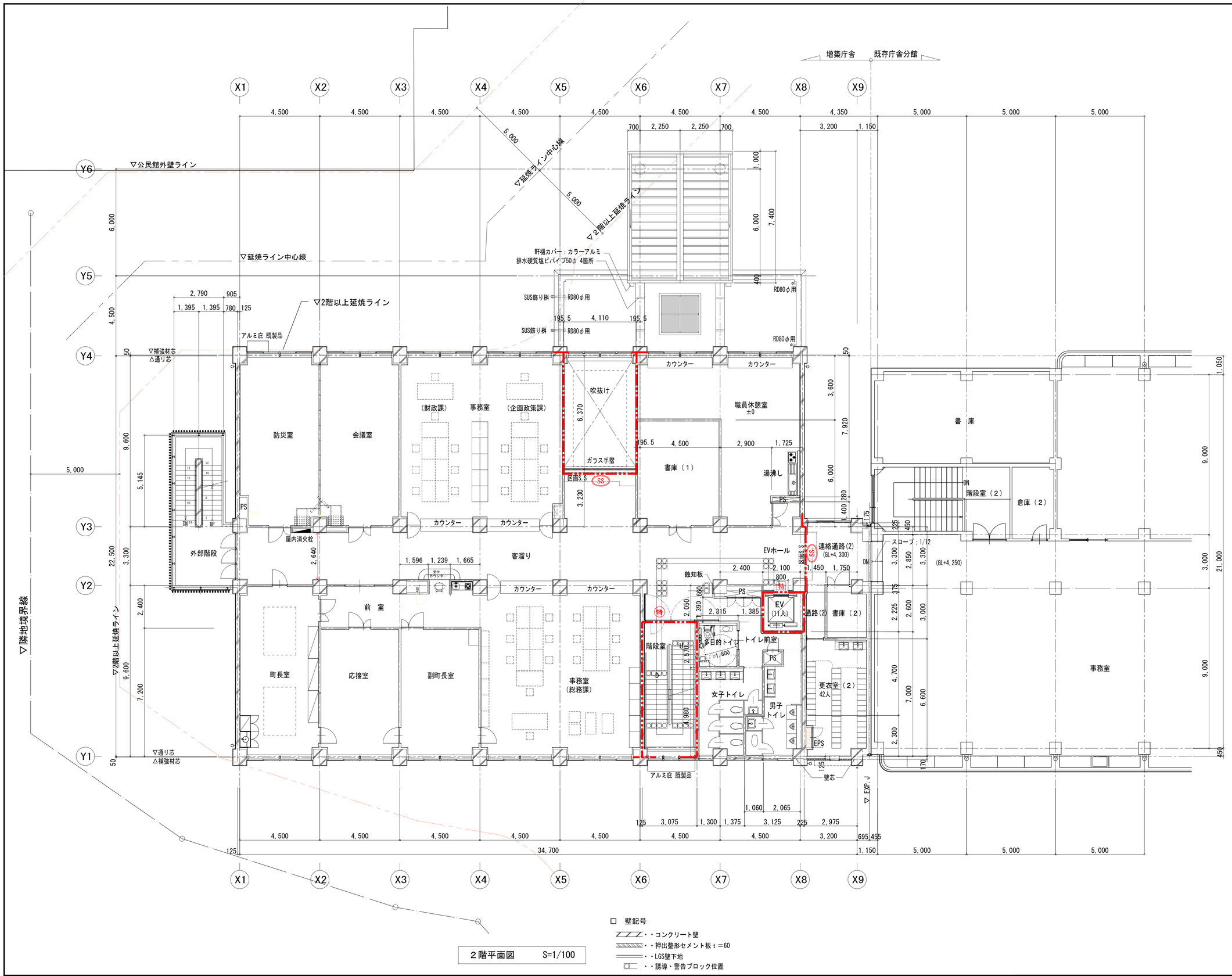
※　高さ表記は1FL±0よりの高さ、1FL=設計GL+300

□ 壁記号

- ・・コンクリート壁
- ・・押出整形セメント板 t＝60
- ・・LGS壁下地
- ・・誘導・警告ブロック位置

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:100 A3　1:200	長南町役場庁舎建設工事	A－10
		図面名称：1階平面図（確認）	



階段室（2階）	
有効巾員	1,332.5
蹴上	166.7
踏面	280
手摺付	H=850

外部階段（2階）	
有効巾員	1,155
蹴上	166.7
踏面	280
手摺付	H=850

□ 特 記

1. 面積区画は1,500㎡以内とする。
2. 延焼の恐れのある部分の開口部は防火設備
   換気口及び吸気口等はすべてFD付とする。
3. 防火区画開口部は特定防火設備
   貫通部は不燃材FD付とする。
4. 内装仕上はすべて準不燃以上とする
5. PS DSは 水平区画スラブ付
6. 異種用途区画・階段・EV 防火区画の
   特定防火設備は遮煙性能あり

□ 凡 例

- ・・延焼のおそれのある部分ライン
- ・・排煙区画
- ・・防火区画
  コンクリート壁
  LGS下地PB 12.5+硬質PB 9.5 両面貼
- Ⓐ・・サッシ部；耐火ボード（t=35）W=900
- ・・避難経路
- ・・自然排煙
- ・・自然排煙i位置
- (二)・・H12告示第1436号四ハ（2）
- (四)・・H12告示第1436号四ハ（4）
- SS・・常時開放式・熱感連動特定防火設備
  非常停止装置付
- 特・・特定防火設備（常時閉鎖戸）
- 特・・特定防火設備
  随時閉鎖式・熱感連動自閉式特定防火設備
- 防・・防火設備 常時閉鎖式防火設備
- 防・・防火設備（網入り板ガラス窓）
- ・・非常進入口位置（3Ｆ）
- ・・屋内消火栓位置

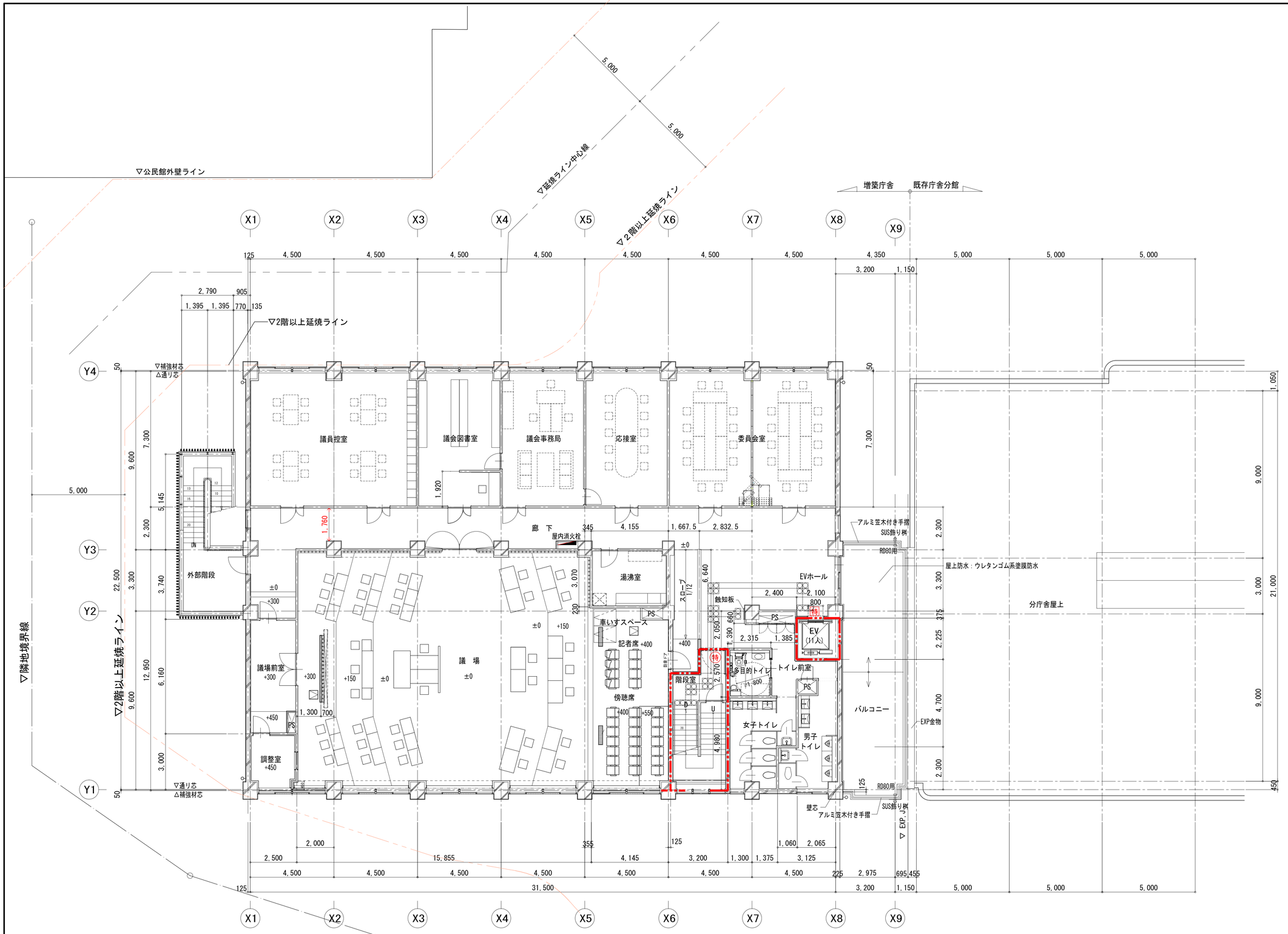
□ 壁記号

- ・・コンクリート壁
- ・・押出整形セメント板ｔ＝60
- ・・LGS壁下地
- ・・誘導・警告ブロック位置

２階平面図 S=1/100

一級建築士事務所 千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社 千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図番号
令和 3年 月	A1 1:100 A3 1:200	長南町役場庁舎建設工事	A－11
		図面名称：２階平面図（確認）	



階段室（3階）	
有効巾員	1,342.5
蹴上	166.7
踏面	280
手摺付	H=850

□ 特　記

1. 面積区画は1,500㎡以内とする。
2. 延焼の恐れのある部分の開口部は防火設備換気口及び吸気口等はすべてFD付とする。
3. 防火区画開口部は特定防火設備貫通部は不燃材FD付とする。
4. 内装仕上はすべて準不燃以上とする
5. PS DSは　水平区画スラブ付
6. 異種用途区画・階段・EV 防火区画の特定防火設備は遮煙性能あり

□ 凡 例

- ・・延焼のおそれのある部分ライン
- ・・排煙区画
- ・・防火区画
  コンクリート壁
  LGS下地PB 12.5+硬質PB 9.5 両面貼
- Ⓐ・・サッシ部；耐火ボード（t=35）W=900
- ・・避難経路
- ・・自然排煙　・・自然排煙i位置
- (二)・・H12告示第1436号四ハ（2）
- (四)・・H12告示第1436号四ハ（4）
- SS・・常時開放式・熱感連動特定防火設備
  非常停止装置付
- 特・・特定防火設備（常時閉鎖戸）
- 特・・特定防火設備
  随時閉鎖式・熱感連動自閉式特定防火設備
- 防・・防火設備　常時閉鎖式防火設備
- 防・・防火設備（網入り板ガラス窓）
- ・・非常進入口位置（3Ｆ）
- ・・屋内消火栓位置

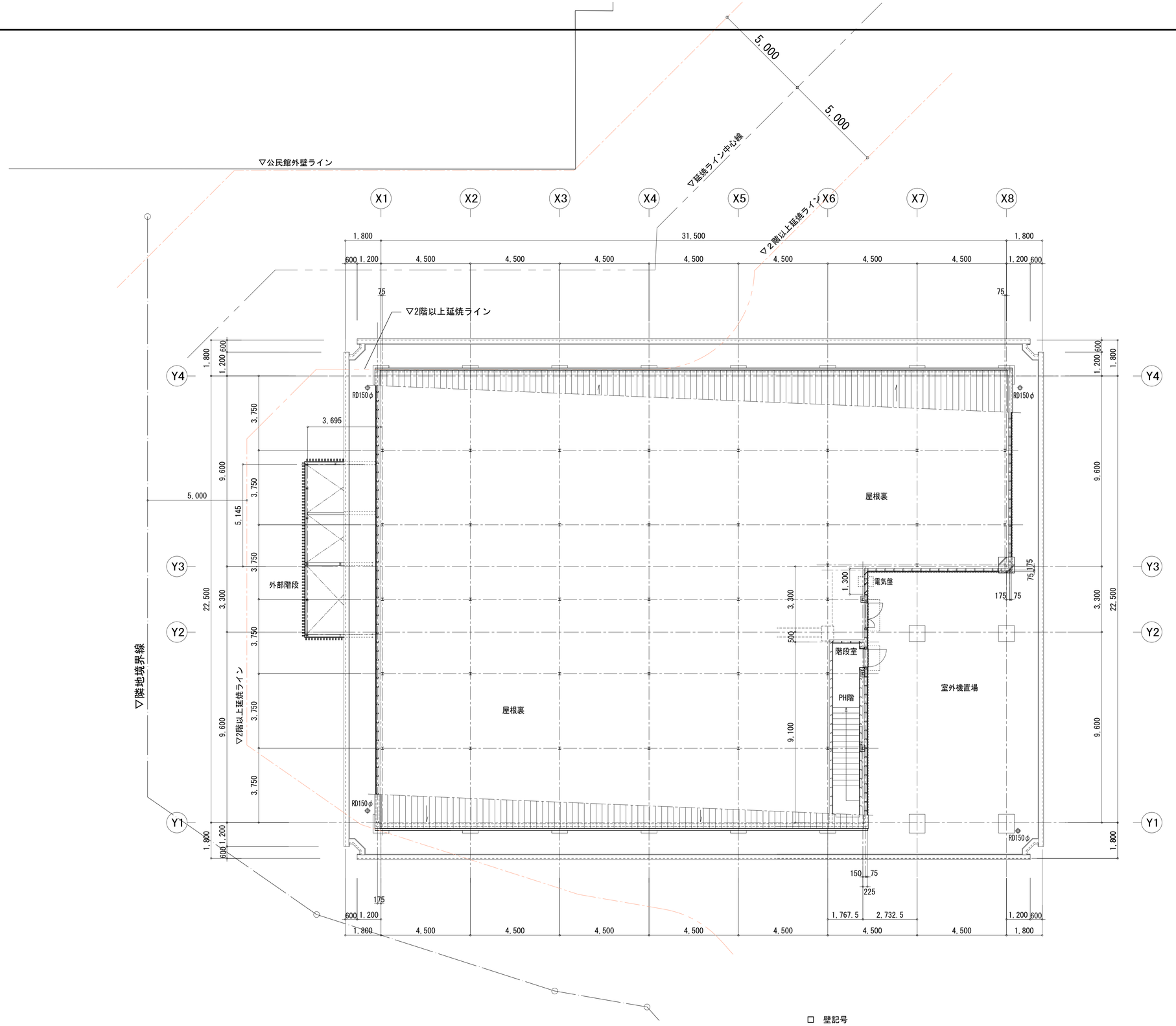
□ 壁記号

- ・・コンクリート壁
- ・・押出整形セメント板ｔ＝60
- ・・LGS壁下地
- ・・誘導・警告ブロック位置

3　階平面図　　S=1/100

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日　付	縮　尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和　3年　月	A1　1:100 A3　1:200	図面名称	3階平面図（確認）	A－12



階段室（PH階）	
有効巾員	1,342.5
蹴上	166.7
踏面	280

□ 特 記

1. 面積区画は1,500㎡以内とする。
2. 延焼の恐れのある部分の開口部は防火設備
   換気口及び吸気口等はすべてFD付とする。
3. 防火区画開口部は特定防火設備
   貫通部は不燃材FD付とする。
4. 内装仕上はすべて準不燃以上とする
5. PS DSは　水平区画スラブ付
6. 異種用途区画・階段・EV 防火区画の
   特定防火設備は遮煙性能あり

□ 凡 例

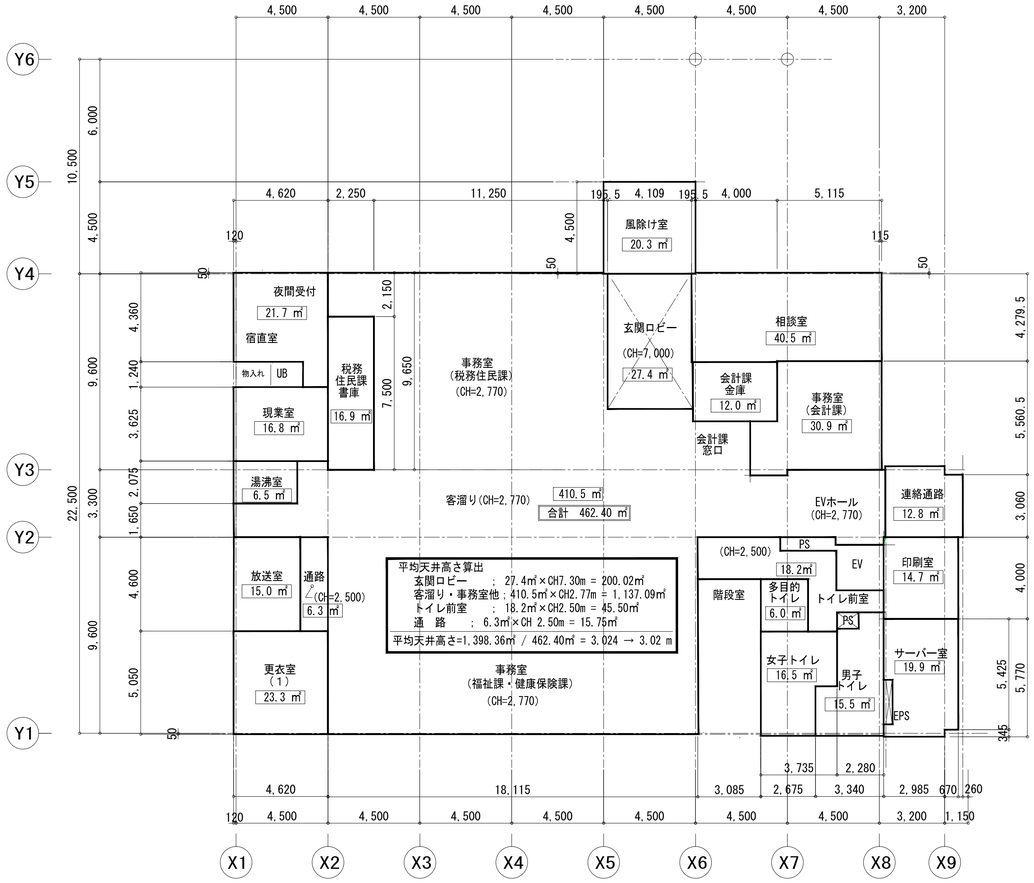
- ・・延焼のおそれのある部分ライン
- ・・排煙区画
- ・・防火区画
  コンクリート壁
  LGS下地PB 12.5+硬質PB 9.5 両面貼
- Ⓐ・・サッシ部；耐火ボード（t=35）W=900
- ・・避難経路
- ・・自然排煙　・・自然排煙i位置
- (二)・・H12告示第1436号四ハ（2）
- (四)・・H12告示第1436号四ハ（4）
- SS・・常時開放式・熱感連動特定防火設備
  非常停止装置付
- 特・・特定防火設備（常時閉鎖戸）
- 特・・特定防火設備
  随時閉鎖式・熱感連動自閉式特定防火設備
- 防・・防火設備　常時閉鎖式防火設備
- 防・・防火設備（網入り板ガラス窓）
- ・・非常進入口位置（3F）
- ・・屋内消火栓位置

ＰＨ階平面図　S=1/100

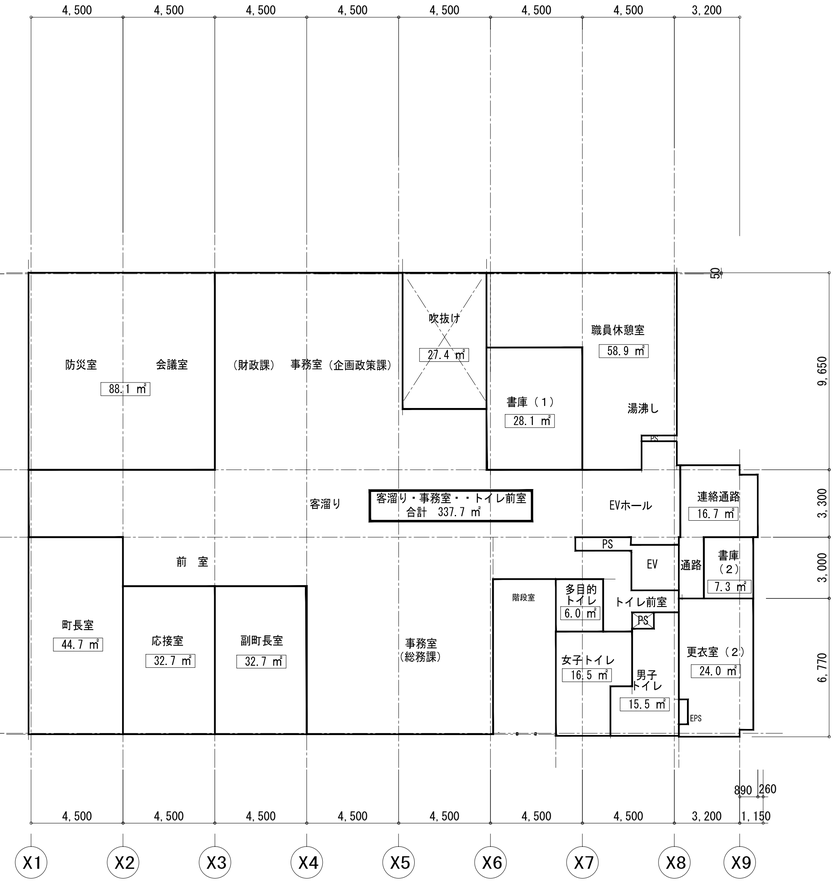
□ 壁記号

- ・・コンクリート壁
- ・・押出整形セメント板ｔ＝60
- ・・LGS壁下地

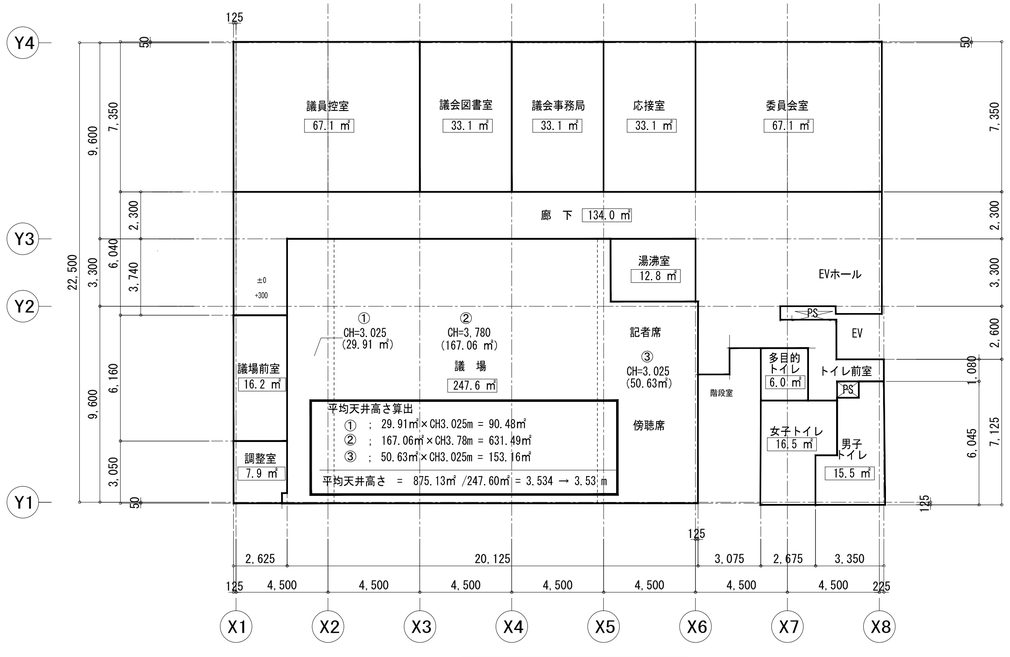
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所		日　付 令和　3年　月	縮　尺 A1　1:100 A3　1:200	工事名称	長南町役場庁舎建設工事
				図面名称	PH階平面図（確認）
				図面番号	A－13



１階平面図　S=1/150



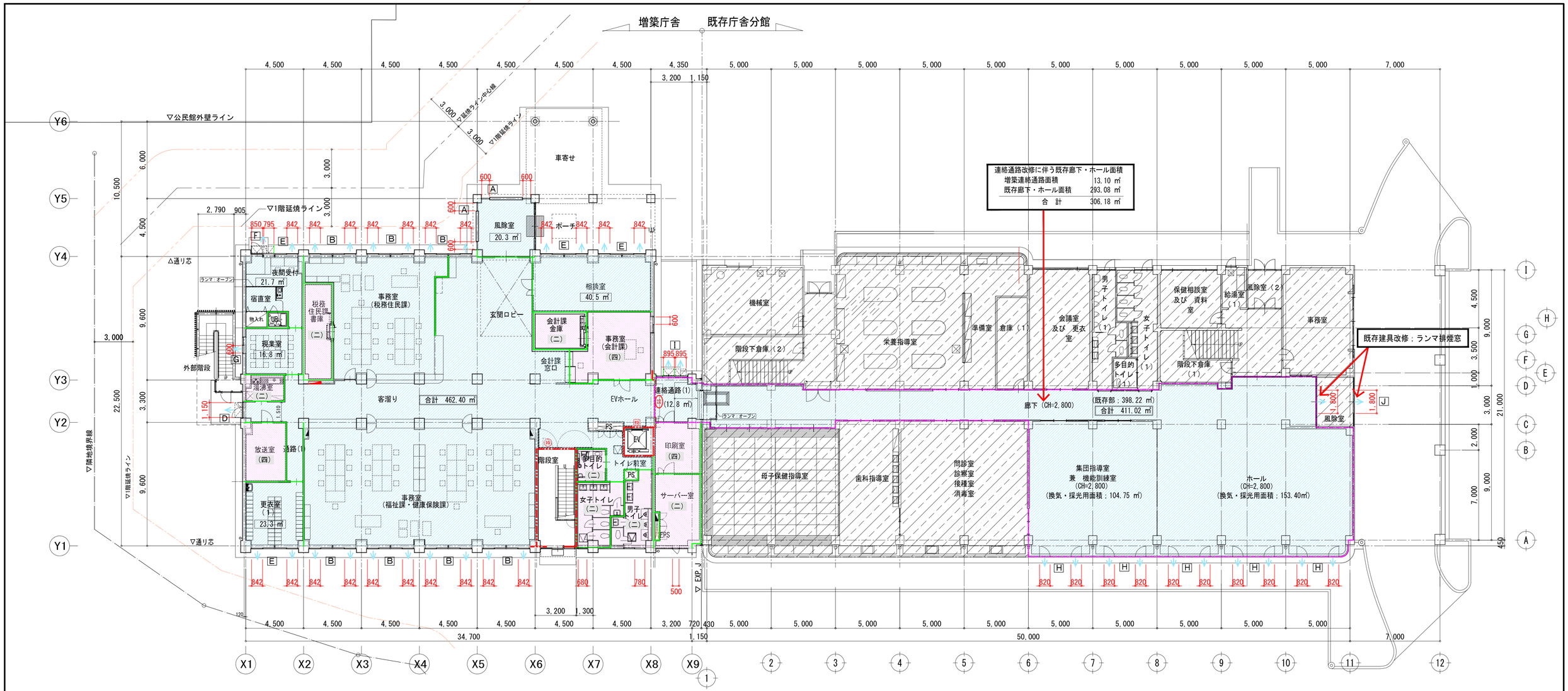
２階平面図　S=1/150



３階平面図　S=1/150

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:150 A3　1:300	長南町役場庁舎建設工事	A－14
		図面名称：法チェック用各室面積	



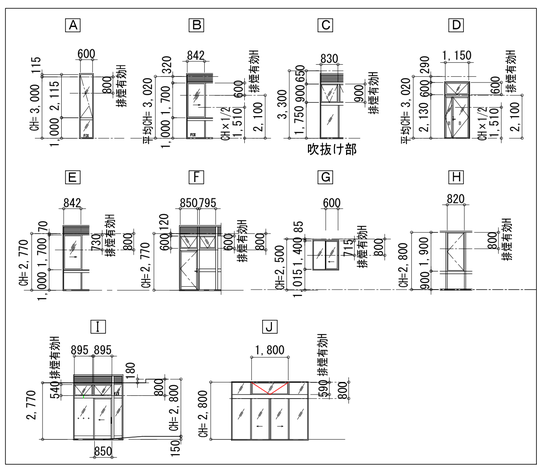
1階平面図（法チェック図） S=1/150

□ 凡例

- ・・延焼のおそれのある部分ライン
- ・・排煙区画
- ・・防火区画
  - コンクリート壁
  - LGS下地PB 12.5+硬質PB 9.5 両面貼
- Ⓐ・・サッシ部；耐火ボード（t=35）W=900
- ・・避難経路
- ・・自然排煙　・・自然排煙i位置
- (二)・・H12告示第1436号四ハ（2）
- (四)・・H12告示第1436号四ハ（4）
- SS・・常時開放式・熱感連動特定防火設備 非常停止装置付
- 特・・特定防火設備（常時閉鎖戸）
- 特・・特定防火設備 随時閉鎖式・熱感連動自閉式特定防火設備
- 防・・防火設備　常時閉鎖式防火設備
- 防・・防火設備（網入り板ガラス窓）
- ▼・・非常進入口位置（3Ｆ）
- ・・屋内消火栓位置
- ・・既存部分未改修部分

□ 特記

1. 面積区画は1,500㎡以内とする。
2. 延焼の恐れのある部分の開口部は防火設備 換気口及び吸気口等はすべてFD付とする。
3. 防火区画開口部は特定防火設備 貫通部は不燃材FD付とする。
4. 内装仕上はすべて準不燃以上とする
5. PS DSは　水平区画スラブ付
6. 異種用途区画・階段・EV 防火区画の 特定防火設備は遮煙性能あり

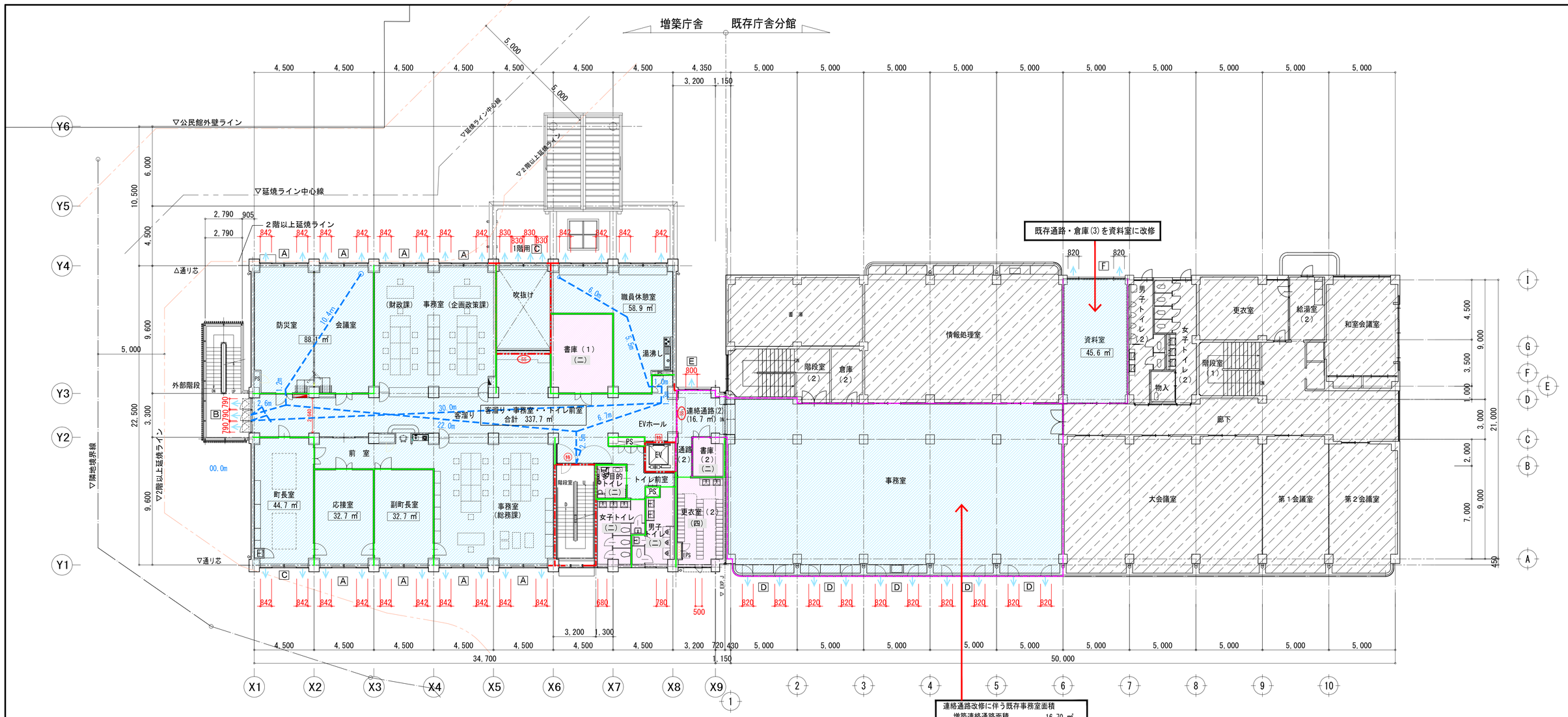


■ 1階居室の排煙・換気・採光

室名	床面積	姿図番号	排煙面積（A×1/50） 法定	設計	判別	換気面積（A×1/20） 法定	設計	判別	採光面積（A×1/20） 法定	設計	判別
風除室	20.3㎡	A	0.41㎡	縦すべり出シ窓：H 0.8×W0.6×4カ所= 1.95　1.95 ㎡	OK						
事務スペース 玄関ロビー 客溜り EVホール・通路 トイレ前室	462.4㎡	B C D	9.25㎡	片引き窓： H 0.60×W0.842×14カ所= 7.07 外突出シ窓：H 0.90×W0.83×4カ所= 2.98 外突出シ窓：H 0.60×W1.15 = 0.69　10.74 ㎡	OK	23.20㎡	片引き窓：H1.7×W0.842×14カ所=20.03 外突出シ窓：H0.90×W0.83×4カ所= 2.98 外突出シ窓：H0.60×W1.15 = 0.69 親子開戸： H2.00×W1.15 = 2.30　26.00㎡	OK	23.20㎡	換気計算にて1/20以上あり。 他に FIX窓があるため 1/20以上クリア	OK
相談室	40.5㎡	E	0.81㎡	片引き窓： H 0.73×W0.842×4カ所= 2.45　2.45 ㎡	OK	2.03㎡	片引き窓：H1.7×W0.842×4カ所=5.72　5.72㎡	OK	2.03㎡	換気計算にて1/20以上あり。	OK
夜間受付・宿直室	21.7㎡	E F	0.44㎡	片引き窓： H 0.73×W0.842×1カ所= 0.61 外突出シ窓：H 0.60×W(0.85+0.795) = 0.98　1.59 ㎡	OK	1.09㎡	片引き窓：H1.7×W0.842×1カ所=1.43 外突出シ窓：H0.60×W(0.85+0.795)=0.69　2.12㎡	OK	1.09㎡	換気計算にて1/20以上あり。	OK
更衣室(1)	23.3㎡	E	0.47㎡	片引き窓： H 0.73×W0.842×2カ所= 1.22　1.22 ㎡	OK	1.17㎡	片引き窓：H1.7×W0.842×2カ所=2.86　2.86㎡	OK			
現業室	16.8㎡	G	0.34㎡	片引き窓： H 0.715×W0.60 = 0.42　0.42 ㎡	OK	0.84㎡	片引き窓：H 1.4×W 0.60 = 0.84　0.84㎡	OK	0.84㎡	換気計算にて1/20以上あり。	OK
既存廊下・ホール 既存集団指導室 増築連絡通路	411.02㎡	H I J	8.22㎡	片開き窓： H 0.80×W0.82×10カ所= 6.56 外突出シ窓：H 0.54×W895×2カ所 = 0.96 風除室ランマ排煙窓：H 0.59×W1,800 = 1.06　8.58 ㎡	OK	既存ホール　：　変更ナシ 既存集団指導室；　変更ナシ			既存ホール　：　変更ナシ 既存集団指導室；　変更ナシ		

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:150 A3　1:300	長南町役場庁舎建設工事	A−15
		図面名称：1階平面図（法チェック図）	



２階平面図（法チェック図） S=1/150

□ 凡 例

- ・・延焼のおそれのある部分ライン
- ・・排煙区画
- ・・防火区画
  コンクリート壁
  LGS下地PB 12.5+硬質PB 9.5 両面貼
- Ⓐ・・サッシ部：耐火ボード（t=35）W=900
- ・・避難経路
- ・・自然排煙　・自然排煙i位置
- (二)・・H12告示第1436号四ハ（2）
- (四)・・H12告示第1436号四ハ（4）
- SS・・常時開放式・熱感連動特定防火設備
  非常停止装置付
- 特・・特定防火設備（常時閉鎖戸）
- 特・・特定防火設備
  随時閉鎖式・熱感連動自閉式特定防火設備
- 防・・防火設備　常時閉鎖式防火設備
- 防・・防火設備（網入り板ガラス窓）
- ▼・・非常進入口位置（3Ｆ）
- ・・屋内消火栓位置

・・既存部分未改修部分

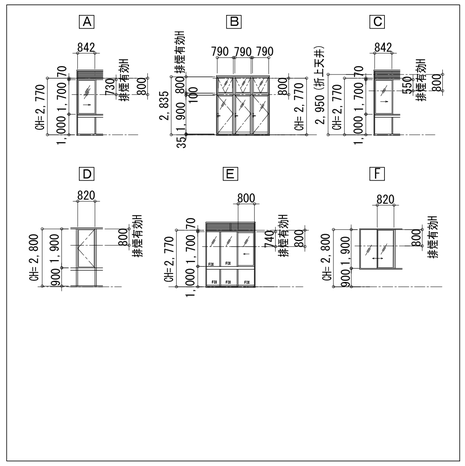
□ 特 記

1. 面積区画は1,500㎡以内とする。
2. 延焼の恐れのある部分の開口部は防火設備
   換気口及び吸気口等はすべてFD付とする。
3. 防火区画開口部は特定防火設備
   貫通部は不燃材FD付とする。
4. 内装仕上はすべて準不燃以上とする
5. PS DSは　水平区画スラブ付
6. 異種用途区画・階段・EV 防火区画の
   特定防火設備は遮煙性能あり

□ 直通階段に至る歩行距離

<会議室>
歩行距離 10.4+1.2+22.0+2.5 = 36.1m ＜ 60m O.K
重複距離 10.4+1.2 = 11.6m ＜ 30m O.K

<職員休憩室>
歩行距離 6.0+5.5+1.0+1.3+30.0 = 43.8m ＜ 60m O.K
重複距離 6.0+5.5+1.0+1.3 = 13.8m ＜ 30m O.K

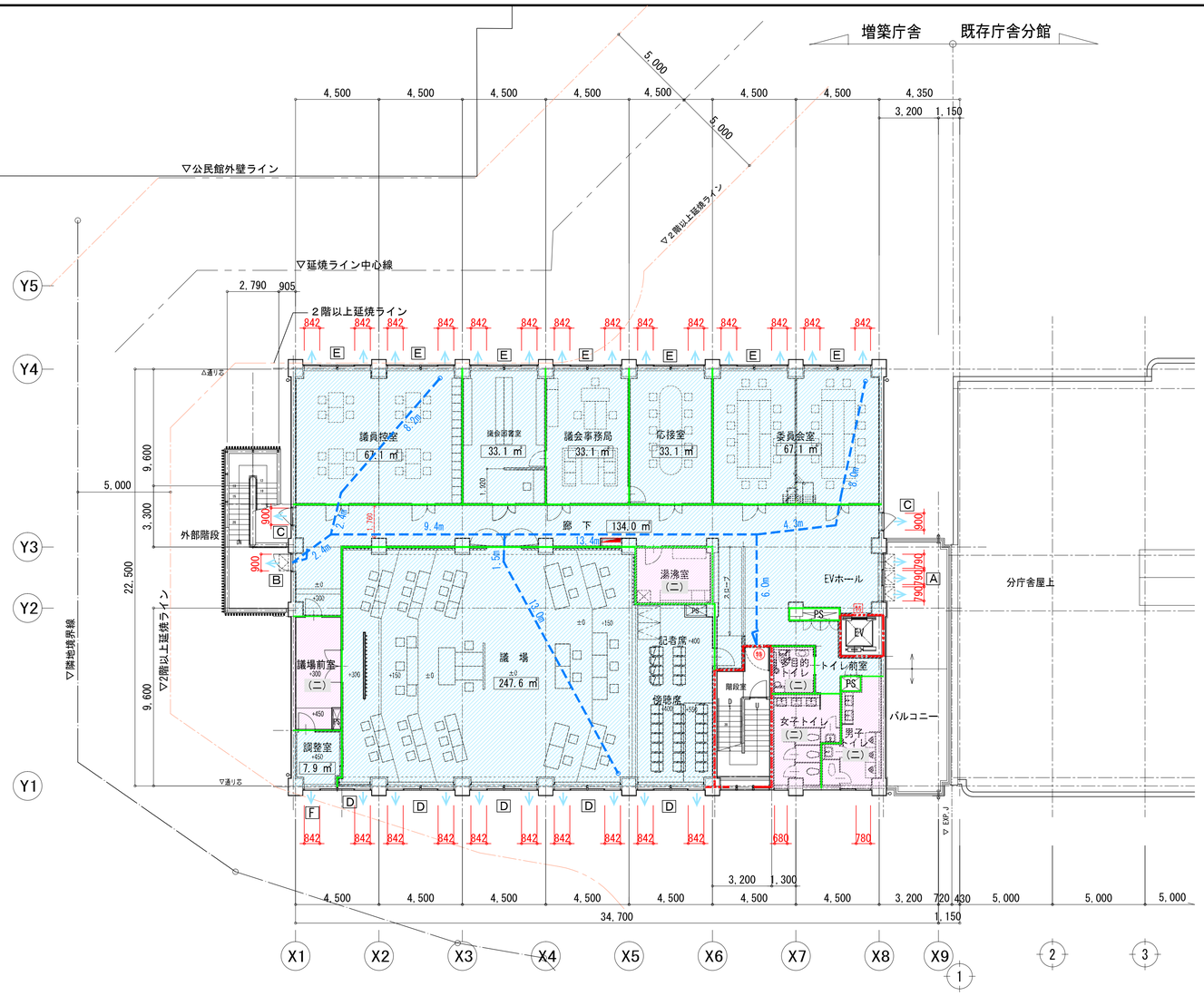


■ １階居室の排煙・換気・採光

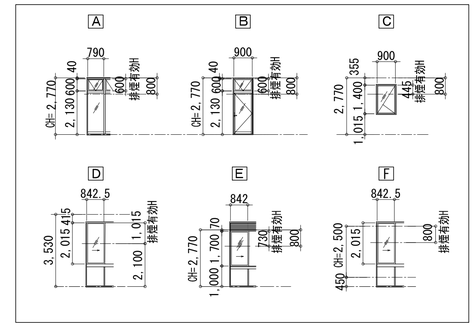
室 名	床面積	姿図番号	排煙面積（A×1/50） 法定	設 計	判別	換気面積（A×1/20） 法定	設 計	判別	採光面積（A×1/20） 法定	設 計	判別
事務スペース 客溜り EVホール トイレ前室	337.7㎡	A B	6.76㎡	片引き窓： H 0.73×W0.842×8カ所= 4.91 外突出シ窓：H 0.80×W0.79×3カ所= 1.89 6.80 ㎡	OK	16.89㎡	片引き窓：H1.7×W0.842×8カ所=11.45 外突出シ窓：H0.80×W0.79×3カ所=1.90 片開き戸：H1.9×W0.79×3カ所 = 4.50 17.85㎡	OK	23.20㎡	換気計算にて1/20以上あり。 他に FIX窓があるため 1/20以上クリア	OK
町長室	44.7㎡	C	0.90㎡	片引き窓： H 0.55×W0.842×2カ所= 0.92　0.92 ㎡	OK	2.24㎡	片引き窓：H1.7×W0.842×2カ所=2.86　2.86㎡	OK	2.24㎡	換気計算にて1/20以上あり。	OK
応接室	32.7㎡	A	0.66㎡	片引き窓： H 0.73×W0.842×2カ所= 1.22　1.22 ㎡	OK	1.64㎡	片引き窓：H1.7×W0.842×2カ所=2.86　2.86㎡	OK	1.64㎡	換気計算にて1/20以上あり。	OK
副町長室	32.7㎡	A	0.66㎡	片引き窓： H 0.73×W0.842×2カ所= 1.22　1.22 ㎡	OK	1.64㎡	片引き窓：H1.7×W0.842×2カ所=2.86　2.86㎡	OK	1.64㎡	換気計算にて1/20以上あり。	OK
防災室・会議室	88.1㎡	A	1.77㎡	片引き窓： H 0.73×W0.842×4カ所= 2.45　2.45 ㎡	OK	4.41㎡	片引き窓：H1.7×W0.842×4カ所=5.72　5.72㎡	OK	4.41㎡	換気計算にて1/20以上あり。	OK
職員休憩室	58.9㎡	A	1.18㎡	片引き窓： H 0.73×W0.842×4カ所= 2.45　2.45 ㎡	OK	2.95㎡	片引き窓：H1.7×W0.842×4カ所=5.72　5.72㎡	OK	2.95㎡	換気計算にて1/20以上あり。	OK
既存事務室 増築連絡通路	346.83㎡	D E	6.94㎡	片開き窓： H 0.80×W0.82×10カ所= 6.56 片引き窓： H 0.74×W0.80= 0.59　7.15 ㎡	OK	既存事務室 ： 変更ナシ			既存事務室 ： 変更ナシ		
既存部資料室	58.9㎡	F	1.18㎡	引違い窓： H 0.82×W0.80×2カ所 = 1.31　1.31 ㎡	OK	2.95㎡	引違い窓：H 1.9×W0.80×2カ所 = 3.11　3.11㎡	OK	2.95㎡	換気計算にて1/20以上あり。	OK

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日 付	縮 尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:150 A3　1:300	長南町役場庁舎建設工事	A−16
		図面名称 2階平面図(法チェック図)	



3階平面図（法チェック図） S=1/150



□ 凡 例

- ・・延焼のおそれのある部分ライン
- ・・排煙区画
- ・・防火区画
  コンクリート壁
  LGS下地PB 12.5+硬質PB 9.5 両面貼
- Ⓐ・・サッシ部；耐火ボード（t=35）W=900
- ・・避難経路
- ・・自然排煙　・・自然排煙i位置
- (二)・・H12告示第1436号四ハ（2）
- (四)・・H12告示第1436号四ハ（4）
- SS・・常時開放式・熱感連動特定防火設備
  非常停止装置付
- 特・・特定防火設備（常時閉鎖戸）
- 特・・特定防火設備
  随時閉鎖式・熱感連動自閉式特定防火設備
- 防・・防火設備　常時閉鎖式防火設備
- 防・・防火設備（網入り板ガラス窓）
- ▼・・非常進入口位置（3Ｆ）
- ・・屋内消火栓位置
- ・・既存部分未改修部分

□ 特 記

1. 面積区画は1,500㎡以内とする。
2. 延焼の恐れのある部分の開口部は防火設備
   換気口及び吸気口等はすべてFD付とする。
3. 防火区画開口部は特定防火設備
   貫通部は不燃材FD付とする。
4. 内装仕上はすべて準不燃以上とする
5. PS DSは　水平区画スラブ付
6. 異種用途区画・階段・EV 防火区画の
   特定防火設備は遮煙性能あり

□ 直通階段に至る歩行距離

<議員控室>
歩行距離 8.2+2.4+9.4+13.4+6.0 = 39.4m ＜ 60m O.K
重複距離 8.2+2.4 = 10.6m ＜ 30m O.K

<委員会室>
歩行距離 8.0+4.3+13.4+9.4+2.4 = 37.5m ＜ 60m O.K
重複距離 8.0+4.3 = 12.3m ＜ 30m O.K

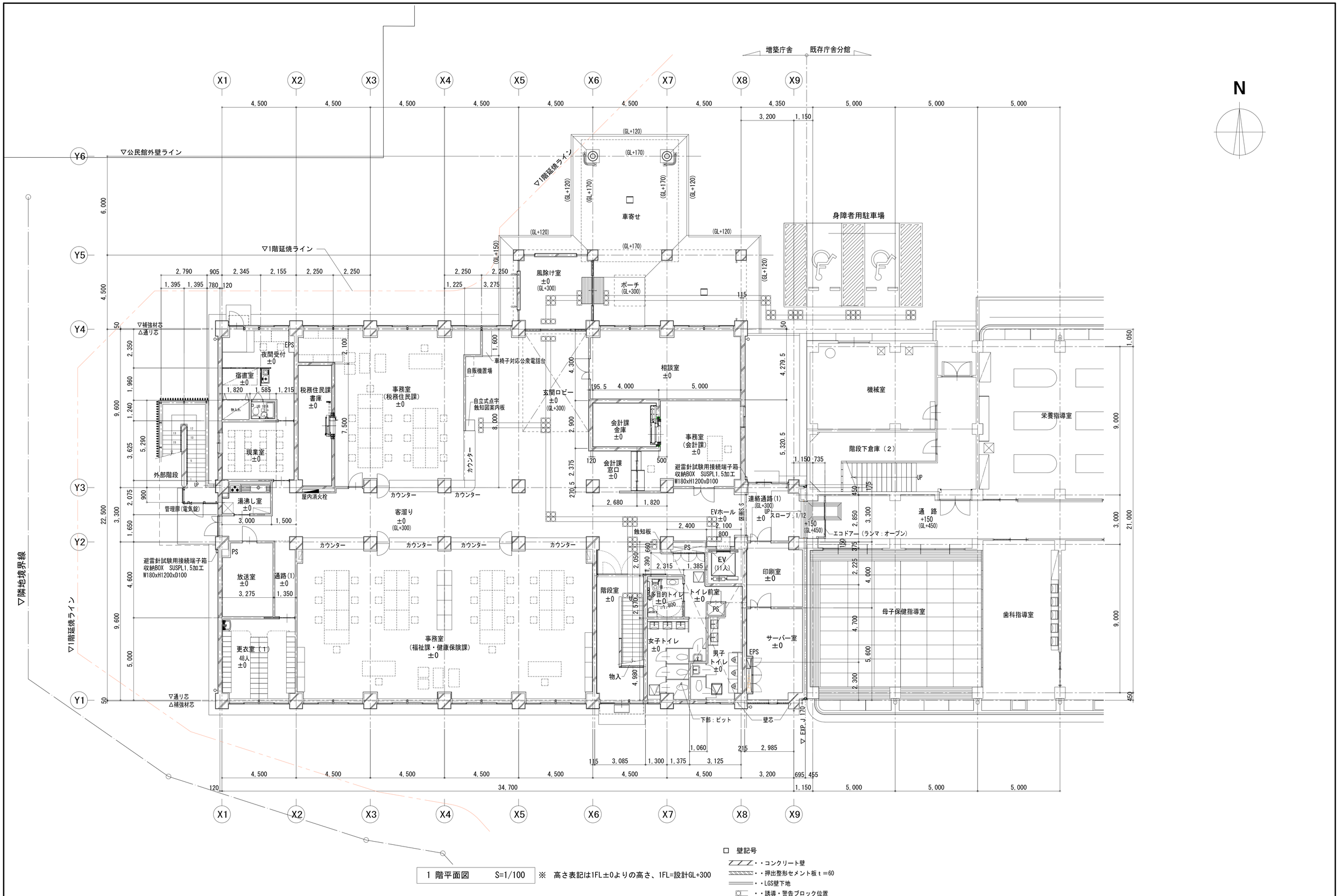
<議　場>
歩行距離 13.0+1.5+13.4+6.0 = 33.9m ＜ 60m O.K
重複距離 13.0+1.5 = 14.5m ＜ 30m O.K

■ 1階居室の排煙・換気・採光

室　名	床面積	姿図番号	排煙面積（A×1/50） 法定	設　計	判別	換気面積（A×1/20） 法定	設　計	判別	採光面積（A×1/20） 法定	設　計	判別
廊下 EVホール トイレ前室	134.0㎡	A B C	2.68㎡	外突出シ窓：H 0.60×W0.79×3カ所= 1.42 外突出シ窓：H 0.60×W0.90= 0.54 辷出し窓： H 0.445×W0.90×2カ所= 0.80 2.76 ㎡	OK	6.70㎡	外突出シ窓：H0.60×W0.79×3カ所=1.42 H2.00×W0.79 = 5.48 外突出シ窓：H 0.60×W0.90= 0.54 H2.00×W0.90 =1.80 辷出し窓：H1.40×W0.90×2カ所=2.52 11.76㎡	OK	6.70㎡	換気計算にて1/20以上あり。 他に FIX窓があるため 1/20以上クリア	OK
議場・傍聴席	247.6㎡	D	4.96㎡	片引き窓： H 1.015×W0.842×9カ所= 7.69	0.92 ㎡ OK	12.38㎡	片引き窓：H1.7×W0.842×2カ所=2.86	2.86㎡ OK	12.38㎡	換気計算にて1/20以上あり。	OK
議員控室	67.1㎡	E	1.35㎡	片引き窓： H 0.73×W0.842×4カ所= 2.45	2.45 ㎡ OK	3.36㎡	片引き窓：H1.7×W0.842×4カ所=5.72	5.72㎡ OK	3.36㎡	換気計算にて1/20以上あり。	OK
議会図書室	33.1㎡	E	0.67㎡	片引き窓： H 0.73×W0.842×2カ所= 1.22	1.22 ㎡ OK	1.66㎡	片引き窓：H1.7×W0.842×2カ所=2.86	2.86㎡ OK	1.66㎡	換気計算にて1/20以上あり。	OK
議会事務局	33.1㎡	E	0.67㎡	片引き窓： H 0.73×W0.842×2カ所= 1.22	1.22 ㎡ OK	1.66㎡	片引き窓：H1.7×W0.842×2カ所=2.86	2.86㎡ OK	1.66㎡	換気計算にて1/20以上あり。	OK
応接室	33.1㎡	E	0.67㎡	片引き窓： H 0.73×W0.842×2カ所= 1.22	1.22 ㎡ OK	1.66㎡	片引き窓：H1.7×W0.842×2カ所=2.86	2.86㎡ OK	1.66㎡	換気計算にて1/20以上あり。	OK
委員会室	67.1㎡	E	1.35㎡	片引き窓： H 0.73×W0.842×4カ所= 2.45	2.45 ㎡ OK	3.36㎡	片引き窓：H1.7×W0.842×4カ所=5.72	5.72㎡ OK	3.36㎡	換気計算にて1/20以上あり。	OK
調整室	7.9㎡	F	0.16㎡	片引き窓： H 0.80×W0.842 = 0.67	0.67 ㎡ OK	0.40㎡	片引き窓：H1.7×W0.842 = 1.43	1.43㎡ OK	0.40㎡	換気計算にて1/20以上あり。	OK

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日　付	縮　尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:150 A3　1:300	長南町役場庁舎建設工事	A－17
		図面名称	3階平面図(法チェック図)



1 階平面図　S=1/100

※　高さ表記は1FL±0よりの高さ、1FL=設計GL+300

□ 壁記号

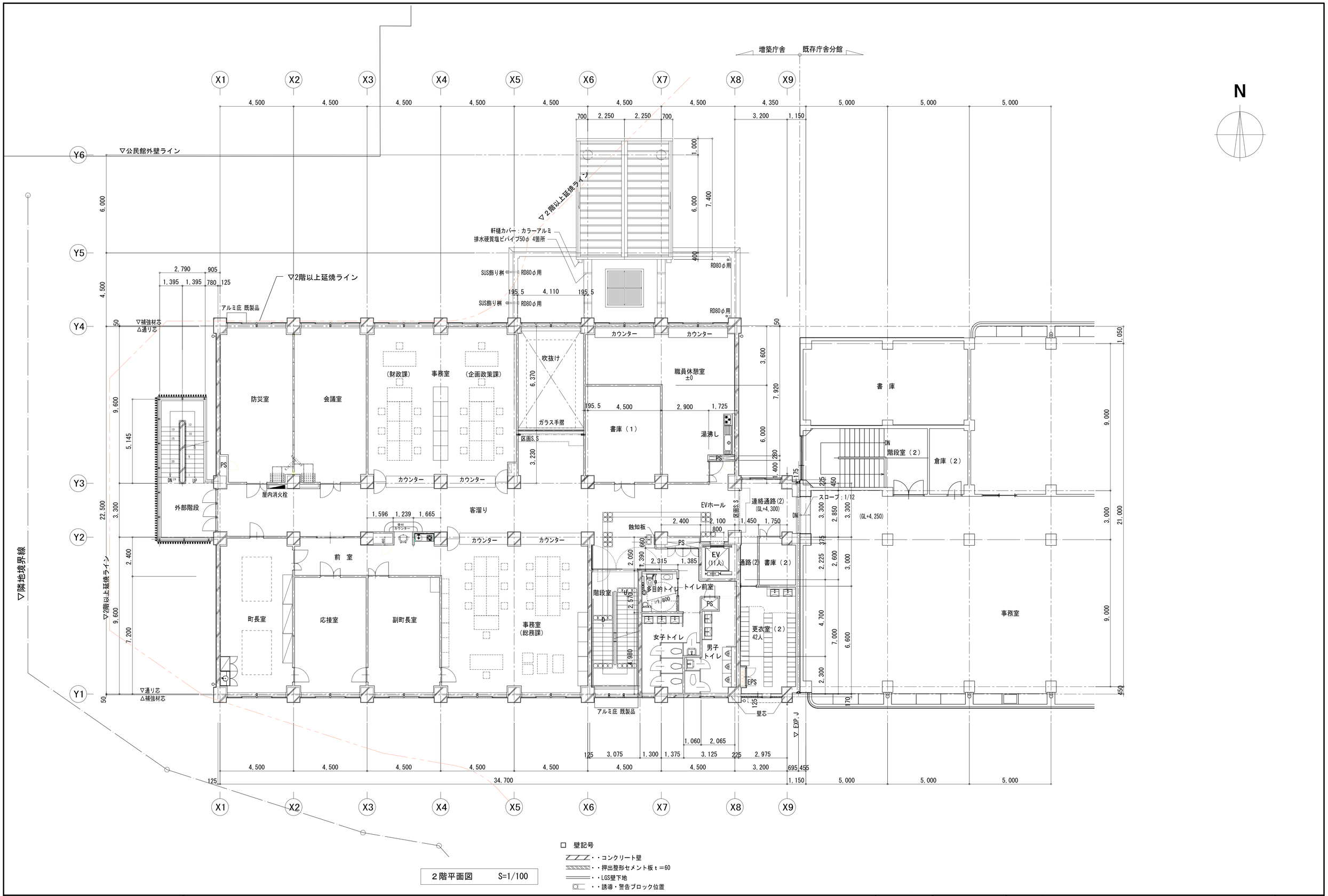
・・コンクリート壁

・・押出整形セメント板ｔ＝60

・・LGS壁下地

・・誘導・警告ブロック位置

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所		日　付 令和　3年　月	縮　尺 A1　1:100 A3　1:200	工事名称	長南町役場庁舎建設工事
				図面名称	1階平面図
				図面番号	A－18

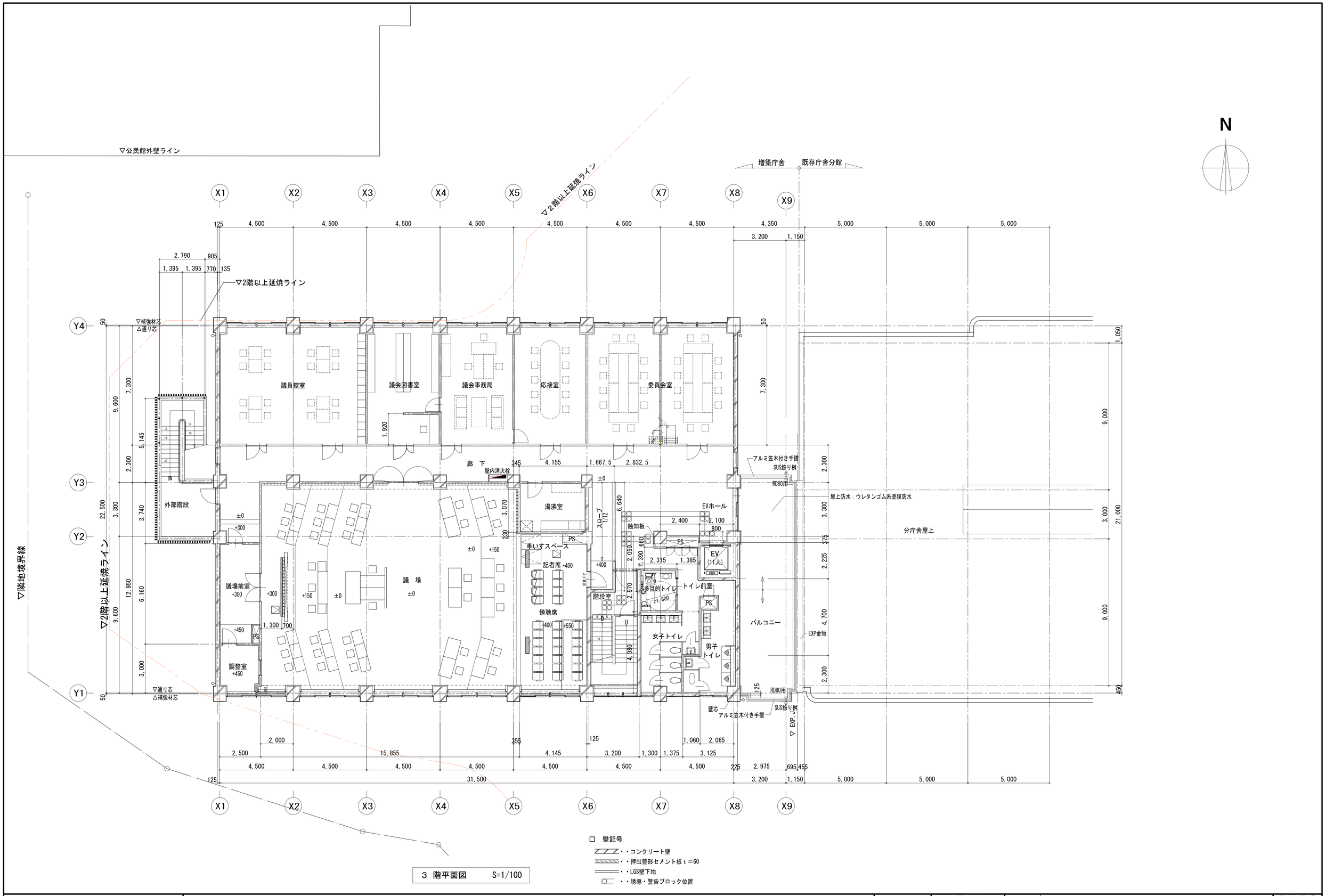


□ 壁記号

・・コンクリート壁
・・押出整形セメント板ｔ＝60
・・LGS壁下地
・・誘導・警告ブロック位置

２階平面図　S=1/100

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所	日付 令和 3年 月	縮尺 A1 1:100 A3 1:200	工事名称 図面名称	長南町役場庁舎建設工事 ２階平面図	図面番号 A－19



□ 壁記号

・・コンクリート壁

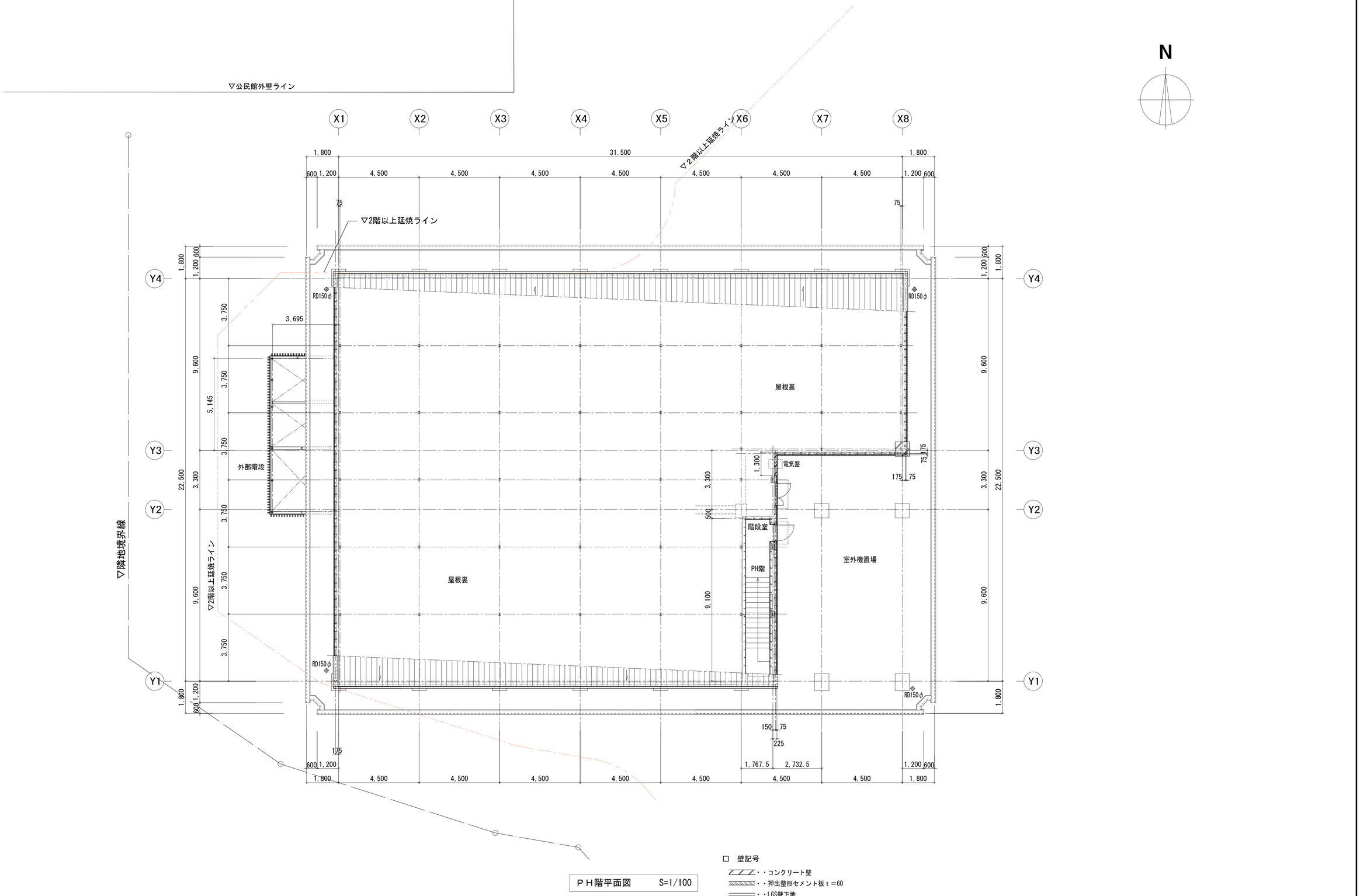
・・押出整形セメント板 t＝60

・・LGS壁下地

・・誘導・警告ブロック位置

3 階平面図　S=1/100

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所	日付 令和 3年 月	縮尺 A1 1:100 A3 1:200	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号 A－20
			図面名称	3階平面図	



PH階平面図　S=1/100

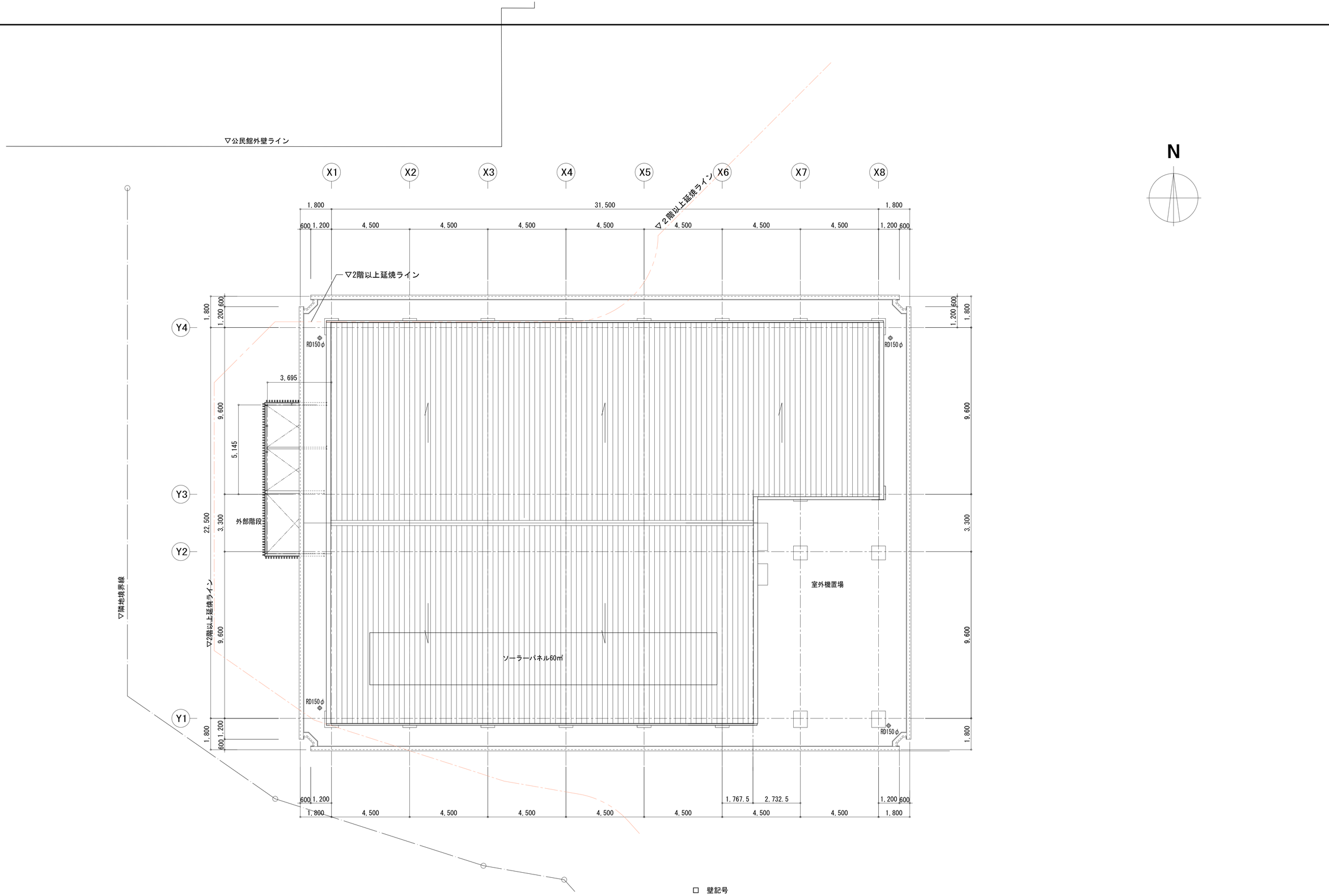
□ 壁記号

・・コンクリート壁

・・押出整形セメント板 t＝60

・・LGS壁下地

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所		日付 令和　3年　月	縮尺 A1　1:100 A3　1:200	工事名称 図面名称	長南町役場庁舎建設工事 PH階平面図
					図面番号 A－21



R 階平面図　S=1/100

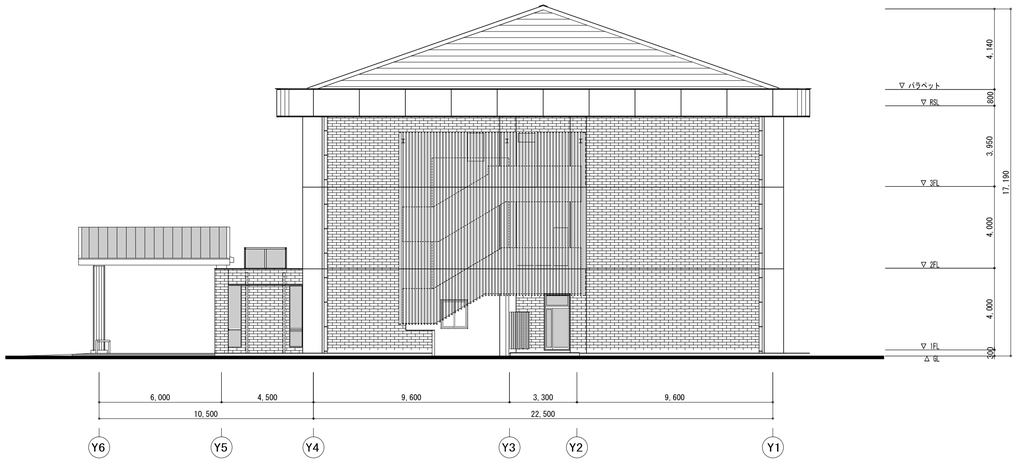
□ 壁記号

・・コンクリート壁

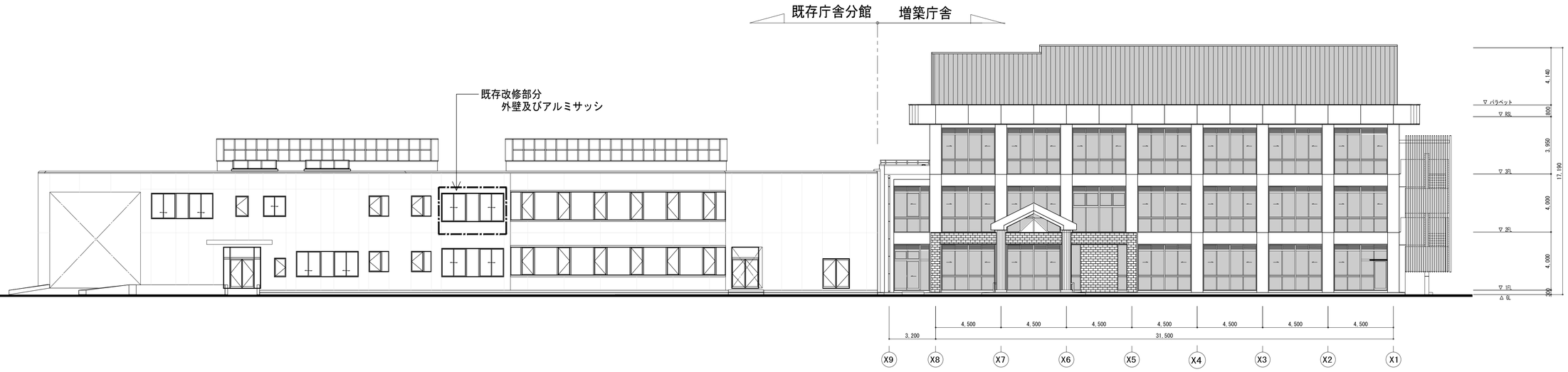
・・押出整形セメント板ｔ＝60

・・LGS壁下地

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所		日　付 令和　3年　月	縮　尺 A1　1:100 A3　1:200	工事名称 図面名称	長南町役場庁舎建設工事 屋根伏図
					図面番号 A－22



西側立面図　S=1/300



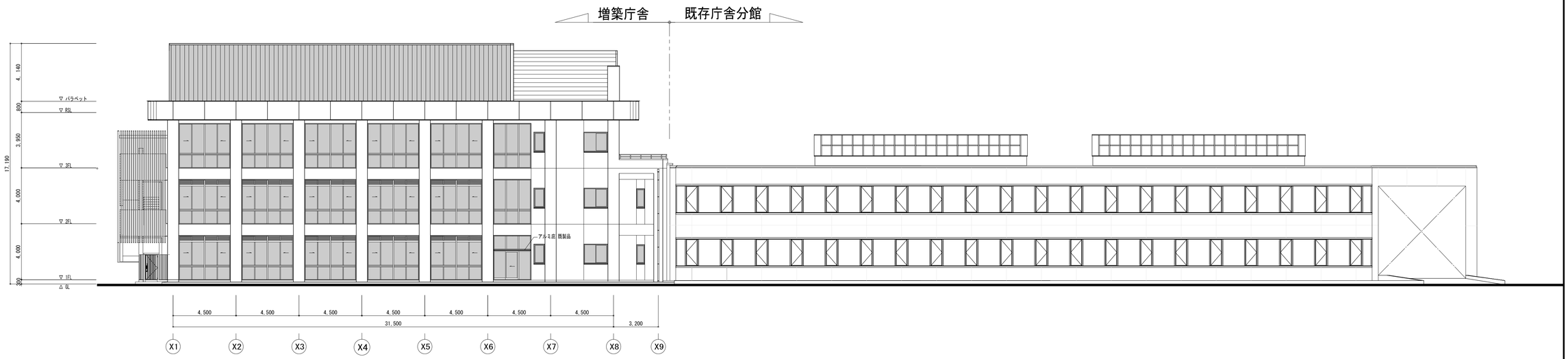
北側立面図　S=1/300

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:150 A3　1:300	長南町役場庁舎建設工事 図面名称　全体立面図-1	A－23



東側立面図　S=1/300



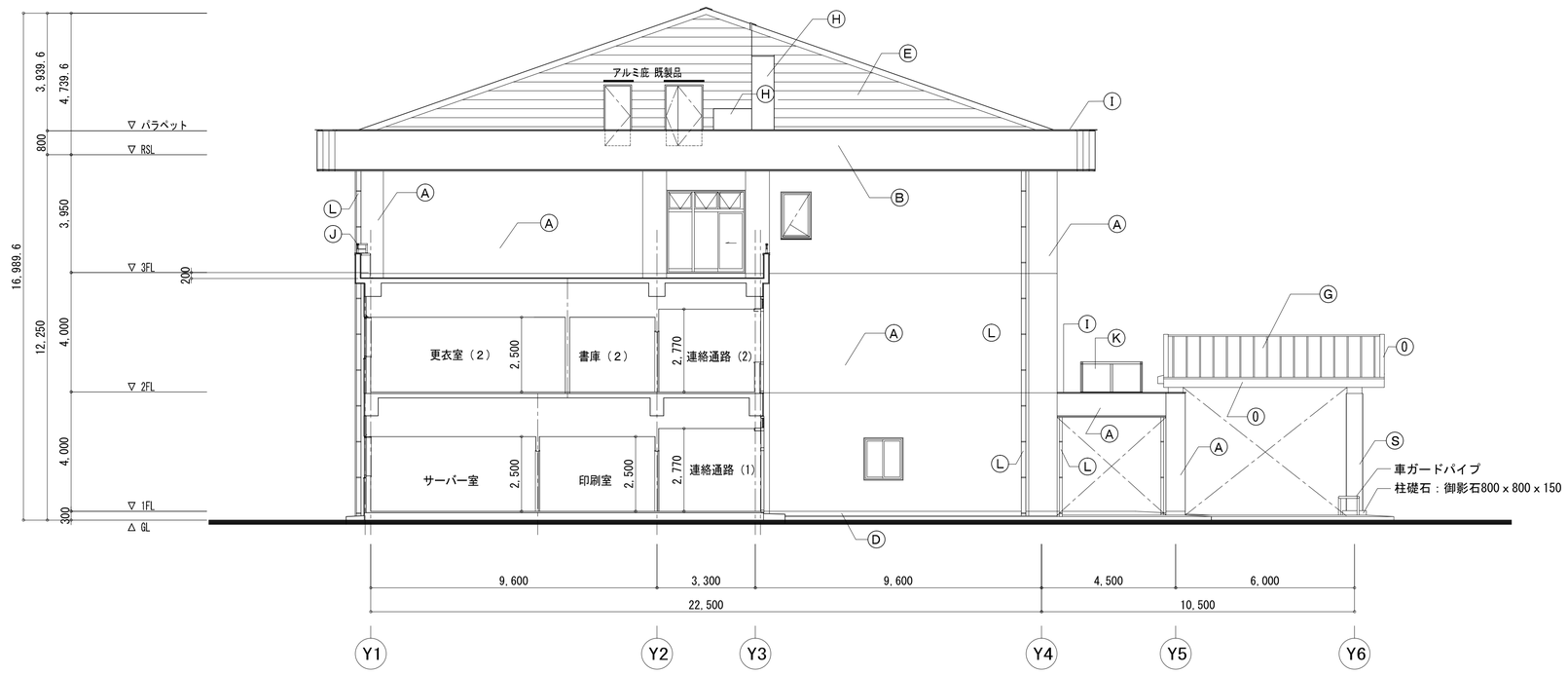
南側立面図　S=1/300

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:150 A3　1:300	長南町役場庁舎建設工事	A－24
		図面名称：全体立面図-2	



南側立面図　S=1/100



東側立面図　S=1/100

立面図凡例

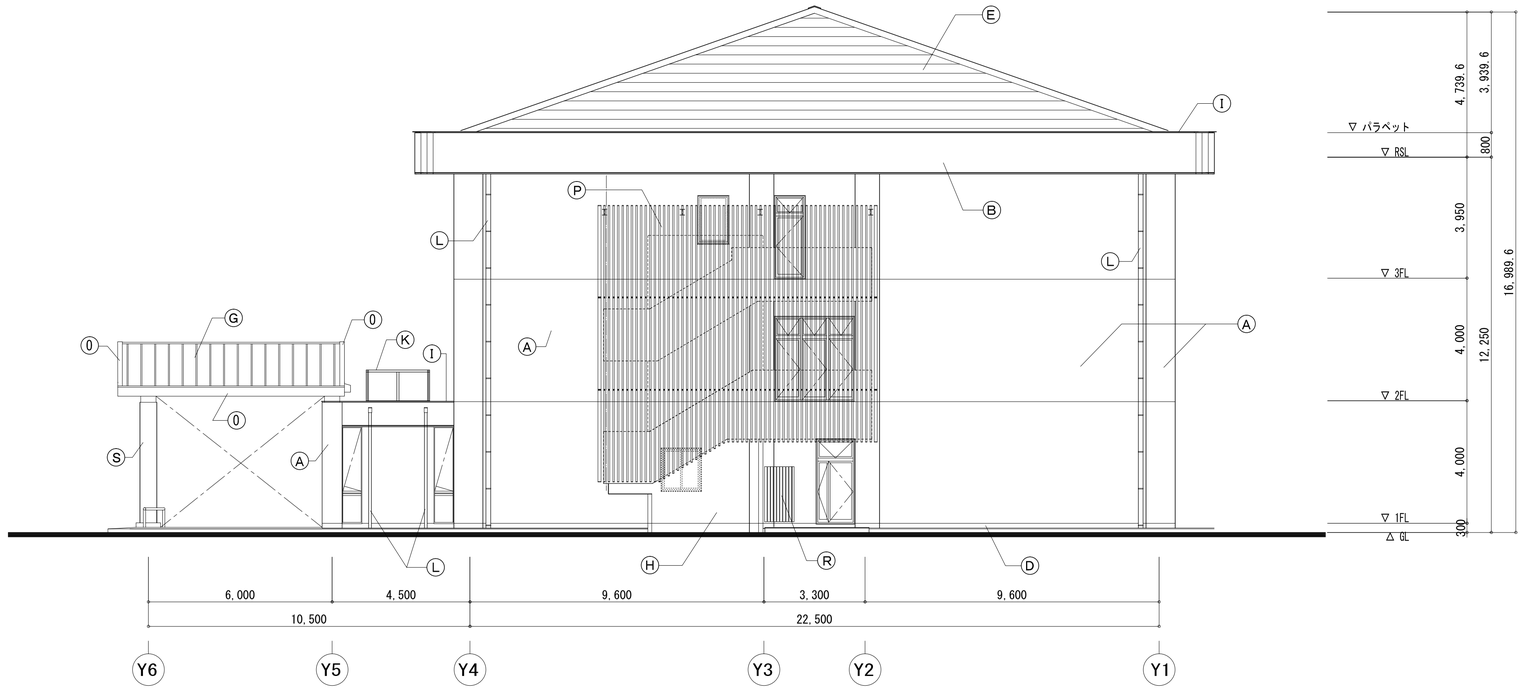
Ⓐ	外壁・梁・柱:コンクリート打放補修　50角二丁掛タイル接着貼り
Ⓑ	パラペット:コンクリート打放補修　50角二丁掛タイル接着貼り
Ⓒ	壁：押出整形セメント板ｔ＝60下地50角2丁掛け磁器タイル貼り
Ⓓ	根廻り：コンクリート打放補修　50角二丁掛タイル接着貼り
Ⓔ	壁：ラムダサイディングt=18（耐火仕様）超低汚染型水性フッ素樹脂塗料塗
Ⓕ	屋根：フッ素ガルバリウム鋼板t=0.5 大和葺き
Ⓖ	屋根：マッタラールﾌﾌ型 フッ素ガルバリウム鋼板t=0.5
Ⓗ	壁：コンクリート打放し補修 超低汚染フッ素樹脂塗装
Ⓘ	カラーアルミ製新意匠系除影笠木
Ⓙ	アルミ笠木付き手摺
Ⓚ	アルミ製固定トップライト
Ⓛ	SUS製パイプ竪樋165.2φ、89.1φ
Ⓜ	SUS製竪樋飾り桝
Ⓝ	SUS製EXP.J金物(W=100用)
Ⓞ	カラーアルミパネル
Ⓟ	人工木目調目隠しルーバー
Ⓠ	鉄骨表し：溶融亜鉛メッキ塗装
Ⓡ	木調カラーフェンス
Ⓢ	柱型：液晶化ガラス（円筒形）
▼	非常進入口位置（3Ｆ）

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和　3年　月	A1　1:100 A3　1:200	図面名称	増築立面図(1)	A－25



北側立面図　S=1/100



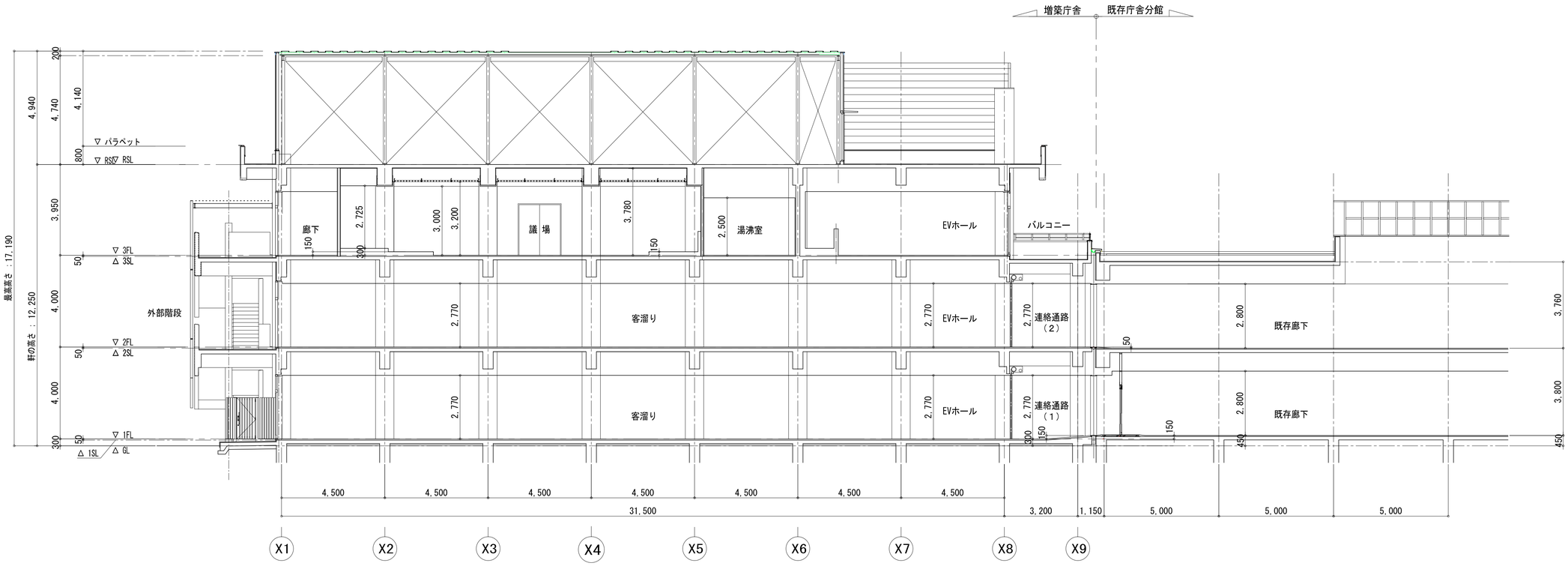
西側立面図　S=1/100

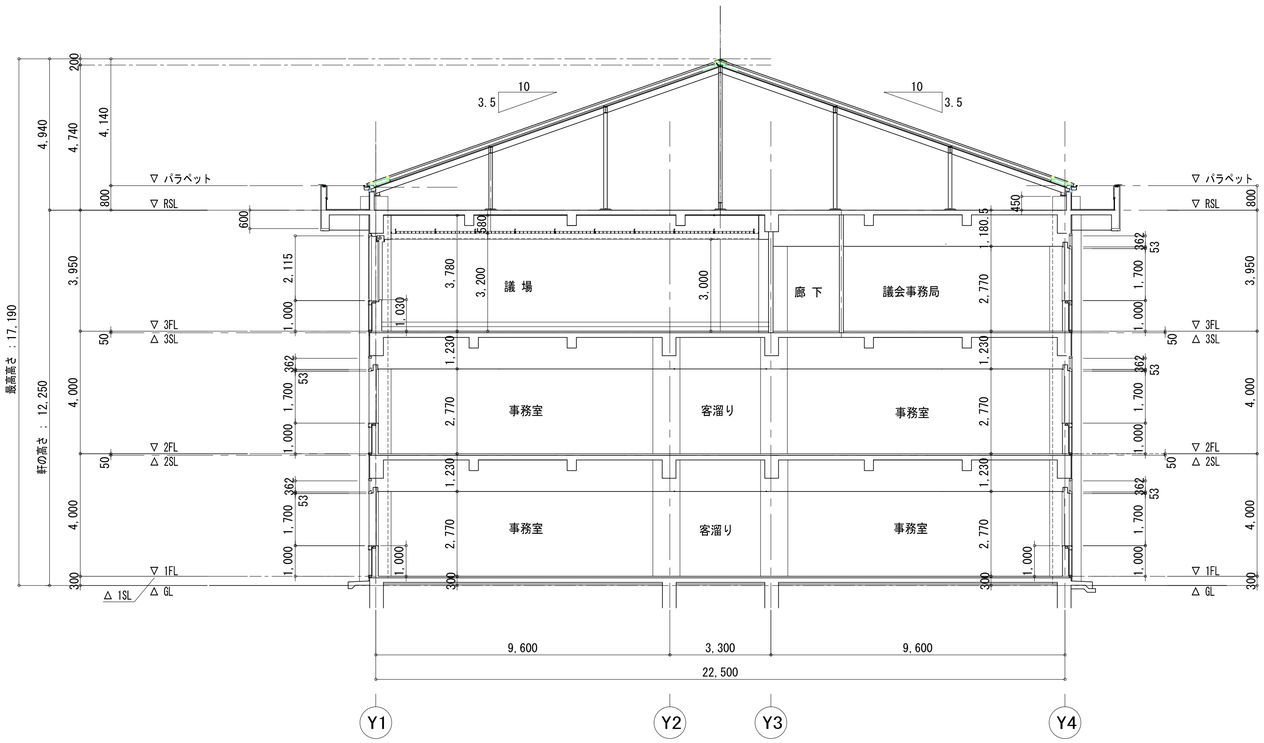
立面図凡例

Ⓐ	外壁・梁・柱:コンクリート打放補修　50角二丁掛タイル接着貼り
Ⓑ	パラペット:コンクリート打放補修　50角二丁掛タイル接着貼り
Ⓒ	壁：押出整形セメント板ｔ＝60下地50角2丁掛け磁器タイル貼り
Ⓓ	根廻り：コンクリート打放補修　50角二丁掛タイル接着貼り
Ⓔ	壁：ラムダサイディングt=18（耐火仕様）超低汚染型水性フッ素樹脂塗料塗
Ⓕ	屋根：フッ素ガルバリウム鋼板t=0.5 大和葺き
Ⓖ	屋根：マッタラールﾌﾌ型 フッ素ガルバリウム鋼板t=0.5
Ⓗ	壁：コンクリート打放し補修 超低汚染フッ素樹脂塗装
Ⓘ	カラーアルミ製新意匠系陰影笠木
Ⓙ	アルミ笠木付き手摺
Ⓚ	アルミ製固定トップライト
Ⓛ	SUS製パイプ竪樋165.2φ、89.1φ
Ⓜ	SUS製竪樋飾り桝
Ⓝ	SUS製EXP.J金物(W=100用)
⓪	カラーアルミパネル
Ⓟ	人工木目調目隠しルーバー
Ⓠ	鉄骨表し：溶融亜鉛メッキ塗装
Ⓡ	木調カラーフェンス
Ⓢ	柱型：液晶化ガラス（円筒形）
▼	非常進入口位置（3Ｆ）

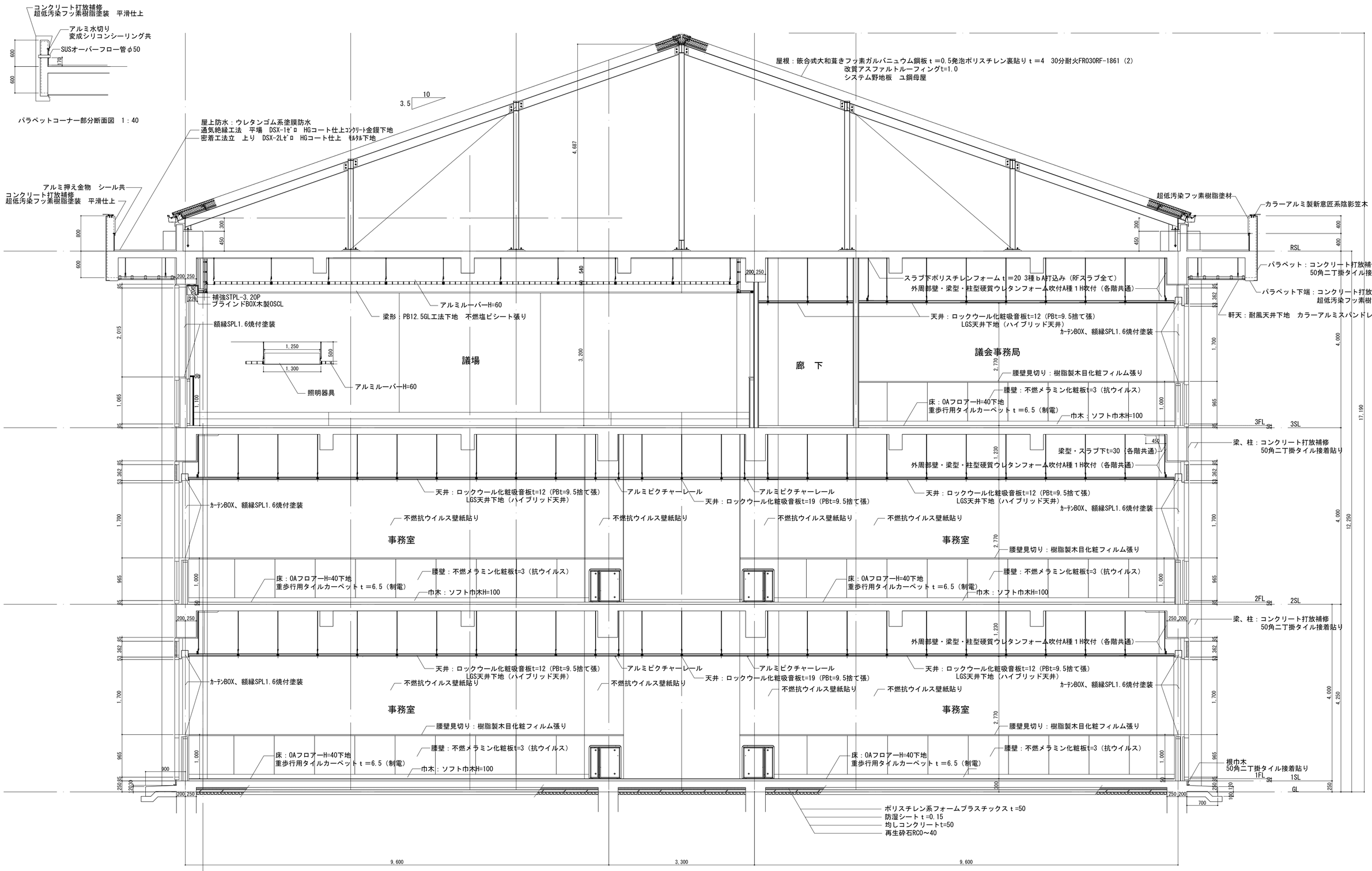
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:100 A3　1:200	長南町役場庁舎建設工事	A－25
		図面名称：増築立面図(2)	

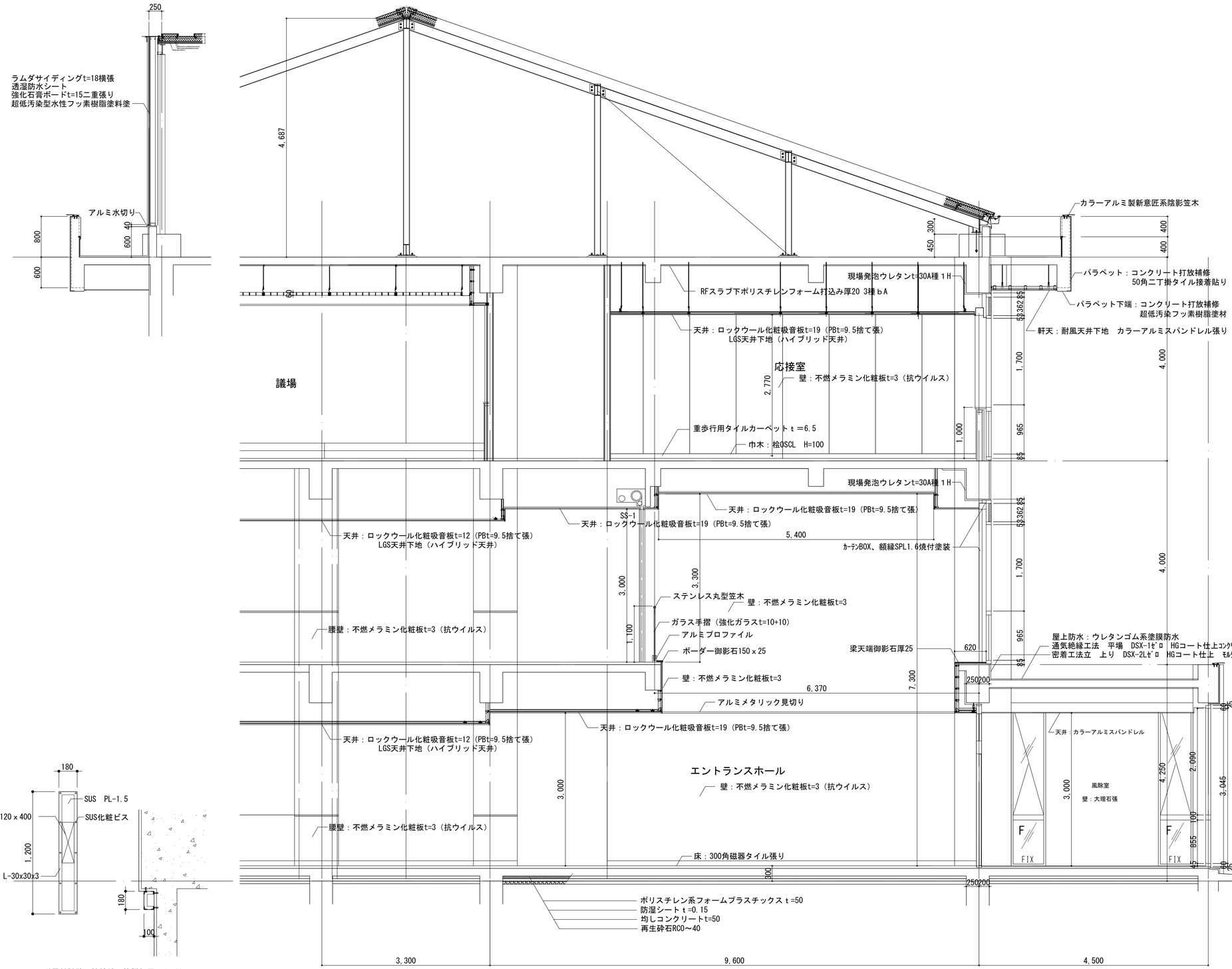




一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所		日　付 令和　3年　月	縮　尺 A1　1:100 A3　1:200	工事名称	長南町役場庁舎建設工事
				図面名称	断面図
				図面番号	A－27



一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所	一級建築士登録 第１６５８１４号 鹿　間　義　弘	日　付 令和　3年　月	縮　尺 A1　1：40 A3　1：80	工事名称	長南町役場庁舎建設工事
				図面名称	矩計図
				図面番号	A－２８



避雷針試験用接続端子箱詳細図　1：20

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所	一級建築士登録 第１６５８１４号 鹿　間　義　弘	日　付 令和　3年　月	縮　尺 A1　1：40 A3　1：80	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号 A－２９
				図面名称	矩計図(2)	

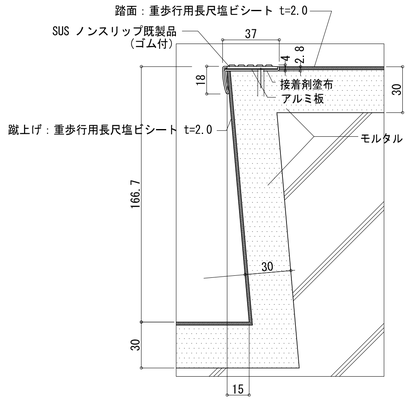
壁下地凡例

A	防火区画 ： LGS W=75 @303 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50　スラブ下マデ	L	RC壁・柱部： PB t=12.5　GL工法（t=30）
B	防火区画 ： LGS W=100 @303 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50　スラブ下マデ	M	RC壁・柱部： ポリスチレンフォーム t=20 打込み PB t=12.5　GL工法（t=30）
C	防火区画：胴縁 C-100×50×20×2.3 @455 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50　スラブ下マデ	N	RC壁・柱部： モルタル金鏝（t=25）
D	主要間仕切壁部 ： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50　スラブ下マデ	O	壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5+9.5
E	主要間仕切壁部 ： LGS W=90 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50　スラブ下マデ	P	添え壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5+9.5
F	間仕切壁部部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50	Q	添え壁部： LGS W=50 @455 PB t=12.5+9.5
G	間仕切壁部 ： LGS W=100 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50	R	添え壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5
H	間仕切壁部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5　スラブ下マデ	S	外壁部： タテ胴縁 C-100×50×20×2.3 @455
I	間仕切壁部： LGS W=90 @455 PB t=12.5+9.5　スラブ下マデ	T	木製胴縁：タテ胴縁 30×45 @450 ヨコ胴縁 45×25 @900 GW t=20 充填
J	間仕切壁部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5	U	RC壁： コンクリート打放し補修
K	間仕切壁部： LGS W=100 @455 PB t=12.5+9.5		

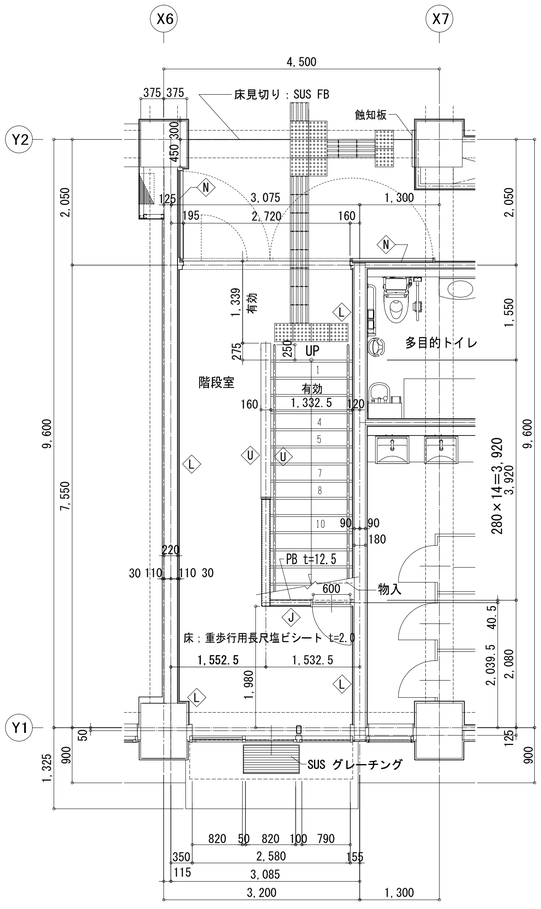
特記

壁付手摺：樹脂製抗菌手摺φ35
SUS支持金物 φ19 HL

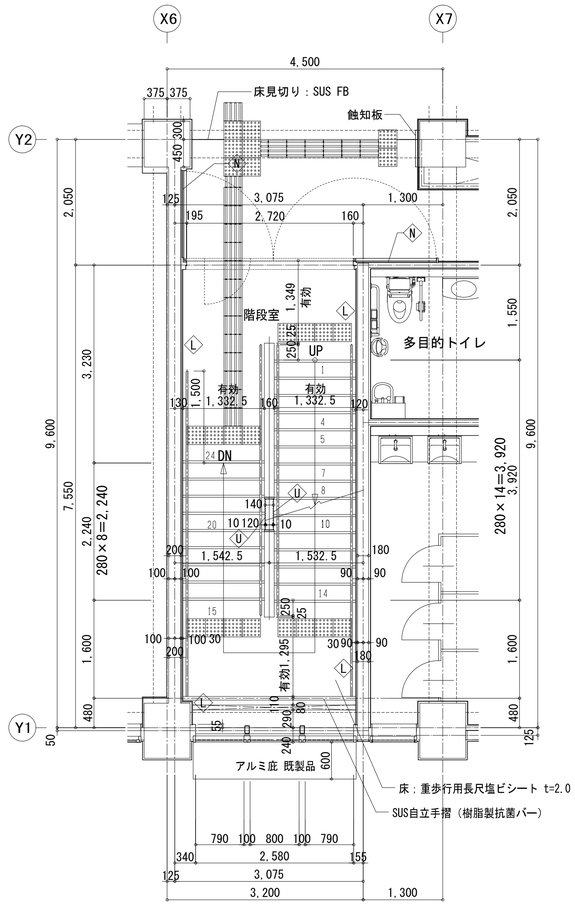
自立手摺：SUS手摺 樹脂製抗菌バー



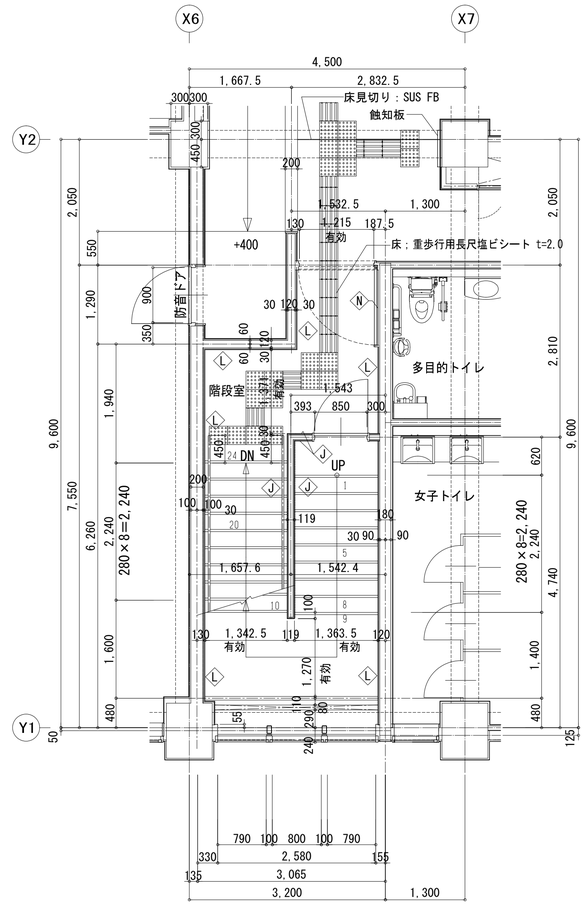
階段ノンスリップ詳細図　S=1/2



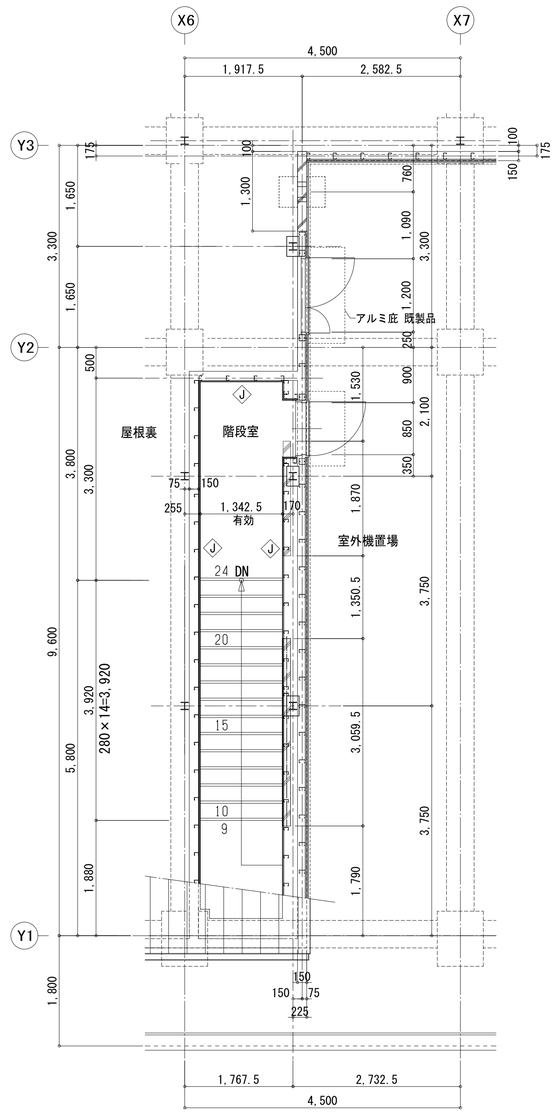
１階平面詳細図　S=1/50



２階平面詳細図　S=1/50



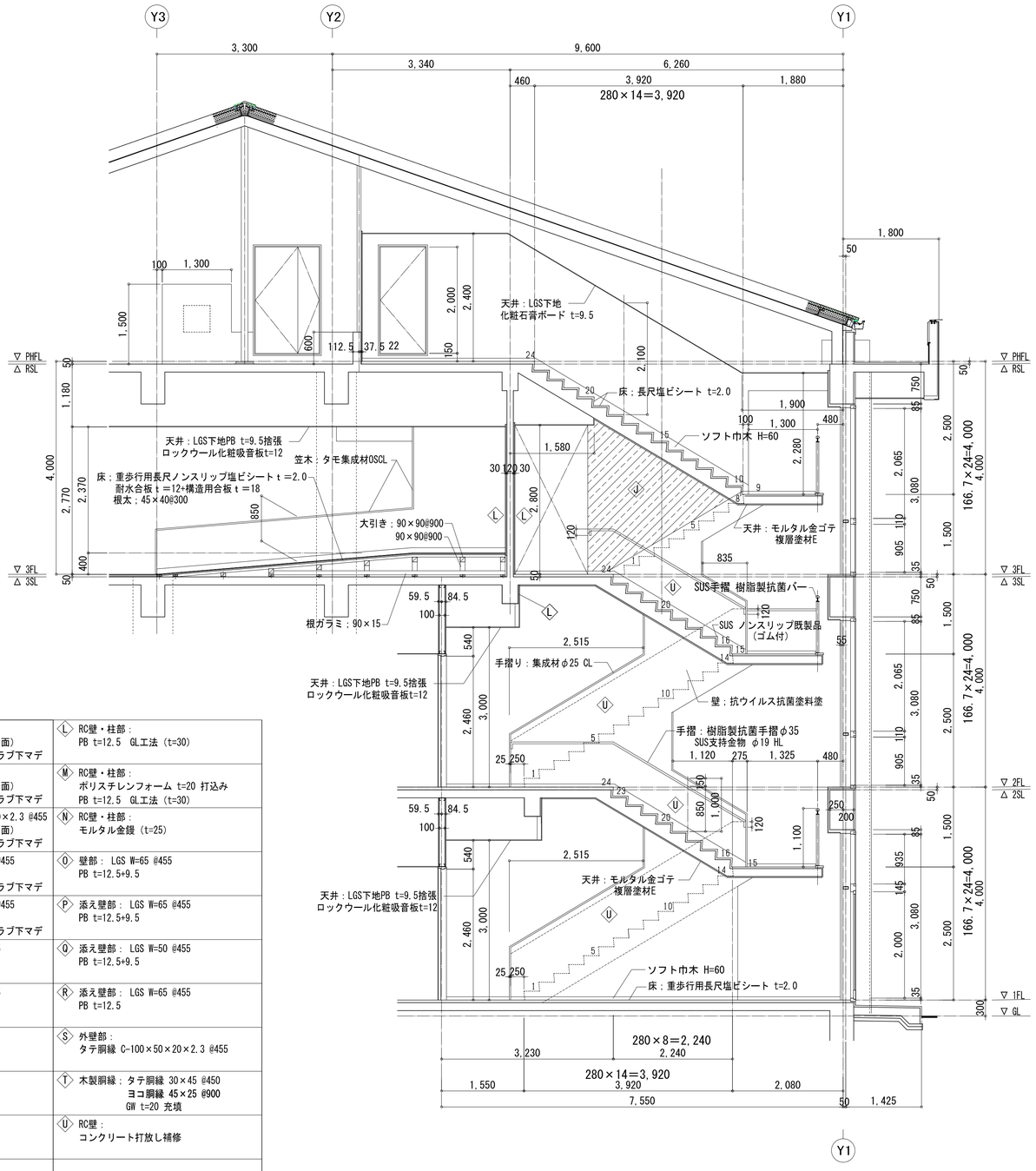
３階平面詳細図　S=1/50



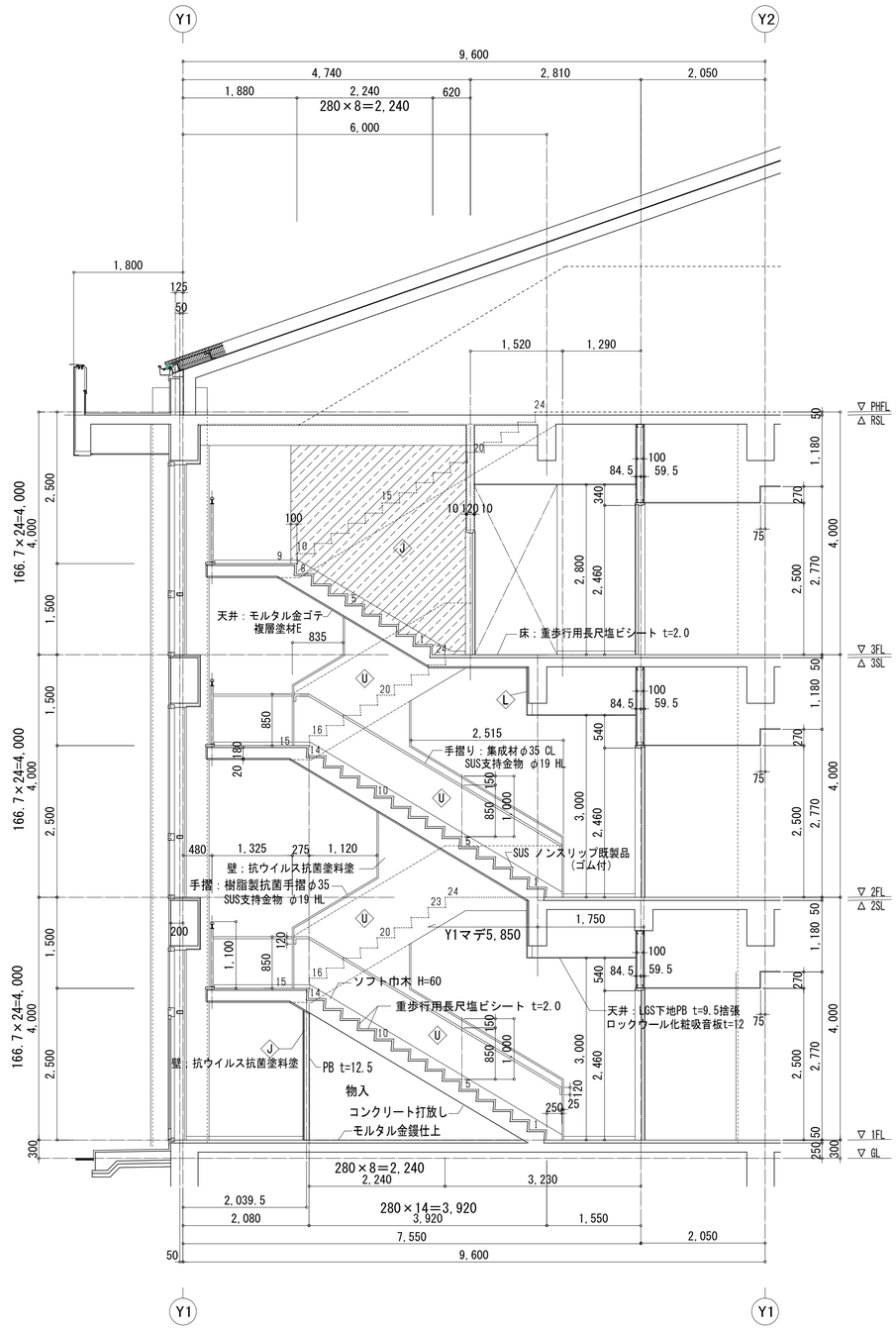
PH階平面詳細図　S=1/50

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1：50 A3　1:100	長南町役場庁舎建設工事	A－30
		図面名称：階段室詳細図（1）	



A-A 断面詳細図 S=1/50



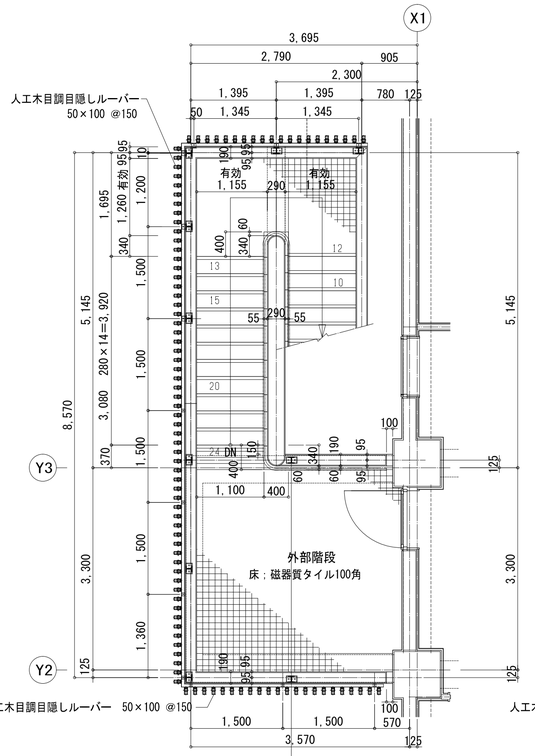
A-A 断面詳細図 S=1/50

壁下地凡例

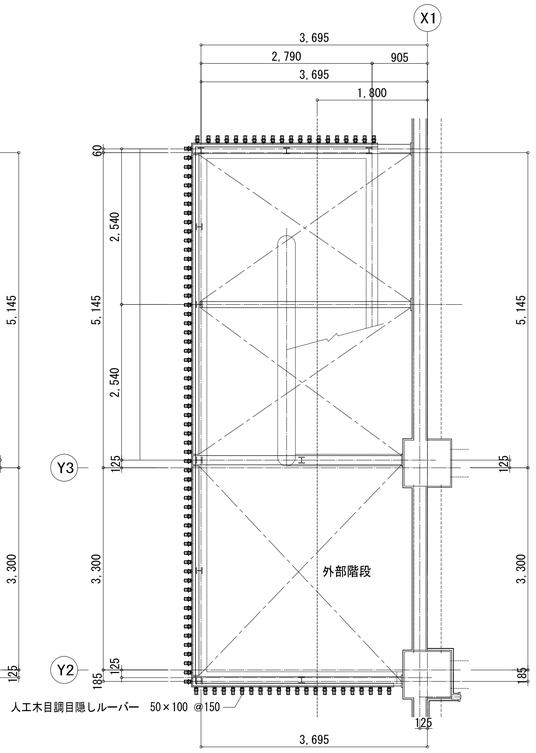
A	防火区画 ： LGS W=75 @303 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50 スラブ下マデ	L	RC壁・柱部： PB t=12.5 GL工法（t=30）
B	防火区画 ： LGS W=100 @303 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50 スラブ下マデ	M	RC壁・柱部： ポリスチレンフォーム t=20 打込み PB t=12.5 GL工法（t=30）
C	防火区画：胴縁 C-100×50×20×2.3 @455 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50 スラブ下マデ	N	RC壁・柱部： モルタル金鏝（t=25）
D	主要間仕切壁部 ： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50 スラブ下マデ	O	壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5+9.5
E	主要間仕切壁部 ： LGS W=90 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50 スラブ下マデ	P	添え壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5+9.5
F	間仕切壁部部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50	Q	添え壁部： LGS W=50 @455 PB t=12.5+9.5
G	間仕切壁部 ： LGS W=100 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50	R	添え壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5
H	間仕切壁部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5 スラブ下マデ	S	外壁部： タテ胴縁 C-100×50×20×2.3 @455
I	間仕切壁部： LGS W=90 @455 PB t=12.5+9.5 スラブ下マデ	T	木製胴縁：タテ胴縁 30×45 @450 ヨコ胴縁 45×25 @900 GW t=20 充填
J	間仕切壁部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5	U	RC壁： コンクリート打放し補修
K	間仕切壁部： LGS W=100 @455 PB t=12.5+9.5		

一級建築士事務所 千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社 千町村建築研究所

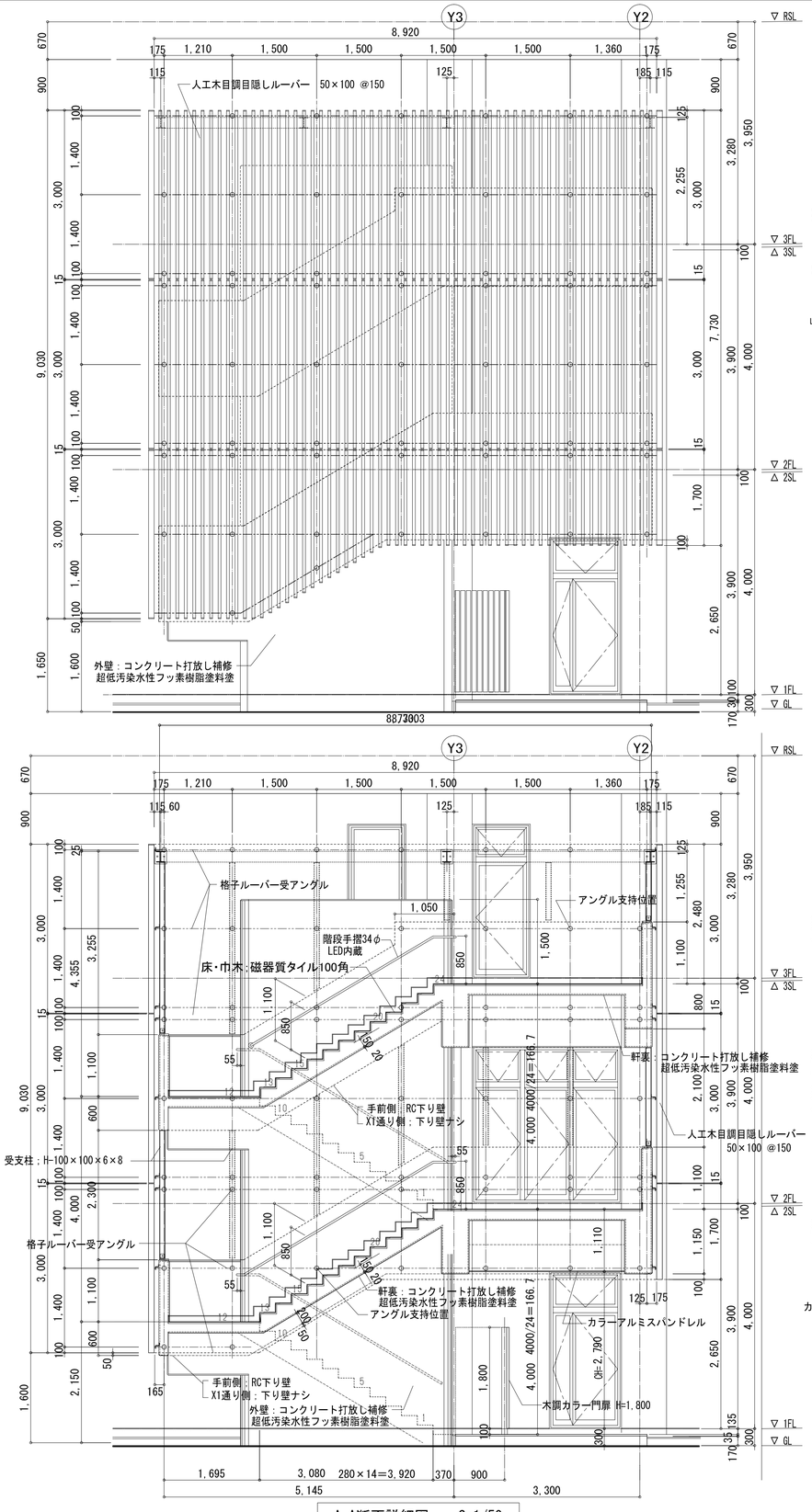
日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和 3年 月	A1 1:50 A3 1:100	長南町役場庁舎建設工事	A－31
		図面名称 階段室詳細図(2)	



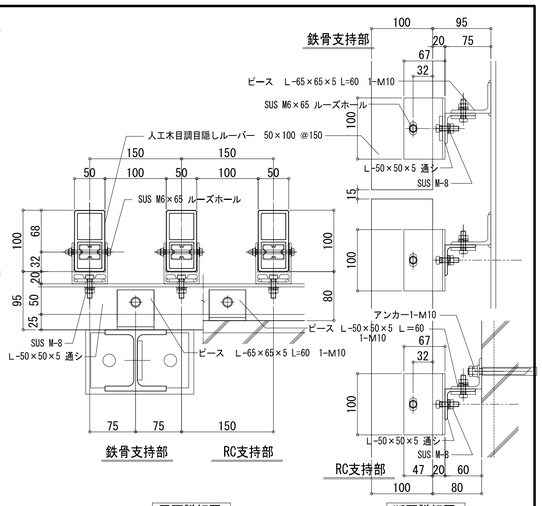
３階平面詳細図　S=1/50



頭部伏図　S=1/50



A-A断面詳細図　S=1/50



格子ルーバー詳細図　S=1/5　※ ABC紹介　アースウッド同等品

□ 特記事項

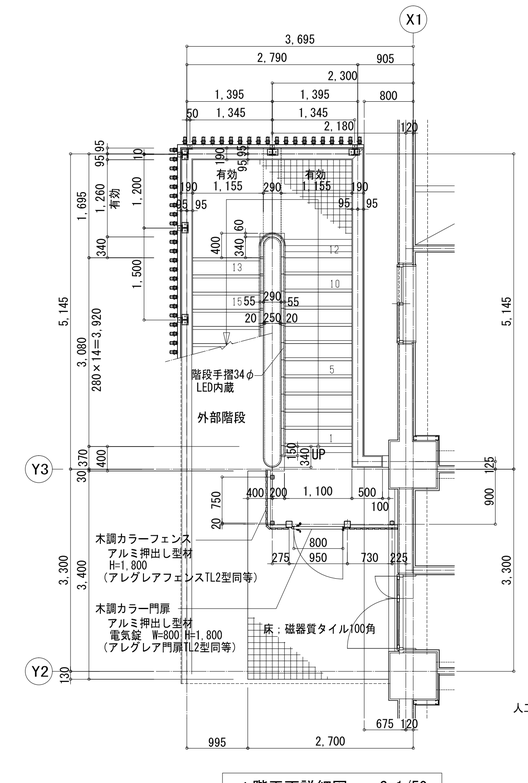
見え掛り鉄骨部塗装は、溶融亜鉛メッキ塗装とする。

□ 階段手摺仕様

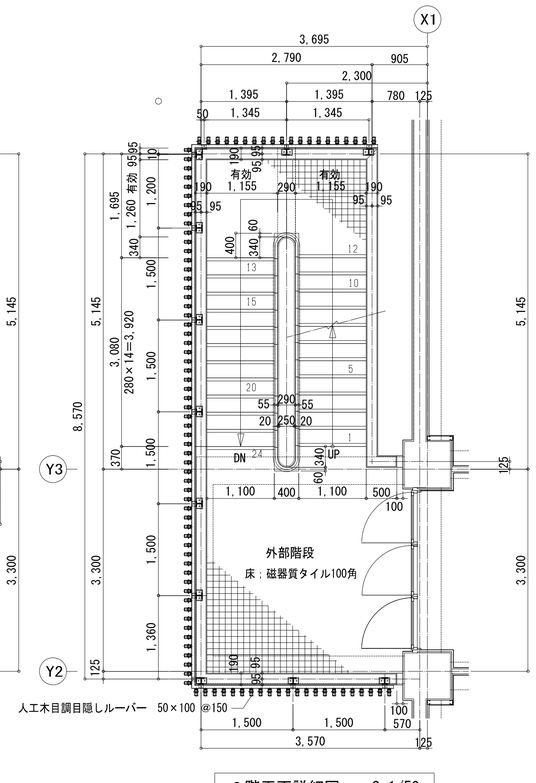
手摺笠木：半硬質耐候性樹脂二層成形 34φ
LED内蔵（高耐候・光触媒・抗菌仕様）
笠木受：アルミニウム押出形材
エンドキャップ：硬質樹脂
ナカエ工業 同等品

B-B断面詳細図　S=1/50

凡例
----- ；格子ルーバー受アングル
○ ；受アングル支持位置

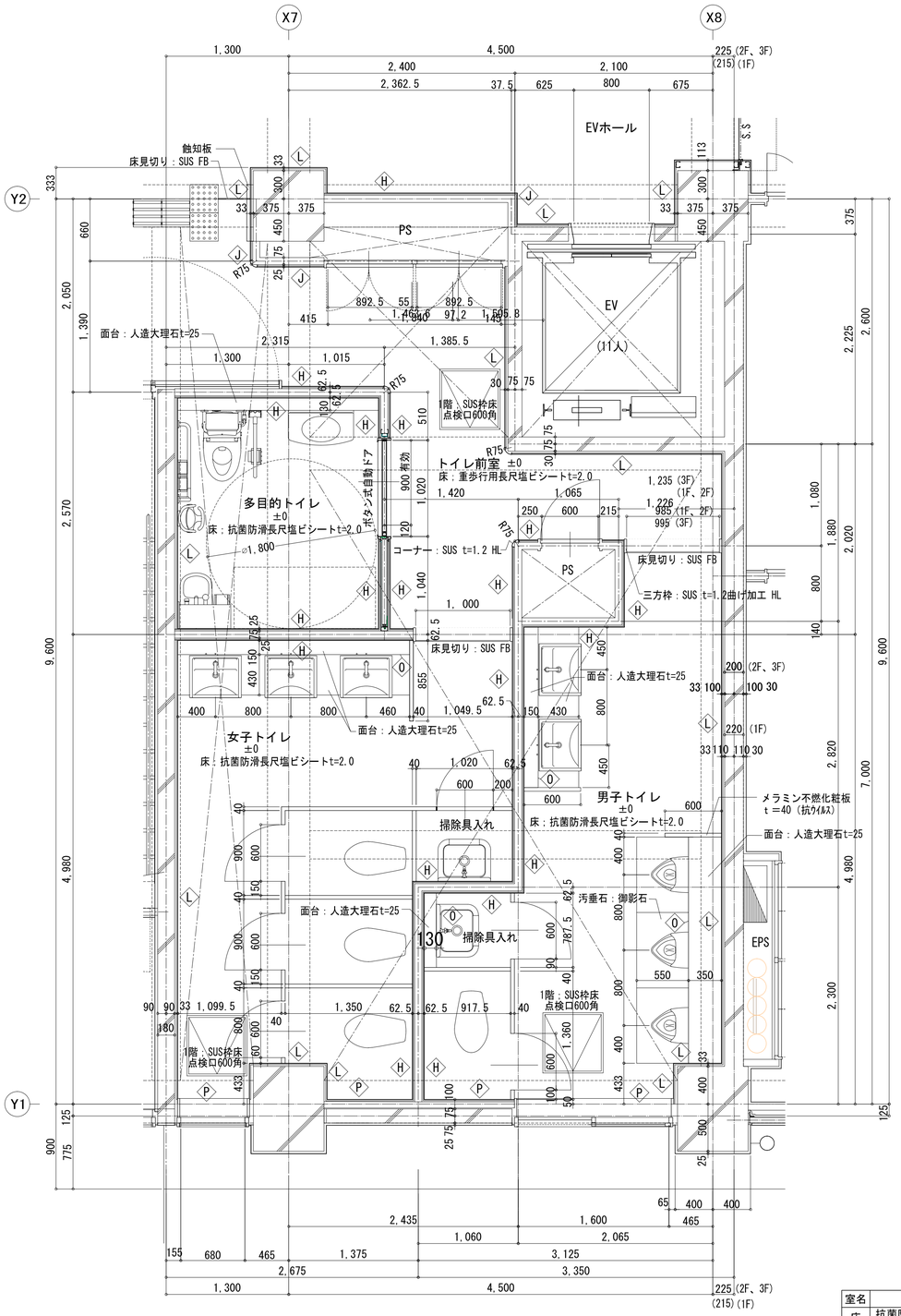


１階平面詳細図　S=1/50

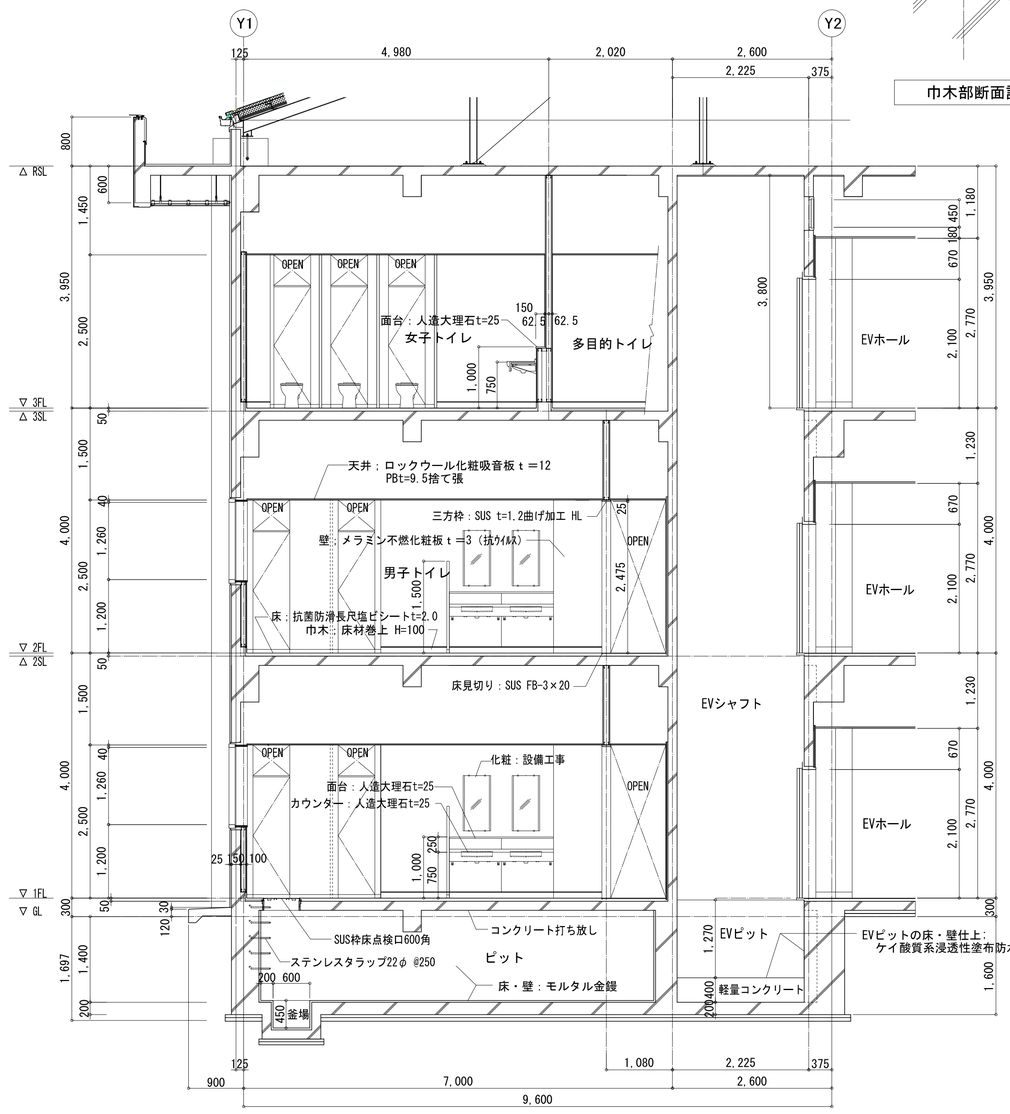


２階平面詳細図　S=1/50

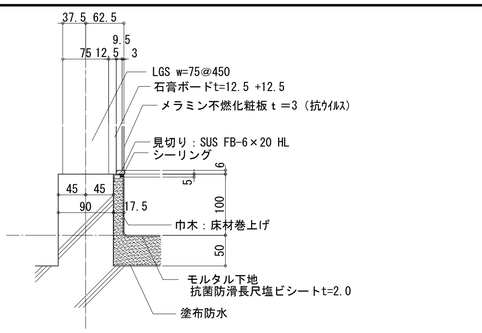
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所		日付 令和　3年　月	縮尺 A1　1：50 A3　1:100	工事名称	長南町役場庁舎建設工事
				図面名称	外部階段詳細図
				図面番号	A－32



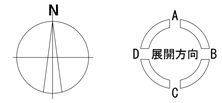
平面詳細図　S=1/30



平面詳細図　S=1/30



巾木部断面詳細図　S=1/5



壁下地凡例

Ⓐ	防火区画 ： LGS W=75 @303 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50　スラブ下マデ
Ⓑ	防火区画 ： LGS W=100 @303 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50　スラブ下マデ
Ⓒ	防火区画：胴縁 C-100×50×20×2.3 @455 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50　スラブ下マデ
Ⓓ	主要間仕切壁部 ： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50　スラブ下マデ
Ⓔ	主要間仕切壁部 ： LGS W=90 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50　スラブ下マデ
Ⓕ	間仕切壁部部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50
Ⓖ	間仕切壁部 ： LGS W=100 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50
Ⓗ	間仕切壁部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5　スラブ下マデ
Ⓘ	間仕切壁部： LGS W=90 @455 PB t=12.5+9.5　スラブ下マデ
Ⓙ	間仕切壁部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5
Ⓚ	間仕切壁部： LGS W=100 @455 PB t=12.5+9.5
Ⓛ	RC壁・柱部： PB t=12.5　GL工法（t=30）
Ⓜ	RC壁・柱部： ポリスチレンフォーム t=20 打込み PB t=12.5　GL工法（t=30）
Ⓝ	RC壁・柱部： モルタル金鏝（t=25）
Ⓞ	壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5+9.5
Ⓟ	添え壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5+9.5
Ⓠ	添え壁部： LGS W=50 @455 PB t=12.5+9.5
Ⓡ	添え壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5
Ⓢ	外壁部： タテ胴縁 C-100×50×20×2.3 @455
Ⓣ	木製胴縁： タテ胴縁 30×45 @450 ヨコ胴縁 45×25 @900 GW t=20 充填
Ⓤ	RC壁： コンクリート打放し補修

室名	男子トイレ
床	抗菌防滑長尺塩ビシートt=2.0 塗布防水+モルタル下地
巾木	床材巻上 H=100
腰壁	－
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）
天井	ロックウール化粧吸音板ｔ＝12 PBt=9.5捨て張
適用	面台、トイレブース、汚垂石 掃除用フック SUS枠床点検口600角、SUS タラップ22φ （1階）

室名	女子トイレ
床	抗菌防滑長尺塩ビシートt=2.0 塗布防水+モルタル下地
巾木	床材巻上 H=100
腰壁	－
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）
天井	ロックウール化粧吸音板ｔ＝12 PBt=9.5捨て張
適用	面台、トイレブース 掃除用フック SUS枠床点検口600角、SUS タラップ22φ （1階）

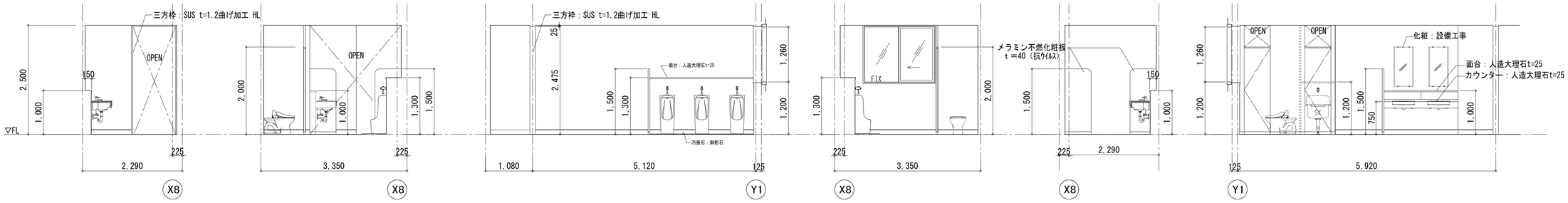
室名	多目的トイレ
床	抗菌防滑長尺塩ビシートt=2.0 塗布防水+モルタル下地
巾木	床材巻上 H=100
腰壁	－
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）
天井	ロックウール化粧吸音板ｔ＝12 PBt=9.5捨て張
適用	面台、L型手摺、可動手摺

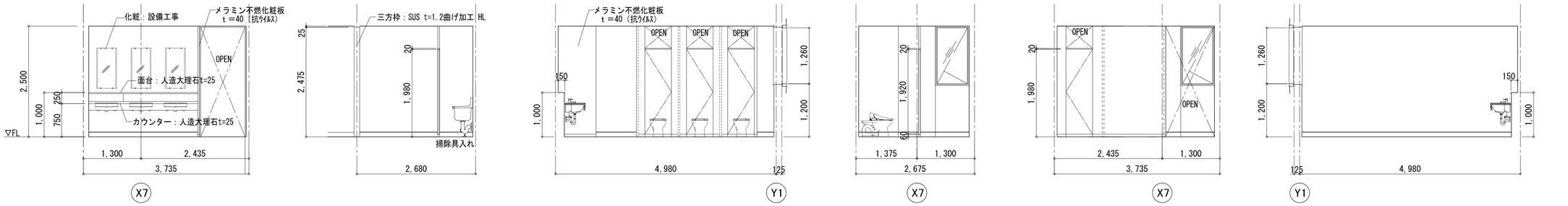
室名	トイレ前室
床	床：重歩行用長尺塩ビシートt=2.0
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	－
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）
天井	ロックウール化粧吸音板ｔ=19 PBt=9.5捨て張
適用	

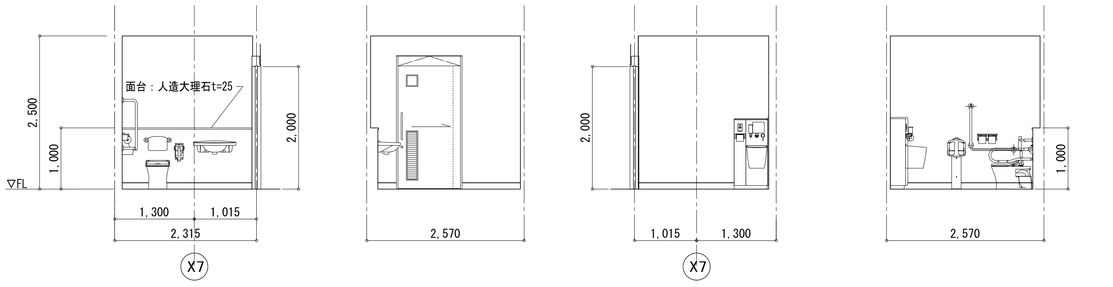
室名	EVホール
床	1F：磁器質300角磁器質タイル貼 2.3F：重歩行用タイルカーペット
巾木	金属巾木 H=100
腰壁	－
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）
天井	ロックウール化粧吸音板ｔ=19 PBt=9.5捨て張
適用	

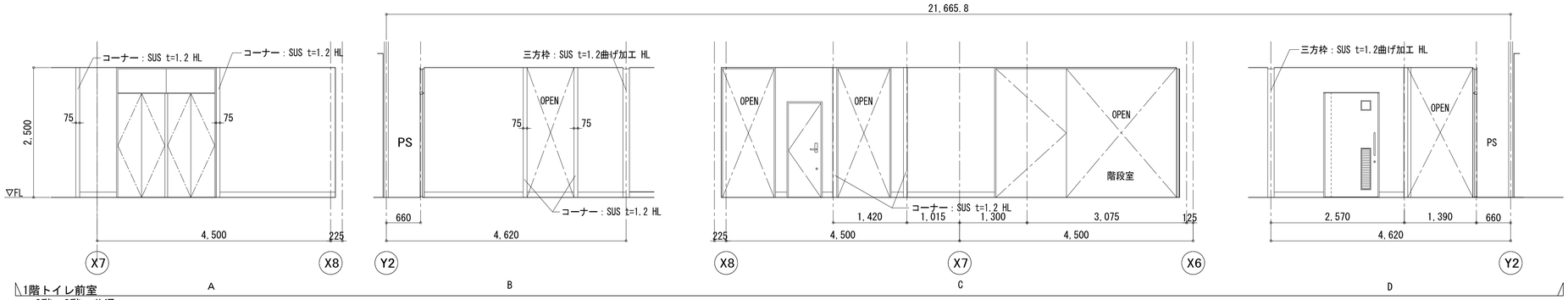
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1：50 A3　1:100	長南町役場庁舎建設工事 図面名称：トイレ詳細図	A－33







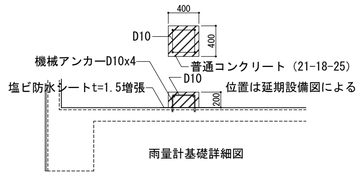


壁下地凡例

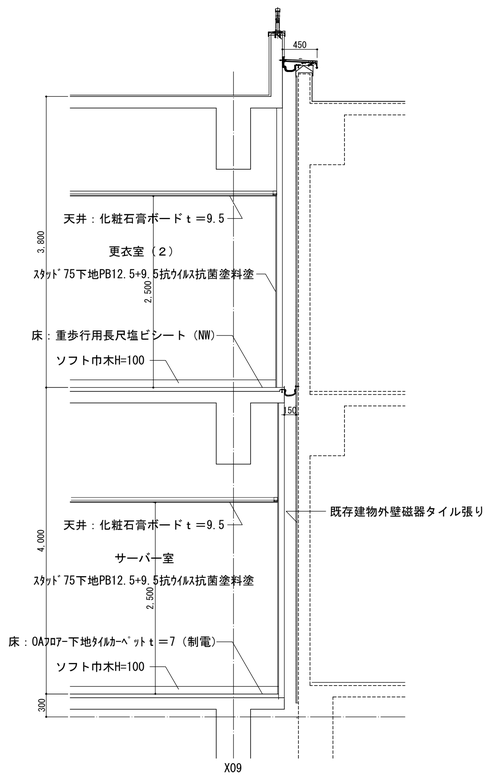
A	防火区画 ： LGS W=75 @303 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50 スラブ下マデ
B	防火区画 ： LGS W=100 @303 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50 スラブ下マデ
C	防火区画：胴縁 C-100×50×20×2.3 @455 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50 スラブ下マデ
D	主要間仕切壁部 ： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50 スラブ下マデ
E	主要間仕切壁部 ： LGS W=90 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50 スラブ下マデ
F	間仕切壁部部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50
G	間仕切壁部 ： LGS W=100 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50
H	間仕切壁部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5 スラブ下マデ
I	間仕切壁部： LGS W=90 @455 PB t=12.5+9.5 スラブ下マデ
J	間仕切壁部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5
K	間仕切壁部： LGS W=100 @455 PB t=12.5+9.5
L	RC壁・柱部： PB t=12.5 GL工法（t=30）
M	RC壁・柱部： ポリスチレンフォーム t=20 打込み PB t=12.5 GL工法（t=30）
N	RC壁・柱部： モルタル金鏝（t=25）
O	壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5+9.5
P	添え壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5+9.5
Q	添え壁部： LGS W=50 @455 PB t=12.5+9.5
R	添え壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5
S	外壁部： タテ胴縁 C-100×50×20×2.3 @455
T	木製胴縁：タテ胴縁 30×45 @450 ヨコ胴縁 45×25 @900 GW t=20 充填
U	RC壁： コンクリート打放し補修

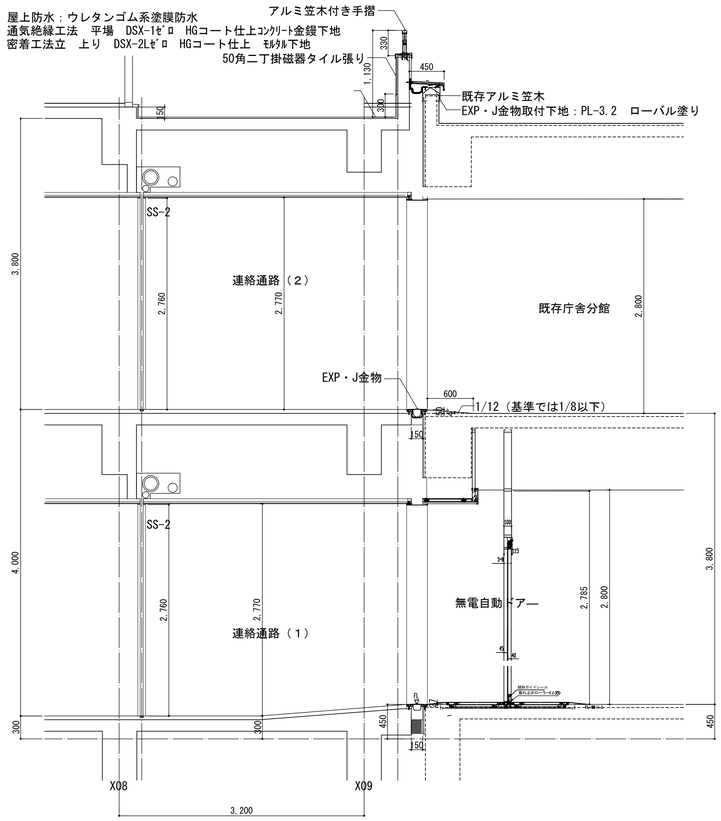
一級建築士事務所 千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社 千町村建築研究所

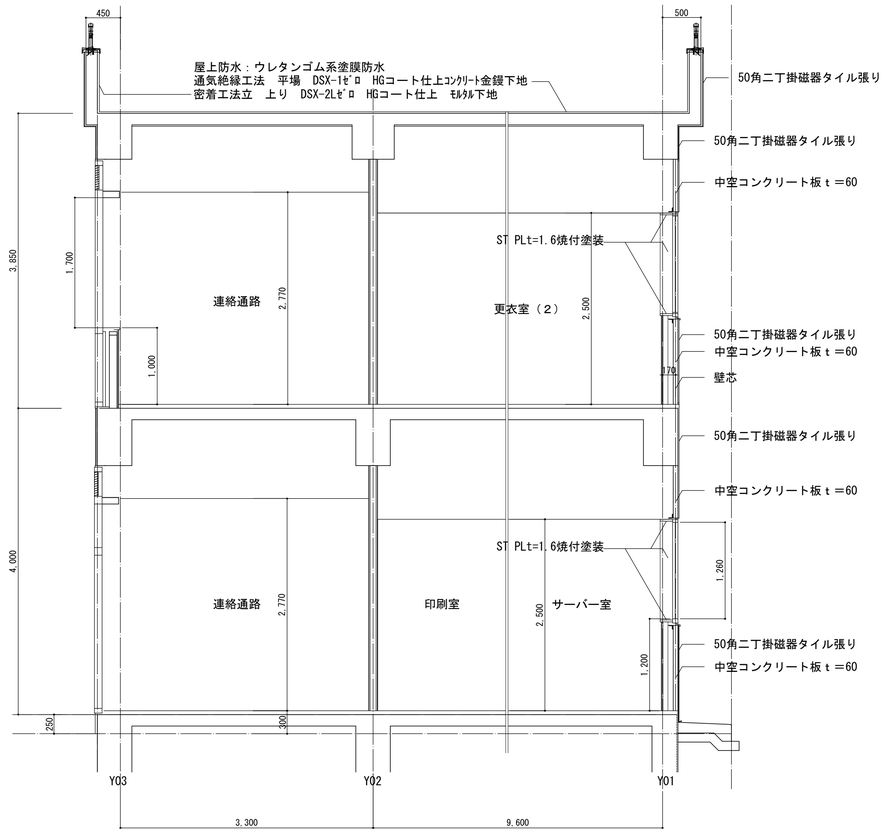
日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和 3年 月	A1 1：50 A3 1:100	長南町役場庁舎建設工事 図面名称 トイレ展開図	A－34



雨量計基礎詳細図



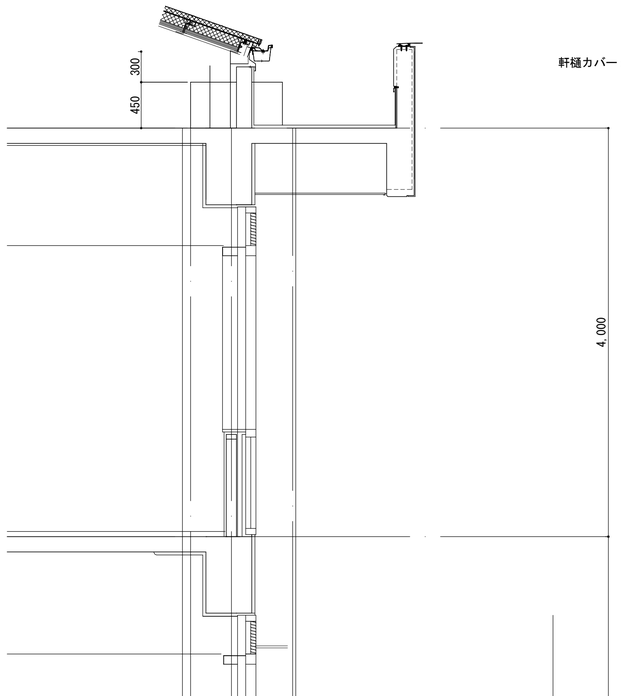


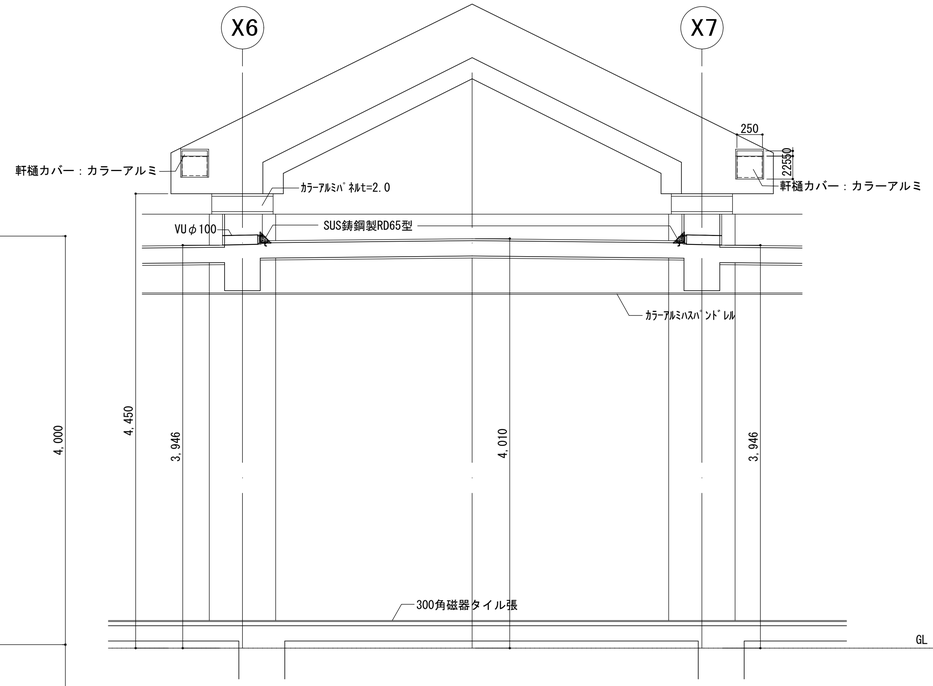


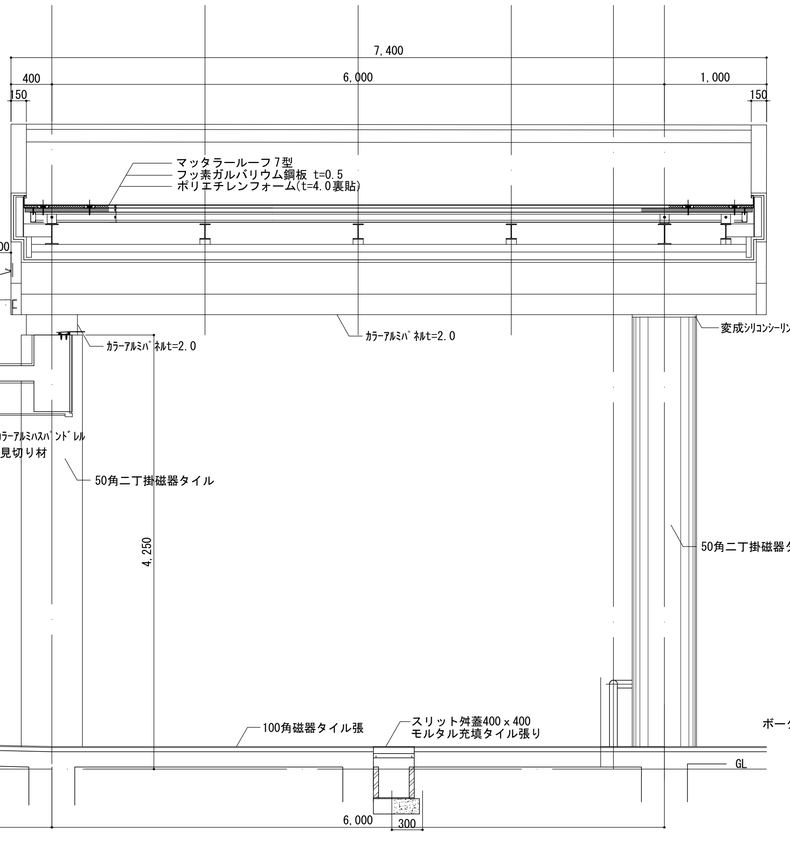
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

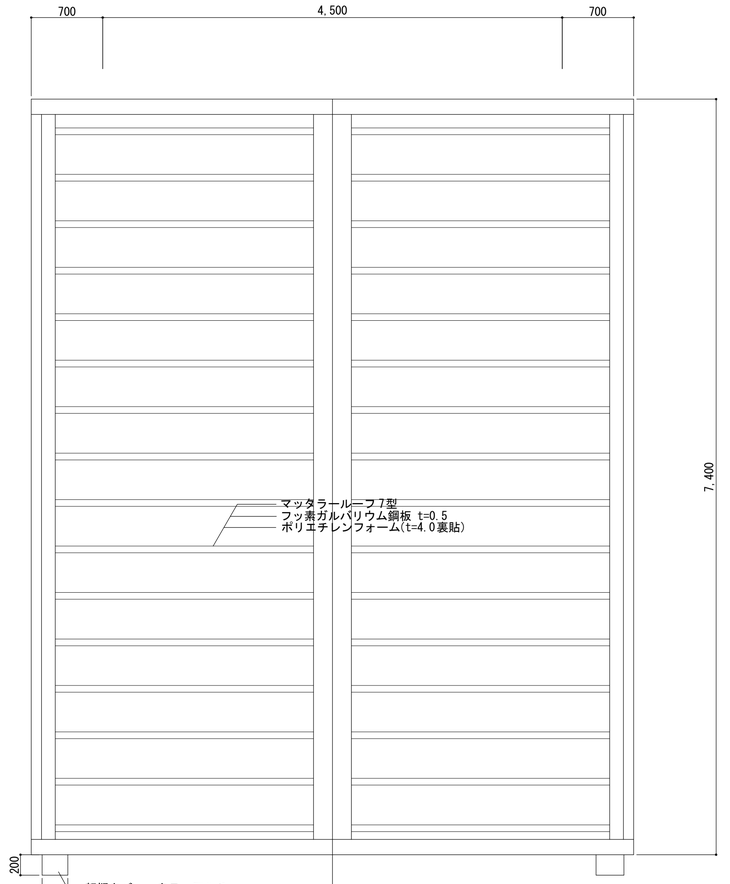
一級建築士登録
第１６５８１４号
鹿　間　義　弘

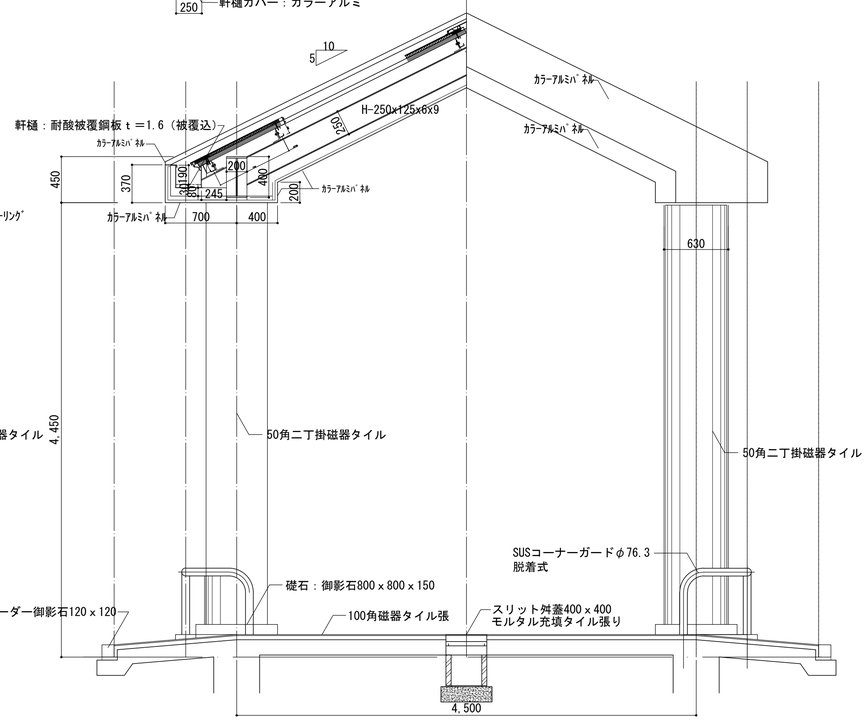
日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1：40 A3　1：80	長南町役場庁舎建設工事	A－３５
		図面名称：連絡通路廻り断面詳細図	







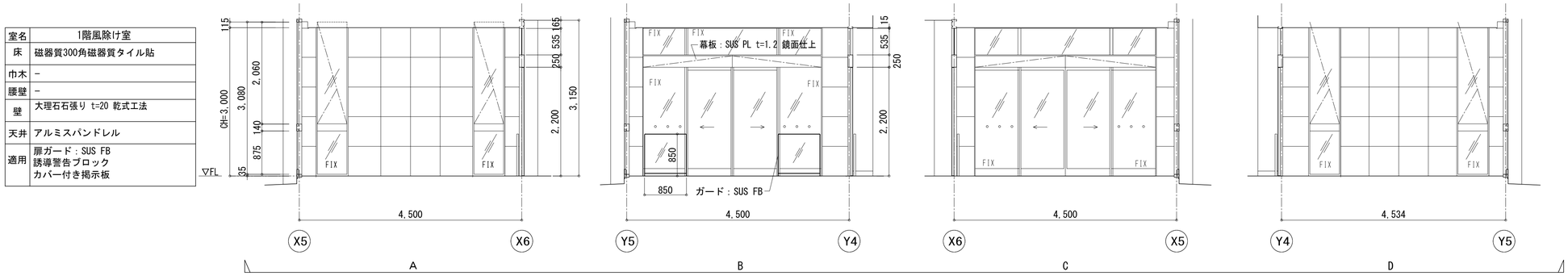


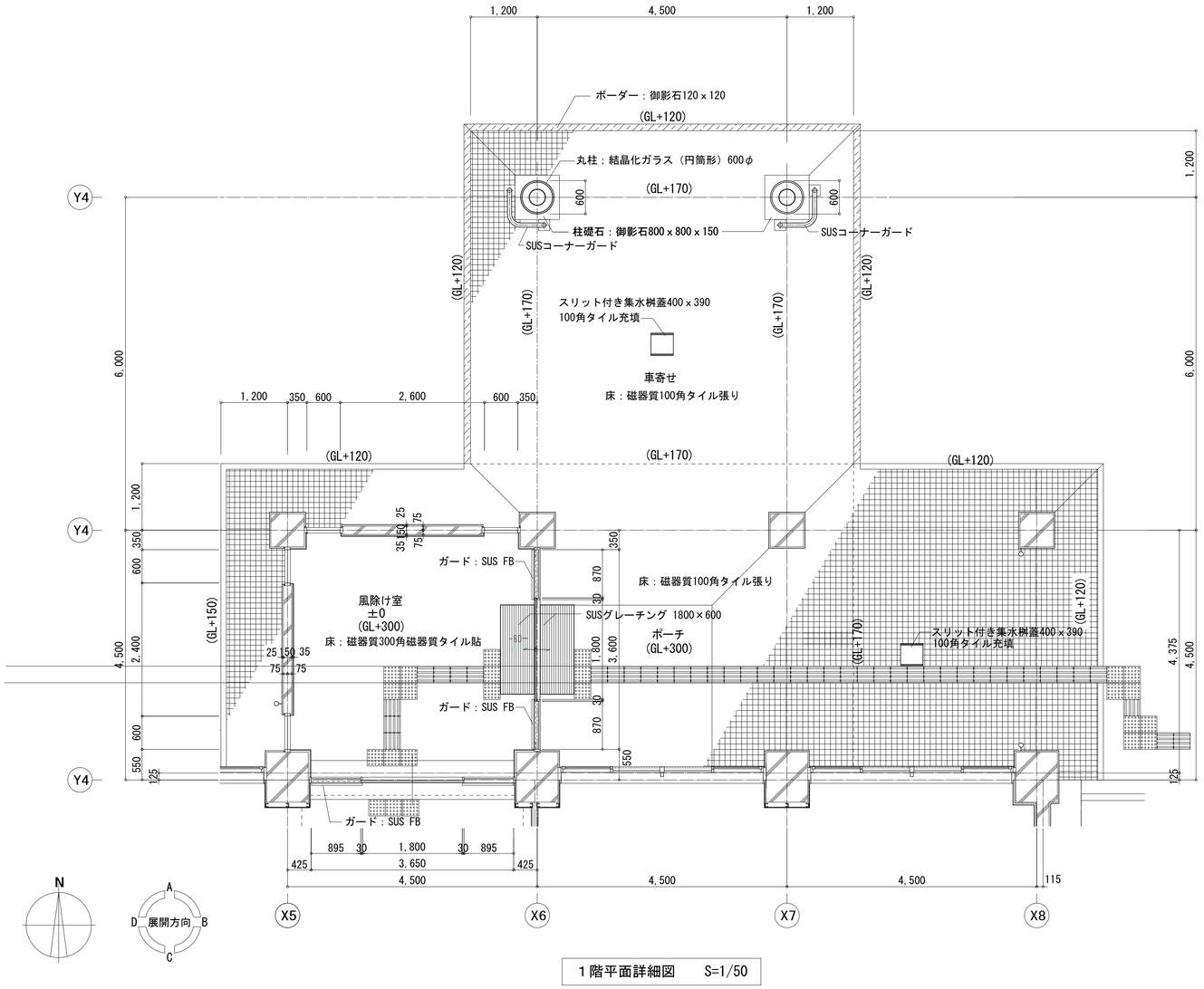


一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所
一級建築士登録
第１６５８１４号
鹿　間　義　弘

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1：30 A3　1：60	長南町役場庁舎建設工事	A－３６
		図面名称：ポーチ・車寄せ断面詳細図	

室名	1階風除け室
床	磁器質300角磁器質タイル貼
巾木	–
腰壁	–
壁	大理石石張り t=20 乾式工法
天井	アルミスパンドレル
適用	扉ガード：SUS FB 誘導警告ブロック カバー付き掲示板

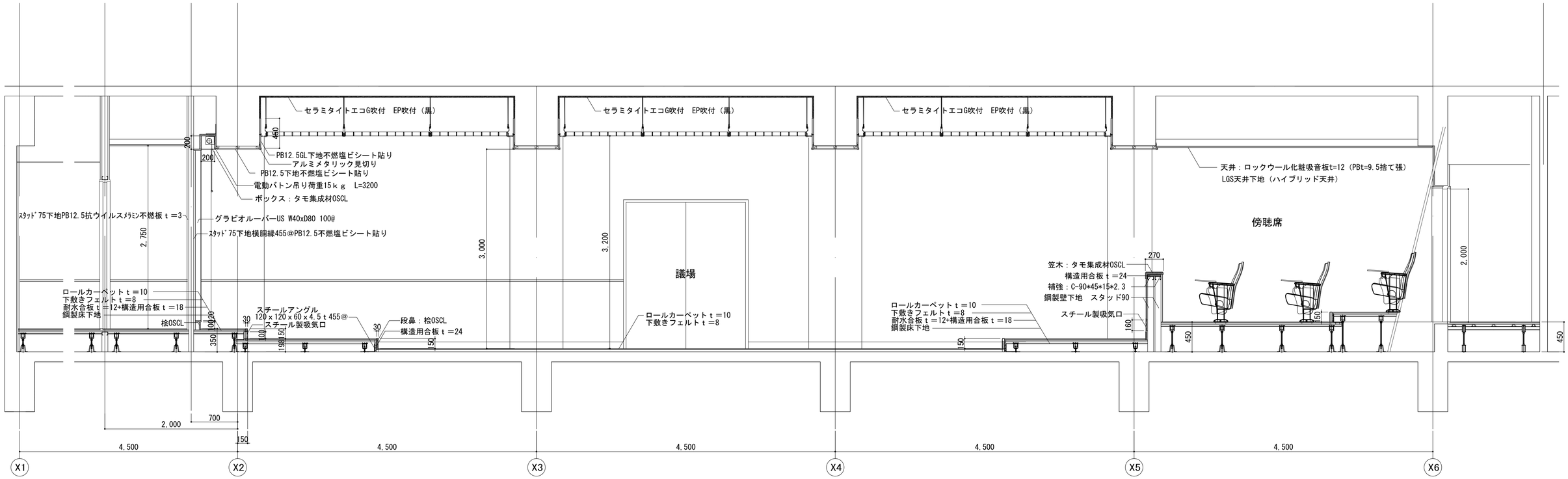


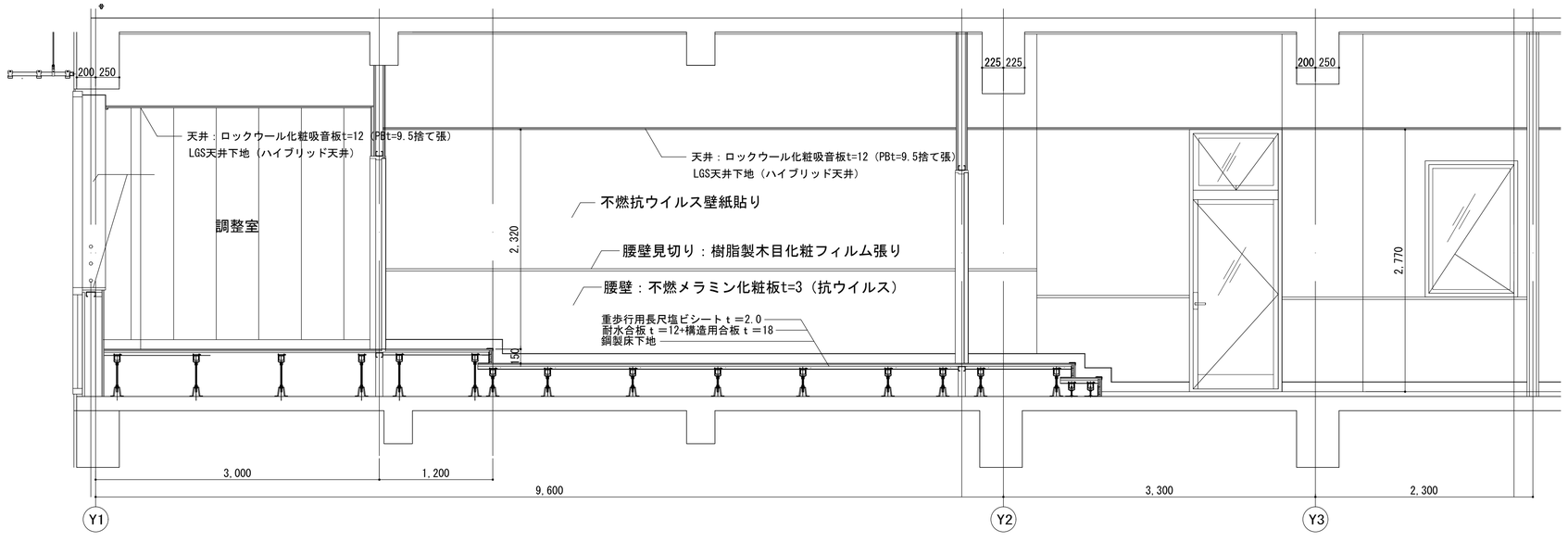


1階平面詳細図　S=1/50

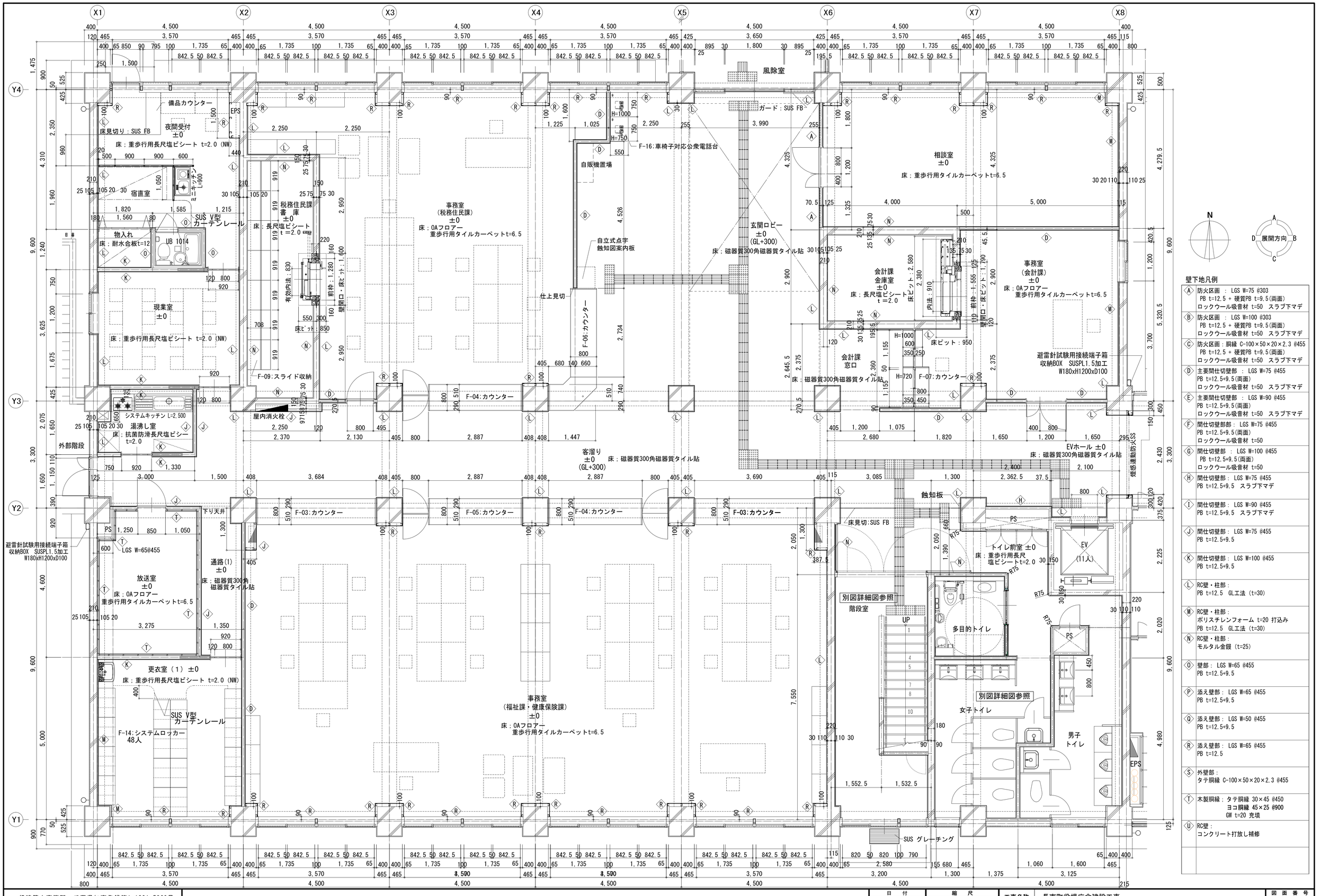
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和　3年　月	A1　1：50 A3　1:100	図面名称	風除室･ポーチ 詳細図	A－37





一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所	一級建築士登録 第１６５８１４号 鹿　間　義　弘	日　付 令和　3年　月	縮　尺 A1　1：30 A3　1：60	工事名称 図面名称	長南町役場庁舎建設工事 議場廻り断面詳細図	図面番号 A－３８

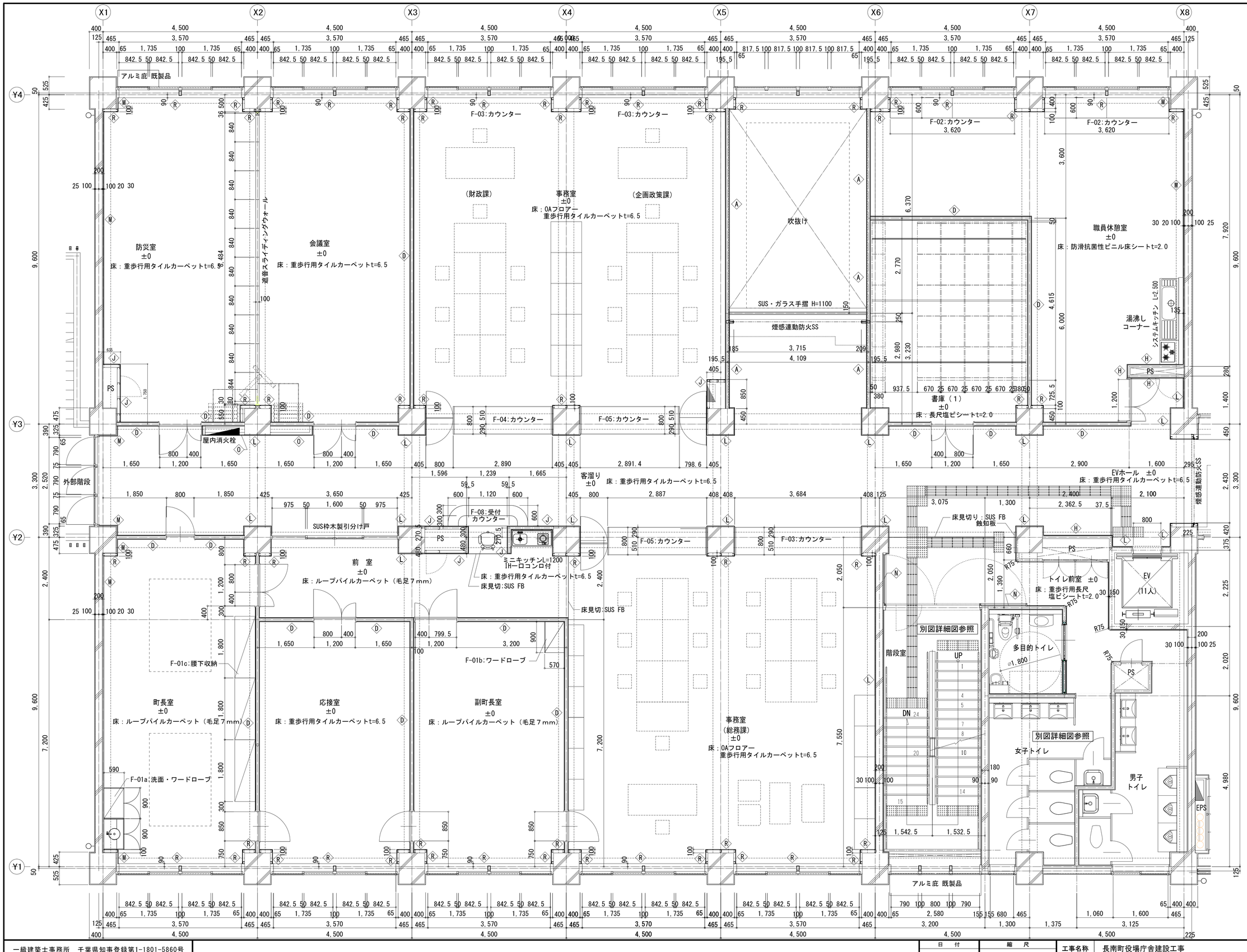


壁下地凡例

A	防火区画 ： LGS W=75 @303 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50 スラブ下マデ
B	防火区画 ： LGS W=100 @303 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50 スラブ下マデ
C	防火区画：胴縁 C-100×50×20×2.3 @455 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50 スラブ下マデ
D	主要間仕切壁部 ： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50 スラブ下マデ
E	主要間仕切壁部 ： LGS W=90 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50 スラブ下マデ
F	間仕切壁部部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50
G	間仕切壁部 ： LGS W=100 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50
H	間仕切壁部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5 スラブ下マデ
I	間仕切壁部： LGS W=90 @455 PB t=12.5+9.5 スラブ下マデ
J	間仕切壁部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5
K	間仕切壁部： LGS W=100 @455 PB t=12.5+9.5
L	RC壁・柱部： PB t=12.5 GL工法（t=30）
M	RC壁・柱部： ポリスチレンフォーム t=20 打込み PB t=12.5 GL工法（t=30）
N	RC壁・柱部： モルタル金鏝（t=25）
O	壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5+9.5
P	添え壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5+9.5
Q	添え壁部： LGS W=50 @455 PB t=12.5+9.5
R	添え壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5
S	外壁部： タテ胴縁 C-100×50×20×2.3 @455
T	木製胴縁：タテ胴縁 30×45 @450 ヨコ胴縁 45×25 @900 GW t=20 充填
U	RC壁： コンクリート打放し補修

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1：50 A3　1：100	長南町役場庁舎建設工事	A－39
		図面名称：1階平面詳細図	



壁下地凡例

Ⓐ	防火区画 ： LGS W=75 @303 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50 スラブ下マデ
Ⓑ	防火区画 ： LGS W=100 @303 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50 スラブ下マデ
Ⓒ	防火区画：胴縁 C-100×50×20×2.3 @455 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50 スラブ下マデ
Ⓓ	主要間仕切壁部 ： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50 スラブ下マデ
Ⓔ	主要間仕切壁部 ： LGS W=90 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50 スラブ下マデ
Ⓕ	間仕切壁部部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50
Ⓖ	間仕切壁部 ： LGS W=100 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50
Ⓗ	間仕切壁部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5 スラブ下マデ
Ⓘ	間仕切壁部： LGS W=90 @455 PB t=12.5+9.5 スラブ下マデ
Ⓙ	間仕切壁部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5
Ⓚ	間仕切壁部： LGS W=100 @455 PB t=12.5+9.5
Ⓛ	RC壁・柱部： PB t=12.5 GL工法（t=30）
Ⓜ	RC壁・柱部： ポリスチレンフォーム t=20 打込み PB t=12.5 GL工法（t=30）
Ⓝ	RC壁・柱部： モルタル金鏝（t=25）
Ⓞ	壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5+9.5
Ⓟ	添え壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5+9.5
Ⓠ	添え壁部： LGS W=50 @455 PB t=12.5+9.5
Ⓡ	添え壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5
Ⓢ	外壁部： タテ胴縁 C-100×50×20×2.3 @455
Ⓣ	木製胴縁：タテ胴縁 30×45 @450 ヨコ胴縁 45×25 @900 GW t=20 充填
Ⓤ	RC壁： コンクリート打放し補修

一級建築士事務所 千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社 千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和 3年 月	A1 1:50 A3 1:100	長南町役場庁舎建設工事	A−40
		図面名称 2階平面詳細図	

凡 例
◀ ：吸気ガラリ位置：420×140　48カ所
◁ ：吸気ガラリ位置：620×200　8カ所
議場家具は別途工事

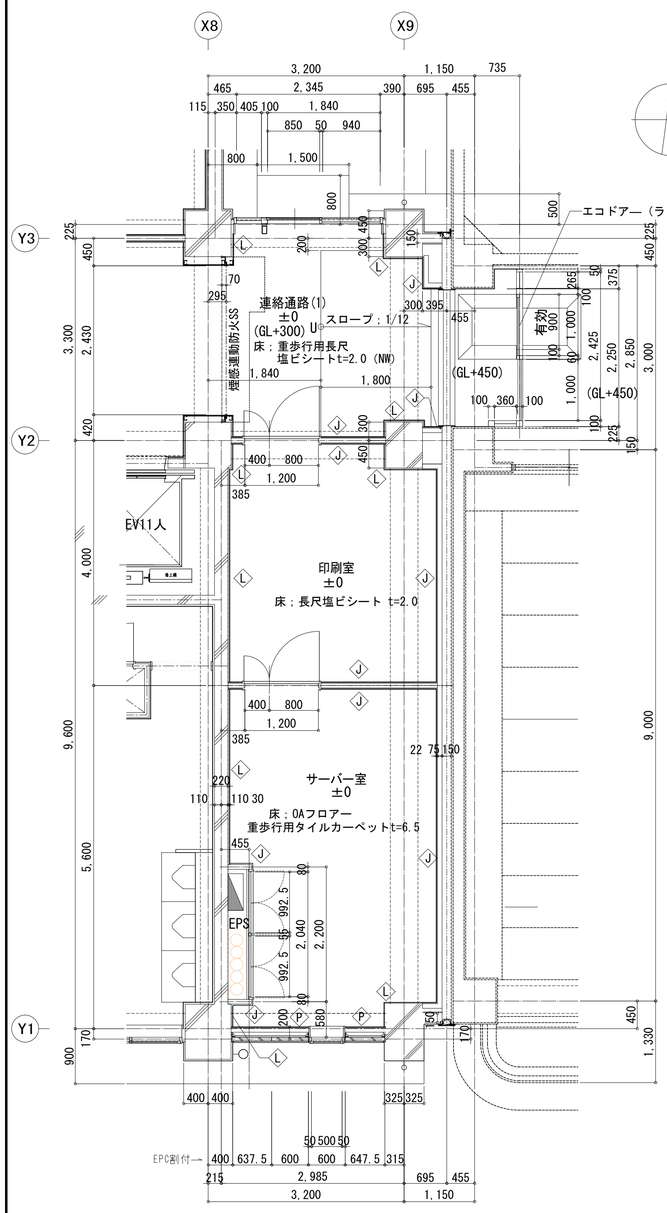
N
A
D 展開方向 B
C

壁下地凡例

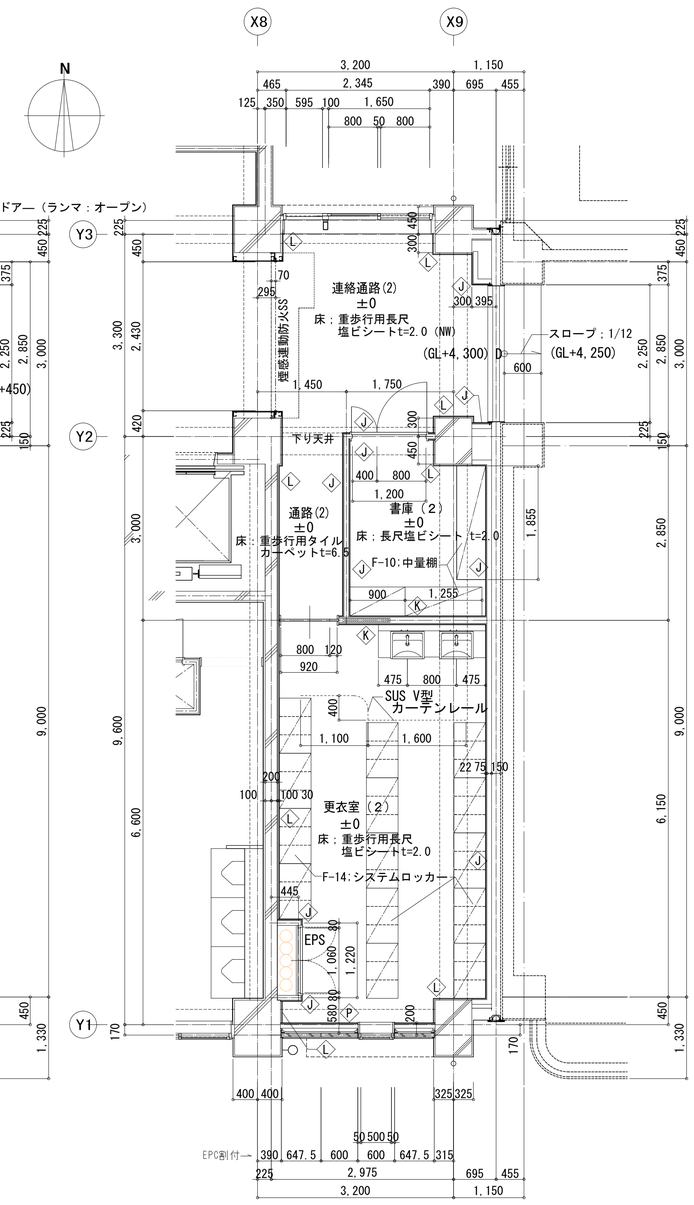
A	防火区画 ： LGS W=75 @303 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50　スラブ下マデ
B	防火区画 ： LGS W=100 @303 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50　スラブ下マデ
C	防火区画：胴縁 C-100×50×20×2.3 @455 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50　スラブ下マデ
D	主要間仕切壁部 ： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50　スラブ下マデ
E	主要間仕切壁部 ： LGS W=90 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50　スラブ下マデ
F	間仕切壁部部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50
G	間仕切壁部 ： LGS W=100 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50
H	間仕切壁部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5　スラブ下マデ
I	間仕切壁部： LGS W=90 @455 PB t=12.5+9.5　スラブ下マデ
J	間仕切壁部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5
K	間仕切壁部： LGS W=100 @455 PB t=12.5+9.5
L	RC壁・柱部： PB t=12.5　GL工法（t=30）
M	RC壁・柱部： ポリスチレンフォーム t=20 打込み PB t=12.5　GL工法（t=30）
N	RC壁・柱部： モルタル金鏝（t=25）
O	壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5+9.5
P	添え壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5+9.5
Q	添え壁部： LGS W=50 @455 PB t=12.5+9.5
R	添え壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5
S	外壁部： タテ胴縁 C-100×50×20×2.3 @455
T	木製胴縁：タテ胴縁 30×45 @450 ヨコ胴縁 45×25 @900 GW t=20 充填
U	RC壁： コンクリート打放し補修

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1：50 A3　1：100	長南町役場庁舎建設工事	A－41
		図面名称：3階平面詳細図	

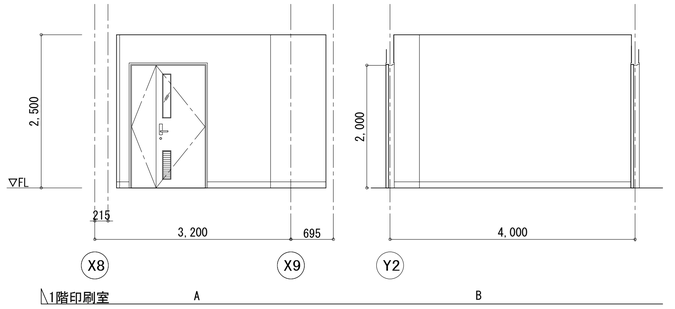


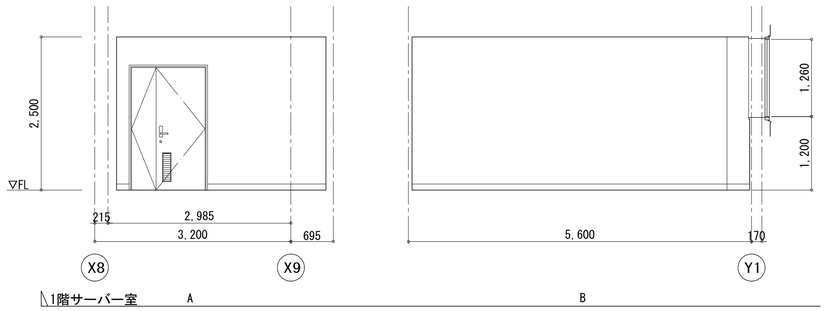
1階平面詳細図　S=1/50

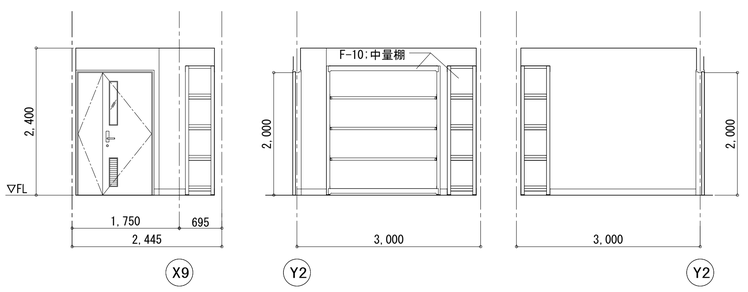


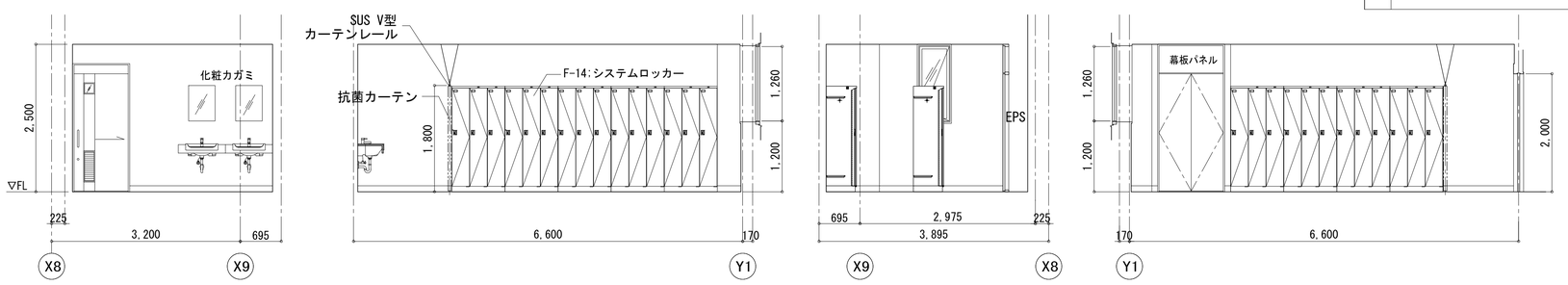
2階平面詳細図　S=1/50

展開方向









室名	1階印刷室
床	長尺塩ビシート t=2.0
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	－
壁	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 抗ウイルス抗菌塗料塗
天井	化粧石膏ボード t ＝9.5
適用	

室名	1階サーバー室
床	OAフロアー 重歩行用タイルカーペットt=6.5
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	－
壁	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 抗ウイルス抗菌塗料塗
天井	化粧石膏ボード t ＝9.5
適用	

室名	2階書庫（２）
床	長尺塩ビシート t=2.0
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	－
壁	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 EP塗
天井	不燃化粧石膏ボード t ＝9.5
適用	中量棚

室名	2階更衣室（２）
床	重歩行用長尺塩ビシート t=2.0(NW)
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	－
壁	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 抗ウイルス抗菌塗料塗
天井	不燃化粧石膏ボード t ＝9.5
適用	システムロッカー SUS カーテンレール 抗菌カーテン 化粧洗面台・化粧カガミ；設備工事

壁下地凡例

Ⓐ	防火区画 ： LGS W=75 @303 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50　スラブ下マデ
Ⓑ	防火区画 ： LGS W=100 @303 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50　スラブ下マデ
Ⓒ	防火区画：胴縁 C-100×50×20×2.3 @455 PB t=12.5 + 硬質PB t=9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50　スラブ下マデ
Ⓓ	主要間仕切壁部 ： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50　スラブ下マデ
Ⓔ	主要間仕切壁部 ： LGS W=90 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50　スラブ下マデ
Ⓕ	間仕切壁部部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50
Ⓖ	間仕切壁部 ： LGS W=100 @455 PB t=12.5+9.5(両面) ロックウール吸音材 t=50
Ⓗ	間仕切壁部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5　スラブ下マデ
Ⓘ	間仕切壁部： LGS W=90 @455 PB t=12.5+9.5　スラブ下マデ
Ⓙ	間仕切壁部： LGS W=75 @455 PB t=12.5+9.5
Ⓚ	間仕切壁部： LGS W=100 @455 PB t=12.5+9.5
Ⓛ	RC壁・柱部： PB t=12.5　GL工法（t=30）
Ⓜ	RC壁・柱部： ポリスチレンフォーム t=20 打込み PB t=12.5　GL工法（t=30）
Ⓝ	RC壁・柱部： モルタル金鏝（t=25）
Ⓞ	壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5+9.5
Ⓟ	添え壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5+9.5
Ⓠ	添え壁部： LGS W=50 @455 PB t=12.5+9.5
Ⓡ	添え壁部： LGS W=65 @455 PB t=12.5
Ⓢ	外壁部： タテ胴縁 C-100×50×20×2.3 @455
Ⓣ	木製胴縁：タテ胴縁 30×45 @450 ヨコ胴縁 45×25 @900 GW t=20 充填
Ⓤ	RC壁： コンクリート打放し補修

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

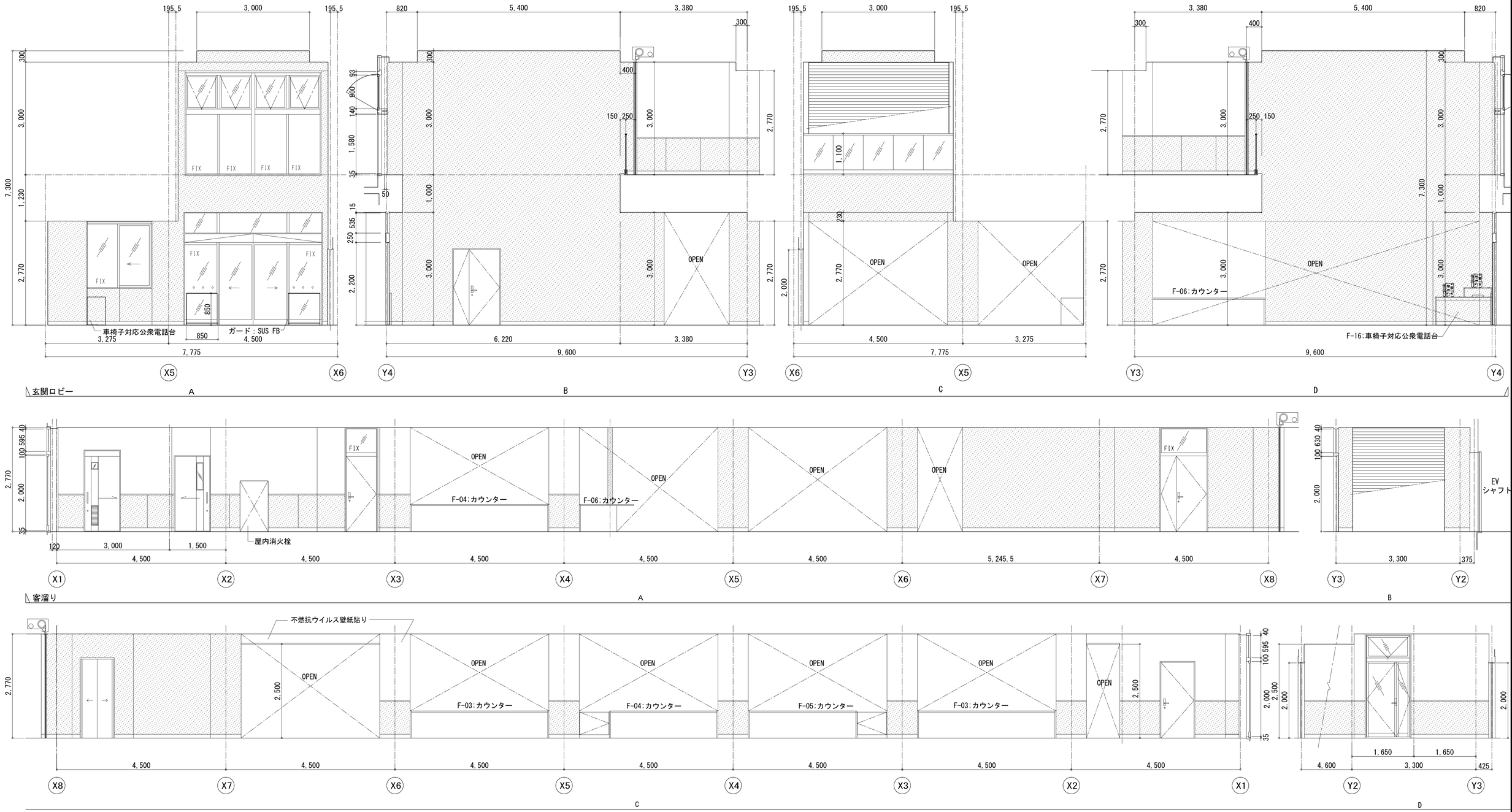
日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1：50 A3　1:100	長南町役場庁舎建設工事	A－42
		図面名称	連絡通路廻り平面詳細・展開図

室名	玄関ロビー
床	磁器質300角磁器質タイル貼
巾木	金属巾木 H=100
腰壁	-
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板ｔ=19
適用	扉ガード：SUS FB、吊下げ式案内板 車椅子対応公衆電話台、総合案内板 自立式展示触知図案内板 誘導警告ブロック坂

部分：メラミン不燃化粧板
ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）

室名	客溜り
床	磁器質300角磁器質タイル貼
巾木	金属巾木 H=100
腰壁	一部：PB t=12.5+9.5下地 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ） 一部：不燃抗ウイルス壁紙貼り
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板ｔ=19
適用	吊下げ式案内坂、ピクチャーレール 誘導警告ブロック

部分：メラミン不燃化粧板
ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）

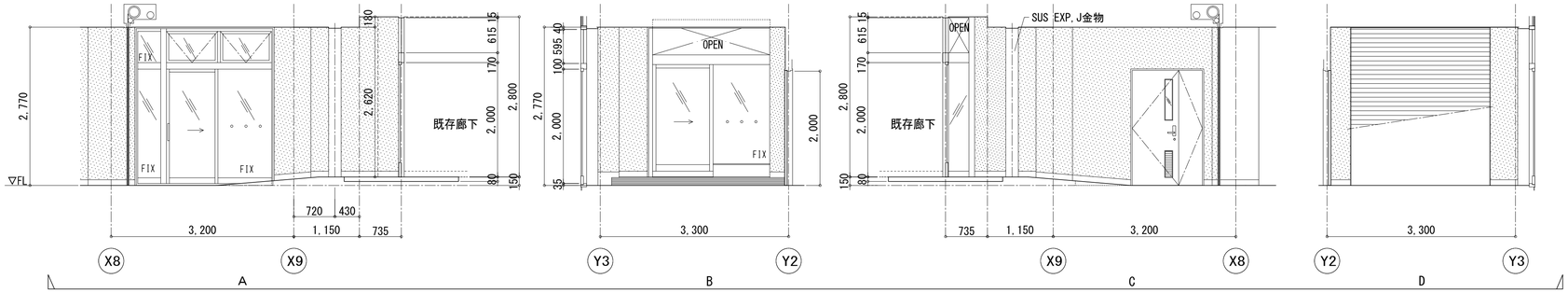


一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1：50 A3　1：100	長南町役場庁舎建設工事	A－43
		図面名称：展開図-1	

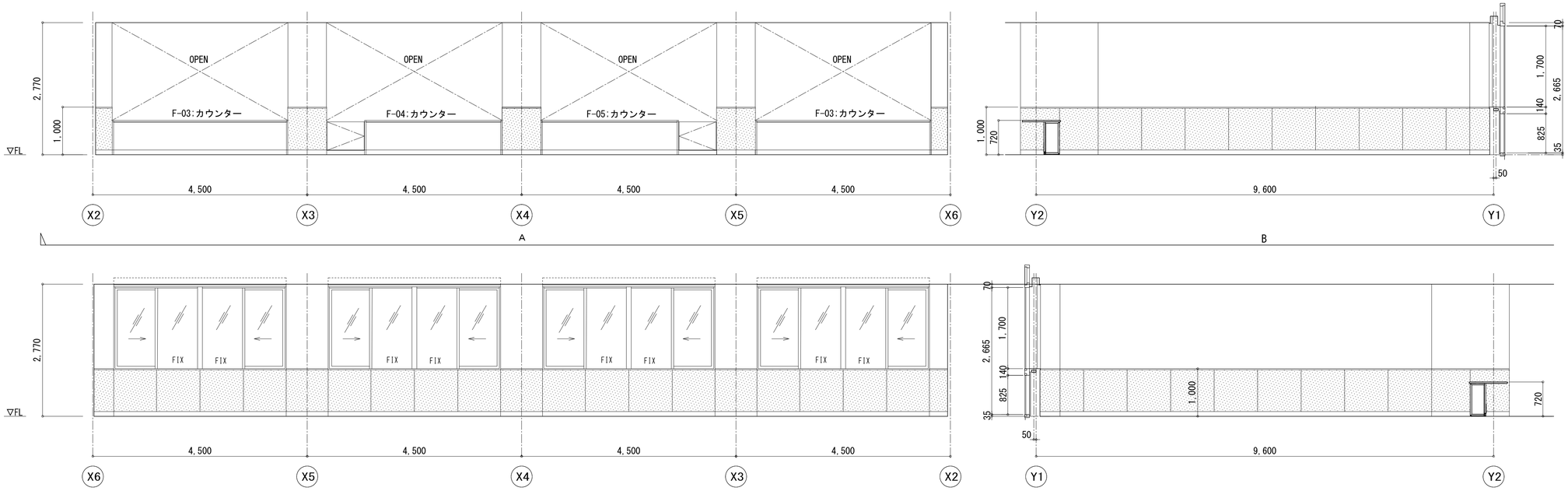
室名	1階連絡通路（1）
床	重歩行用長尺塩ビシート t=2.0（NW）
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	ﾆ部：PB t＝12.5+9.5下地 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）
壁	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板ｔ＝12
適用	エコドアー

部分；メラミン不燃化粧板
ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）

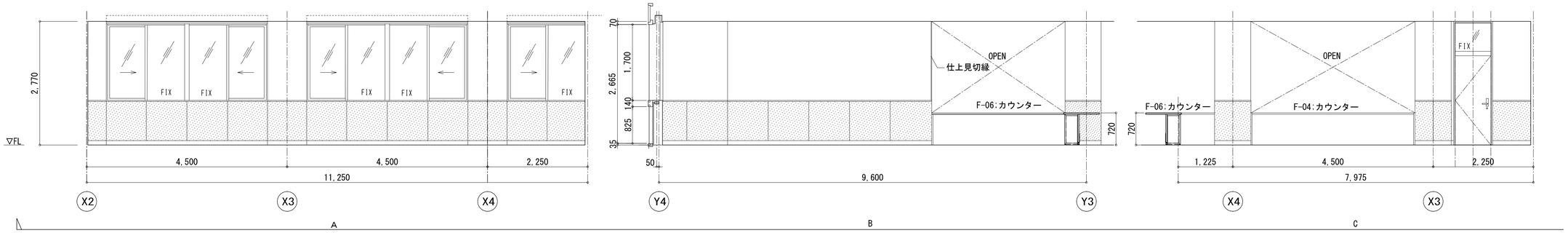


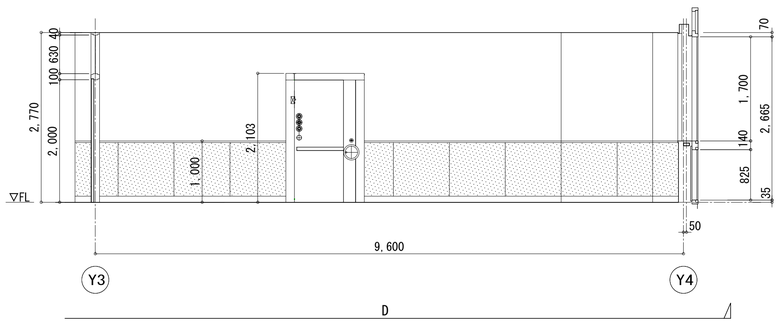
室名	1階事務室（福祉課・健康保険課）
床	OAフロアー 重歩行用タイルカーペットt=6.5
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	PB t＝12.5+9.5下地 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）
壁	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板ｔ＝12
適用	システムカウンター

部分；メラミン不燃化粧板
ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）

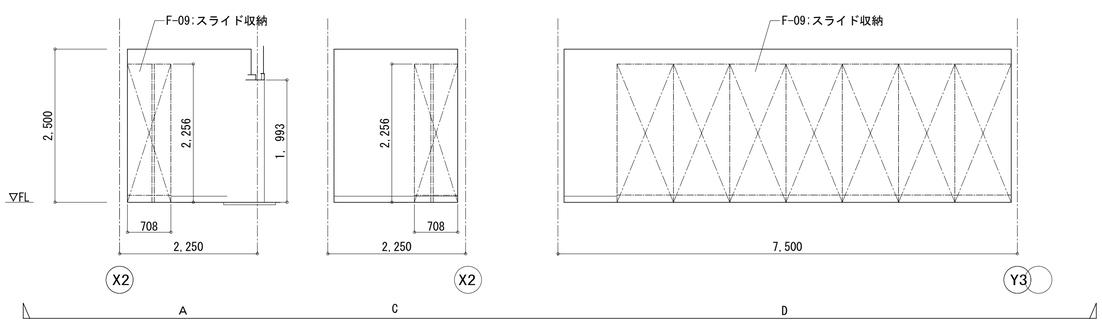


室名	1階事務室（税務住民課）
床	OAフロアー 重歩行用タイルカーペットt=6.5
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	PB t＝12.5+9.5下地 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）
壁	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板ｔ＝12
適用	システムカウンター





室名	1階税務住民課 書庫
床	長尺塩ビシートｔ＝2.0
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	−
壁	モルタル金鏝EP
天井	不燃化粧石膏ボードｔ＝9.5
適用	耐火書庫扉 スライド式収納

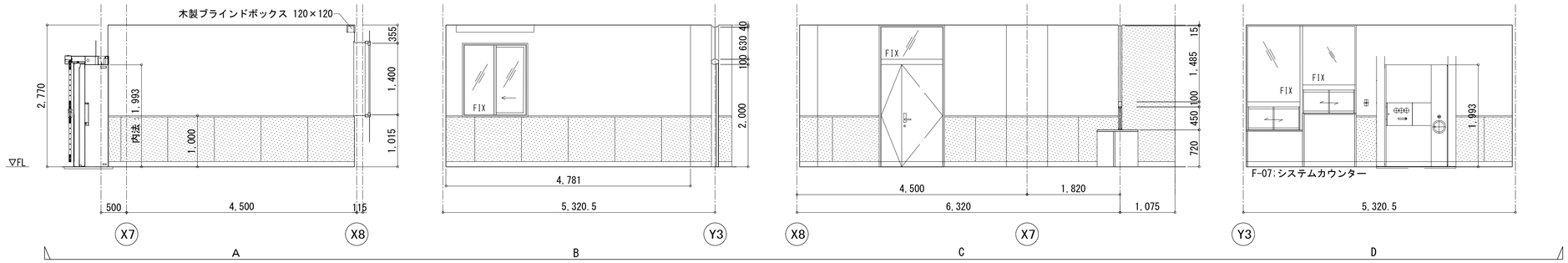


一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1：50 A3　1:100	長南町役場庁舎建設工事	A−44
		図面名称	展開図-2

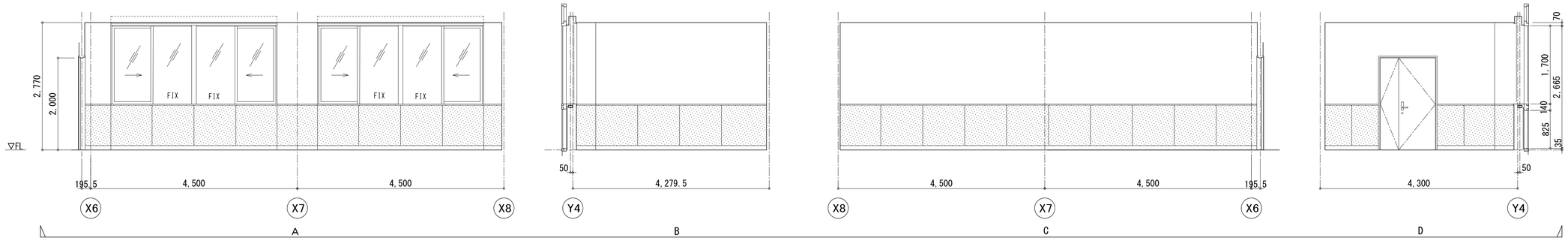
室名	1階事務室（会計課）
床	0Aフロアー 重歩行用タイルカーペットt=6.5
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	PB t=12.5+9.5下地 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルスク壁紙貼り
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板ｔ=12
適用	システムカウンター

部分；メラミン不燃化粧板
ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）

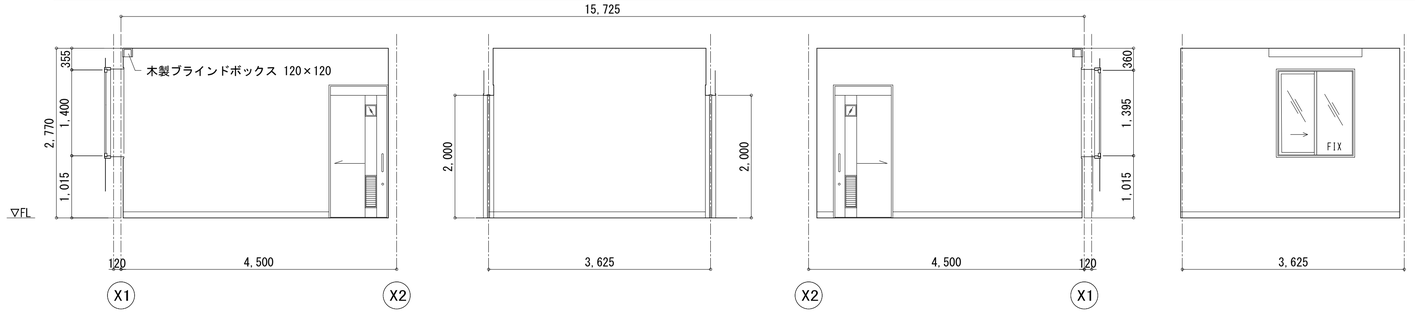


室名	1階 相談室
床	重歩行用タイルカーペットt=6.5
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	PB t=12.5+9.5下地 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板ｔ=12
適用	

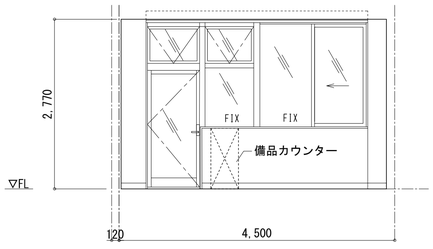
部分；メラミン不燃化粧板
ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）



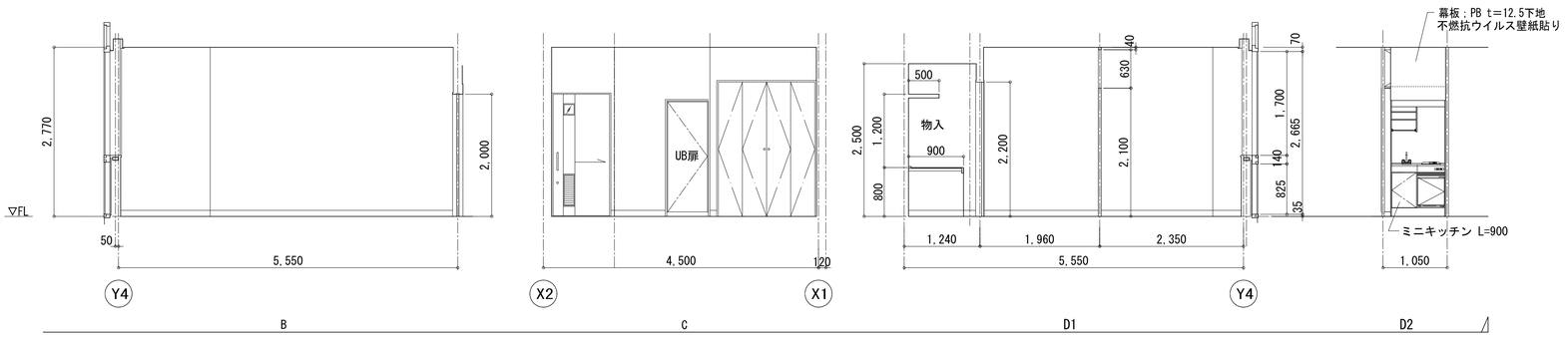
室名	1階 現業室
床	重歩行用長尺塩ビシート t=2.0（NW）
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	－
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り
天井	化粧石膏ボードｔ=9.5
適用	木製ブラインドボックス



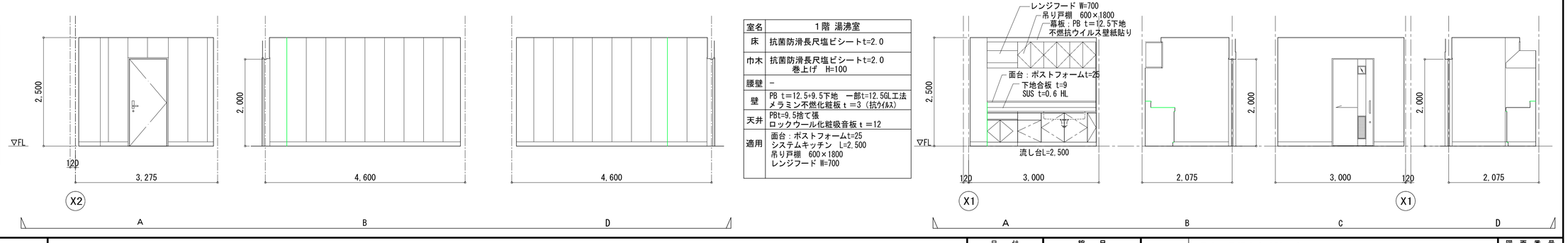
室名	1階 夜間受付・宿直室
床	重歩行用長尺塩ビシート t=2.0（NW） 物入れ；耐水合板t=12
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	－
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り
天井	不燃化粧石膏ボードｔ=9.5
適用	ミニキッチン　L=900 床見切り：SUS FB UB1014、仮眠用木製ベット 吊りカーテン（防炎） スチールパーテーション、物入



室名	1階 放送室
床	重歩行用タイルカーペットt=6.5
巾木	木製巾木UC H=100
腰壁	－
壁	有孔不燃音響内装材厚12+GW20
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板ｔ=12
適用	



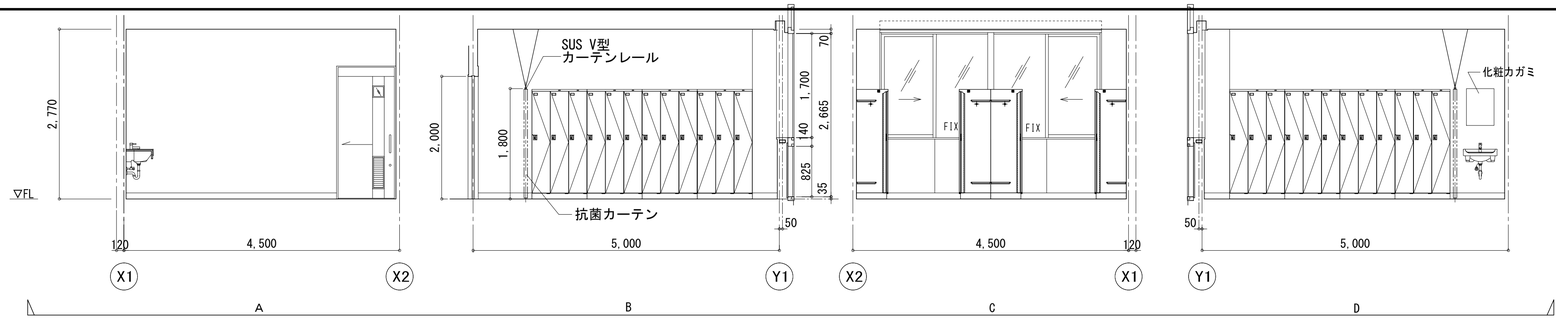
室名	1階 湯沸室
床	抗菌防滑長尺塩ビシートt=2.0
巾木	抗菌防滑長尺塩ビシートt=2.0 巻上げ　H=100
腰壁	－
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板ｔ=12
適用	面台：ポストフォームt=25 システムキッチン　L=2,500 吊り戸棚　600×1800 レンジフード W=700



一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

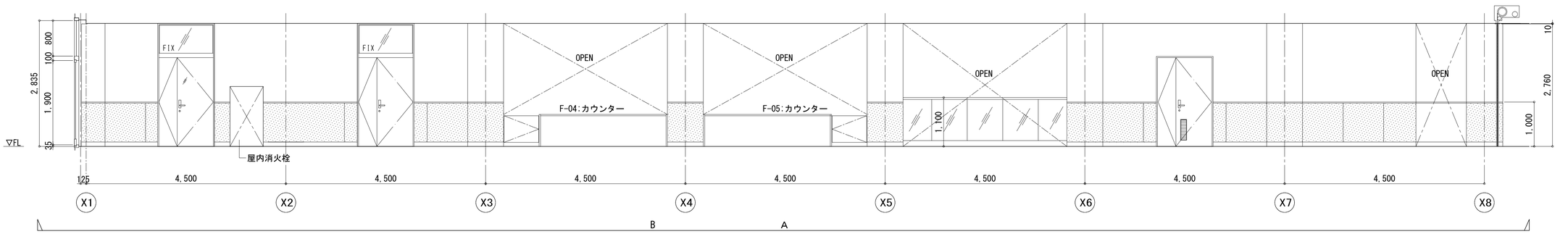
日付	縮尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和　3年　月	A1　1：50 A3　1:100	図面名称	展開図-3	A－45

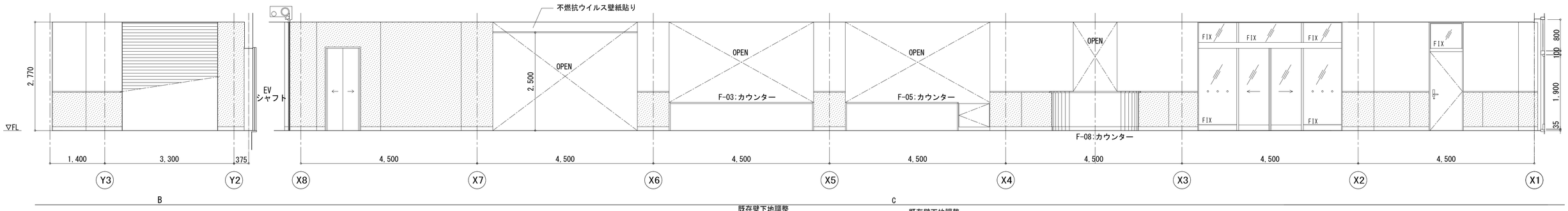
室名	1階 更衣室（1）
床	重歩行用長尺塩ビシート t=2.0（NW）
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	－
壁	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 抗ウイルス抗菌塗料塗
天井	化粧石膏ボード t＝9.5
適用	システムロッカー SUS カーテンレール 抗菌カーテン 化粧洗面台・化粧カガミ；設備工事

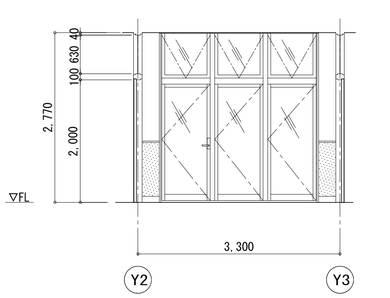


室名	2階 客溜り・ホール
床	重歩行用タイルカーペットt=6.5
巾木	金属巾木 H=100
腰壁	PB t＝12.5+9.5下地 メラミン不燃化粧板 t＝3（抗ｳｲﾙｽ）
壁	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板 t＝19
適用	ガラス手摺 H=1100 システムカウンター 吊下げ式案内板、ピクチャーレール 誘導警告ブロック

部分；メラミン不燃化粧板
t＝3（抗ｳｲﾙｽ）

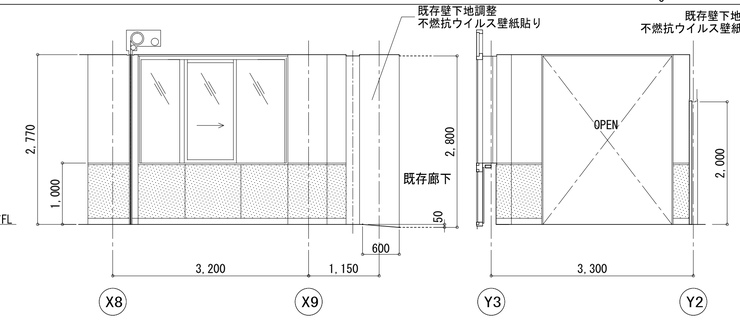


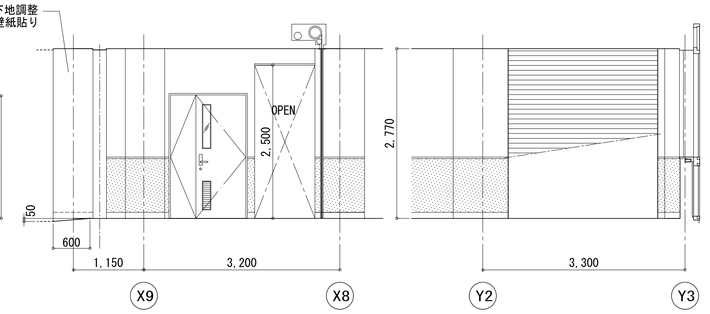




室名	2階連絡通路(2)
床	重歩行用長尺塩ビシート t=2.0（NW）
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	PB t＝12.5+9.5下地 メラミン不燃化粧板 t＝3（抗ｳｲﾙｽ）
壁	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板 t＝12
適用	スロープ工事

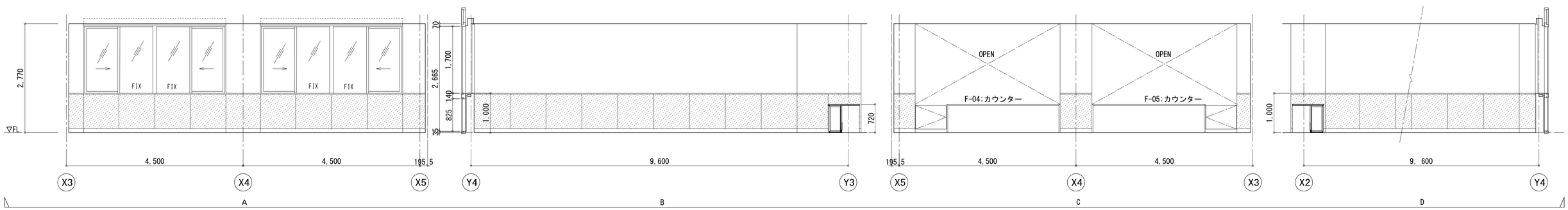
部分；メラミン不燃化粧板
t＝3（抗ｳｲﾙｽ）





室名	2階事務室（財務課・企画政策課）
床	OAフロアー 重歩行用タイルカーペットt=6.5
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	PB t＝12.5+9.5下地 メラミン不燃化粧板 t＝3（抗ｳｲﾙｽ）
壁	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板 t＝12
適用	システムカウンター

部分；メラミン不燃化粧板
t＝3（抗ｳｲﾙｽ）

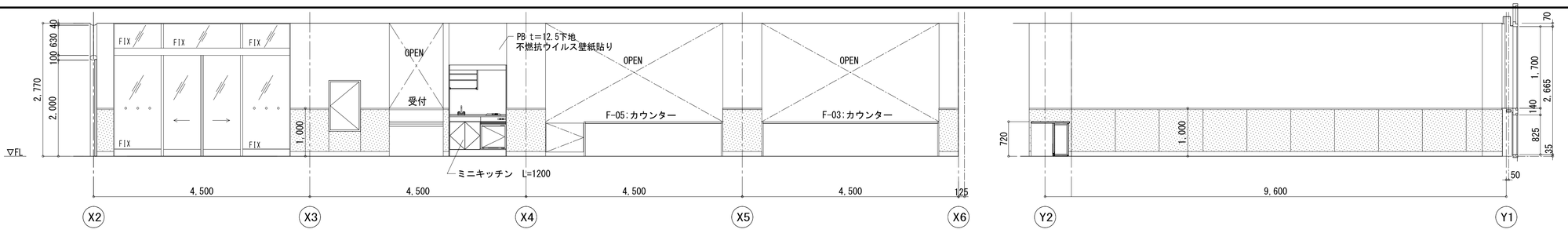


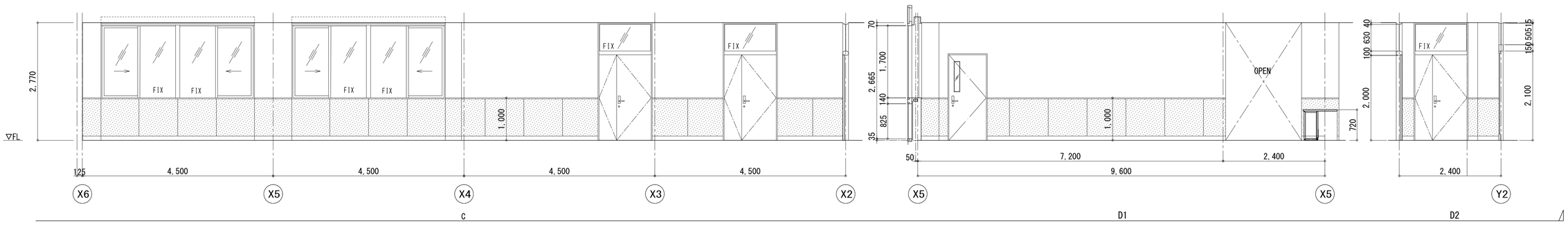
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1：50 A3　1:100	長南町役場庁舎建設工事 展開図-4	A－46

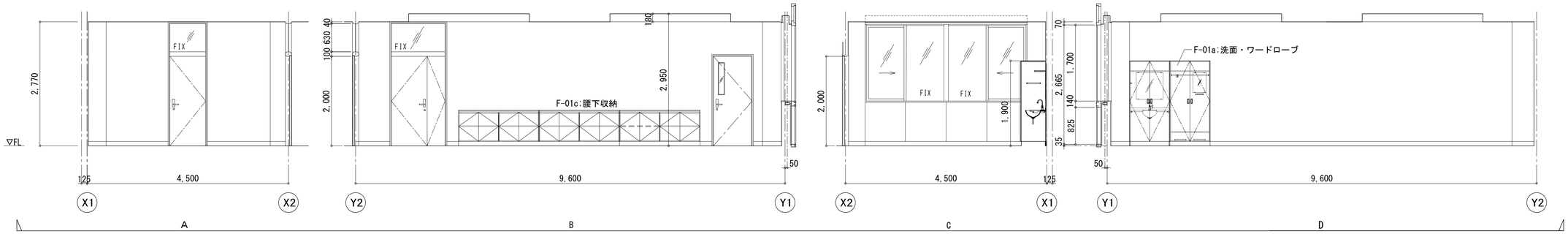
室名	２階事務室（総務課）・前室
事務室床	OAフロアー 重歩行用タイルカーペットt=6.5
前室床	M下地 ループパイルカーペット（毛足７mm）
受付床	重歩行用タイルカーペット t =6.5
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	PB t=12.5+9.5下地 メラミン不燃化粧板 t =3（抗ｳｲﾙｽ）
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板 t =12
適用	システムカウンター 受付カウンター ミニキッチン　L=1200

部分：メラミン不燃化粧板
t =3（抗ｳｲﾙｽ）

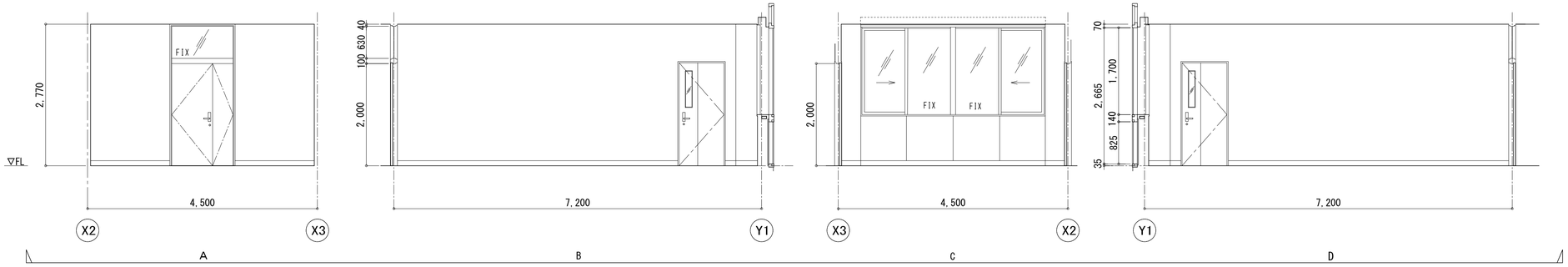




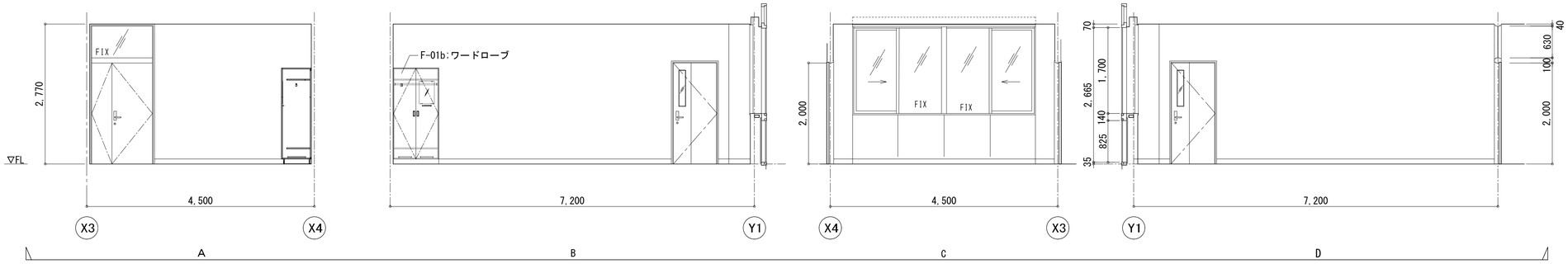
室名	２階町長室
床	ループパイルカーペット（毛足７mm）
巾木	桧 OSCL H=100
腰壁	－
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板 t =3（抗ｳｲﾙｽ）
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板 t =19
適用	洗面台・ワードローブ 腰下戸棚



室名	２階応接室
床	重歩行用タイルカーペット t =6.5
巾木	桧 OSCL H=100
腰壁	－
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板 t =3（抗ｳｲﾙｽ）
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板 t =19
適用	



室名	２階副町長室
床	ループパイルカーペット（毛足７mm）
巾木	桧 OSCL H=100
腰壁	－
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板 t =3（抗ｳｲﾙｽ）
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板 t =12
適用	ワードローブ

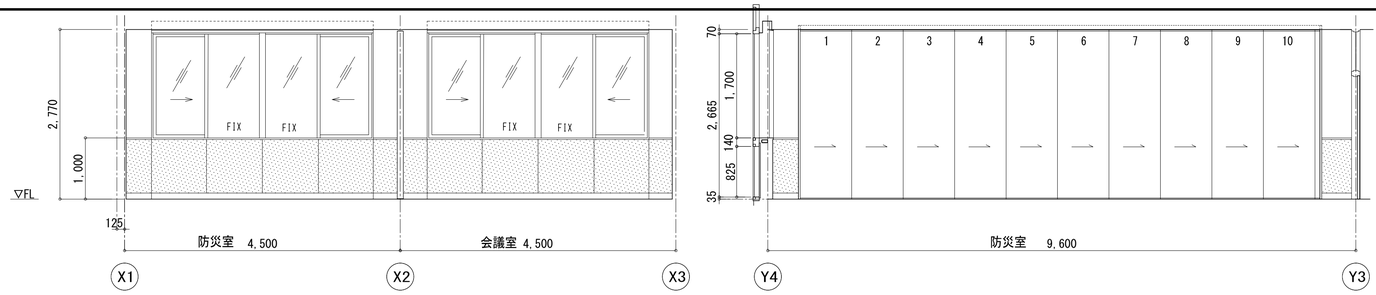


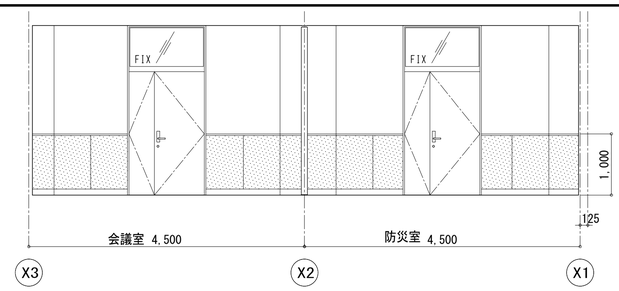
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

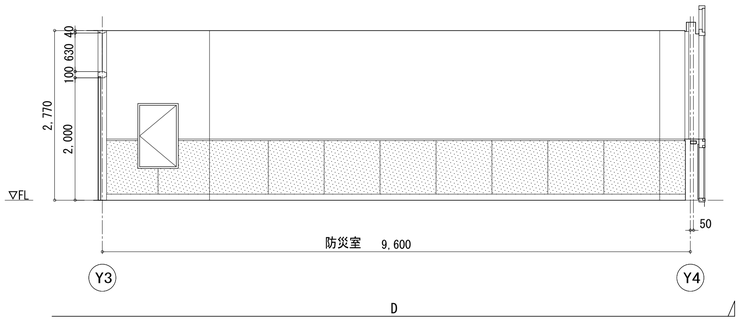
日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1：50 A3　1:100	長南町役場庁舎建設工事	A－47
		図面名称：展開図-5	

室名	2階会議室・防災室
床	重歩行用タイルカーペットt=6.5
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	PB t=12.5+9.5下地 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板ｔ=12
適用	遮音スライディングウォール

部分；メラミン不燃化粧板
ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）

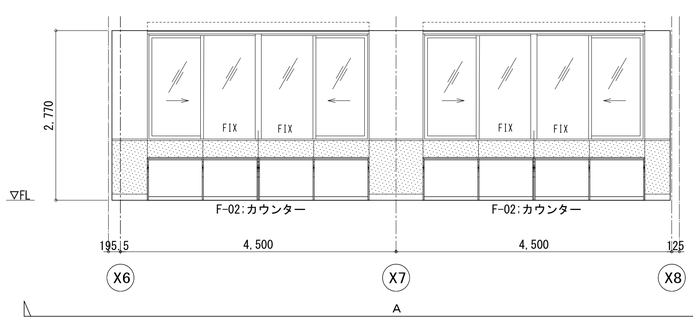


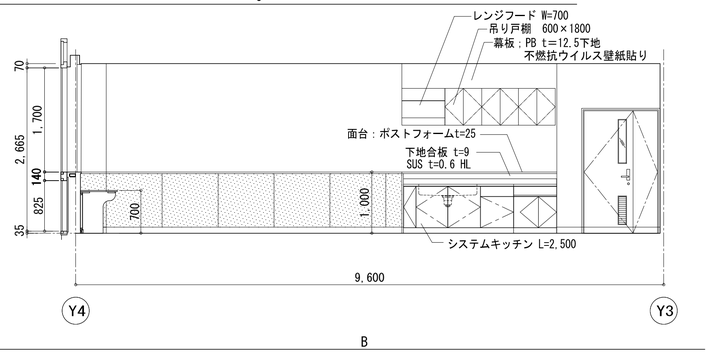


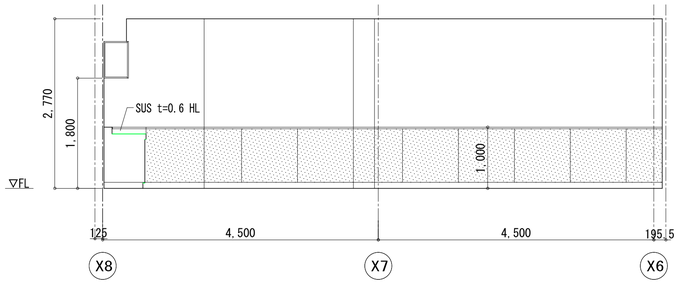


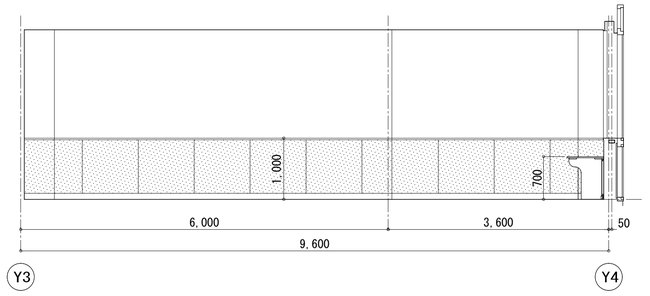
室名	2階職員休憩室
床	防滑抗菌性ビニル床シートt=2.0
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	PB t=12.5+9.5下地 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板ｔ=12
適用	システムキッチン L=2,500 面台：ポストフォームt=25 吊り戸棚　600×1800 レンジフード W=700 カウンター

部分；メラミン不燃化粧板
ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）

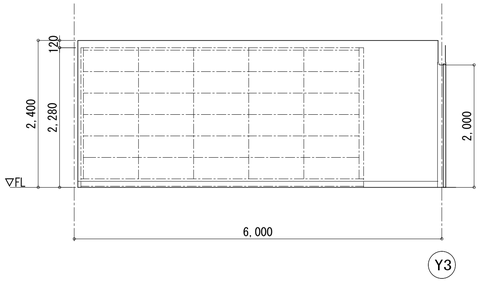


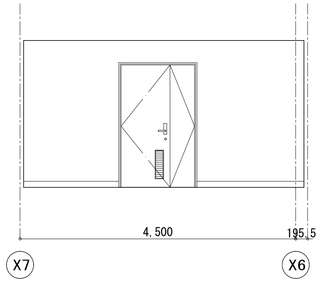






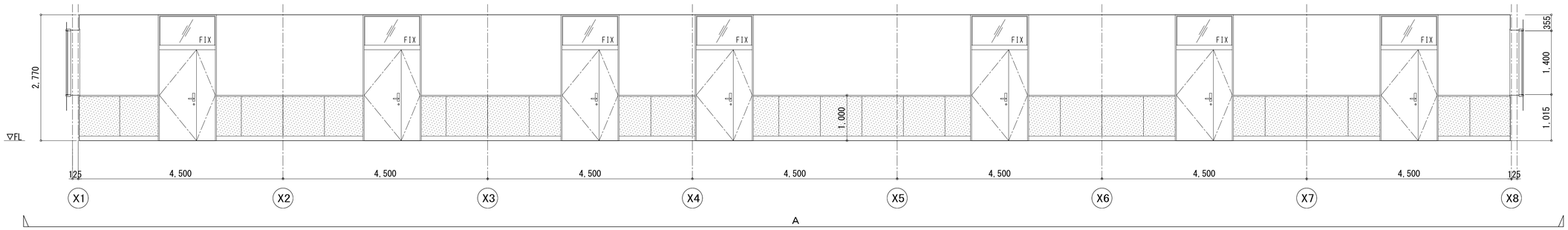
室名	２階書庫（１）
床	長尺塩ビシートt=2.0
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	－
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 EP塗
天井	不燃化粧石膏ボードｔ=9.5
適用	ハンドル式移動棚

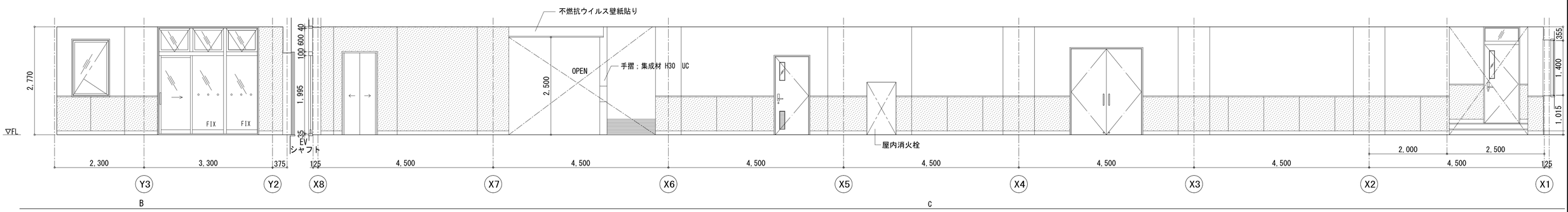




室名	３階廊下・EVホール
床	重歩行用タイルカーペットｔ=6.5
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	PB t=12.5+9.5下地 メラミン不燃化粧板ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板ｔ=19
適用	SUSノンスリップ 吊下げ案内板 誘導警告ブロック板

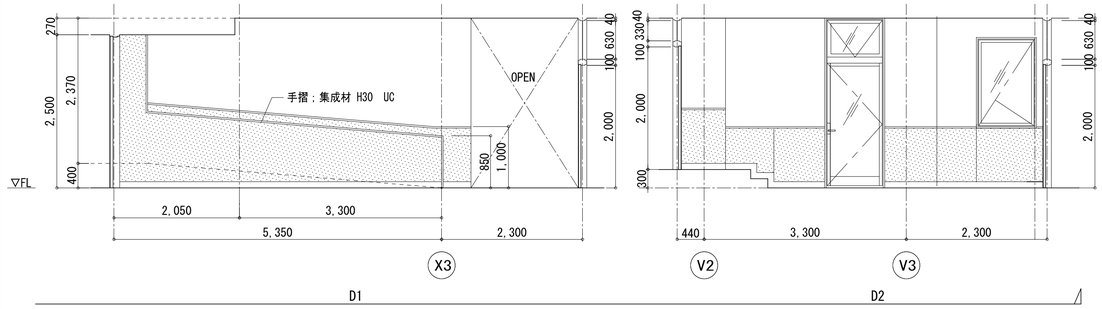
部分；メラミン不燃化粧板
ｔ=3（抗ｳｲﾙｽ）





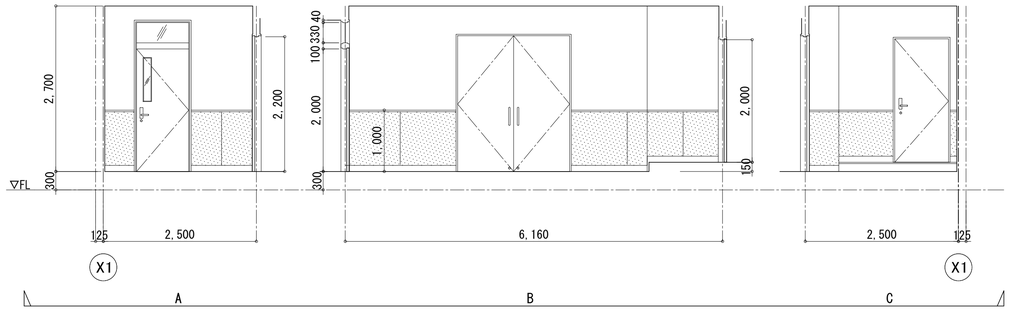
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1：50 A3　1:100	長南町役場庁舎建設工事	A－48
		図面名称：展開図-6	

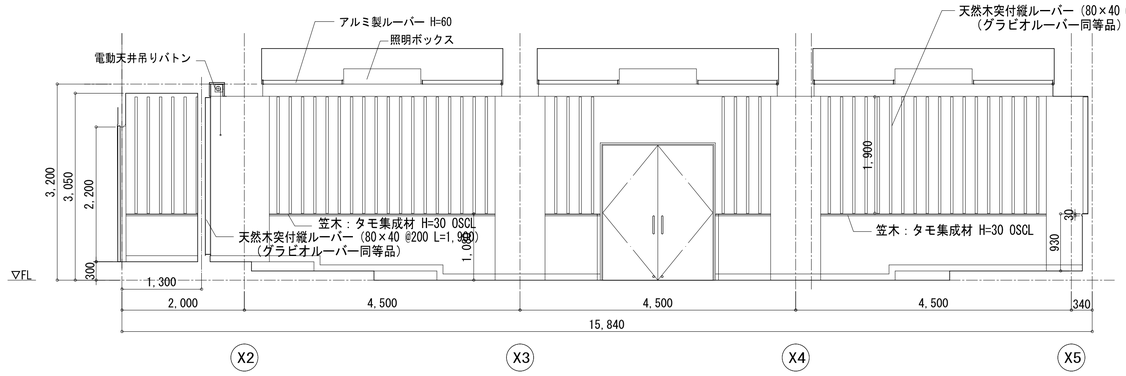


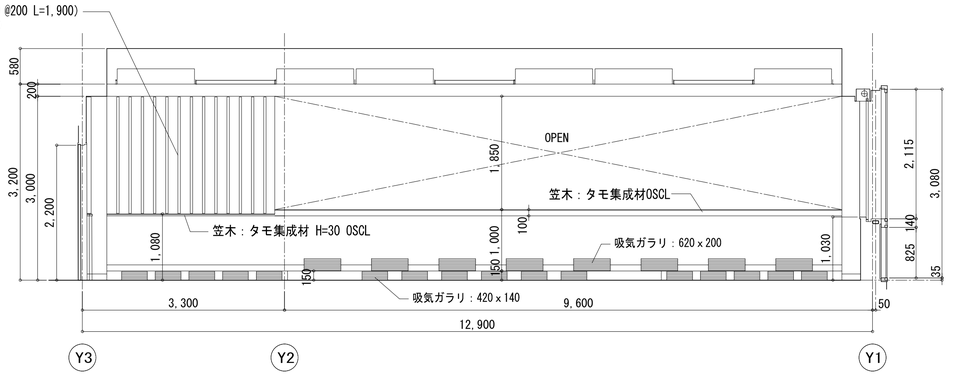
室名	3階議場前室
床	重歩行用長尺塩ビシート t=2.0（NW）
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）
壁	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板ｔ＝12
適用	SUSノンスリップ

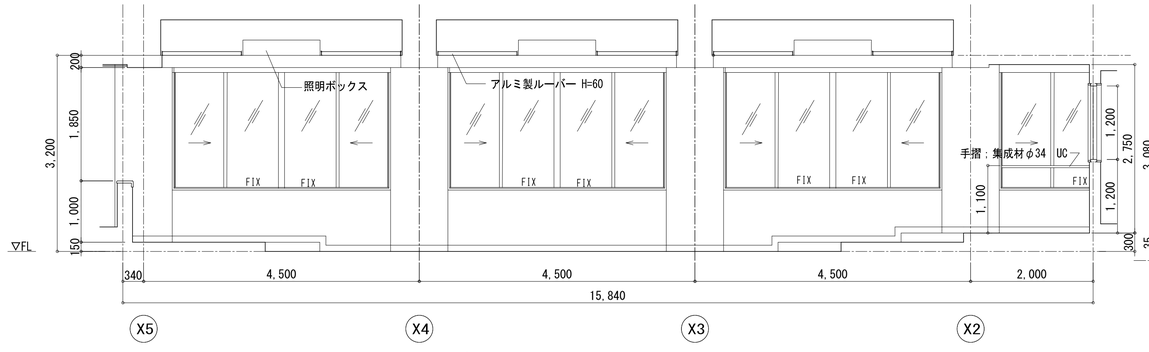
部分：メラミン不燃化粧板
ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）

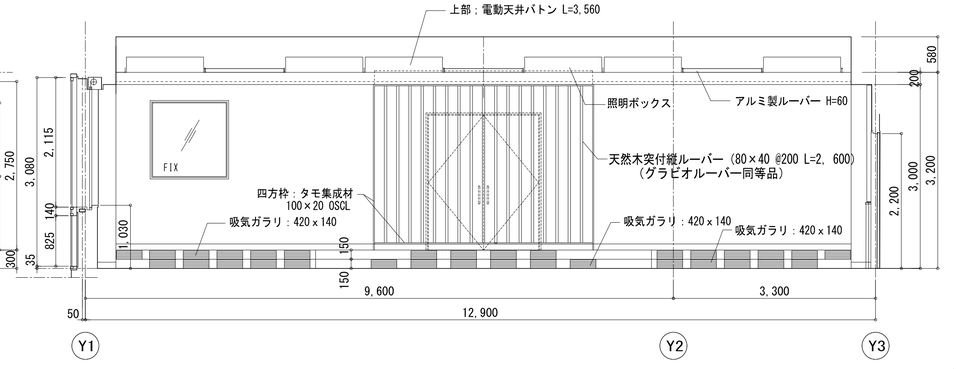


室名	3階 議場
床	M及び鋼製床組下地 ロールカーペット毛足7 層厚10 フェルト t=8
巾木	桧 OSCL H=100
腰壁	－
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）
天井	アルミ製ルーバー PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板ｔ＝12 スラブ・梁：セラミタイトエコG吹付 EP吹付（黒）
適用	議場家具（別途） 電動ロールブラインド 電動天井バトン 天然木突付縦ルーバー（80×40 @200） （グラビオルーバー同等品） 窓SUS手摺φ34 床下換気孔、ノンスリップ

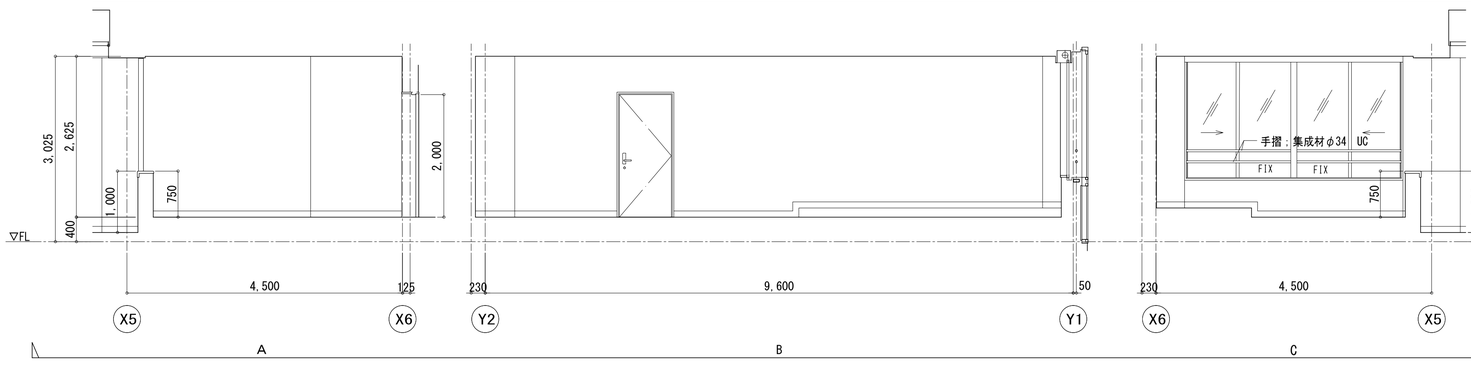


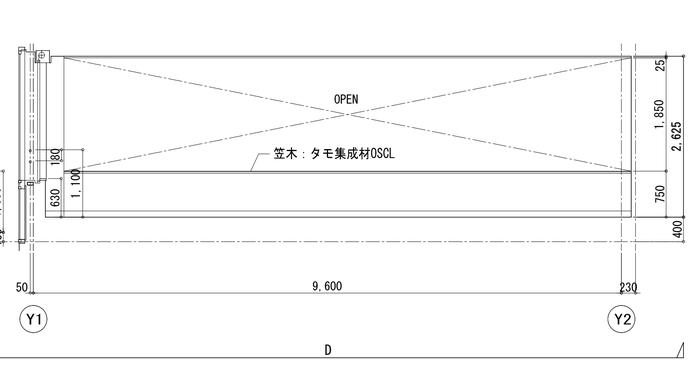






室名	3階傍聴席
床	鋼製床組下地 重歩行用タイルカーペットｔ＝6.5
巾木	桧 OSCL H=100
腰壁	－
壁	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板ｔ＝3（抗ｳｲﾙｽ）
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板ｔ＝12
適用	傍聴席家具（別途） 電動ロールブラインド 窓SUS手摺φ34 床下点検口、床下吸気ガラリ

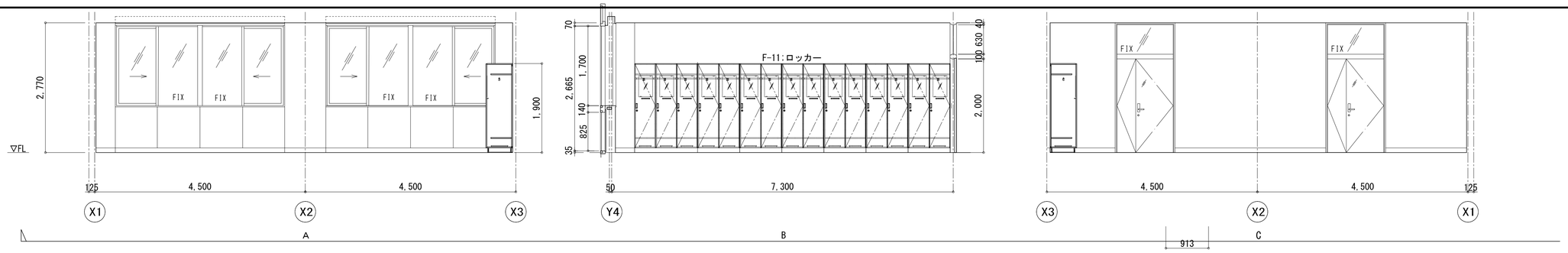


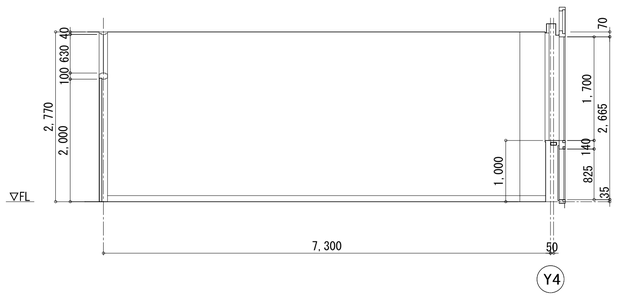


一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

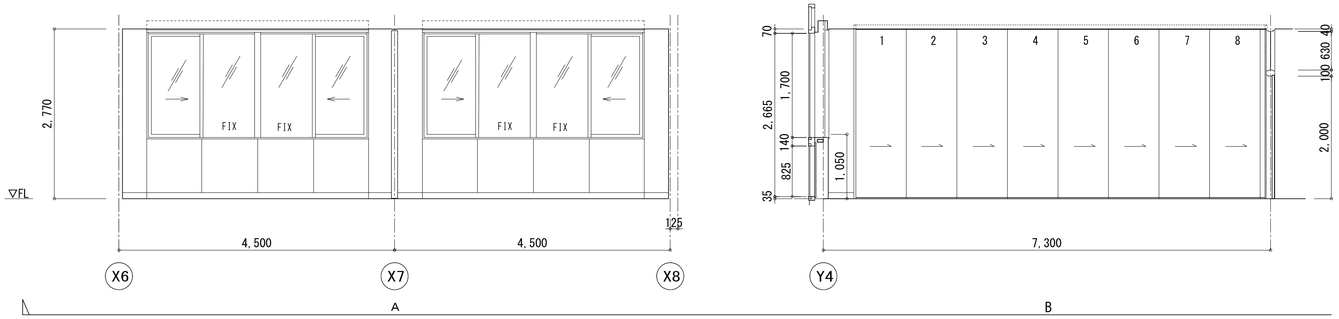
日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1：50 A3　1：100	長南町役場庁舎建設工事 展開図-7	A－49

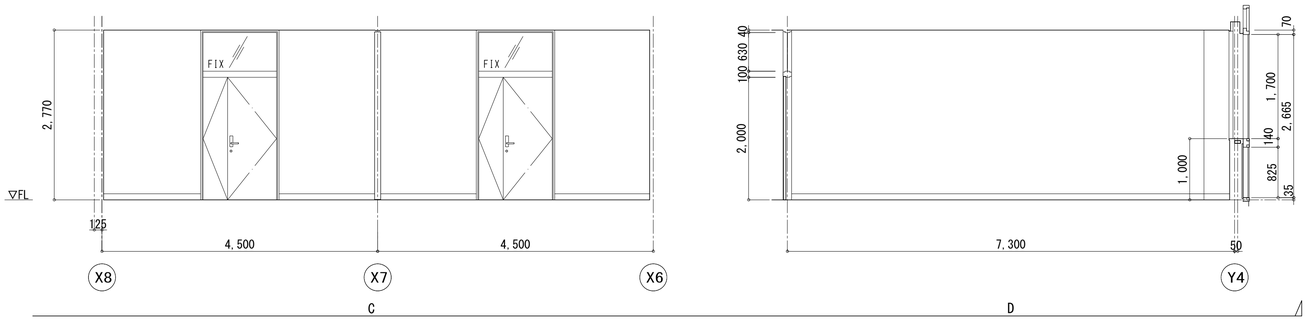
室名	３階議員控室
床	重歩行用タイルカーペット t＝6.5
巾木	桧 OSCL H=100
腰壁	－
壁	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板 t＝3（抗ｳｲﾙｽ）
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板 t＝19
適用	ロッカー



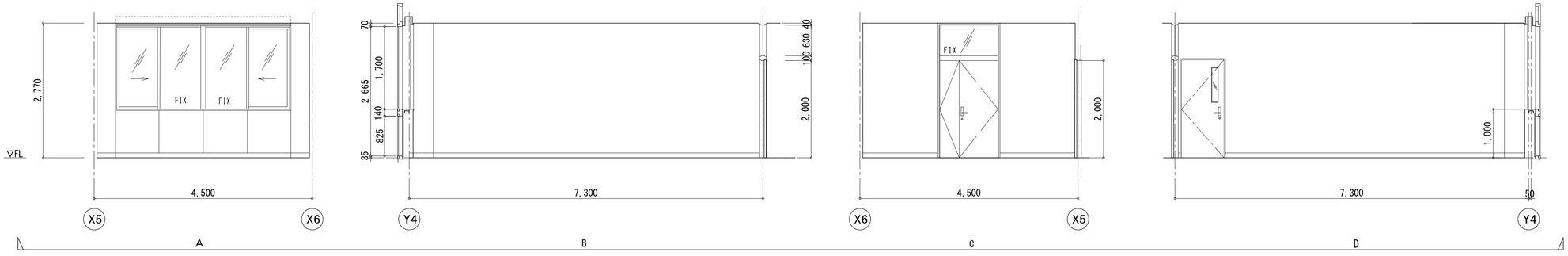


室名	３階委員会室
床	重歩行用タイルカーペット t＝6.5
巾木	桧 OSCL H=100
腰壁	－
壁	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板 t＝3（抗ｳｲﾙｽ）
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板 t＝19
適用	遮音スライディングウォール



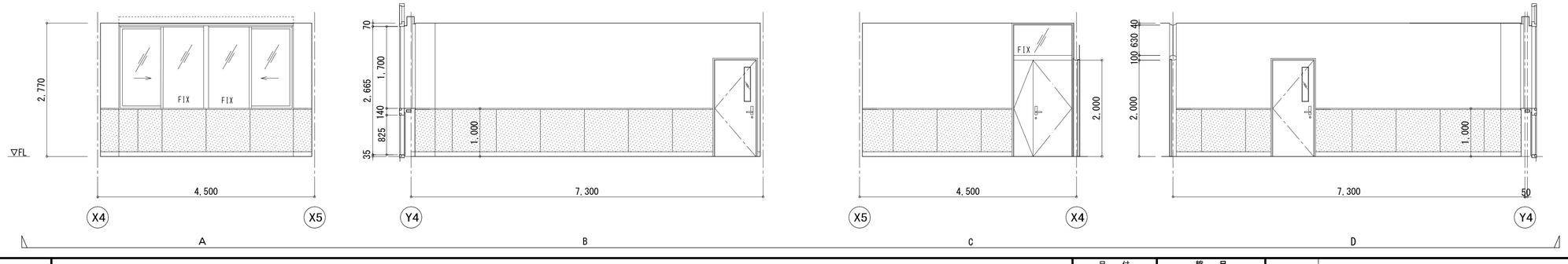


室名	３階 応接室
床	重歩行用タイルカーペット t＝6.5
巾木	桧 OSCL H=100
腰壁	－
壁	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板 t＝3（抗ｳｲﾙｽ）
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板 t＝19
適用	



室名	３階 議員事務局
床	重歩行用タイルカーペット t＝6.5
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	PB t＝12.5+9.5下地 メラミン不燃化粧板 t＝3（抗ｳｲﾙｽ）
壁	PB t＝12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板 t＝12
適用	

部分；メラミン不燃化粧板
t＝3（抗ｳｲﾙｽ）

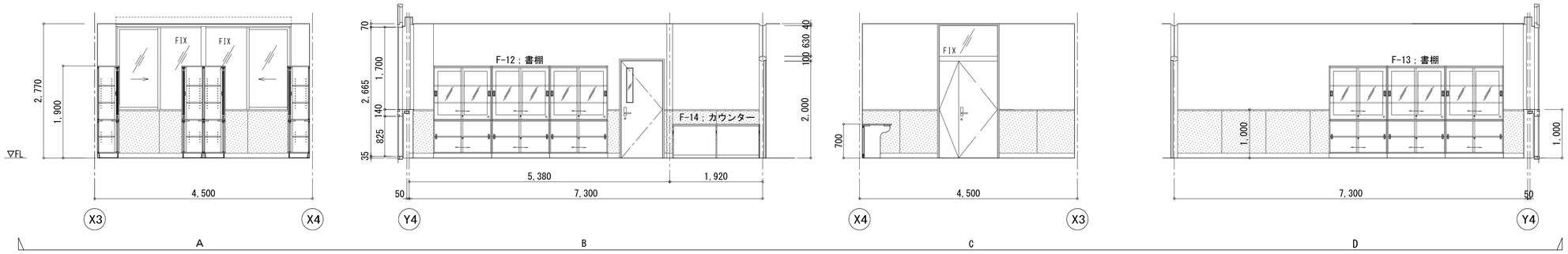


一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

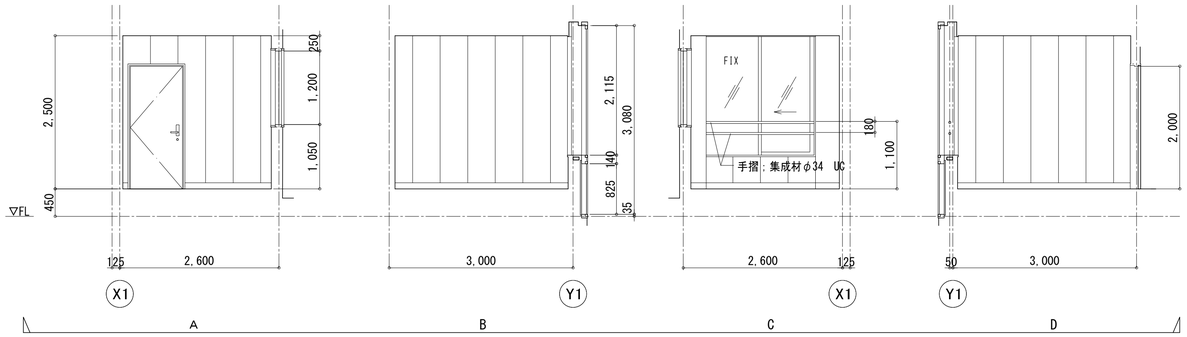
日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1：50 A3　1:100	長南町役場庁舎建設工事	A－50
		図面名称：展開図-8	

室名	3階 議会図書室
床	重歩行用タイルカーペット t＝6.5
巾木	ソフト巾木 H=100
腰壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板 t＝3（抗ｳｲﾙｽ）
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 不燃抗ウイルス壁紙貼り
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板 t＝12
適用	カウンター 書棚

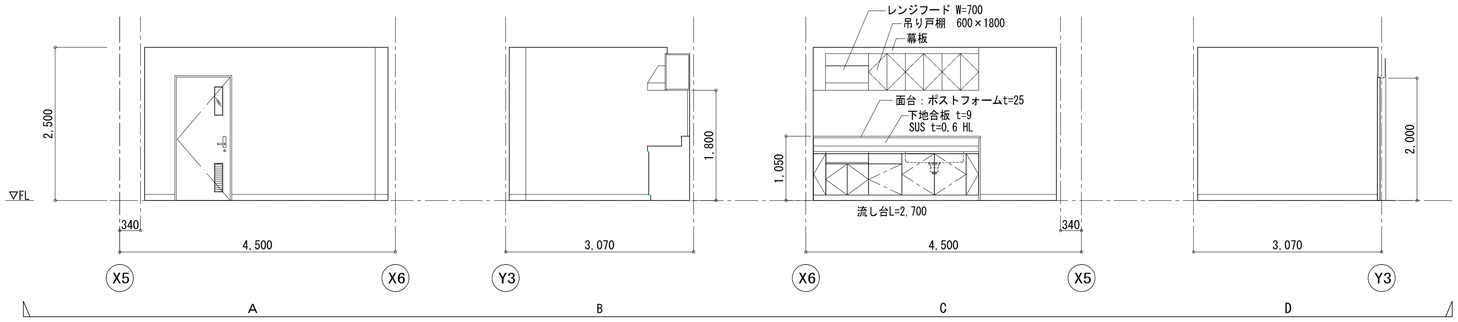
部分：メラミン不燃化粧板
t＝3（抗ｳｲﾙｽ）



室名	3階 調整室
床	鋼製床組下地 重歩行用タイルカーペット t＝6.5
巾木	木製巾木UC H=100
腰壁	－
壁	有孔不燃音響内装材厚12+GW20
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板 t＝12
適用	窓SUS手摺φ34

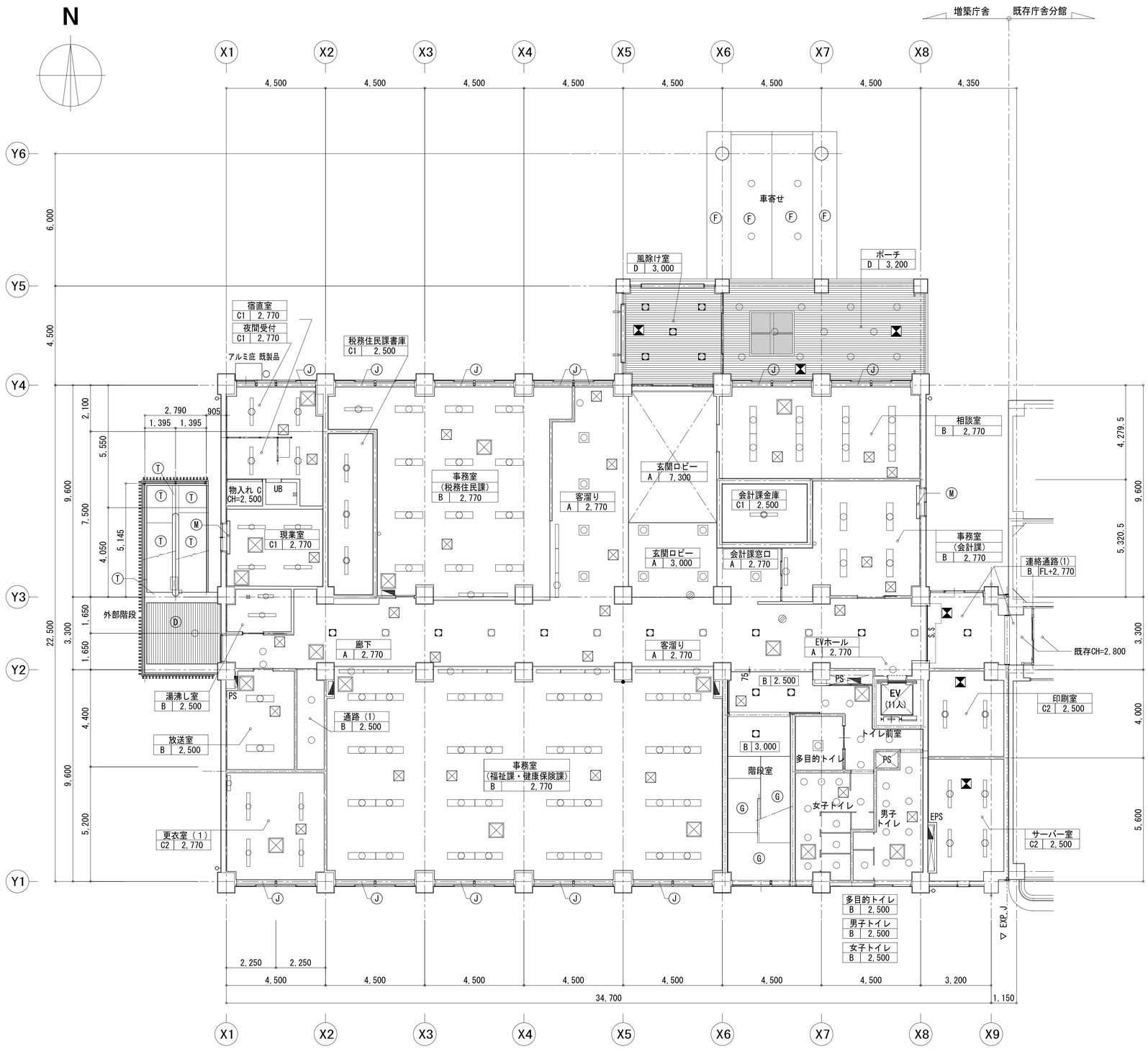


室名	3階 湯沸室
床	抗菌防滑長尺塩ビシートt=2.0
巾木	抗菌防滑長尺塩ビシートt=2.0 巻上げ　H=100
腰壁	－
壁	PB t=12.5+9.5下地　一部t=12.5GL工法 メラミン不燃化粧板 t＝3（抗ｳｲﾙｽ）
天井	PBt=9.5捨て張 ロックウール化粧吸音板 t＝12
適用	面台：ポストフォームt=25 システムキッチン　L=2,700 吊り戸棚　600×1800 レンジフード W=700



一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和　3年　月	A1　1：50 A3　1:100	図面名称	展開図-9	A－51



1 階天井伏図　S=1/100

凡例：

室名
仕上 | 天井高さ

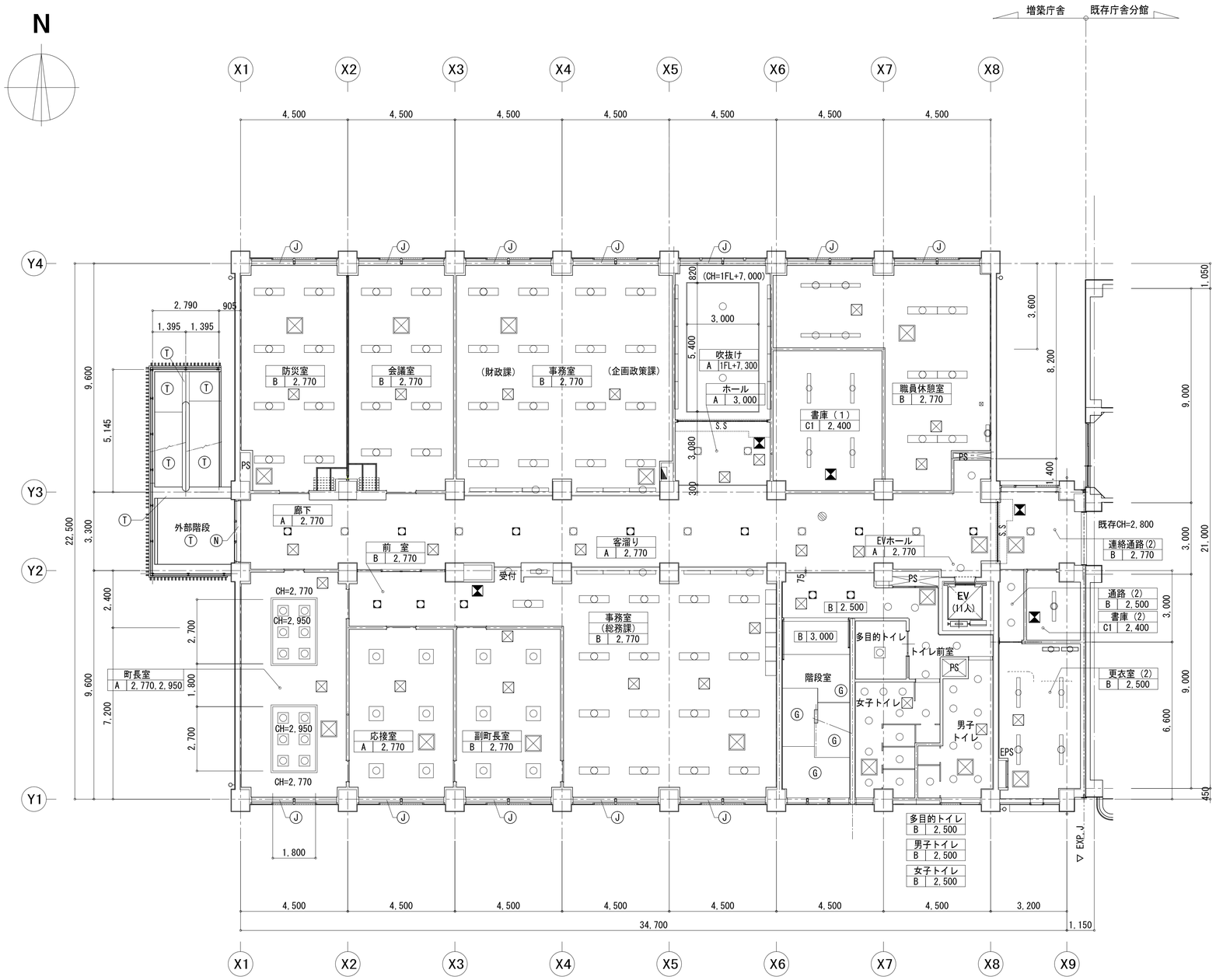
凡　例

	仕　　上　（建築工事）
A	ロックウール化粧吸音板 t=19、PBt=9.5捨て張
B	ロックウール化粧吸音板 t=12、PBt=9.5捨て張
C1	不燃化粧石膏ボード t=9.5
C2	化粧石膏ボード t=9.5
D	アルミスパンドレル
E	アルミ製ルーバー H=60及び照明ボックス （グリット1,300角） 天井裏：ラミタイトエコG吹付　EP吹付（黒）
F	アルミ化粧パネル AE-B
Ⓖ	モルタル金ゴテ 複層塗材E（ゆず肌）
Ⓗ	コンクリート打放し補修 EP
Ⓘ	コンクリート打放し補修 アクリルリシン吹付け
Ⓙ	スチール製ブラインドボックス t=1.6 SOP W=150
Ⓚ	木製(集成材)ブラインドボックス SOP W216×H200の上 電動ロールブラインド
Ⓛ	梁形：PB12.5下地不燃塩ビシート貼り
Ⓜ	木製(集成材)ブラインドボックス SOP W120×H120
Ⓝ	スチール曲げ加工 t=1.0 SOP
Ⓞ	可動間仕切ハンガーレール：アルミ製
Ⓟ	エキスパンションジョイントカバー：ステンレス
Ⓠ	見切：アルミt=2.0曲げ加工フッ素樹脂塗装
Ⓡ	電動バトン L=4,000 BOX；スチール曲げ加工 t=1.0 SOP
Ⓢ	軒天井：耐風天井下地カラーアルミスパンドレル張り
Ⓣ	コンクリート打放し補修 超低汚染フッ素樹脂塗装
Ⓤ	鉄骨表し：溶融亜鉛メッキ塗装
⊠	アルミ製点検口 450角 額縁タイプ 天井同材仕上　電気・機械 28 ヶ所
◪	同上　建築 6 ヶ所
⊠	アルミ製点検口 600角 額縁タイプ 天井同材仕上　電気・機械 17 ヶ所

1. 天井埋込器具等の開口補強は建築工事とする
2. 電気・機械工事の照明・空調機・吹出口等は、電気・機械設備設計図参照
3. 点検口、吹出口、照明等の位置とボード、パネル等の割付・目地割は現場調整による
4. 主な居室天井下地は耐震軽鉄天井下地（ハイブリッド天井）とする。（範囲は仕上表による）

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:100 A3　1:200	長南町役場庁舎建設工事 図面名称　1階天井伏図	A－52



２階天井伏図　S=1/100

凡例；

室名
仕上 | 天井高さ

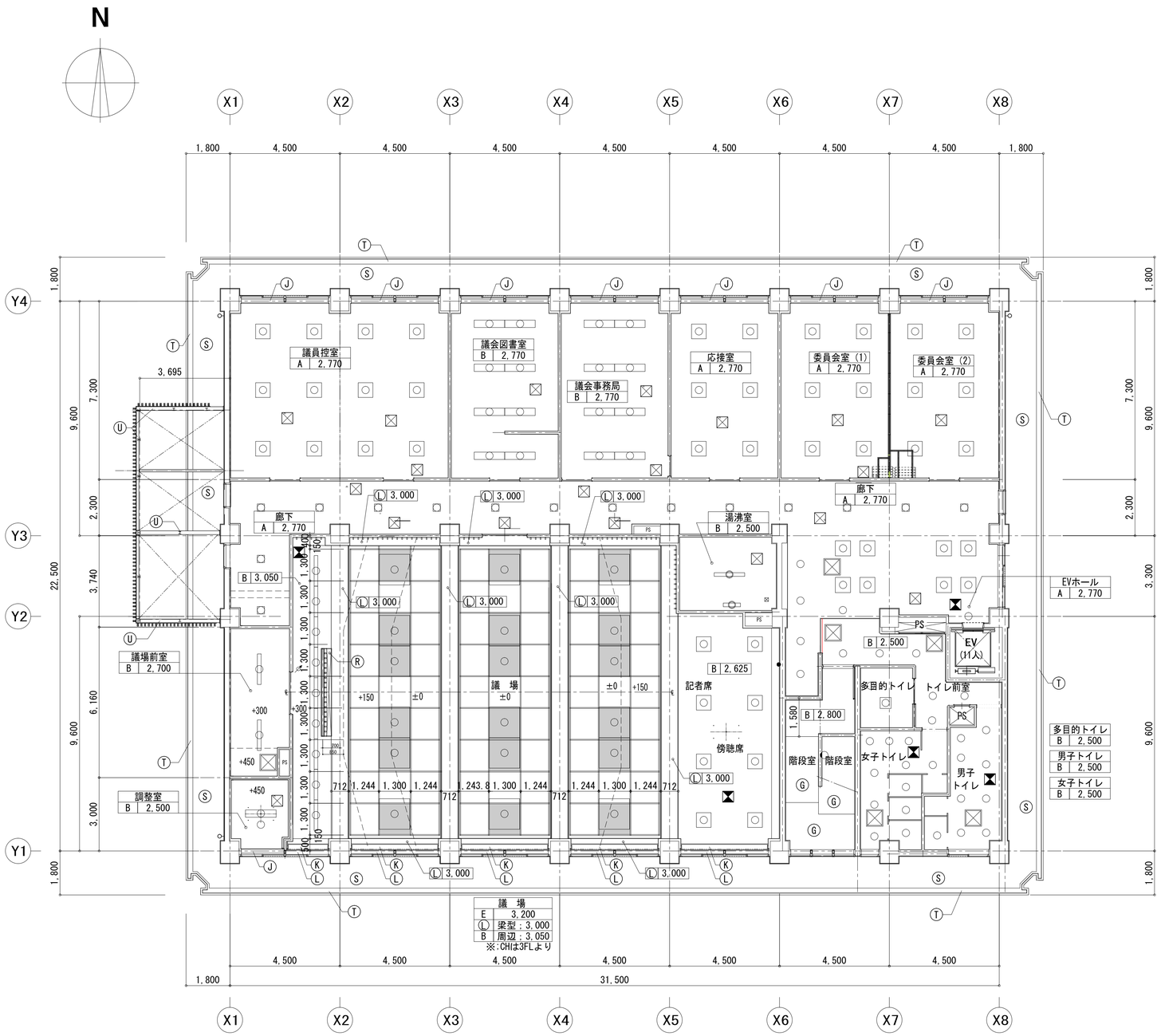
凡　例

	仕　　上　（建築工事）
A	ロックウール化粧吸音板 t=19、PBt=9.5捨て張
B	ロックウール化粧吸音板 t=12、PBt=9.5捨て張
C1	不燃化粧石膏ボード t=9.5
C2	化粧石膏ボード t=9.5
D	アルミスパンドレル
E	アルミ製ルーバー H=60及び照明ボックス （グリット1,300角） 天井裏；ラミタイトエコG吹付　EP吹付（黒）
F	アルミ化粧パネル AE-B
Ⓖ	モルタル金ゴテ 複層塗材E（ゆず肌）
Ⓗ	コンクリート打放し補修 EP
Ⓘ	コンクリート打放し補修 アクリルリシン吹付け
Ⓙ	スチール製ブラインドボックス t=1.6 SOP W=150
Ⓚ	木製(集成材)ブラインドボックス SOP W216×H200の上 電動ロールブラインド
Ⓛ	梁形：PB12.5下地不燃塩ビシート貼り
Ⓜ	木製(集成材)ブラインドボックス SOP W120×H120
Ⓝ	スチール曲げ加工 t=1.0 SOP
Ⓞ	可動間仕切ハンガーレール：アルミ製
Ⓟ	エキスパンションジョイントカバー：ステンレス
Ⓠ	見切：アルミt=2.0曲げ加工フッ素樹脂塗装
Ⓡ	電動バトン L=4,000 BOX；スチール曲げ加工 t=1.0 SOP
Ⓢ	軒天井：耐風天井下地カラーアルミスパンドレル張り
Ⓣ	コンクリート打放し補修 超低汚染フッ素樹脂塗装
Ⓤ	鉄骨表し：溶融亜鉛メッキ塗装
☒	アルミ製点検口 450角 額縁タイプ 天井同材仕上　電気・機械 26ヶ所
◪	同上　建築 5ヶ所
☒	アルミ製点検口 600角 額縁タイプ 天井同材仕上　電気・機械 16ヶ所

1. 天井埋込器具等の開口補強は建築工事とする
2. 電気・機械工事の照明・空調機・吹出口等は、電気・機械設備設計図参照
3. 点検口、吹出口、照明等の位置とボード、パネル等の割付・目地割は現場調整による
4. 主な居室天井下地は耐震軽鉄天井下地（ハイブリッド天井）とする。（範囲は仕上表による）

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

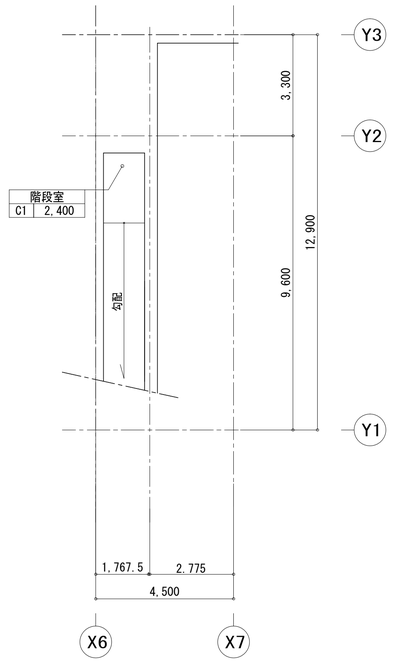
日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:100 A3　1:200	長南町役場庁舎建設工事 図面名称　2階天井伏図	A－53



3 階天井伏図　S=1/100

凡例：

室名
仕上 | 天井高さ



PH天井伏図　S=1/100

凡例：

室名
仕上 | 天井高さ

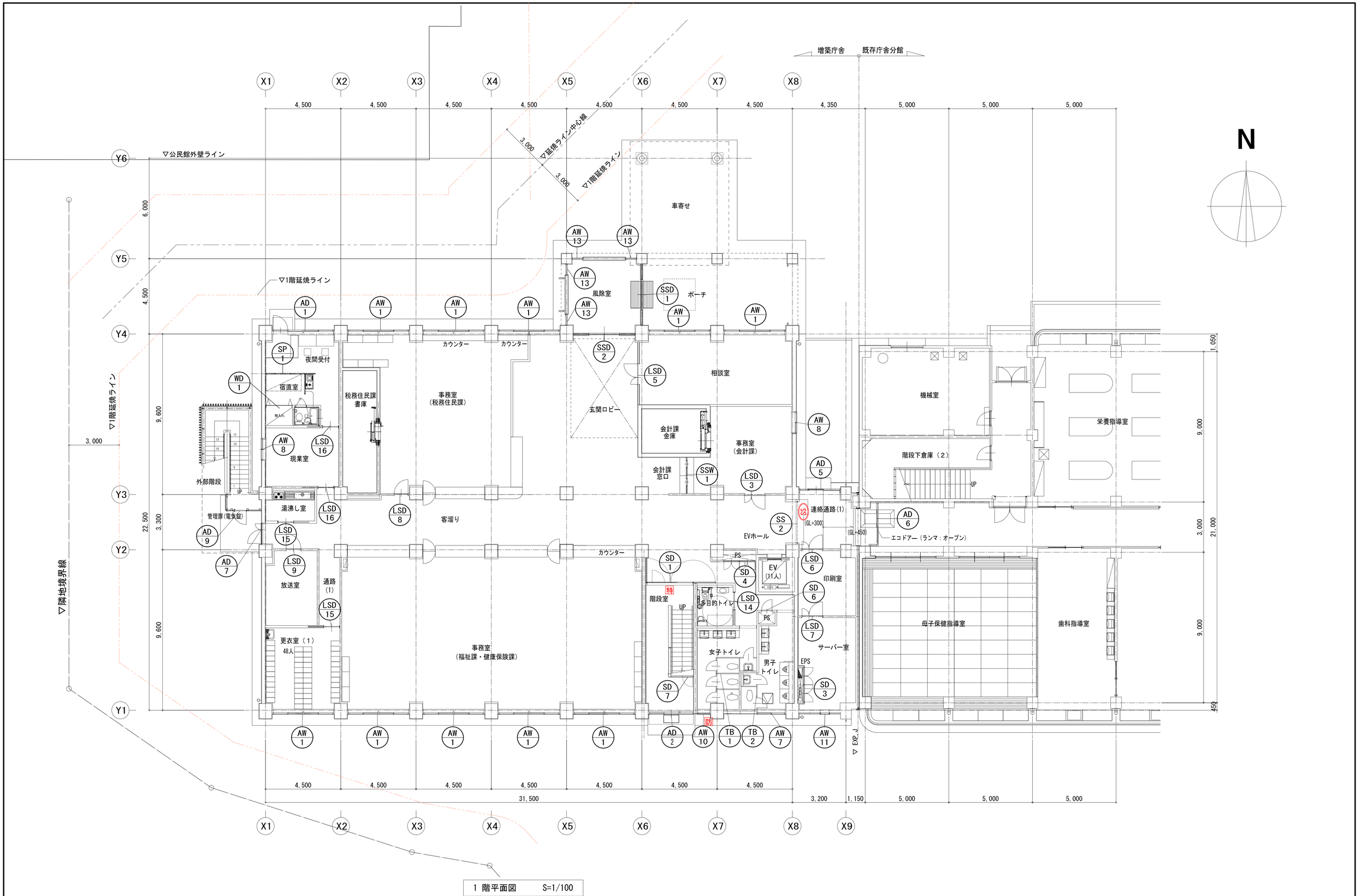
凡例

	仕上　（建築工事）
A	ロックウール化粧吸音板 t=19、PBt=9.5捨て張
B	ロックウール化粧吸音板 t=12、PBt=9.5捨て張
C1	不燃化粧石膏ボード t=9.5
C2	化粧石膏ボード t=9.5
D	アルミスパンドレル
E	アルミ製ルーバー H=60及び照明ボックス （グリット1,300角） 天井裏：ラミタイトエコG吹付　EP吹付（黒）
F	アルミ化粧パネル AE-B
Ⓖ	モルタル金ゴテ 複層塗材Ｅ（ゆず肌）
Ⓗ	コンクリート打放し補修 EP
Ⓘ	コンクリート打放し補修 アクリルリシン吹付け
Ⓙ	スチール製ブラインドボックス t=1.6 SOP W=150
Ⓚ	木製(集成材)ブラインドボックス SOP W216×H200の上 電動ロールブラインド
Ⓛ	梁形：PB12.5下地不燃塩ビシート貼り
Ⓜ	木製(集成材)ブラインドボックス SOP W120×H120
Ⓝ	スチール曲げ加工 t=1.0 SOP
Ⓞ	可動間仕切ハンガーレール：アルミ製
Ⓟ	エキスパンションジョイントカバー：ステンレス
Ⓠ	見切：アルミt=2.0曲げ加工フッ素樹脂塗装
Ⓡ	電動バトン L=4,000 BOX；スチール曲げ加工 t=1.0 SOP
Ⓢ	軒天井：耐風天井下地カラーアルミスパンドレル張り
Ⓣ	コンクリート打放し補修 超低汚染フッ素樹脂塗装
Ⓤ	鉄骨表し：溶融亜鉛メッキ塗装
☒	アルミ製点検口 450角 額縁タイプ 天井同材仕上　電気・機械 18 ヶ所
◪	同上　建築 5 ヶ所
☒	アルミ製点検口 600角 額縁タイプ 天井同材仕上　電気・機械 6 ヶ所

1. 天井埋込器具等の開口補強は建築工事とする
2. 電気・機械工事の照明・空調機・吹出口等は、電気・機械設備設計図参照
3. 点検口、吹出口、照明等の位置とボード、パネル等の割付・目地割は現場調整による
4. 主な居室天井下地は耐震軽鉄天井下地（ハイブリッド天井）とする。（範囲は仕上表による）

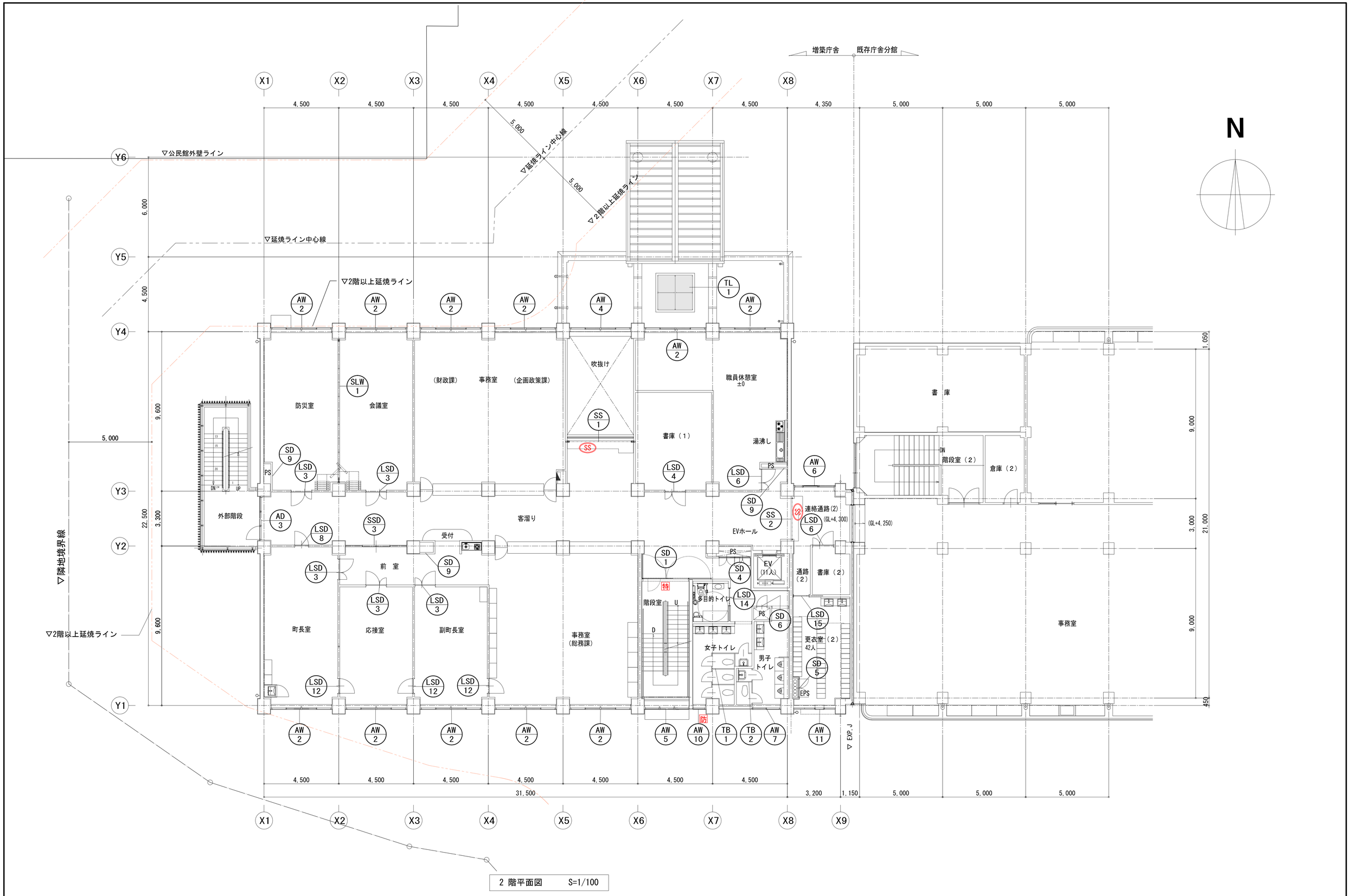
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:100 A3　1:200	長南町役場庁舎建設工事	A－54
		図面名称：3階・PH階天井伏図	



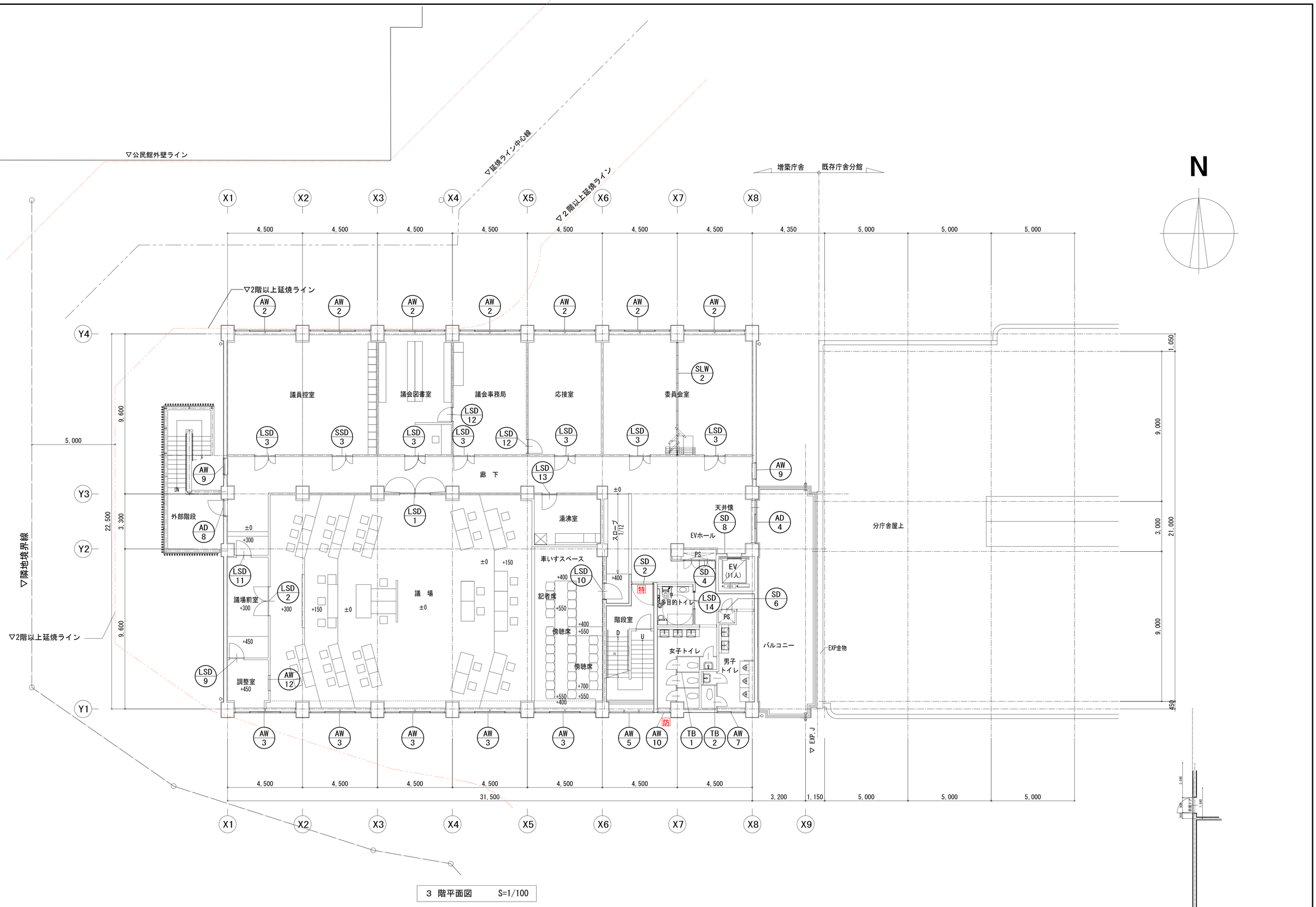
1 階平面図　S=1/100

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所	日付 令和 3年 月	縮尺 A1 1:100 A3 1:200	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号 A−55
			図面名称	1階建具キープラン	



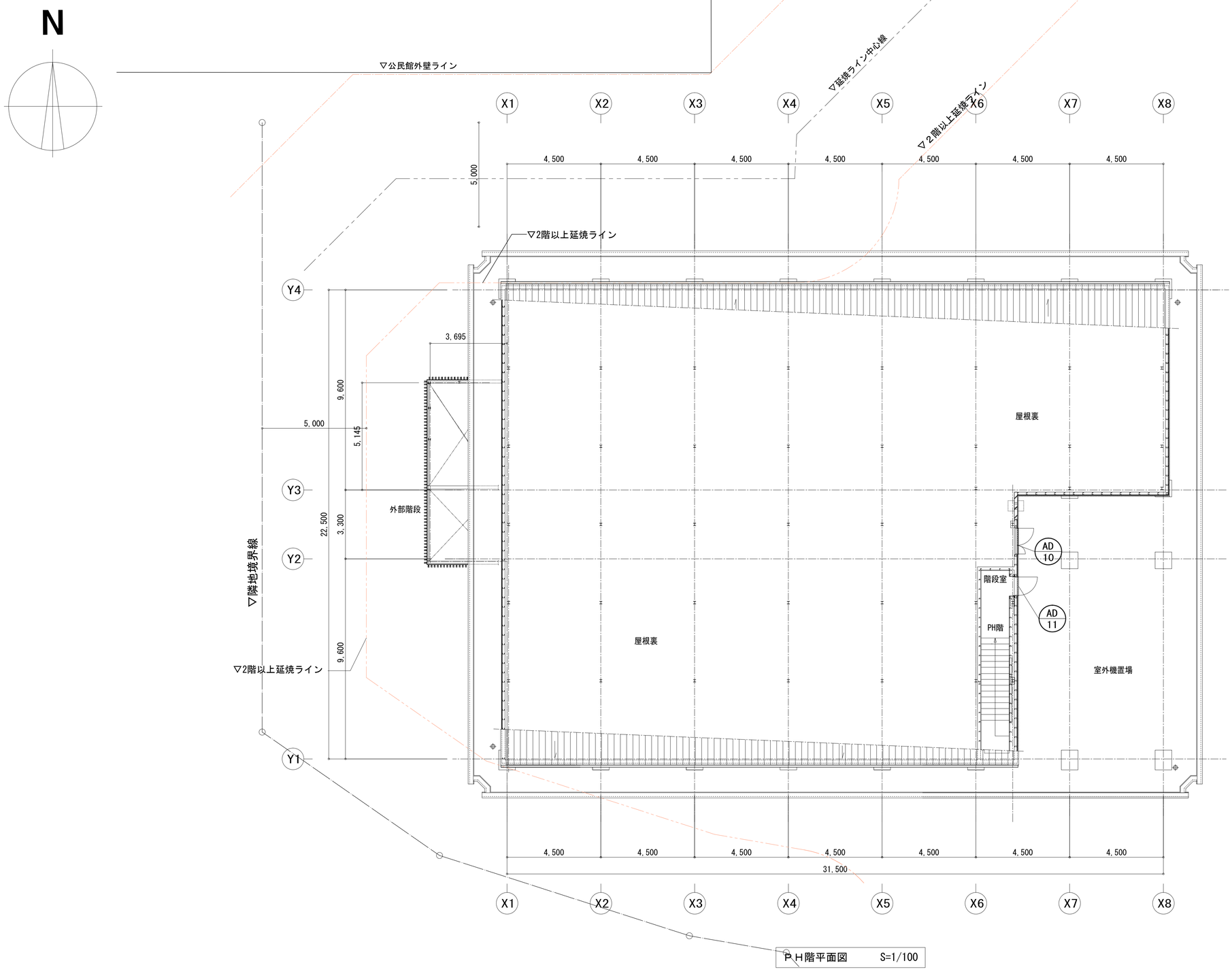
2 階平面図　　S=1/100

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所		日　付 令和　3年　月	縮　尺 A1　1:100 A3　1:200	工事名称	長南町役場庁舎建設工事
				図面名称	3階建築キープラン
				図面番号	A－56



3　階平面図　　S=1/100

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所		日　付 令和　3年　月	縮　尺 A1　1:100 A3　1:200	工事名称	長南町役場庁舎建設工事
				図面名称	3階建具キープラン
				図面番号	A－57



ＰＨ階平面図　　S=1/100

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所		日　付 令和　3年　月	縮　尺 A1　1:100 A3　1:200	工事名称	長南町役場庁舎建設工事
				図面名称	PH階建具キープラン
				図面番号	A－58

（特　記　事　項）

1. 建具附属金物は、見本品を提出のうえ監督員の承諾を得る。
2. 開口寸法は、内法有効寸法とする。
3. 特記なき限り、扉の見込は鋼製は40mmとする。
4. 特記なき限り、枠の見付は25mm、ちりは10mmとする。
5. 特記なき限り、枠及びドアがラリの材質・仕上は扉同一とする。
6. 特記なき限り、枠及びドアがラリの材質・仕上は扉同一とする。
7. 特記なき限り、雨掛りのある建具の上枠部に水切りを設置する。
8. 特記なき限り、雨掛りのある建具の下枠部に水切りを設置する。（原則下枠同材）
9. 外部廻りの建具の枠・膳板等は、結露水の水抜きができるものとする。
3. FIXサッシュは結露受を付ける。
10. 特記なきアルミ製建具はT-2とする。
11. シリンダー錠は、ＣＰ－Ｃ認定品とする。
12. 自動ドアエンジンカバー等（半自動ドア・手動ドアを含む）は、蝶番等の固定による落下防止対策を施すこと。
13. 排煙サッシオペレーター装置は原則としてアルミサッシ枠またはかまち内蔵型とする
14. オペレーターケーブルは躯体または仕上内隠蔽とし、ハンドルボックスはスチール製メラミン焼付塗装品とする。
15. 複層ガラスの中空層は特記以外6mmとする。
16. マスターキー㊫ ・ 不要、グランドマスターキー 要 ・ 不要
17. 外部に面するガラリで空調チャンバーが取付く箇所以外はアルミ板（t2）防水処理を室内側サッシ枠に取付け、断熱処理を行う事。（チャンバー位置は設備図に依る）

（記　号）

＜扉＞
- ＳＤ　鋼製扉
- ＳＳＤ　ステンレス製扉
- ＬＳＤ　鋼製軽量扉
- ＡＤ　アルミ製扉
- ＷＤ　木製扉
- ＴＢ　トイレブース
- ＳＬＷ　スライディングウォール

＜ガラリ・シャッター＞
- ＡＧ　アルミ製ガラリ
- ＳＧ　鋼製ガラリ
- ＳＳ　シャッター

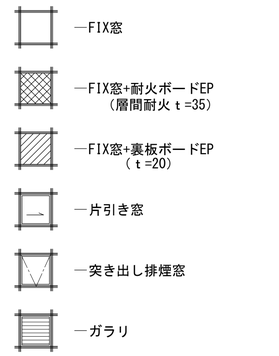
＜窓＞
- ＡＷ　アルミ製窓
- ＳＳＷ　ステンレス製窓
- ＳＷ　鋼製窓
- ＷＷ　木製窓

＜その他＞
- Ｆ　ふすま
- Ｐ　障子

（ガラス）

- Ｆ　型板ガラス（４，６）
- ＦＬ　フロート板ガラス（５，６，８，１０，１２，１５）
- Ｐ　磨板ガラス（６、８、１０）
- Ａ　熱線吸収板ガラス
- Ｒ　熱線反射板ガラス
- Ｌ　合わせガラス
- ＰＧ　複層ガラス
- ＦＴ　型板ガラス（４）
- ＡＲ　熱線吸収反射ガラス
- ＨＲ　高性能熱線反射ガラス
- ＨＡＲ　高性能熱線反射吸収ガラス
- Ｔ　強化ガラス
- Ｗｃ　網入り磨き板ガラス（クロス）
- Ｗｐ　網入り磨き板ガラス（平行）
- ＬＷｃ　網入り型板ガラス（クロス）
- ＬＷｐ　網入り型板ガラス（平行）

Y1通り、Y4通り窓 建具凡例



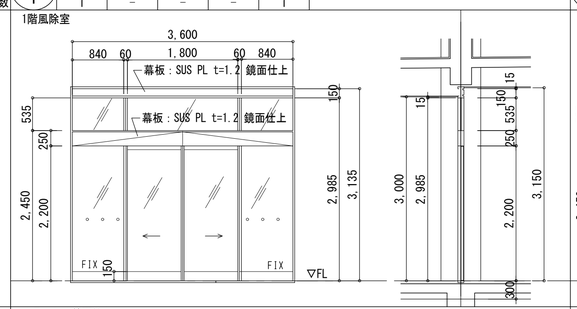
構成ガラス記号凡例

- A　：FL6
- B　：Low-E5 + A6 + FL5　（複層ガラス）
- C　：Low-E5 + A6 + T6　（複層ガラス）
- D　：Low-E5 + A6 + Wc6.8　（複層ガラス）
- E　：Low-E6 + A6 + FL6　（複層ガラス）
- F　：FL5 + A6 + FL5　（複層ガラス）

SSD 1　ステンレス製自動引分ドア

建具記号	1F	2F	3F	RF	TOTAL
階数	1	–	–	–	1
個数	1	–	–	–	1

姿図

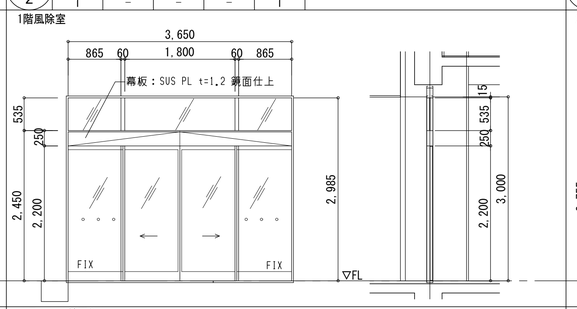


材料・仕上	ステンレス鏡面仕上
付属金物	シリンダー本締り錠・エンジン装置・付属金物一式 天井センサー・補助光電スイッチ・電源スイッチ（壁設置） パニックオープンシステム・非常電源付・非常ボタン付
摘要・ガラス	枠見込100　合せガラス　FL5+5
備考	衝突防止シール(SUS)

SSD 2　ステンレス製自動引分ドア

建具記号	1F	2F	3F	RF	TOTAL
階数	1	2F	3F	RF	TOTAL
個数	1	–	–	–	1

姿図

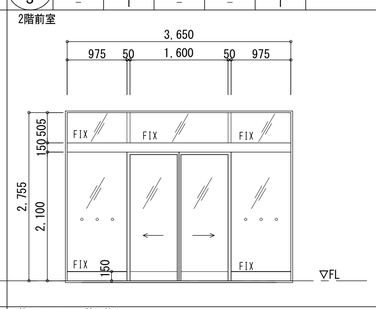


材料・仕上	ステンレス鏡面仕上
付属金物	シリンダー本締り錠・エンジン装置・付属金物一式 天井センサー・補助光電スイッチ・電源スイッチ（壁設置） パニックオープンシステム・非常電源付・非常ボタン付
摘要・ガラス	枠見込100　合せガラス　FL5+5
備考	衝突防止シール(SUS)

SSD 3　ステンレス製引分ドア

建具記号	1F	2F	3F	RF	TOTAL
階数	–	1	–	–	1
個数	–	1	–	–	1

姿図

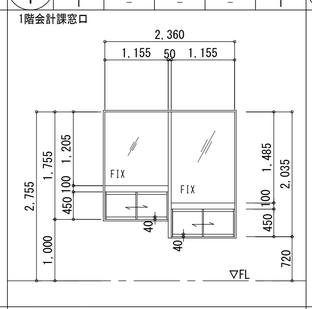


材料・仕上	枠：ステンレス鏡面仕上
付属金物	シリンダー本締り錠・サムターン・引手 吊り金物、ガイドレール、付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込100　合せガラス　FL5+5
備考	衝突防止シール(SUS)

SSW 1　ステンレス製FIXランマ付引き違い窓

建具記号	1F	2F	3F	RF	TOTAL
階数	1	–	–	–	1
個数	1	–	–	–	1

姿図



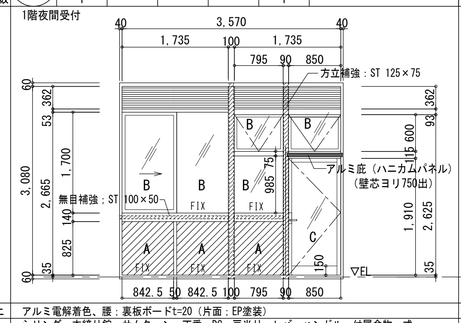
材料・仕上	ステンレスHL仕上
付属金物	シリンダー錠錠、ソロバンレール、ステンレスカマチ 引手、付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込70　T-5
備考	ガラス窓：SUS網付

	1F	2F	3F	RF	TOTAL

AD 1　アルミ製腰FIX・ガラリ・片引き窓・外倒し排煙ランマ付付片開ドア

建具記号	1F	2F	3F	RF	TOTAL
階数	1	–	–	–	1
個数	1	–	–	–	1

姿図

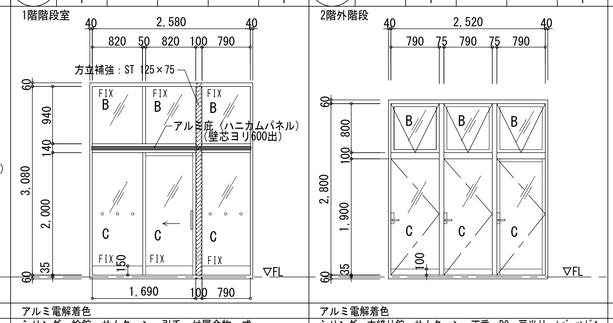


材料・仕上	アルミ電解着色、腰：裏板ボードt=20（片面：EP塗装）
付属金物	シリンダー本締り錠・サムターン・丁番・DC・戸当り、レバーハンドル・付属金物一式 無目・方立補強、（カーテンボックス、額縁、補強カバー：ST PL-1.6t 焼付塗装）
摘要・ガラス	枠見込100、アルミ庇（ハニカムパネル）L=900 D=750
備考	面一サッシ、SUS防鳥網、ダクト取合い金物、排煙窓オペレーター

AD 2　アルミ製腰FIX付片引き戸

建具記号	1F	2F	3F	RF	TOTAL
階数	1	–	–	–	1
個数	1	–	–	–	1

姿図



材料・仕上	アルミ電解着色
付属金物	シリンダー本締り錠・サムターン・引手・付属金物一式 方立補強、（ｶｰﾃﾝBOX、額縁、補強カバー：ST PL-1.6t 焼付塗装）
摘要・ガラス	枠見込100、アルミ庇（ハニカムパネル）L=2700 D=600
備考	面一サッシ、衝突防止シール(SUS)

AD 3　アルミ製外倒し排煙ランマ付3連片開ドア

建具記号	1F	2F	3F	RF	TOTAL
階数	–	1	–	–	1
個数	–	1	–	–	1

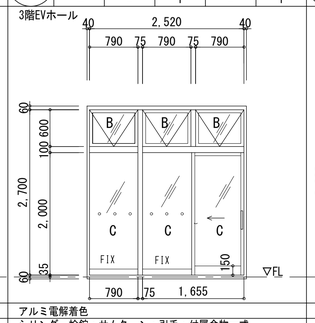
姿図

材料・仕上	アルミ電解着色
付属金物	シリンダー本締り錠・サムターン・丁番・DC・戸当り・ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ付属金物一式、（ｶｰﾃﾝBOX、額縁：ST PL-1.6t焼付塗装）
摘要・ガラス	枠見込100、扉：40
備考	面一サッシ、排煙窓オペレーター

AD 4　アルミ製FIX・外倒し排煙ランマ付片引きドア

建具記号	1F	2F	3F	RF	TOTAL
階数	–	–	1	–	1
個数	–	–	1	–	1

姿図

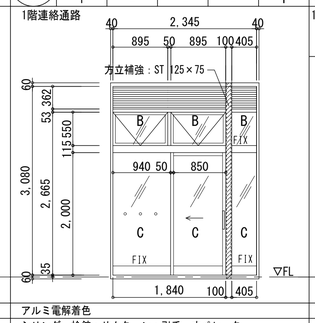


材料・仕上	アルミ電解着色
付属金物	シリンダー錠錠・サムターン・引手・付属金物一式 カーテンボックス、額縁：ST PL-1.6t焼付塗装
摘要・ガラス	枠見込100
備考	面一サッシ、排煙窓オペレーター、衝突防止シール(SUS)

AD 5　アルミ製外倒し排煙ランマ付片引きドア

建具記号	1F	2F	3F	RF	TOTAL
階数	‡	–	–	–	1
個数					

姿図

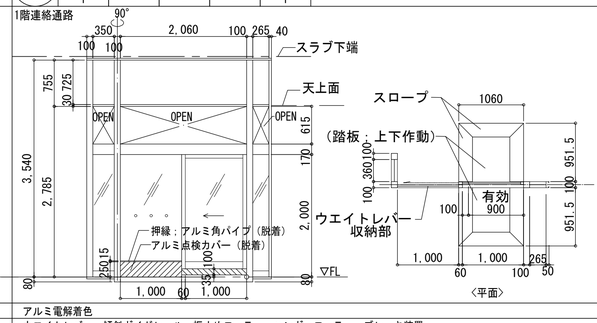


材料・仕上	アルミ電解着色
付属金物	シリンダー錠錠・サムターン・引手、オペレーター 方立補強、カーテンボックスST PL-1.6t焼付塗装.付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込100、補強カバー：ST PL-1.6t 焼付塗装
備考	面一サッシ、SUS防鳥網、ダクト取合い金物

AD 6　アルミ製片引ドア（エコドア）

建具記号	1F	2F	3F	RF	TOTAL
階数	1	–	–	–	1
個数	1	–	–	–	1

姿図

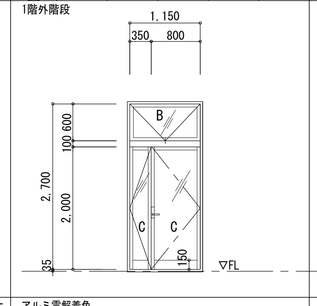


材料・仕上	アルミ電解着色
付属金物	ウエイトレバー、傾斜ガイドレール、振止めローラー、ハンガーローラー、ブレーキ装置 レール、外れ止めローラー、踏板スロープ、上下作動踏板、点検アルミカバー、付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込100　T6
備考	mimo自動ドア、mimo接地面ピット FL-80

AD 7　アルミ製 外倒し排煙ランマ付親子開きドア

建具記号	1F	2F	3F	RF	TOTAL
階数	1	–	–	–	1
個数					

姿図

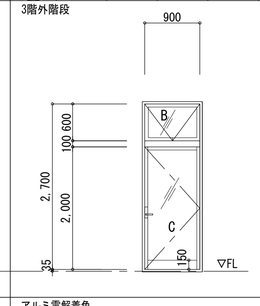


材料・仕上	アルミ電解着色
付属金物	シリンダー本締り錠・サムターン・丁番・DC・戸当り レバーハンドル、フランス落し、付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込100、無目見付100
備考	面一サッシ、排煙窓オペレーター

AD 8　アルミ製 外倒し排煙ランマ付片開き戸

建具記号	1F	2F	3F	RF	TOTAL
階数	–	–	1	–	1
個数					

姿図

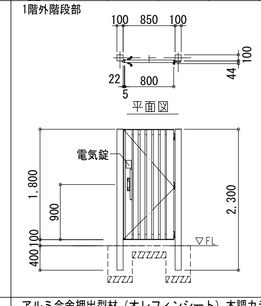


材料・仕上	アルミ電解着色
付属金物	シリンダー本締り錠・サムターン・丁番・DC・戸当り レバーハンドル、付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込100、無目見付100
備考	面一サッシ、排煙窓オペレーター

AD 9　アルミ製片開き格子戸

建具記号	1F	2F	3F	RF	TOTAL
階数	1	–	–	–	1
個数					

姿図

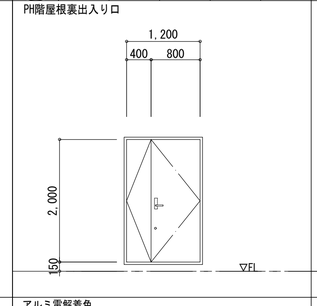


材料・仕上	アルミ合金押出型材（オレフィンシート）木調カラー
付属金物	電気錠、丁番、引手、フランス落し、付属金物一式
摘要・ガラス	見込 44、100角支柱
備考	四国化成：アレグリア TL2型 同等

AD 10　アルミ製親子開きフラッシュ戸

建具記号	1F	2F	3F	RF	TOTAL
階数	–	–	–	1	1
個数					

姿図

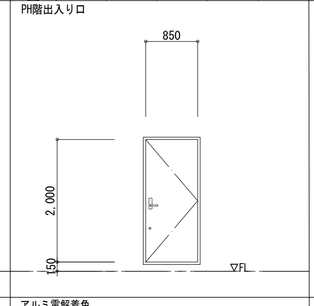


材料・仕上	アルミ電解着色
付属金物	シリンダー本締り錠、サムターン、丁番、DC、レバーハンドル 戸当り、フランス落し、アルミ額縁、付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込100、扉：40
備考	

AD 11　アルミ製片開きフラッシュ戸

建具記号	1F	2F	3F	RF	TOTAL
階数	–	–	–	1	1
個数					

姿図

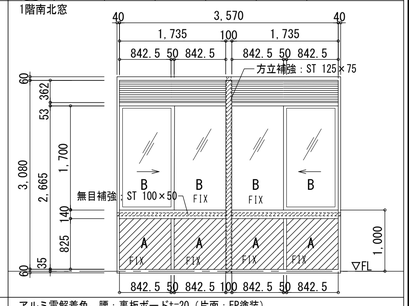


材料・仕上	アルミ電解着色
付属金物	シリンダー本締り錠、サムターン、丁番、DC、レバーハンドル 戸当り、アルミ額縁、付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込100、扉：40
備考	

AW 1　アルミ製 FIX・ガラリ付片引き窓

建具記号	1F	2F	3F	RF	TOTAL
階数	10	–	–	–	10
個数					

姿図



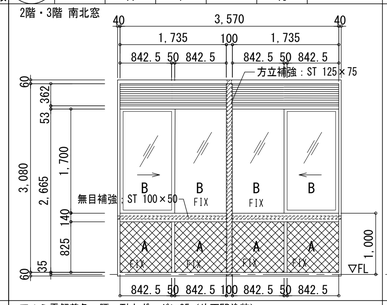
材料・仕上	アルミ電解着色、腰：裏板ボードt=20（片面：EP塗装）
付属金物	無目・方立補強、（カーテンボックス、額縁、補強カバー：ST PL-1.6t 焼付塗装） 付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込100
備考	面一サッシ、SUS防鳥網、ダクト取合い金物

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所
一級建築士登録
第１６５８１４号
鹿　間　義　弘

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1：50 A1　1：100	長南町役場庁舎建設工事 図面名称：建具表(1)	A－５９

建具記号	名称	AW	アルミ製 FIX・ガラリ付片引き窓				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	–	11	7	–	18

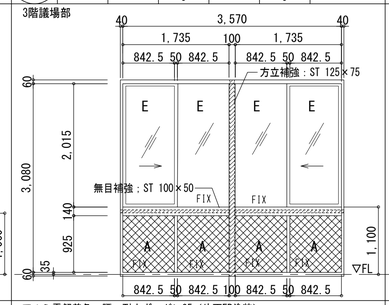
姿図



材料・仕上	アルミ電解着色、腰：耐火ボードt=35（片面EP塗装）
付属金物	無目・方立補強、（カーテンボックス、額縁、補強カバー：ST PL-1.6t 焼付塗装） 付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込100
備考	面一サッシ、SUS防鳥網、ダクト取合い金物

建具記号	名称	AW	アルミ製 FIX・片引き窓				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	–	–	5	–	5

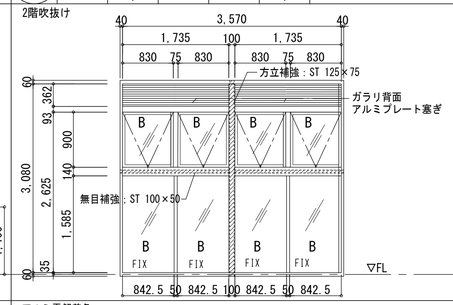
姿図



材料・仕上	アルミ電解着色、腰：耐火ボードt=35（片面EP塗装）
付属金物	無目・方立補強、（カーテンボックス、額縁、補強カバー：ST PL-1.6t 焼付塗装） 付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込100
備考	面一サッシ

建具記号	名称	AW	アルミ製 FIX・ガラリ付外倒し排煙窓				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	–	1	–	–	1

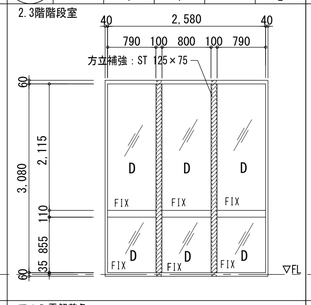
姿図



材料・仕上	アルミ電解着色
付属金物	無目・方立補強、（カーテンボックス、額縁、補強カバー：ST PL-1.6t 焼付塗装） 付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込100
備考	面一サッシ、SUS防鳥網、ダクト取合い金物、排煙窓オペレーター

建具記号	名称	AW	アルミ製 FIX窓				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	–	1	1	–	2

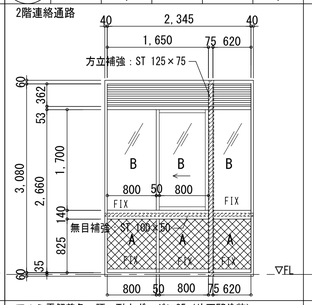
姿図



材料・仕上	アルミ電解着色
付属金物	方立補強、補強カバー外形：80×55、額縁 ST PL-1.6t 焼付塗装 付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込100
備考	面一サッシ

建具記号	名称	AW	アルミ製 FIX・ガラリ付片引き窓				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	–	1	–	–	1

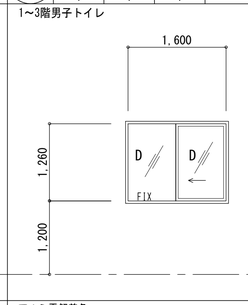
姿図



材料・仕上	アルミ電解着色、腰：耐火ボードt=35（片面EP塗装）
付属金物	方立補強、補強カバー外形：80×55、額縁、 ST PL-1.6t 焼付塗装 付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込100
備考	面一サッシ、SUS防鳥網、ダクト取合い金物

建具記号	名称	AW	アルミ製片引き窓				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	1	1	1	–	3

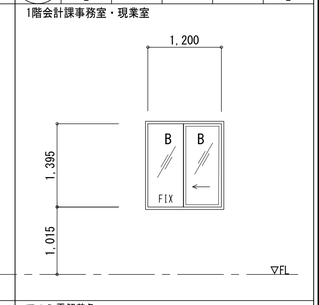
姿図



材料・仕上	アルミ電解着色
付属金物	付属金物一式、額縁：ST PL-1.6t 焼付塗装
摘要・ガラス	枠見込100
備考	面一サッシ

建具記号	名称	AW	アルミ製片引き窓				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	2	–	–	–	2

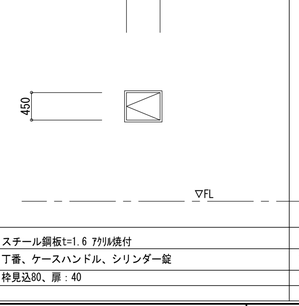
姿図



材料・仕上	アルミ電解着色
付属金物	同左
摘要・ガラス	枠見込100
備考	面一サッシ

建具記号	名称	AW	アルミ製縦軸スベリ出し窓				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	–	–	2	–	2

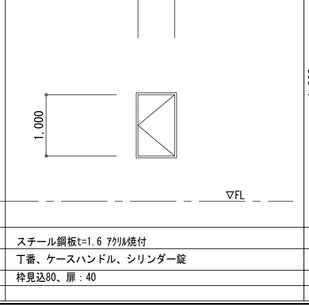
姿図



材料・仕上	アルミ電解着色
付属金物	付属金物一式、額縁：ST PL-1.6t 焼付塗装
摘要・ガラス	枠見込100
備考	面一サッシ

建具記号	名称	AW	アルミ製縦軸スベリ出し窓				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	1	1	1	–	3

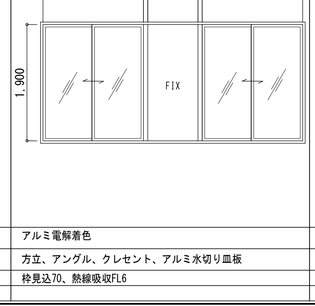
姿図



材料・仕上	アルミ電解着色
付属金物	同左
摘要・ガラス	枠見込100
備考	面一サッシ

建具記号	名称	AW	アルミ製縦軸スベリ出し窓				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	1	1	–	–	2

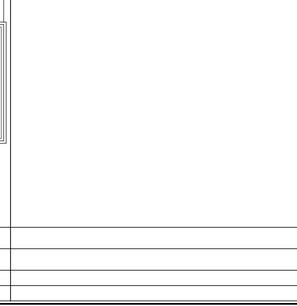
姿図



材料・仕上	アルミ電解着色
付属金物	同左
摘要・ガラス	枠見込100
備考	面一サッシ

建具記号	名称	AW	アルミ製嵌め殺し窓				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	–	–	1	–	1

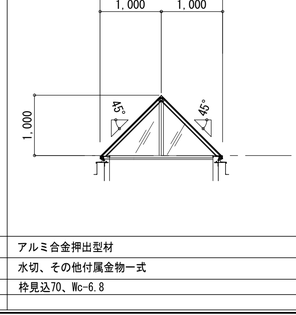
姿図



材料・仕上	アルミ電解着色
付属金物	付属金物一式、アルミアングル
摘要・ガラス	枠見込100
備考	

建具記号	名称	AW	アルミ製腰嵌め殺し付縦ﾐﾘ出し窓				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	4	–	–	–	4

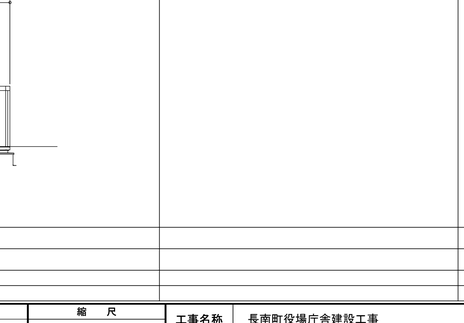
姿図



材料・仕上	アルミ電解着色
付属金物	カーテンボックス；ST PL-1.6t 焼付塗装
摘要・ガラス	枠見込100　合せガラス　FL5+5
備考	面一サッシ

建具記号	名称	SS	常時開放式煙感連動電動シャッター				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	–	1	–	–	1

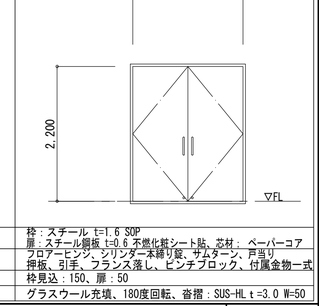
姿図



材料・仕上	スチールスラット t=1.6 OP
付属金物	ガイドレール・マグサ・座板：ステンレス、他 付属品１式 危害防止装置、電気式手動閉鎖装置スイッチボックス
摘要・ガラス	火報連動常時開放式特定防火設備　（防火・防煙）
備考	

建具記号	名称	SS	常時開放式煙感連動電動シャッター				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	1	1	–	–	2

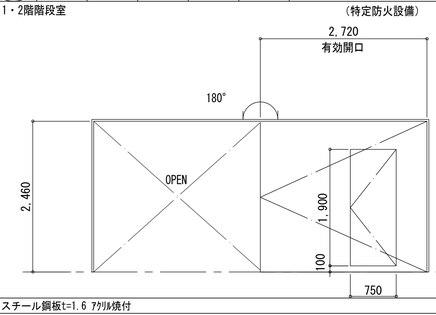
姿図



材料・仕上	スチールスラット t=1.6 OP
付属金物	ガイドレール・マグサ・座板：ステンレス、他 付属品１式 危害防止装置、電気式手動閉鎖装置スイッチボックス
摘要・ガラス	火報連動常時開放式特定防火設備
備考	

建具記号	名称	SD	随時閉鎖式煙感連動片開き防火戸（３方枠）				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	1	1	–	–	2

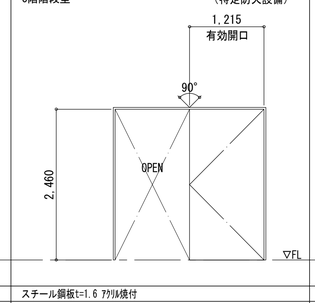
姿図



材料・仕上	スチール鋼板t=1.6 ｱｸﾘﾙ焼付
付属金物	ケースハンドル 大扉：オートヒンジ、小扉：丁番・SなしDC
摘要・ガラス	枠見込120、扉：40
備考	遮煙性能あり　　ガイドカバーSUS PL t=1.0 HL加工

建具記号	名称	SD	随時閉鎖式煙感連動片開き防火戸（３方枠）				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	2	–	–	–	2

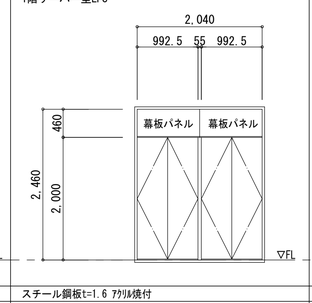
姿図



材料・仕上	スチール鋼板t=1.6 ｱｸﾘﾙ焼付
付属金物	ケースハンドル オートヒンジ
摘要・ガラス	枠見込120、扉：40
備考	遮煙性能あり

建具記号	名称	SD	スチール製固定パネル付両開きフラッシュ戸				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	1	–	–	–	1

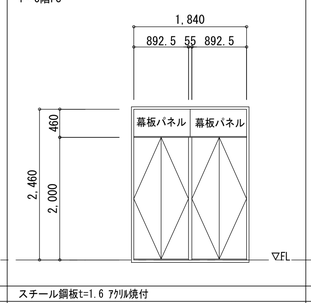
姿図



材料・仕上	スチール鋼板t=1.6 ｱｸﾘﾙ焼付
付属金物	ピボットヒンジ、ケースハンドル、シリンダー錠 フランス落し
摘要・ガラス	枠見込：100・扉：40
備考	幕板パネル：扉同材

建具記号	名称	SD	スチール製固定パネル付両開きフラッシュ戸				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	1	1	1	–	3

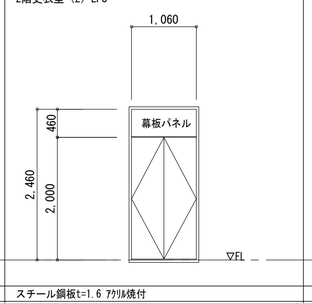
姿図



材料・仕上	スチール鋼板t=1.6 ｱｸﾘﾙ焼付
付属金物	ピボットヒンジ、ケースハンドル、シリンダー錠 フランス落し
摘要・ガラス	枠見込：100・扉：40
備考	幕板パネル：扉同材

建具記号	名称	SD	スチール製固定パネル付両開きフラッシュ戸				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	–	1	–	–	1

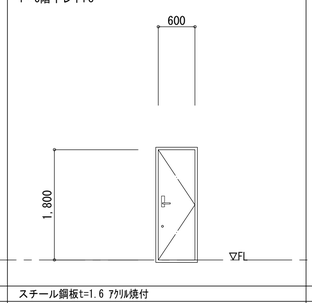
姿図



材料・仕上	スチール鋼板t=1.6 ｱｸﾘﾙ焼付
付属金物	ピボットヒンジ、ケースハンドル、シリンダー錠 フランス落し
摘要・ガラス	枠見込：100・扉：40
備考	幕板パネル：扉同材

建具記号	名称	SD	スチール製片開きフラッシュ戸				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	1	1	1	–	3

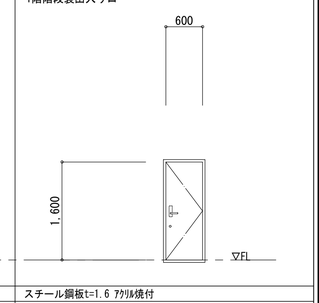
姿図



材料・仕上	スチール鋼板t=1.6 ｱｸﾘﾙ焼付
付属金物	丁番、ケースハンドル、シリンダー錠、DC
摘要・ガラス	枠見込127、扉：40
備考	

建具記号	名称	SD	スチール製片開きフラッシュ戸				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	1	1	1	–	3

姿図



材料・仕上	スチール鋼板t=1.6 ｱｸﾘﾙ焼付
付属金物	シリンダー本締り錠、丁番、DC、レバーハンドル、戸当り
摘要・ガラス	枠見込100、扉：40
備考	

建具記号	名称	SD	スチール製片開きフラッシュ戸				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	–	–	1	–	1

姿図

材料・仕上	スチール鋼板t=1.6 ｱｸﾘﾙ焼付
付属金物	丁番、ケースハンドル、シリンダー錠
摘要・ガラス	枠見込80、扉：40
備考	

建具記号	名称	SD	スチール製片開きフラッシュ戸				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	–	3	–	–	3

姿図

材料・仕上	スチール鋼板t=1.6 ｱｸﾘﾙ焼付
付属金物	丁番、ケースハンドル、シリンダー錠
摘要・ガラス	枠見込80、扉：40
備考	

建具記号	名称	AW	アルミ製嵌め殺し付2連引違い窓				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	1	1	1	–	3

姿図

材料・仕上	アルミ電解着色
付属金物	方立、アングル、クレセント、アルミ水切り皿板
摘要・ガラス	枠見込70、熱線吸収FL6
備考	

建具記号	名称	TL	アルミ製トップライト				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	–	1	–	–	1

姿図

材料・仕上	アルミ合金押出型材
付属金物	水切、その他付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込70、Wc-6.8
備考	

建具記号	名称	LSD	軽量スチール製両開きフラッシュ戸（防音ドア）				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	–	–	1	–	1

姿図

材料・仕上	枠：スチール t=1.6 SOP 扉：スチール鋼板 t=0.6 不燃化粧シート貼、芯材：ペーパーコア フロアーヒンジ、シリンダー本締り錠、サムターン、戸当り 押板、引手、フランス落し、ピンチブロック、付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込：150、扉：50
備考	グラスウール充填、180度回転、沓摺：SUS-HL t=3.0 W=50

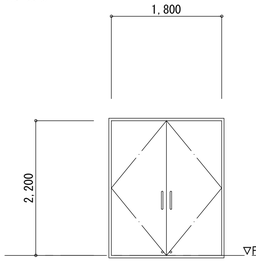
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

一級建築士登録
第１６５８１４号
鹿　間　義　弘

日付	縮尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和　3年　月	A1　1：50 A1　1:100	図面名称	建具表(2)	A－60

建具記号	名称	LSD	軽量スチール製両開きフラッシュ戸（防音ドア）				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	–	–	1	–	1

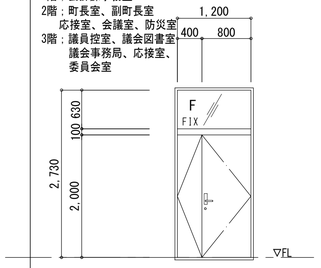
姿図



材料・仕上	枠：スチール t=1.6 SOP 扉：スチール鋼板 t=0.6 不燃化粧シート貼、芯材：ロックウール
付属金物	ピボットヒンジ、シリンダー本締り錠、サムターン、DC、戸当り レバーハンドル、フランス落し、ピンチブロック、付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込：150、扉：45
備考	グラスウール充填、沓摺：SUS-HL t=1.5 W=40

建具記号	名称	LSD	軽量スチール製ランマ付親子開きフラッシュ戸				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	1	5	7	–	13

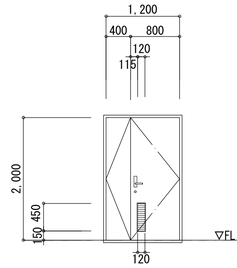
1階：会計課事務室
2階：町長室、副町長室
応接室、会議室、防災室
3階：議員控室、議会図書室
議会事務局、応接室、
委員会室



材料・仕上	枠：スチール t=1.6 SOP 扉：スチール鋼板 t=0.6 不燃化粧シート貼、芯材：ペーパーコア
付属金物	T番、シリンダー本締り錠、サムターン、DC、戸当り レバーハンドル、フランス落し、付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込：150、扉：40、FL-5
備考	沓摺：SUS-HL t=1.5 W=40

建具記号	名称	LSD	軽量スチール製親子開きフラッシュ戸				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	–	–	–	–	1

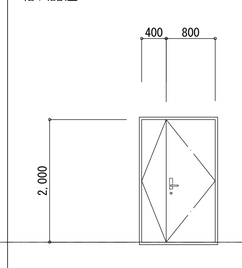
2階：書庫（1）



材料・仕上	枠：スチール t=1.6 SOP 扉：スチール鋼板 t=0.6 不燃化粧シート貼、芯材：ペーパーコア
付属金物	T番、シリンダー本締り錠、サムターン、DC、戸当り レバーハンドル、フランス落し、付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込：150、扉：40
備考	ガラリ（開口率50%）、沓摺：SUS-HL t=1.5 W=40

建具記号	名称	LSD	軽量スチール製親子開きフラッシュ戸				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	1	–	–	–	1

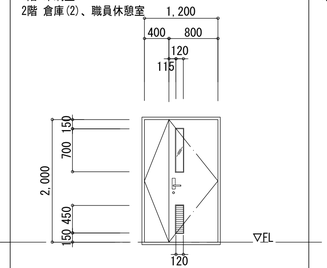
1階：相談室



材料・仕上	枠：スチール t=1.6 SOP 扉：スチール鋼板 t=0.6 不燃化粧シート貼、芯材：ペーパーコア
付属金物	T番、シリンダー本締り錠、サムターン、DC、戸当り レバーハンドル、フランス落し、付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込：150、扉：40
備考	沓摺：SUS-HL t=1.5 W=40

建具記号	名称	LSD	軽量スチール製親子開きフラッシュ戸				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	1	2	–	–	3

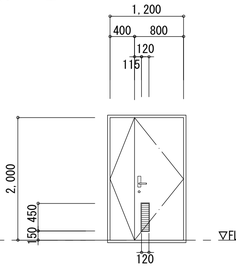
1階 印刷室
2階 倉庫(2)、職員休憩室



材料・仕上	枠：スチール t=1.6 SOP 扉：スチール鋼板 t=0.6 不燃化粧シート貼、芯材：ペーパーコア
付属金物	T番、シリンダー本締り錠、サムターン、DC、戸当り、ガラリ（開口率50%） サムターン、レバーハンドル、フランス落し、付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込：150、扉：40、FL-5
備考	沓摺：SUS-HL t=1.5 W=40

建具記号	名称	LSD	軽量スチール製親子開きフラッシュ戸				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	1	–	–	–	1

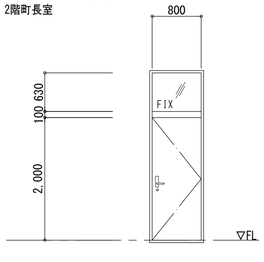
1階サーバー室



材料・仕上	枠：スチール t=1.6 SOP 扉：スチール鋼板 t=0.6 不燃化粧シート貼、芯材：ペーパーコア
付属金物	T番、シリンダー本締り錠、サムターン、DC、戸当り レバーハンドル、フランス落し、付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込：150、扉：40
備考	ガラリ（開口率50%）、沓摺：SUS-HL t=1.5 W=40

建具記号	名称	LSD	軽量スチール製ランマ付片開きフラッシュ戸				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	1	1	–	–	2

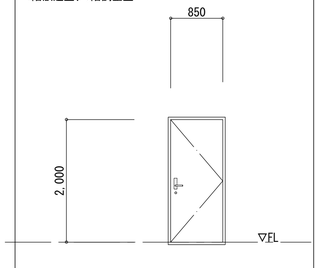
1階事務室（税務住民課）
2階町長室



材料・仕上	枠：スチール t=1.6 SOP 扉：スチール鋼板 t=0.6 不燃化粧シート貼、芯材：ペーパーコア
付属金物	T番、シリンダー本締り錠、サムターン、DC、戸当り レバーハンドル、フランス落し、付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込：150、扉：40、FL5
備考	沓摺：SUS-HL t=1.5 W=40

建具記号	名称	LSD	軽量スチール製片開き防音ドア				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	1	–	–	–	1

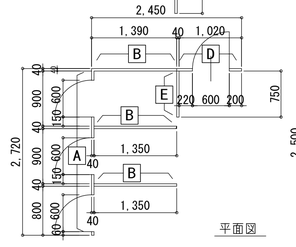
1階放送室、3階調整室



材料・仕上	枠：スチール t=1.6 SOP 扉：スチール鋼板 t=0.6 不燃化粧シート貼、芯材：ペーパーコア
付属金物	T番、シリンダー本締り錠、サムターン、DC、戸当り レバーハンドル、ピンチブロック、付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込：100、扉：45
備考	グラスウール充填、沓摺：SUS-HL t=1.5 W=40

建具記号	名称	LSD	軽量スチール製片開きフラッシュ戸（防音ドア）				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	–	–	1	–	1

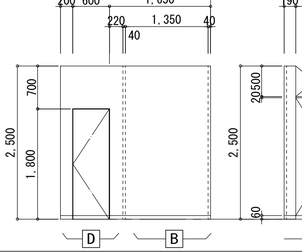
3階傍聴席



材料・仕上	枠：スチール t=1.6 SOP 扉：スチール鋼板 t=0.6 不燃化粧シート貼、芯材：ペーパーコア
付属金物	T番、シリンダー本締り錠、サムターン、DC、戸当り レバーハンドル、ピンチブロック、付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込：100、扉：45
備考	グラスウール充填、沓摺：SUS-HL t=1.5 W=40

建具記号	名称	LSD	軽量スチール製ランマ付片開きフラッシュ戸				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	–	–	1	–	1

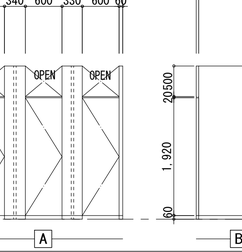
3階議場前室



材料・仕上	枠：スチール t=1.6 SOP 扉：スチール鋼板 t=0.6 不燃化粧シート貼、芯材：ペーパーコア
付属金物	T番、シリンダー本締り錠、サムターン、DC、戸当り レバーハンドル、付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込：150、扉：40、FL-5
備考	沓摺：SUS-HL t=1.5 W=40

建具記号	名称	LSD	軽量スチール製片開きフラッシュ戸				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	–	3	2	–	5

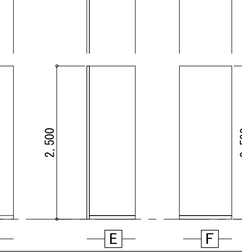
2階町長室、応接室、副町長室
3階議会図書室、議会事務局、応接室



材料・仕上	枠：スチール t=1.6 SOP 扉：スチール鋼板 t=0.6 不燃化粧シート貼、芯材：ペーパーコア
付属金物	T番、シリンダー本締り錠、サムターン、DC、戸当り レバーハンドル、付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込：150、扉：40、FL-5
備考	沓摺：SUS-HL t=1.5 W=40

建具記号	名称	LSD	軽量スチール製片開きフラッシュ戸				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	–	–	1	–	1

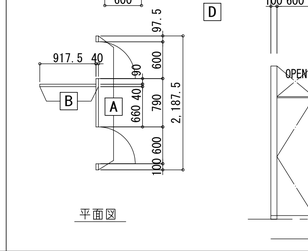
3階湯沸室



材料・仕上	枠：スチール t=1.6 SOP 扉：スチール鋼板 t=0.6 不燃化粧シート貼、芯材：ペーパーコア
付属金物	T番、シリンダー本締り錠、サムターン、DC、戸当り レバーハンドル、付属金物一式、ガラリ（開口率50%）
摘要・ガラス	枠見込：150、扉：40、FL-5
備考	沓摺：SUS-HL t=1.5 W=40

建具記号	名称	LSD	軽量スチール製自動片引吊り戸（壁収納タイプ）				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	1	1	1	–	3

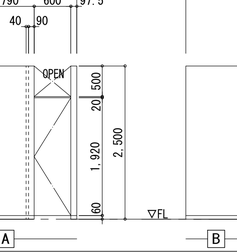
1～3階多目的トイレ



材料・仕上	3方枠：スチール t=1.6 SOP 扉：スチール鋼板 t=0.6 不燃化粧シート貼、芯材：ペーパーコア
付属金物	多機能トイレ用自動ドアスイッチ（非接触型） 引手、エンジン装置、付属金物一式
摘要・ガラス	枠見込：170、扉：40、型T 4
備考	ガラリ（開口率50%）

建具記号	名称	LSD	スチール枠自閉式片引き吊り戸（壁収納タイプ）				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	2	1	–	–	3

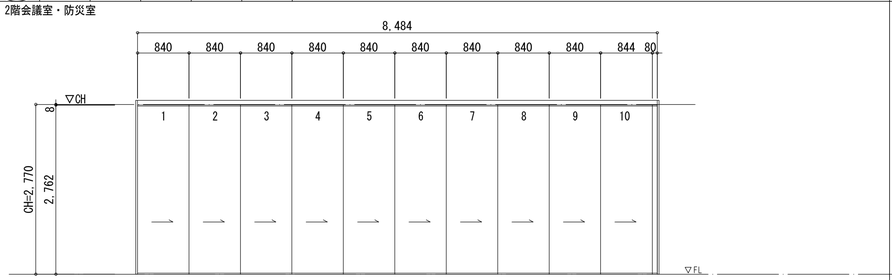
1階更衣室(1)、湯沸室
2階更衣室(2)



材料・仕上	3方枠：スチール t=1.6 SOP 扉：スチール鋼板 t=0.6 不燃化粧シート貼、芯材：ペーパーコア
付属金物	シリンダー本締り錠、サムターン、引き手 付属金物一式、ガラリ（開口率50%）
摘要・ガラス	枠見込：164、扉：40、型T 4
備考	

建具記号	名称	SLW	遮音スライディングウォール				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	–	1	–	–	1

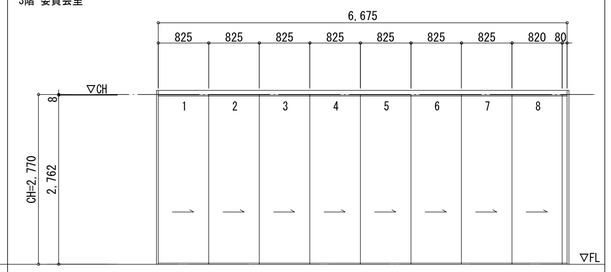
2階会議室・防災室



材料・仕上	カラー鋼板 t＝1.2（グラスウール充填）
付属金物	吊りレール支持材、付属品一式 メーカー仕様
摘要・ガラス	枠見込100
備考	

建具記号	名称	SLW	遮音スライディングウォール				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	–	–	1	–	1

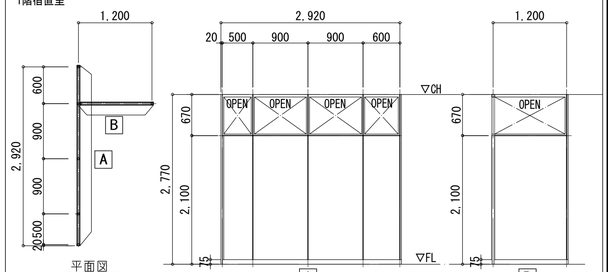
3階 委員会室



材料・仕上	カラー鋼板 t＝1.2（グラスウール充填）
付属金物	吊りレール支持材、付属品一式 メーカー仕様
摘要・ガラス	枠見込100
備考	

建具記号	名称	SP	スチール製パーティーション				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	1	–	–	–	1

1階宿直室



材料・仕上	表面材：溶融亜鉛めっき鋼板(t=0.6）焼付け塗装 芯材：石膏ボードt=12.5
付属金物	附属金物一式、 メーカー仕様
摘要・ガラス	枠見込50（マイティー50同等）
備考	

建具記号	名称	TB	トイレブース				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	1	1	1	–	3

各階女子トイレ

材料・仕上	メラミン不燃化粧板 t＝40（抗ｳｲﾙｽ）ハニカムコア
付属金物	アルミ笠木、ステンレス巾木、床付ヒンジ、ラッチ、ストライク、戸当り帽子掛け 表示錠（非常開錠）、枠Rエッジ付、その他付属金物一式
摘要・ガラス	見込：40
備考	掃除具入ドア：建具枠・受枠共 SUS FB 3×40 HL（隠し丁番）

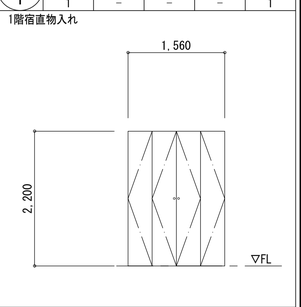
建具記号	名称	TB	トイレブース				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	1	1	1	–	3

各階男子トイレ

材料・仕上	メラミン不燃化粧板 t＝40（抗ｳｲﾙｽ）
付属金物	アルミ笠木、ステンレス巾木、床付ヒンジ、ラッチ、ストライク、戸当り帽子掛け 表示錠（非常開錠）、枠Rエッジ付、その他付属金物一式
摘要・ガラス	見込：40
備考	

建具記号	名称	WD	木製4枚折り戸				
	階数	1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	1	–	–	–	1

1階宿直物入れ

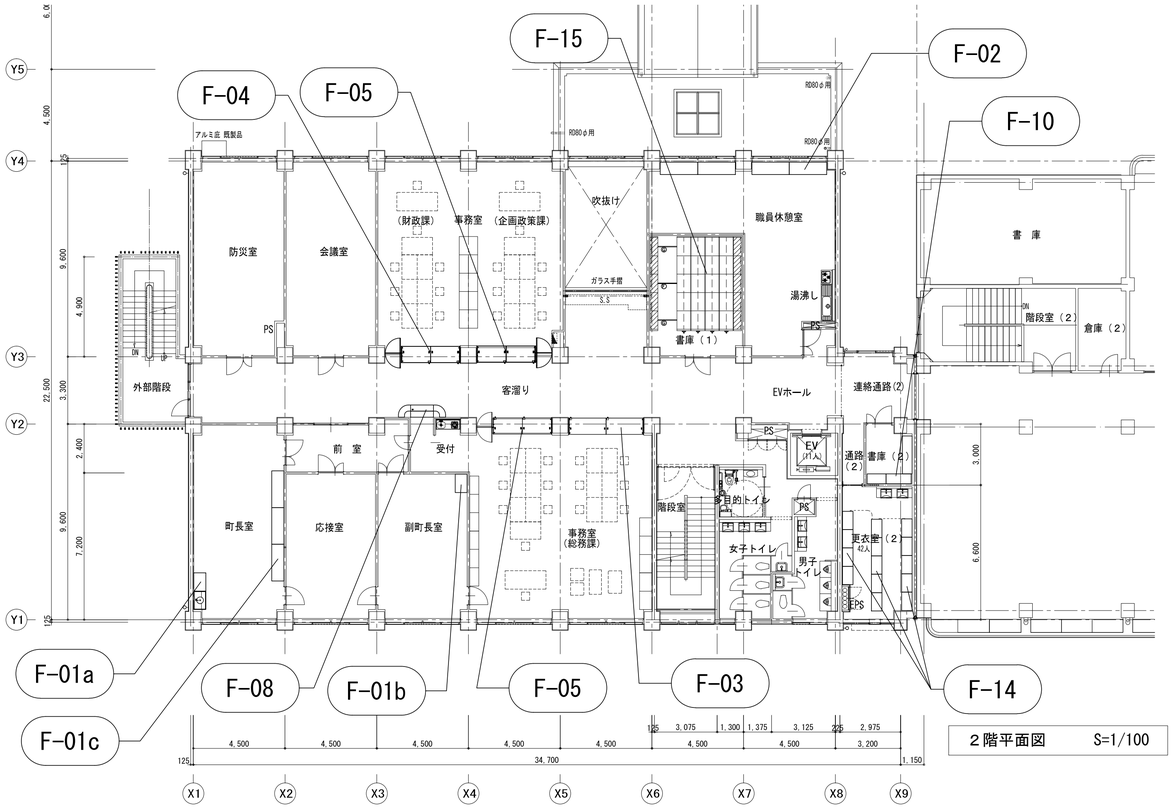


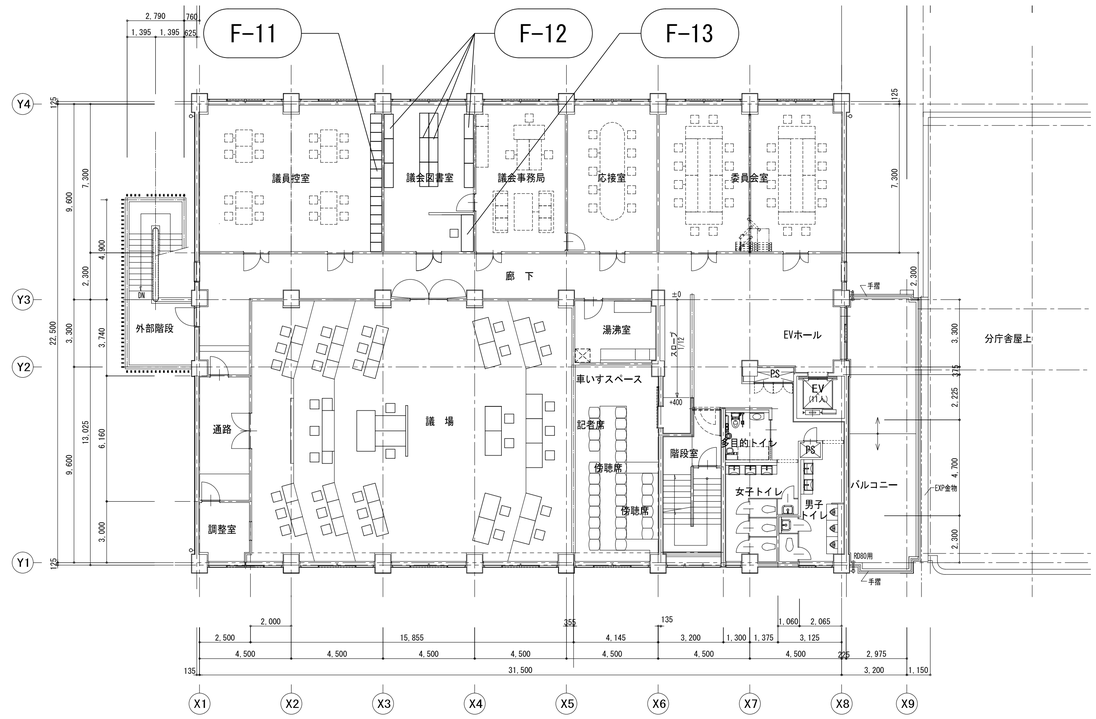
材料・仕上	ポリエステル化粧合板フラッシュ
付属金物	丁番、引手、ガイドレール、マグネットキャッチ
摘要・ガラス	扉：36
備考	

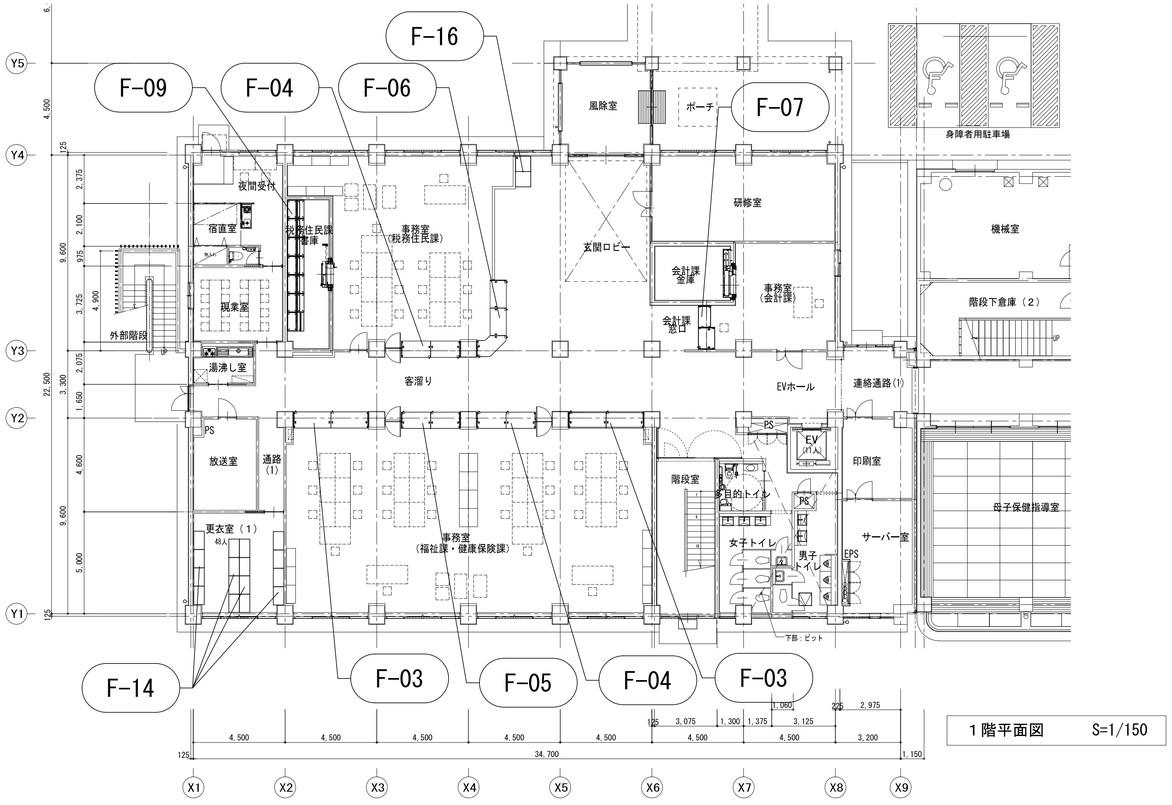
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

一級建築士登録
第１６５８１４号
鹿　間　義　弘

日付	縮尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和　3年　月	A1　1：50 A1　1:100	図面名称	建具表(3)	A－６１





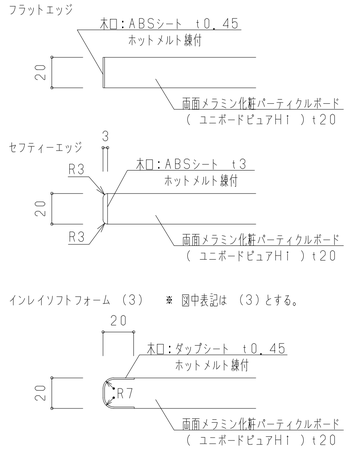


一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所		日　付 令和　3年　月	縮　尺 A1　1：150 A3　1：300	工事名称	長南町役場庁舎建設工事
				図面名称	家具キープラン
				図面番号	A－６２

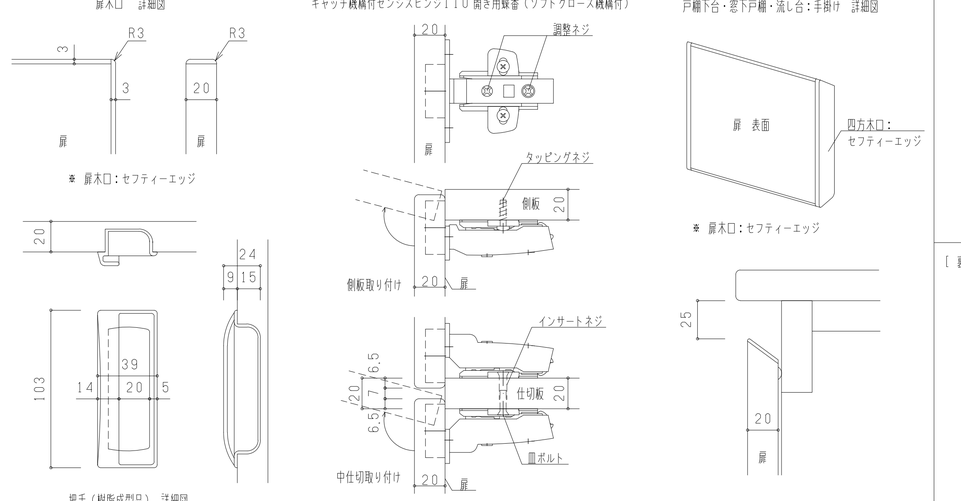
家具共通仕様　「 図面中に特記なき所は下記の仕様とする。」

1	本体・棚板	室内VOC（ ホルムアルデヒド等 ）の低減効果と抗菌機能を持った可視光増感型触媒を工業的に配合した 両面メラミン化粧パーティクルボード（ ユニボードピュアH1 ）厚さ20mm、F☆☆☆☆を使用する。 上記材料は、JIS-A5908適合、18タイプ（ 曲げ強さ18N/平方ミリメートル以上 ）とし、 JISマーク認定の国内工場での生産品、且つグリーン購入法適合品とする。 基材は、千葉県産材を含む国産材混合（ 配合率20％ ）とし、合法性木材認定事業者取り扱い品を使用する。
2	木口処理	躯体からの水分浸入を防ぐために、本体は背面も含めてフラットエッジ（ ABS製樹脂をホットメルト接付 ）加工とする。 開き扉・抽斗前板はセフティーエッジ（ ABS製　厚さ3mm　ホットメルト接付 ）加工とする。
3	表面処理	本体・棚板・建具等は使用時の擦り傷の発生を抑制するために鉛筆硬度　9H　以上の表面材を使用する。 本体色については色見本帳（ 45色以上 ）を提出の上決定する。
4	裏板	ポリエステル化粧合板　F☆☆☆☆　厚さ4mmを使用し、 片面フラッシュ（ 450mm　ピッチ以内に格子状桟組構造 ）とする。
5	本体組立て	組立ては、製作工場での木製ダボ組接合とし、接合部のノックダウン金物は使用不可とする。
6	巾木・台輪	ポリエステル化粧合板仕上げ　F☆☆☆☆（ 塗装不要 ）とする。
7	建具	板戸・戸枠は、くるいやホゾ抜け防止のため、かまち組み等は不可とし1枚物とする。 引違戸の鴨居側には耐震外れ止めスライドガイド、敷居側には上下調整戸車を使用する。 戸枠付きガラス戸は、安全性のため透明強化の刻印入り　厚さ4mmを使用し メンテナンスが容易な樹脂成型（ ABS製 ）の押縁で固定する。
8	把手・蝶番	樹脂成型品（ ABS製 ）の把手・引手を使用する。 蝶番は、メンテナンスが容易なキャッチ機構付110°開きゼンシスヒンジ（ ソフトクローズ機構付 ）を使用する。 ［ 掃除用具入れの吊元側板への蝶番固定は、5点吊中3ヶ所のみ貫通ボルト止めとする。］
9	鴨居・敷居	メンテナンス性が容易な樹脂成型レール（ ABS製 ）を埋め込んだ鴨居と面付けの敷居（ ABS製 ）とする。
10	抽斗箱	細面・カビ・悪臭のつきにくい樹脂化粧MDF　厚さ15mmとする。
11	棚板受け	安全で外れにくいネジ込み式で、錆びにくいステンレス製ダボ　Ø8-M6を使用する。 棚板は外れ止めシャクリ加工を施す。
12	特記事項	環境配慮及び品質確保のため、取り扱いは　ISO 14001、製作は　ISO 9001　取得企業とする。 製作にあたり、事前に製品の品質証明書及び材料と接着剤の安全データシートを提出し、素材・塗物の承認を受ける。 室内空気清浄保持のために、学校環境衛生基準に対して参考となる類似製品のVOC測定データを提出する。
13	施工	家具取付は、安全のため壁や床に耐震固定を施す。

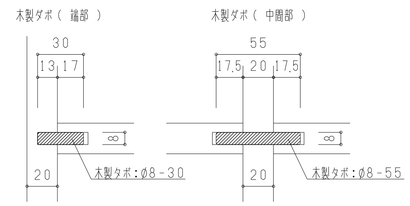
［ 木口詳細 ］



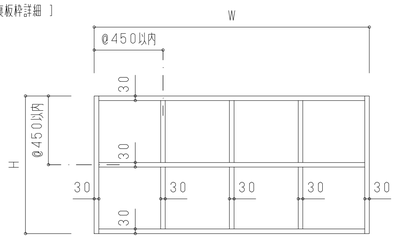
［ 開き扉詳細 ］



［ 接合部詳細 ］

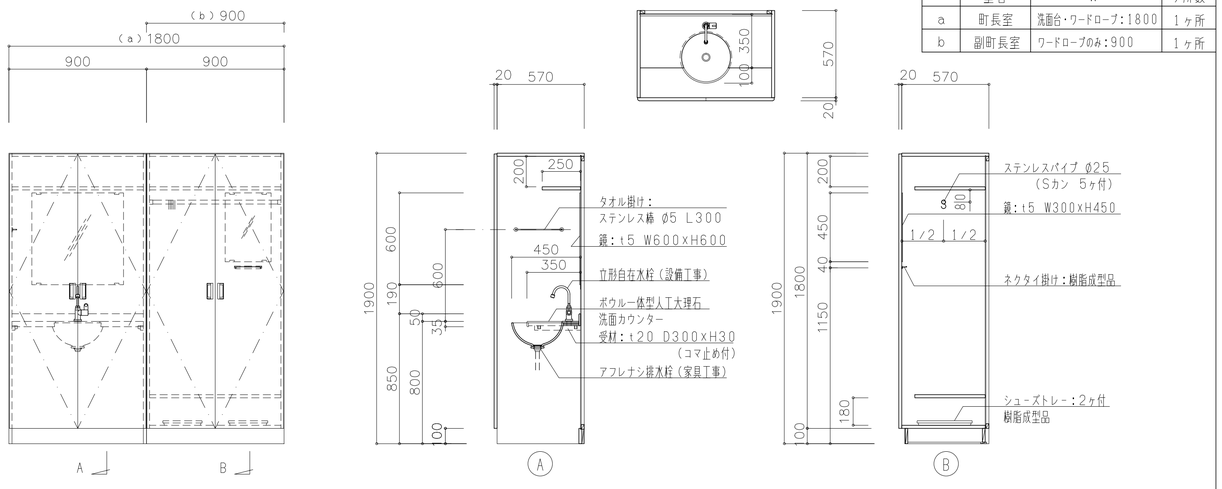


［ 裏板枠詳細 ］



F-01a・b　洗面台・ワードローブ　／　2F各室　／　計2ヶ所

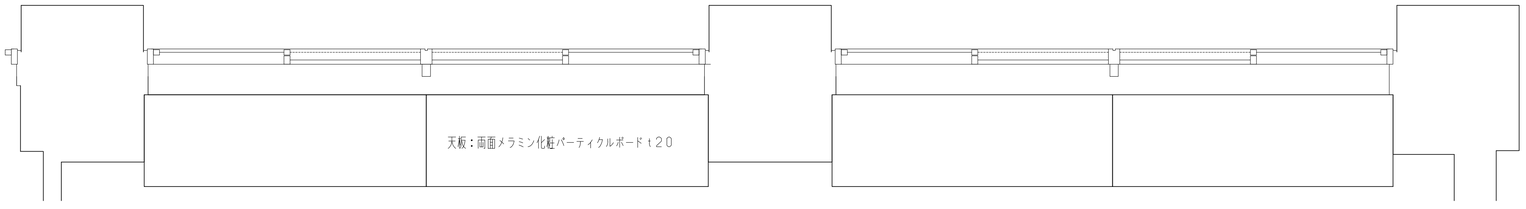
	室名	W	ヶ所数
a	町長室	洗面台・ワードローブ：1800	1ヶ所
b	副町長室	ワードローブのみ：900	1ヶ所

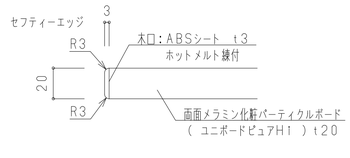


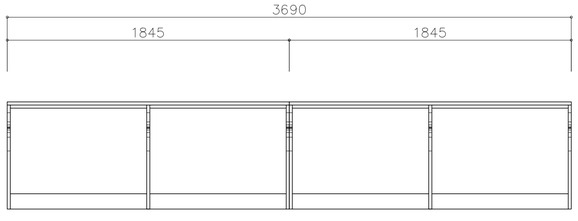
F-01c　腰下収納　／　2F町長室　／　1ヶ所

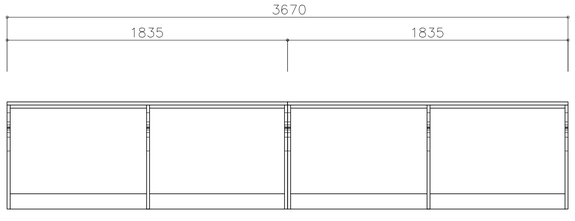
※ 扉木口：セフティーエッジ

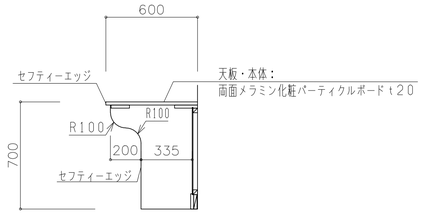
F-02　カウンター　／　2F職員休憩室　／　1ヶ所





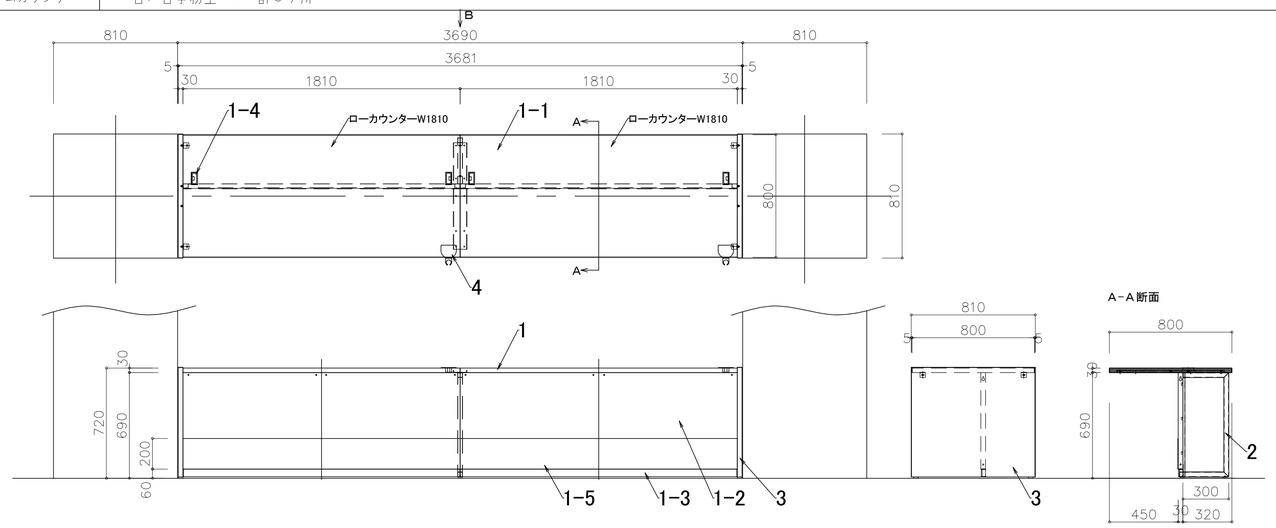






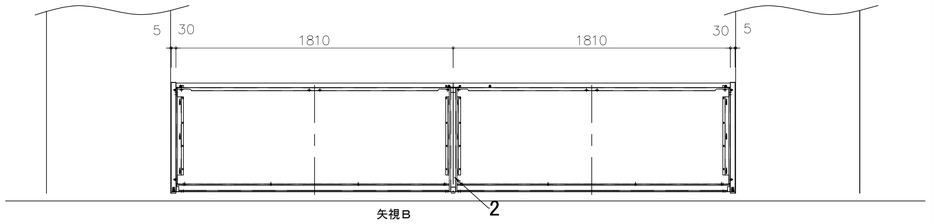
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所	日付 令和　3年　月	縮尺 A1　1：20 A3　1：40	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号 A－63
			図面名称	家具詳細図-1	

F-03　システムカウンター　各F各事務室 ／ 計3ヶ所

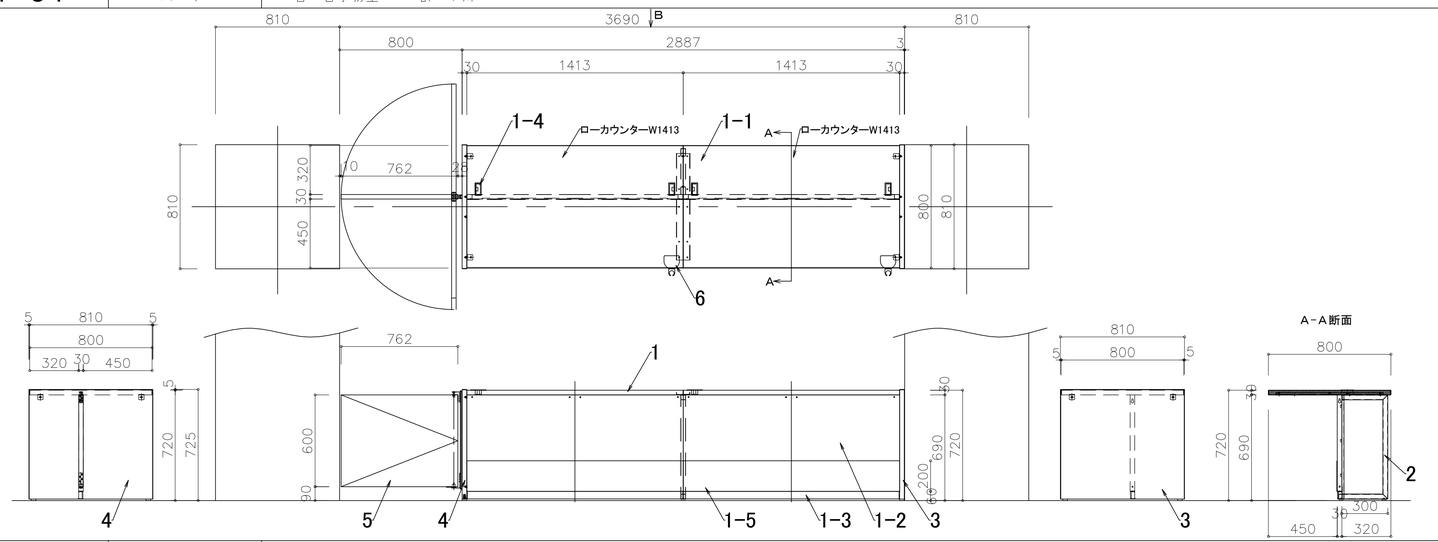


品番	品名	数量	材質	寸法,呼び方	備考
1	ローカウンターW1810	2			
1-1	天板	2	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t30	ﾒﾗﾐﾝ化粧板抗ｳｨﾙｽﾀｲﾌﾟ VBW198104 ｴｯｼﾞ VTE981
1-2	フロントパネル	2	SECC	t0.8	OW(焼付塗装)
1-3	巾木	2	SECC	t1.0	MGS(ﾐﾃﾞｨｱﾑｸﾞﾚｲｼﾎﾞ塗装)
1-4	コードホール	4	ABS	－	PW
1-5	キックガード	2	NR	t3×200	グレー
2	中間脚	1	STKMR/SPCC	t1.6×30×30/t3.2	OW(焼付塗装)
3	エンド脚	2	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t30	PW(ﾒﾗﾐﾝ化粧板)
4	ステッキホルダー	2			

階数	室名	ヶ所数
1階	事務室（福祉課・健康保険課）	2ヶ所
2階	事務室（総務課）	1ヶ所

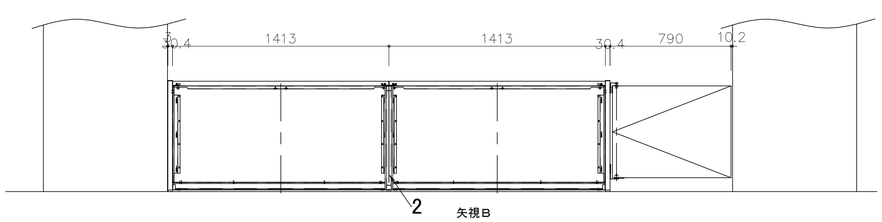


F-04　カウンター　各F各事務室 ／ 計3ヶ所

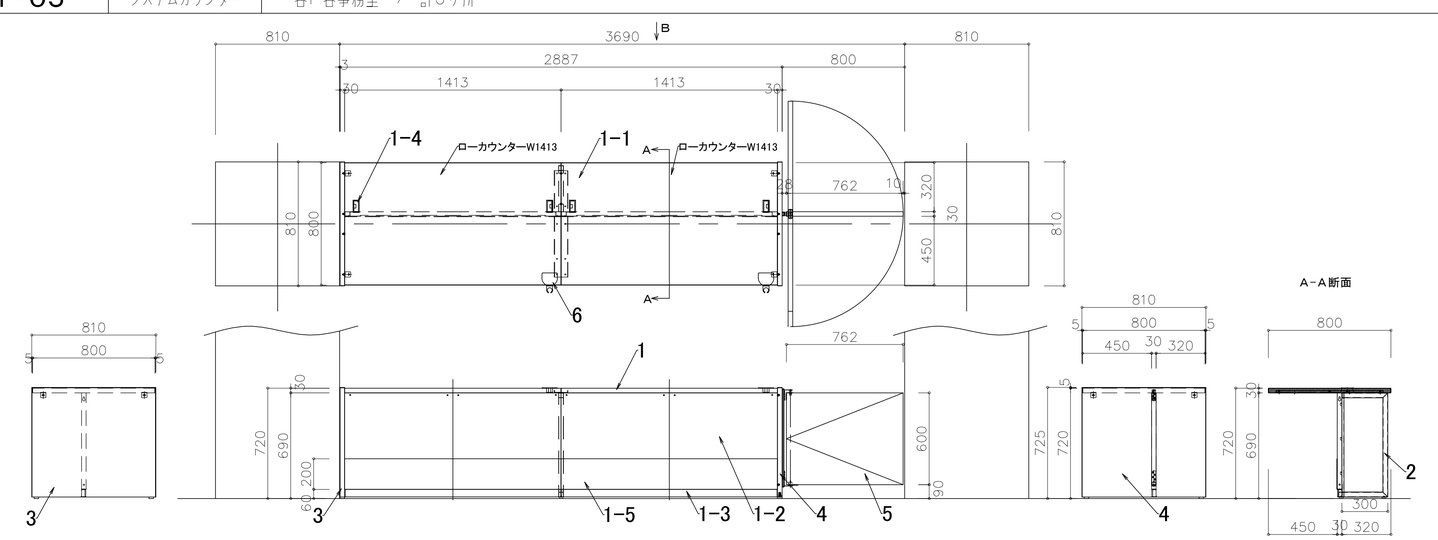


品番	品名	数量	材質	寸法,呼び方	備考
1	ローカウンターW1413	2			
1-1	天板	2	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t30	ﾒﾗﾐﾝ化粧板抗ｳｨﾙｽﾀｲﾌﾟ VBW198104 ｴｯｼﾞ VTE981
1-2	フロントパネル	2	SECC	t0.8	OW(焼付塗装)
1-3	巾木	2	SECC	t1.0	MGS(ﾐﾃﾞｨｱﾑｸﾞﾚｲｼﾎﾞ塗装)
1-4	コードホール	4	ABS	－	PW
1-5	キックガード	2	NR	t3×200	グレー
2	中間脚	1	STKMR/SPCC	t1.6×30×30/t3.2	OW(焼付塗装)
3	エンド脚	1	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t30	PW(ﾒﾗﾐﾝ化粧板)
4	エンド脚　スイング扉取付L	1	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t30	PW(ﾒﾗﾐﾝ化粧板)
5	スイング扉	1	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ﾌﾗｯｼｭ	t30	PW(ﾒﾗﾐﾝ化粧板)
6	ステッキホルダー	1			

階数	室名	ヶ所数
1階	事務室（福祉課・健康保険課）	1ヶ所
1階	事務室（税務住民課）	1ヶ所
2階	事務室（財政課）	1ヶ所

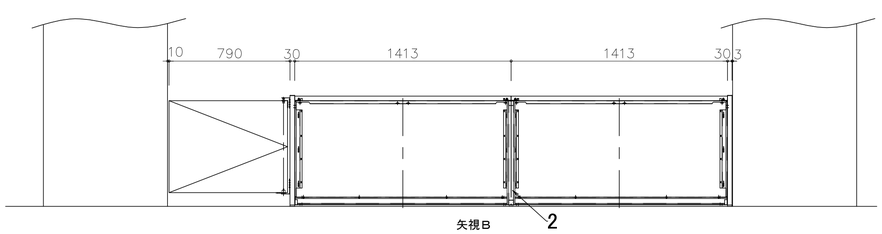


F-05　システムカウンター　各F各事務室 ／ 計3ヶ所



品番	品名	数量	材質	寸法,呼び方	備考
1	ローカウンターW1413	2			
1-1	天板	2	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t30	ﾒﾗﾐﾝ化粧板抗ｳｨﾙｽﾀｲﾌﾟ VBW198104 ｴｯｼﾞ VTE981
1-2	フロントパネル	2	SECC	t0.8	OW(焼付塗装)
1-3	巾木	2	SECC	t1.0	MGS(ﾐﾃﾞｨｱﾑｸﾞﾚｲｼﾎﾞ塗装)
1-4	コードホール	4	ABS	－	PW
1-5	キックガード	2	NR	t3×200	グレー
2	中間脚	1	STKMR/SPCC	t1.6×30×30/t3.2	OW(焼付塗装)
3	エンド脚	1	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t30	PW(ﾒﾗﾐﾝ化粧板)
4	エンド脚　スイング扉取付R	1	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t30	PW(ﾒﾗﾐﾝ化粧板)
5	スイング扉	1	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ﾌﾗｯｼｭ	t30	PW(ﾒﾗﾐﾝ化粧板)
6	ステッキホルダー	1			

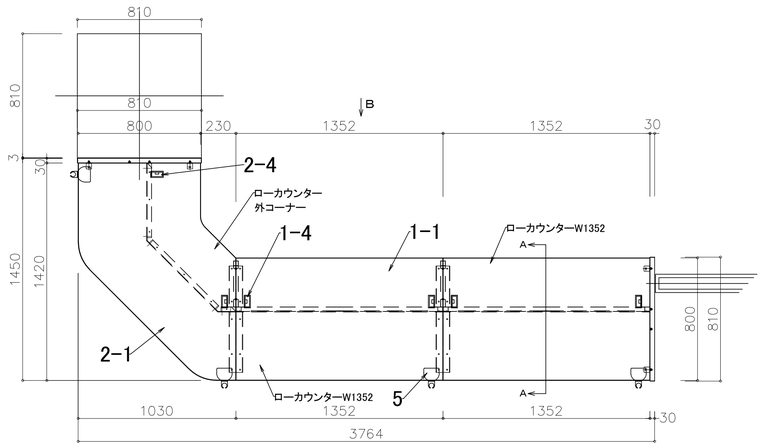
階数	室名	ヶ所数
1階	事務室（福祉課・健康保険課）	1ヶ所
2階	事務室（総務課）	1ヶ所
2階	事務室（企画政策課）	1ヶ所



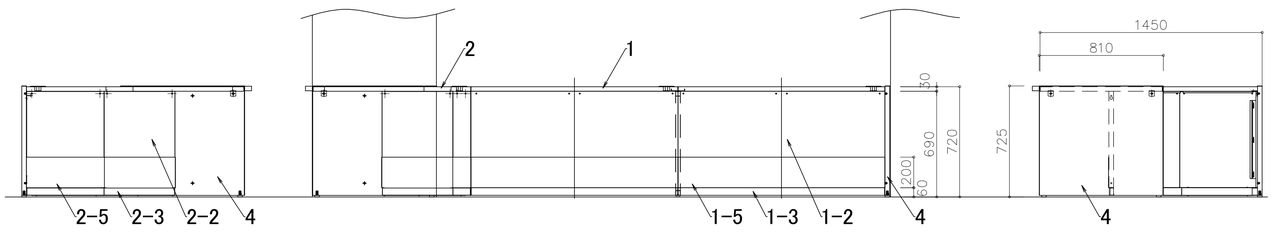
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

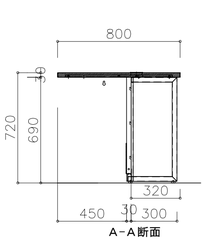
日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1：20 A3　1：40	長南町役場庁舎建設工事	A－64
		図面名称 家具詳細図-2	

F-06　システムカウンター　1F事務室（税務住民課）　/　1ヶ所

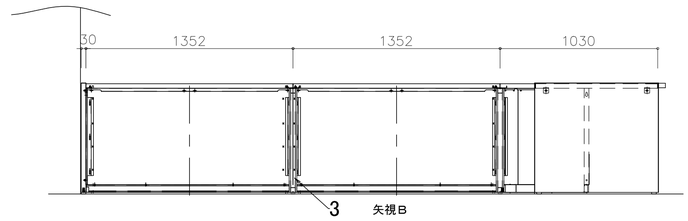


品番	品名	数量	材質	寸法,呼び方	備考
1	ローカウンターW1352	2			
1-1	天板	2	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t30	ﾒﾗﾐﾝ化粧板抗ｳｨﾙｽﾀｲﾌﾟ VBW198104 ｴｯｼﾞVTE981
1-2	フロントパネル	2	SECC	t0.8	OW(焼付塗装)
1-3	巾木	2	SECC	t1.0	MGS(ﾐﾃﾞｨｱﾑｸﾞﾚｲｼﾎﾞ塗装)
1-4	コードホール	4	ABS	-	PW
1-5	キックガード	2	NR	t3×200	グレー
2	ローカウンター外コーナー	1			
2-1	天板	1	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t30	PW(ﾒﾗﾐﾝ化粧板)
2-2	フロントパネル	1	SECC	t0.8	OW(焼付塗装)
2-3	巾木	1	SECC	t1.0	MGS(ﾐﾃﾞｨｱﾑｸﾞﾚｲｼﾎﾞ塗装)
2-4	コードホール	2	ABS	-	PW
2-5	キックガード	1	NR	t3×200	グレー
3	中間脚	2	STKMR/SPCC	t1.6×30×30/t3.2	OW(焼付塗装)
4	エンド脚	2	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t30	PW(ﾒﾗﾐﾝ化粧板)
5	ステッキホルダー	4			



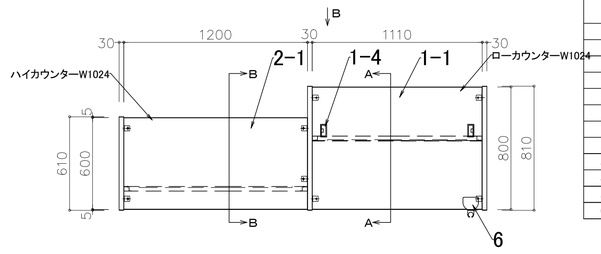


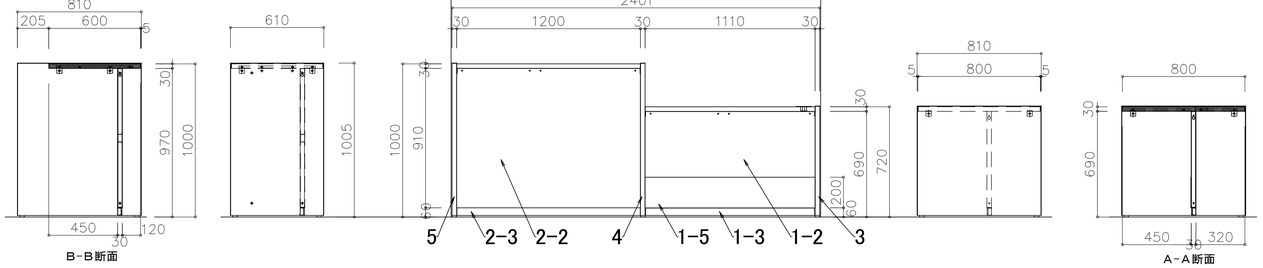
A－A断面



F-07　システムカウンター　1F事務室（会計課）　/　1ヶ所

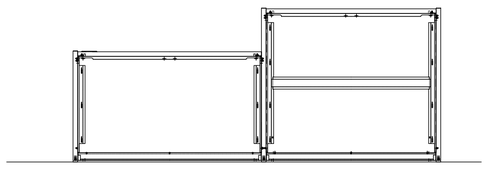
品番	品名	数量	材質	寸法,呼び方	備考
1	ローカウンターW1024	1			
1-1	天板	1	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t30	ﾒﾗﾐﾝ化粧板抗ｳｨﾙｽﾀｲﾌﾟ VBW198104 ｴｯｼﾞVTE981
1-2	フロントパネル	1	SECC	t0.8	OW(焼付塗装)
1-3	巾木	1	SECC	t1.0	MGS(ﾐﾃﾞｨｱﾑｸﾞﾚｲｼﾎﾞ塗装)
1-4	コードホール	2	ABS	-	PW
1-5	キックガード	1	NR	t3×200	グレー
2	ハイカウンターW1024				
2-1	天板	1	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t30	PW(ﾒﾗﾐﾝ化粧板)
2-2	フロントパネル	1	SECC	t0.8	OW(焼付塗装)
2-3	巾木	1	SECC	t1.0	MGS(ﾐﾃﾞｨｱﾑｸﾞﾚｲｼﾎﾞ塗装)
3	ローカウンターエンド脚	1	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t30	PW(ﾒﾗﾐﾝ化粧板)
4	ハイ/ローカウンターエンド脚	1	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t30	PW(ﾒﾗﾐﾝ化粧板)
5	ハイカウンターエンド脚	1	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t30	PW(ﾒﾗﾐﾝ化粧板)
6	ステッキホルダー	1			





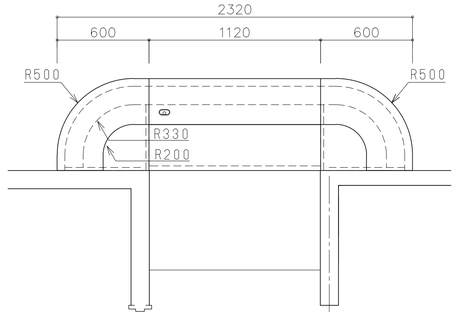
B－B断面

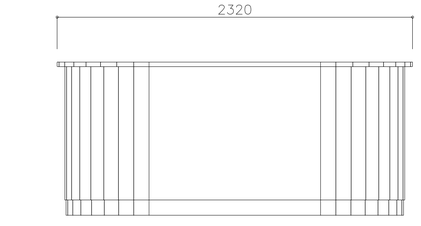
A－A断面

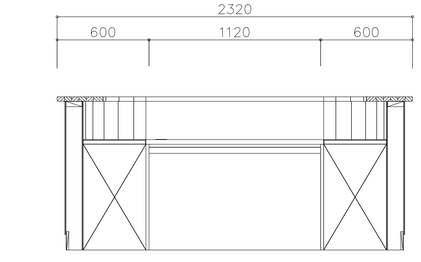


矢視B

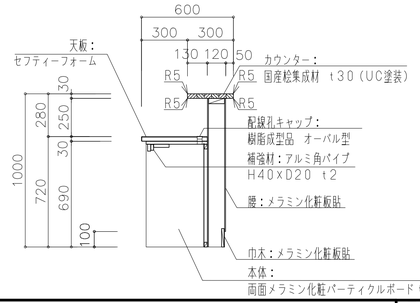
F-08　カウンター　2F受付　/　1ヶ所







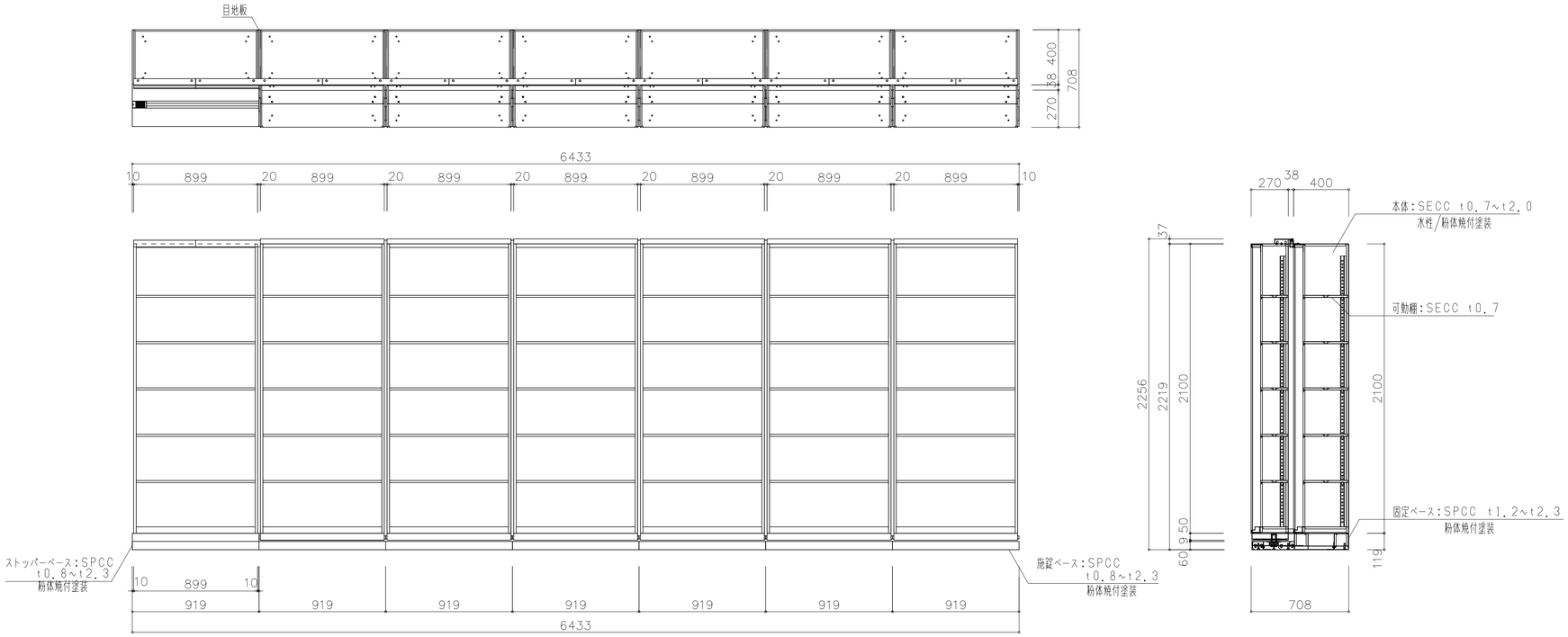
※ 本体見付木口：セフティーエッジ



一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1：20 A3　1：40	長南町役場庁舎建設工事 家具詳細図-3	A－65

F-09　スライド収納　1F税務住民課書庫　／　1ヶ所



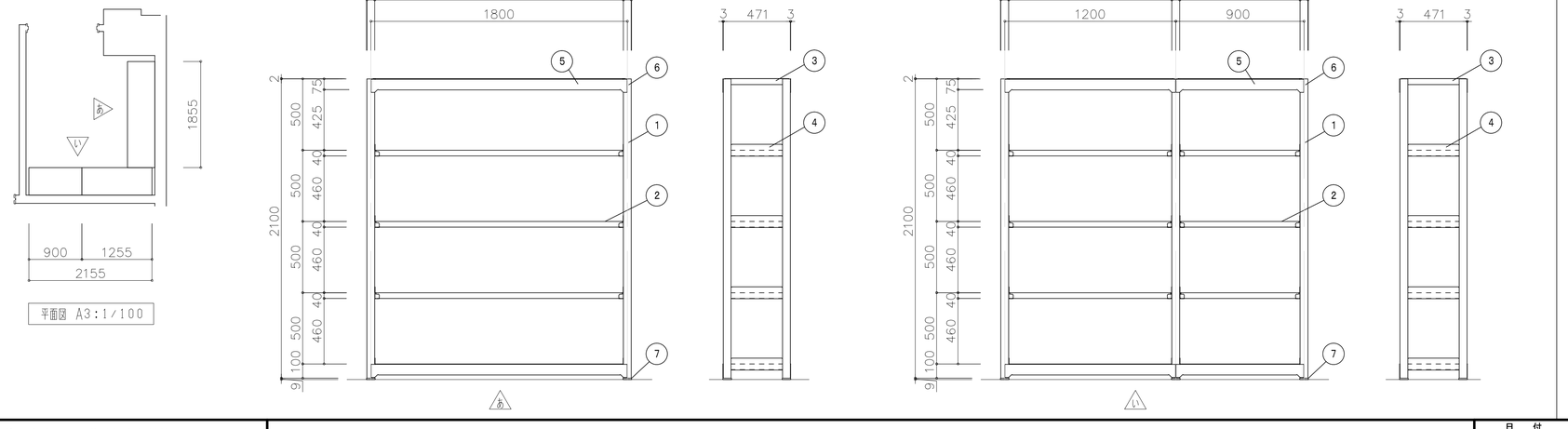
F-10　中量棚（BL300型）　2F書庫（2）　／　1ヶ所

■仕様

棚厚	40mm
棚ピッチ	50mm
棚板許容積載質量	300kg／段
最大積載質量	2500kg／連
柱形状	C型形状　55x55mm

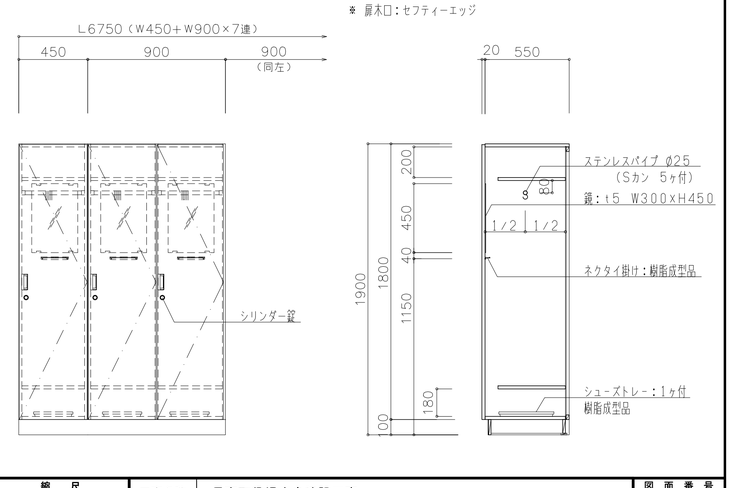
W	900、1200、1500、1800
D	471、571、721、921
H	1800、2100、2400 （棚5枚）（棚5枚）（棚5枚）

品番	部品名	材質名	板厚・サイズ	表面仕上げ
1	支柱	SPHC	t1.6	粉体塗装
2	棚板	SPCC	t0.7、0.8	粉体塗装
3	天板受	SPHC	t2.0	粉体塗装
4	中棚受	SPHC	t2.0	粉体塗装
5	ビーム	SPHC	t2.0	粉体塗装
6	ロックピン	SWRM		ユニクロメッキ
7	ベースプレート（樹脂）	PP		ブラック



F-11　ロッカー　3F議員控室　／　1ヶ所

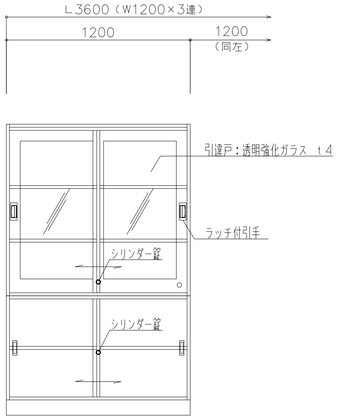
※ 扉木口：セフティーエッジ

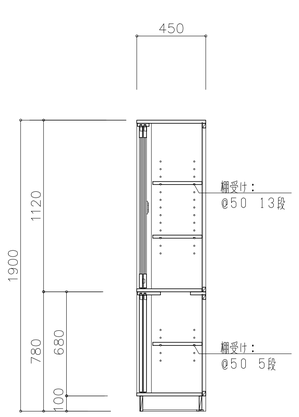


一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

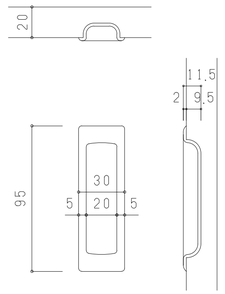
日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1：20 A3　1：40	長南町役場庁舎建設工事	A-66
		図面名称：家具詳細図-4	

F-12　書棚　3F議会図書室　/　計4ヶ所

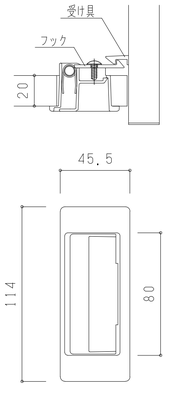




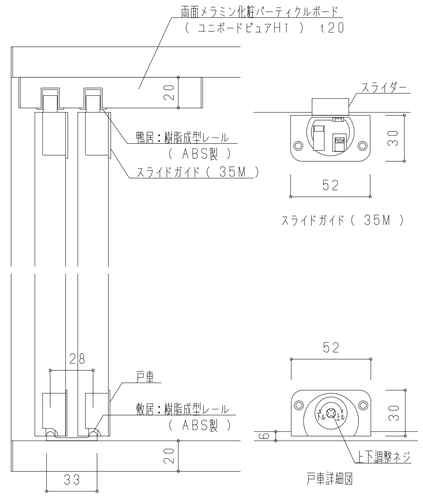
引違戸詳細　A3：1／4



引手（樹脂成型品）　詳細図

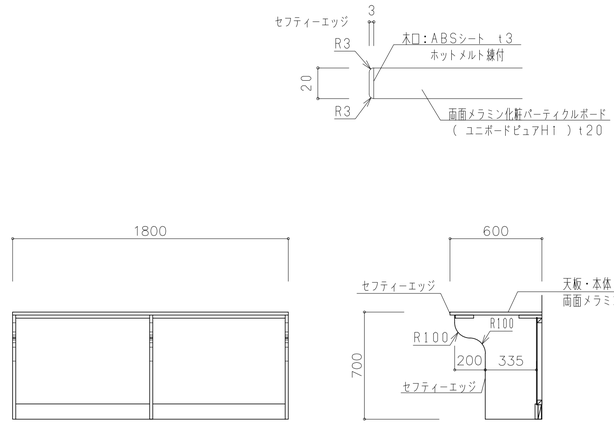


ラッチ付引手（樹脂成型品）　詳細図



戸車詳細図

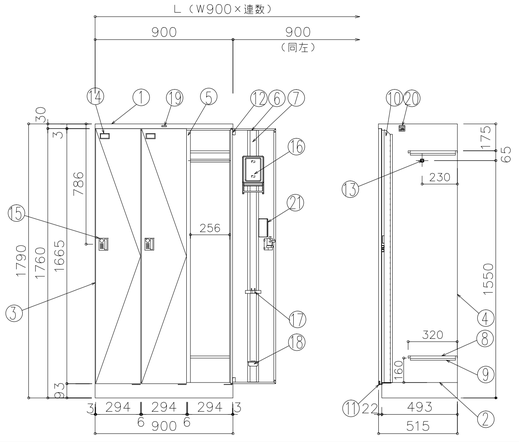
F-13　カウンター　3F議会図書室　/　1ヶ所



F-14　システムロッカー　各F更衣室　/　計30台

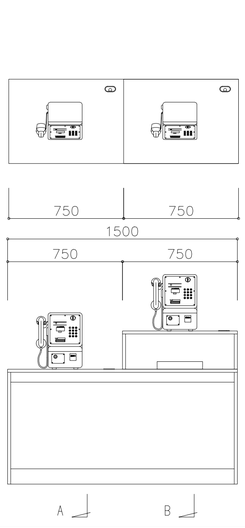
※システムロッカー　NSHV型

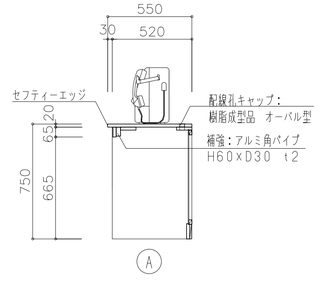
階数	室名	台数
1階	更衣室（1）	16台
2階	更衣室（2）	14台

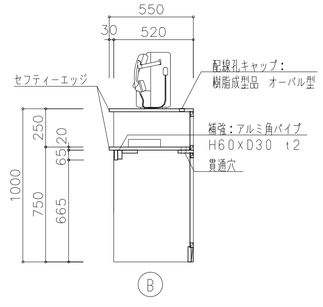


番号	部品名称	数量	板厚	備考
1	天板	1	SPCC t0.6	
2	地板	1	SPCC t0.6	
3	側板	2	SPCC t0.6	
4	裏板	1	SPCC t0.6	
5	縦仕切り板	2	SPCC t0.6	
6	扉板	3	SPCC t0.6	
7	扉補強	3	SPCC t0.5	
8	棚板	6	SPCC t0.7	
9	棚受アングル	4	SPCC t0.7	
10	側前補強	4	SPCC t0.8	
11	扉受け板	3	SPCC t2.3	
12	NSヒンジ	6		
13	ハンガーパイプ	3		
14	名刺差し	3		
15	錠前付き取手	3		ダイヤル仕様
16	タオル掛け付き鏡	3		オプション
17	傘立て	3		オプション
18	露受け	3		オプション
19	内田シール	1		
20	JOIFAシール	1		
21	ダイヤル錠取説シール	3		

F-16　車椅子対応公衆電話台　1Fロビー　/　1ヶ所

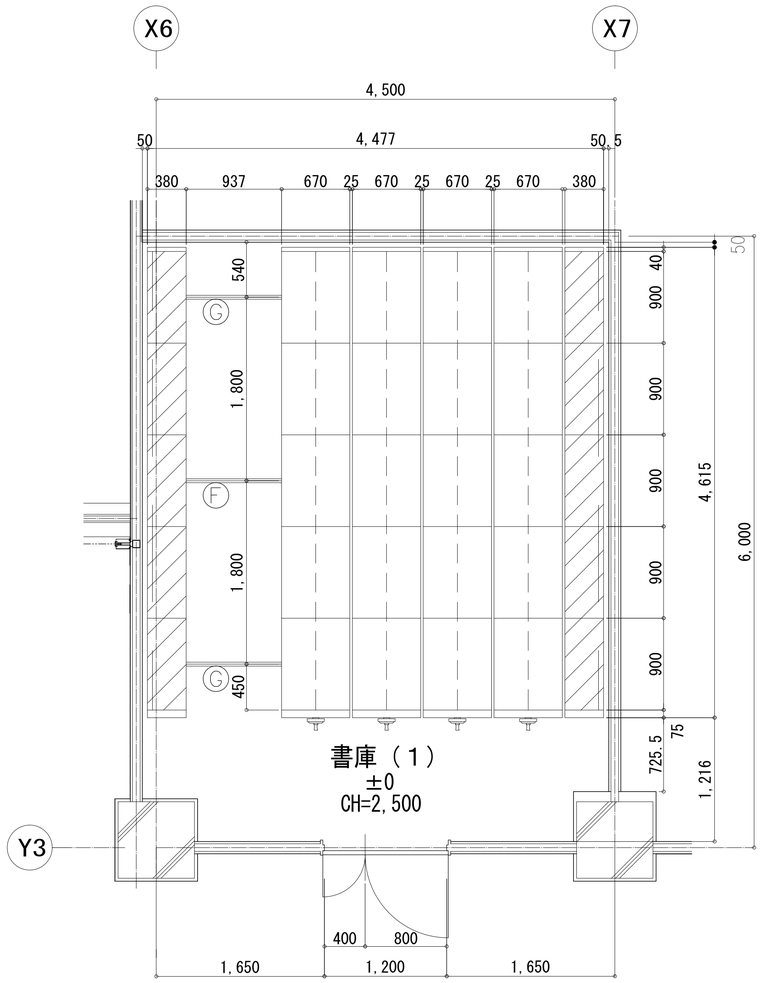






一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1：20 A3　1：40	長南町役場庁舎建設工事	A－67
		図面名称：家具詳細図-5	



平面図　S=1/30

数量表（基本連W900）

型　式	台数	延段数	ファイルメーター
		W900	0.86fm/段
2階 書庫(1)			
5連複式　可動棚 6段	4	240	
5連単式　固定棚 6段	2	60	
合　計	6	300	258.00fm

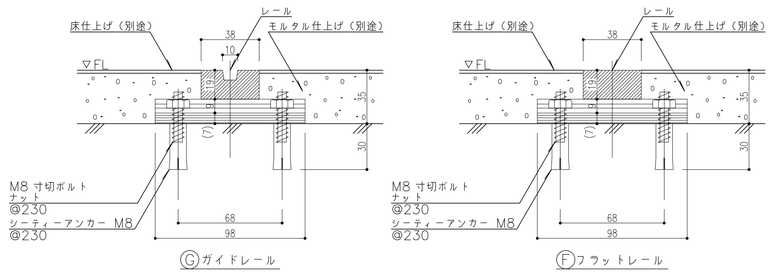
凡　例

- 固　定　棚
- 可　動　棚
- Ⓖ　ガイドレール
- Ⓕ　フラットレール

＜特記事項＞

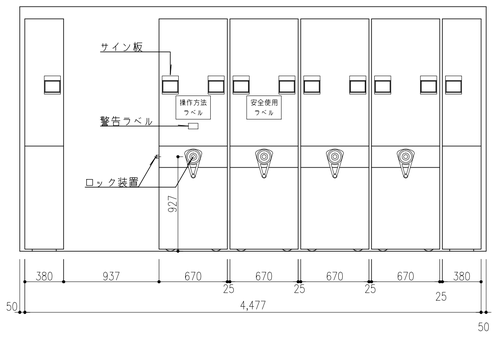
- 積載物……　文書保存箱
- 積載質量……40　kg/枚
- 棚板最大積載質量‥60　kg/枚
- 連最大質量……600kg/複式連
- レール方式……　モルタル埋め込み方式　深さ35mm

- 40×40×1.6mmの角パイプ支柱を使用
- 二本柱と横枠の溶接構造で門柱型の複柱構造
- 25mm可変ピッチで段組
- 袖板独立懸架方式
- 複式棚の通し利用
- 上部転倒防止装置付
- 溝なしレール　巾38mm、溝深6.5mm、溝巾10mm
- 台枠、支柱一体構造＋支柱支持金具
- 大型車輪径（φ120）
- 片側全輪駆動
- 倒止め兼用棚受け
- 免震車輪（免震ゴム付車輪）
- クランク式ハンドル
- センターロック＋サイドロック方式
- 地震時ロック解除機構
- 鍵マーク付デザインロック
- ソフトグリップ（エラストマー）
- 消音パッド付
- ツインカムクランチ
- 単式固定棚は裏板付
- 背面側板付

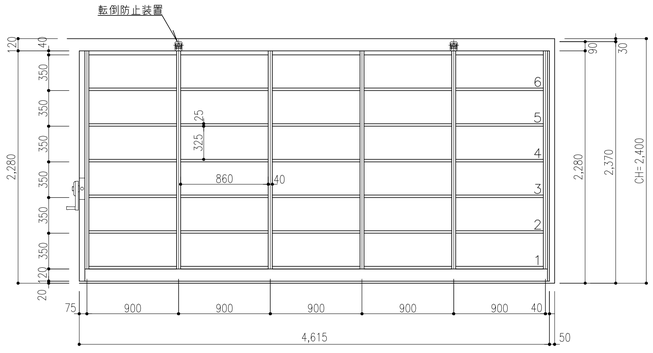


レール断面図　S=1/3

※場合により、寸切ボルトが六角ボルトに変更になる場合があります。



正面図　S=1/30



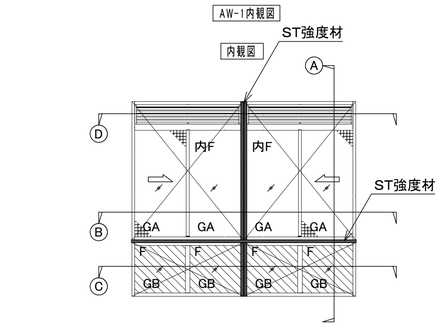
側面図　S=1/30

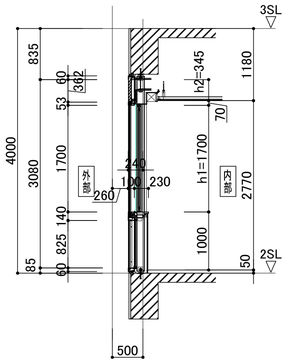
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:30.2 A3　1:60.4	長南町役場庁舎建設工事	A－68
		図面名称　家具詳細図（書庫）	

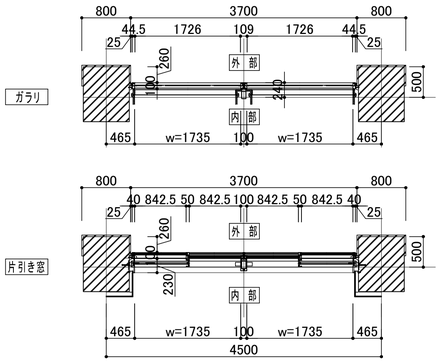
姿図(内観図)【非防火設備】

S=1/50(A1),1/100(A3)





※ⓒ断面(FIX腰部 横断面)は、AW-2と同じ納まり



＜ガラス厚＞
GA:FL6＋A6＋FL5
GB:FL6

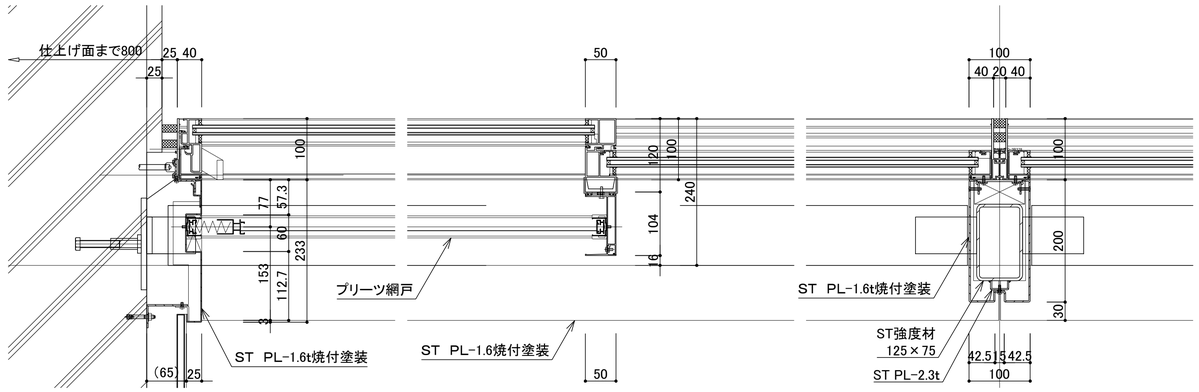
…1ユニットを示す
…耐火パネル位置を示す

■製品名:LIXIL　PRO-SE100

〈 設計条件・仕様 〉
■設計風圧力 「告示第1458号による」
+2112 N/㎡(正圧 一般部)
−1175 N/㎡(負圧 一般部)
−1437 N/㎡(負圧 隅角部)
・建設地: 千葉県長生郡
・地表面粗度区分: Ⅲ
・建築物の高さ h1: 16.9m
・再現期間: 100年
・軒の高さ h2: 12.2m
・閉鎖型建物
・建築物の平均高さ H: 14.6m
・取付高さ Z: 12.2m
・基準風速 Vo:36m/s
・建築物の短辺長さ:22.5m
■耐風圧性能: S-5(2400Pa)
■気密性能: A-4(A-4等級線)
■水密性能: W-5(500Pa)
■遮音性能: T-2(T-2等級線)

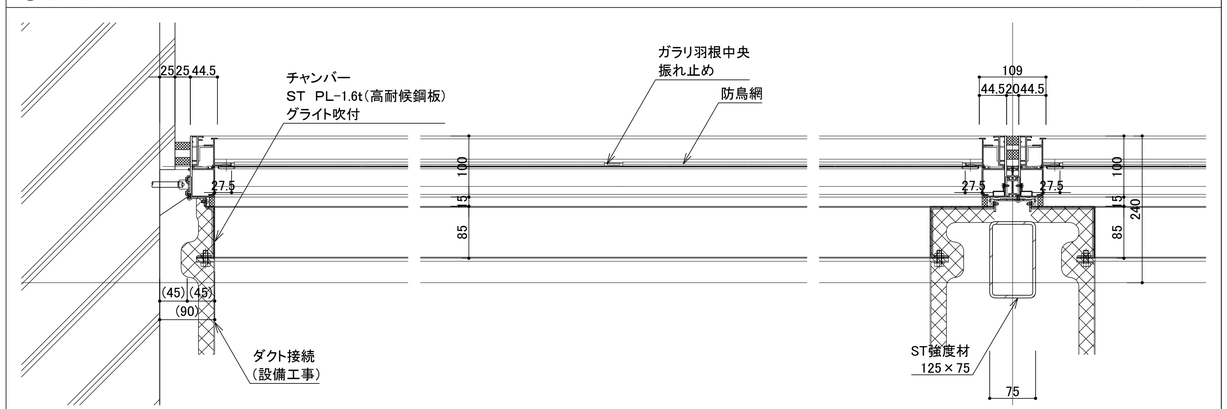
Ⓑ部断面詳細図

S=1/5(A1),1/10(A3)



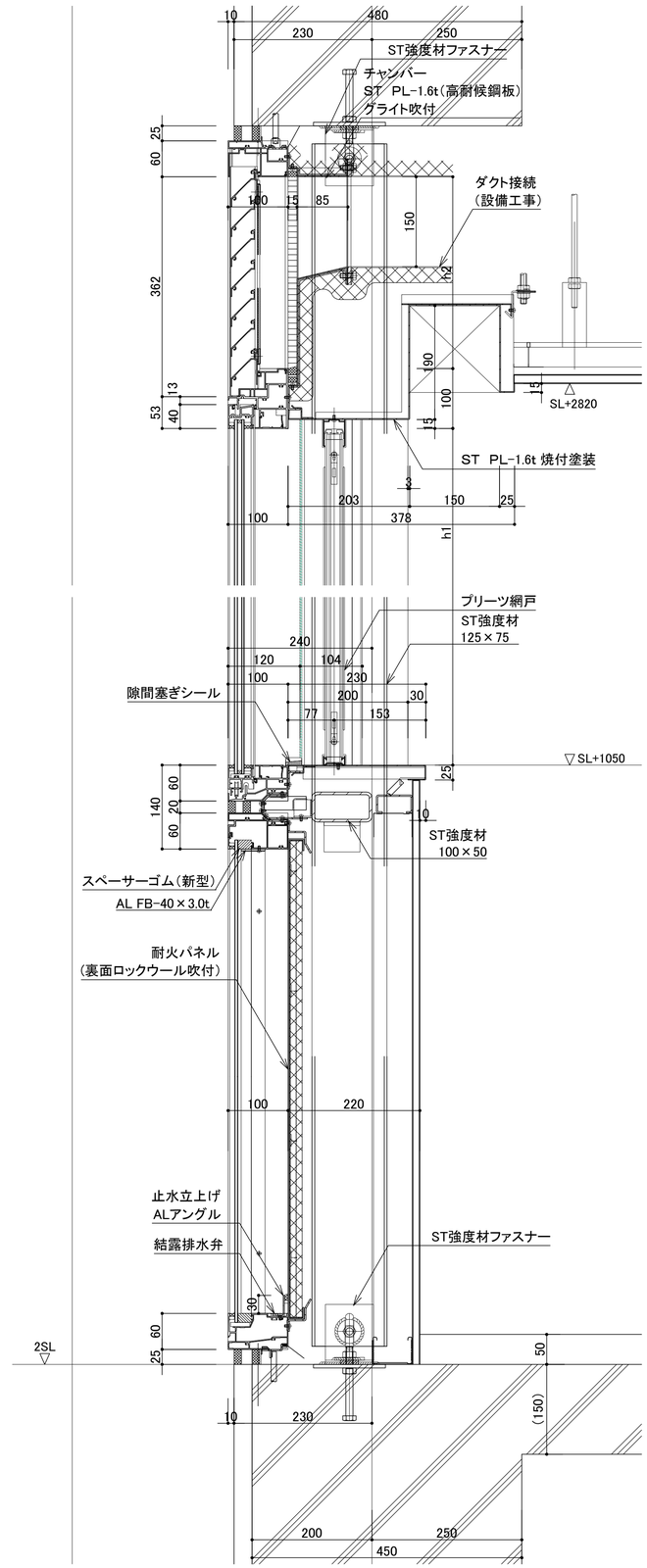
Ⓓ部断面詳細図

S=1/5(A1),1/10(A3)



Ⓐ部断面詳細図

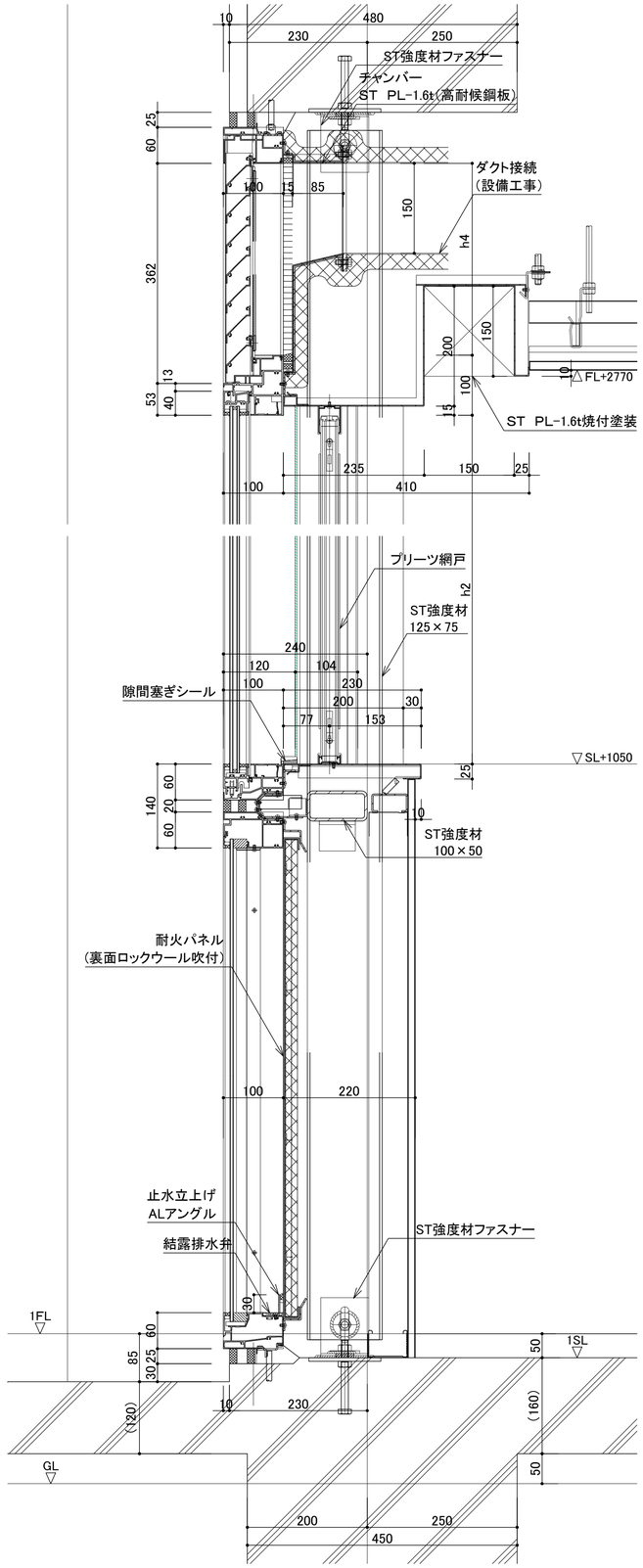
S=1/5(A1),1/10(A3)



一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所		日　付 令和　3年　月	縮　尺 A1　1:5 A3　1:10	工事名称	長南町役場庁舎建設工事
				図面名称	サッシ詳細図-1
				図面番号	A−69

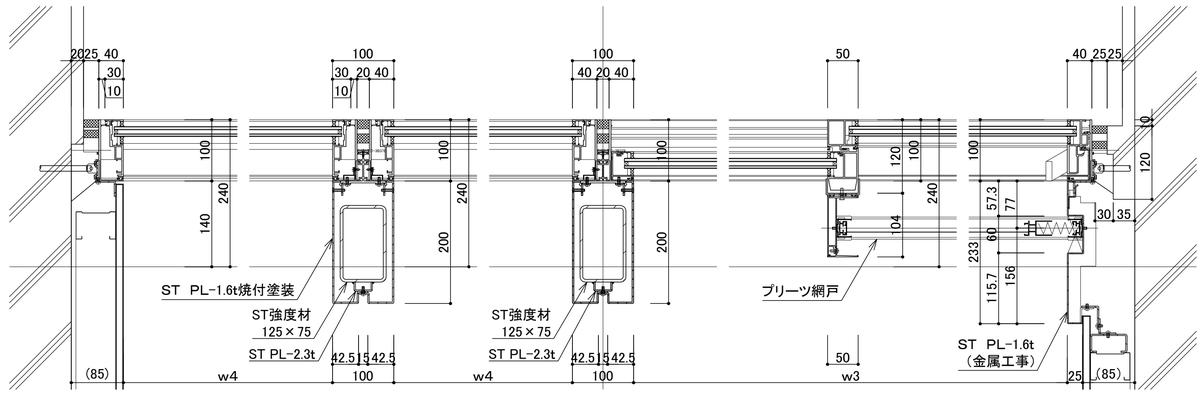
ⓒ部断面詳細図

S=1/5(A1),1/10(A3)



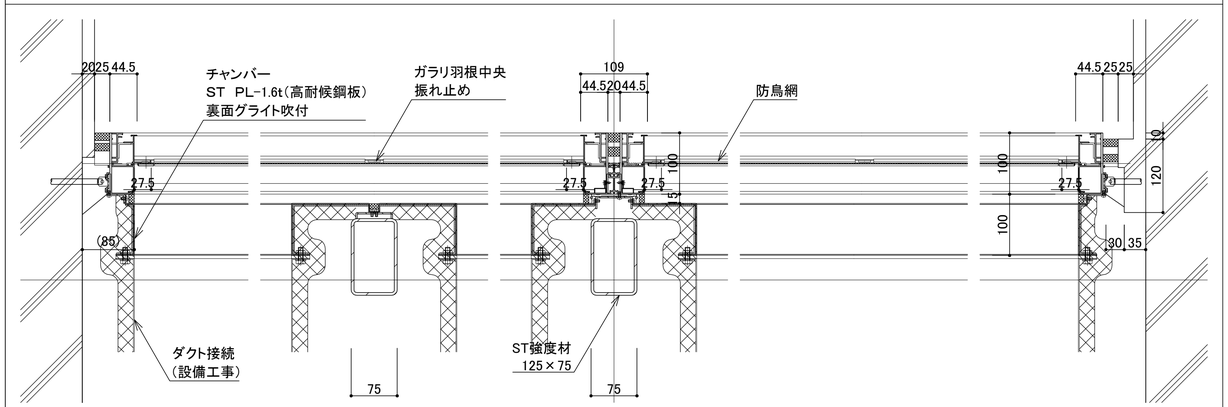
Ⓕ部断面詳細図

S=1/5(A1),1/10(A3)



Ⓖ部断面詳細図

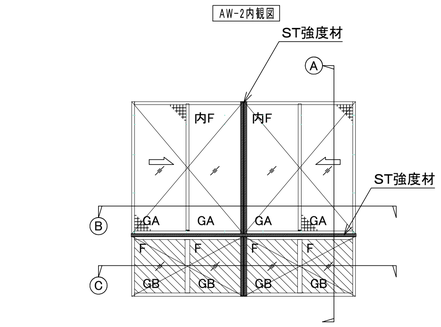
S=1/5(A1),1/10(A3)

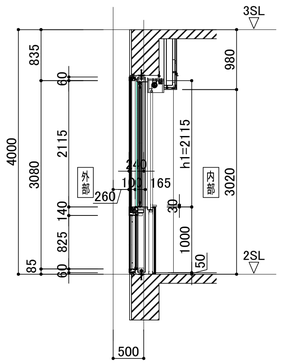


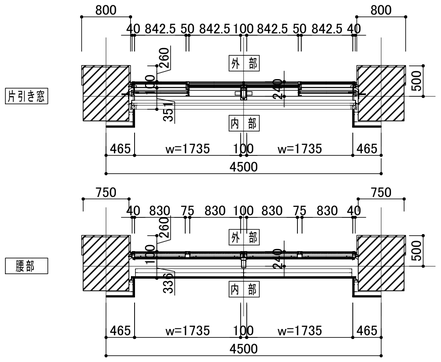
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所	日付 令和　3年　月	縮尺 A1　1:5 A3　1:10	工事名称　長南町役場庁舎建設工事 図面名称　サッシ詳細図-2	図面番号 A－70

姿図(内観図)【非防火設備】

S=1/50(A1),1/100(A3)







■製品名:LIXIL　PRO-SE100

〈 設計条件・仕様 〉

■設計風圧力 「告示第1458号による」

+2112 N/㎡(正圧 一般部)

−1175 N/㎡(負圧 一般部)

−1437 N/㎡(負圧 隅角部)

・建設地: 千葉県長生郡
・建築物の高さ h1: 16.9m
・軒の高さ h2: 12.2m
・建築物の平均高さ H: 14.6m
・基準風速 Vo:36m/s
・地表面粗度区分: Ⅲ
・再現期間: 100年
・閉鎖型建物
・取付高さ Z: 12.2m
・建築物の短辺長さ:22.5m

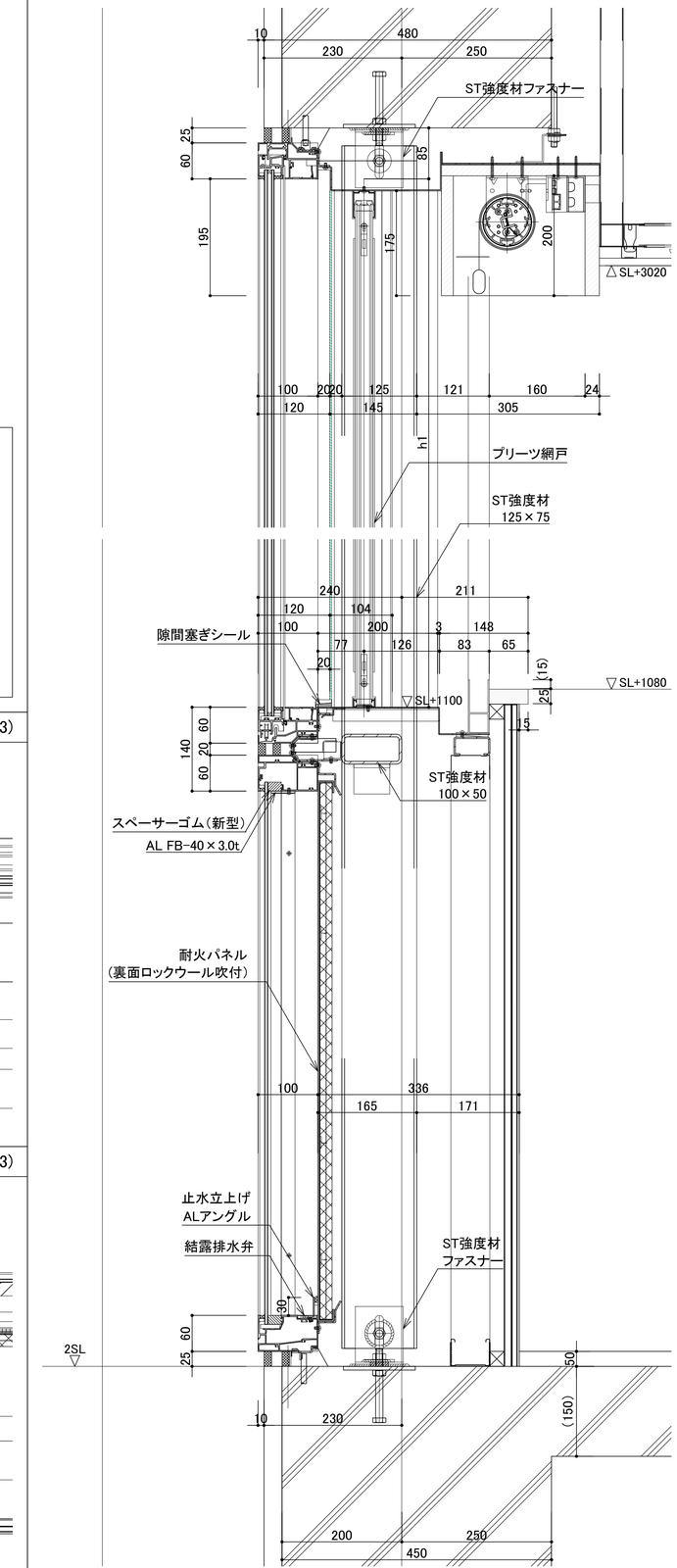
■耐風圧性能: S-5(2400Pa)
■気密性能: A-4(A-4等級線)
■水密性能: W-5(500Pa)
■遮音性能: T-2(T-2等級線)

＜ガラス厚＞
GA:FL6＋A6＋FL5
GB:FL6

…1ユニットを示す
…耐火パネル位置を示す

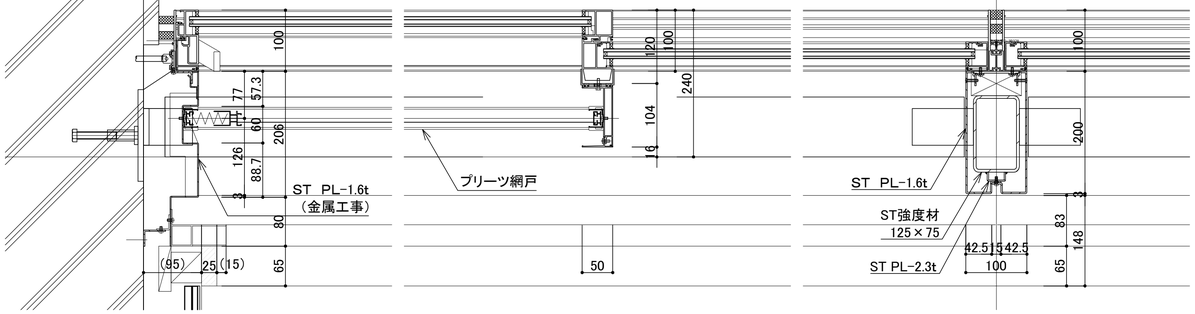
Ⓐ部断面詳細図

S=1/5(A1),1/10(A3)



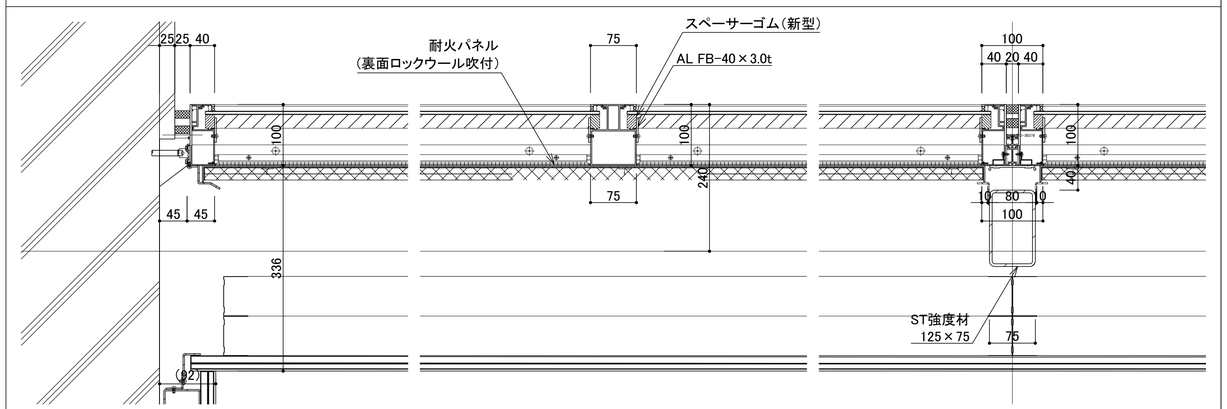
Ⓑ部断面詳細図

S=1/5(A1),1/10(A3)



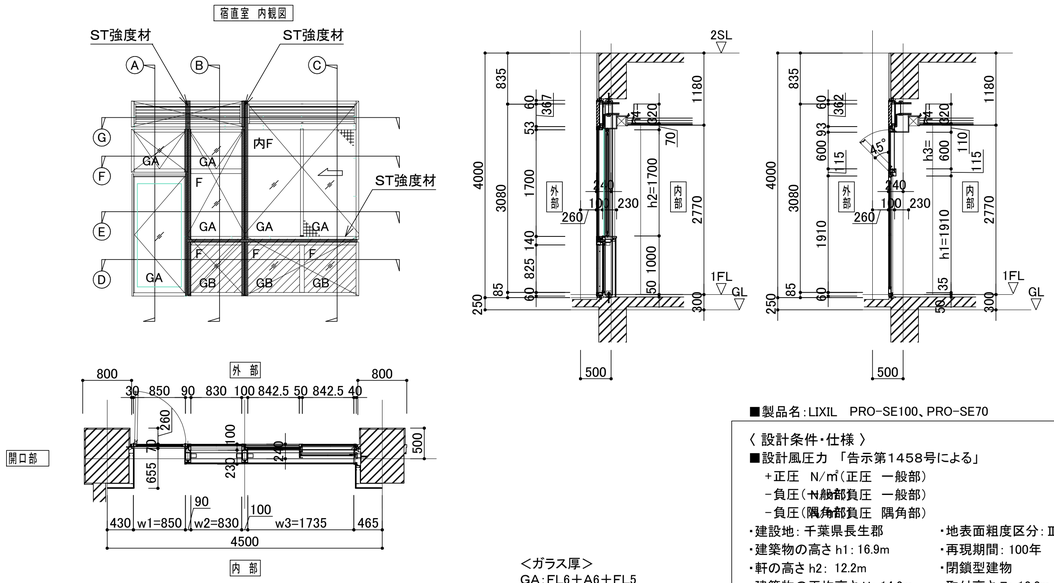
Ⓒ部断面詳細図

S=1/5(A1),1/10(A3)



一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所		日　付 令和　3年　月	縮　尺 A1　1:5 A3　1:10	工事名称	長南町役場庁舎建設工事
				図面名称	サッシ詳細図-3
				図面番号	A−71

姿図(内観図)【非防火設備】　S=1/50(A1),1/100(A3)



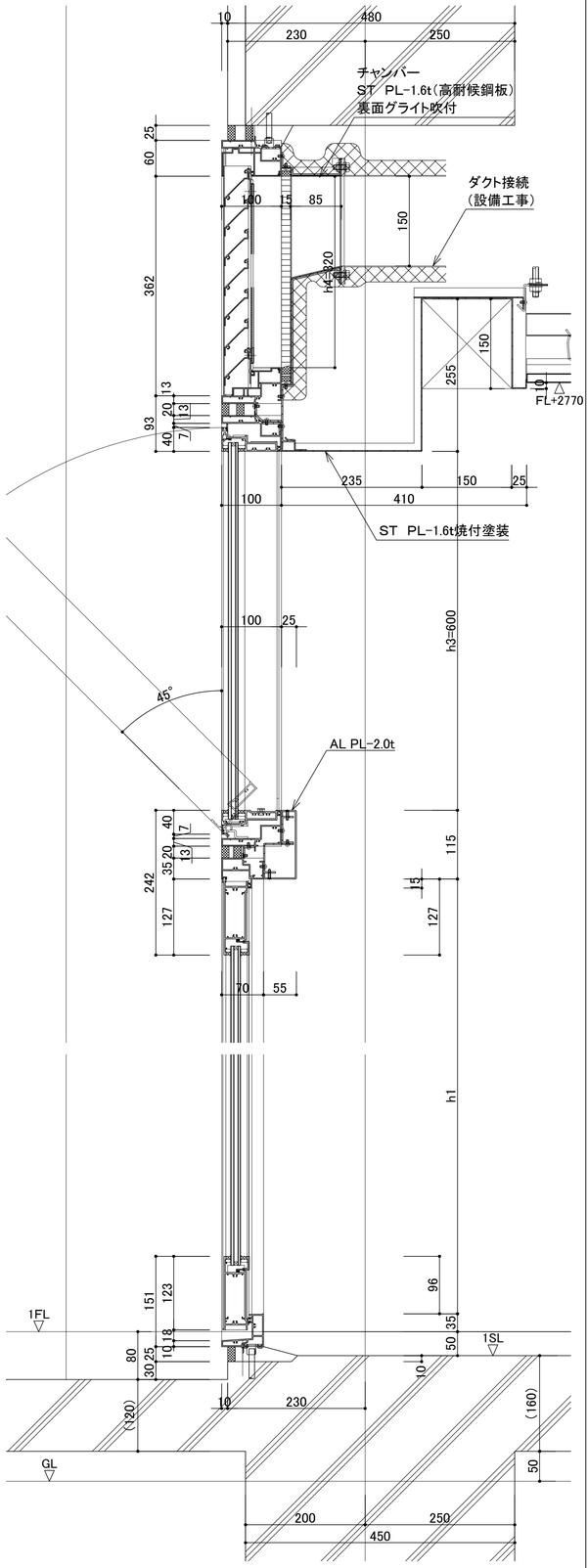
■製品名：LIXIL　PRO-SE100、PRO-SE70

〈 設計条件・仕様 〉
■設計風圧力 「告示第1458号による」
　＋正圧　N/㎡（正圧　一般部）
　－負圧（一般部負圧　一般部）
　－負圧（隅角部負圧　隅角部）
・建設地：千葉県長生郡
・建築物の高さ h1：16.9m
・軒の高さ h2：12.2m
・建築物の平均高さ H：14.6m
・基準風速 Vo：36m/s
・地表面粗度区分：Ⅲ
・再現期間：100年
・閉鎖型建物
・取付高さ Z：12.2m
・建築物の短辺長さ：22.5m
■耐風圧性能：S-5(2400Pa)
■気密性能：A-4(A-4等級線)
■水密性能：W-5(500Pa)
■遮音性能：T-2(T-2等級線)

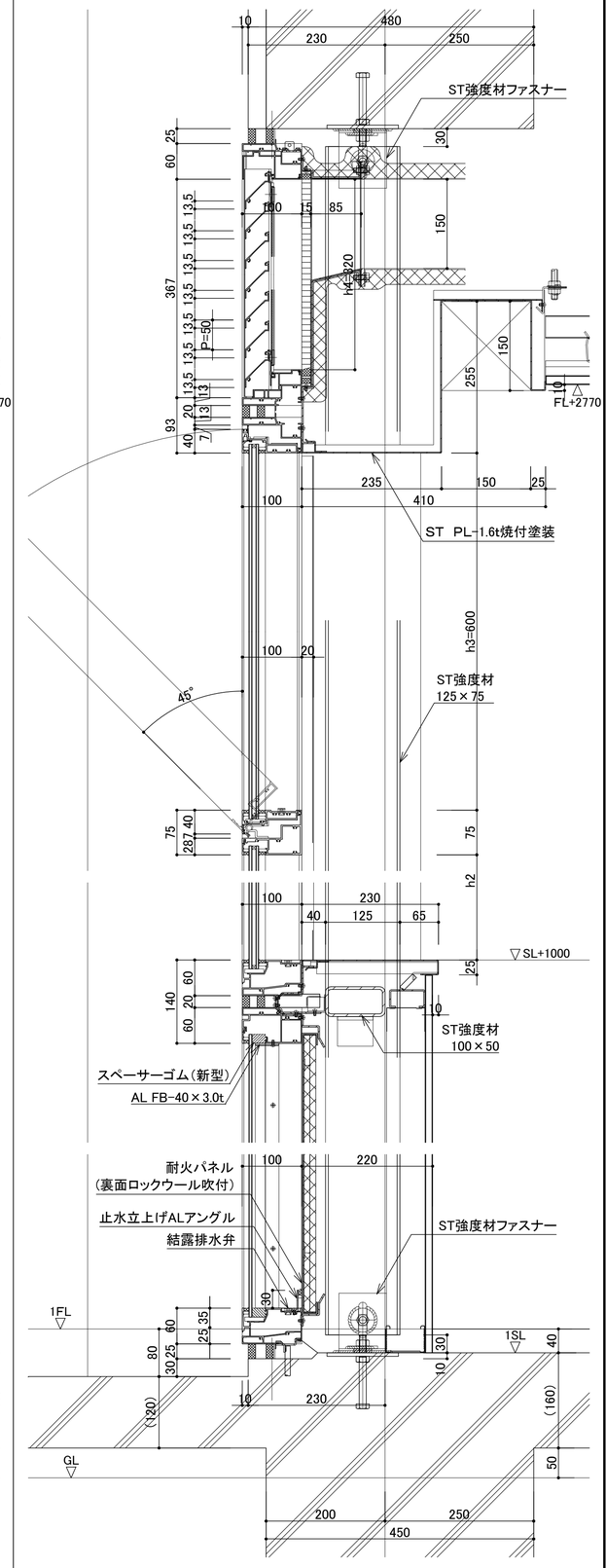
＜ガラス厚＞
GA：FL6＋A6＋FL5
GB：FL6

…1ユニットを示す
…目隠しパネル位置を示す

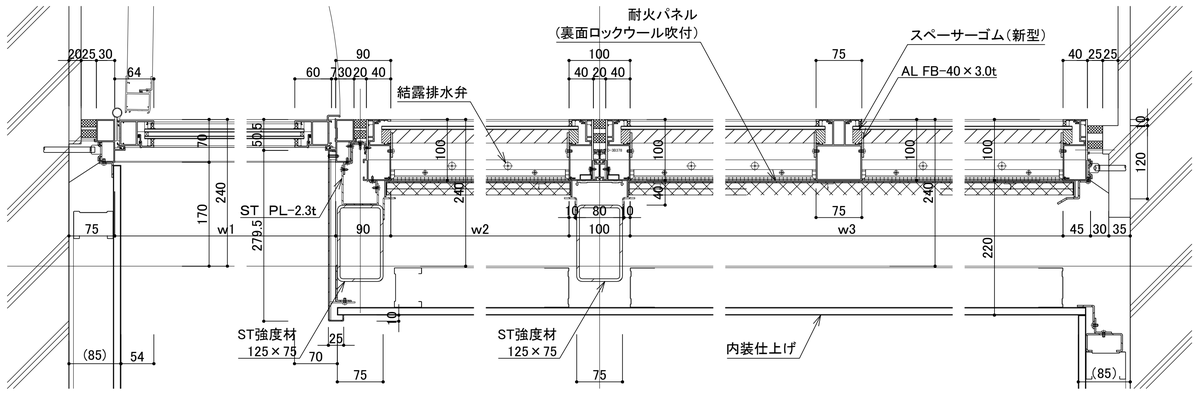
Ⓐ部断面詳細図　S=1/5(A1),1/10(A3)



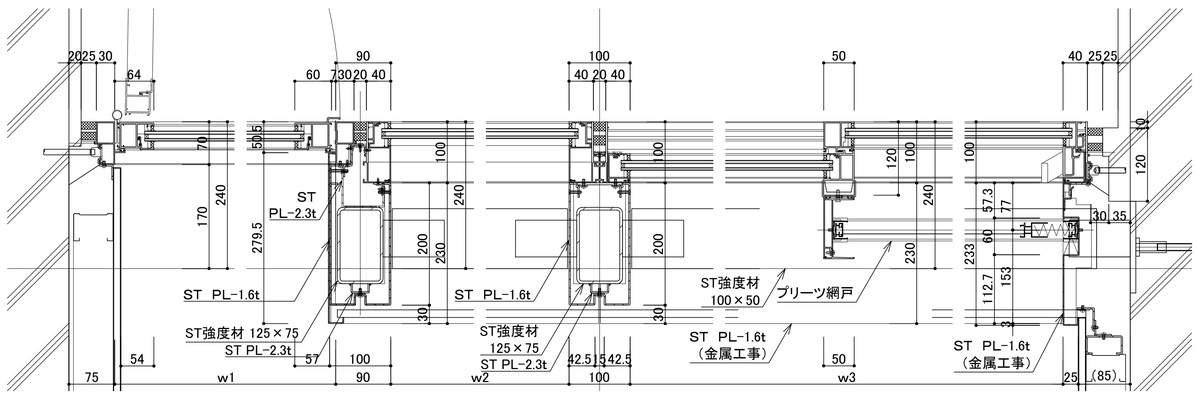
Ⓑ部断面詳細図　S=1/5(A1),1/10(A3)



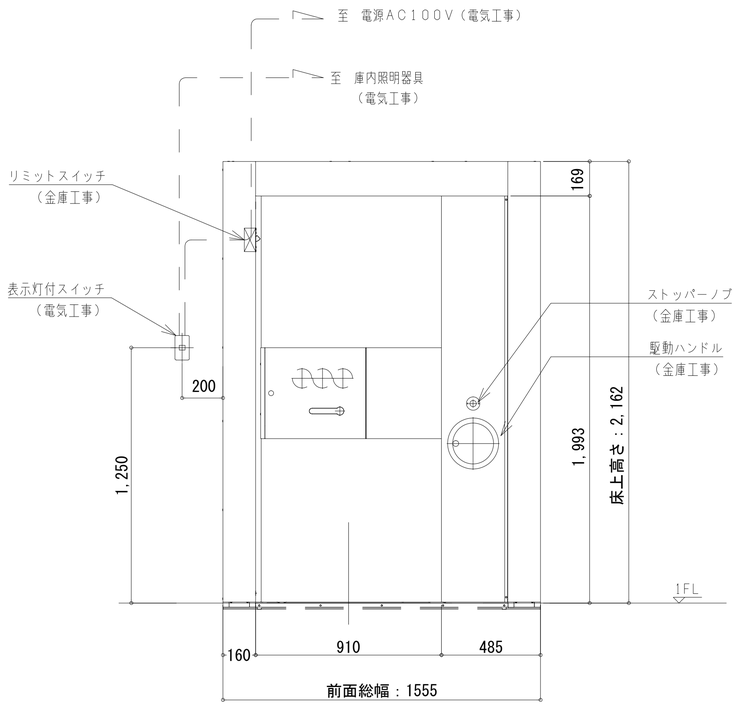
Ⓓ部断面詳細図　S=1/5(A1),1/10(A3)

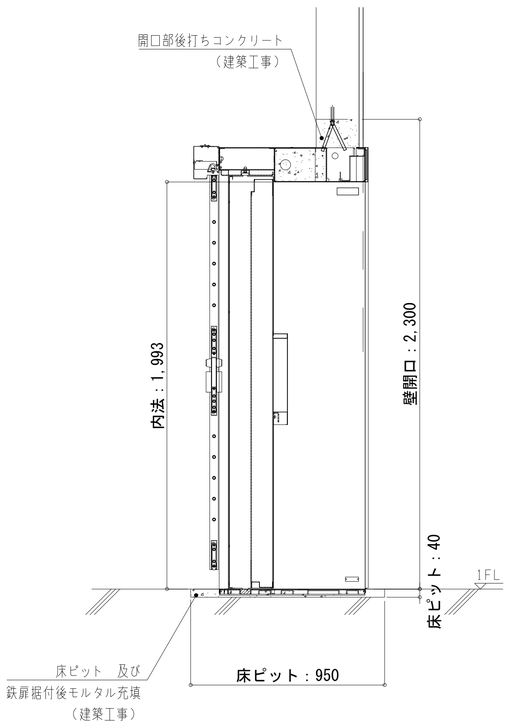


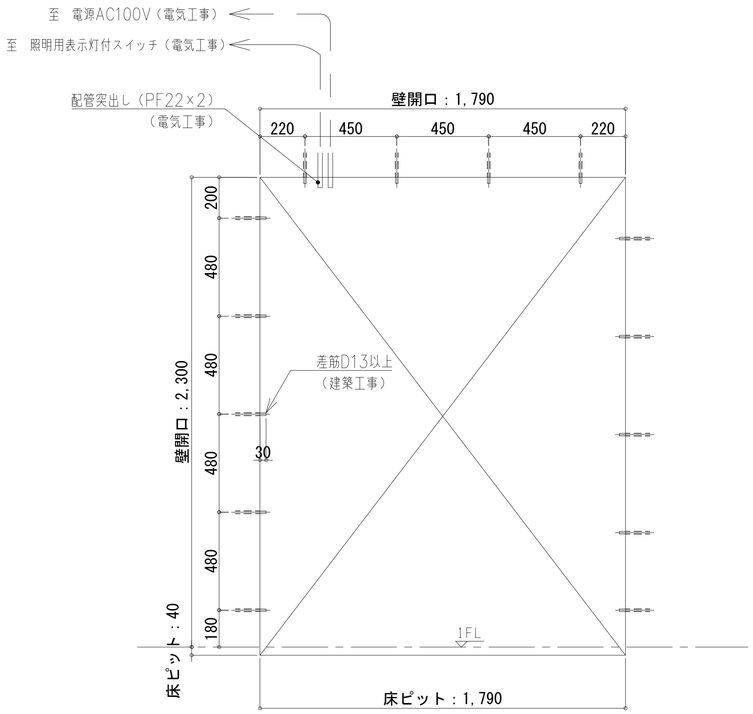
Ⓔ部断面詳細図　S=1/5(A1),1/10(A3)



一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所	日付 令和　3年　月	縮尺 A1　1:5 A3　1:10	工事名称　長南町役場庁舎建設工事 図面名称　サッシ詳細図-4	図面番号 A－72

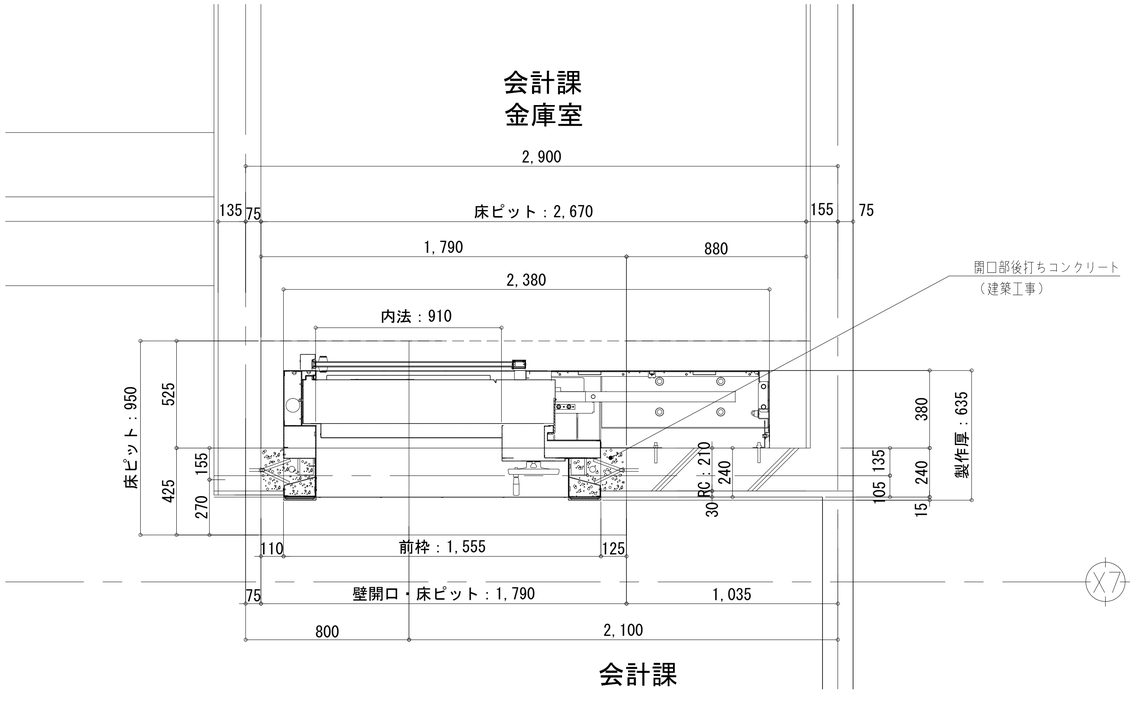






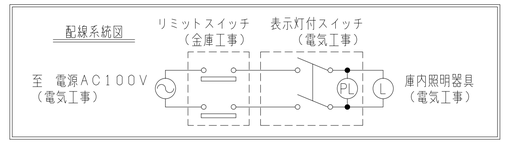
壁開口図

（庫外側より見る）



【　スライド書庫扉　SE2110　】
耐火性能：日本セーフ・ファニチュア協同組合連合会
　　金庫設備試験規格　4PH（4時間耐火）
防盗性能：日本セーフ・ファニチュア協同組合連合会
　　金庫設備試験規格　TRTLV−90（耐溶断・耐工具90分）
質量　：約1610kg

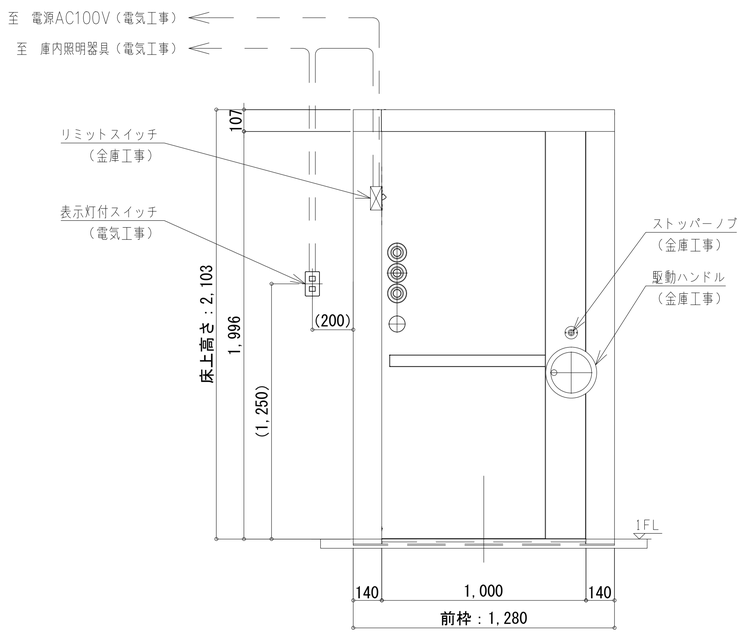
工　事　内　容	建築工事	電気工事	金庫工事
躯体への壁開口、差筋、床ピットの用意	●		
書庫扉、格子戸の搬入及び据付			●
電気配管		●	
リミットスイッチの取付			●
電源AC100V、及び電気配線		●	
開口部分への後打ちコンクリート	●		
書庫扉据付後の床ピットのモルタル埋め戻し	●		
天井・壁・床面の仕上（庫内・庫外）	●		
庫内照明用　表示灯付スイッチの取付		●	
機器の調整・引渡し			●



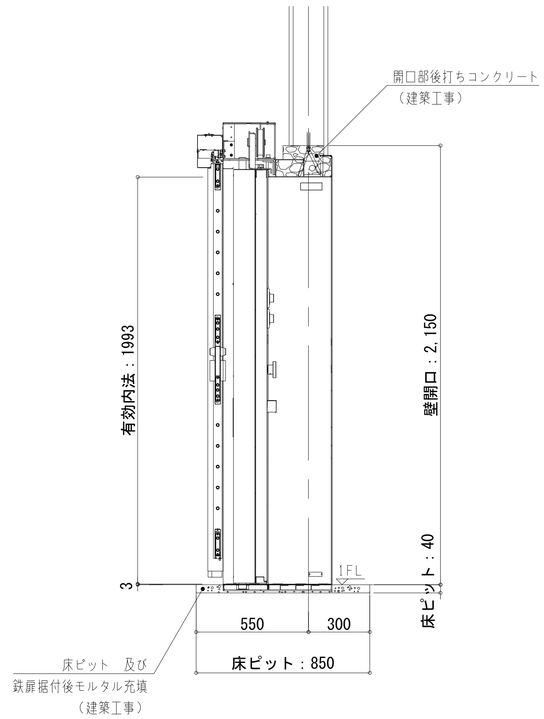
引き格子戸	SDG−M1R	庫内：シリンダー錠 庫外：シリンダー錠 アクリルカバー（ブルースモーク）	1
出入口鉄扉	SE2110B−R	製作厚：635 リミットスイッチ２個付×１ 一億変換符号錠×3	1
名　称　ITEM,	型　式　MODEL NO,		数　QTY,

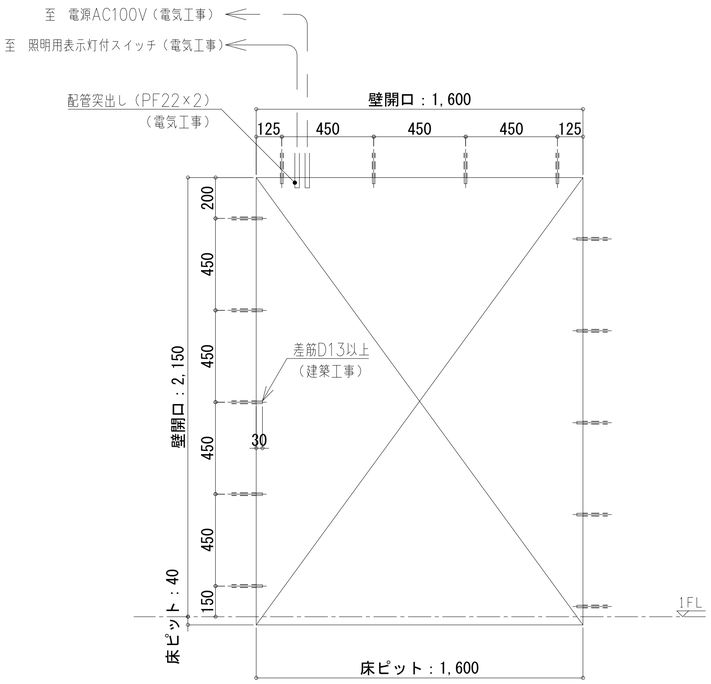
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1−1801−5860号
株式会社　千町村建築研究所

日　付	縮　尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:15 A3　1:30	長南町役場庁舎建設工事	A−73
		図面名称：部分詳細図5_会計課金庫扉詳細図	



正面図

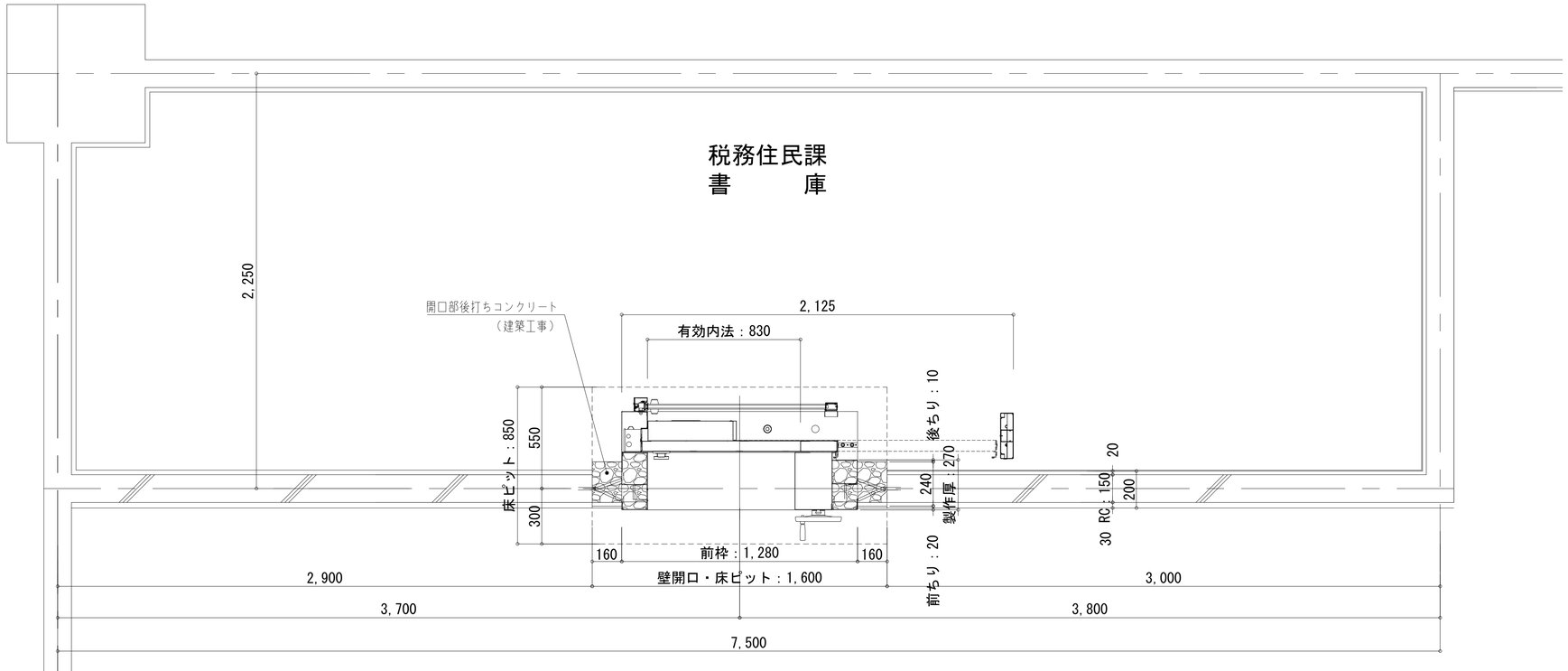




壁開口図

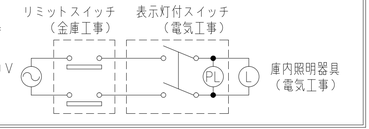
（庫外側より見る）

【　スライド書庫扉　SE1060N　】
耐火性能：日本セーフ・ファニチュア協同組合連合会
　　金庫設備試験規格　2PH（2時間耐火）
防盗性能：日本セーフ・ファニチュア協同組合連合会
　　金庫設備試験規格　TLV-15（耐工具15分）
質量　　：約680kg



工　事　内　容	建築工事	電気工事	金庫工事
躯体への壁開口、差筋、床ピットの用意	●		
書庫扉、格子戸の搬入及び据付			●
電気配管		●	
リミットスイッチの取付			●
電源AC100V、及び電気配線		●	
開口部分への後打ちコンクリート	●		
書庫扉据付後の床ピットのモルタル埋め戻し	●		
天井・壁・床面の仕上（庫内・庫外）	●		
庫内照明用　表示灯付スイッチの取付		●	
機器の調整・引渡し			●

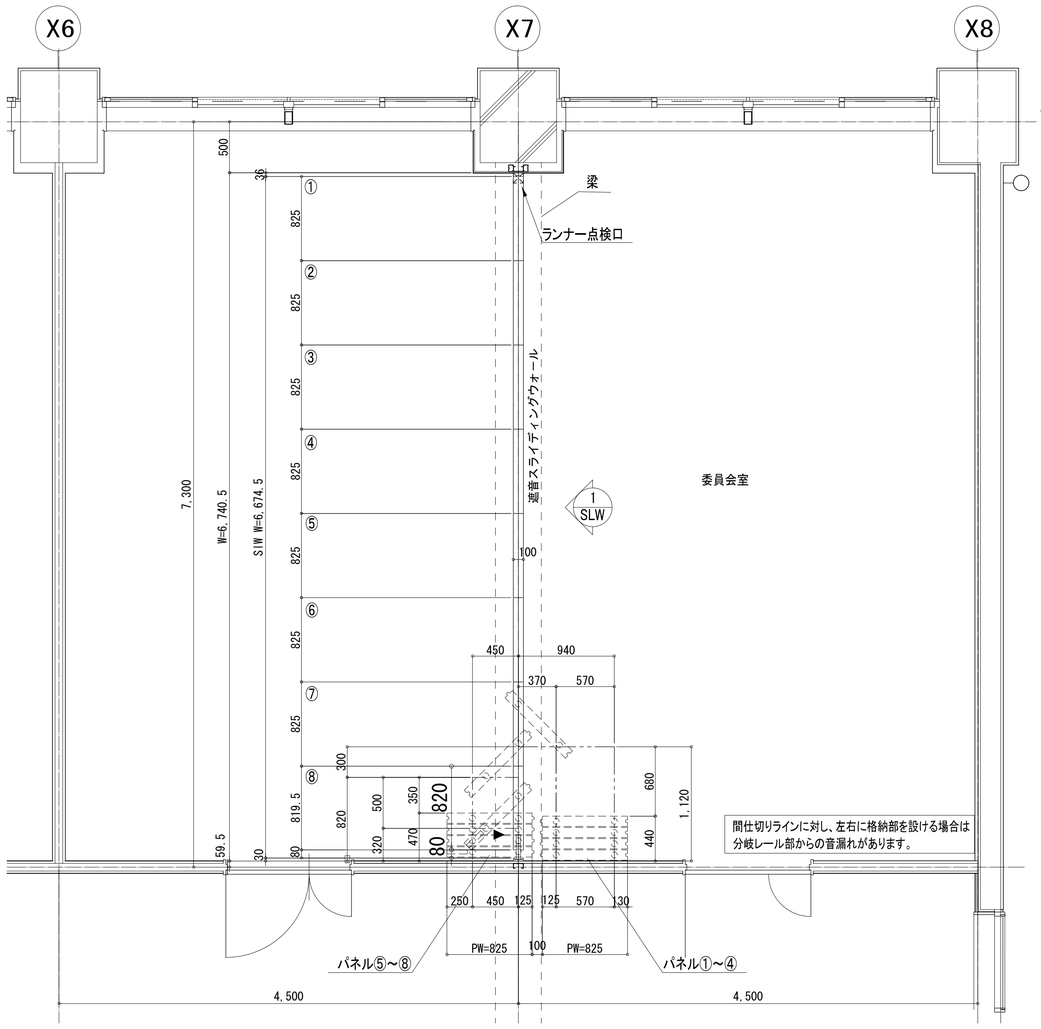
配線系統図



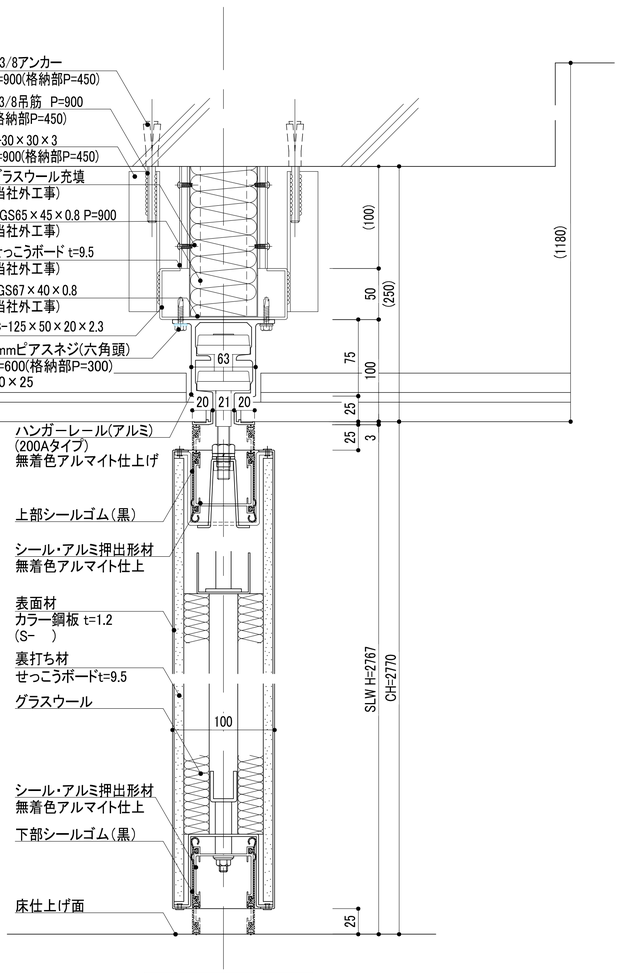
名　称　ITEM,	型　式　MODEL NO,		数 QTY,
引き格子戸	SDG-M1R	庫内：シリンダー錠 庫外：シリンダー錠 アクリルカバー（ブルースモーク）	1
出入口鉄扉	SE1060N-R	駆動ハンドル付 製作厚：270 リミットスイッチ2個付×1 百万変換符号錠×3	1

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

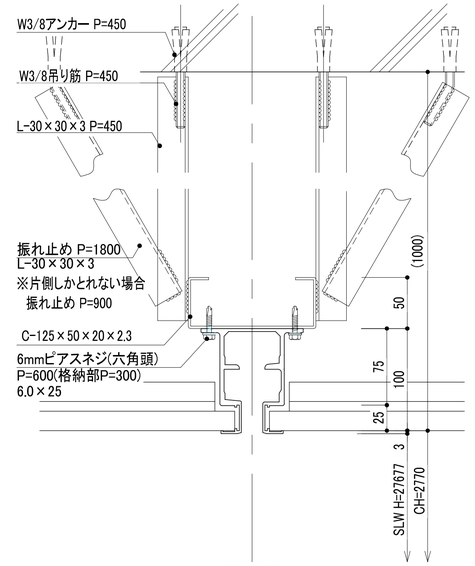
日　付	縮　尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図　面　番　号
令和　3年　月	A1　1:15 A3　1:30	図面名称	部分詳細図6.税務住民課書庫扉詳細図	A-74



3F平面図 S=1/30　　▲は表面操作口側を示す

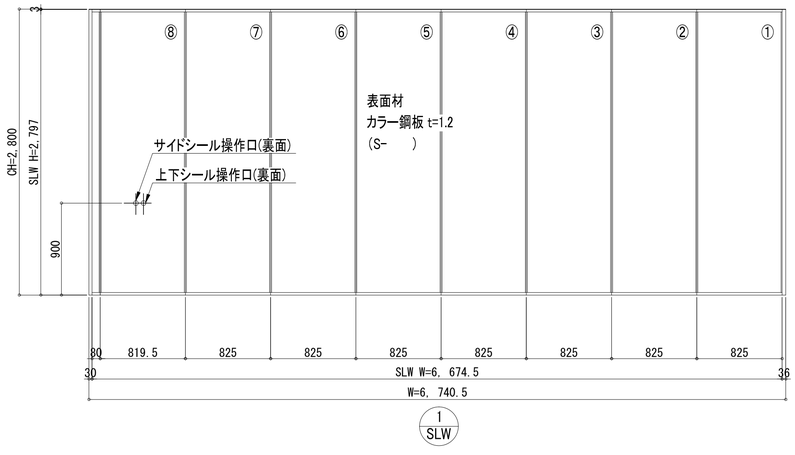


縦断面詳細図 S=1/3

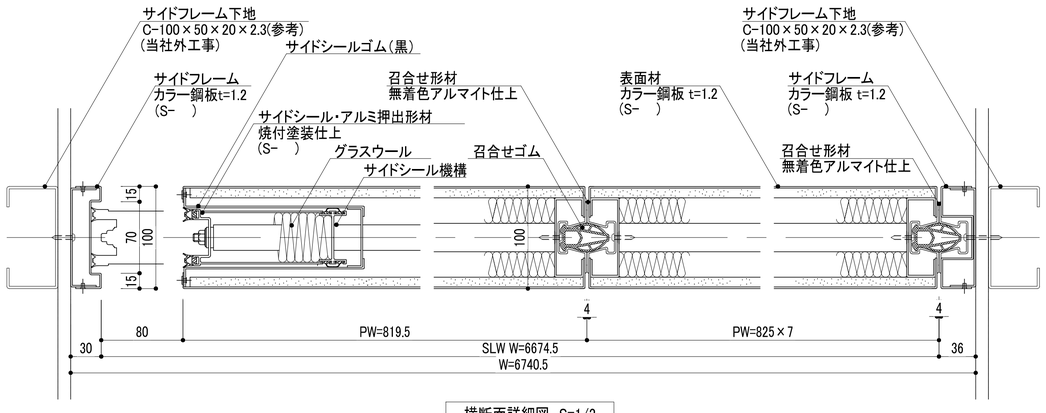


【格納部】

商 品 名		遮音スライディングウォール 100SB
商品略号		SW-100SBL
シ ー ル 機 構		レバー式
レール,ランナー		クロスタイプ アルミ押出形材(A6063S-T5) 無着色アルマイト仕上
パネル	表 面 板	カラー鋼板(1.2mm厚)
	表 面 板 色	S-300・S-303・S-306・S-315
	裏 打 ち 材	石膏ボード 9.5mm
	充 填 材	グラスウール 24kg/㎥
	パ ネ ル 厚	100mm
	重 量	標準パネル:55kg/㎡ サイドパネル:62kg/㎡
召し合わせ形材		アルミ押出形材(A6063S-T5)
シール 形 材		無着色アルマイト仕上
サイドシール 形 材		(サイドシール形材は焼付塗装仕上)
シ ー ル ゴ ム		P V C



展開図 S=1/30



横断面詳細図 S=1/3

※ 特記　2階会議室・防災室スライディングウォールは
3階委員会室の収まり図に準ズル、

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和 3年 月	A1 1:30, 3 A3 1:60, 6	長南町役場庁舎建設工事	A－75
		図面名称 部分詳細図7,スライデングウォール詳細図	

ドア部　詳細図　　S=1:20

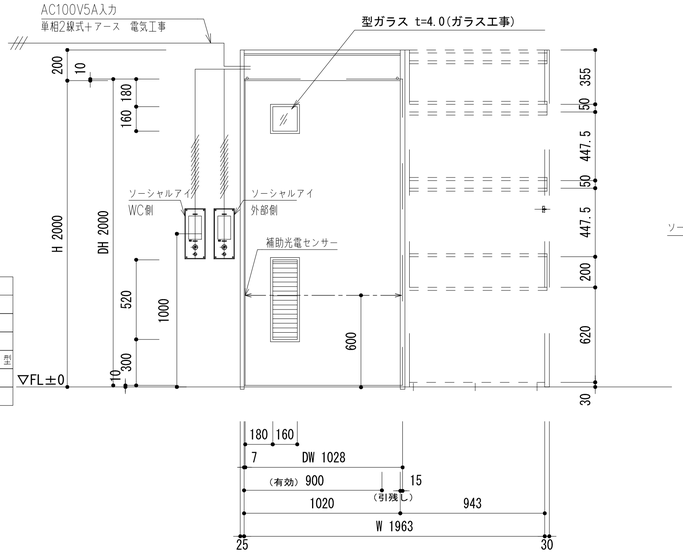
エンジン

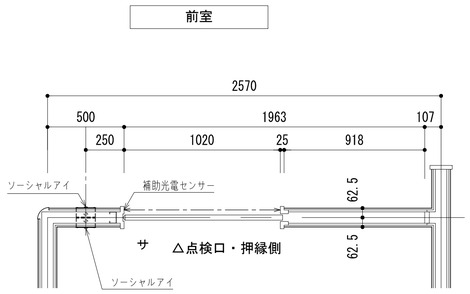
符号	数量	仕上	枠：SOP(別途)	枠形状
LSD 1	1		扉：塩ビシート貼り(別途)	S・SAT・PAT / 特防・防火・一般

金具品名	メーカー	品番型式	単位数量	備考
ガイドローラー	文化	制定品	1	
エンジン装置	寺岡		1	
起動センサー	フルテック	ソーシャルアイ	1S	

※ガラリ開口率　約２８％

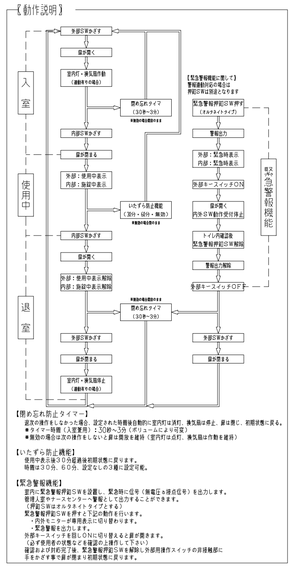
符号 LSD 1	自動ドア装置（1ヶ所当り）			
	名称	型式	数量	備考
開閉方式	片引		1s	寺岡
起動センサー	非接触スイッチ	ソーシャルアイ	1s	
電気錠	通電時施錠型		1s	自動ドア専用型
補助光電センサー	光電スイッチ	1ビーム		
自動ドア扉重量（1枚当り）	約60Kg			





概要図

【動作説明】

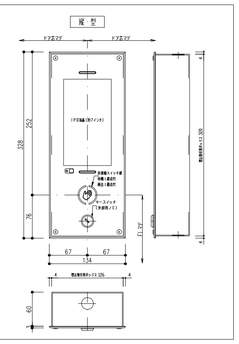


【閉め忘れ防止タイマー】
扉全の開きまたは一方開き、設定された時間後自動的に室内灯は消灯、換気扇は停止、扉は閉じ、初期状態に戻る。
●タイマー時間（入室実用）：30秒～3分（ボリュームにより可変）
●解放の場合は次の操作をしないと扉は開放を維持（室内灯は点灯、換気扇は作動を維持）

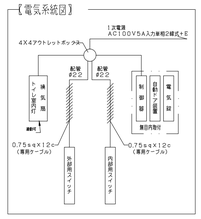
【いたずら防止機能】
室内灯点滅30秒経過後初期状態に戻ります。
時間は30分、60分、設定なしの3種に設定可能。

【緊急警報機能】
室内に緊急警報押釦SWを設置し、緊急時に信号（無電圧ａ接点信号）を出力します。
管理人室やケースセンター警報として出力することができます。
（押釦ON/OFFオルタネイトタイプとする）
緊急警報押釦SWを押すと下記の動作を行います。
・内外ともチャイム発報表示に切り替わります。
・ケース警報を出力します。
外部キースイッチを回しONに切り替えると扉が閉まります。
（必ず使用者の状態なども確認の上操作して下さい）
確認および対応完了後、緊急警報押釦SWを解除し外部用操作スイッチの非接触部に
手をかざす事で扉が閉まり初期状態に戻ります。

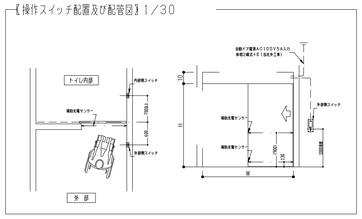
【外形寸法図】1／2



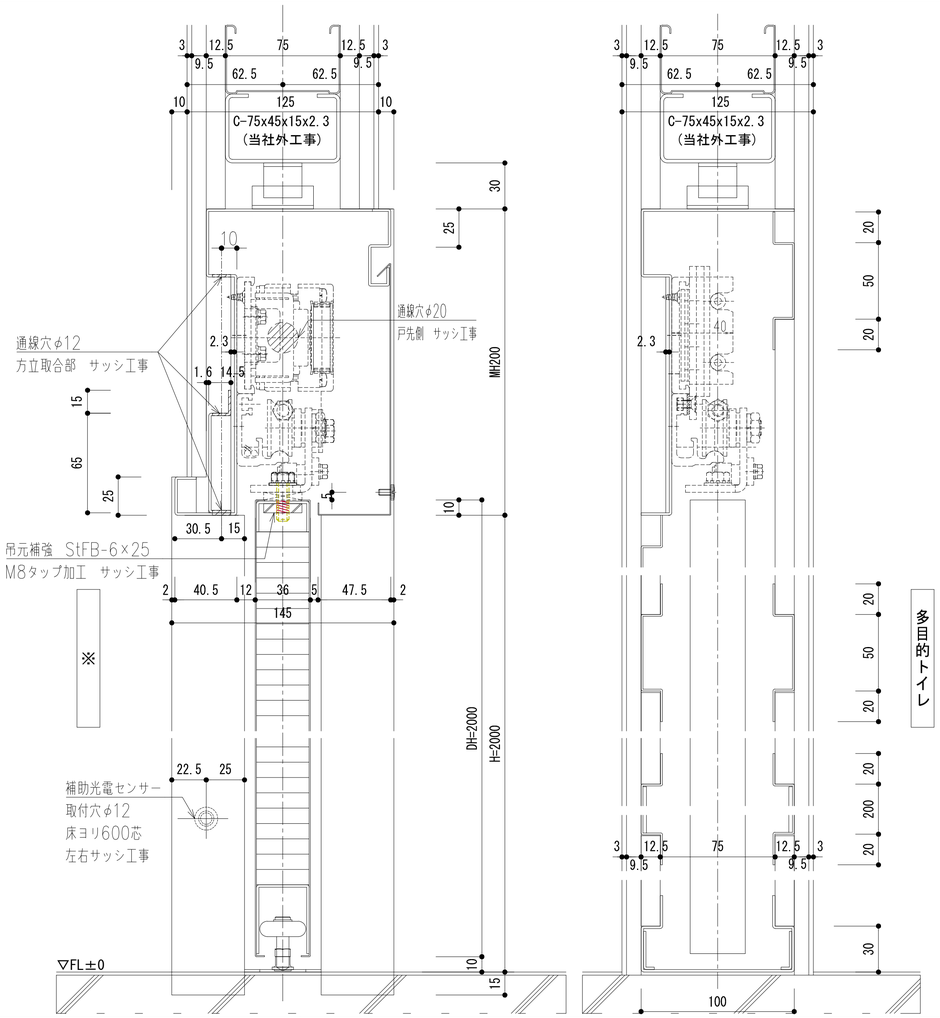
【電気系統図】

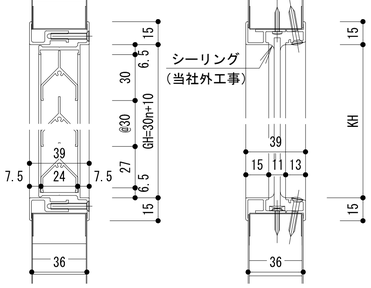


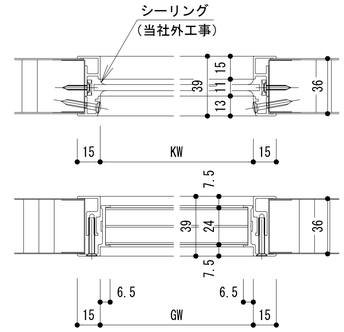
【操作スイッチ配置及び配管図】1／30



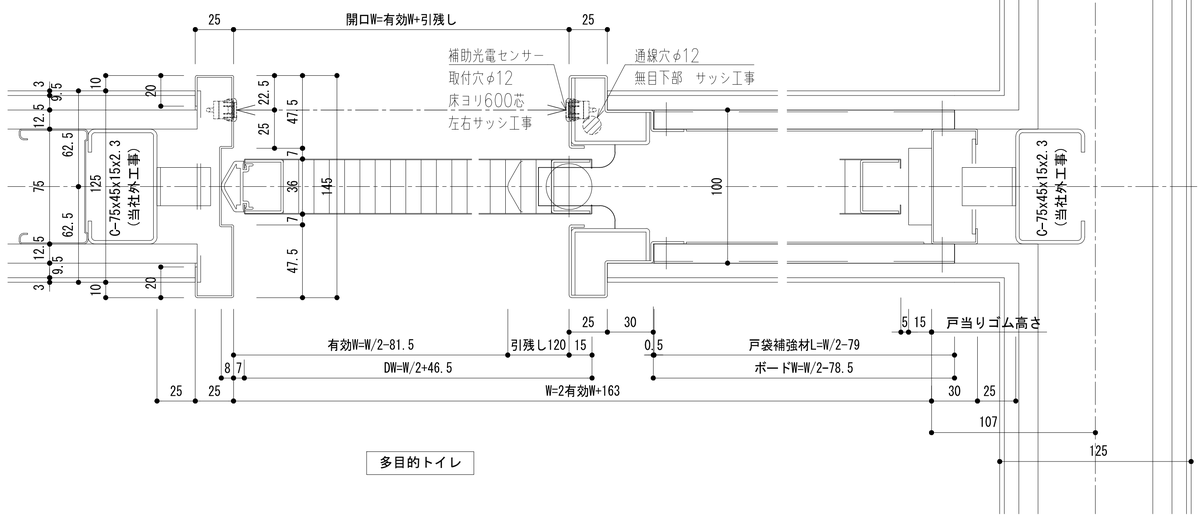
ドア部　部分詳細図　　S=1:2







※

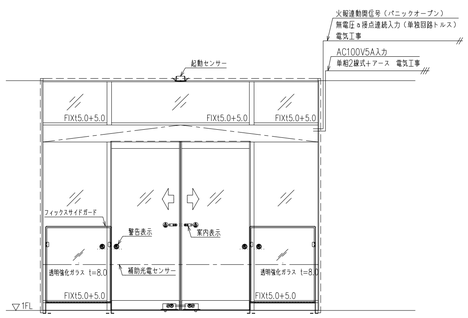


一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1 1:20.2 A3 1:40.4	長南町役場庁舎建設工事	A－76
		図面名称：多目的トイレドア詳細図	

SSD-1　自動ドア詳細図

姿　図　S=1:40

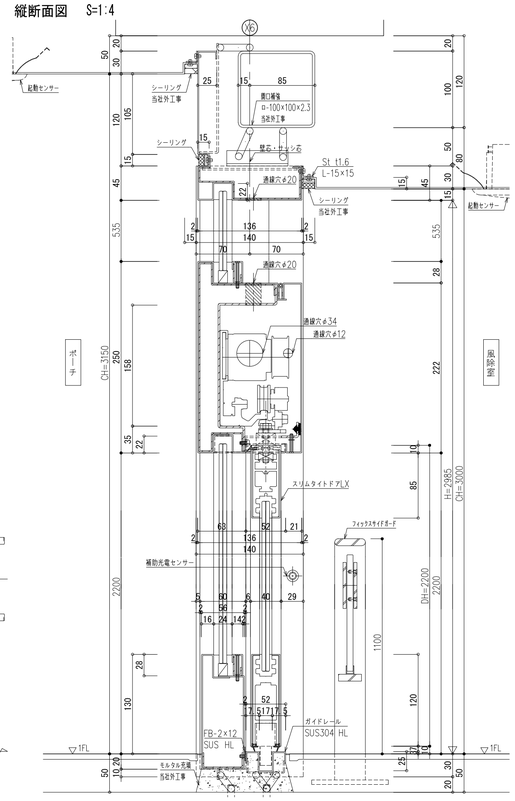


風除室側姿図

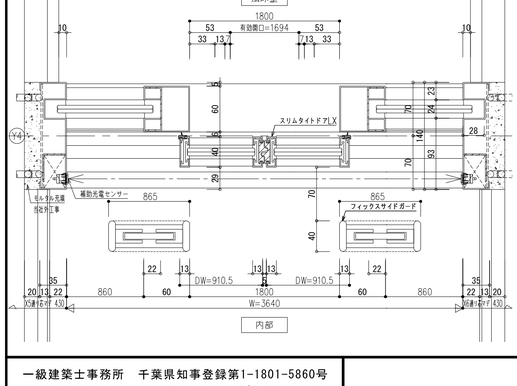
＊パニックオープンシステム（火災連動 ㊀ 無 ）
＊保磁電源OFF時　手動OPEN可能

符号	SSD	数量	取付場所	1F	曲げ加工
	1	1	風除室		角ヒシ
サッシ材質・仕上	枠：SUS304 t1.5				MR仕上
	扉：スリムタイトドアLXS				MR仕上
自　動　ド　ア　装　置　（1ヶ所当り）					
製品名・品番	名　称		型　式	数量	備　考
駆動方式	引 分（フルチック製）			1s	
起動センサー	内side	起動スイッチ	天井埋込型	1	
起動センサー	外side	起動スイッチ	天井埋込型	1	
非常電源センサー	充電スイッチ		1ビーム	1s	OS-10P
自動ドア装置重量（1枚当り）			約65Kg		
付　属　金　物　（1ヶ所当り）					
品　名	メーカー	品　番		数量	備　考
本締錠	ミウラ	DG20-1			
ガ　ラ　ス					
ガラス種類	扉：トウヘイ強化ガラス-15.0+5.0（フルチック工事）				
	FIX：トウヘイガラス-15.0+5.0（ガラス工事）				

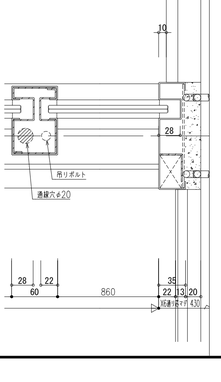
縦断面図　S=1:4



自動ドア部横断面図　S=1:4

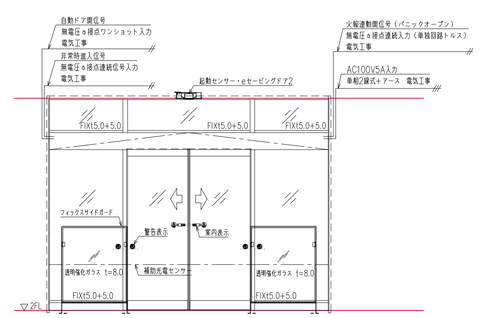


欄間部横断面図　S=1:4



SSD-3　自動ドア詳細図

姿　図　S=1:40

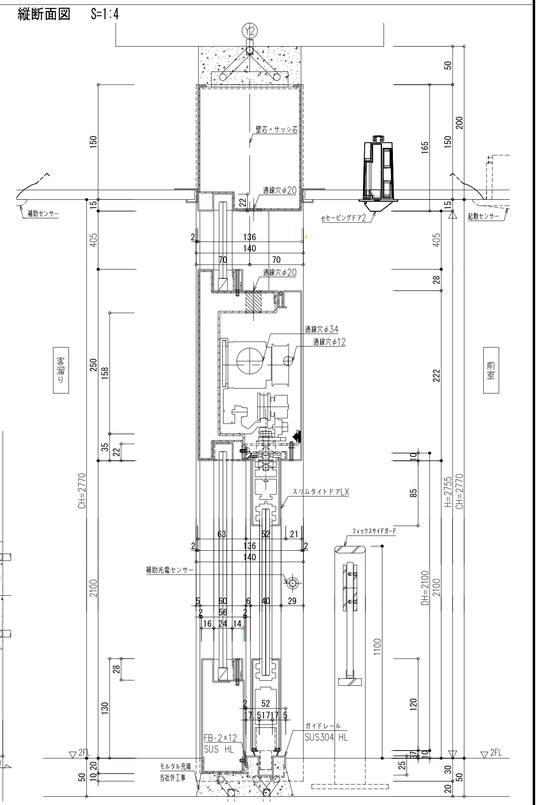


前除室側姿図

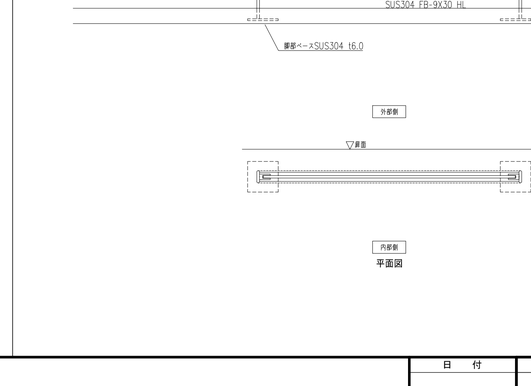
＊オートロックシステム
＊パニックオープンシステム（火災連動 ㊀ 無 ）
＊保磁電源OFF時　手動OPEN可能

符号	SSD	数量	取付場所	2F	曲げ加工
	3	1	前　室		角ヒシ
サッシ材質・仕上	枠：SUS304 t1.5				MR仕上
	扉：スリムタイトドアLXS				MR仕上
自　動　ド　ア　装　置　（1ヶ所当り）					
製品名・品番	名　称		型　式	数量	備　考
駆動方式	引 分（フルチック製）			1s	
電　気　錠	通電時施錠型			1s	当動ドア兼用型
起動システム	外side	ニオートロックシステム			電気工事
起動センサー	内side	起動スイッチ	天井埋込型	1	
検出センサー	内side	起動スイッチ	天井埋込型	1	
eセービングドア2	内side		天井埋込型	1	
非常充電センサー	充電スイッチ		1ビーム	1s	OS-10P
自動ドア装置重量（1枚当り）			約65Kg		
付　属　金　物　（1ヶ所当り）					
品　名	メーカー	品　番		数量	備　考
本締錠	ミウラ			1	
ガ　ラ　ス					
ガラス種類	扉：トウヘイ強化ガラス-15.0+5.0（フルチック工事）				
	FIX：トウヘイガラス-15.0+5.0（ガラス工事）				

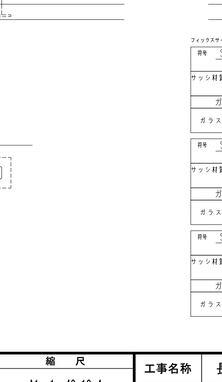
縦断面図　S=1:4



自動ドア部横断面図　S=1:4

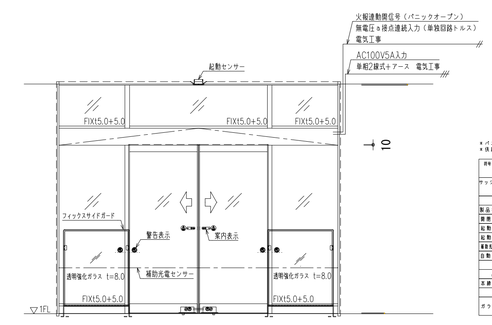


欄間部横断面図　S=1:4



SSD-2　自動ドア詳細図

姿　図　S=1:40

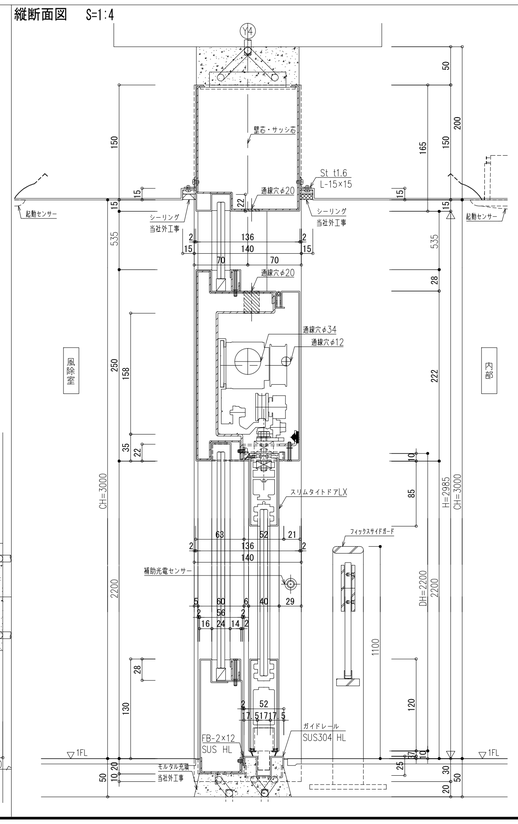


内観側姿図

＊パニックオープンシステム（火災連動 ㊀ 無 ）
＊保磁電源OFF時　手動OPEN可能

符号	SSD	数量	取付場所	1F	曲げ加工
	2	1	風除室		角ヒシ
サッシ材質・仕上	枠：SUS304 t1.5				MR仕上
	扉：スリムタイトドアLXS				MR仕上
自　動　ド　ア　装　置　（1ヶ所当り）					
製品名・品番	名　称		型　式	数量	備　考
駆動方式	引 分（フルチック製）			1s	
起動センサー	内side	起動スイッチ	天井埋込型	1	
起動センサー	外side	起動スイッチ	天井埋込型	1	
非常電源センサー	充電スイッチ		1ビーム	1s	OS-10P
自動ドア装置重量（1枚当り）			約65Kg		
付　属　金　物　（1ヶ所当り）					
品　名	メーカー	品　番		数量	備　考
本締錠	ミウラ	DG20-1			
ガ　ラ　ス					
ガラス種類	扉：トウヘイ強化ガラス-15.0+5.0（フルチック工事）				
	FIX：トウヘイガラス-15.0+5.0（ガラス工事）				

縦断面図　S=1:4



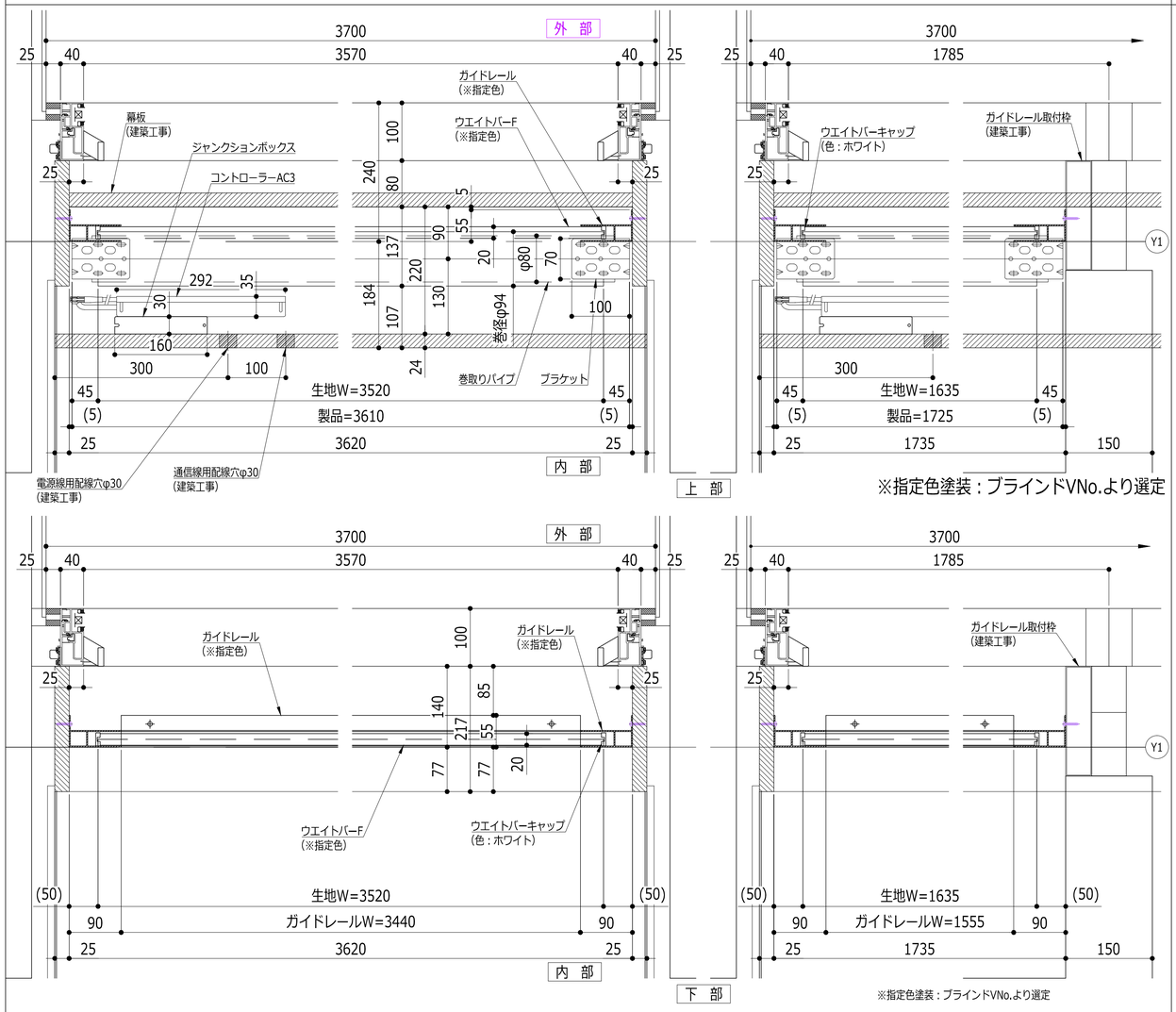
自動ドア部横断面図　S=1:4

欄間部横断面図　S=1:4

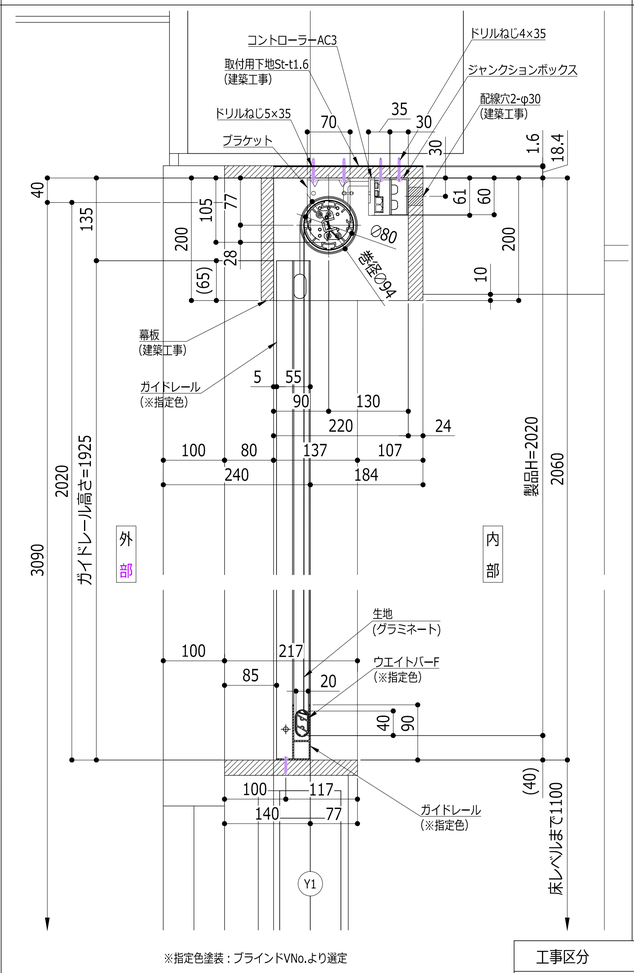
フィックスサイドガード詳細図　S=1:10

正面図
ステンレスラウンドフラットバー
SUS304 FB-9X40 HL
ガラス固定用クランプ
SUS FB 形成品
透明強化ガラス
t=8.0
錘子受け
SUS304 t1.0 HL + t3.0転ゴム
ステンレスフラットバー
SUS304 FB-9X30 HL
側面図
ステンレスラウンドフラットバー
SUS304 FB-9X40 HL
錘子固定用クランプ
SUS FB 形成品
外部側
内部側
ステンレスフラットバー
SUS304 FB-9X30 HL
戸厚
戸厚
ベース
ガラス
ベース
ガラス
戸厚
戸厚
ガラス
ベース
ガラス
ベース
戸厚
戸厚
ガラス
ベース
ガラス
ベース
戸厚
戸厚
ガラス
ベース
ガラス
ベース

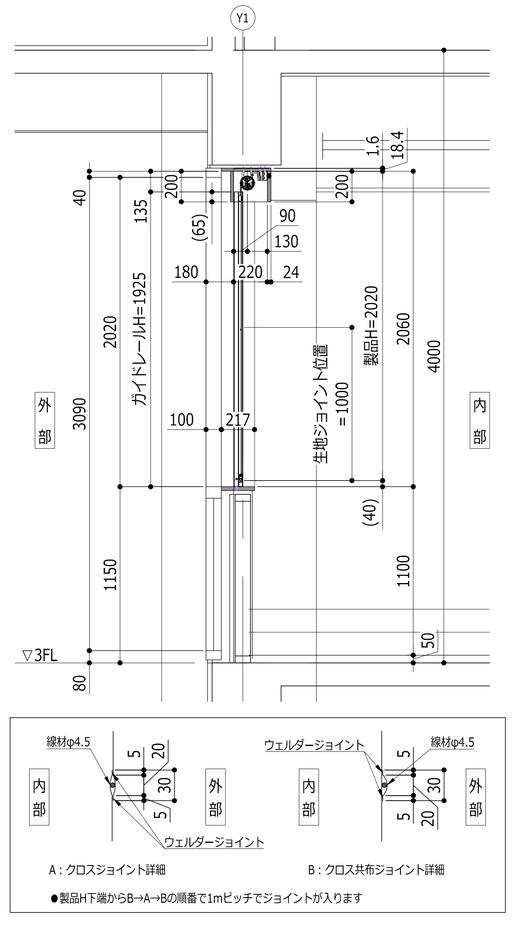
横断面詳細図 S=1/5



縦断面詳細図 S=1/5



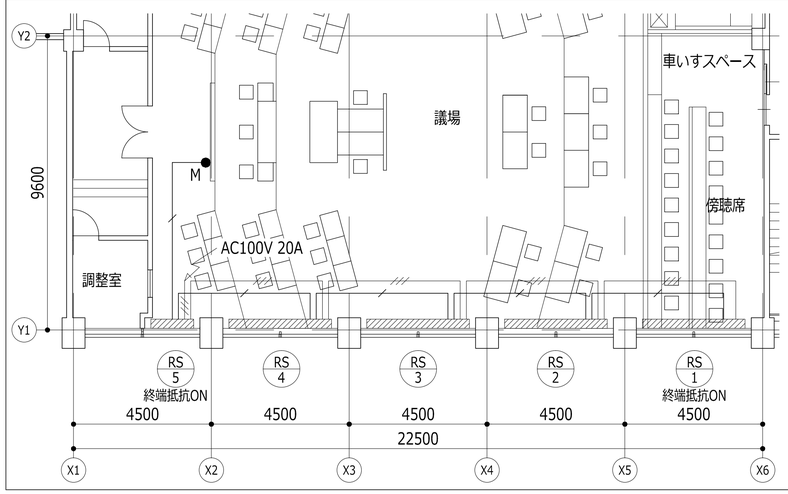
縦断面図 S=1/20

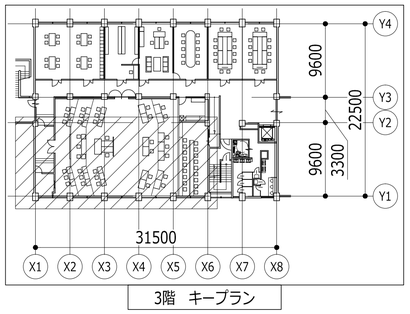


工事区分

	項目	建築工事	電気工事	ブラインド工事
1	ブラインドボックスの設置	○		
2	ブラインドボックス配線孔	○		
3	スイッチ壁面開口	○		
4	スイッチ裏アウトレットボックスの設置		○	
5	電源（AC100V）の供給		○	
6	電源線の配管・配線（区画貫通部含む）		○	
7	通信線の配管・配線（区画貫通部含む）		○	
8	ブラインドの設置・結線・調整			○
9	スイッチの設置・結線・調整			○
10	ジャンクションボックスの設置			○

配置・配線図 S=1/100

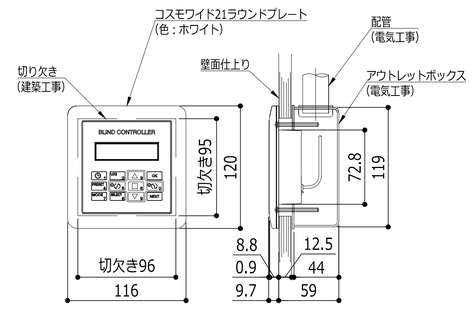




製品リスト

記号	部屋名	製品W	製品H	数量	生地
1～4	議場・傍聴席	3610	2020	4	グラミネート
5	議場	1725	2020	1	

スイッチ図（液晶マルチコントローラー） S=1/3



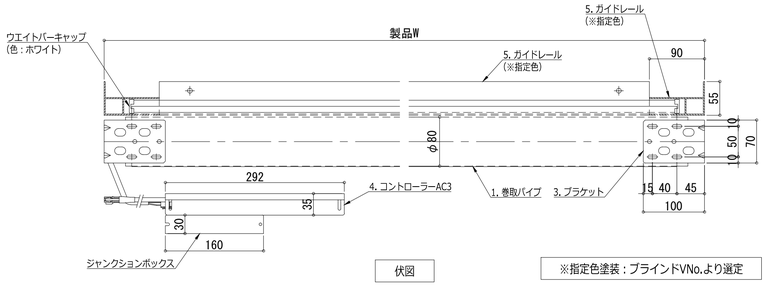
凡例

RS	電動ロールスクリーン（MEMTRS-80　ガイドレール仕様）
	AC100V 1.5（A／台）
	生地：グラミネート
	電源線：VVF1.6-3C
	通信線：UTP-CAT5E
	（ブラインド～ブラインド間）
	※配線距離：フロア内総距離1000m以内
	（ブラインド～スイッチ間）※配線距離：25m以内
	電源
	AC100V　20A（ブラインド専用回路とする）
M	スイッチ
	液晶マルチコントローラー

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1 1：100, 20, 5 A3 1：20, 40, 10	長南町役場庁舎建設工事	A－78
		図面名称：部分詳細図-9　議場スクリーン詳細図（1）	

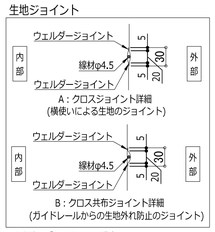
窓側電動ブラインド機器図　　S=1:5



伏図

※指定色塗装：ブラインドVNo.より選定

生地ジョイント



●生地：グラミネートの場合
ロールスクリーン（H）下端からB→A→Bの順番で
1mピッチでジョイントが入ります

製品仕様

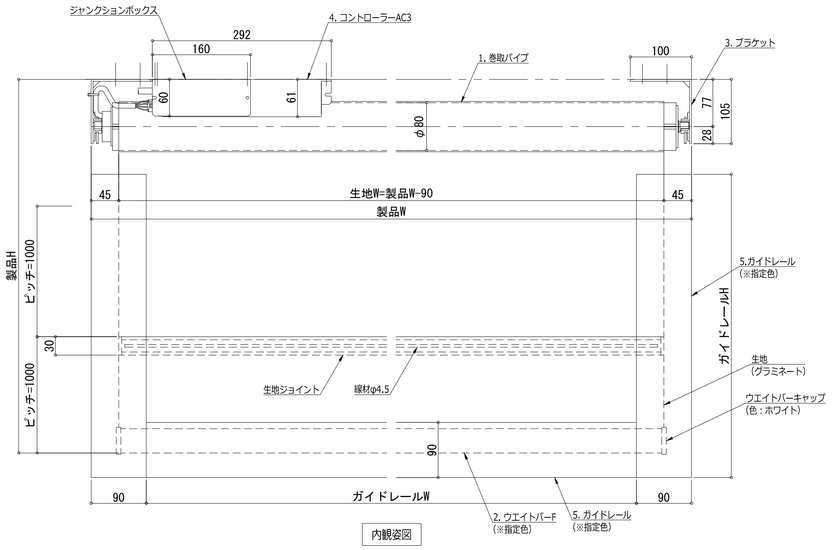
製品名		ソフィー　テクノタイプ
スタイル・仕様等		NICS2仕様　φ80　ガイドレール仕様
製品略号		MEMTRS-80
1.巻取パイプ	パイプ径	80mm
	材質	アルミニウム合金　アルマイトクリアー仕上
2.ウエイトバーF	材質	アルミニウム合金　アルマイトクリアー仕上
3.ブラケット	材質	スチール　焼付塗装仕上
	色	ホワイト（標準）、ブラック
4.コントローラーAC3	材質	プラスチック
	色	ライトグレイ
5.ガイドレール	材質	アルミニウム合金　アルマイトクリアー仕上

電装部仕様

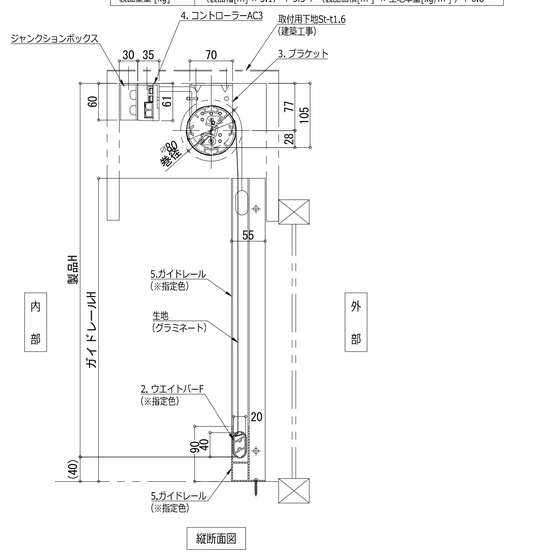
モーター部仕様	A2	コントローラーAC3仕様 ※モーター部電源供給含む	
機種名	5305EN3		
電源電圧	AC100V 50Hz	電源電圧	AC100V ±5%
定格電流	1.05 A	電流	約1.4 A/約1.2 A
定格回転数	25 rpm	重量	0.4 kg
定格トルク	5 Nm	待機時電力	約 1.0 W（スイッチ含まず）
定格時間	約5分	定格消費電力	約105 W

計算式

項目	計算式
製品重量 [kg]	（製品幅[m] × 3.1）＋ 3.5 ＋（製品面積[m²] × 生地単重[kg/m²]）＋ 0.8

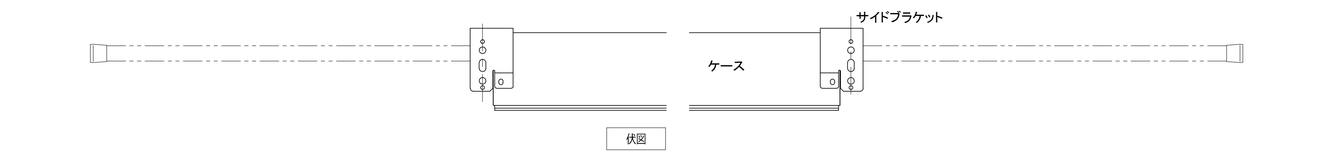


内観姿図

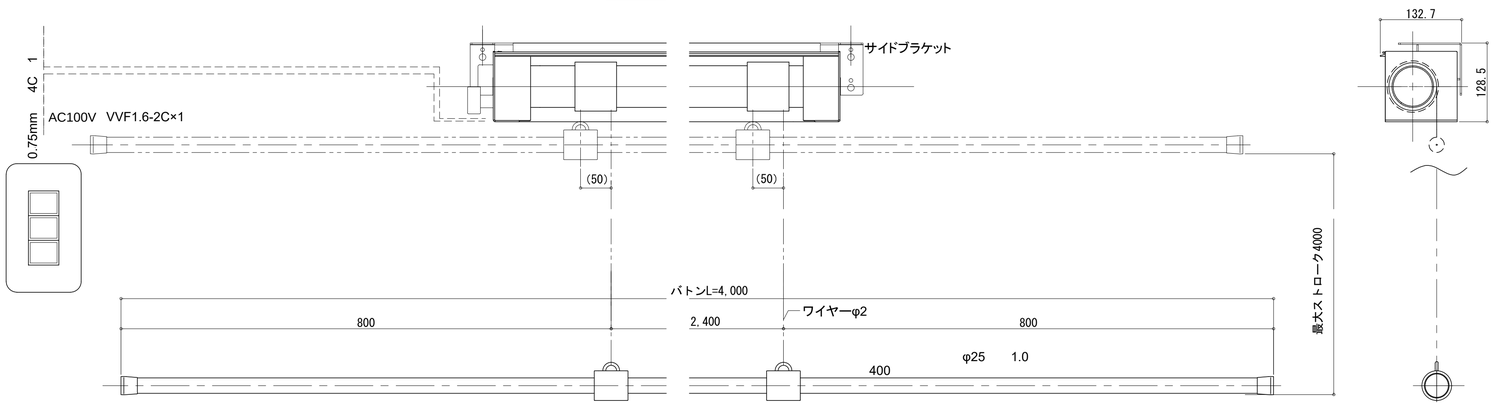


縦断面図

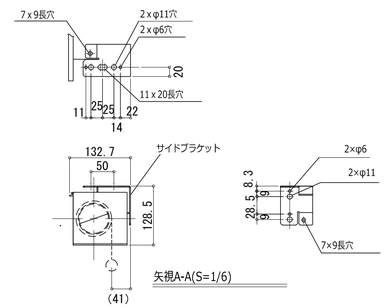
電動スクリーン機器図　　S=1:5



伏図



内観姿図



電線（配線参考用）
0.75mm² 以下×4C×1相当品

結線図

制御	
入力	無電圧メイク10mS 以上／無電圧単パルス10mS 以上
出力	DC24V　/ 最大約80mA

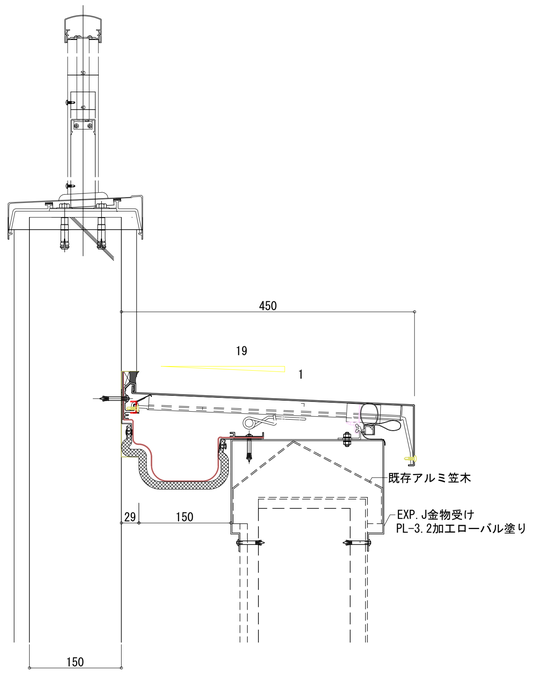
	BEB-S
定格電圧	AC100V 50/60Hz
定格電流	1.13A
昇降速度 (mm/sec)	50Hz：約　70　mm
	60Hz：約　83　mm

吊荷重	147N（15kgf）
ストローク	最大4000mm
バトンパイプ	L=4000mm、φ25 SUS
バトンケース	シンメトリーケース
質　　量	約13.7kg
標準付属品	一連壁埋込スイッチ
オプション	赤外線リモコン(FS-S)、吊元カバー
	アルミボックスAL-440EX
適用ボックス内寸	L4400×H200xD200
備　　考	RoHS対応品

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

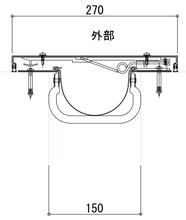
日　付	縮　尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和　3年　月	A1　1：5 A3　1：10	図面名称	部分詳細図-10　議場スクリーン詳細図(2)	A－79

パラペット笠木+EXP.J金物　S=1:5



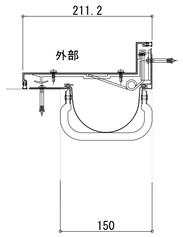
①壁ー屋根EXP.J金物（耐火仕様）
直13m　端部役物2ヵ所

EXP.J金物　（外部 壁+壁）　S=1:5



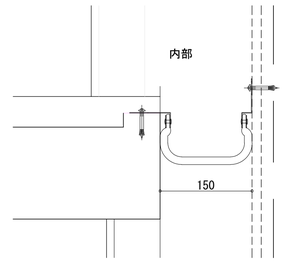
②壁ー壁EXP.J金物（耐火仕様）
直8.5m

EXP.J金物　（外部 壁+壁）　S=1:5



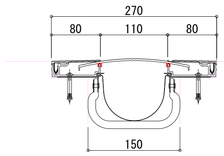
③壁ー壁コーナーEXP.J金物（耐火仕様）
直8.5m

EXP.J金物　（内部 床+壁）　S=1:5



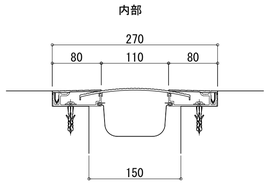
④床ー壁　耐火帯
直10m

EXP.J金物　（内部 床+床）　S=1:5



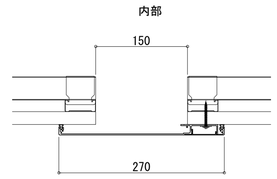
⑤床ー床EXP.J金物（耐火仕様）
直2.5m

EXP.J金物　（内部 床+床）　S=1:5



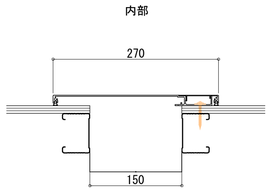
⑥床ー床EXP.J金物
直2.5m

EXP.J金物　（内部 天井+天井）　S=1:5



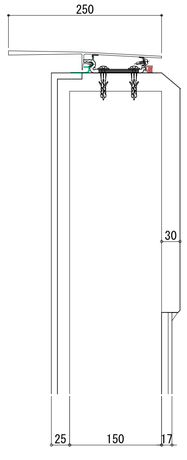
⑦天井ー天井EXP.J金物
直5.0m

EXP.J金物　（内部 壁+壁）　S=1:5



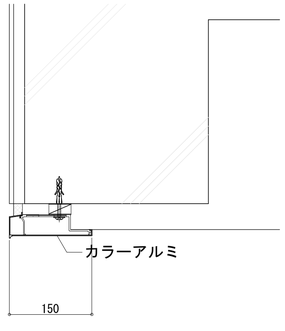
⑧壁ー壁EXP.J金物
直12m

パラペット笠木　S=1:5



⑨新意匠系陰影笠木
直134m　コーナー1950/1950　2ヵ所

外部 壁.天井見切金物　S=1:5

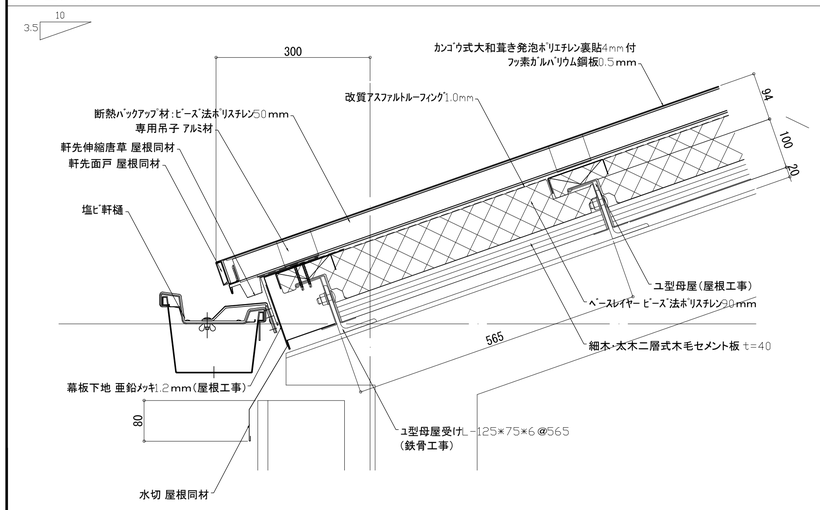


⑩下端水切り材
直20m（コーナー役物込）

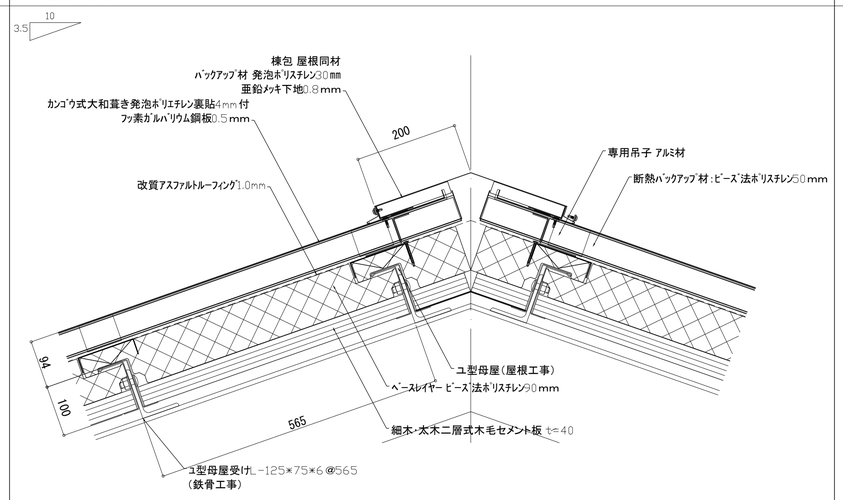
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1：5 A3　1：10	長南町役場庁舎建設工事	A－80
		図面名称：部分詳細図12　EXP.J金物、笠木類詳細図	

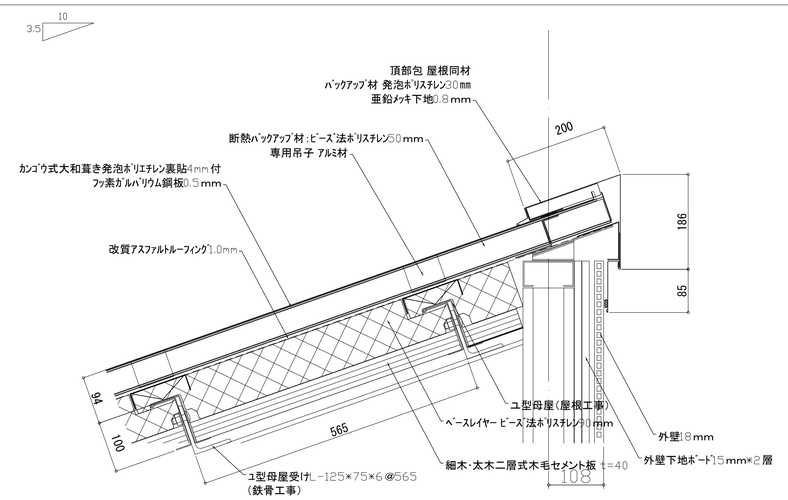
大屋根軒先　S=1:5



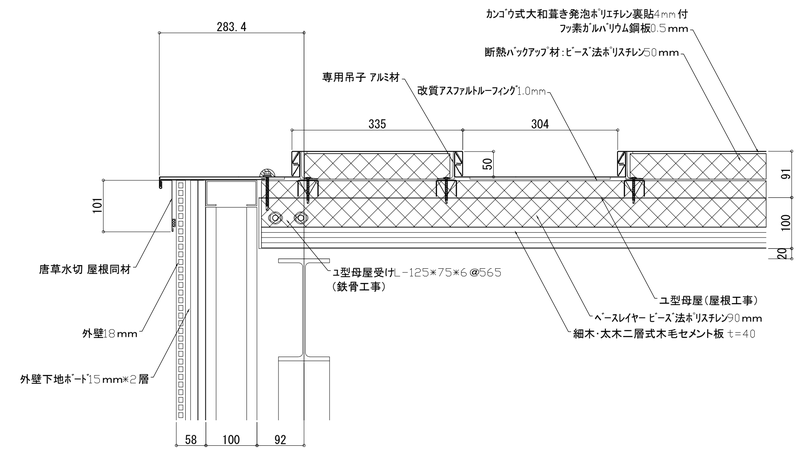
大屋根 棟納め　S=1:5



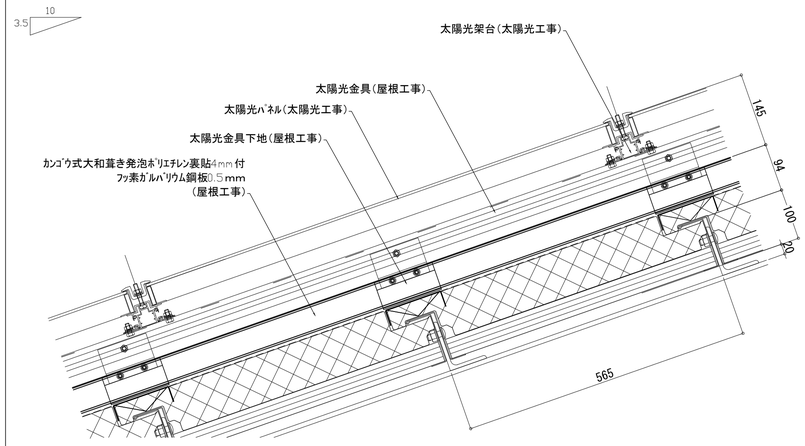
大屋根 頂部納め　S=1:5



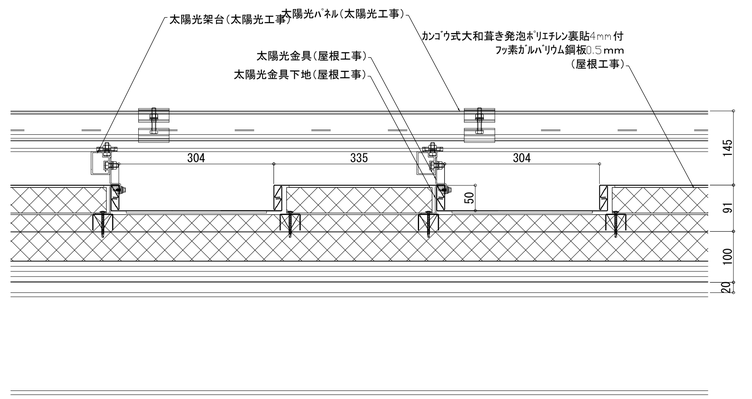
大屋根 妻納め　S=1:5



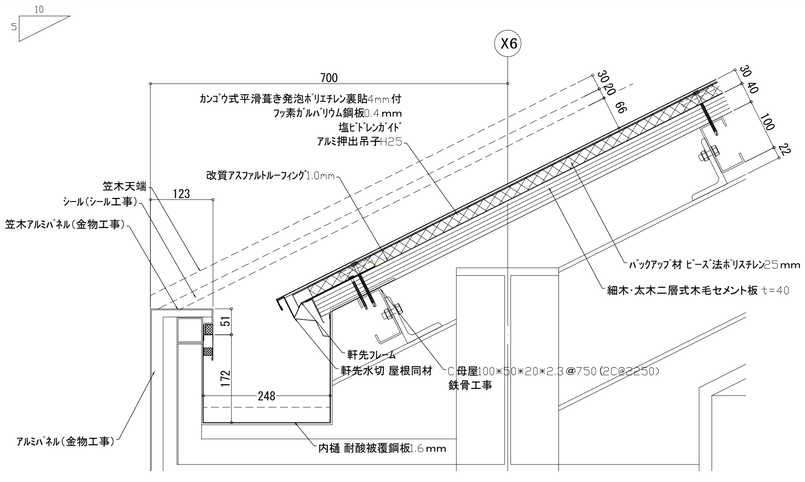
大屋根 太陽光部分（流れ方向）　S=1:5



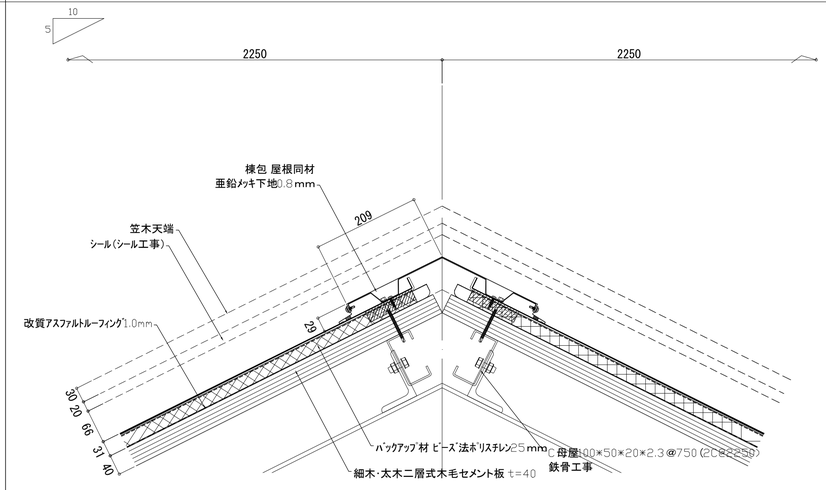
大屋根 太陽光部分（けた方向）　S=1:5



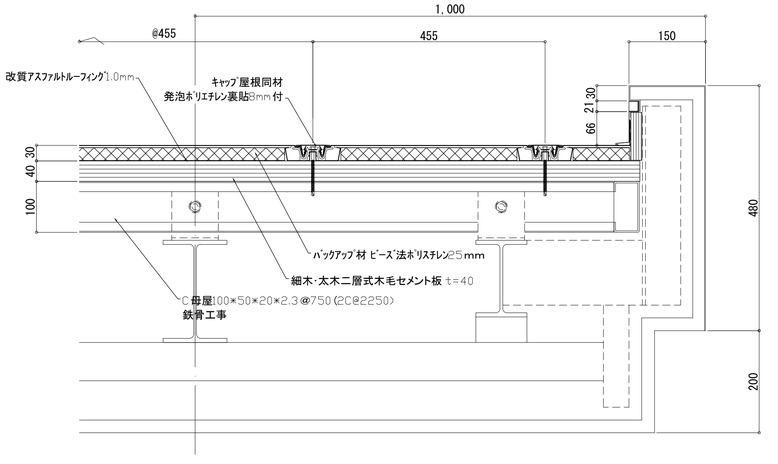
ポーチ屋根 軒先　S=1:5



ポーチ屋根 棟納め　S=1:5



ポーチ屋根 妻納め　S=1:6

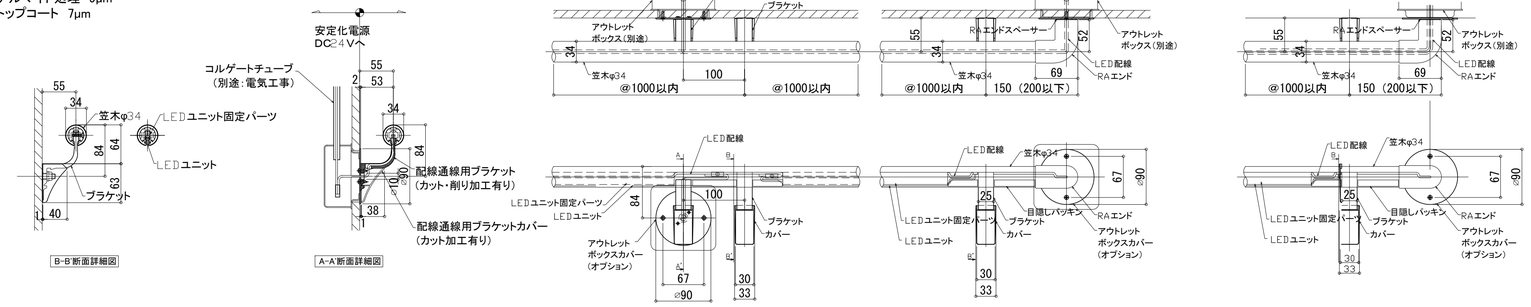


一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和 3年 月	A1 1:5 A3 1:10	長南町役場庁舎建設工事	A−81
		図面名称：部分詳細図13 勾配屋根詳細図	

外階段手摺詳細図　S=1:5　手摺・ブラケット

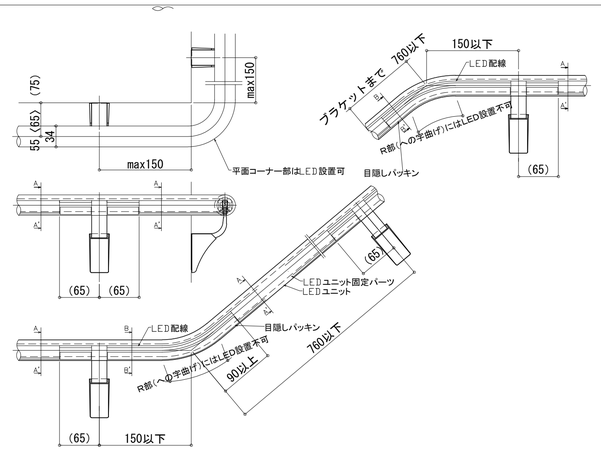
●屋外用ブラケット
アルミニウム押出形材
アルマイト処理　9μm
トップコート　7μm



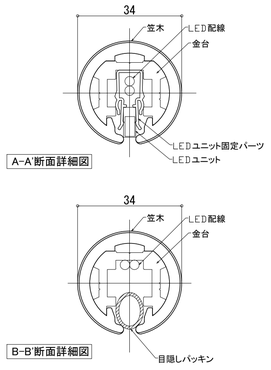
■屋外用
■ O-34Gsl 高耐候グラハンステラ(プレーンタイプ)
●笠木：半硬質耐候性樹脂二層成形
（高耐候・光触媒・抗菌仕様）
●笠木受：アルミニウム押出形材
●エンドキャップ：硬質樹脂

■LEDユニット製品
●LEDユニット入力電圧：DC24V
●LEDユニット本体材質：軟質アクリル樹脂
●LEDユニット長さ：1000mm
●LEDユニット光束：252lm/m(2700K)
●LEDユニット素子ピッチ：10mm
●LEDユニット消費電力：3.9W/m
●LEDユニット色温度(標準色)：電球色(2700K・3000K)
白色(4200K)

外階段手摺詳細図　S=1:5　出隅コーナー部・勾配部詳細図

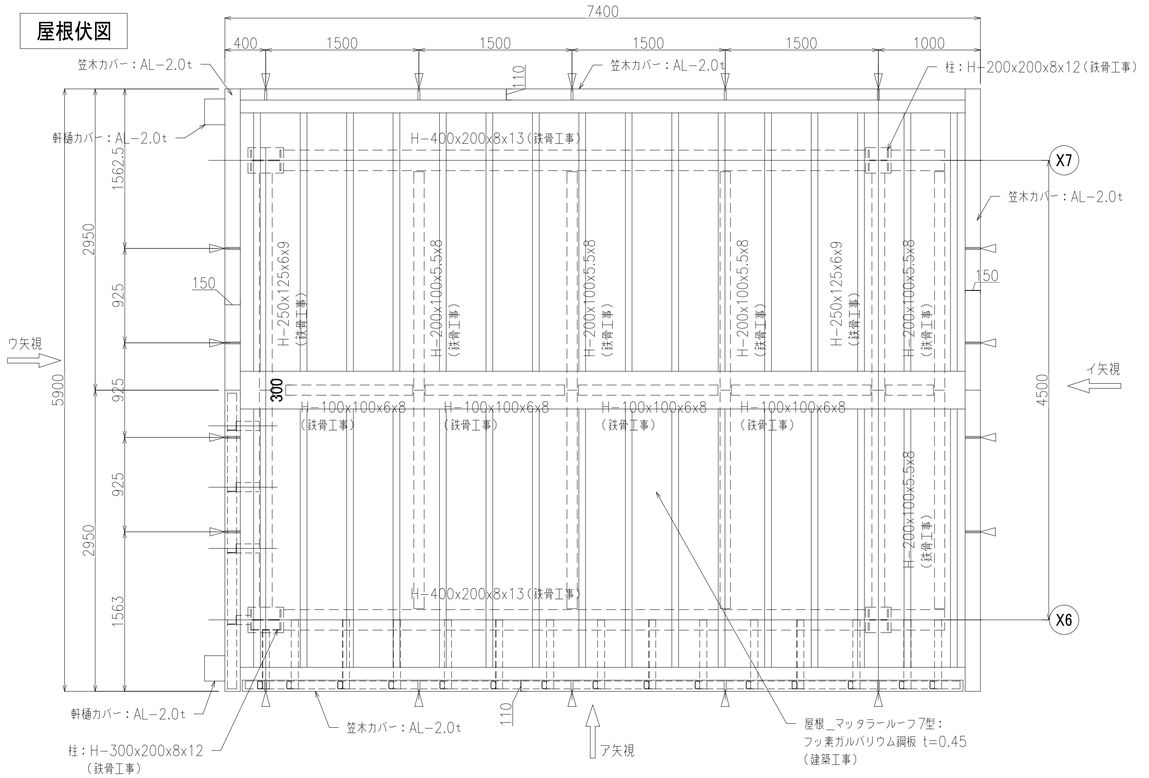


外階段手摺詳細図　S=1；1　笠木部分拡大断面詳細図

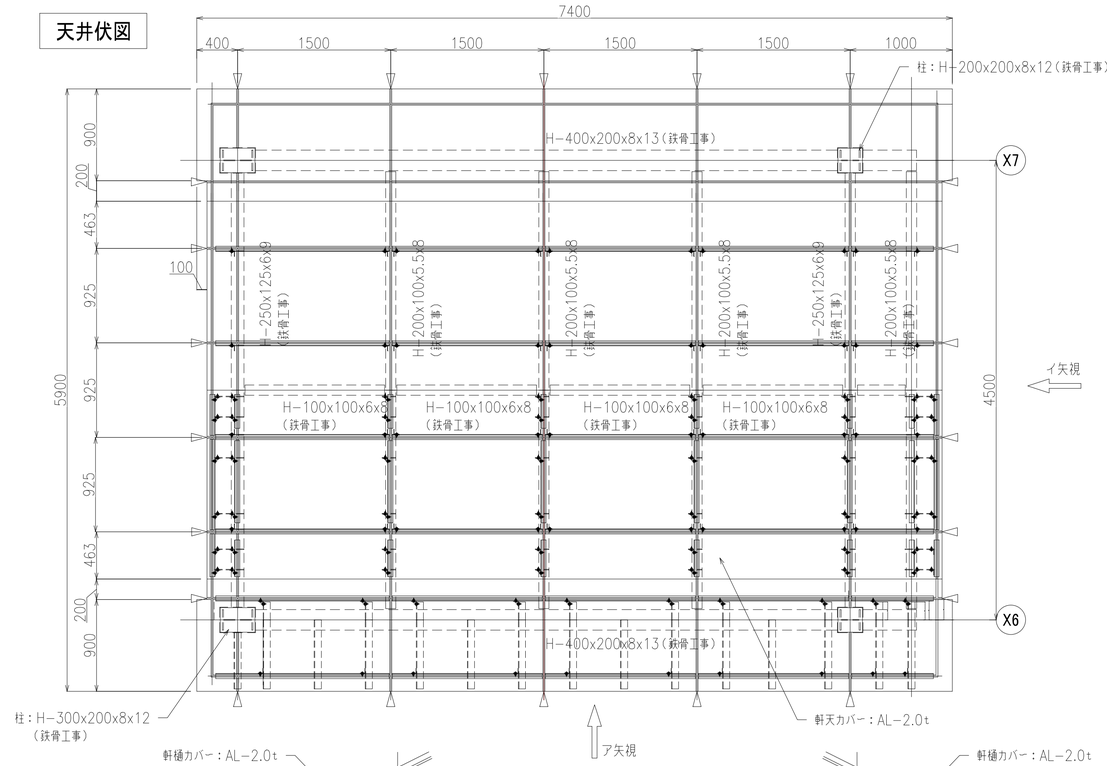


一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所		日付 令和　3年　月	縮尺 A1　1：5 A3　1：10	工事名称 図面名称	長南町役場庁舎建設工事 部分詳細図-14	図面番号	A－82

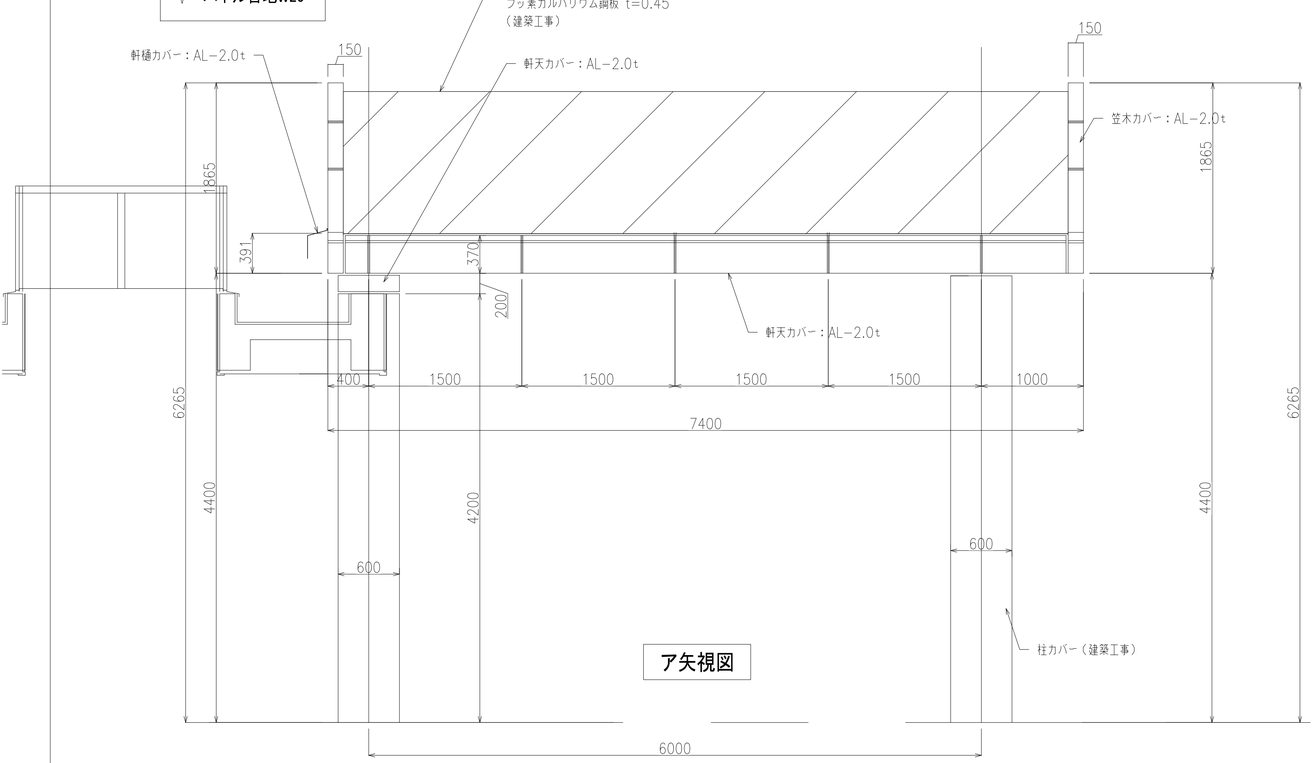
屋根伏図



天井伏図

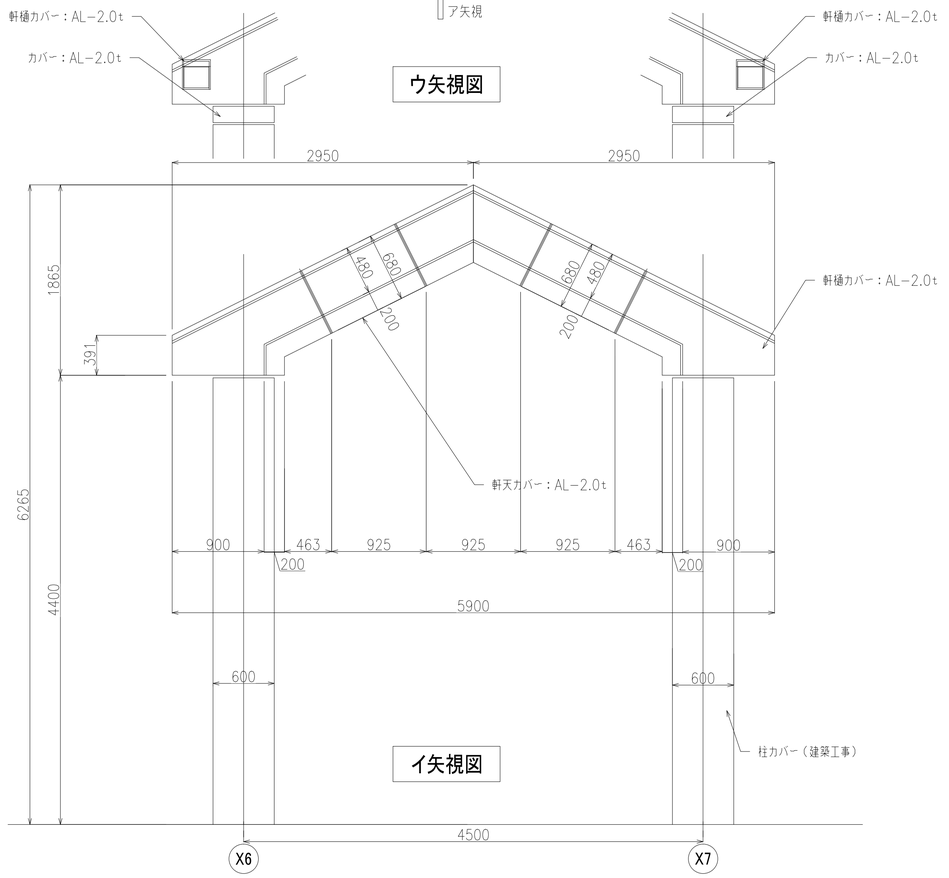


凡例；
▽ パネル目地w20



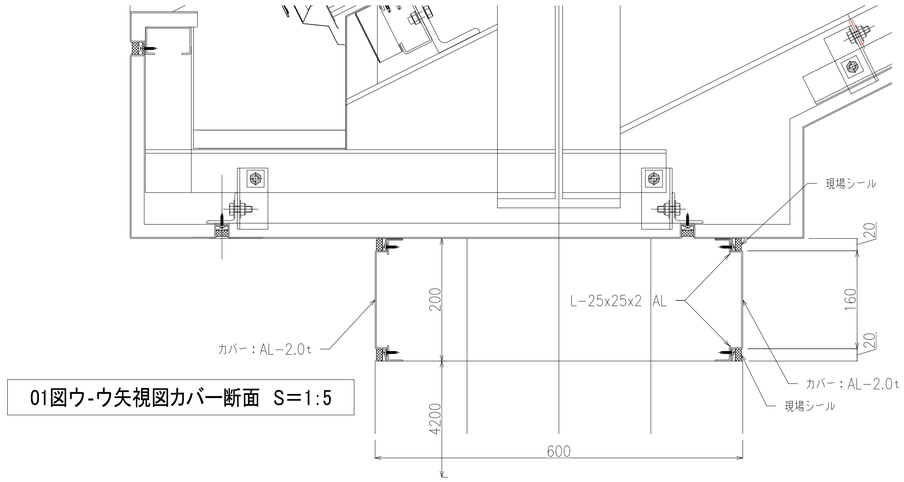
ア矢視図

ウ矢視図

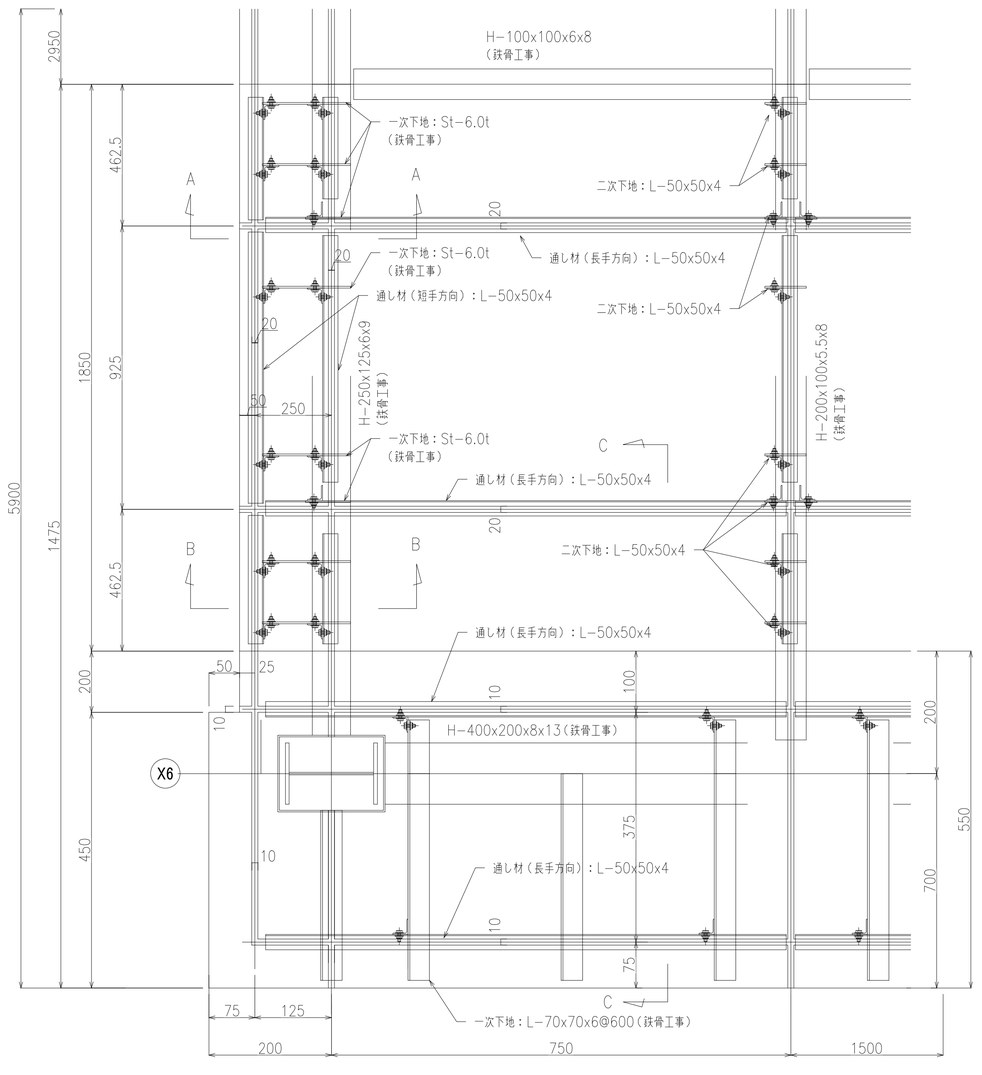


イ矢視図

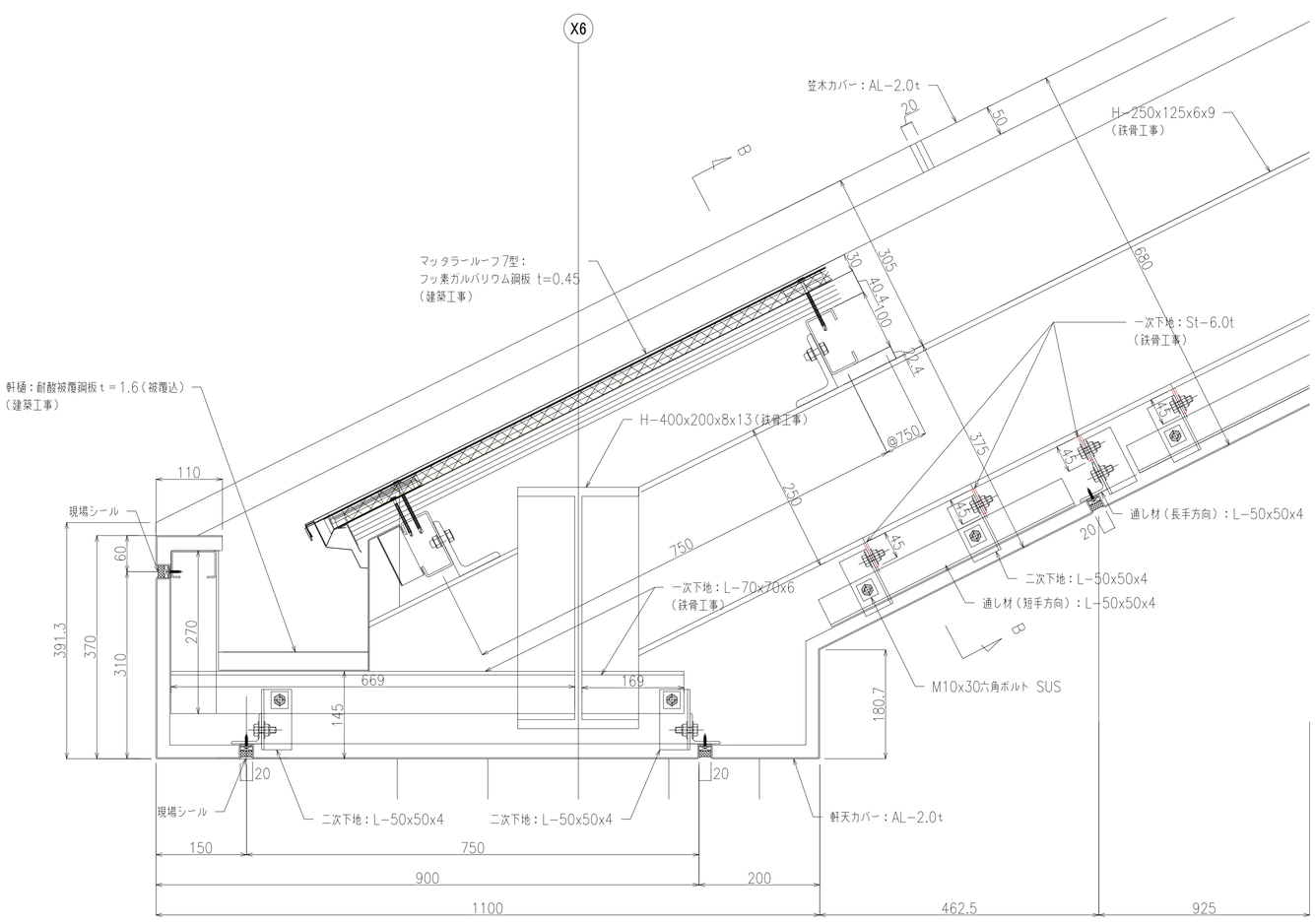
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1−1801−5860号 株式会社　千町村建築研究所	日付	縮尺	工事名称	長南町庁舎増築工事	図面番号
	令和　3年　月	A1　1：30 A3　1：60	図面名称	車寄せ軒天カバー全体図	A−83



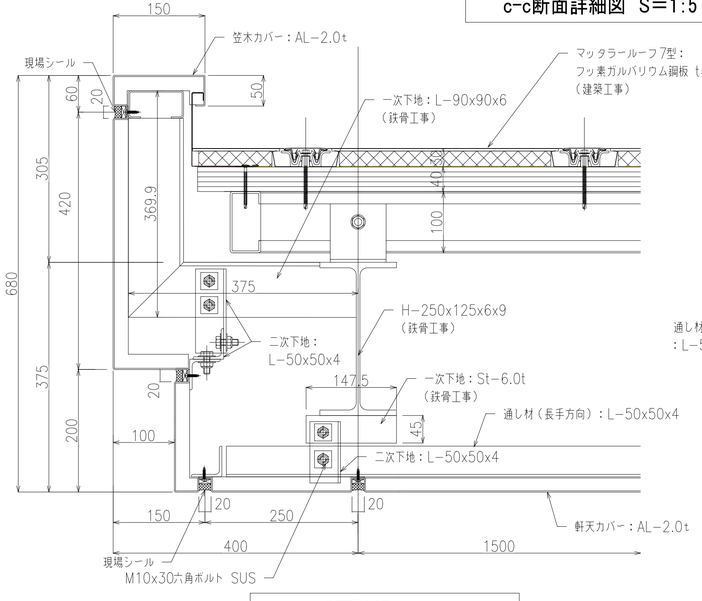
01図ウ-ウ矢視図カバー断面 S=1:5



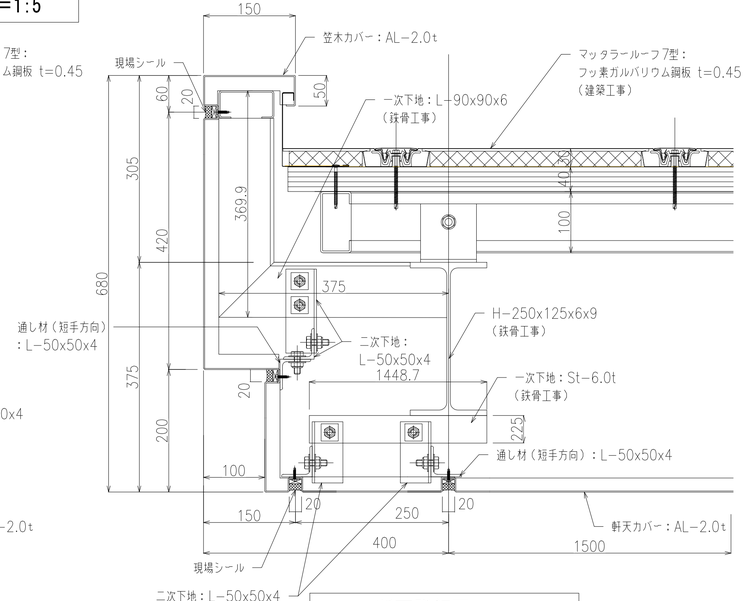
天井伏拡大図 S=1:10



c-c断面詳細図 S=1:5



a-a断面詳細図 S=1:5



b-b断面詳細図 S=1:5

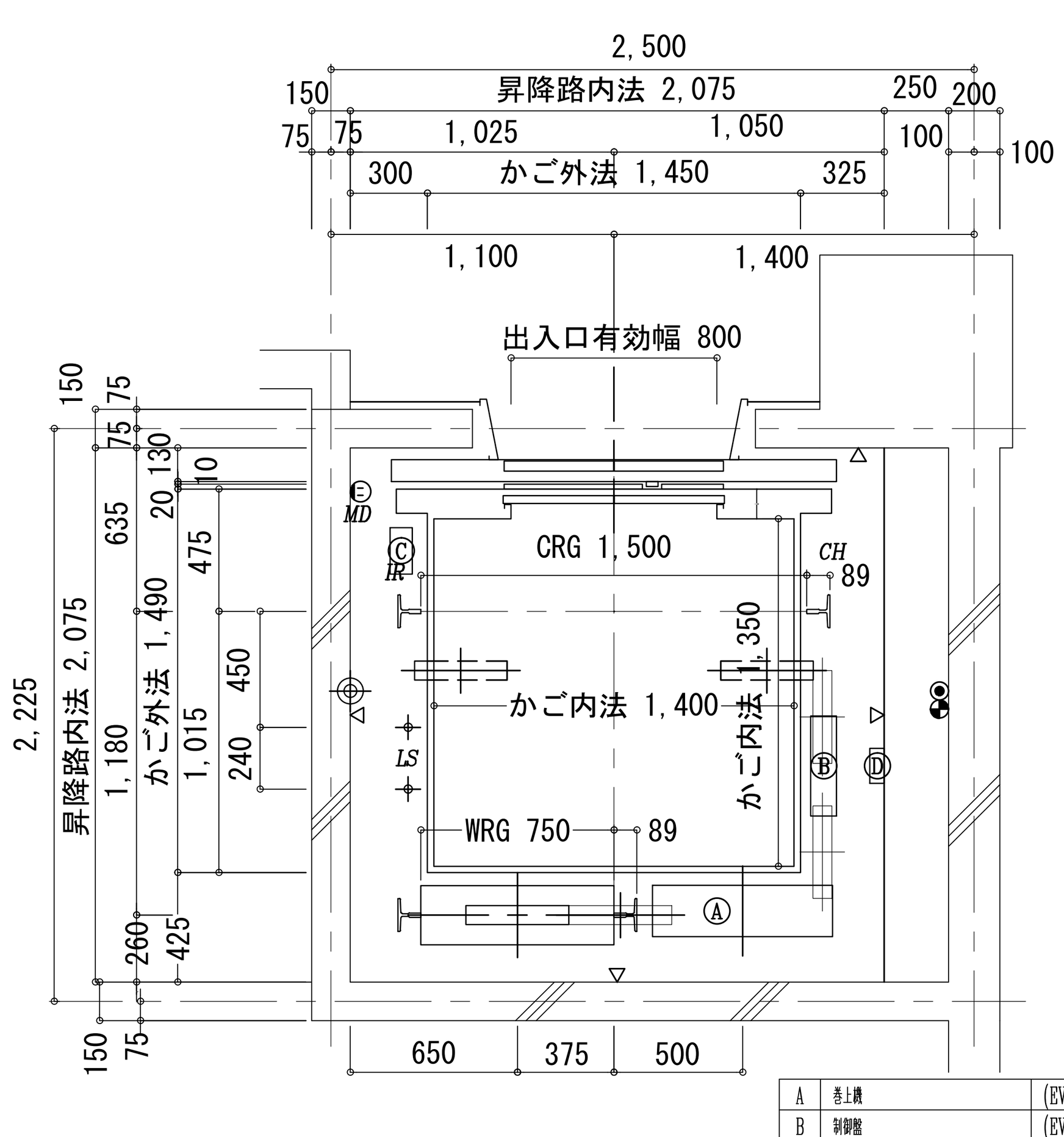
一級建築士事務所 千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社 千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	長南町庁舎増築工事	図面番号
令和 3年 月	A1 1：5.10 A3 1：10.20	図面名称	車寄せ軒天カバー詳細図	A-84

仕様書・平面図 S=1:30

仕様一覧		
号機		---
用途		乗用（車いす仕様）
機種		機械室レスエレベーター
制御方式		インバータ制御方式（電力回生無し）
運転操作方式		乗合全自動方式
積載		750 kg 11 名
速度		45 m/min
動力用電源		三相3線 200 V 50 Hz
照明用電源		単相 100 V 50 Hz
巻上電動機		3.5 kW
停止階及び数		（正面） 1-3 階 3 個所
		（背面） 階 個所
かご内法		（間口）1400mm（奥行）1350mm（高さ）2250mm
出入口寸法		（間口） 800 mm（高さ） 2100 mm
戸の方式		2枚 両引き（電動式）
おもり		50 %バランス
荷重条件 ※1		250 kg以下
管制運転	地震時管制運転	●：（P・S波）リスタート運転機能付
	火災時管制運転	●
	停電時自動着床	●
	冠水時管制運転	●
	自家発時管制運転	-
	緊急地震速報連動	-
	長周期地震時管制運転	-
セーフティ機能	カードアポケットセンサー	●
	ドアニック	●：（光電式）
	光電式多光軸ドアセンサー	●
	ドアエッジセンサー	-
	ドアウインカー	-
ユニバーサルデザイン 福祉対応	車いす仕様	●
	音声案内装置（かご内設置）	●：四ヶ国語対応（通常時：日英、緊急時：日英中韓）
	視覚障がい者仕様（点字）	●
	聴覚障がい者仕様（応答灯付インターホン呼びボタン）	-
	発音機能付タクタイルボタン	●
	走行お知らせ音	●
	敷居隙間 10mm	●
乗場	三方枠	全階 大枠 ステンレスヘアライン仕上
	幕板	全階 ステンレスヘアライン仕上（エッチング）（扉面一）
	扉	全階 ステンレスヘアライン仕上（エッチング）
	遮煙乗場ドア	●：1-3階
	防犯窓 ※2	-
	敷居	全階 硬質アルミ製
	乗場意匠機器 表示機器	全階 液晶表示（混雑度表示付）／押ボタン組込
	押ボタン	全階 35φ抗菌樹脂ボタン／非接触呼登録（一体型）
	フェースプレート	全階 ステンレスヘアライン仕上
特記仕様		映像分配器
	コロC	-
高調波対策	（1）標準対策【EMIフィルタ 零相リアクトル】	● 【回路分類NO.31 6パルス換算係数Ki=3.4】
	（2）オプション対策【（1）+ DCリアクトル】	- 【回路分類No.33 6パルス換算係数Ki=1.8】

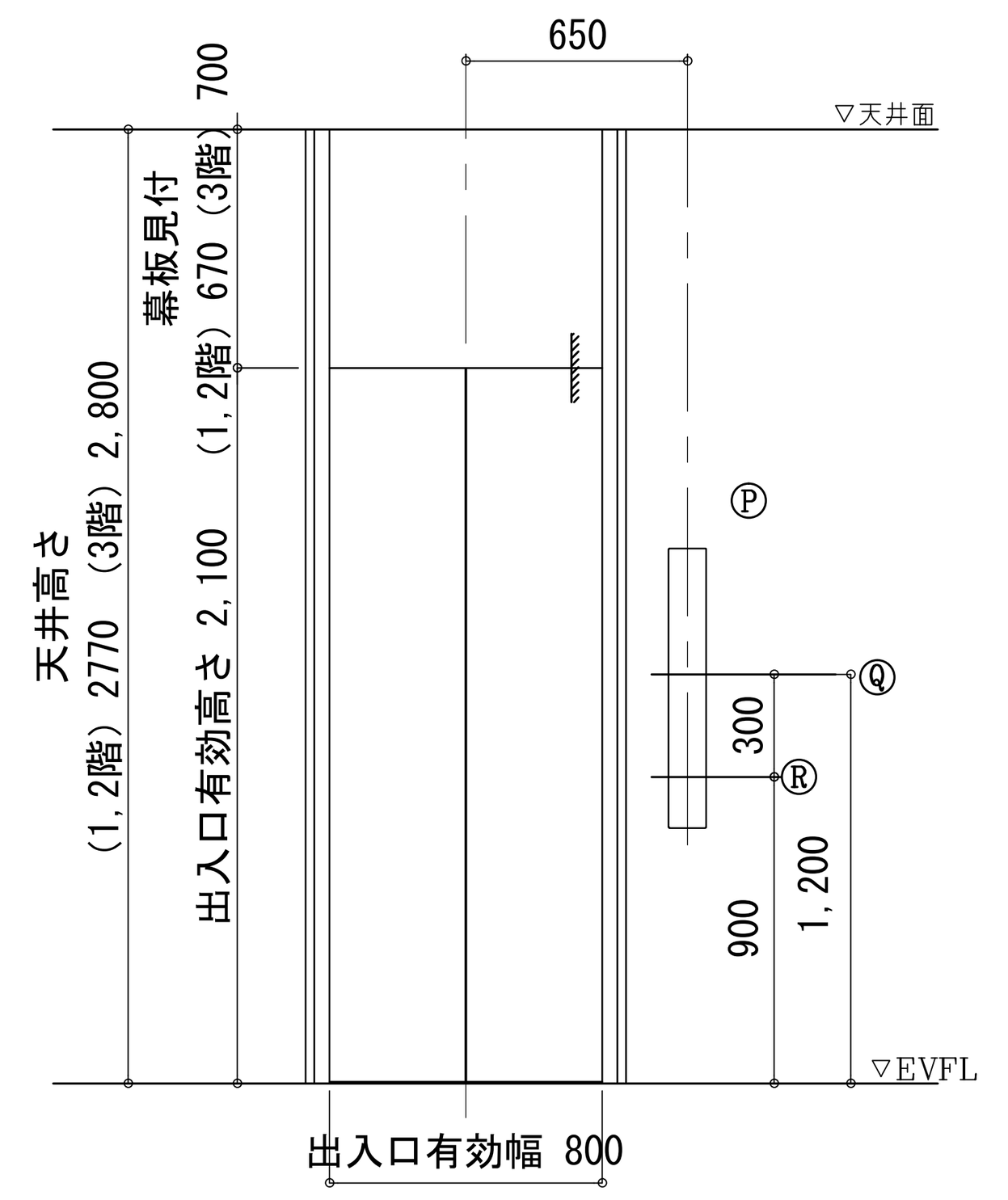
下記作業については、別途見積りとなります
夜間作業
部分営業中現場への搬入に際し、警備員・誘導員及び道路使用許可を必要とする場合
2階以上の階もしくは地階からの搬入作業
荷下ろし場所から設置・仮置き場所までの距離が30mを超える場合
据付工事短縮を必要とする場合
エレベータを工事用として使用する場合の検査・清掃・復旧・補修・保守費用
エレベータ据付工事以外で立会いが発生する場合
展望用エレベータ等で昇降路を養生する必要がある場合
床・壁等に養生を必要とする場合
エレベータ着工前までの出入口開口部の養生材及び養生材設置工事
その他特殊な事情がある場合



A	巻上機	(EVI事)
B	制御盤	(EVI事)
C	受電箱・ピットクラップ	(EVI事)
D	地震感知器	(EVI事)

昇降路平面図 S=1:30

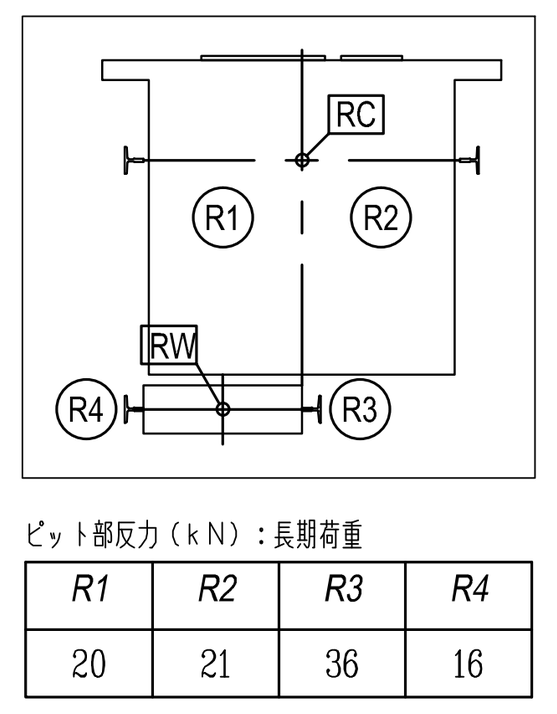
注：ピット内は、塗膜防水仕上願います。
△：防水仕上面を示す。



出入口有効幅 800

出入口正面図 S=1:30

P	インジケータ
Q	一般用押釦芯(非接触一体型釦)
R	車いす用押釦芯



ピット部反力（kN）：長期荷重

R1	R2	R3	R4
20	21	36	16

ピット床衝撃力（kN）：短期荷重

RC	RW
71	61

レールに作用する荷重値（kN）

		Px	Py
Py Px	かご	5.1	3.4
	おもり	7.3	3.7

短期荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください

遮煙エレベータ乗場ドア

認定番号 CAS-0599（国住指第4108号）
1-3 階 乗場ドアは、上記認定品とする。
認定条件通り停電時自動着床装置と火災管制運転（自動）を合わせて設置しております。

遮煙エレベータ乗場ドア設置上の注意事項

・遮煙エレベータ乗場ドア設置条件として、建物の火災感知信号をエレベータ制御盤へ供給いただく必要があります。
・建物側で自動火災報知設備の設置義務が無い場合においても、遮煙エレベータ乗場ドア設置階のエレベータホールに煙感知器などの火災感知器を設置の上、火災感知信号をエレベータ制御盤へ供給願います。

電源設備（1台当たり）【電気工事】

記号	種別	線種等				引込み高さ	引出し線長さ
⊕	動力用電源	3φ 3W AC 200V 50Hz				1FL-100	3500mm
		幹線サイズ（mm²）	3.5	5.5	8		
		幹線こう長（m）	45	70	100		
		電気室ブレーカ（A）	30				
		接地線（mm²）	2.0				
		電源設備容量（kVA）	3.0				
		制御盤内降圧トランス容量（kVA）	0.45				
	照明用電源	1φ 2W AC 100V 50Hz					
		照明用電源容量（kVA）	1.0				
	クーラー用電源	1φ 2W AC 200V 50Hz					
		クーラー用電源容量（kVA）	2.0				
ⓤ	ピットコンセント	AC100V 10A 1個				1FL-200	
◉	電話回線用配線	別途打合せによる				1FL+100	4500mm
◑	弱電用配線					1FL+100	8000mm

高調波対策
高周波漏洩電流と高周波ノイズの影響を低減するため、できるだけ建屋側でも下記対策をお願いします。
1. 漏電遮断器等を設置する場合は「インバータ対応型」とし、感度電流値は昇降機1台あたり50mA（感度設定値100mA相当）の漏洩電流として設定下さい。
2. 昇降機と同一電源トランスを使用している機器の漏電遮断器、漏電警報器にも「インバータ対応型」を使用して下さい。
3. 昇降機の動力線と弱電機器の電源・信号線は、平行に配線しないで下さい。やむを得ず平行配線する場合は、1m以上離して下さい。
4. 昇降機の電源トランスと弱電機器の電源トランスを分離して下さい。
5. 昇降機のアース線と弱電機器のアース線は、各々独立して配線のうえ、接地下さい。（接地極は同一で構いません。）
6. 昇降機の昇降路や動力線の近くにラジオや通信機器のアンテナを設置しないで下さい。

エレベータ除外工事

建築工事関係除外工事

1. 昇降路の築造工事。
（コンクリート打ち誤差により必要となるはつりまたは肉付け工事）
・昇降路のコンクリート強度は 21N/mm²(FC21) 以上。
・昇降路のコンクリート壁厚は 150mm 以上。
・昇降路の壁（囲い）は、5cm²の任意の面に直角方向の外力（300N）が作用しても15mmを超える変形及び塑性変形を生じない構造とする。
2. 各階出入口（インジケータ、押釦用孔含む）の孔あけ工事。
3. 各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め もしくはロックウール詰め工事。
4. 乗場据付後の出入口廻りの壁・床及び建築物補修仕上工事。
5. 屋上・開放廊下等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備工事。（排水口・水勾配・庇など）
6. ピット内防水仕上工事、およびピットが深い場合の埋め戻し工事。（エレベータ工事の着工前に完了のこと）
・防水厚は 25mm 以下。
7. 昇降路頂部の荷吊り用フック（20kN）設置工事。

設備工事関係除外工事

1. エレベータ受電箱までの動力電源・照明電源・接地線の引込み、並びにつなぎ込み工事。
2. 昇降路外のインターホン・非常ベル、その他エレベータに必要な配管配線工事。
3. ピット点検用コンセント設置工事。
4. 昇降路頂部の煙感知器設置工事。（昇降路頂部より点検が可能な事）
5. エレベータ遠隔監視用電話線（電話中継盤から監視ユニット設置場所まで）の配管配線工事。

注意事項

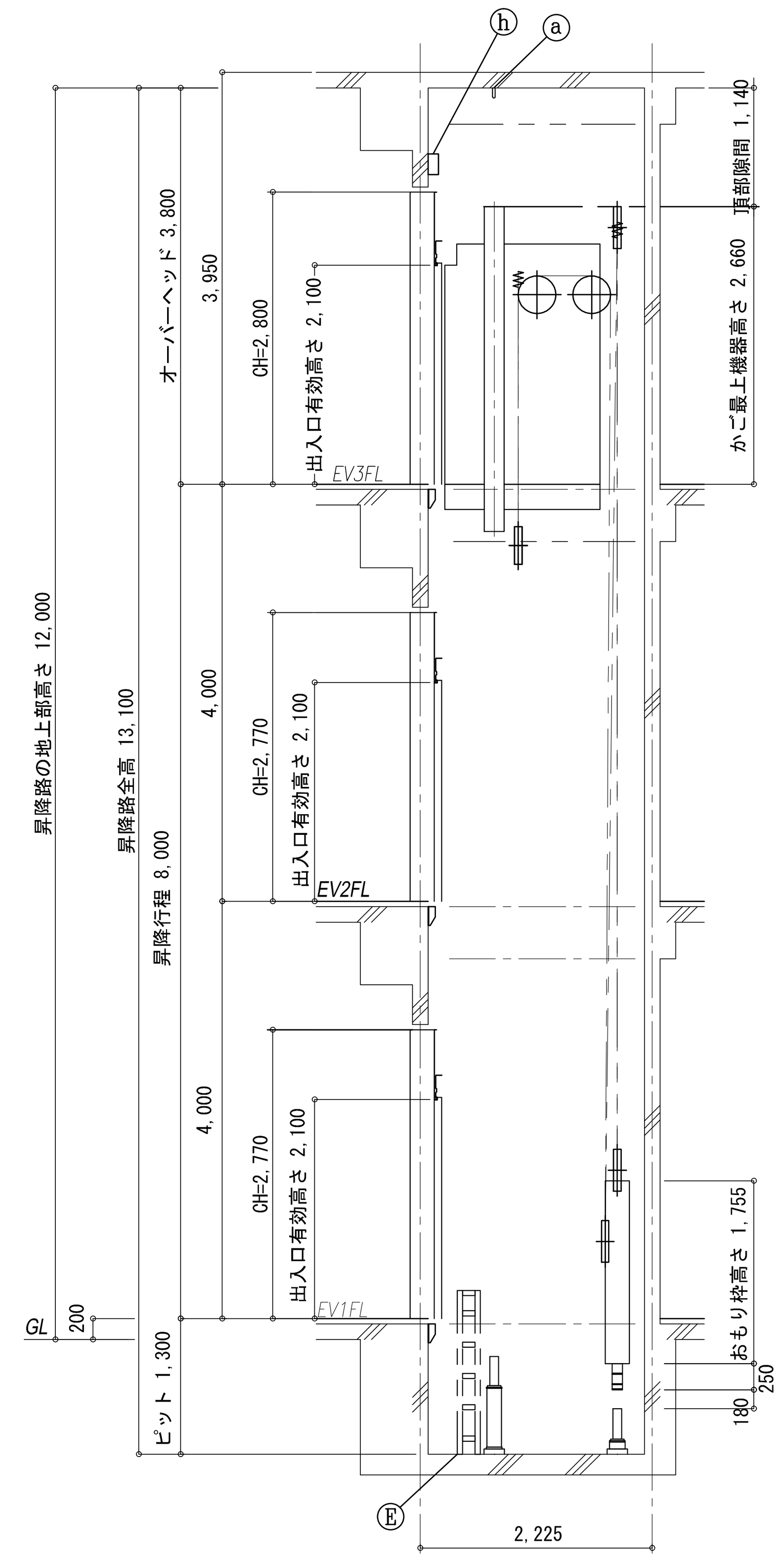
1. 昇降路内に他の用途の配管、ダクトを設けないように願います。昇降機に必要な配管設備にあっては、昇降機の機能に支障無きよう願います。また、昇降路壁には、エレベータ以外の電気・水道等の配管・器具類を埋め込まないで下さい。
2. エレベータ受電箱における電源電圧の変動は±5%以内、照明用は±2%以内、電圧不平衡率は5%以内に保つよう電源を設置下さい。
3. 昇降路内温度は40℃、湿度は月平均90%・日平均95%を超えないようにして下さい。
4. 昇降路には有毒ガスや甚だしい塵埃 等が入らないようにして下さい。
5. 昇降路および出入口は風雨に直接さらされたり、塩分の影響を受けないようにして下さい。
6. エレベータ機器の搬入に支障のない経路を確保願います。（必要に応じてコンクリート孔あけ、および埋戻し工事）
7. 据付工事用仮設電源、試運転用電力、砂、セメント、水等は無償供給願います。
8. 工事現場におけるエレベータ部品、据付材料の保管場所を無償貸与願います。

基本仕様
最寄階救出運転
戸開き不能時救出運転
乗り過ぎ検出（警報ブザー及び音声案内）
各階強制停止運転（各停運転）
昇降機耐震設計・施工指針（2016年版）対応
戸開走行保護装置
イオンフル（プラズマクラスター技術搭載/シャープ（株）商標）
耐震クラス A14 ）
エコロジー機能
かご天井 LED照明（液晶インジケータのバックライトもLED化）
シックハウス対策（法令（建基）に基づいたシックハウス対策に対応）
かご照明の自動休止
NEWゴールドメンテナンス契約により有効となる機能
地震管制後の自動診断・仮復旧運転
メンテナンス用カメラによる、遠隔映像監視・遠隔閉込救出対応
24時間リモート点検
聴覚障がい者仕様：応答液晶表示（仕様が付加された場合、契約に関わらず有効）
情報モニター：コンテンツの配信及び表示（モニター本体の有無は仕様による）

車いす仕様 ※車いす仕様が付加されたエレベータのみ	
乗場	車いす専用乗場ボタン
かご内室	車いす専用かご主副操作盤（主側のみインジケータ付）
	背面ミラー
	手すり
セーフティ機能	戸開放時間の延長
	戸閉速度の低減
	自動着床修正装置
	光電式多光軸ドアセンサー

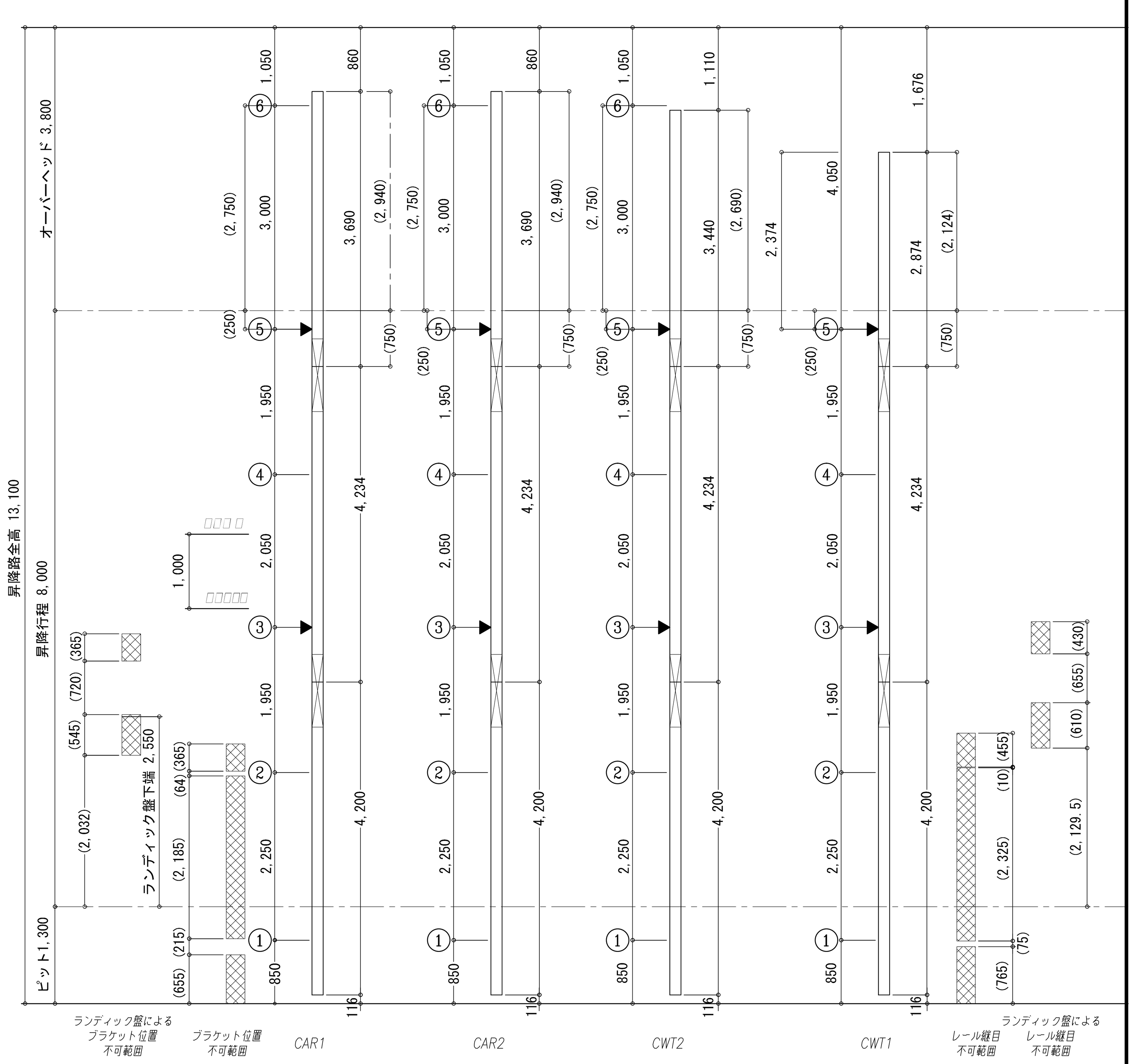
※1 4輪手押し台車等で荷物を積み込む場合は、台車の重量を含んで、荷重条件以下に分けて積み込みください。
※2 特定防火設備の区画では、防犯窓付の扉は設置出来ませんのでご注意下さい。

断面図 S=1:60



昇降路断面図 S=1:60

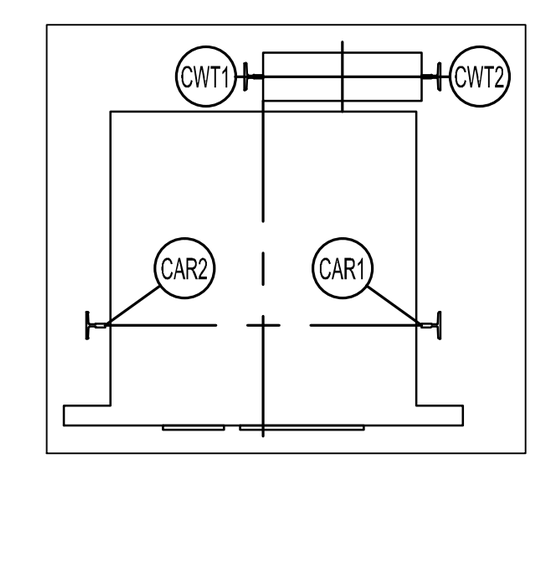
a	吊りフック	(建築工事)
h	煙感知器	(電気工事)
E	タラップ	(EV工事)



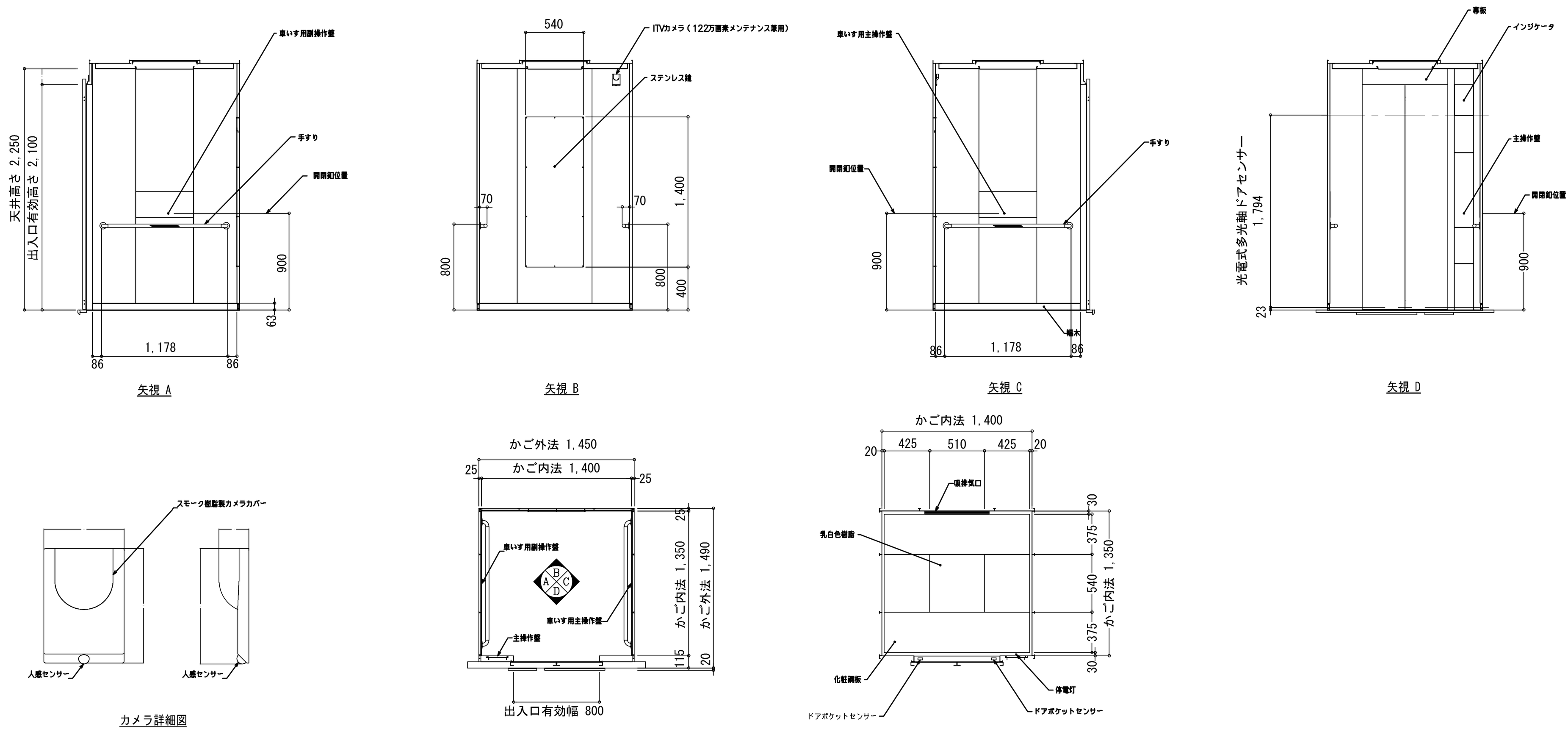
レール取付図

右側：レール継目
左側：ブラケット位置

▲	梁止め
△	中間ビーム止め
○	ファスナー止め
●	立柱止め

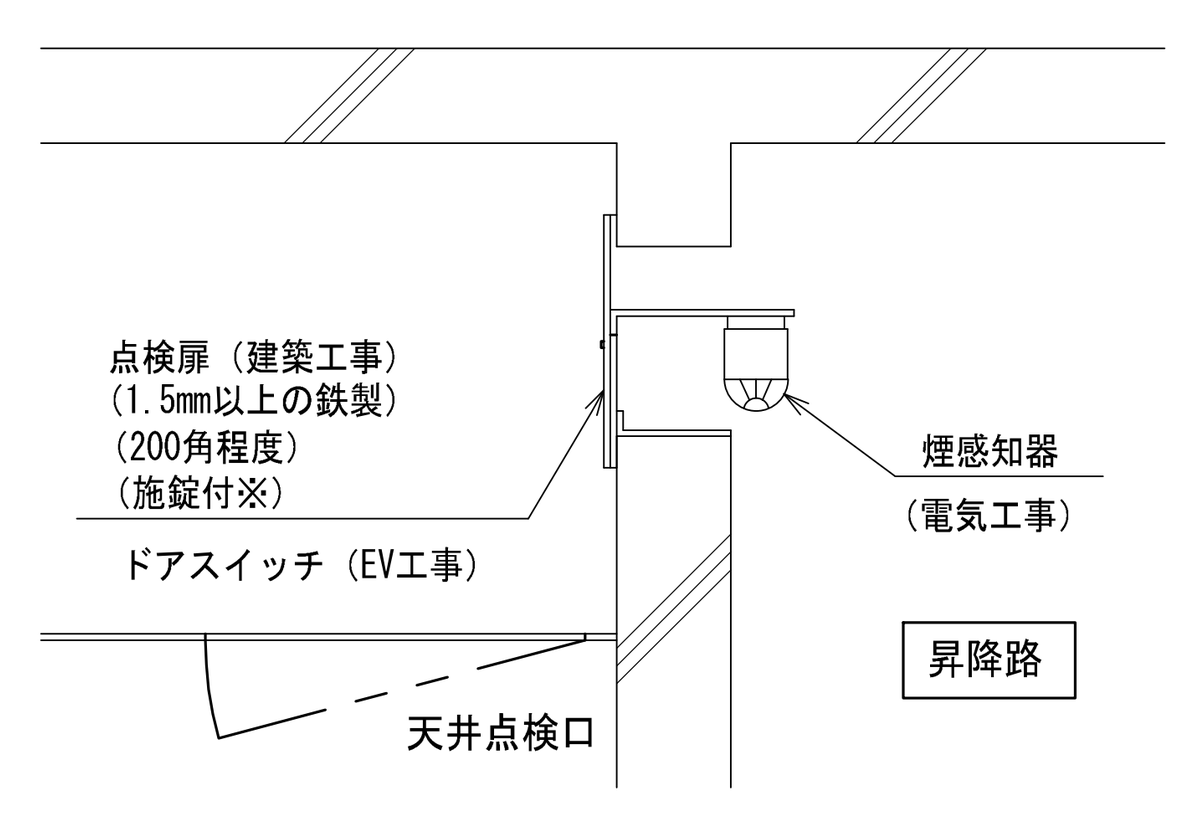


ELかご展開図 S=1:50



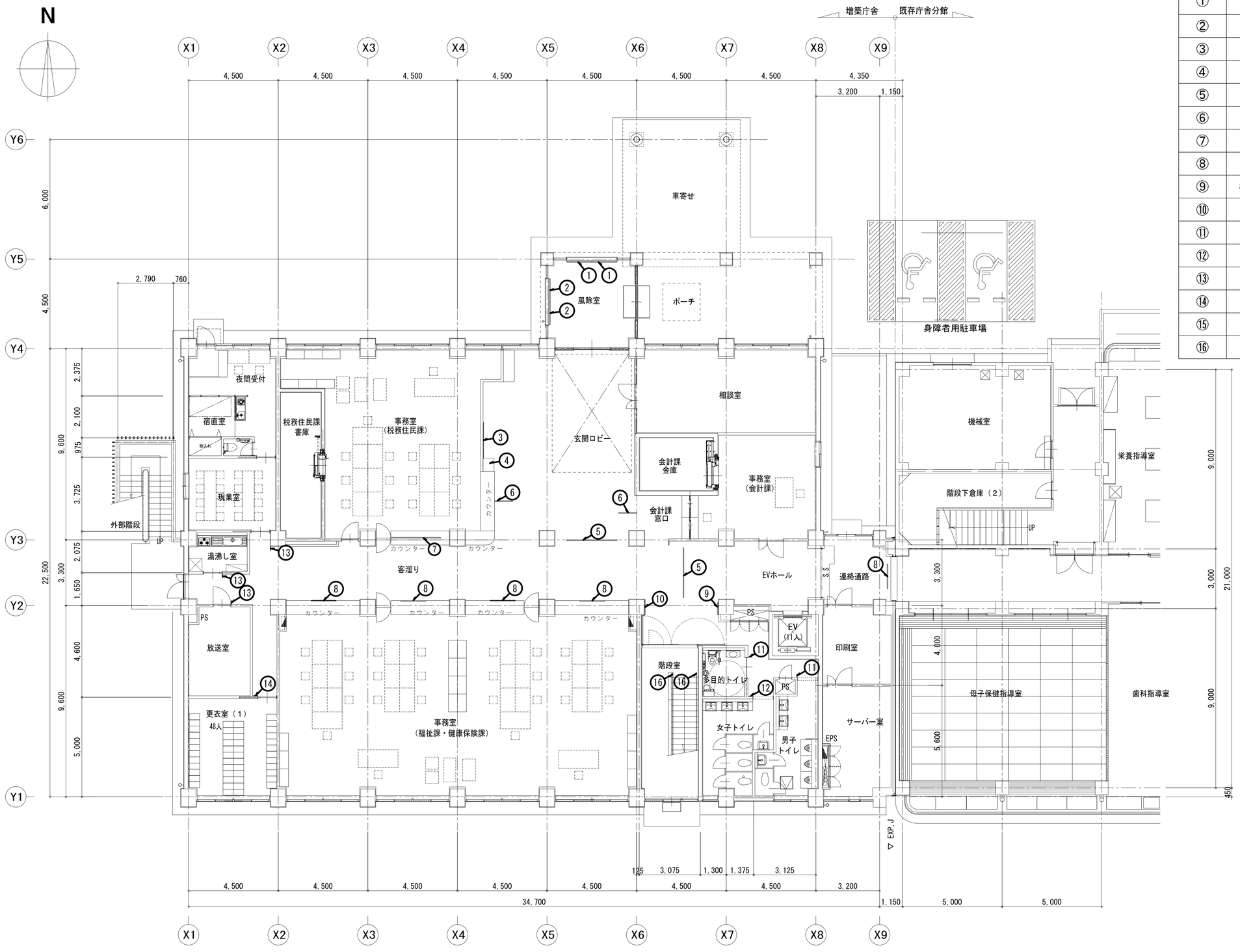
項目	意匠内容
かご内法	間口 1400 mm × 奥行 1350 mm
出入口寸法	幅 800 mm × 高さ 2100 mm
積載	積載 750 kg ／ 定員 11 名
側壁	化粧鋼板
幕板	化粧鋼板
扉	化粧鋼板
天井	スタンダードタイプ（SC-01）
袖壁	ステンレスバイブレーション仕上（入口柱一体）
幅木	アルミアルマイト仕上
床	t=2.0 ビニールタイル
敷居	硬質アルミ製
照明	LED照明
停電灯	LED
換気装置	クーラー（蒸散式・イオンフル付）
手すり	32φ ステンレスヘアライン仕上（端部：30φ亜鉛ダイカスト塗装仕上）
鏡	ステンレス鏡面仕上（ビス止め）
付属品	音声案内装置 放送用スピーカー ドアポケットセンサー 光電式多光軸ドアセンサー 点字 保護幕（磁石式） 床マット ITVカメラ（122万画素 メンテナンス兼用）

煙感知器の施工例（屋内用）



昇降路頂部に煙感知器を設置する場合は外部に引き出した状態で点検可能なよう施工願います。（建築工事）
点検口の位置は、塔内機器と干渉する恐れがあるため、事前にご相談下さい。
※施錠は、緩めるのに工具が必要なネジで代用可。

一級建築士事務所 千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社 千町村建築研究所	日付：令和 3年 月	縮尺：A1 1:30, 50, 60 / A3 1:60, 100, 120	工事名称：長南町役場庁舎建設工事 図面名称：エレベーター詳細図
図面番号	A－85		



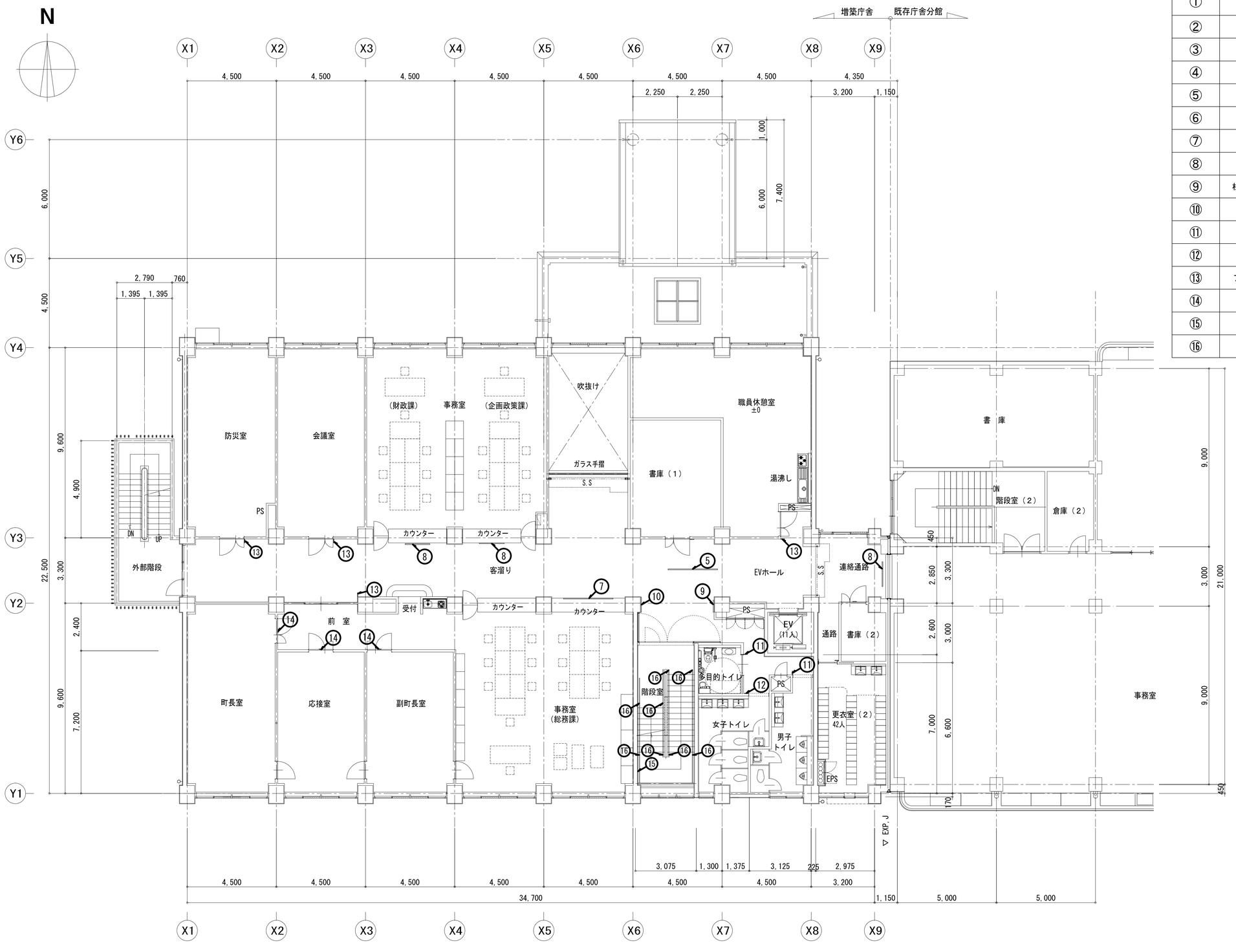
1 階平面図　　S=1/100

サインリスト

No	名　称	概略寸法	箇所
①	カバー付き掲示板	1250 x 900 x 50	2.00
②	カバー付き掲示板	1150 x 900 x 50	2.00
③	総合案内板	1800 x 900 x 25	1.00
④	自立式点字触知図案内板	660W x 550D x 1300H	1.00
⑤	吊下げ式LED案内板	2500 x 370 x D	3.00
⑥	吊下げ式案内板	900 x （225+145） x D	2.00
⑦	吊下げ式案内板	2500 x （225+145） x D	2.00
⑧	吊下げ式案内板	1250 x （225+145） x D	6.00
⑨	柱付け案内板（トイレ関係）	300 x 1200 x D	3.00
⑩	柱付け案内板（各階案内）	600 x 1200 x D	3.00
⑪	ピクトサイン突出し	205 x 205	6.00
⑫	ピクトサイン平付け	200 x 183	3.00
⑬	アルミ製室名札スイング型	198 x 200	16.00
⑭	アルミ製室名札平付け	204 x 200	4.00
⑮	階数表示		2.00
⑯	点字表示		12.00

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日　付	縮　尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和　3年　月	A1　1：100 A3　1：200	図面名称	サイン計画 1階キープラン	A－86



２階平面図　　S=1/100

サインリスト

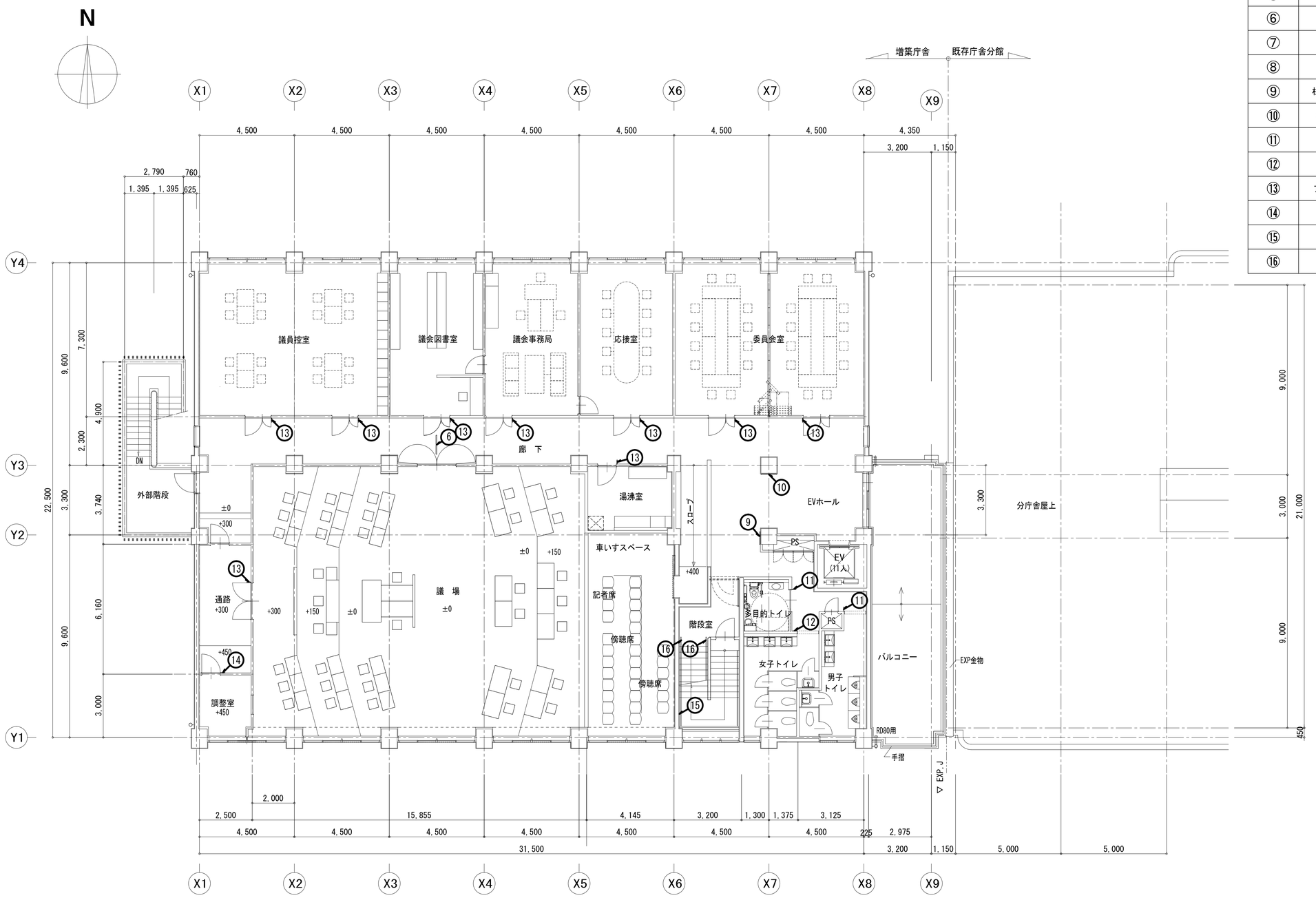
No	名　称	概略寸法	箇所
①	カバー付き掲示板	1250 x 900 x 50	2.00
②	カバー付き掲示板	1150 x 900 x 50	2.00
③	総合案内板	1800 x 900 x 25	1.00
④	自立式点字触知図案内板	660W x 550D x 1300H	1.00
⑤	吊下げ式LED案内板	2500 x 370 x D	3.00
⑥	吊下げ式案内板	900 x （225+145） x D	2.00
⑦	吊下げ式案内板	2500 x （225+145） x D	2.00
⑧	吊下げ式案内板	1250 x （225+145） x D	6.00
⑨	柱付け案内板（トイレ関係）	300 x 1200 x D	3.00
⑩	柱付け案内板（各階案内）	600 x 1200 x D	3.00
⑪	ピクトサイン突出し	205 x 205	6.00
⑫	ピクトサイン平付け	200 x 183	3.00
⑬	アルミ製室名札スイング型	198 x 200	16.00
⑭	アルミ製室名札平付け	204 x 200	4.00
⑮	階数表示		2.00
⑯	点字表示		12.00

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日　付	縮　尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和　3年　月	A1　1：100 A3　1：200	図面名称	サイン計画２階キープラン	A－87

サインリスト

No	名　称	概略寸法	箇所
①	カバー付き掲示板	1250 x 900 x 50	2.00
②	カバー付き掲示板	1150 x 900 x 50	2.00
③	総合案内板	1800 x 900 x 25	1.00
④	自立式点字触知図案内板	660W x 550D x 1300H	1.00
⑤	吊下げ式LED案内板	2500 x 370 x D	3.00
⑥	吊下げ式案内板	900 x （225+145） x D	2.00
⑦	吊下げ式案内板	2500 x （225+145） x D	2.00
⑧	吊下げ式案内板	1250 x （225+145） x D	6.00
⑨	柱付け案内板（トイレ関係）	300 x 1200 x D	3.00
⑩	柱付け案内板（各階案内）	600 x 1200 x D	3.00
⑪	ピクトサイン突出し	205 x 205	6.00
⑫	ピクトサイン平付け	200 x 183	3.00
⑬	アルミ製室名札スイング型	198 x 200	16.00
⑭	アルミ製室名札平付け	204 x 200	4.00
⑮	階数表示		2.00
⑯	点字表示		12.00

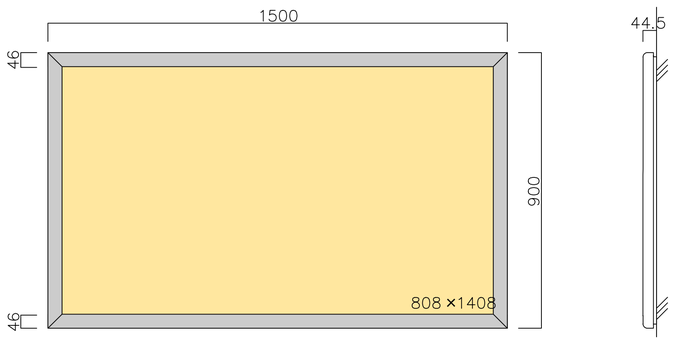


3　階平面図　　S=1/100

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

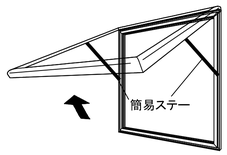
日　付	縮　尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和　3年　月	A1　1：100 A3　1：200	図面名称	サイン計画3階キープラン	A－88

① カバー付き掲示板



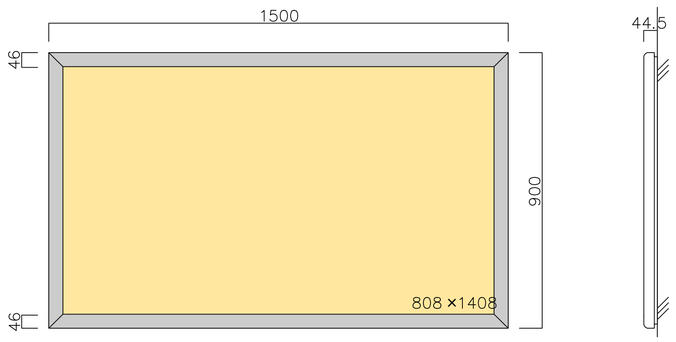
S=1/10 (A1)

フレーム： アルミ押出形材、アルミアルマイト仕上 or 木目フィルム貼仕上
掲示面 ： ベニヤt4.0、掲示シート貼／プラダンt5.0
カバー ： アクリルt3.0（透明）
数 量 ： 2カ所



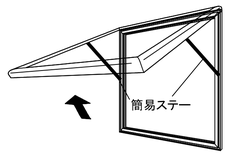
扉を開き、簡易ステーが扉を固定しているのを
確認して、ポスター等をピンナップします。

② カバー付き掲示板



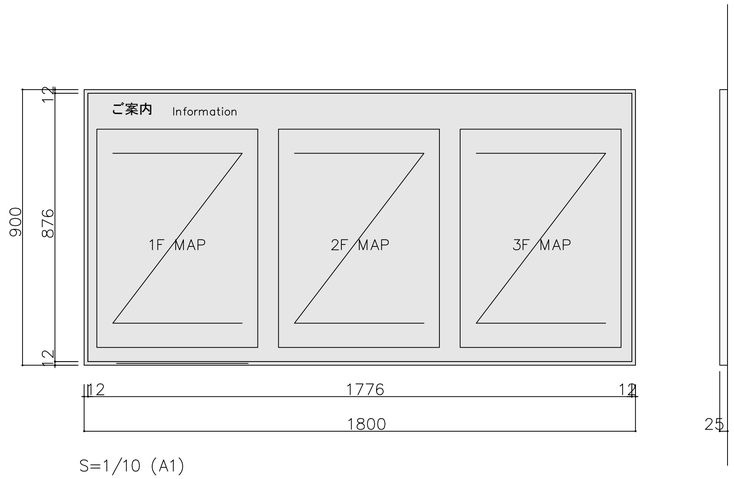
S=1/10 (A1)

フレーム： アルミ押出形材、アルミアルマイト仕上 or 木目フィルム貼仕上
掲示面 ： ベニヤt4.0、掲示シート貼／プラダンt5.0
カバー ： アクリルt3.0（透明）
数 量 ： 2カ所



扉を開き、簡易ステーが扉を固定しているのを
確認して、ポスター等をピンナップします。

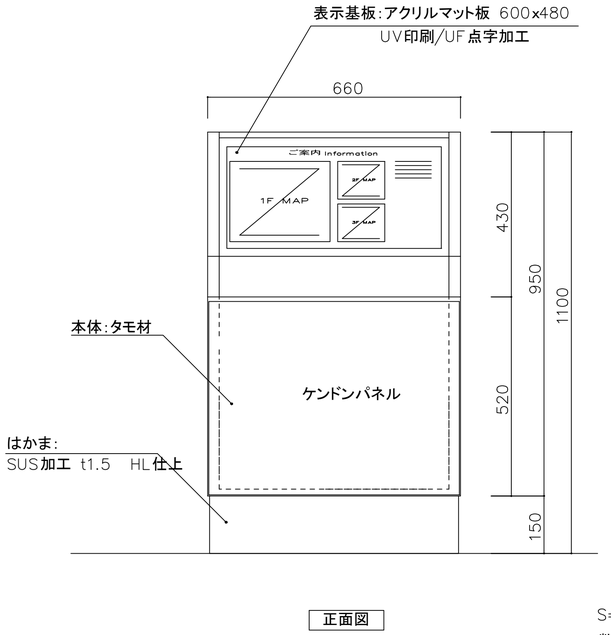
③ 総合案内板



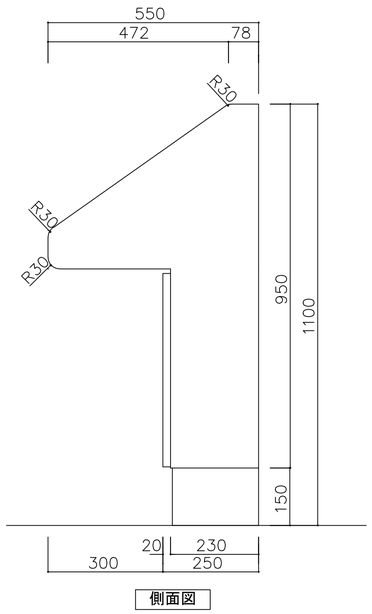
S=1/10 (A1)

フレーム： SUS 角パイプ25x12 HL仕上
ベース ： スチール複合板 t3.0
表示面 ： アクリルt5.0（白）又は
アルミ複合板 t5.0+アルミ板 t1.0 アルミアルマイト仕上
マグネット脱着式
表 示 ： インクジェットプリント
数 量 ： 1カ所

④ 自立式点字蝕知図案内板



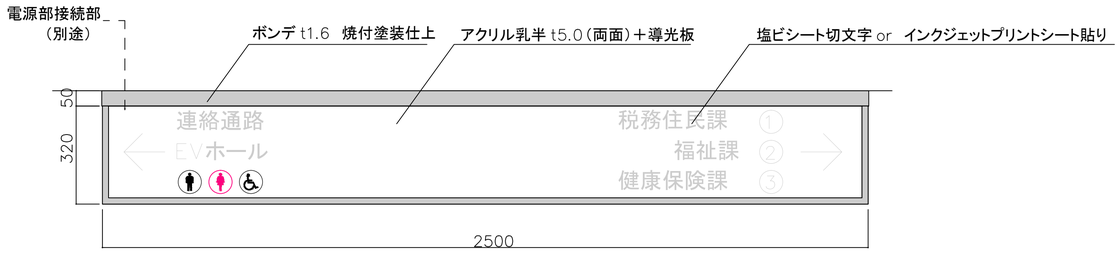
正面図



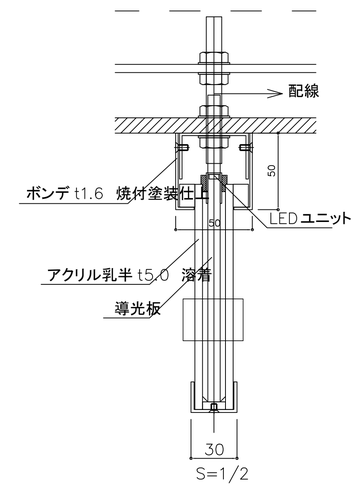
側面図

S=1/8 (A1)
数 量 ： 1カ所

⑤ 吊下げ式LED案内板



S=1/10 (A1)
数 量 ： 3カ所
1F：x2
2F：x1

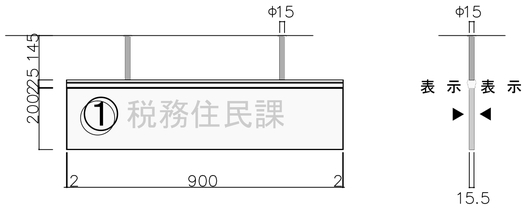


S=1/2

一級建築士事務所 千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社 千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和 3年 月	A1 図示	長南町役場庁舎建設工事（建築工事）	A－89
		図面名称 サイン図-1	

⑥ 吊下げ式案内板



S=1/10 (A1)

フレーム ： アルミ型材
表示基板： アルミ型材 プラライン仕上
ブラケット： アルミ型材 アルミアルマイト
パイプ ： アルミ丸パイプ(Φ15)
表示方法： UV印刷(両面)
数 量 ： 3カ所

1F 税務住民課:x1
1F 会計課:x1
3F 議場入口:x1

⑦ 吊下げ式案内板



S=1/10 (A1)

フレーム ： アルミ型材
表示基板： アルミ型材 プラライン仕上
ブラケット： アルミ型材 アルミアルマイト
パイプ ： アルミ丸パイプ(Φ15)
表示方法： UV印刷(両面)
数 量 ： 2カ所

1F 事務室(税務住民課):x1
2F 事務室(総務課):x1

⑧ 吊下げ式案内板

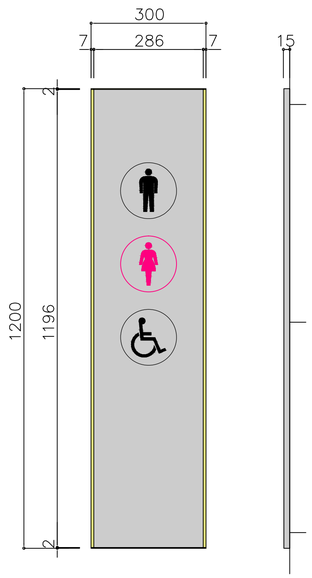


S=1/10 (A1)

フレーム ： アルミ型材
表示基板： アルミ型材 プラライン仕上
ブラケット： アルミ型材 アルミアルマイト
パイプ ： アルミ丸パイプ(Φ15)
表示方法： UV印刷(両面)
数 量 ： 8カ所

1F 事務室(福祉課／健康保険課):x4
1F 既存棟連絡通路:x1
2F 事務室(財政課／企画政策課):x2
2F 既存棟連絡通路:x1

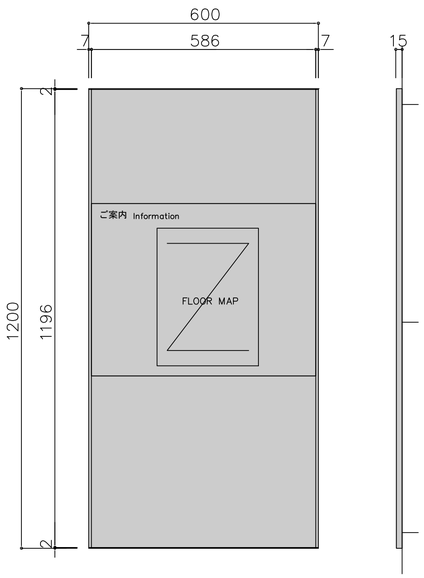
⑨ 柱付け案内板(トイレ関係)



S=1/8 (A1)

フレーム ： アルミ型材 アルマイト仕上
ベース ： スチール複合板 t3.0
プレート ： アルミ複合板 t2.0、マグネット脱着式
表示面 ： アルミ板 t1.0、アルミアルマイト仕上
表示方法： 塩ビシート切文字 or インクジェットプリントシート貼り
数 量 ： 3カ所

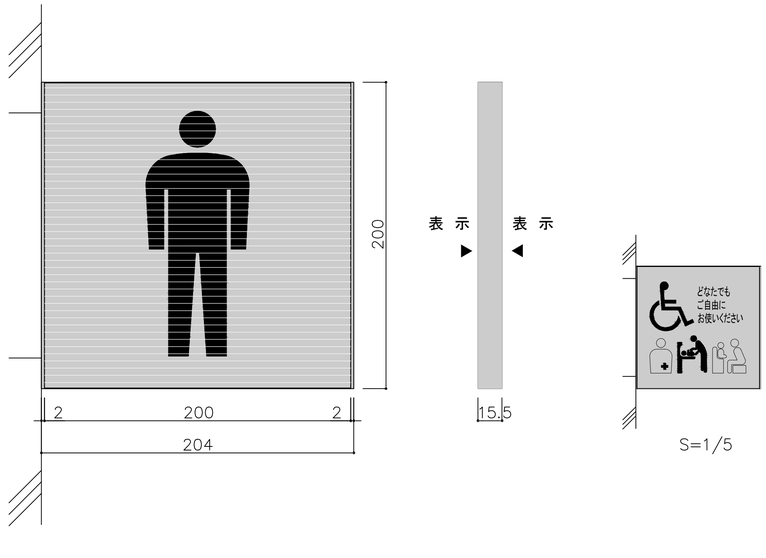
⑩ 柱付け案内板(各階案内)



S=1/8 (A1)

フレーム ： アルミ型材 アルマイト仕上
ベース ： スチール複合板 t3.0
プレート ： アルミ複合板 t2.0、マグネット脱着式
表示面 ： アルミ板 t1.0、アルミアルマイト仕上
表示方法： 塩ビシート切文字
数 量 ： 3カ所(1F～3F：各1カ所)

⑪ ピクトサイン突出し



S=1/2 (A1)

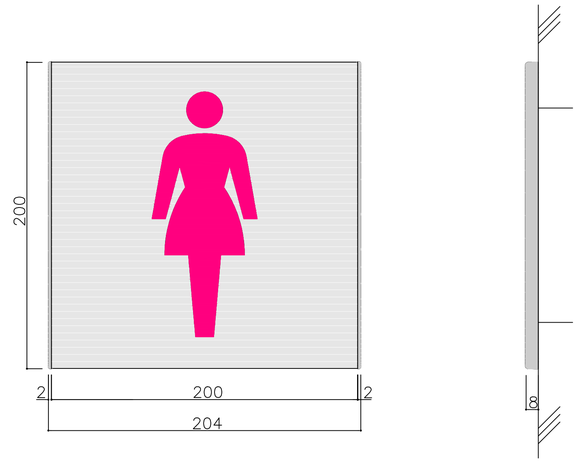
フレーム ： アルミ型材
表示基板： アルミ型材 プラライン仕上
表示方法： UV印刷(両面表示)
数 量 ： 6カ所(1F～3F 男子トイレ／多目的トイレ)

S=1/5

一級建築士事務所 千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社 千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事（建築工事）	図面番号
令和 3年 月	A1 図示	図面名称	サイン図-2	A－90

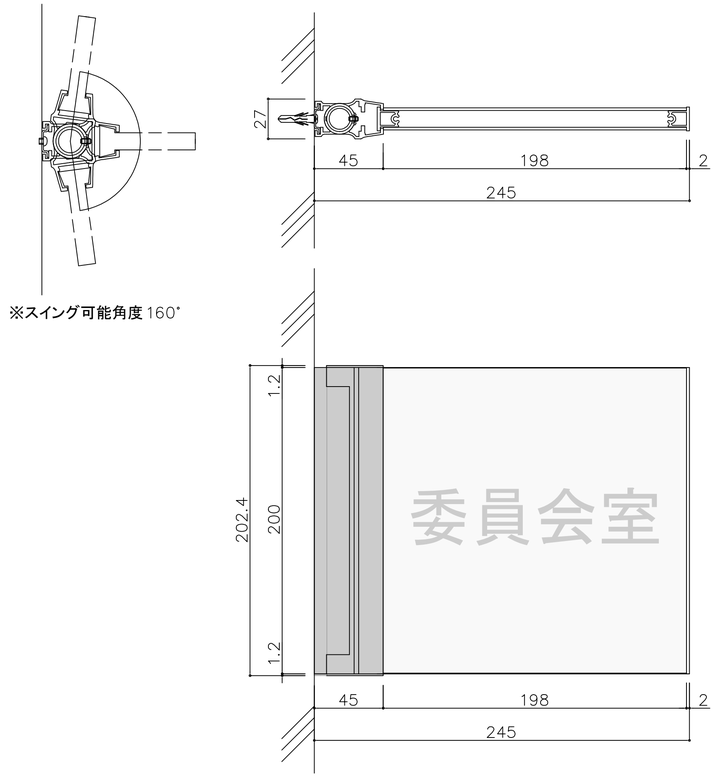
⑫ ピクトサイン平付け



S=1/2 (A1)

ベース　：　樹脂成形品　シルバー塗装仕上
表示基板:　アルミ型材 プラライン仕上
表示方法:　UV印刷
数　量　：　3カ所(1F～3F　女子トイレ)

⑬ アルミ製室名札スイング型

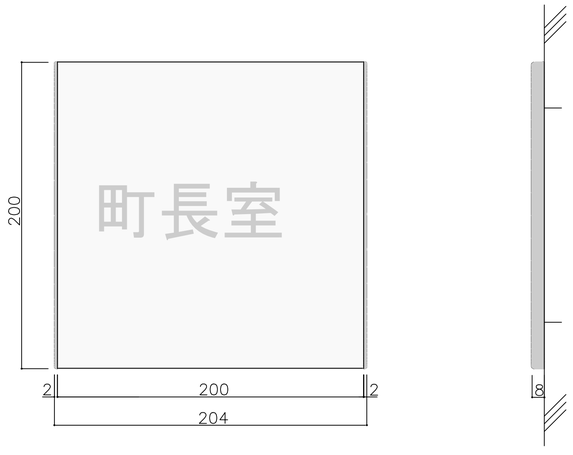


S=1/2 (A1)

ブラケット　：　アルミ型材(スプリングスイング160°可動式)
表示基板:　アルミ型材 プラライン仕上
表示方法:　UV印刷
数　量　：　16カ所

1F：現業室、放送室、湯沸し室
2F：事務室(総務課)、防災室、会議室、職員休憩室
3F：議場、委員会室(x2)、応接室、議会事務局
　　議会図書室、議員控室(x2)、湯沸し室

⑭ アルミ製室名札平付け

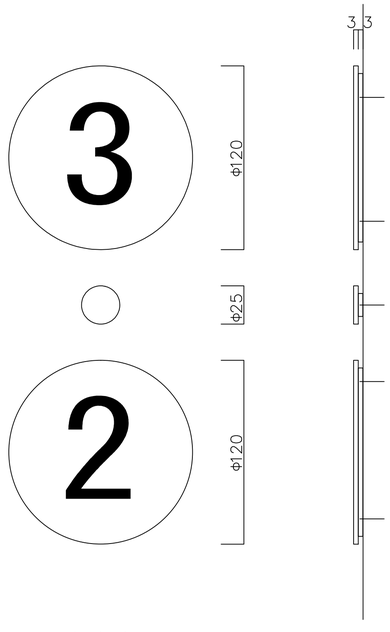


S=1/2 (A1)

ベース　：　樹脂成形品　シルバー塗装仕上
表示基板:　アルミ型材 プラライン仕上
表示方法:　UV印刷
数　量　：　5カ所

1F：更衣室
2F：町長室、副町長室、応接室
3F：調整室

⑮ 階数表示

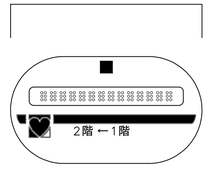


S=1/2 (A1)

表示板　：　アクリル 3t　塗装仕上
表　示　：　塩ビシート切文字貼り
ステ板　：　アクリル 3t
数　量　：　2カ所

⑯ 点字表示

※点字文字数によりサイズが変動します。

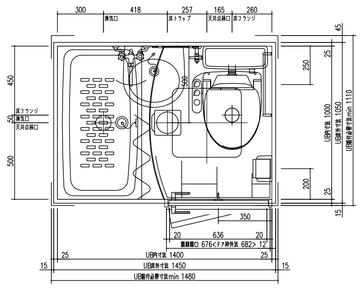


S=1/2 (A1)

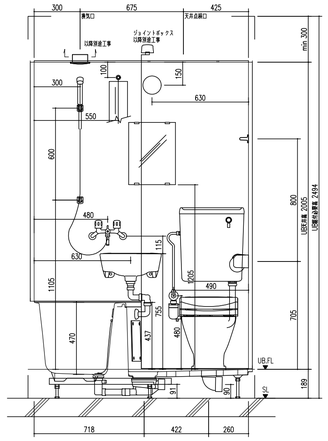
本　体　：　アルミt1.5、アルミアルマイト仕上
表　示　：　NC加工(点字部)
　　NC加工　凹色入れ(文字・ピクト)
　　表示カラー(黒／赤／緑)
対応手すり:　φ38.0、φ40.0、φ42.7、φ48.6、φ50.0
数　量　：　12カ所(内部階段手摺に表示)

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　図示	長南町役場庁舎建設工事（建築工事）	A－91
		図面名称　サイン図-3	

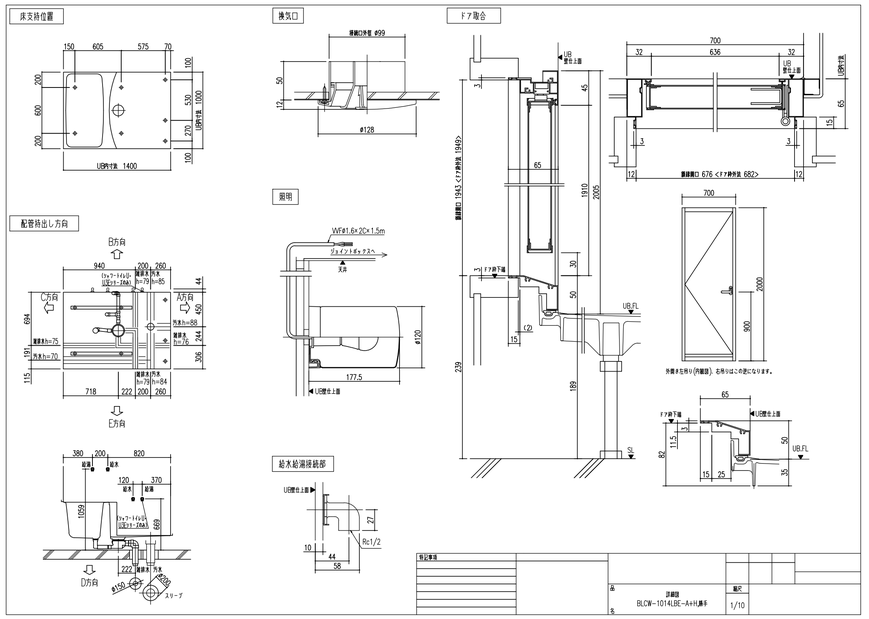


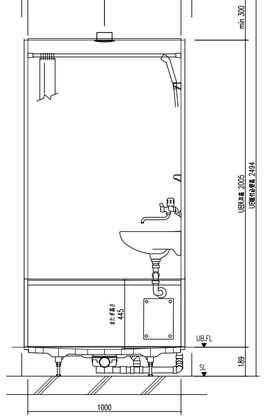
※UB据付必要寸法はドア部の寸法を含みません。ドア部の寸法は詳細図のドア取合をご確認ください。

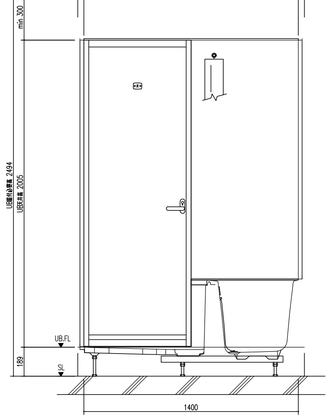


※シャワートイレは凍結の恐れのある所に設置しないでください。
詳細はオプション詳細図を参照ください。

BLCW-1014LBE-A+H,展手						
部位／項目	仕様（寸法単位：mm）	備考（色柄・品番等）	部位／項目	仕様（寸法単位：mm）	備考（色柄・品番等）
据付必要寸法	1110D×1480W×2494H		便座	シャワートイレ(温水洗浄なし・暖房センターなし)	CW-B103X-NE/BW1
内寸法	1000D×1400W×2005H		紙巻器	ワンタッチ式紙巻型(カフイト)	PH-1A/BW1
床	FRP 成形品	N86	照明	スリム期待(熱線型) LEDランプ 1灯	LDA-C1-2A
壁	メガネ石(マット)		ヤネル面	アルミパイプ L420 2フラット 鏡面製	TB-420E-K
天井	化粧繊維強化ボスタル	UE103	扉	断熱空化処理 306W×408H	KGM-3040
ドア	フラッシュ ドア：アルミアルマイト処理 扉：材：化粧板フラッシュパネル(アンダーカット) シングルフェア	W2Y-7X00002(AT)/BW COH-1	カートン	塩化ビニールシート(防水加工) ストレートパイプ	VG-100A(2)/4585
設備	FRP(設備専用寸法 953W×493D×47DH) ゴム排水栓 カーボークロー付	N86	排気口	2枚式熱交アミル ABS樹脂製 換気口有効面積 42cm²排気口径 φ100	
木枠金具	扉用：ケーシングL型丸太釘	BF-X651X-PU	トラップ	ABS樹脂製 封水50mm	
	シャワー：スプレーフォーマー	BF-6JBP-PU1	給水管	Rc1/2 ボルなど	
シャワーフォク	樹脂製(カフイト) 2個	BF-30C-PU	給湯管	Rc1/2 ボルなど	
洗面室	陶器製 5L	L-130M8S/BW1	建築支管	塩ビ管 VP50	
便室	陶器製 ロータンク式便室(洗浄なし式)	C-P13S/BW1	汚水管	塩ビ管 75A	





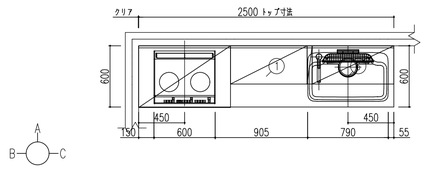


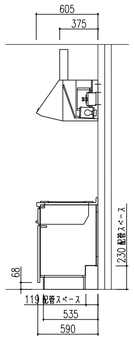
訂記事項			
		名	詳細図 BLCW-1014LBE-A+H,展手
		縮尺	1/10

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所
一級建築士登録
第１６５８１４号
鹿　間　義　弘

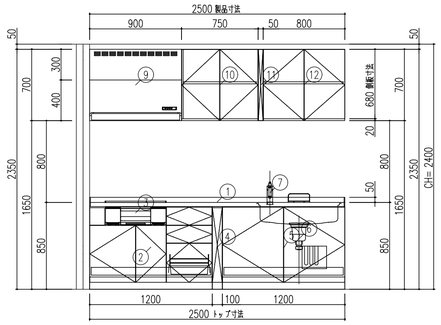
日付	縮尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和　3年　月	A1　1：10，20 A3　1：20，40	図面名称	ユニットバス詳細図	A－９２

B面

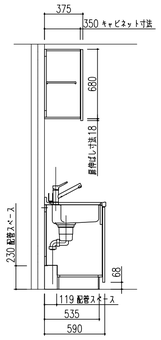




A面



C面



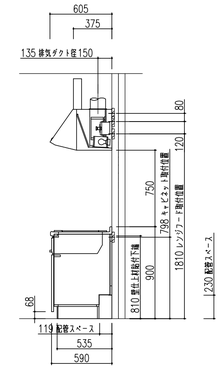
	品名	品番	数	備考
1	I型ワークトップ・D600	TIBKAT255A9PLXR	1	【KA】シルクエンボス
2	コンロ用キャビ（引出しM）	TACGA120ABWJ1AL	1	開き扉・引出し一体型・小引出しシルバー
3	W29ノ2口IH	CHCL22G3JG	1	600トップ・無水両面焼・シルバー・連動
4	パネルフィラー	TWPFBF015WJ1/N	1	フロアキャビネット開き扉H85用
5	シンク用キャビ	TASJL120ABWJ1AR	1	開き扉
6	スキットシンク	A9PL	1	般階排水・コート無
7	P42ノシングルレバー水栓	SFWM420SYXJGT	1	クロマーレS・エコハンドル・一般給用
8	ジャバラホース排水セット	HJHSET2NT	1	排水円板（φ70）付内面平滑仕様
9	A90ノNBHシロッコファン	NBH9397SIT	1	W900・H700・シルバー・3ぬ
10	吊戸棚H700・側面不燃	TAW6L075ABWJ1/R	1	開き扉
11	パネルフィラー	TWPFWN015WJ1/N	1	吊戸棚H70用
12	吊戸棚H700	TAW6J080ABWJ1/N	1	開き扉

【ご注意】
- ●壁面仕上材（キッチンパネル・タイルなど）の貼付下端位置が変わります。【躯体図参照】
- ●記載のキャビネット寸法は扉前面までの幅が寸法です。キャビネット本体の寸法・扉厚み等\U+30
- ●レンジフード電源プラグ仕様：3芯電源プラグ

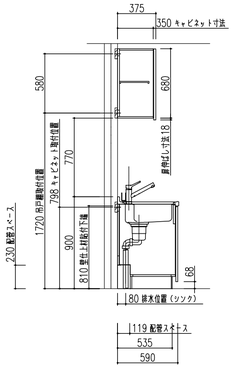
特記事項
扉色 WJ1:スムースホワイト
取手 【A】ハンドル取手（シルバー）
ワークトップカラー 【KA】シルクエンボス

仕様 シエラS21

B面

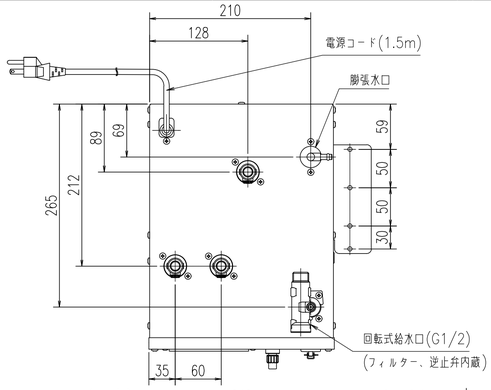


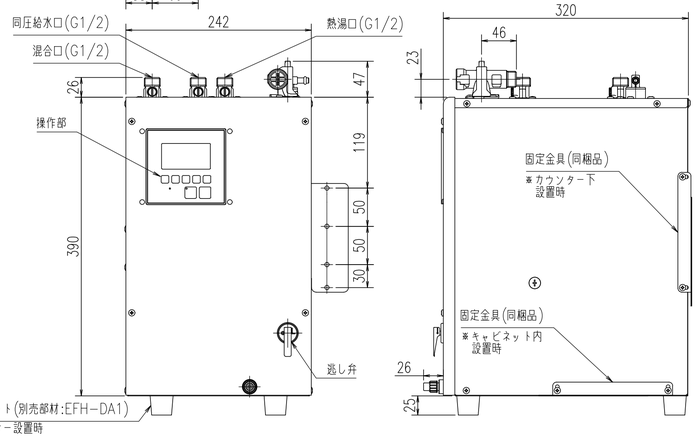
C面



特記事項
扉色 WJ1:スムースホワイト
取手 【A】ハンドル取手（シルバー）
ワークトップカラー 【KA】シルクエンボス

仕様 シエラS21





項目		仕様
認証登録番号		A-155
電源電圧		AC100V 50/60Hz
ヒーター能力		1100W
定格消費電力※1		1100W
定格加熱能力※1		
定格電流		11A
本体質量（満水時）		約10kg（約22kg）
タンク容量		約12L
わきあがり温度		約60~90℃
わきあがり時間		約58分（15→90℃）
出湯温度		熱湯口：約60~90℃（可変） 混合口：約33~43℃（環境条件により変動）
温度調節		サーミスタによる自動制御
安全装置		温度過昇防止器（サーミスタ式）
ヒーター		シーズヒーター
材質	外装	カラー鋼板
	タンク本体	特殊ステンレス鋼板
	断熱材	グラスウール
プラグ形状および対応コンセント		
使用水圧		0.10（流動時）~0.75MPa（静止時）
同梱品	固定金具 1個	説明書セット 1セット
	固定ねじA（φ4.8×20）	4本
	固定ねじB（φ4.8×30）	2本
	排水用ホース（内径φ9）	1本

※1 JIS C 9219の定格条件および試験方法による

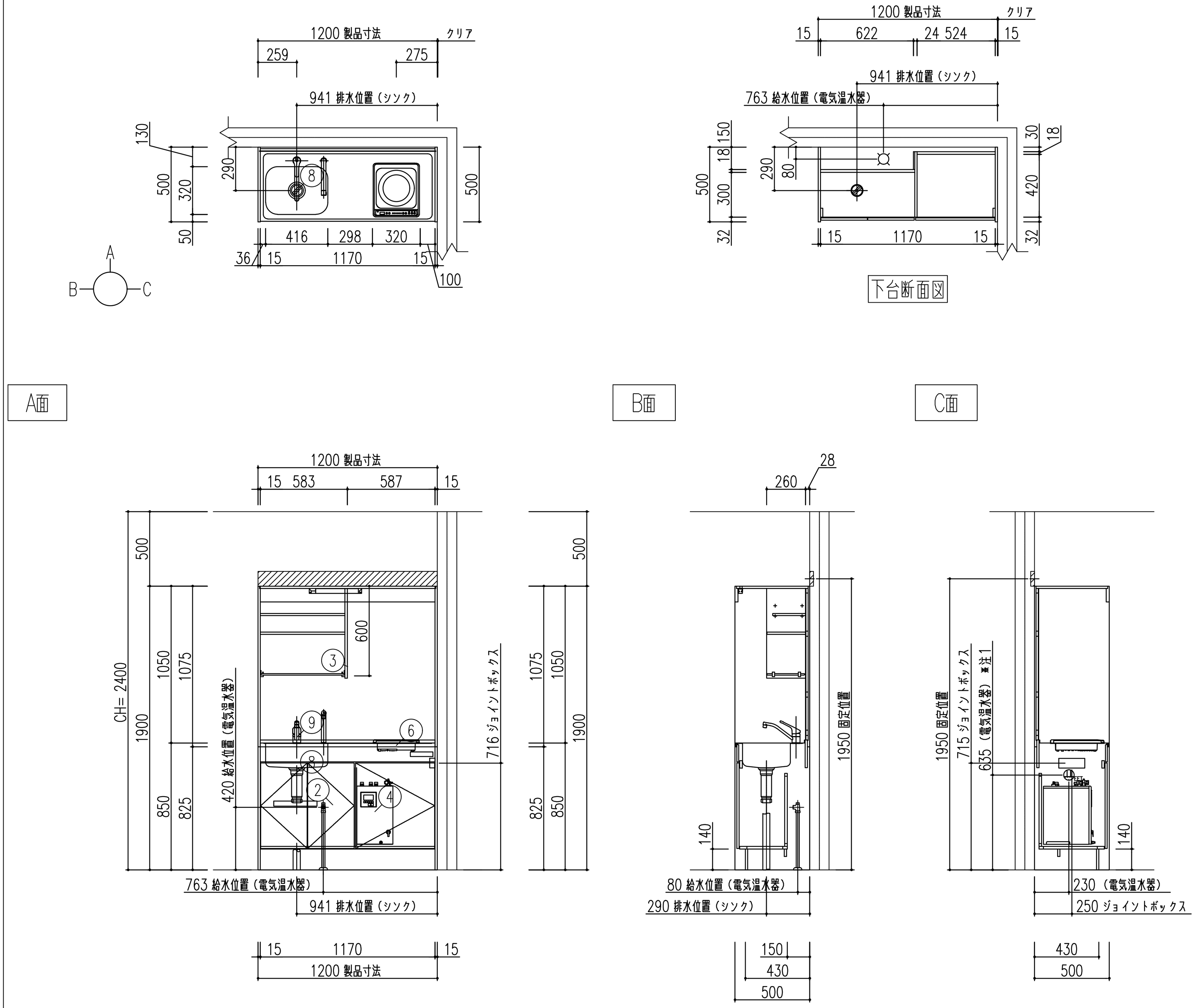
- ・飲料用・洗い物用電気温水器は、湯水入替機能を発揮させるため、必ず専用の排水器具EFH-6シリーズと組み合わせてください。
  EFH-4シリーズとの組合せはできません。
- ・飲料用・洗い物用電気温水器は90℃以上の熱湯が出ます。
  ヤケドにご注意ください。
- ・キッチン以外と組み合わせる場合は、熱湯口を使用しないでください。
  熱湯口を使用すると洗面器等が破損する恐れもあります。
  水栓への給湯は混合口(38℃)を使用してください。使用しない熱湯口(90℃)は、EFH-CP1(別売部材)で閉止し、絶対に使わないでください。
- ・本機器の施工は「国土交通省告示第1447号(平成24年12月12日)」に則ってください。
- ・設置条件により、出湯温度は約33~43℃になる場合があります。
- ・この仕様は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・製品の設置基準、施工方法等については、施工説明書をご覧ください。

20210913MJN6-0A3

ファイル名	EHPN-KA12ECV3_A
縮尺	1:4
品名	小型電気温水器(飲料用・洗い物用)
品番	EHPN-KA12ECV3
日付	2021.04.01
	株式会社 LIXIL

一級建築士事務所 千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社 千町村建築研究所
一級建築士登録 第１６５８１４号 鹿間義弘

日付	縮尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和 3年 月	A1 1:30 A3 1:60	図面名称	システムキッチン詳細図	A－９３



	品　名	品　番	数	備　考
	ミニK飲用電温用120・一般地	DMK12LKWC1F100L	1	Sレバー・熱湯水栓用穴有・IH100V
2	ミニキッチン下台・120cm	DMK1201KAW2L	1	飲用電温タイプ・2穴
3	ミニキッチン上台・120cm	DMKE1202LL	1	換気扇開口有
4	飲料用電気温水器12Lセット	SEHPNKA12ECV3A2	1	12L・AC100V・間口1200用
5	止水栓ストレート型	LF3SV(420)KJG	1	（ドライバー式）
6	W81／IH1口コンロ	HIHCB110W	1	300トップ・グリルレス（100V）
7	ジョイントボックス	DMKJBE100V	1	100V加熱機器用
8	ステンレスシンク	ステンレスシンク	1	
9	シングルレバー水栓	SFHE424SY21JG	1	ノルマーレ・エコハンドル・一般地用

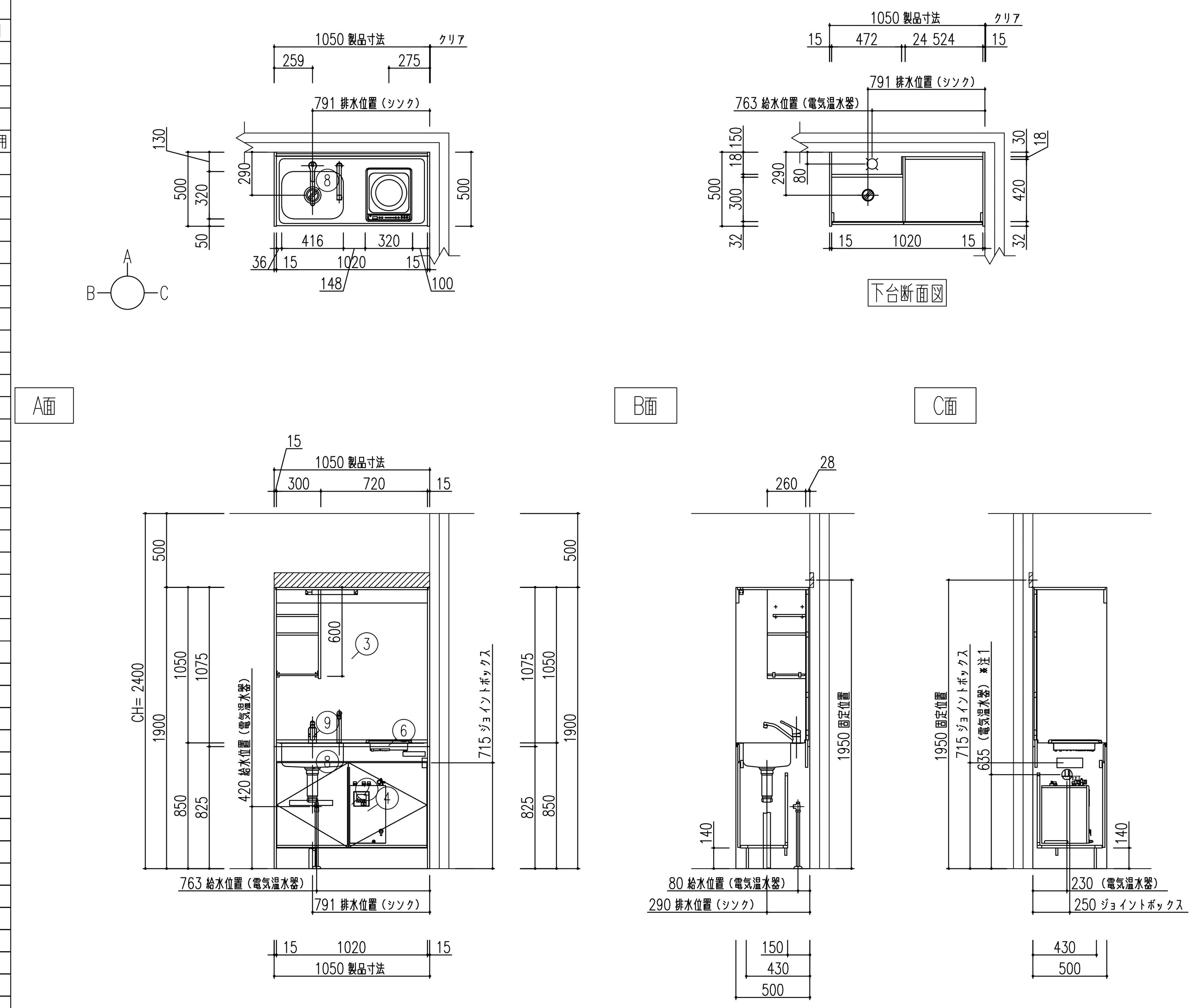
【ご注意】
●記載のキャビネット寸法は扉前面までの呼び寸法です。キャビネット本体の寸法・扉厚み等＋30
●電気・ガス・給排水・換気等設備工事別途
●水道工事は排水配管工事となります。
●取付・設置に際し、各製品の取付・設置説明書や図面の機能図を必ずお読み下さい。
●VVFケーブルの太さにつきましては、内線規程に準じてください。
●コンセントジョイントボックスは現場取付けとなります。
●結線方法は、コンセントジョイントボックスに記載がありますのでご確認ください。
●電気温水器の給水、出湯、同圧給水配管の位置については、機能図をご確認ください。
●換気扇開口：□225標準（現場加工で□275に対応）
注1） 125V・15A 2極接地極付アースターミナル付コンセント側板取付【専用】

特記事項
W:アンティックホワイト

ミニキッチン

図面名 納まり図
縮尺 1/30

20210913MJN0-01A3



	品　名	品　番	数	備　考
	ミニK飲用電温用105・一般地	DMK10LKWC1F100L	1	Sレバー・熱湯水栓用穴有・IH100V
2	ミニキッチン下台・105cm	DMK1051KAW2L	1	飲用電温タイプ・2穴
3	ミニキッチン上台・105cm	DMKE1052LL	1	換気扇開口有
4	飲料用電気温水器12Lセット	SEHPNKA12ECV3A3	1	12L・AC100V・間口1050用
5	止水栓ストレート型	LF3SV(420)KJG	1	（ドライバー式）
6	W81／IH1口コンロ	HIHCB110W	1	300トップ・グリルレス（100V）
7	ジョイントボックス	DMKJBE100V	1	100V加熱機器用
8	ステンレスシンク	ステンレスシンク	1	
9	シングルレバー水栓	SFHE424SY21JG	1	ノルマーレ・エコハンドル・一般地用

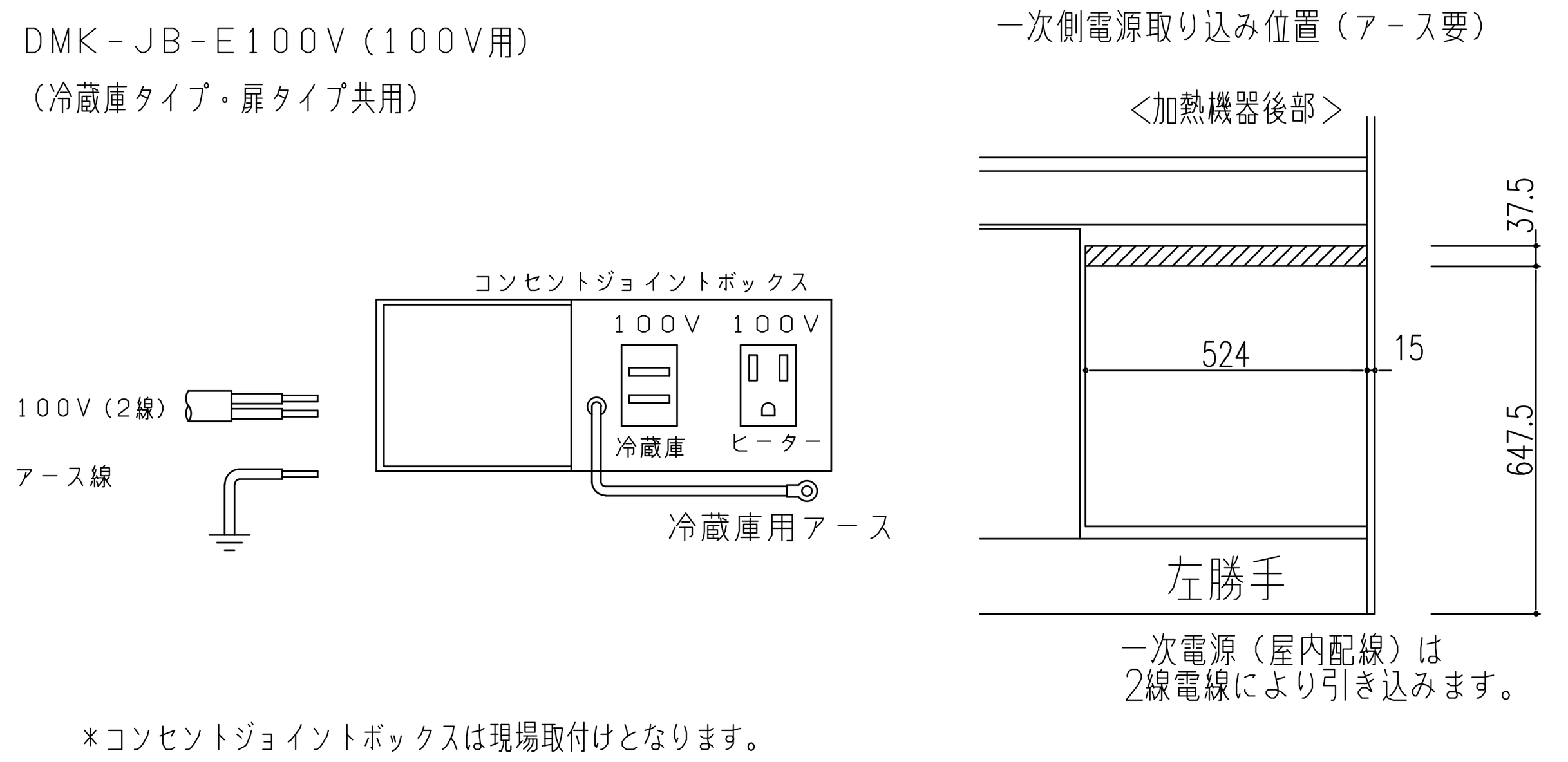
【ご注意】
●記載のキャビネット寸法は扉前面までの呼び寸法です。キャビネット本体の寸法・扉厚み等＋30
●電気・ガス・給排水・換気等設備工事別途
●水道工事は排水配管工事となります。
●取付・設置に際し、各製品の取付・設置説明書や図面の機能図を必ずお読み下さい。
●VVFケーブルの太さにつきましては、内線規程に準じてください。
●コンセントジョイントボックスは現場取付けとなります。
●結線方法は、コンセントジョイントボックスに記載がありますのでご確認ください。
●電気温水器の給水、出湯、同圧給水配管の位置については、機能図をご確認ください。
●換気扇開口：□225標準（現場加工で□275に対応）
注1） 125V・15A 2極接地極付アースターミナル付コンセント側板取付【専用】

特記事項
W:アンティックホワイト

物件名
仕様 ミニキッチン

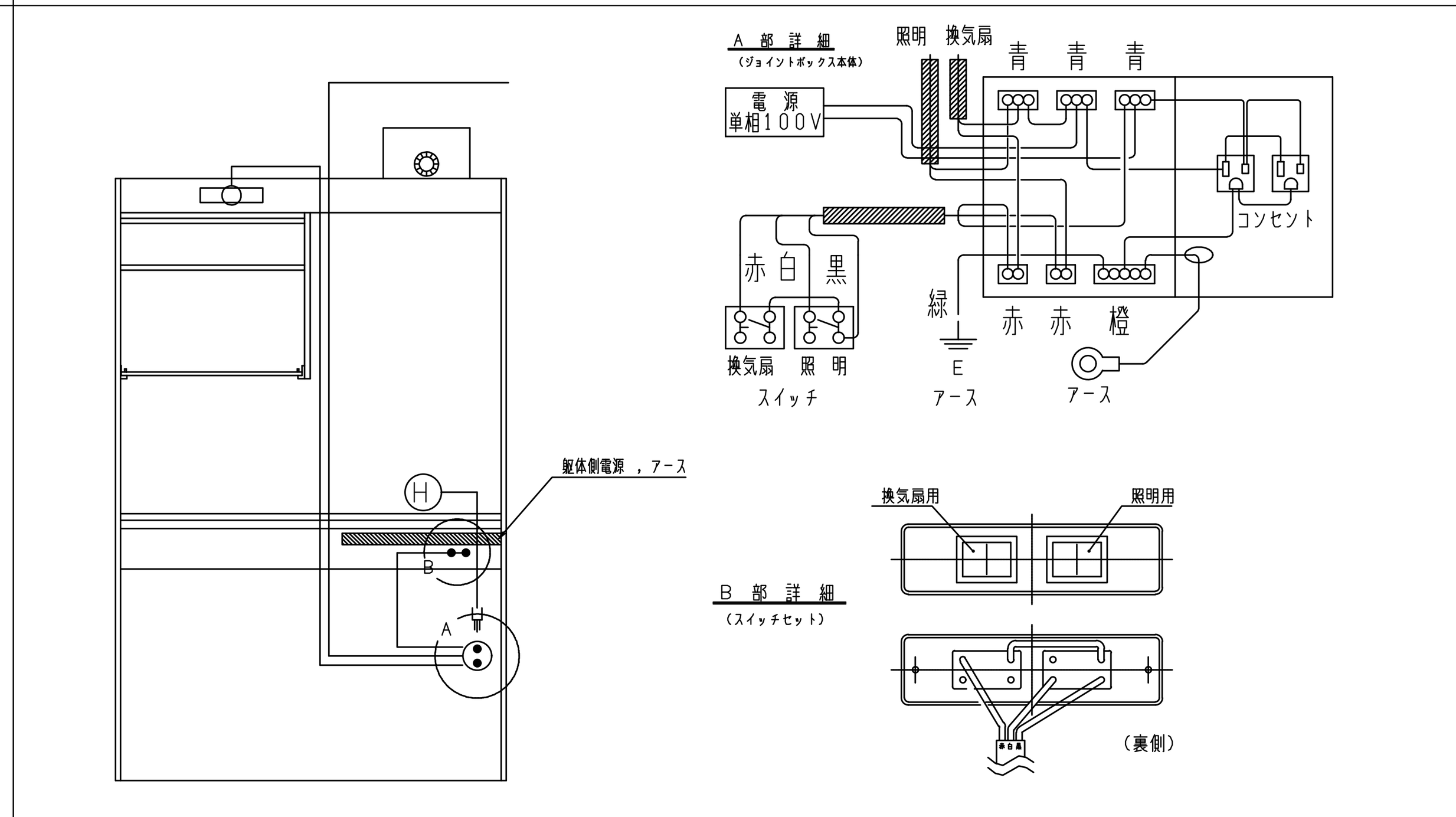
■ コンセントジョイントボックス

DMK-JB-E100V（100V用）
（冷蔵庫タイプ・扉タイプ共用）



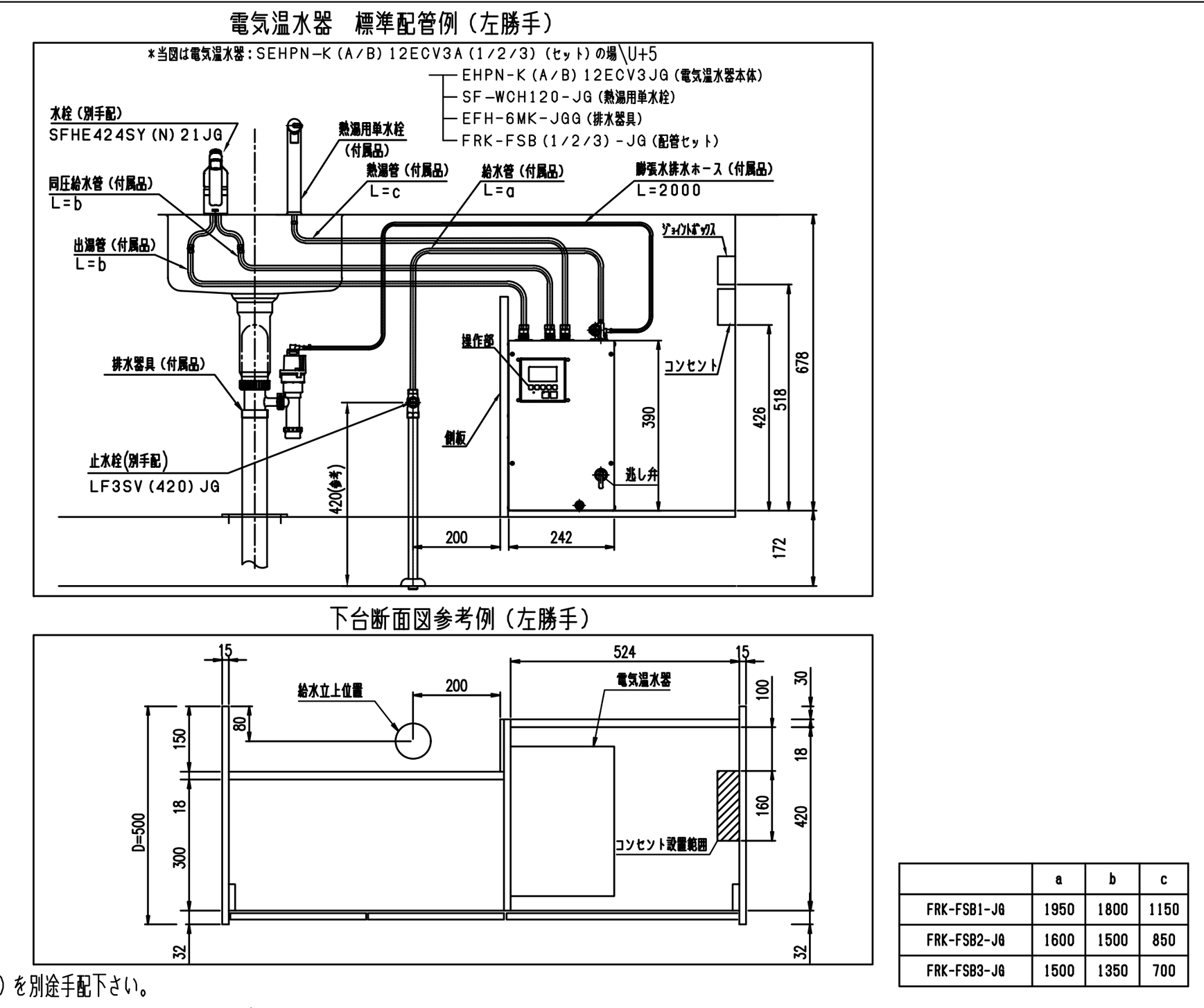
＊コンセントジョイントボックスは現場取付けとなります。
（冷蔵庫タイプ・扉タイプ共用となります）
＊結線方法は、コンセントジョイントボックスに記載がありますのでご確認ください。

■ 100V（プレート・IH）用冷蔵庫なし実体配線図 左勝手



⚠警告　電気工事は関連する法規に従って必ず「有資格者」がおこなう。

■ 飲料用電気温水器 標準配管例（12L用）



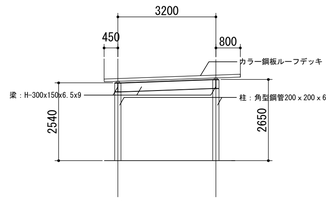
	a	b	c
FRK-FSB1-JG	1950	1800	1150
FRK-FSB2-JG	1600	1500	850
FRK-FSB3-JG	1500	1350	700

注1）水栓金具・止水栓は別途手配下さい。
注2）壁給水の場合は、止水栓（LF3V（55）KJG）を別途手配下さい。
注3）電気温水器が100Vの場合は二極接地極付、200Vの場合は二極接地極付引掛コン＋30

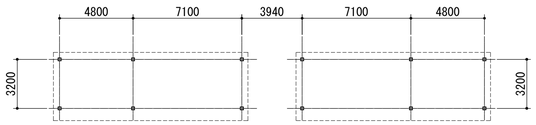
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

一級建築士登録
第165814号
鹿間義弘

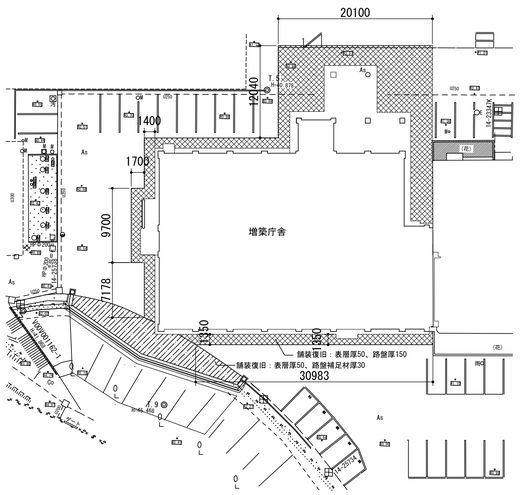
日付	縮尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和 3年 月	A1 1:30 / A3 1:60	図面名称	ミニキッチン詳細図	A－94

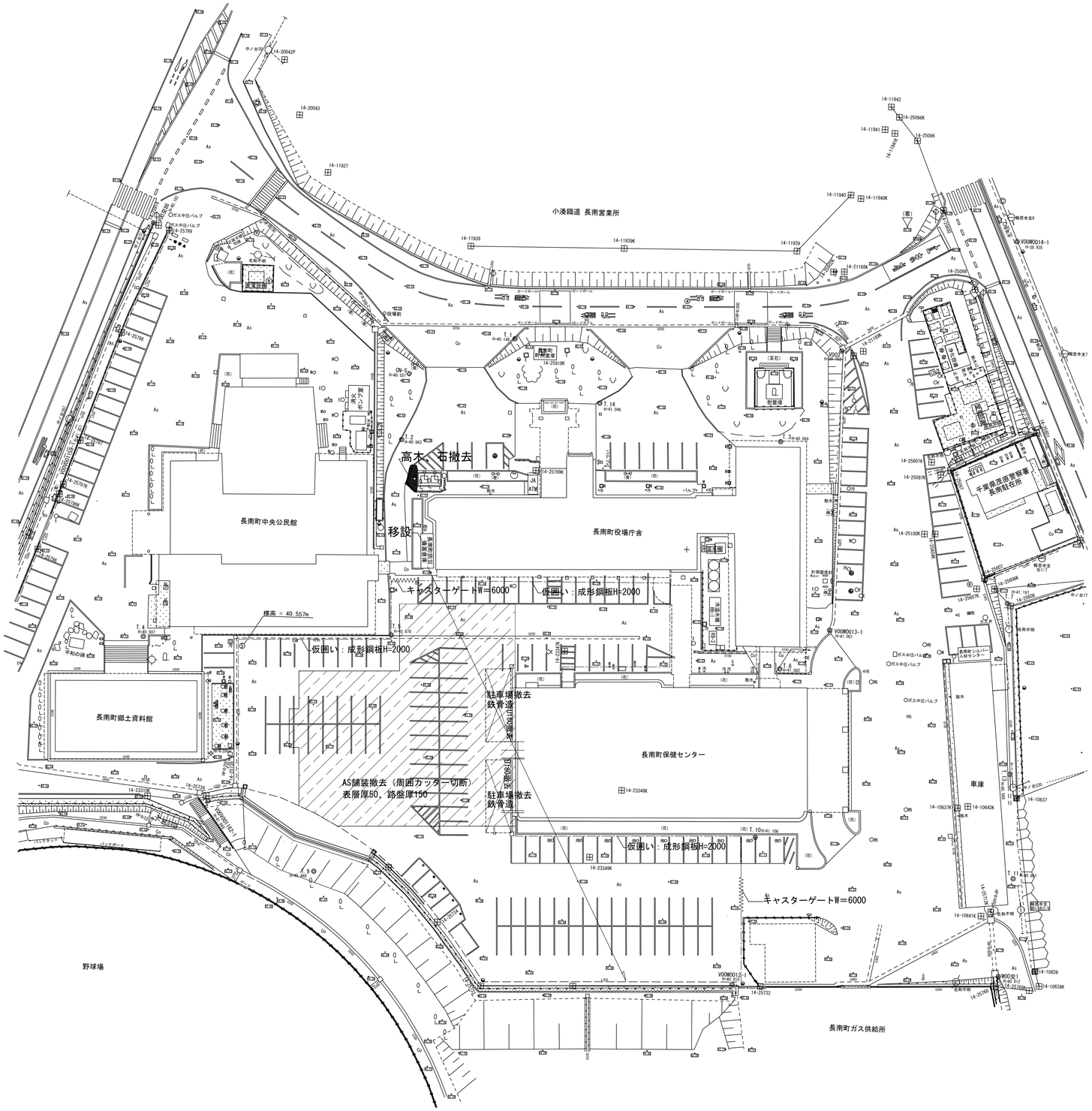


駐車場断面図　1：100



駐車場平面図　1：200

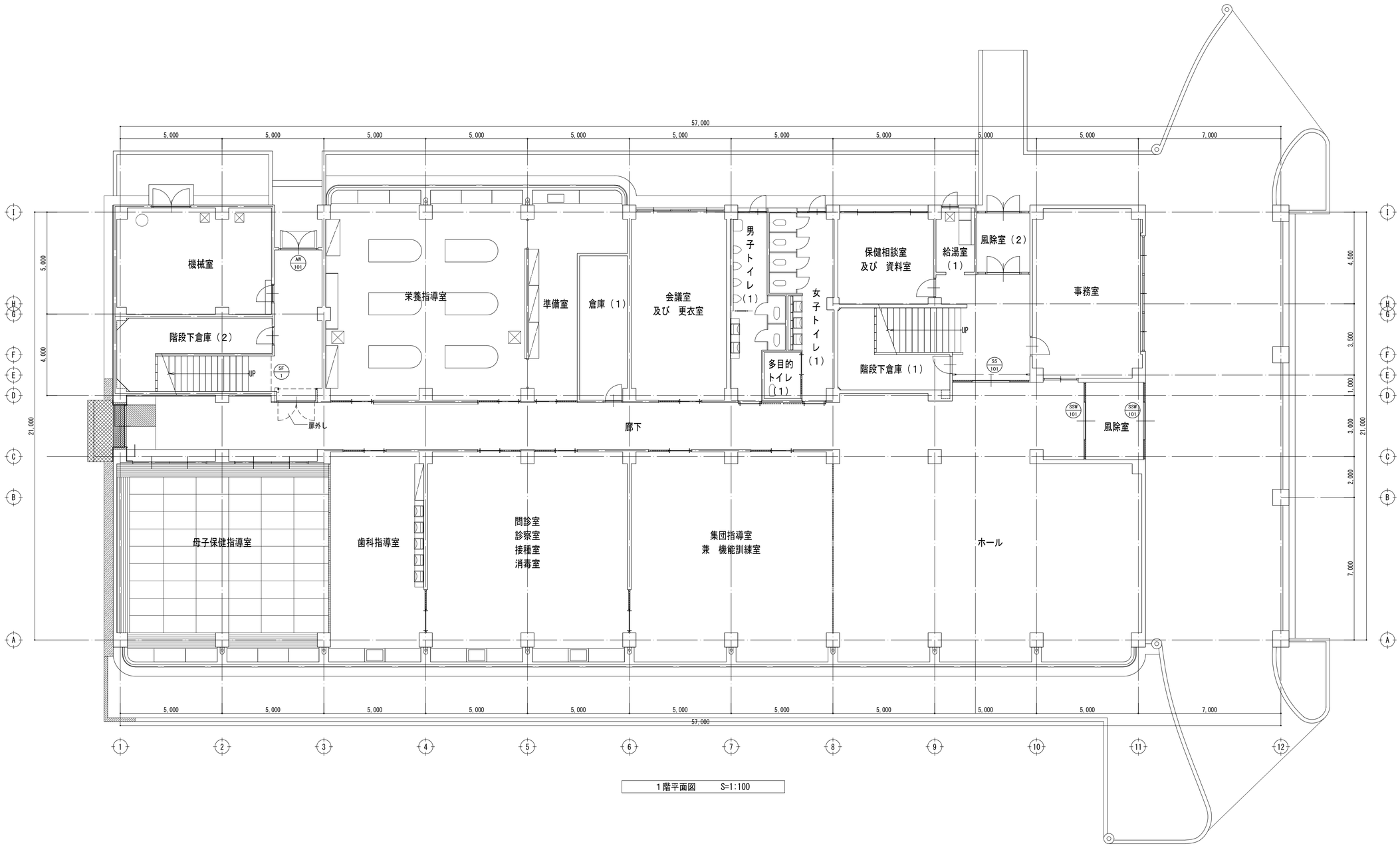




一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

一級建築士登録
第１６５８１４号
鹿　間　義　弘

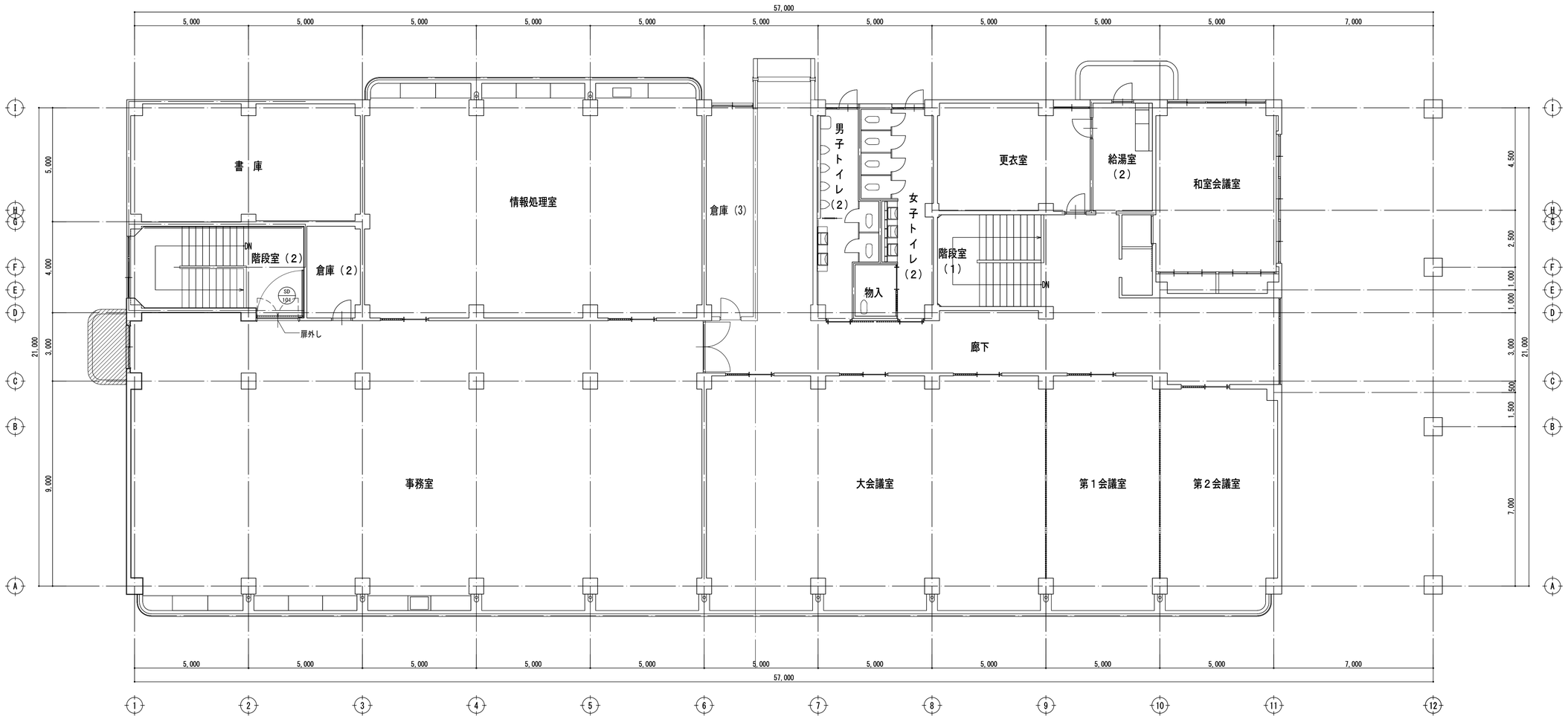
日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:400 A3　1:800	長南町役場庁舎建設工事	A－９５
		図面名称 仮設計画図、外構解体復旧図	



1階平面図　　S=1:100

撤去部分を示す

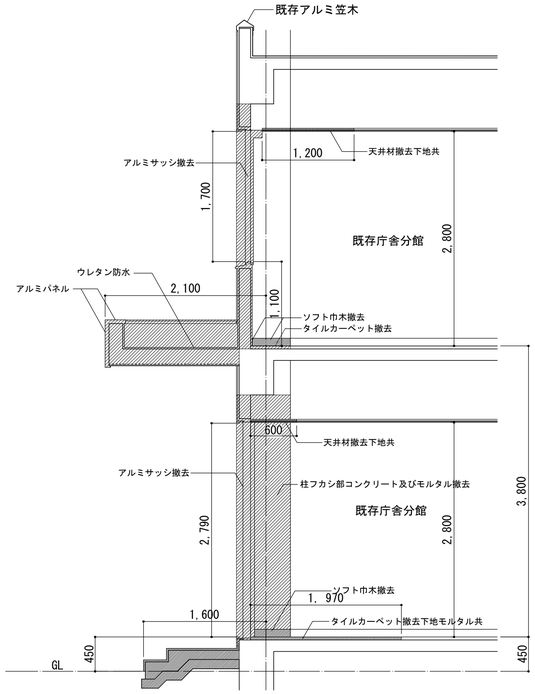
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所	一級建築士登録 第１６５８１４号 鹿　間　義　弘	日　付 令和　3年　月	縮　尺 A1　1:100 A3　1:200	工事名称 図面名称	長南町役場庁舎建設工事 既存庁舎分館１階平面図	図面番号 A－９６



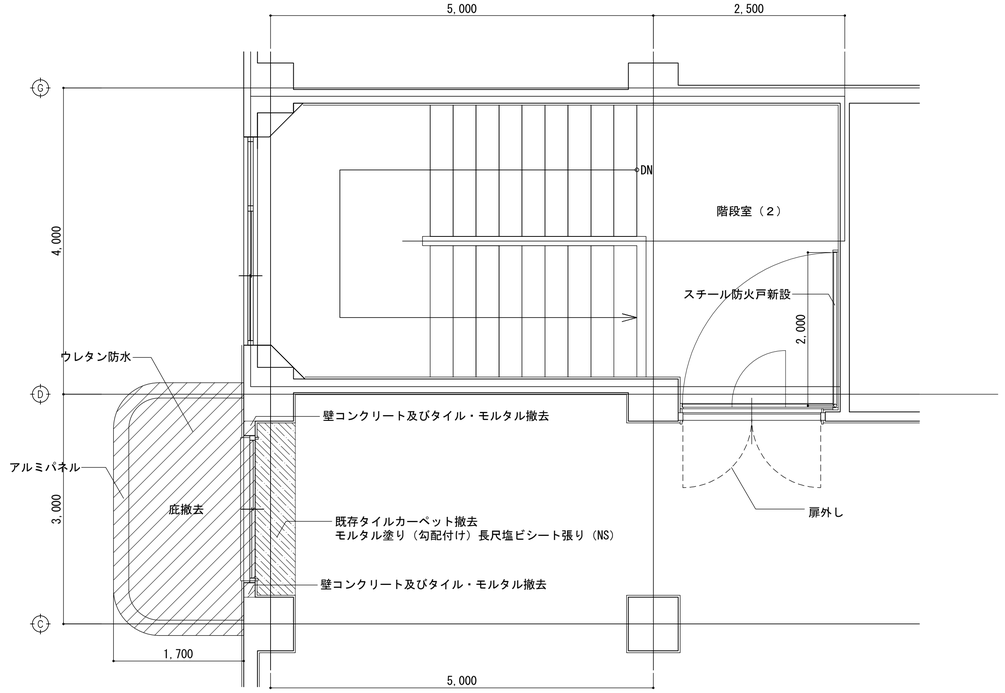
２階平面図　　S=1:100

撤去部分を示す

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所	一級建築士登録 第１６５８１４号 鹿　間　義　弘	日　付 令和　3年　月	縮　尺 A1　1:100 A3　1:200	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
				図面名称	既存庁舎分館2階平面図	Ａ－９７



断面詳細図　1：40

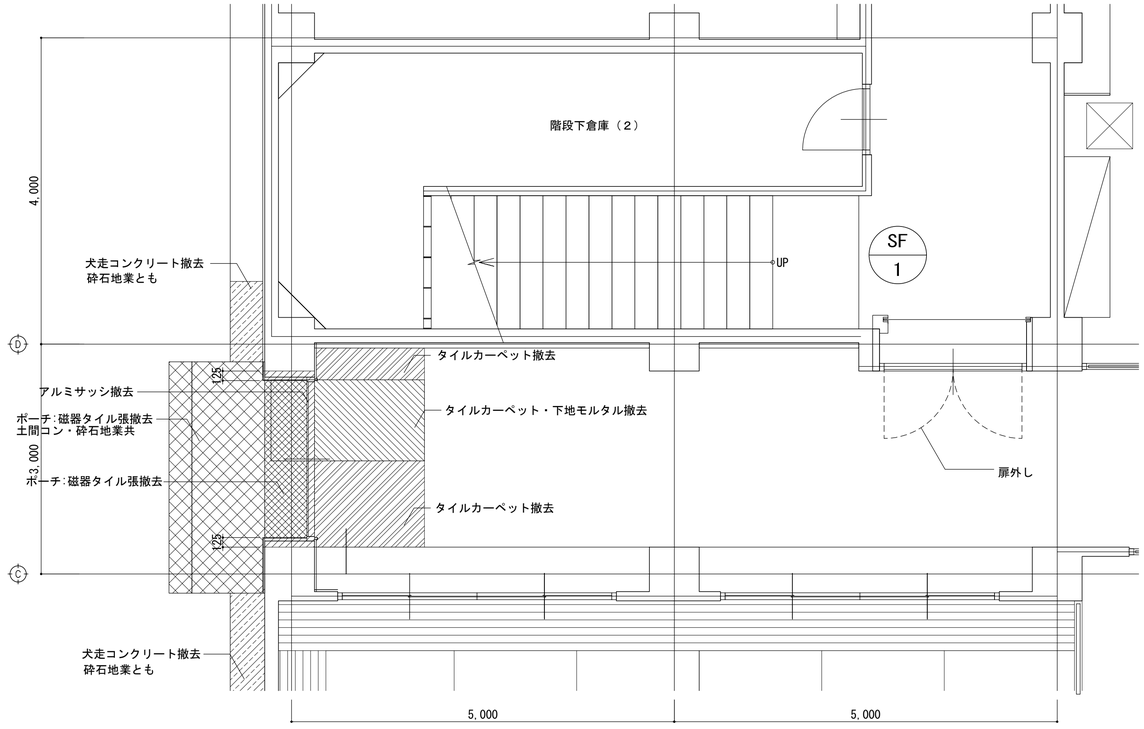


2階平面詳細図　1：40

建具記号	名称	SSW	ステンレス製2連ランマ外倒し排煙窓					SS	常時開放式煙感連動電動シャッター				
	階数		1F	2F			TOTAL		1F	2F			TOTAL
	個数	101	2	–			2	2	1	–			3
姿図		既存分庁舎1階風除け室						（特定防火設備）					
材料・仕上		ステンレス鏡面仕上											
付属金物		オペレーター（ワンタッチ式）						危害防止装置、電気式手動閉鎖装置スイッチボックス					
摘要・ガラス		枠見込100　FL5											
備考		既存SUS建具ランマ排煙窓取付											

建具記号	名称	SD	随時閉鎖式煙感連動片開き防火戸（3方枠）					AD	アルミ製2連ランマ外倒し排煙窓				
	階数		1F	2F	3F	RF	TOTAL		1F	2F	3F	RF	TOTAL
	個数	1	1	1	–	–	2	101	1	–	–	–	1
姿図		1・2階階段室				（特定防火設備）							
材料・仕上		スチール鋼板t=1.6 OP						カラーアルミ					
付属金物		ケースハンドル 大扉：オートヒンジ、小扉：丁番・SなしDC						オペレーター（ワンタッチ式）					
摘要・ガラス		枠見込120、扉：40						枠見込70　FL5					
備考		遮煙性能あり						既存アルミ建具ランマ排煙窓取付					

建具表　1：50



1階平面詳細図　1：40

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所	一級建築士登録 第１６５８１４号 鹿　間　義　弘	日付 令和　3年　月	縮尺 A1　1：40、50 A3　1：80、100	工事名称 図面名称	長南町役場庁舎建設工事 既存波及詳細図	図面番号 A－９８

構造設計特記仕様 (JASS5. 1997年版準拠)

※修正箇所は下線を引くこと
適用は　■　印を記入する。

１．建築物の構造内容

（１）建築場所　　千葉県長生郡長南町長南2110番地
（２）工事種別　　■新築　　□増築　　□増改築　　□改築
（３）構造設計一級建築士の関与　　■必要　　□必要としない
□　法第20条第一号（高さ 60 m超）
■　法第20条第二号（□RC造高さ 20 m超　□S造 4 階建以上　□木造高さ 13 m超　■その他　）
注(3)構造設計一級建築士の関与が義務づけられる建築物については解説書等を参照して確認する事。
（４）構造種別
□木造（W）　　□補強コンクリートブロック造（CB）　　■鉄骨造（S）(勾配屋根)
■鉄筋コンクリート造（RC）　　□壁式鉄筋コンクリート造（WRC）
□鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC）　　□壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）
□プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC）　　■プレストレストコンクリート造（PRC）
（５）階　数　　（最上階一部の梁）
棟　　地下　一　階　　地上　３　階　　塔屋　一　階
（６）主要用途　　事務所
（７）屋上付属物
□高 架 水 槽　　kN　□キュービクル　　kN　□広告塔　　□煙　突
（８）特別な荷重及び仕上材
■エレベータ　11人乗（マシンルームレス）（ロープ式）油圧式）　□エスカレーター　□特定天井
□リフト　　kN　□ホイスト　　kN　□倉庫積載床用　　N/m²　□受水槽　　kN　□
（９）付帯工事
□門塀　　□擁壁　　□駐輪場　　□機械式駐車場　□　　□
(10) 増築計画　　□有　（　　）■無
(11) 構造計算ルート　　X方向ルート　３－（　）　Y方向ルート　３－（　）

２．使用建築材料表・使用構造材料一覧表

（１）コンクリート　（レディーミクストコンクリート　JIS Q 1001, JIS Q 1011, JIS A 5308）

適用箇所	種類	設計基準強度 Fc = N/mm²	品質基準強度 Fq = N/mm²	スランプ cm	備考
捨てコンクリート	■普通	18	18	18	
土間コンクリート	■普通	21	21	15	
基礎・基礎梁・1階床	■普通	27	27	15	
柱・梁・床・壁	■普通、□軽量	27	27	18	比重
	□普通、□軽量				比重
押えコンクリート	□普通、□軽量				比重

細骨材の種類	■ 砂	■ 山砂	□ 人工	□
粗骨材の種類	■ 砂利	■ 砕石	□ 人工	□
水の区分	■ 水道水	□ 地下水	□ 工業用水	□
混和材料の種類 （JIS　）	■ AE減水剤	■ 高性能AE減水剤	□	□
呼び強度を保証する材齢、養生	■ 材齢（■ 28日	□ 56日	□	□　）
	■ 養生（□現場封かん	■現場水中	□標準	□　）

■単位水量は185kg/m³ 以下、単位セメント量は 270kg/m³ 以上とする。

（２）コンクリートブロック　（□ JIS A 5406）
□ A種　□ B種　□ C種　厚 □ 100　□ 120　□ 150　□ 190　　使用箇所（□　　□　　）

（３）鉄　筋

	種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋 (JIS G 3112)	■ SD295 A	D10～D16	全域	■重ね継手　：D16以下
	□ SD295 B			■ガス圧接継手：D19以上
	■ SD345	D19～D25	基礎・柱・梁	□溶接継手
	□ SD390			□機械式継手
	□			（　）
高強度せん断補強筋	□ 材種			各継手の使用詳細については本仕様5.(2)鉄筋の項の鉄筋継手等の■にて表示すること。
	■ 大臣認定番号 MSRB-0060		柱帯筋・梁肋筋	
丸　鋼（JIS G 3112）	□ SR235			
溶接金網（JIS G 3551）	□			

（４）鉄　骨

種類	使用箇所	現場溶接	JIS規格・認定番号等
■SS400　□SM400　■SN400 A, Ⓑ C	鋼板、柱、梁	□有 ■無	JIS G 3101, 3136
□STKR400　□STKR490　□		□有 ■無	JIS G
□BCR295　□BCP235　□BCP325		□有 □無	大臣認定品 認定番号 MSTL-
□SN490 A　□SN490 B　□SN490 C		□有 □無	JIS G 3136
■SSC400　□　□	胴縁、母屋	□有 ■無	JIS G
溶接材料　□			JIS Z

（５）ボルト　　○使用箇所の詳細については別途図示とする。
■高力ボルト　　■M12
□F10T(JIS B1186)　■S10T 認定番号（MELT-0118 同等品）　■F8T 認定番号（MELT-0119 同等品）　（■M16、■M20、□M22、□M24）
■ボルト(JIS B1180)　M　　M　　■ 4.8(4T)　□
■アンカーボルト（構造用アンカーボルト）
■SS400　M12　L＝図示　mm　ナット（□シングル、■ダブル）
■ABR400　M16　L＝図示　mm　ナット（□シングル、■ダブル）（JIS B 1220）
■SNR400B　M16　L＝400　mm　ナット（□シングル、■ダブル）
□頭付スタッドボルト
φ＝　　L＝　　mm　使用箇所（□柱　□大梁　□小梁）
φ＝　　L＝　　mm　使用箇所（□柱　□大梁　□小梁）

（６）屋根、床、壁

材種	型式 厚 その他	使用箇所	仕様・構法
ALC　（JIS A 5416）	厚	□壁　□床版	□スライド　□ボルト止め □ロッキング　□
折　版	H= 厚	□屋根 □	□
特殊デッキプレート（JIS G 3352）	型式 厚	□床版 □	□
デッキプレート　（JIS G 3352）	型式 厚	□床版 □	□
キーストンプレート（JIS G 3352）	型式 厚	□床版 □	□

（準拠指針、基準等）
・建築基準法、同施行令、告示等
・建築物の構造関係技術基準解説書（2020年版）
・日本建築学会各種規準・指針

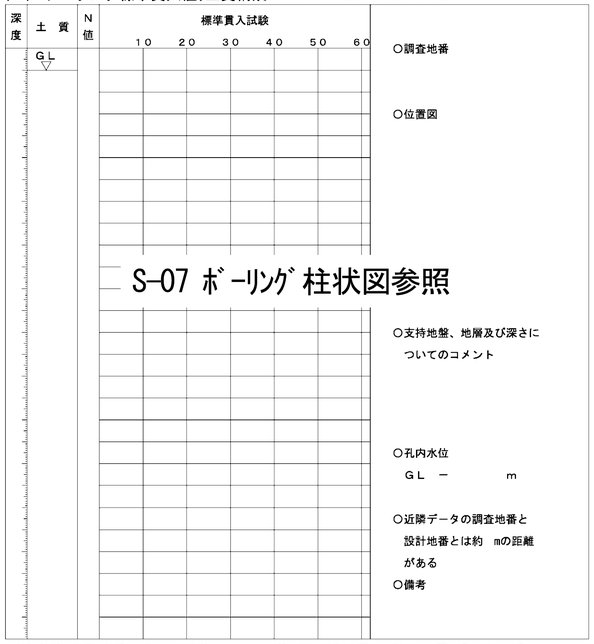
３．地　盤

（１）地盤調査資料と調査計画
■有　（■敷地内　□近隣）　　□無　（調査計画　□有　□無）

調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査	○		静的貫入試験			標準貫入試験	○	
水平地盤反力係数の測定			土質試験	○		物理探査		
試験堀（支持層の確認）			平板載荷試験			液状化判定	○	
スエーデン式サウンディング			現場透水試験			ＰＳ検層		

注）上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。

（２）ボーリング標準貫入値、土質構成　（基礎・杭の位置を明記すること）



注）地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

４．地業工事

（１）直接基礎　□ベタ基礎　□布基礎　■独立基礎　　試験堀　□有 ■無
深さ　GL－　1.5 m、支持層－シルト質細砂層、長期許容支持力度　500 kN/m²　　載荷試験　□有 ■無
（２）地盤改良　□浅層混合処理工法　□深層混合処理工法　□　　固結シルト層
深さ　GL－　m、長期許容支持力度　kN/m²　　載荷試験　□有 □無
注）「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針：日本建築センター2002」を参考とする
（３）杭基礎　支持層－

杭種	材料	施工法	備考
□RC　□PRC	PRC(□Ⅰ種 □Ⅱ種 □Ⅲ種)	□打ち込み	
□PHC　□H鋼	PHC(□A種　□B種　□C種)	□埋込み　（セメントミルク工法）	
□鋼管　□摩擦杭	鋼材　□SS400 □SKK400	□	認定第　号
□SC杭　□	□JIS	□	年　月　日
□場所打ち コンクリート杭	コンクリートFc　N/mm² Fq　N/mm² スランプ　cm以下 セメント量　kg/m³ 単位水量　kg/m³ 鉄　筋　主筋 SD HOOP SD	□オールケーシング　□拡底杭 □リバースサーキュレーション □アースドリル　□ミニアース □ＢＨ　□深礎　（□手掘 □機械掘）	認定 第　号 年　月　日

杭仕様　□施工計画書承認　□杭施工結果報告書
試験杭　（□有・□無）　（□打ち込み・□載荷・□孔壁測定）　本

杭径(mm)	設計支持力(kN)	杭の先端の深さ(m)	本数	特記事項

５．鉄筋コンクリート工事　（施工方法等計画書）

本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度（Ｆｃ）が 27 N/mm²以下に適用し、
鉄筋の材種は SD390 以下に適用する。 また本仕様はJASS 5 (1997年版）に準拠している。
但し鉄筋の定着、継手に関する内容以外についてはJASS 5(2003年版、2009年版）を用いてもよい。

（１）コンクリート
本仕様はJASS5 1997年に準拠しているため、JASS5 2003年または2009年を適用する場合には、必要な事項を特記する。
■ コンクリートは JIS A 5308（レディーミクストコンクリート） に適合するJIS認証工場の製品とし、施工に関しては標準図に記載されている事項を除き、JASS 5 による。
■ コンクリートの耐久設計基準強度は構造物または部材の計画供用期間の級に応じて特記によるが、特記がない場合、下表による。

コンクリートの耐久設計基準強度

計画供用期間の級	耐久設計基準強度 (N/mm²)
一　級	18
■ 標　準	24
長　期	30

■コンクリートはJASS5(2009年版)に準拠する

■ セメントは、JIS R 5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
■ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
■ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
■ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（一財）国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合、１日１回以上とし、１回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。
■ 構造体コンクリートについて現場の圧縮強度試験方法はJASS 5T － 603によることとし、供試体は現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごとをとる。
また、打込み量が150 m³ を超える場合は150 m³ ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。
一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた３台の運搬車からその必要本数を採取する。
尚、供試体の数量は、特別指示なき場合は、１回当り６本以上とし、そのうち４週用に３本を用いる。
■ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さはコンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が 25 ℃未満の場合は 150 分以内、25 ℃以上の場合は 120 分以内とする。
■ コンクリート打込み中及び打込み後５日間は、コンクリートの温度が２度を下らないようにする。
■ 乾燥、振動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生を行う。

（２）鉄　筋　■加工前に鉄筋加工図、配筋図を作成し工事監理者の承認を得ること。
■ 鉄筋は JIS G 3112 の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、コンクリートと同様に、JASS 5 による。
□　高強度せん断補強筋は、JIS G 3137 に規定されるＤ種１号適合品とする。
■ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）（２）」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）（２）」による。
■ 鉄筋継手等

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級 (1) 引張力最小部位	(2) (1)以外の部位(注) A級	B級	SA級	鉄筋の径
■ 重ね継手	■ 40d □35d □(　)d				■ D（16）以下
■ 圧接継手	■ 告示1463号第2項各号	■			■ D（19）以上
□ 溶接継手	□ 告示1463号第3項各号	□	□		□ D（　）以上
□ 機械式継手	□ 告示1463号第4項各号	□	□	□	□ D（　）以上

注）(1)以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって『鉄筋継手使用基準（建築物の構造関係技術基準解説書 2007）』によって検討した部材の条件・仕様によること。
■ D19 未満は、すべて重ね継手とする。
■ 継手部分の施工要領は 公社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」（ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事）による。（外観検査は第三者試験機関による全数検査とする。）
継手部の検査方法：・外観検査　■有　□無　・引張試験　□有　■無　・超音波探傷試験　■有　□無
ガス圧接部分の検査を超音波探傷試験によって行う場合、上記の標準仕様書の記載にかかわらず、最初の数ロットについては引張試験も併用し、１回の試験は５本以上とする。
（１ロットは同一作業班が同一日に作業した圧接箇所で 200 箇所程度とする）
■ 柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、□Ｈ型（タガ型）　■W型（溶接型）　□Ｓ型（スパイラル型）とする。
■ コンクリート及び鉄筋の試験は『建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱』第４条の試験機関で行うこと。　「公的機関、または経済産業大臣が認定した試験事業者」
試験・検査機関名　決定後速やかに報告すること。　（都知事登録　　号）
代行業者名　決定後速やかに報告すること。
代行業者とは、試験・検査に伴う業務を代行するものを言う。

（３）型　枠
■ 材料　　合板厚 12 mm を標準とする。　■ 施工　　JASS 5 による。
■ 型枠存置期間　　昭和46年建設省告示第110号（昭和63年改正建設省告示第1655号）

種類 / 部位 / セメントの種類 / 存置期間中の平均気温	せき板 基礎、はり側、柱、壁 早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント / 高炉セメントA種 / シリカセメントA種	せき板 スラブ下、はり下 早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント / 高炉セメントA種 / シリカセメントA種	支柱 スラブ下 早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント / 高炉セメントA種 / シリカセメントA種	支柱 はり下 早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント / 高炉セメントA種 / シリカセメントA種
コンクリートの材令（日） 15℃以上	2	3	4	6	8	17	28	
5℃～15℃	3	5	6	10	12	25	28	
5℃未満	5	8	10	16	15	28	28	
コンクリートの圧縮強度	※ 5.0N/mm²		設計基準強度の50%		設計基準強度の 85%		100%	

※　JASS 5 では普通コンクリートの場合、計画供用期間の級が短期および標準の場合は５ N/mm²以上、長期および超長期の場合は、10 N/mm² 以上に達したことが確認されるまでとする。
注）１　片持ばり、庇、スパン９．０m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注）２　大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注）３　支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注）４　盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注）５　支柱の盛りかえは、小ばりが終ってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注）６　上記以外のセメントを使用する場合は、JASS 5 によるものとし、工事監理者の承認による。
注）７　直上階に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱（大梁の支柱を除く）の盛りかえを行わないこと。
注）８　支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。
注）９　支保工の存置期間は、スラブ下・梁下とも設計基準強度の100%以上のコンクリートの圧縮強度が得られたことが確認されるまでとする。ただし、梁下については、施工上荷重が大きく作用することが考えられるため100%以上の圧縮強度が得られたとしても、施工時の検討を行い存置期間を定めること。

６．鉄骨工事　（施工方法等計画書）

（１）鉄骨工事は指示のない限り下記による
■ 日本建築学会「ＪＡＳＳ６」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
■ 一社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
■ 鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」
（２）工事監理者の承認を必要とするもの
■製作工場　　■製作要領書　　■工作図　　■施工計画書
■認定または登録工場（大臣認定　S　H　Ⓜ　R　J　グレード以上都登録　T1　T2　T3　ランク）
■材料規格証明書※、または試験成績書
■鋼材　　■高力ボルト　　■特殊ボルト　　□頭付スタッド
※一社）日本鋼構造協会「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法、またはミルシート。
■社内検査表　　□　　□
（３）工事監理者が行う検査項目
（■印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
□現寸検査　　□組立・開先検査　　■製品検査　　■建方検査　　□
（４）接合部の溶接は下記によること
■ 平成12年建設省告示第1464号第二号 イ、ロ
□ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱
■ 日本建築学会「溶接工作規準、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
■ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針　工事現場施工編」
（５）接合部の検査
■　溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数 工場自主検査	第三者受入検査	工事監理者	備考
■完全溶込み溶接部（突合せ溶接）	外観検査（※）	100 % 個	30 % 個	30 % 個	※平成12年建設省告示第1464号第二号による（目視及び計測）
□	超音波探傷検査	100 % 個	30 % 個	30 % 個	
	内質検査(注) □硬さ試験	% 個	% 個	% 個	(注) 東京都の要綱に基づき必要となる建築物の場合に実施する
	内質検査(注) □示温塗料塗布	% 個	% 個	% 個	
	マクロ試験・その他	個	個	個	
■隅肉溶接部	外観検査（※）	100 % 個	30 % 個	30 % 個	
第三者検査機関名	決定後速やかに報告すること。	（都知事登録　　号）			

第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注１）現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと
注２）知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主等等に報告すること
■ 高力ボルトの検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）■ 全数検査
軸力導入試験　□ 要　■ 否　　高力ボルトすべり係数試験　□ 要　■ 否
■ 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、共回り等の異常が無いことを確認する。
■ トルシヤ形高力ボルトは二次締め後、ピンテールが破断していることを確認する。
（６）防錆塗装　■ 溶融亜鉛メッキHDZ55 （外階段・設備器機架台鉄骨）
■ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
錆止めのペイントは、□JIS K 5621、□JIS K 5625、■JIS K 5674、□　　を使用して、
フォースター（F☆☆☆☆） 2 回塗りを標準とするが、実状に応じて決定すること。
■ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し、2 回塗りとする。
（７）耐火被覆の材料
□ 吹付ロックウール材

７．設備関係

■ 建築設備の構造および構造体への緊結部分は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
■ 建築設備の支持構造部および緊結金物には、錆止め等、防腐のための有効な措置を講じること。
■ 建築物に設ける屋上からの突出する水槽・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること。
□ 煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを５ｃｍ以上とした鉄筋コンクリート造とすること。
■ 設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。また、地震力等に対して適切に支持されていること。
■ 設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
■ エレベーター・エスカレーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
また、地震時の層間変形に追従できること。
■ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。
■ 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの１／３以下とし管の間隔を管径の３倍以上かつ５ｃｍ以上を原則とする。

８．その他

■ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
■ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
■ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

備考

令第129条の２の４の事項
建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
■ 建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食または腐れのおそれがないものとすること。
■ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部または建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
□ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支柱を設けたものを除き、90cm以下とすること。
□ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
■ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
■ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
■ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
■ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手または可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
■ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の振動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
■ 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあっては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。

一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1: - A3　1: -	長南町役場庁舎建設工事	S－01
		図面名称 構造設計特記仕様	

平成２６年４月１日　発行　一般社団法人　東京都建築士事務所協会　　監修　東京都建築構造行政連絡会

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

※修正箇所は下線を引くこと

１．一般事項

（１）構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

（２）記号

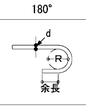
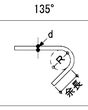
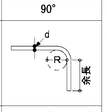
d･･･異形棒鋼の呼び名に用いた数値　丸鋼では径　D･･･部材の成　R･･･直径

@･･･間隔　r･･･半径　℄･･･中心線　ℓo･･･部分間の内法距離　ｈｏ･･･部材間の内法高さ

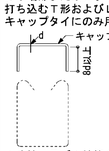
ＳＴ･･･あばら筋　ＨＯＯＰ･･･帯筋　Ｓ．ＨＯＯＰ･･･補強帯筋　φ･･･直径又は丸鋼

２．鉄筋加工、かぶり

（１）鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(*4d以上)	8d以上(*4d以上)

折まげ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むＴ形およびＬ形梁のキャップタイにのみ用いる。



＊片持スラブ上端筋の先端

折曲げ内法寸法Ｒは、ＳＲ235～ＳＤ345の径16およびＤ16以下は3d以上、ＳＤ295～ＳＤ345のＤ19～Ｄ38は4d以上、Ｄ41およびＳＤ390は5d以上。スラブ筋、壁筋には丸鋼は使用しない。

（２）鉄筋中間部の折曲げ形状　鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内のり寸法（R）
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	ＳＲ235、ＳＲ295 ＳＤ295Ａ・Ｂ ＳＤ345	16φ Ｄ16　以下	3d以上
			19φ Ｄ19　以上	4d以上
	上記以外の鉄筋	ＳＤ295Ａ・Ｂ ＳＤ345 ＳＤ390	Ｄ16　以下	4d以上
			Ｄ19～Ｄ25	6d以上
			Ｄ29～Ｄ41	8d以上

（３）鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲（N/㎟）	定着の長さ 一般（Ｌ2）	定着の長さ 下端筋（Ｌa） 小梁	定着の長さ 下端筋（Ｌa） スラブ	特別の定着及び重ね継手の長さ（Ｌ1）
ＳＲ235	21,24	35d フック付き	25d フック付き	150mmフック付き	35d フック付き
	18以下	45d フック付き			45d フック付き
ＳＤ295A ＳＤ295B ＳＤ345	~~27～36~~	~~30d または 20dフック付き~~	~~25d または 15d フック付き~~	~~10d かつ 150mm以上~~	~~35dまたは25dフック付き~~
	21,24,~~27~~	35d または 25dフック付き			40dまたは30dフック付き
	18以下	40d または 30dフック付き			45dまたは35dフック付き
ＳＤ390	27～36	35d または 25dフック付き			40dまたは30dフック付き
	21,24	40d または 30dフック付き			45dまたは35dフック付き

［注］許容応力度計算、許容応力度等計算、その他構造計算を要さない小規模建築物の場合は、梁主筋の柱への定着は 40d とする

継　手

1．末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない

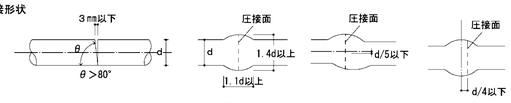
2．継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする

3．直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする

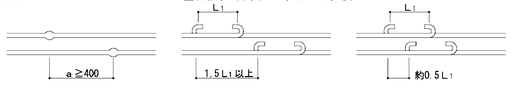
4．Ｄ 29 以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない

5．鉄筋径の差が 7 ㎜を超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状



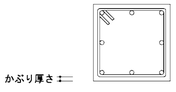
圧接継手



重ね継手（下図のいずれかとする）

（４）かぶり厚さ　（単位：mm）

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最少かぶり厚さを確保する。



部位			設計かぶり厚さ(mm)	最少かぶり厚さ(mm)
土に接しない部分	屋根スラブ・床スラブ・非耐力壁	屋内	30	20
		屋外	40(1)	30(20)
	柱・はり・耐力壁	屋内	40	30
		屋外	50(2)	40(1)(30)
	擁壁		50(3)	40
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁		50	40(4)
	基礎・擁壁		70	60(4)

［注］~~(1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承諾を受けて30mmとすることができる。~~

~~(2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承諾を受けて40mmとすることができる。~~

~~(3) コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。~~

(4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。

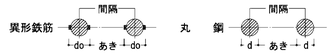
(5) (　) 内は仕上げがある場合。

(6) 土に接する部分のかぶりは増加する厚さを打ち増しとする。

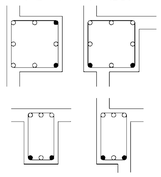
（５）鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上

粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上



図の● 印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要



（６）鉄筋のフック（a～fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける）

a．丸鋼　　b．あばら筋、帯筋、および幅止メ筋

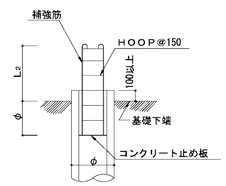
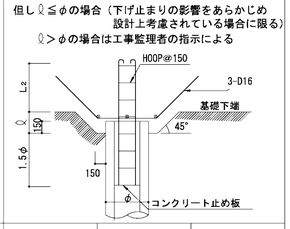
c．煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）

d．柱、梁（基礎梁は除く）の出すみ部分及び下端の両端にある場合の鉄筋（右図参照）

e．単純梁の下端筋　　f．その他、本配筋標準に記載する箇所

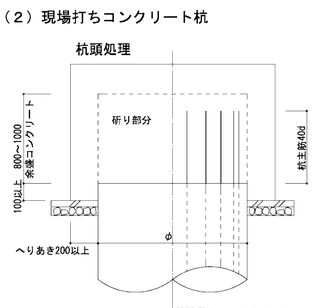
３．杭　（地震力等の水平力を考慮して、別途検討すること。）

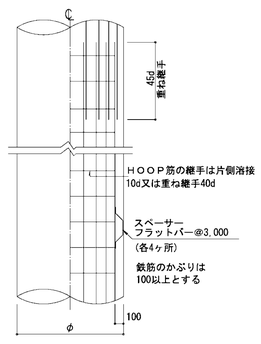
（１）ＰＲＣ杭、又はＰＨＣ杭の全てに補強を行う

所定の位置に止まった場合			所定より低く止まった場合		
					
杭　径	300φ、350φ	400φ	450φ	500φ	600φ
補強筋	6－D13	8－D13	10－D13	8－D16	10－D16
HOOP	D10-@150				

（２）現場打ちコンクリート杭

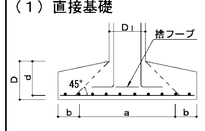
杭頭処理



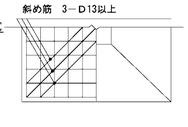


４．基　礎

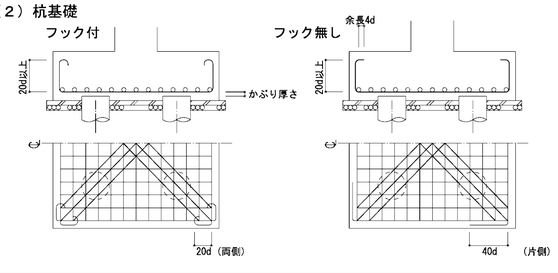
（１）直接基礎



ベース筋
a＝D1＋2dの範囲
主筋間隔は200以下
bの範囲
主筋間隔の1.5倍かつ300以下

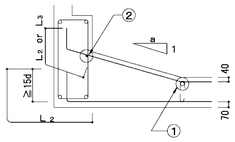


（２）杭基礎



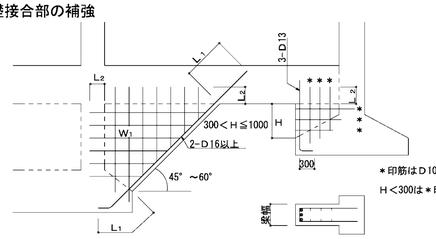
（３）べた基礎

ハンチを付けた場合（ａ≧3）



1．耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう
　但し上筋と下筋を読みかえる
2．①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
3．②の鉄筋はＤ13以上
4．埋戻し土のある場合は40を70とする

（４）基礎接合部の補強



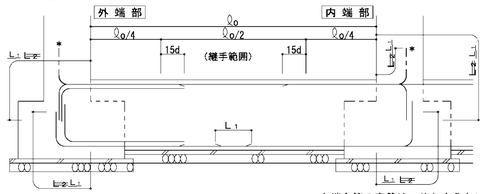
＊印はＤ10-@200とする
H＜300は＊印筋は不要とする

W1の三角壁厚さは、200以上又は地中梁幅とし、
配筋は同厚の壁リストにならう

５．地中梁

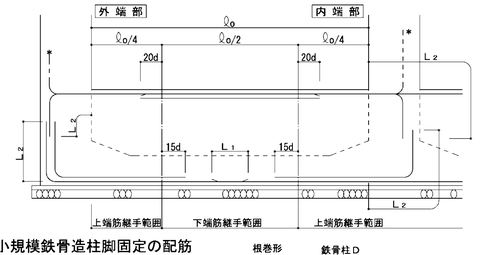
（１）独立基礎、杭基礎の場合（定着、継手）

（長期荷重が支配的な場合の継手は7．(2)大梁継手位置とする）

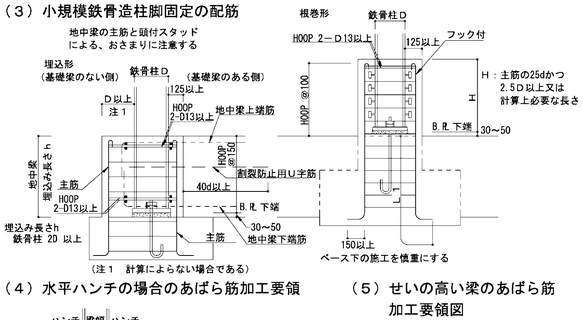


＊上端主筋の定着は、やむをえない場合、上向きとすることができる

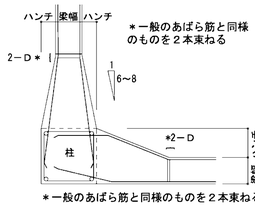
（２）布基礎、べた基礎の場合（定着、継手）



（３）小規模鉄骨造柱脚固定の配筋

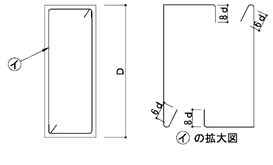


（４）水平ハンチの場合のあばら筋加工要領



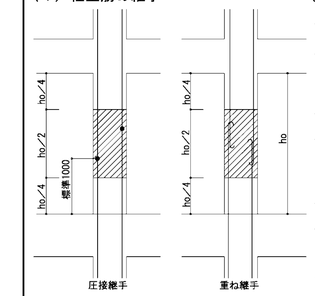
＊一般のあばら筋と同様のものを２本束ねる

（５）せいの高い梁のあばら筋加工要領図



６．柱

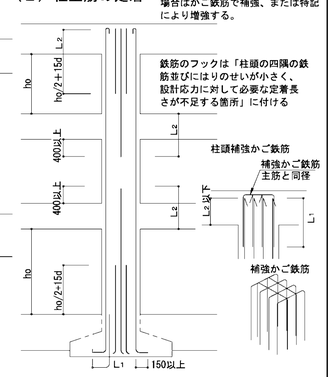
（１）柱主筋の継手



［注］　SA級、A級継手を使用する場合の継手位置は特記による。

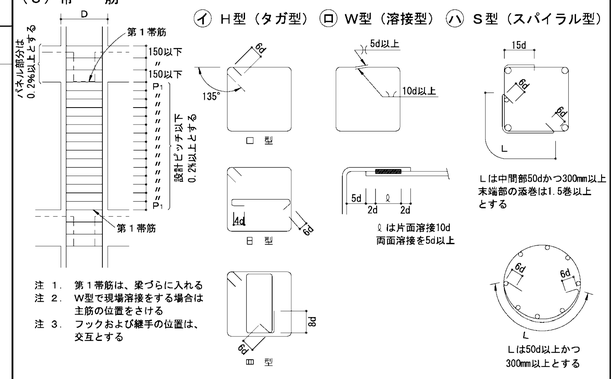
（２）柱主筋の定着

柱、梁の定着L2以上が確保されない場合はかご鉄筋で補強、または特記により増強する。



（３）帯　筋

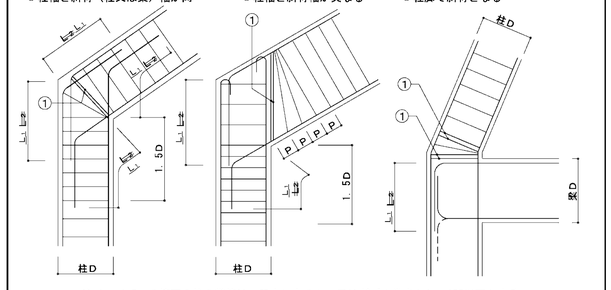
イ　Ｈ型（タガ型）　ロ　Ｗ型（溶接型）　ハ　Ｓ型（スパイラル型）



注 1．　第１帯筋は、梁づらに入れる
注 2．　W型で現場溶接をする場合は主筋の位置をさける
注 3．　フックおよび継手の位置は、交互とする

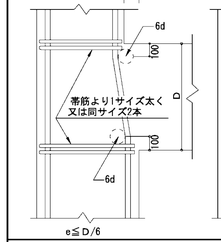
（４）斜め柱・斜め梁

○柱幅と斜（柱又は梁）幅が同一　　○柱幅と斜材幅が異なる　　○柱脚で斜材となる

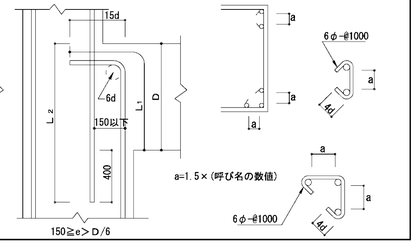


注 1．　1.5Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、又はダブル巻きとし@100以下とする
注 2．　①の鉄筋は2-D13かつ、2本の一段太い鉄筋とする

（５）絞り



（６）二段筋の保持



一級建築士登録　　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和　3年　月	A1　1:－ A3　1:－	図面名称	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）	S－02

平成２６年４月１日　発行　一般社団法人　東京都建築士事務所協会　　監修　東京都建築構造行政連絡会

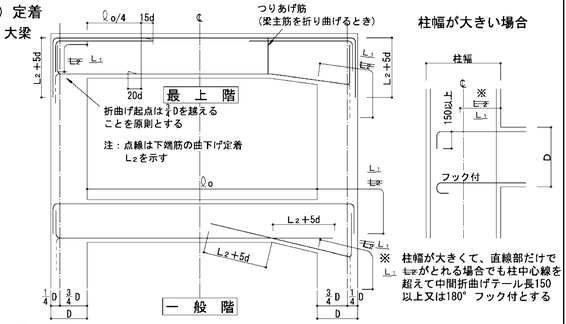
鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）

※修正箇所は下線を引くこと
Ｌ＝本構造配筋標準図(1)の2-(3) による。

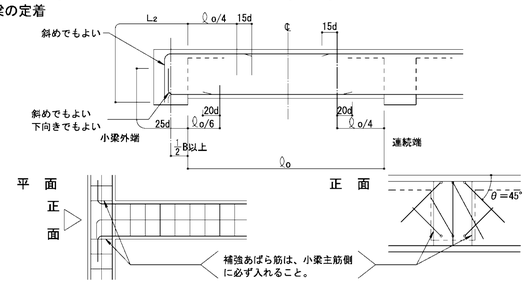
７．大梁、小梁、片持梁

（１）定着

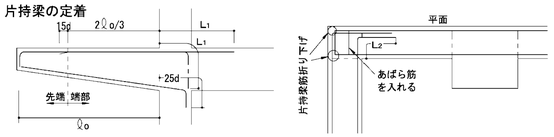
ⓐ 大梁



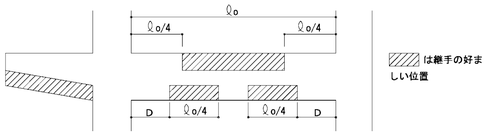
ⓑ 小梁の定着



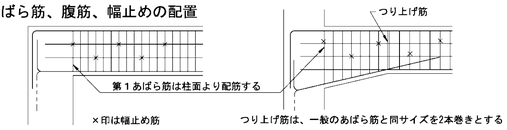
ⓒ 片持梁の定着



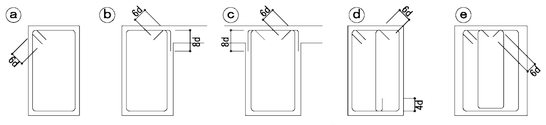
（２）大梁主筋の継手　（SA級、A級継手を使用する場合の継手位置は特記による）



（３）あばら筋、腹筋、幅止めの配置



（４）あばら筋の型　（注、床版がない場合は135° 以上のフックとする）

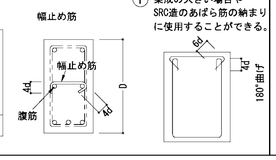


（イ）原則として ⓐ のフック先曲とする。片側床版付(Ｌ型)梁で ⓑ 、両側床版付(Ｔ型)梁で ⓒ 又は ⓑ とすることができる。

（ロ）フックの位置は ⓐ にあっては交互、ⓑ にあってはスラブ付側とする。

（５）幅止め筋の本数、加工

腹筋	Ｄ＜600	不要
	600≦Ｄ＜900	2－Ｄ10(9φ)　1段
	900≦Ｄ＜1200	4－Ｄ10(9φ)　2段
	1200≦Ｄ	Ｄ10(9φ)@300以内
幅止め筋	Ｄ10(9φ)@1000以内で割り付ける	

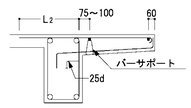


ⓕ 梁成の大きい場合やSRC造のあばら筋の納まりに使用することができる。

８．床　板

（１）定着および継手

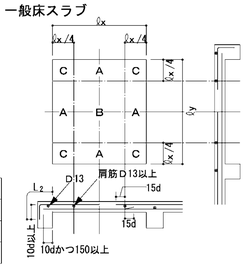
ⓐ 片持床スラブ



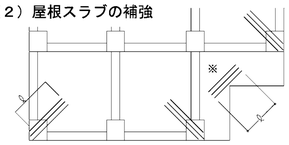
継手位置は原則として下表による。

		標準継手位置
上端筋	短辺方向	B
	長辺方向	B
下端筋	短辺・長辺方向	Ａ Ｃ

ⓑ 一般床スラブ



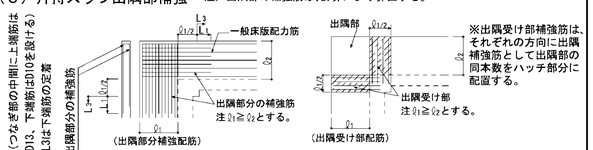
（２）屋根スラブの補強



ⓐ補強筋は各３－Ｄ１３又はスラブ主筋の同一径で ℓ =1,500とし、上端筋の下に配筋する

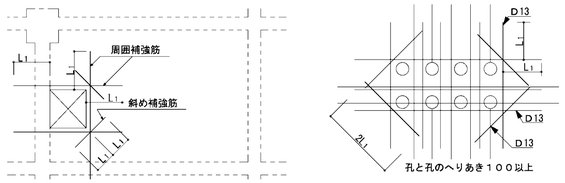
ⓑ※の個所（入隅）は各階補強する

（３）片持スラブ出隅部補強　注）出隅部の補強筋は、計算により算出する。



※出隅受け部補強筋は、それぞれの方向に出隅補強筋として出隅部の同本数をハッチ部分に配置する。

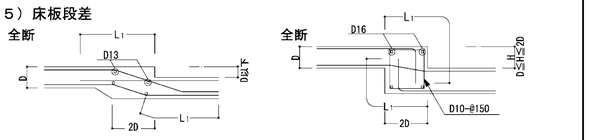
（４）床板開口部の補強　（開口の径５００程度の場合）



床板厚さＤ	周囲	斜め
Ｄ≦１５０	各2－Ｄ１３	各1－Ｄ１３
１５０＜Ｄ≦２００	各2－Ｄ１３	各2－Ｄ１３
２００＜Ｄ≦３００	各2－Ｄ１９	各2－Ｄ１６

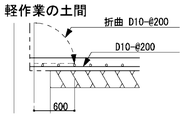
注）設備の小開口が連続してあく場合は縦、横、斜補強筋とは別に開口によって切断される鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。

（５）床板段差

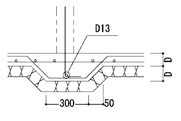


（６）土間コンクリート

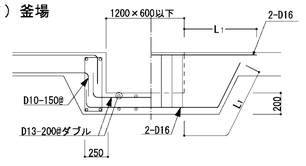
ⓐ 軽作業の土間



ⓑ 間仕切壁との交叉部



（７）釜場



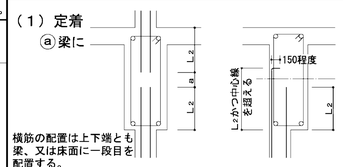
（８）打継ぎ補強(ダメ穴打断面について)

- 設計配筋間隔の1/2ピッチ　長さ２×Ｌ1以上
- 無筋部分D10-@200　長さ800以上

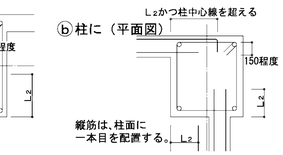
９．壁

（１）定着

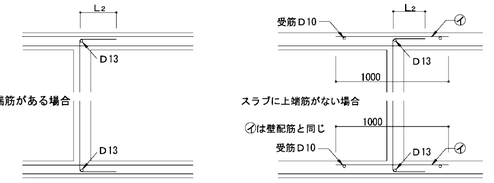
ⓐ 梁に



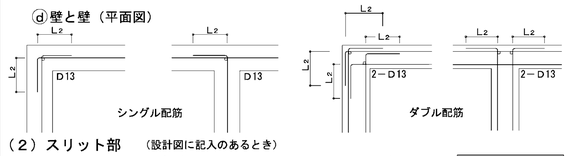
ⓑ 柱に（平面図）



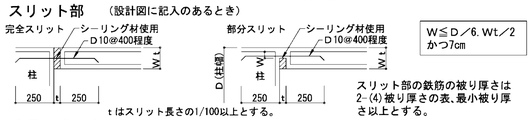
ⓒ 床に　（非耐力壁とスラブが取り合う場合）



ⓓ 壁と壁（平面図）



（２）スリット部　（設計図に記入のあるとき）

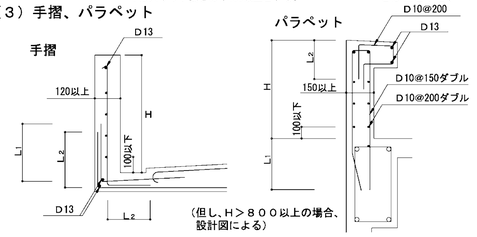


W≦Ｄ／6, Wt／2 かつ7cm

tはスリット長さのl/100以上とする。

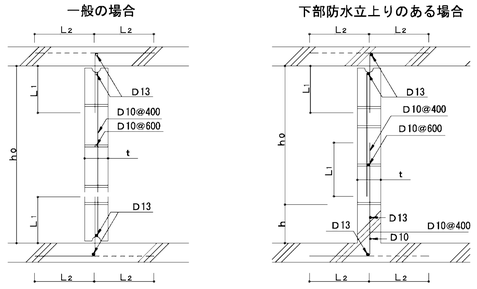
スリット部の鉄筋の被り厚さは2-(4)被り厚さの表、最小被り厚さ以上とする。

（３）手摺、パラペット



（但し、H＞８００以上の場合、設計図による）

（４）コンクリートブロック帳壁



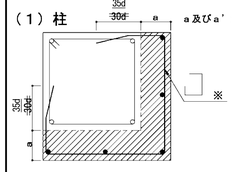
注）ｈo≦25ｔかつ3500以下とする。但し直交方向25ｔ以内に壁、又は柱がある場合は除く

注）ｈはコンクリートブロック段数調整寸法とする。但し、200≦ｈ≦400

注）継手部は必ずモルタルを充填すること

10．柱、梁増打コンクリート補強　（増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打合せのこと）

（１）柱



ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

ハッチ部分の面積Ａ ㎠

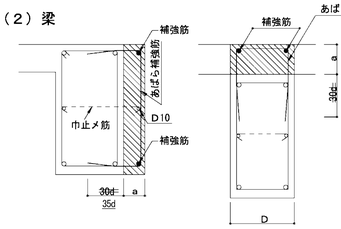
補強タテ筋

Ａ＜500	500≦Ａ＜1000	1000≦Ａ＜1500
3－D16	4－D16	6－D16

●印は補強筋

※柱HOOPと同径、同ピッチとする。

（２）梁

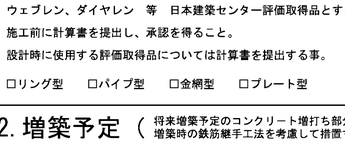


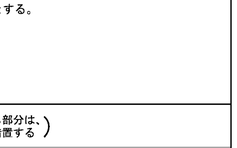
- 補強筋は、梁主筋の１段落し径（Ｄ１６以上）とする。
- あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。
- 腹筋Ｄ10ピッチは、梁の腹筋と合せる。
- Ｄ≧400の場合は補強筋を３本とする。
- ａは100～200程度。
- 梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
- ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

11．梁貫通孔補強　（開口補強筋については計算により確認すること）

（１）設置可能範囲

梁端部（スパンℓo／１０以内かつ２Ｄ以内）は原則として避ける





貫通孔が連続して間隔等が取れない場合は設計者又は工事監理者と打合せのこと。

（２）鉄筋標準配筋　　但しφ≦Ｄ／3とする

80≦φ≦100	100＜φ≦150	150＜φ≦250
折　筋　2-(2-D13)	折　筋　2-(2-D13)	斜　筋　4-(2-D13)
縦　筋　ST 2-D13	縦　筋　ST 2-D13 @50	縦　筋　ST 2-D13 @50
	横　筋　2-(2-D13)	横　筋　2-(2-D13)
	上下縦筋　ST 2-D13 @50	上下縦筋　ST 2-D13 @50

※部分について計算で確認された場合は左記の位置、寸法によらなくて良い。

（３）既製品　（使用する際には、設計者又は工事監理者と打合せのこと）

ウェブレン、ダイヤレン　等　日本建築センター評価取得品とする。

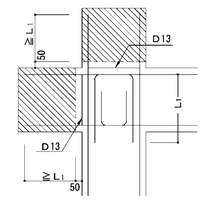
施工前に計算書を提出し、承認を得ること。

設計時に使用する評価取得品については計算書を提出する事。

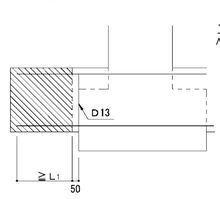
□リング型　□パイプ型　□金網型　□プレート型

12. 増築予定　（将来増築予定のコンクリート増打ち部分は、増築時の鉄筋継手工法を考慮して措置する）

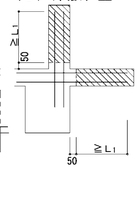
（１）柱、梁



（２）地中梁



（３）床版、壁



一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和　3年　月	A1　1:－ A3　1:－	図面名称	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）	Ｓ－０３

鉄 骨 構 造 標 準 図（１）

※修正箇所は下線を引くこと

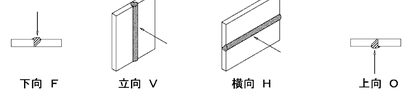
１．一般事項

（１）材料及び検査
(a) 構造設計特記仕様による
(b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
　但し、ベースプレートの厚さは除く
(c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法・精度及びその他の結果を添付する

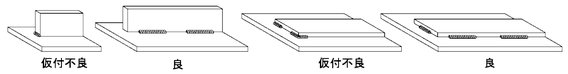
（２）工作一般
(a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
(b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
(c) 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする

（３）高力ボルト接合
(a) 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
(b) 高力ボルトの摩擦面の処理は黒皮などを座金外径２倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態であること。但し、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面荒さが、50μmRz以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。
(c) 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するよう注意して行う。

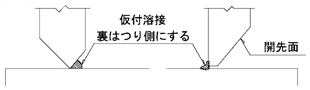
（４）溶接接合
(a) 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロによる、溶接部の性能、溶着金属の性能を満足すること。
(b) 溶接技能者
　溶接技能者は施工する溶接に適応するJISZ3801(手溶接)又はJISZ3841(半自動溶接)
　の溶接術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
(c) 溶接機器
　(イ) 交流アーク溶接機 300A～500A　　(ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
　(ロ) アークエアーガウジング機(直流)　　(ホ) 溶接電流を測定する電流計
　(ハ) サブマージアーク溶接機一式　　(ヘ) 溶接棒乾燥器
(d) 溶接方法
　アーク手溶接（ＭＣ）　　ガスシールドアーク半自動溶接（ＧＣ）
　セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(ＮＧＣ)　　アークエアーガウジング（ＡＡＧ）
(e) 溶接姿勢



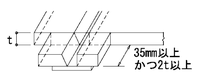
(f) 組立溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
　(イ) 仮付位置
　組立溶接は溶接の始,終端,隅角部など強度上,工作上,問題となり易い箇所は避ける



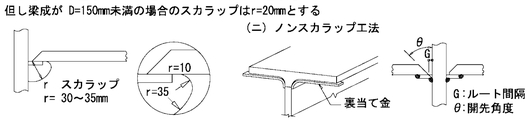
　(ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



(g) 溶接施工
　(イ) エンドタブ
　　Ⅰ)完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
　　Ⅱ)エンドタブの材質は,母材と同質とする
　　Ⅲ)エンドタブの長さは、ＭＣ:35mm以上
　　ＮＧＣ,ＧＣ:40mm以上とし特記のない場合は、
　　溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、
　　グラインダー仕上げとする



　　Ⅳ)ブレス鋼板タブ、図形タブ使用については、資料を提出し設計者、又は工事監理者の承認を得る
　(ロ) 裏当て金
　　材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上、巾は25mm以上を原則とする
　　但し、溶接性能が確認できれば監理者の承認を得て変更することができる
　(ハ) スカラップ半径は30～35mmと10mmのダブルアールとする
　　但し梁成が D=150mm未満の場合のスカラップはr=20mmとする
　(ニ) ノンスカラップ工法

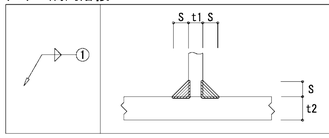


　(ホ) 裏はつり
　　規準図の溶接においてＡＡＧと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を励行し、部材に
　　確認マークを付ける
　(ヘ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部を傷めない様に養生を行う

（５） 塗 装
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

２．溶接規準図 （注）f:余盛　G:ルート間隔　R:フェース　S:脚長　（単位mm）

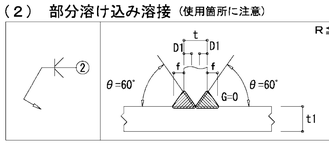
（１） 隅肉溶接



t≦16mm				
t	7以下	8～10	11～13	14～16
S	6	7	10	12

・但し片面溶接の場合はS=tとする
・tはt1,t2の小なる方とする
　余盛は(1+0.1S)mm以下とする
・軸力が加わる場合のSは母材と同厚とすることが望ましい

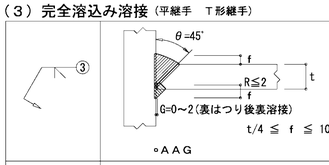
（２） 部分溶け込み溶接（使用箇所に注意）



t/4 ≦ f ≦ 10mm
t≦t1

t	t>16mm
溶接姿勢	F.V

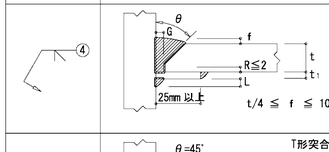
（３）完全溶込み溶接（平継手　Ｔ形継手）



t/4 ≦ f ≦ 10mm

t	6<t<19mm
溶接姿勢	F.V

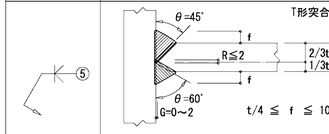
◦ＡＡＧ



t/4 ≦ f ≦ 10mm

	MC				NGC				GC			
t mm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6≦t<12	45°	6	6	5	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t<16	35°	9	9	8	45°	6	9	8	45°	6	9	8
16≦t	35°	9	9	8	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V											

◦ＡＡＧ

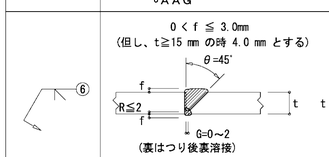


T形突合せ継手余盛
t/4 ≦ f ≦ 10mm

のど厚t mm	余盛の高さmm
t≦4	1
4<t≦12	2
12<t≦19	3
19<t	4

t	t≧19mm
溶接姿勢	F.V

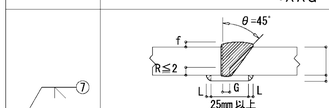
◦ＡＡＧ



0 < f ≦ 3.0mm
(但し、t≧15 mm の時 4.0 mm とする)
t2/4 ≦ a ≦ 10mm
(平継手で板厚が異なる時)

t	6<t≦19mm
溶接姿勢	F.V

◦ＡＡＧ

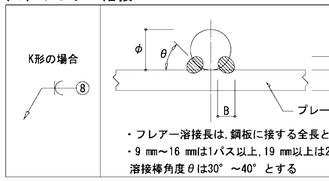


0 < f ≦ 3.0mm
(但し、t≧15 mm の時 4.0 mm とする)

	MC				GC			
t mm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6<t<12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t≦19	35°	9	9	5	45°	6	9	5
19<t	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

（４）フレアー溶接

K形の場合

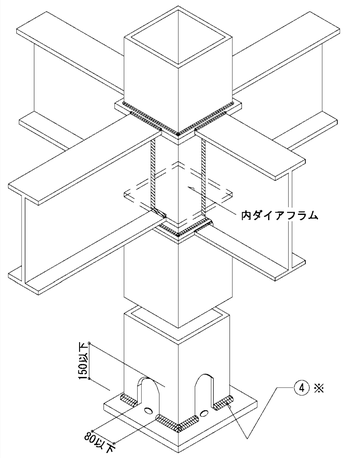


・フレアー溶接長は,鋼板に接する全長とする
・9 mm～16 mmは1パス以上,19 mm以上は2パス以上とする
溶接棒角度θは30° ～40° とする

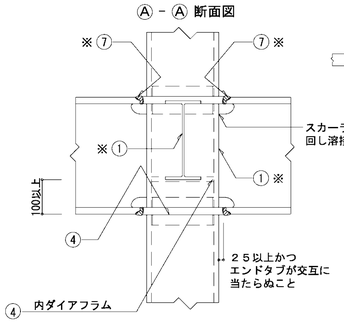
寸法 (mm)		
φ	B	S
9	7	4
13	8	4.5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

※ 溶接記号番号を○中に記入のこと

●BOX型（通しダイアフラムの場合）

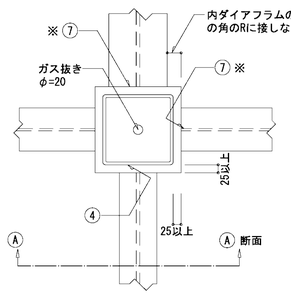


Ⓐ－Ⓐ 断面図



⑦ ※ はりフランジは、通しダイアフラムの厚み(t)の内部で溶接する事。

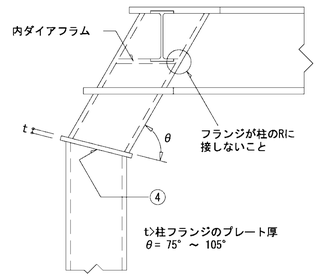
平面詳細

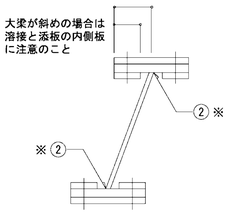


① ※ t>16 mm 場合の溶接は、②・又は③～⑤とする。

ダイアフラム厚は、接合する梁の最大厚の２サイズアップ以上とする。
< 柱材料:BCR295, BCP325を使用する場合 >
ダイアフラムは、柱フランジ厚 16 mm未満の場合 SN490C　SN490B
　　柱フランジ厚 16 mm以上の場合 SN490C　を使用する。

● 柱が途中で折れる場合
　及 梁成が異なる場合





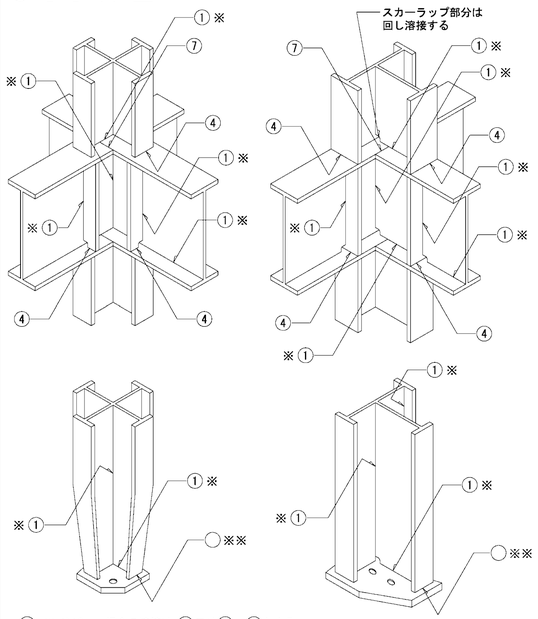
② ※ t>16 mm 場合の溶接は、③～⑤とする。

●鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶 接 材 料		入熱(KJ/cm)	パス間温度(℃)
400N級鋼	JIS Z 3211、3212、3214		40 以下	350 以下
	JIS Z 3312	YGW-11、15		
		YGW-18、19		
	JIS Z 3315	YGA-50W、50P		
490N級鋼	JIS Z 3212、3214		40 以下	350 以下
	JIS Z 3312	YGW-11、15	30 以下	250 以下
		YGW-18、19	40 以下	350 以下
	JIS Z 3315	YGA-50W、50P		

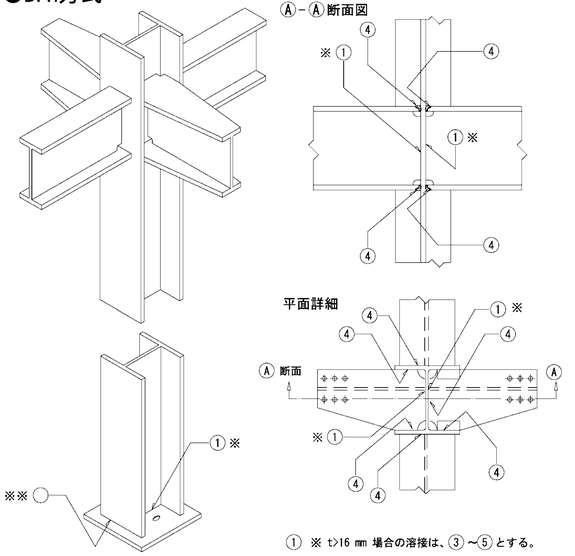
注) STKR,BCR,BCP材はJIS Z 3312、のみ使用可
「構造設計特記仕様 6.鉄骨工事(2)口認定または登録工場」のグレード別に
定められた適用範囲と溶接条件制限事項による

● ⊢⊢ 型



① ※ t>16 mm 場合の溶接は、②又は③～⑤とする。
◯ ※※ 印は設計者が記入すること。

●B.H方式



① ※ t>16 mm 場合の溶接は、③～⑤とする。

一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日　付	縮　尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図 面 番 号
令和　3年　月	A1　1:－ A3　1:－	図面名称	鉄骨構造標準図（１）	S－04

鉄 骨 構 造 標 準 図（２）

※修正箇所は下線を引くこと

３．継手規準図，その他

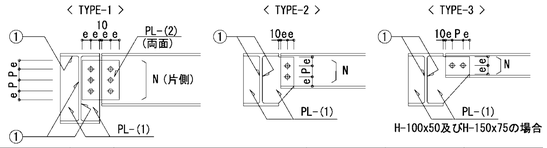
（１）高力ボルト、ボルト、アンカーボルトのピッチ (P)　ボルト穴径・最小縁端距離　(mm)

呼び径 d	ボルト穴 径	最小縁端距離 (e) (1)	(2)	(3)	(2),(3)の標準	ピッチ (P) 最小	標準
M16	18	40	28	22	40	40	60
M20	22	50	34	26	40	50	60
M22	24	55	38	28	40	55	60
M24	26	60	44	32	45	60	70
アンカーボルト・ボルト M16	21 (16.5)		28	22	(40)	(40)	(60)
M20	25 (20.5)		34	26	(40)	(50)	(60)
M22	27 (22.5)		38	28	(40)	(55)	(60)
M24	29 (24.5)		44	32	(45)	(60)	(70)
M27	32		49	36			
M30	35		54	40			
M34 以上	呼び径＋５		9d/5	4d/3			

（）内はボルトを示す

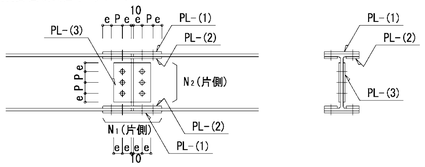
〔注〕(1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
(2) せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離
(3) 圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の縁端距離

（２）ピン接合梁継手リスト



符号	タイプ	部　材	PL-(1)	PL-(2)	N － 径
	3	H－125・60・6・8	6		2－M16
	3	H－150・75・5・7	6		2－M16
	2	H－175・90・5・8	6		2－M16
	2	H－200・100・5.5・8	6		2－M16
	2	H－250・125・6・9	6		3－M16
	2	H－300・150・6.5・9	9		3－M20
	2	H－350・175・7・11	9		4－M20
	1	H－350・175・7・11	9	6	4－M20
	2	H－400・200・8・13	9		5－M20
	1	H－400・200・8・13	9	9	4－M20

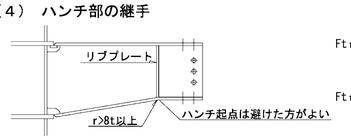
（３）剛接合梁継手リスト (SCSS-H97による)



〔注〕端部をBHとする場合の部材は設計図による

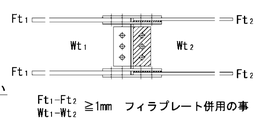
符 号	部　材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	N₁－径	ウエブ PL-(3)	N₂－径

（４） ハンチ部の継手



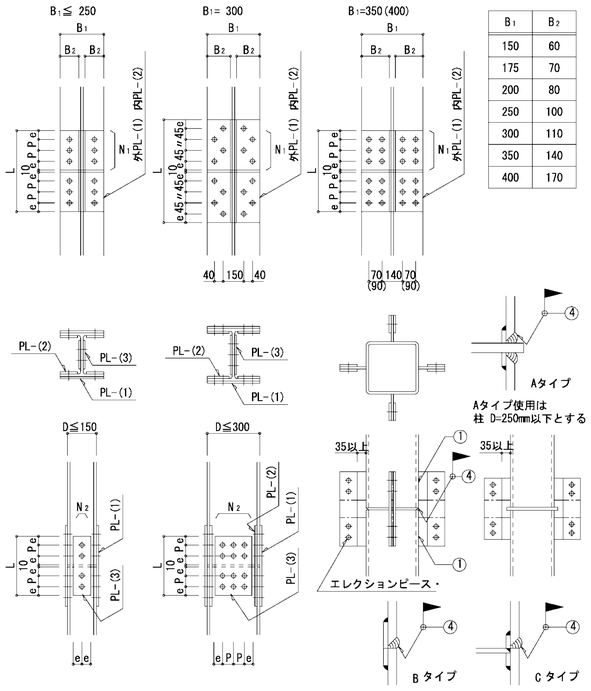
ハンチ勾配は普通1:4程度であるが構造図による
r：半径　t：板厚

フランジ及ウエブ厚の差のある場合



Ft₁－Ft₂ / Wt₁－Wt₂ ≧1mm　フィラプレート併用の事

（５）柱継手リスト



B₁	B₂
150	60
175	70
200	80
250	100
300	110
350	140
400	170

注）現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%行う

符 号	部　材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	N₁－径	ウエブ PL-(3)	N₂－径

（６）鉄筋ブレース (JIS規格品とする ･･･ JIS A 5540･･･1982/5541・5542･･･2003)

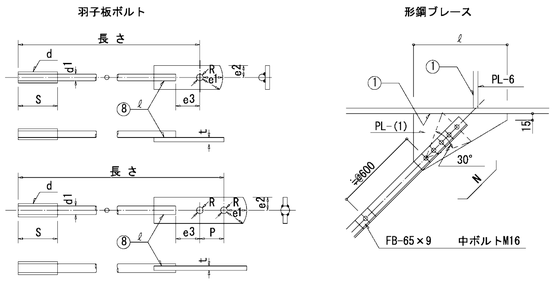
(a) 羽子板ボルト

ねじの呼び (d)			M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径 d1	最　大		10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99
	最　小		10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77
調整ねじの長さ		S	100	115	125	140	150	165	175
取付けボルト穴径 許容差 +0 , −0.5 mm		R	13.0	17.0	17.0	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき(最小)	(2)	e1	35	40	45	50	50	55	50
切板製	へりあき(最小) (1)	e2	22	28	28	34	34	38	38
	板　厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
平鋼製	へりあき(最小) (1)	e2	19.0	25.0	25.0	32.5	32.5	37.5	37.5
	板　厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴芯のあき(最小)		e3	47	52	59	66	66	73	70
溶接長さ(最小)		ℓ	40	50	55	60	75	85	85
取付ボルト (2)	種　類		JIS B 1186　2種高力ボルト(F10T)						
	ねじの呼び		M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
	本　数		1	1	1	1	1	1	2

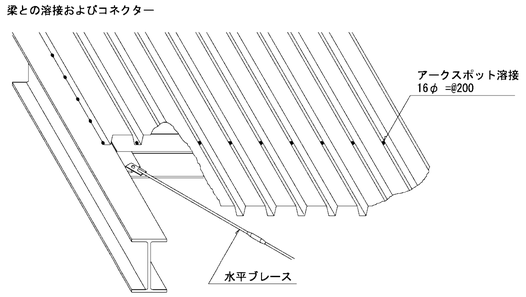
〔注〕(1) e1,e2が確保されれば形状は自由でよい
(2) 羽子板とガセットプレートの場合は表に示す取付けボルトを使用し、一面せん断(支圧)接合とする

(b) 形鋼ブレース

符 号	部　材	PL-(1)	N － 径	ℓ

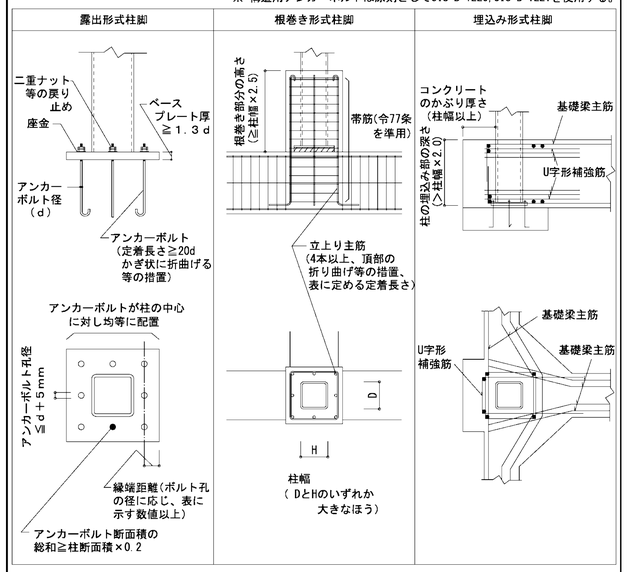


（７）デッキプレート（床剛性を考慮する合成床，合成梁のときは構造図参照）



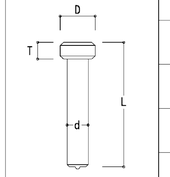
（８）柱脚

注）許容応力度計算を行わなかった場合の構造形式
※ 構造用アンカーボルトは原則としてJIS B 1220,JIS B 1221を使用する。



（９）頭付きスタッド（ JIS B 1198 ）

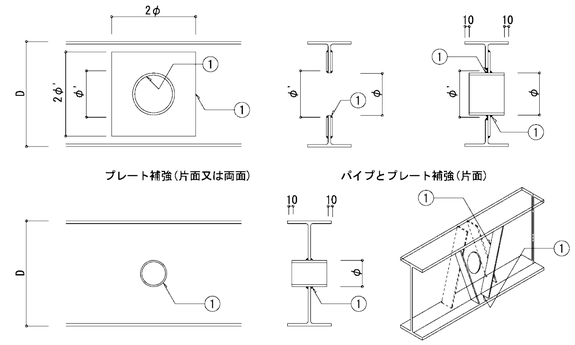
スタッド材の標準形状・寸法



呼び名	スタッド材 軸径 d mm	頭径 D mm	頭高さ T mm	溶接後の長さ L mm
φ13 mm	13.0	22.0	10.0	50 ， 80 ， 100 ， 130
	12.7	25.4	7.9	
φ16 mm	16.0	29.0	10.0	80 ， 100 ， 130
	15.8	31.7	7.9	
φ19 mm	19.0	32.0	10.0	80 ， 100 ， 130 ， 150
	19.0	31.7	9.5	
φ22 mm	22.0	35.0	10.0	100 ， 130 ， 150
	22.2	34.9	9.5	

（10）梁貫通補強

・計算で確認された場合は下図の位置，寸法及び補強方法によらなくて良い
・梁端部（内法スパン ℓo の1/10以内かつ、2D以内）は避ける
・φ≦ 0.4D
・φ'は補強板の穴径を示す



プレート補強の板厚

スリーブ径	補　強　板
φ≦ 0.15D	補強板不要
φ≦ D/4	Web板厚以上（片面）
φ≦ D/3	Web板厚x1.2倍以上（片面）
φ≦ 0.4D	Web板厚以上（両面）

一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日　付	縮　尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:－ A3　1:－	長南町役場庁舎建設工事 図面名称　鉄骨構造標準図（２）	S－05

現場打ち一体式ＰＲＣ工事特記仕様書

１．総　　則

適用範囲

本仕様書は、本工事のうち、現場打ち一体式プレストレスト鉄筋コンクリート（以下、ＰＲＣ）造について適用する。
本仕様書または設計図書に指示されていない事項は下記によること。また、これらに指示されていない事項は、監理者の指示による。

- ・建築基準法、同施行令
- ・国総研・建築研究所監修　「プレストレストコンクリート造技術基準解説及び設計・計算例」（２００９年版）
- ・日本建築学会　「プレストレストコンクリート設計施工規準・同解説」（１９９８年版）
- ・日本建築学会　「プレストレスト鉄筋コンクリート（Ⅲ種ＰＣ）構造設計・施工指針・同解説」（２００３年版）
- ・日本建築学会　「建築工事標準仕様書・同解説　ＪＡＳＳ５　鉄筋コンクリート工事」（２０１８年版）

構造方式

本構造の方式は、鉄筋コンクリート（以下、ＲＣ）部材にＰＣ鋼材を組み合せた現場打ち一体式ＰＲＣ造である。

プレストレス導入方式

プレストレス導入はポストテンション方式であり、その方式については“６．緊張”の項に示す。

ＰＣ工事施工業者

ＰＣ工事の施工については、（一社）プレストレストコンクリート建設業協会に加盟するＰＣ専業者のうち、１社の責任施工とする。

施工計画

施工の順序・方法・工程などの施工計画は工事着手前によく検討し、その計画を監理者に提出して承認を受ける。

２．材　　料

鉄筋

鉄筋は、ＪＩＳ Ｇ ３１１２（鉄筋コンクリート用棒鋼）の規格に適合するものを使用する。

ＰＣ鋼材

ＰＣ鋼材は、ＪＩＳ Ｇ ３５３６（ＰＣ鋼線及びＰＣ鋼より線）またはＪＩＳ Ｇ ３１０９（ＰＣ鋼棒）に適合し、有害なきずの無いものを使用しなければならない。

定着工法	ＶＳＬ工法
種類	ＰＣ鋼より線
記号	ＳＷＰＲ７ＢＬ
呼び名	７－１２．７φ
引張荷重	１，２８１　ｋＮ
降伏荷重	１，０９２　ｋＮ
伸び	３．５　％以上

セメント

１）セメントは、ＪＩＳ Ｒ ５２１０（ポルトランドセメント）に規定する普通ポルトランドセメントを原則とする。
２）その他のセメントを使用する場合は、監理者の指示を受けること。

混和材料

コンクリート中に表面活性剤等の混和材料を用いる場合は、その品質、使用量について監理者の指示を受けること。

３．型　　枠

組立て・取外し

１）柱・梁等、ＰＲＣ造部分の型枠については、十分な耐力を持つように留意しなければならない。
２）ＰＲＣ造部分の型枠組立て順序については、ＰＣ鋼材の配置に影響されて決定することが多いので注意しなければならない。
３）柱・梁型枠の締付けは、フォームタイ、及びボルト等により、十分強固にしなければならない。
４）ＰＲＣ造部分のサポートは、横つなぎ・筋違い等を十分に入れ、横力に対して安全な構造としなければならない。
５）ＰＲＣ造部分は、原則としてＲＣ造の扱いであるため、型枠存置期間は、ＪＡＳＳ５によること。
６）ＰＲＣ大梁に貫通孔を設ける場合には、“９．その他”の項に示す要領で計画し、事前に監理者の指示を受けること。

４．配　　筋

鉄筋

鉄筋は正確に配置し、コンクリート打設の際にくずれぬよう、強固に組み立てなければならない。

ＰＣ鋼材

ＰＣ鋼材は、下記の要領で正確に配置し、堅固に取り付けなければならない。

１）梁端の定着具は、コンクリートを打ち込む前に、型枠の内面に正確強固に取り付けること。
２）ＰＣ鋼材を露天に放置して、錆等で損傷させてはならない。
３）グラウト用孔、及び排気孔は、十分に注意して取り扱い、コンクリート打設時に損傷することのないよう細心の注意をする。
４）ＰＣ鋼材の加工・組立てを行なう場合、加熱または溶接を行なってはならない。
５）ＰＣ鋼材定着具の露出部分は、プレストレス導入後すみやかにモルタル等で完全に保護しなければならない。
６）ＰＣ鋼材の配置後、コンクリート打設に先立ち、監理者の検査を受けなければならない。

５．コンクリート

品質

１）ＰＲＣ造部分のコンクリート強度は、下記とする。

使用箇所	ＰＲＣ造部	
設計基準強度	２７	Ｎ／ｍｍ２
プレ導入時強度	２１	Ｎ／ｍｍ２

２）コンクリート強度試験用供試体の採取、及び養生は下記による。
この供試体はプレストレス導入時強度確認用に別途採取すること。
ただし、他の供試体で強度を確認できた場合は、試験を省略することができる。

	プレ導入前	予備	合計
現場養生	３本	３本	６本

・プレストレス導入時強度の確認は、現場養生（現場水中養生、または、現場封かん養生）によること。
・プレストレス導入時圧縮強度試験は、一般構造図に記載された方法と同じとする。

打設

１）ＰＣ鋼材、鉄筋、型枠、及び定着具が、移動したり損傷したりしないよう注意する。
２）ＰＣ鋼材のケーブルシース内には、セメントペーストが入ってはならない。
３）ケーブルシースには、バイブレーターが直接触れないように細心の注意を払うこと。
４）ＰＣ鋼材定着部の割裂補強筋は、コンクリート打設前に完全に配置しなければならない。
５）コンクリートの打込みは、打設場所にできる限り近づけて垂直に打ち込み、“片押し打ち”は避けなければならない。
６）原則として、ＰＲＣ造部分におけるコンクリートの打継ぎは、行なってはならない。

６．緊　　張

準備

緊張装置は、事前にキャリブレーションを行ない、常に正常な状態にあるよう管理し、コンクリートが所定の強度２１Ｎ／ｍｍ２　に達したことを確認のうえ、監理者の指示によりプレストレス導入作業を行なうこと。

順序

１）プレストレス導入順序は、ＰＲＣ大梁に対して局部的に完了せず、構造全体にわたって進めなければならない。
２）多層の建築物において、特記なき限り、ＰＲＣ大梁は直上階のコンクリート打設前にプレストレスを導入すること。

緊張力

１）現場におけるＰＣ鋼材の施工時緊張力は、下記による。

呼び名	施工時緊張力
７－１２．７φ　ＳＷＰＲ７ＢＬ	８９６　ｋＮ

２）緊張の管理は、緊張装置の圧力計（マノメーター）、及び事前に計算によって求めたＰＣ鋼材の伸び量とによって入念に行なうこと。

７．グラウチング

調合

１）グラウトの使用材料は、超低粘性プレミックスタイプ（ハイジェクター 同等品）を使用すること。
２）水粉体比は、メーカー推奨範囲とし、メーカーの示す目標コンシステンシーを確保すること。

（調合例：温度２０℃の場合）

・水	４５．０　ｋｇ
・ハイジェクター（プレミックスタイプ）	１２５．０　ｋｇ

３）その他の材料を使用する場合は、監理者と協議のうえ、決定すること。

作業

グラウチング作業は、下記の要領で行なうこと。

１）シース他端より流出するグラウトが、注入するグラウトと同じ濃度になるまで注入を続ける。
２）排出口のグラウトが、所定の濃度になったのを確認した後に排出口を閉じ、グラウトポンプの圧力をある程度上げて注入口を閉じる。
３）グラウトの注入は、原則としてグラウトが低い所から高い所に向かって侵入していくようにすること。
４）グラウトが凍結する恐れのある時期は、原則として作業を行なわない。

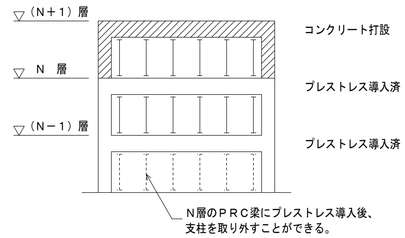
８．支　保　工

計画

ＰＲＣ大梁は、通常の大梁に比べて負担重量が大きいため、変形、耐力等を十分に検討し計画すること。

取り外し

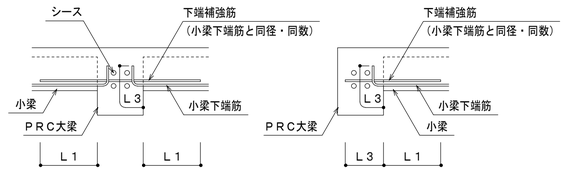
１）ＰＲＣ大梁の支保工は、プレストレスの導入が完了するまでは絶対に取り外さないこと。
２）多層の建築物では、プレストレス導入が完了した下部２層以上のＰＲＣ大梁によって、導入されていない上部１層のＰＲＣ大梁を支えることを原則とする。



９．そ　の　他

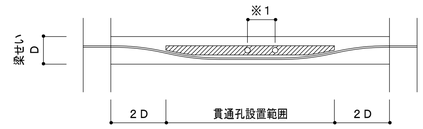
小梁配筋

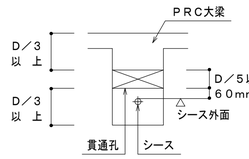
ＰＲＣ大梁に直交する小梁について、下端筋がシースにあたる場合は、下図のように配筋すること。



貫通孔配置要領

ＰＲＣ大梁に貫通孔を設ける場合は、下記の要領で計画すること。
なお、梁貫通孔位置での断面検討を行い、開口補強筋を適宜配置すること。



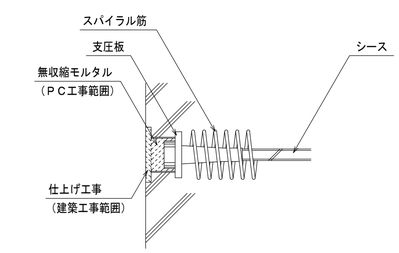


・内法スパン両端から２Ｄの範囲には貫通孔を設けない。
・貫通孔の径（φ）はＤ／５以下を原則とする。
・貫通孔の外面とシース外面は、６０ｍｍ以上離すこと。

※１　貫通孔が並列する場合、間隔は（φ１＋φ２）×１．５、かつ、梁せいＤ以上とする。

定着端部の処理

ＰＣ鋼材定着具の穴埋めについて、工事範囲は下記の通りとする。

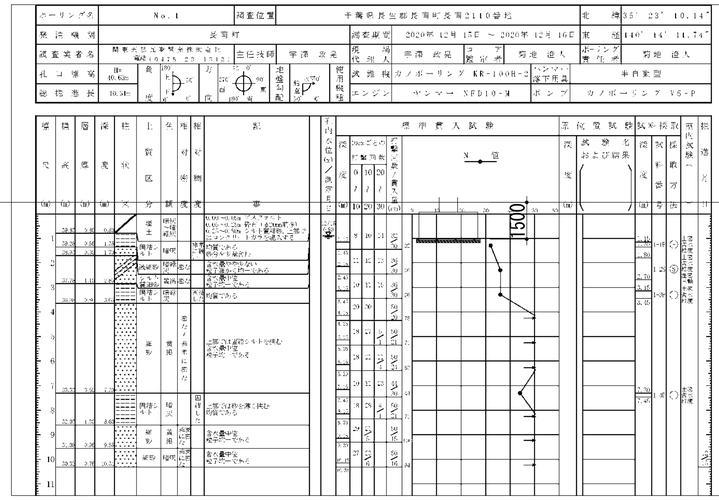


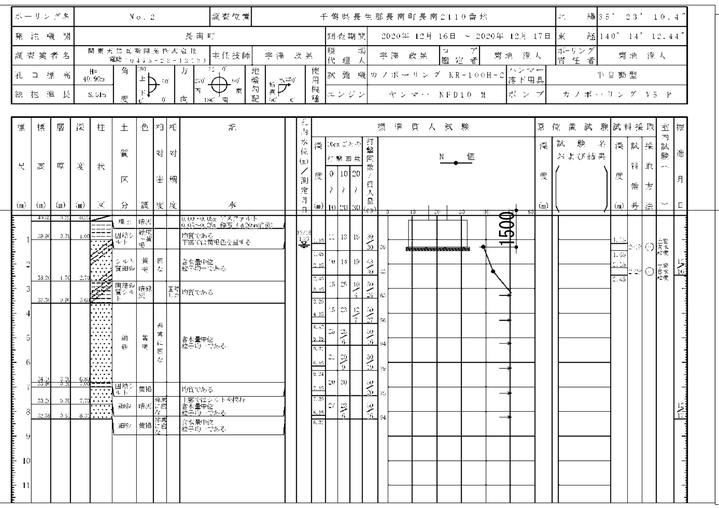
一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

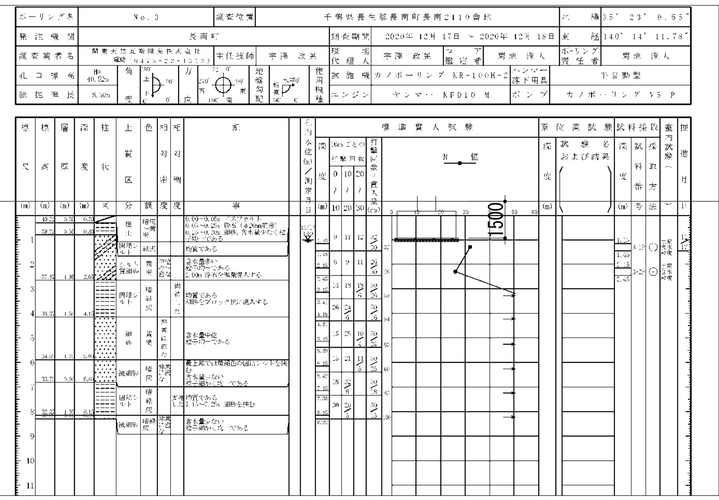
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　３年　月	A1　1:－ A3　1:－	長南町役場庁舎建設工事 図面名称：現場打ち一体式ＰＲＣ工事特記仕様書	Ｓ－０６

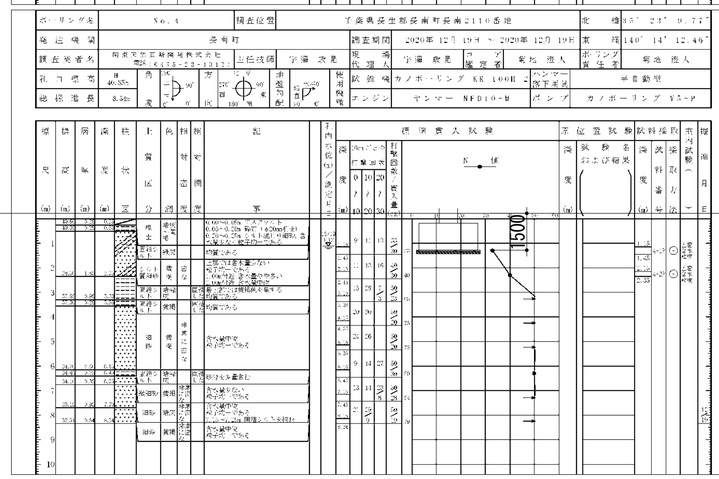
▽G.L(41.10m)

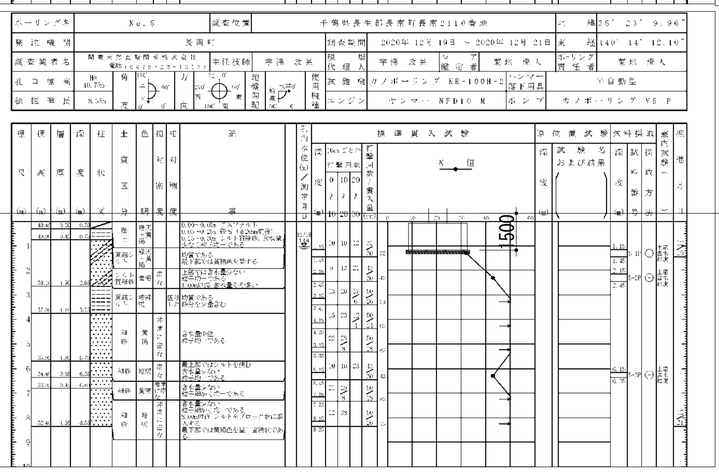


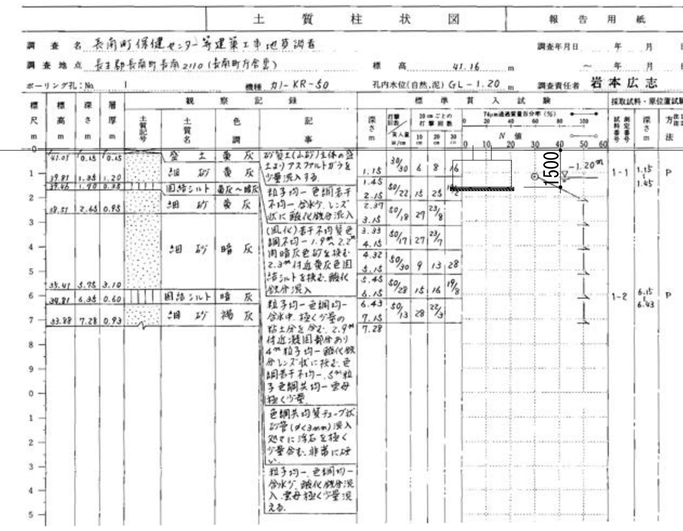




▽G.L(41.10m)





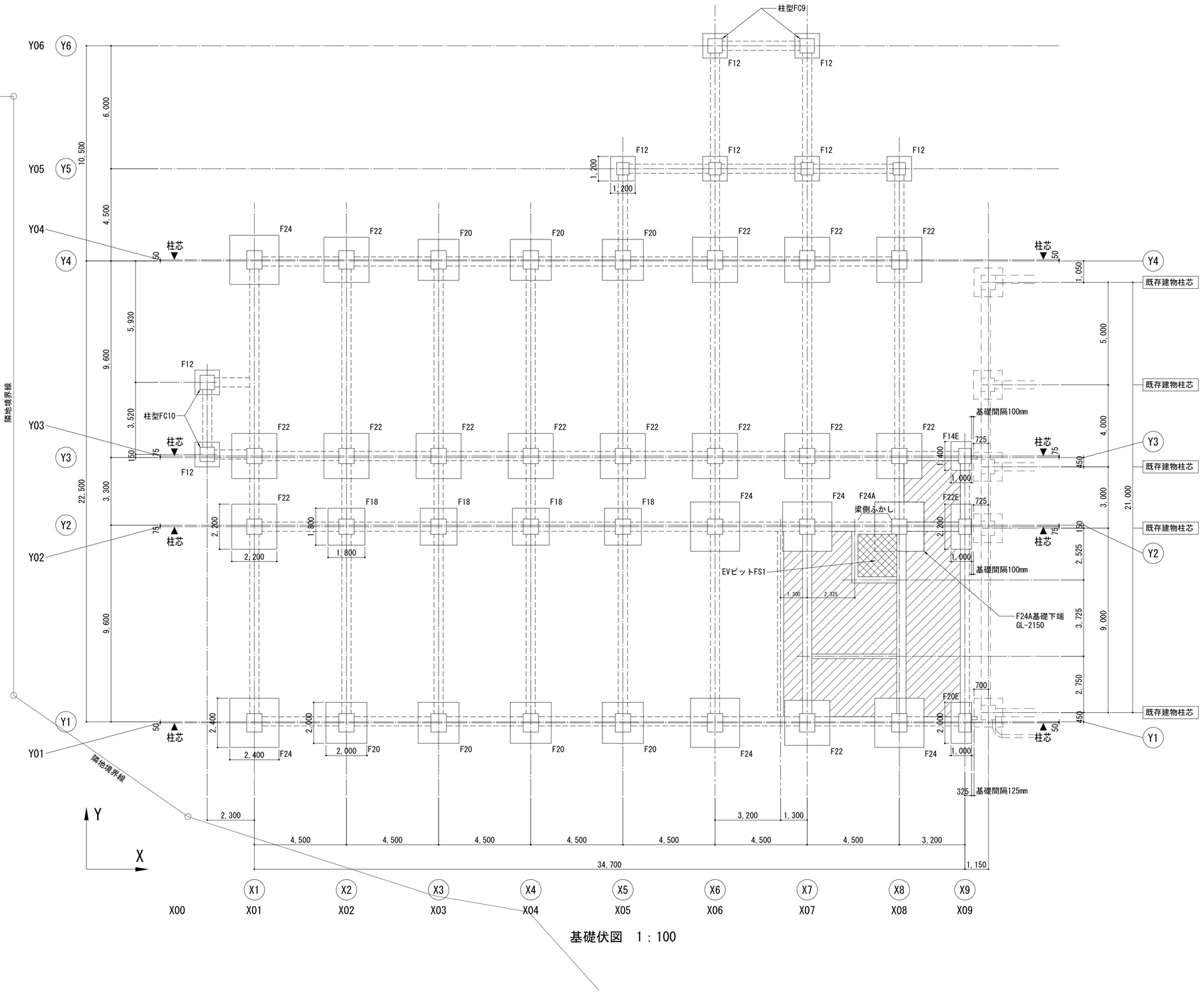




一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和 3年 月	A1 1:- A3 1:-	長南町役場庁舎建設工事	S－07
		図面名称 ボーリング柱状図	



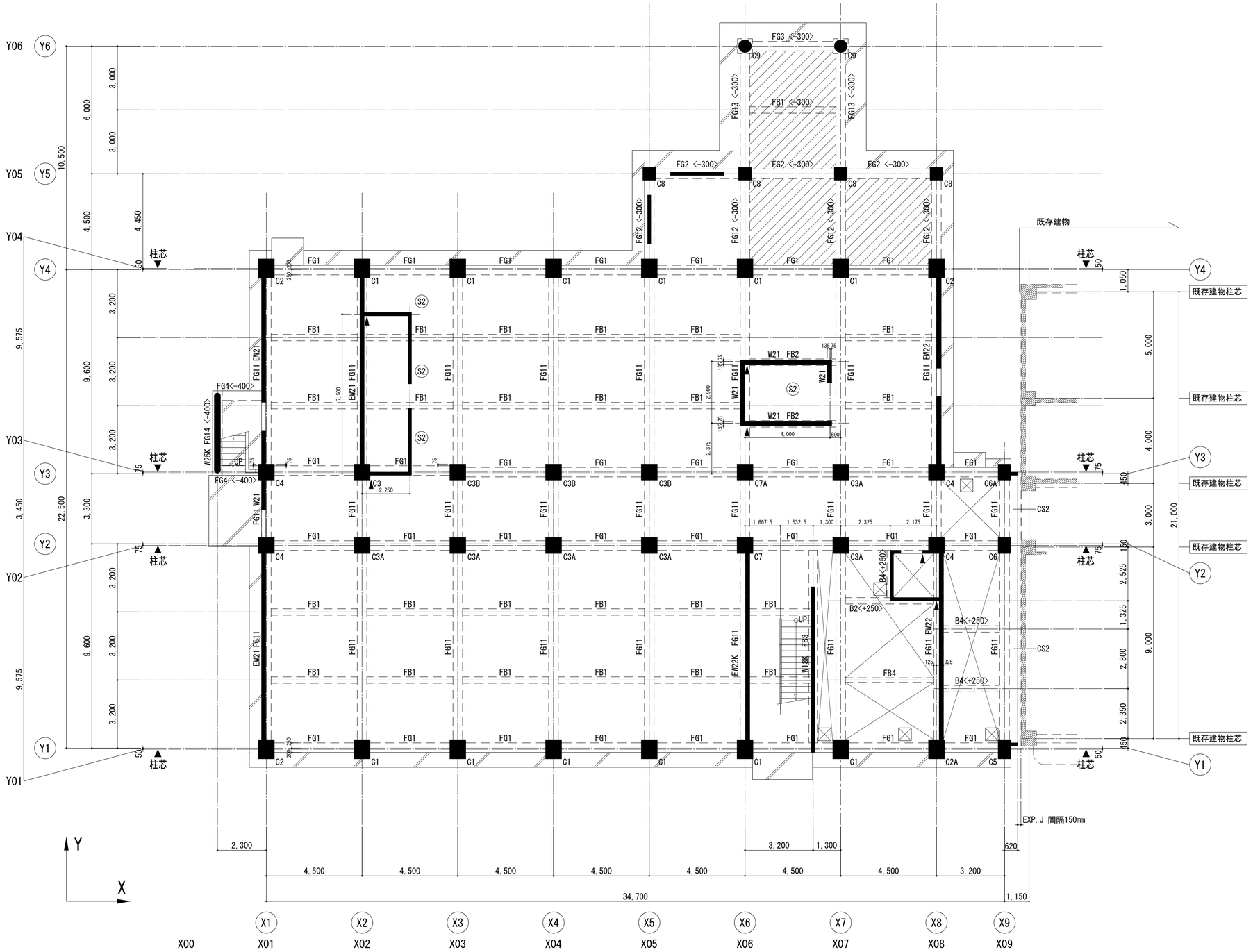
基礎伏図　1：100

特記なき限り、以下とする。
- 基礎下端 = 1FL- 1800 = GL-1500
- ▨ 部EVピット底版天端は1FL-1350 = GL-1050とする。
- ▨ は配管ピット範囲を示す。ピット底版はFS2とする。
  底版天端は1FL-1500 = GL-1200とする。

一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:100 A3　1:200	長南町役場庁舎建設工事	S－０８
		図面名称：基礎伏図	

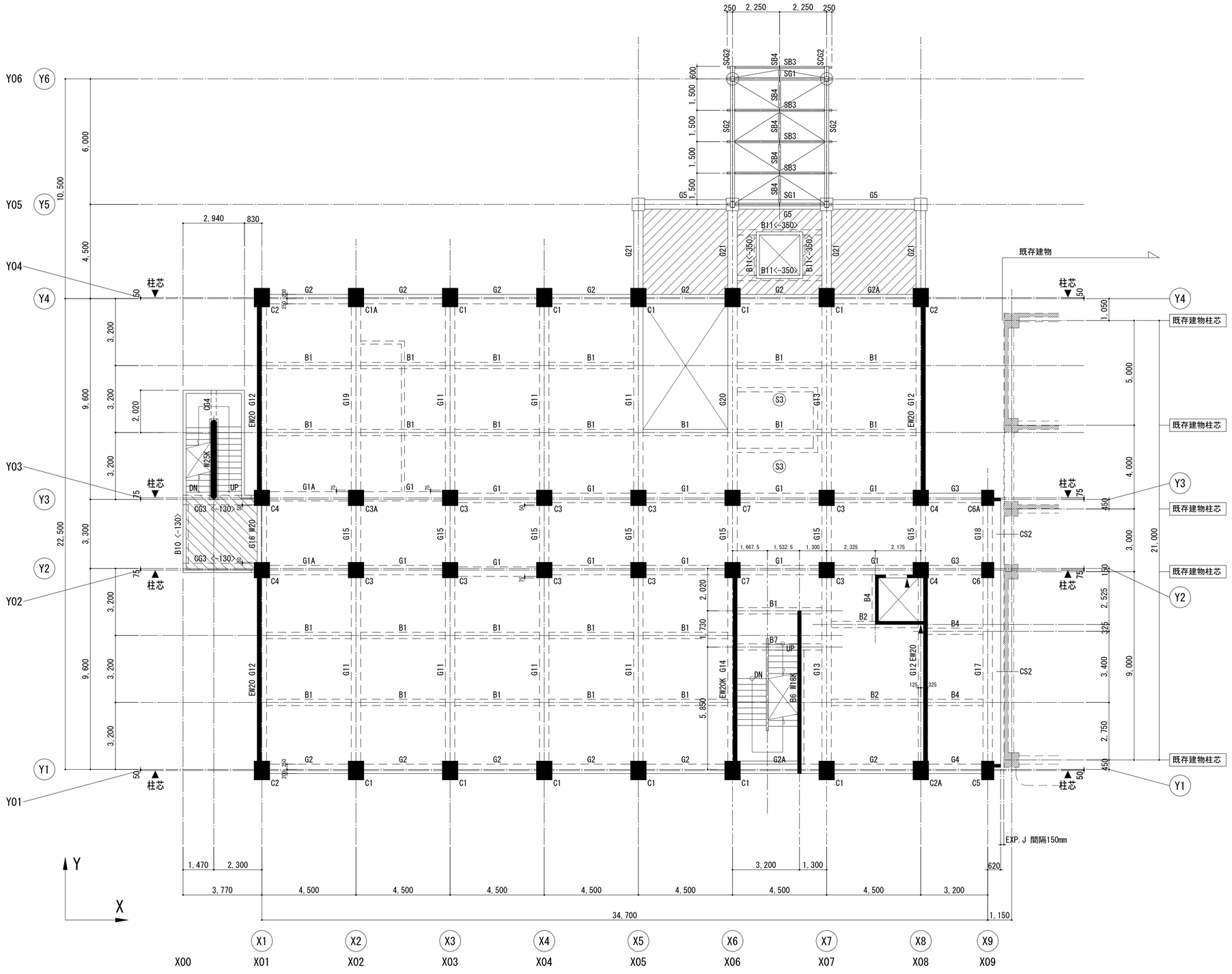


特記なき限り、以下とする。
- スラブ天端 = 1FL- 50 = GL+250
- 梁天端 = 1FL-200 = GL+100
- ▨ はピット範囲を示す。
- 床スラブはS1とする。
- 壁はW15とする。
- ▨ の範囲のスラブ天端は1FL- 100とする。
- ▼ は構造スリットを示す。
- 梁上はスラブ天端まで増打とする。
- <>内の数値は、1FLからの梁天端レベルを示す。
- ▨ は土間コンクリートt=150(砕石厚120,D10@200 タテヨコシングル)を示す。

1階床・梁伏図　1：100

一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所		日付 令和　3年　月	縮尺 A1　1:100 A3　1:200	工事名称 図面名称	長南町役場庁舎建設工事 1階床・梁伏図	図面番号 S－09



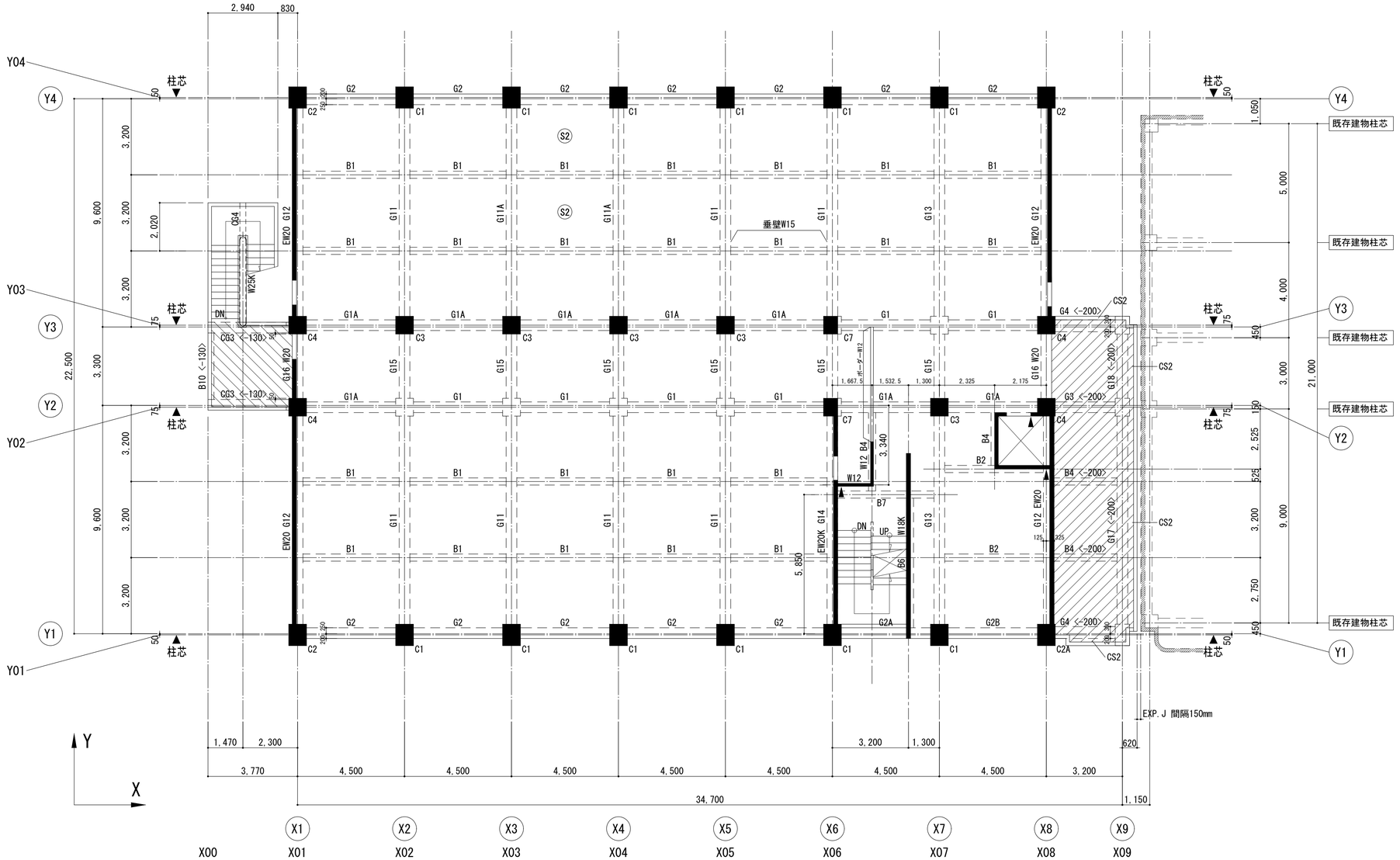
２階床・梁伏図　1：100

特記なき限り、以下とする。
- 2Fスラブ天端 = 2FL-50
- 梁天端　= 2FL-50
- 床スラブはS1とする。
- 壁はW15とする。
- ▨ の範囲のスラブ・梁天端は2FL-350とする。
- ▨ の範囲のスラブ・梁天端は2FL-130とする。
- ▼ は構造スリットを示す。
- ＜＞内の数値は、2FLからの梁天端レベルを示す。
- Y5-Y6間鉄骨屋根面ブレースは、1-M16とする。

一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:100 A3　1:200	長南町役場庁舎建設工事	S－１０
		図面名称　２階床・梁伏図	



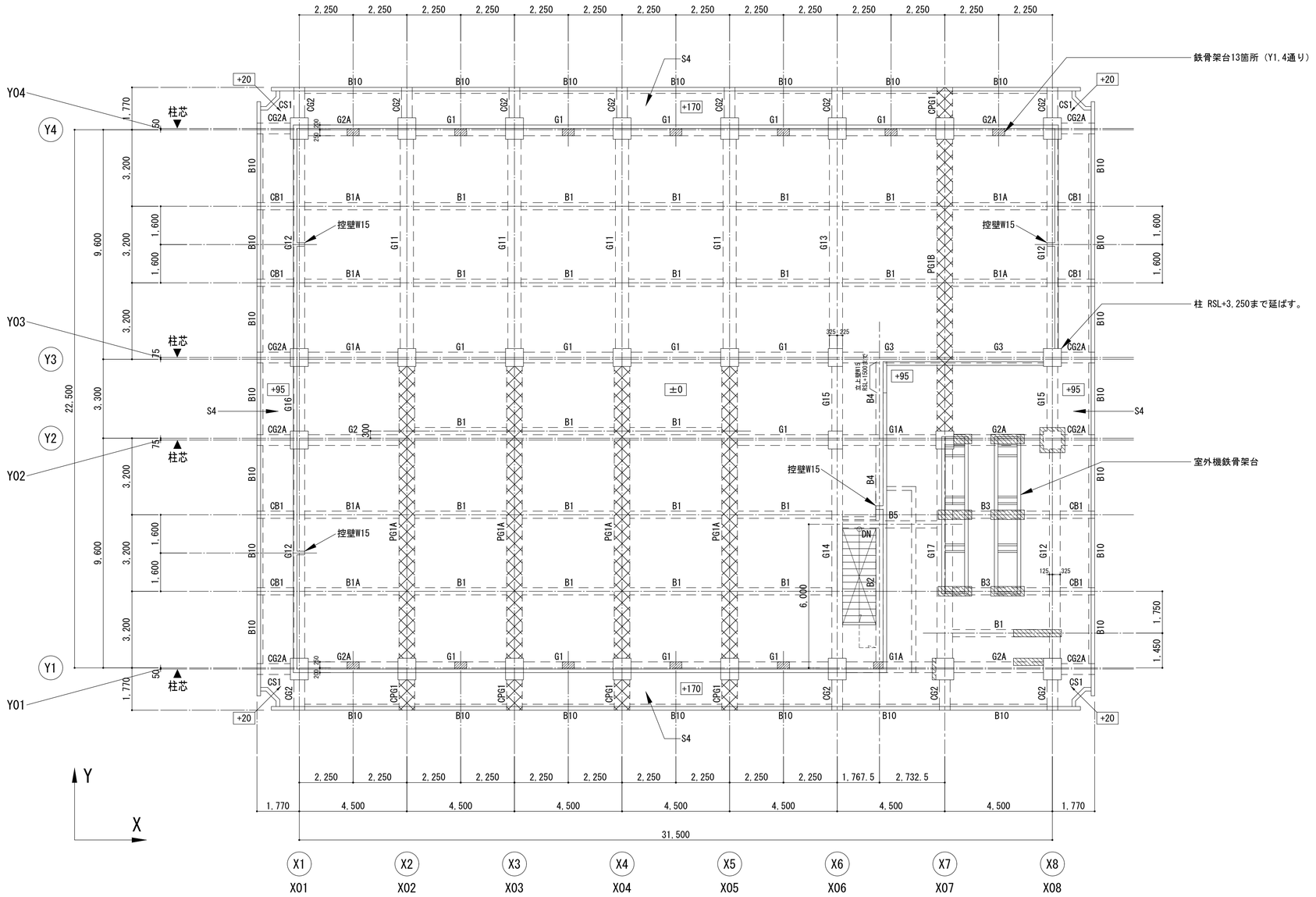
特記なき限り、以下とする。
- 3Fスラブ天端 = 3FL-50
- 梁天端　= 3FL-50
- 床スラブはS1とする。
- 壁はW15とする。
- ▨ の範囲のスラブ・梁天端は3FL-200とする。
- ▨ の範囲のスラブ・梁天端は3FL-130とする。
- ▼ は構造スリットを示す。
- <>内の数値は、3FLからの梁天端レベルを示す。

3階床・梁伏図　1：100

一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:100 A3　1:200	長南町役場庁舎建設工事	S－11
		図面名称：3階床・梁伏図	



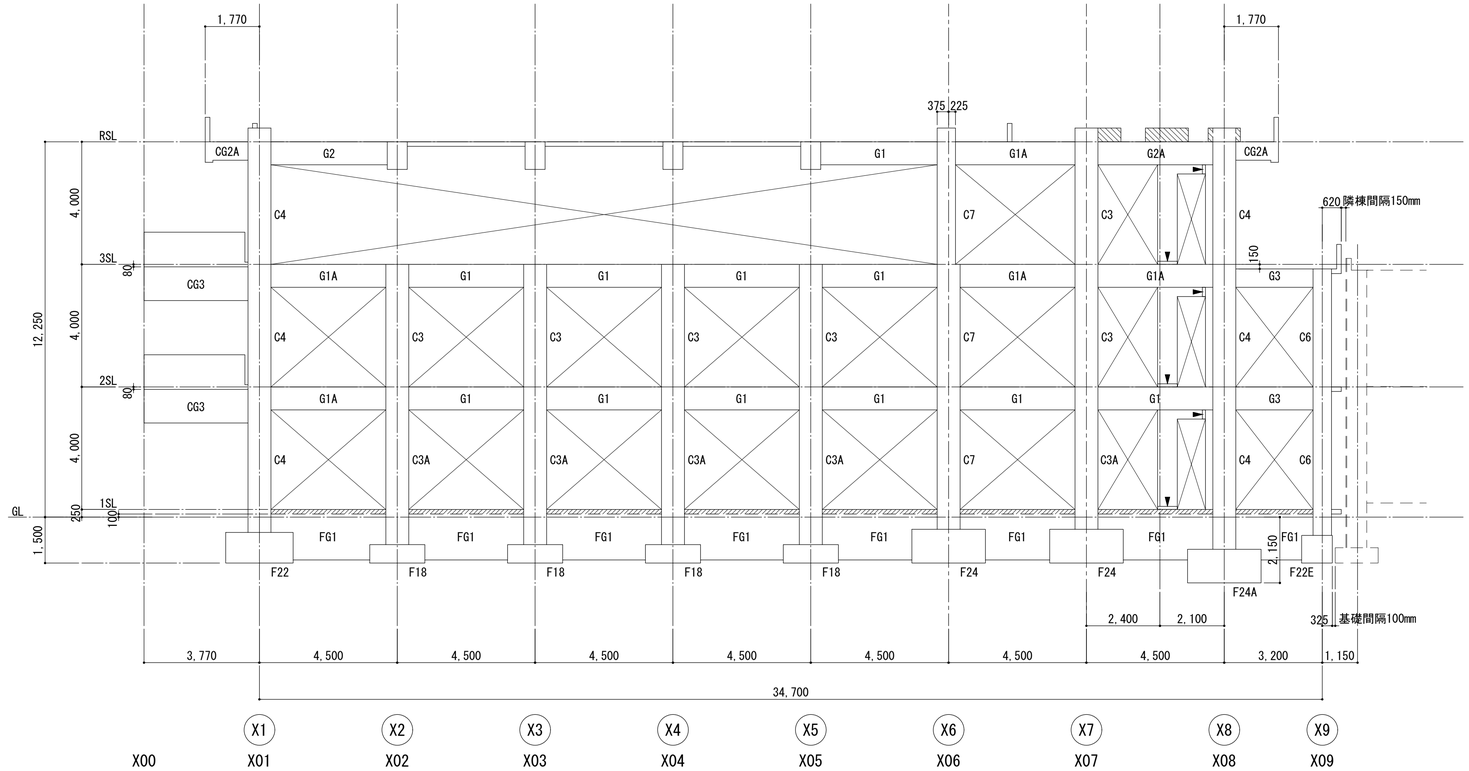
R階床・梁伏図　1：100

特記なき限り、以下とする。
- スラブ天端 = 梁天端 = RFL±0とする。
- 床スラブはS1とする。
- 庇スラブはS4とする。
- 鉄骨屋根部立上がり壁はW15とする。
- □ 内の数値はRSLからのスラブふかし天端高さを示す。
- 柱はRSL+450まで延ばす。
- 梁上はスラブ天端まで増打とする。
- ▨ 部はプレストレストコンクリート梁を示す。
- ▨ 部は設備器機用架台及びふかしを示す。

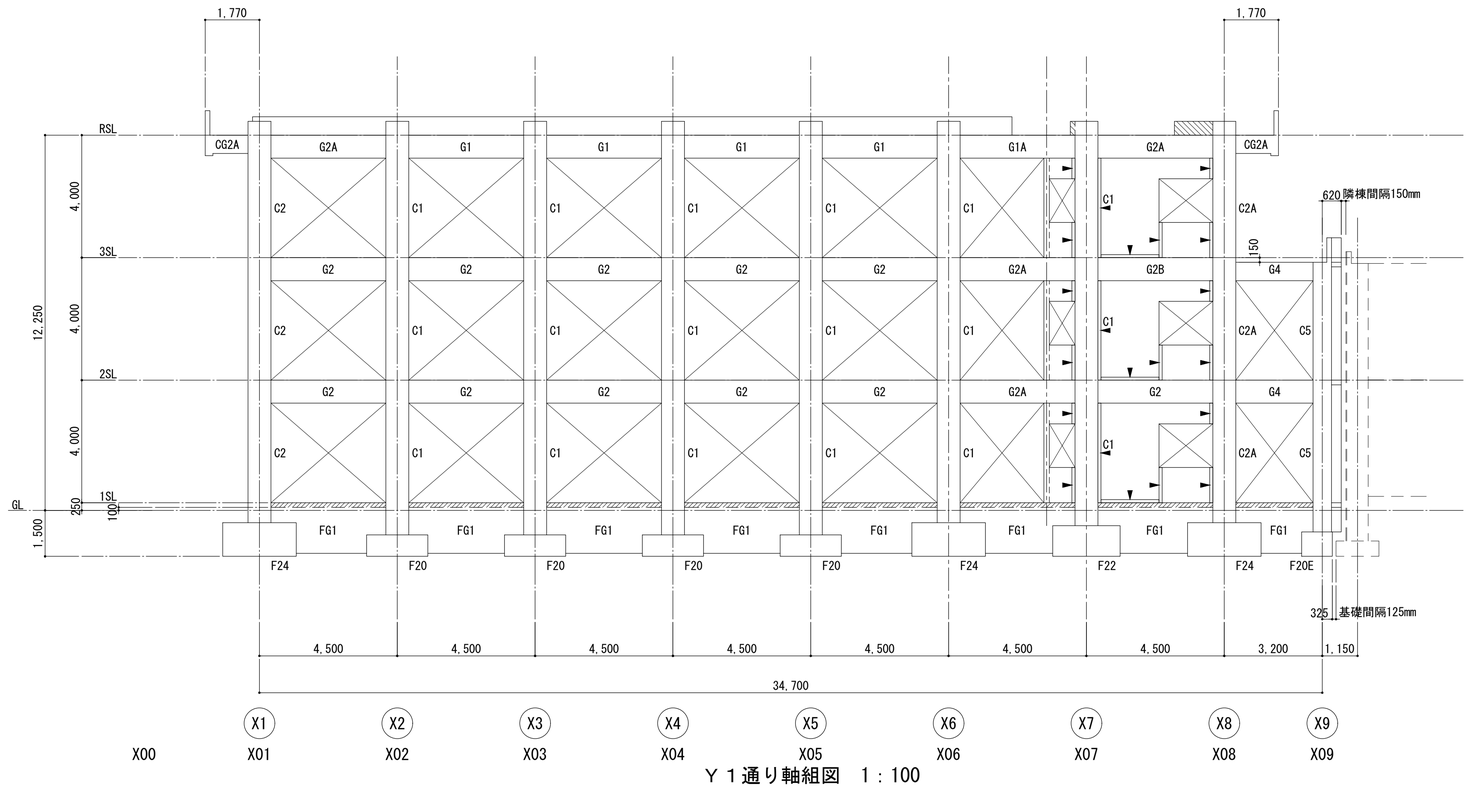
一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:100 A3　1:200	長南町役場庁舎建設工事	S－12
		図面名称：R階床・梁伏図	



Ｙ２通り軸組図　１：100



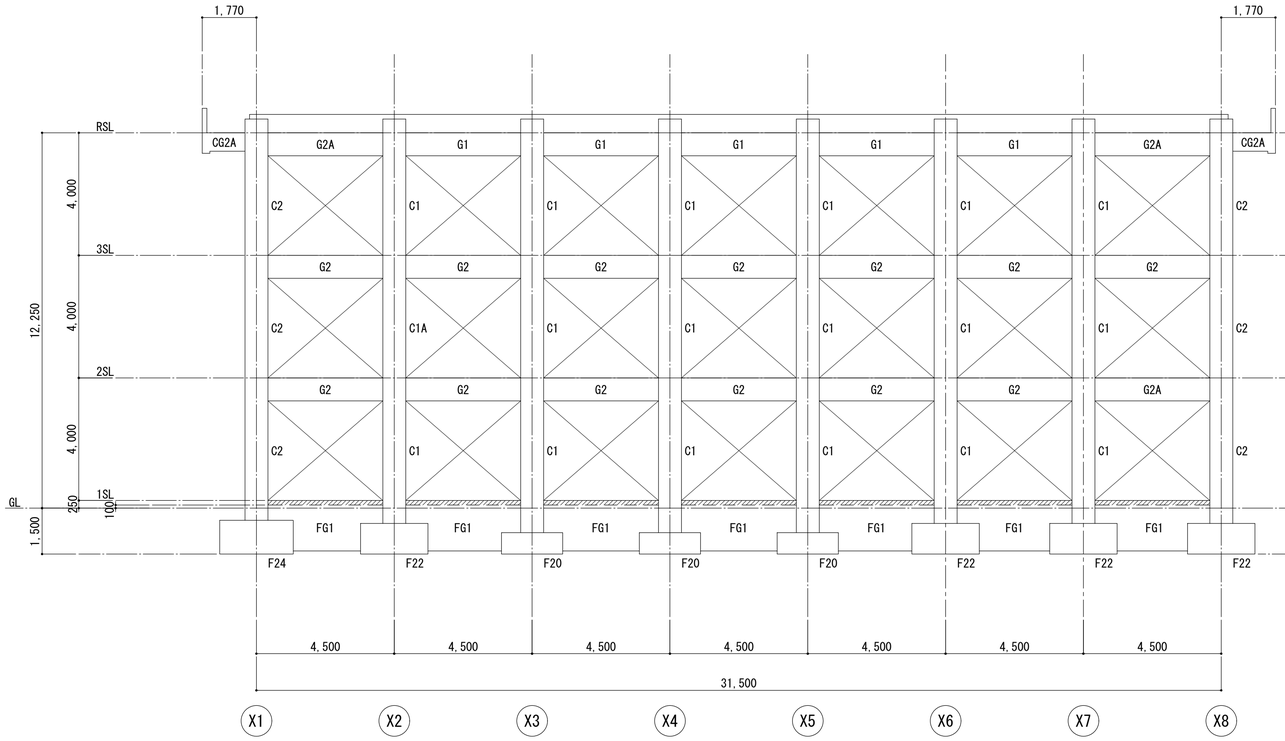
Ｙ１通り軸組図　１：100

特記なき限り、以下とする。
- ▨ は梁増打を示す。
- ▼ は構造スリットを示す。
- 壁はW15とする。
- ▨ 部は設備機器用架台及びふかしを示す。

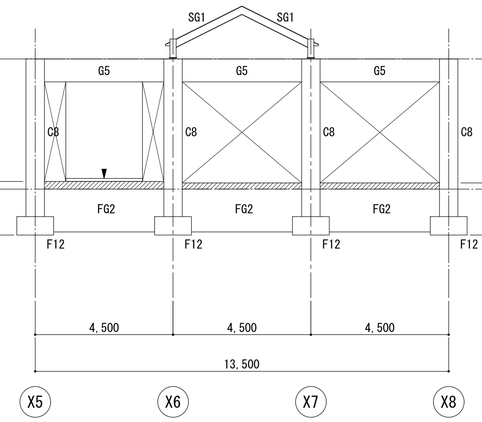
一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

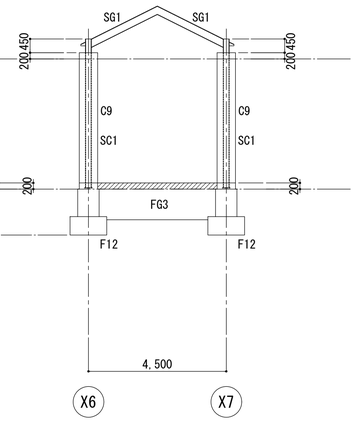
日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:100 A3　1:200	長南町役場庁舎建設工事	S－１３
		図面名称　軸組図（１）	



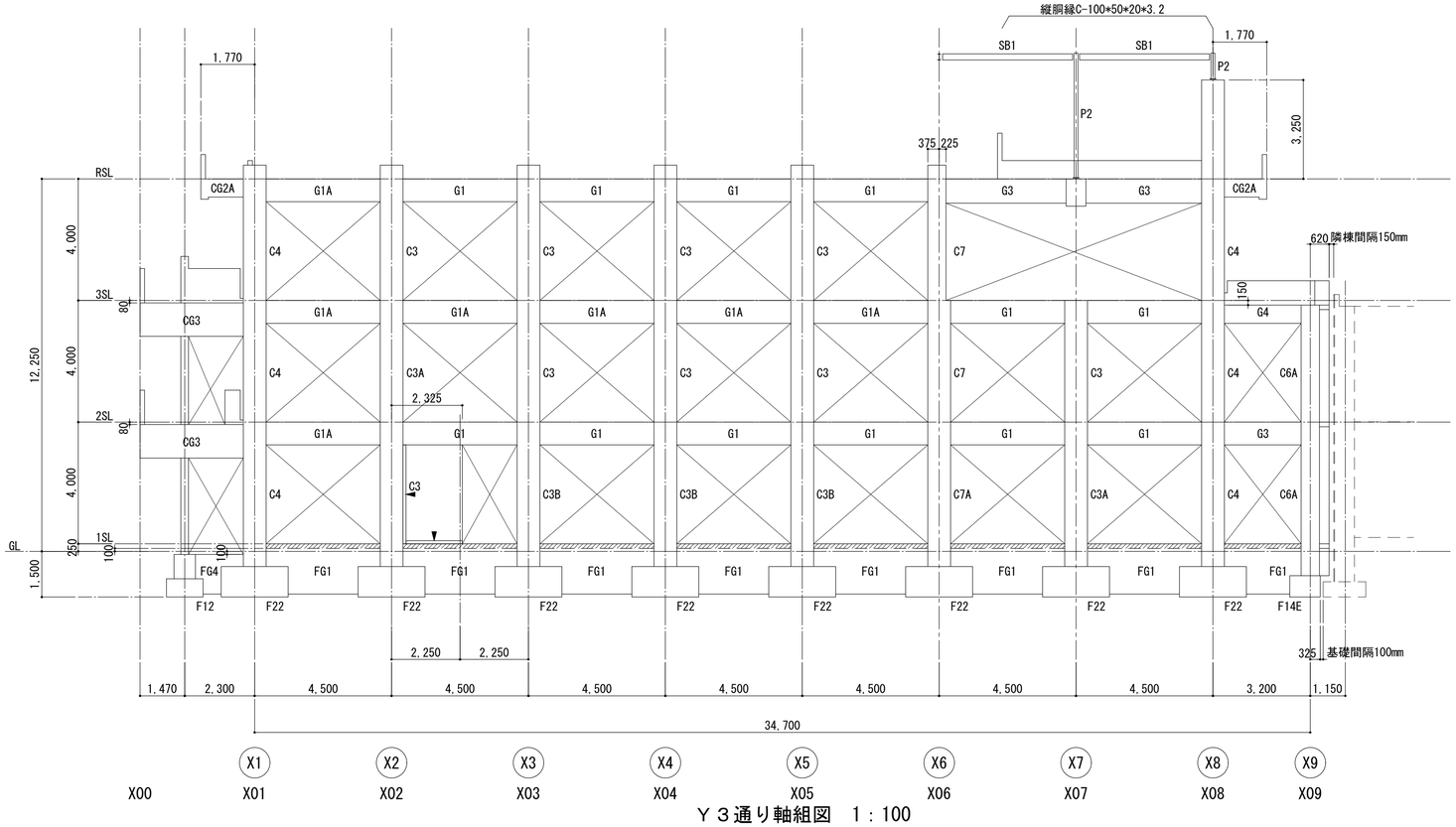
Ｙ４通り軸組図　1：100



Ｙ５通り軸組図　1：100



Ｙ６通り軸組図　1：100



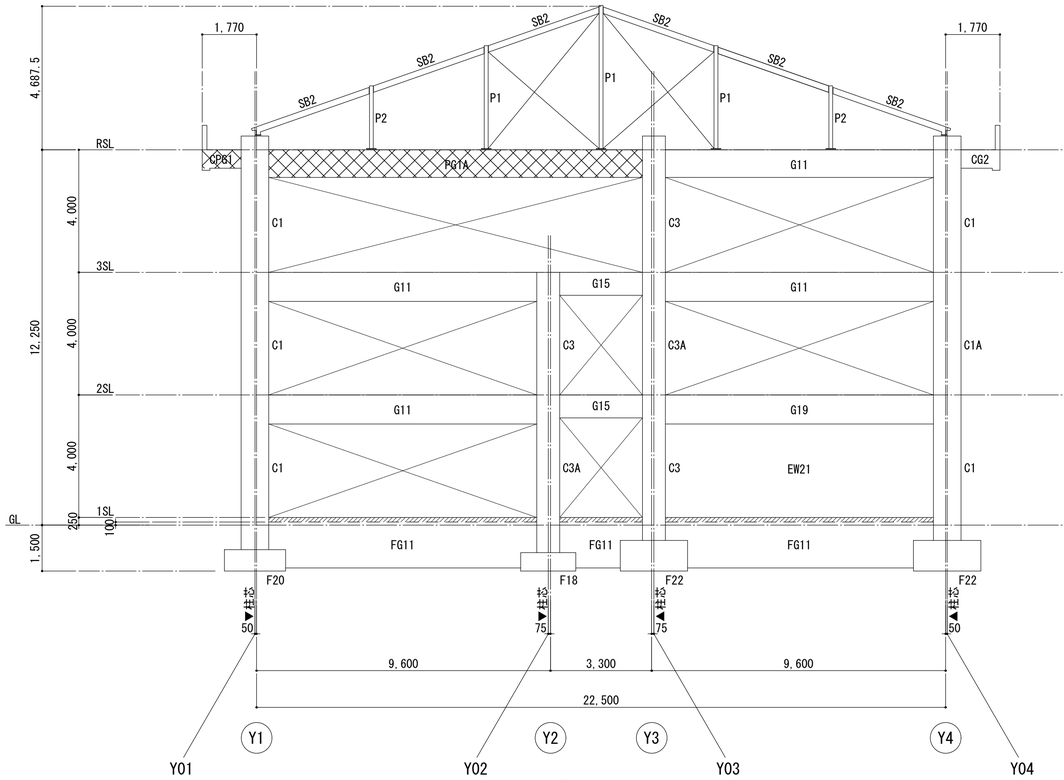
Ｙ３通り軸組図　1：100

特記なき限り、以下とする。
- ▨ は梁増打を示す。
- ⊥ は構造スリットを示す。
- 壁はW15とする。

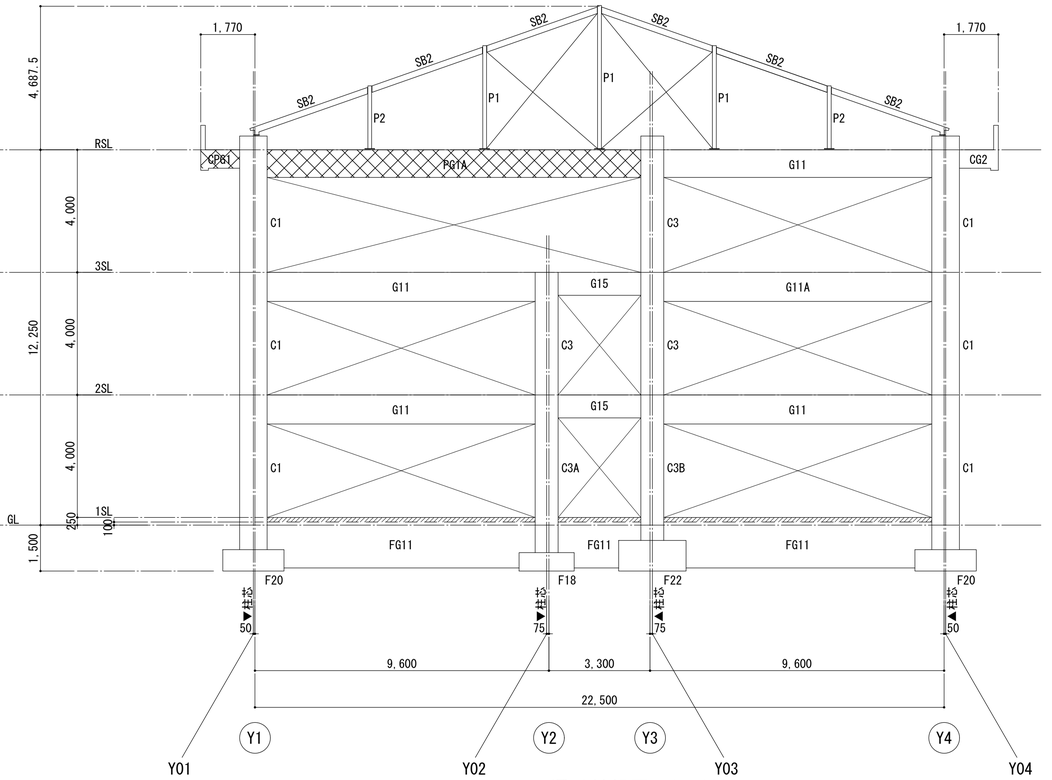
一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

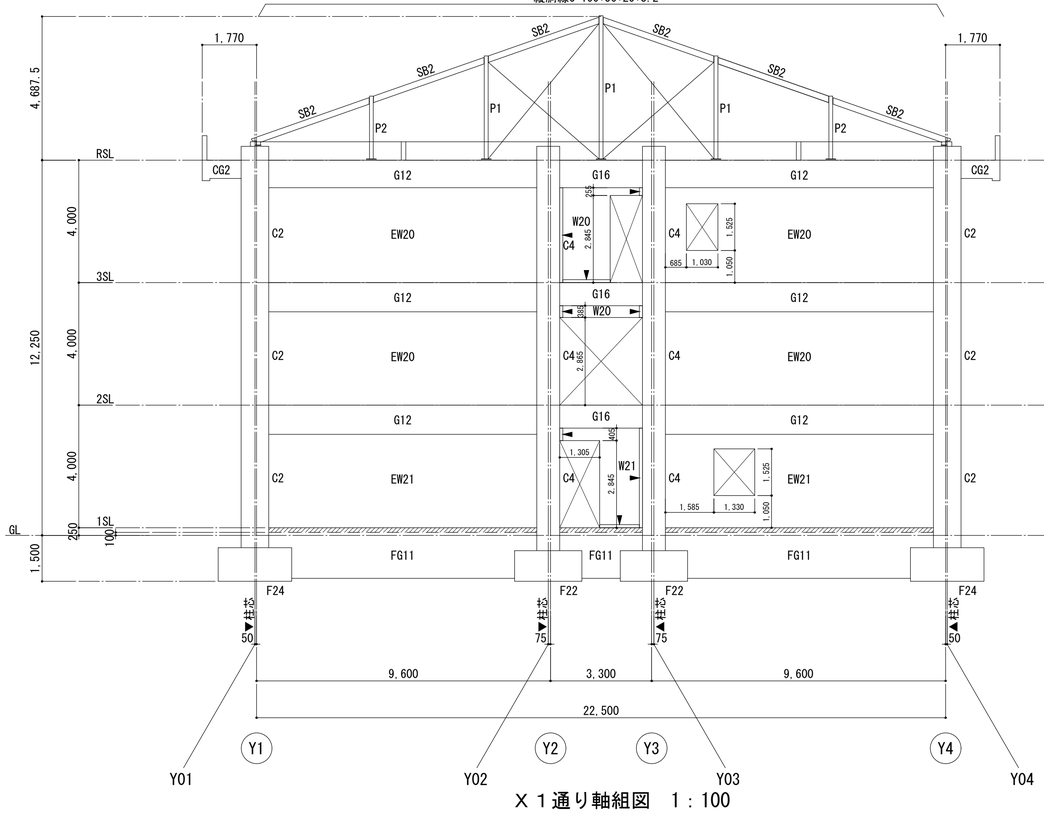
日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:100 A3　1:200	長南町役場庁舎建設工事	S－１４
		図面名称　軸組図（２）	



X２通り軸組図　1：100

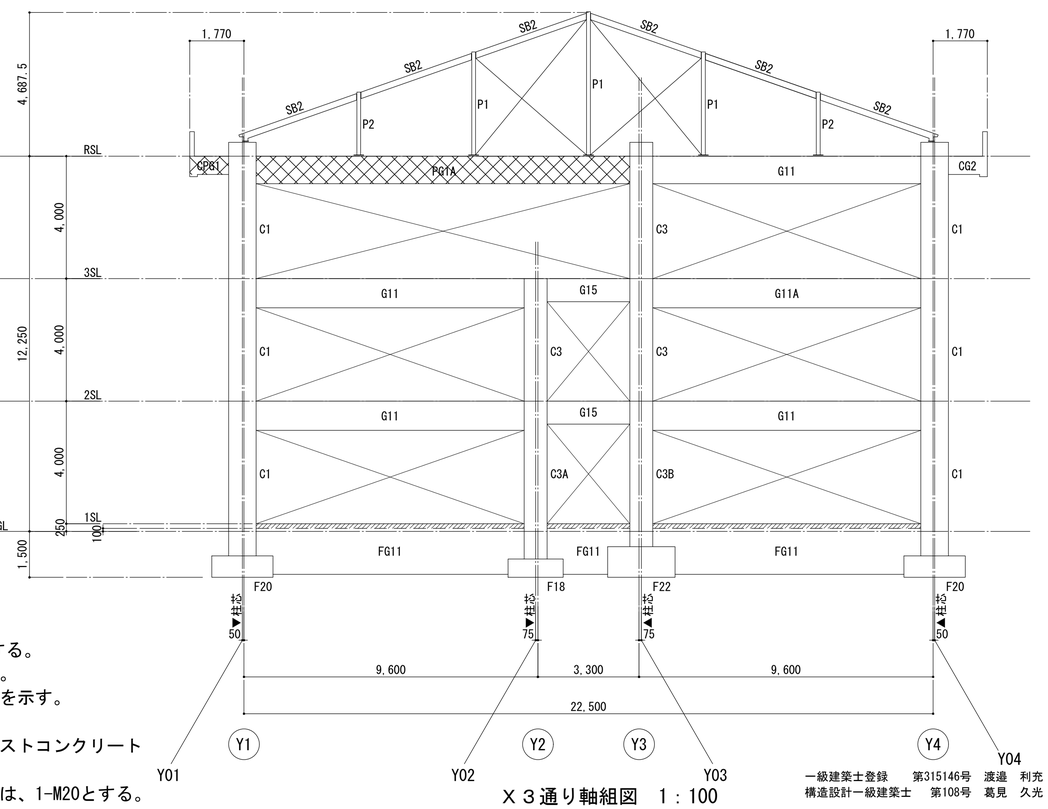


X４通り軸組図　1：100



X１通り軸組図　1：100

特記なき限り、以下とする。
- ▨ は梁増打を示す。
- ▼ は構造スリットを示す。
- 壁はW15とする。
- ▩ 部はプレストレストコンクリート梁を示す。
- 鉄骨屋根鉛直ブレースは、1-M20とする。

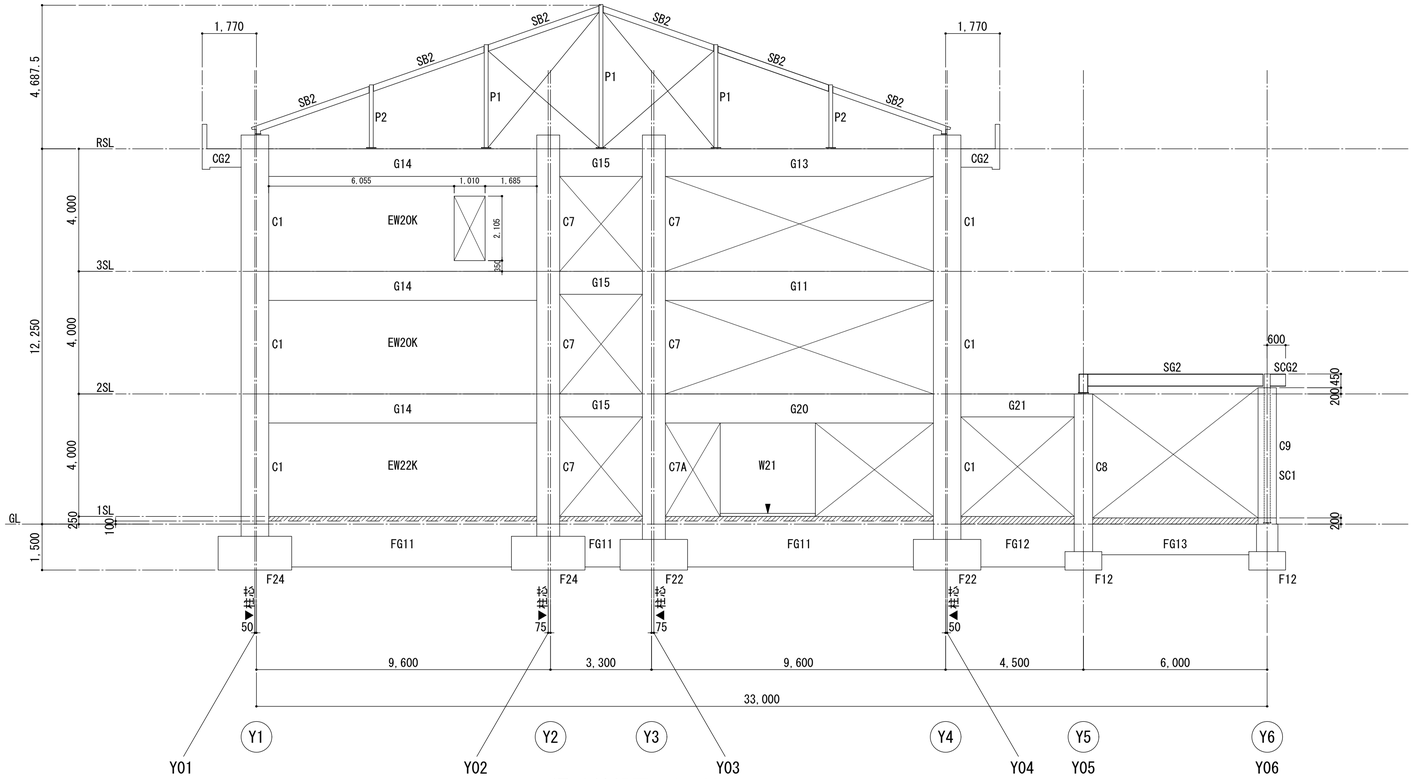


X３通り軸組図　1：100

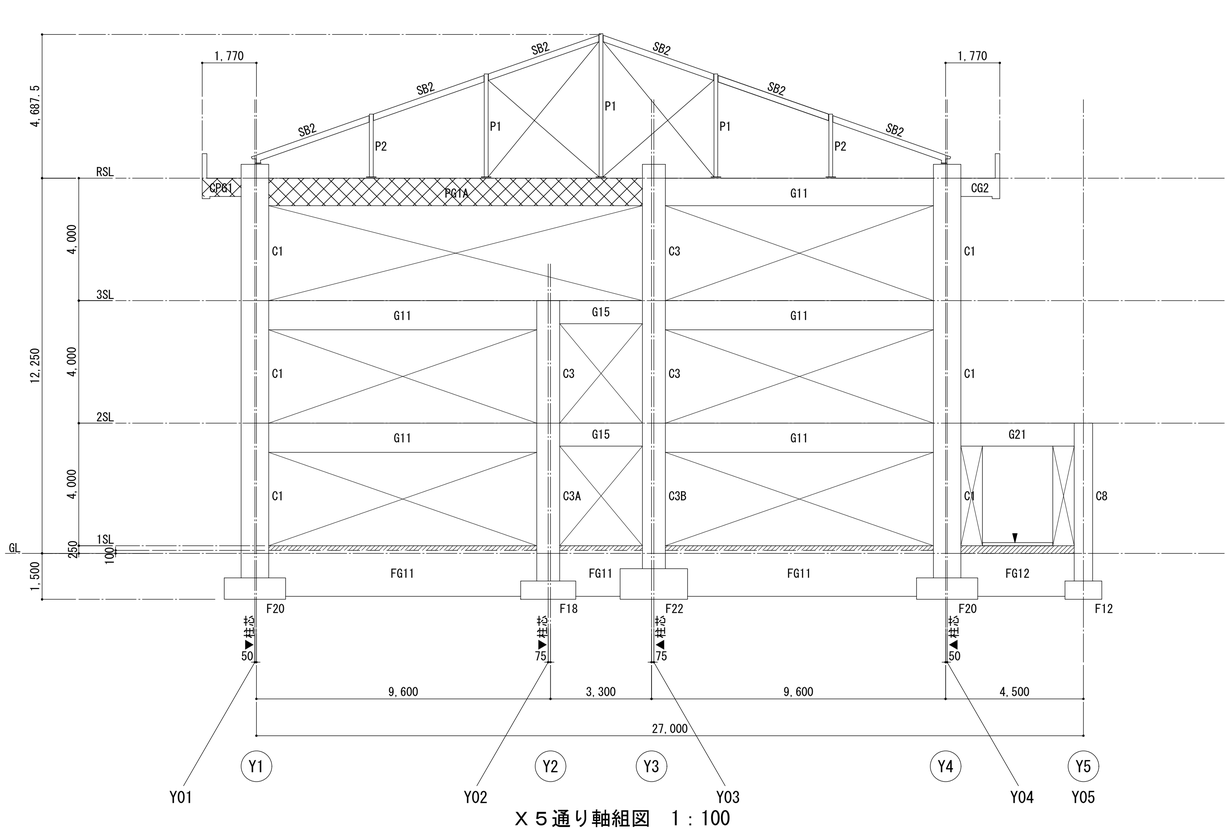
一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:100 A3　1:200	長南町役場庁舎建設工事	S－15
		図面名称　軸組図（３）	



X６通り軸組図　1：100



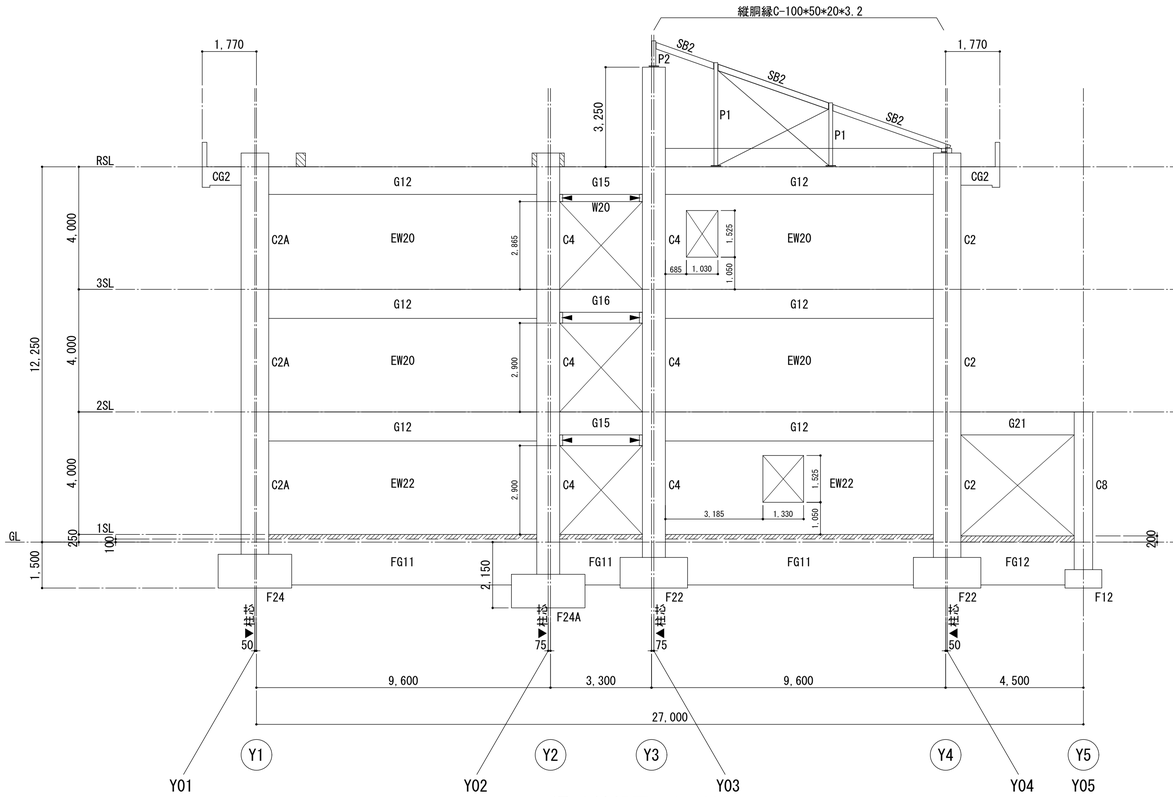
X５通り軸組図　1：100

特記なき限り、以下とする。
- ▨ は梁増打を示す。
- ▼ は構造スリットを示す。
- 壁はW15とする。
- ▩ 部はプレストレストコンクリート梁を示す。
- 鉄骨屋根鉛直ブレースは、1-M20とする。

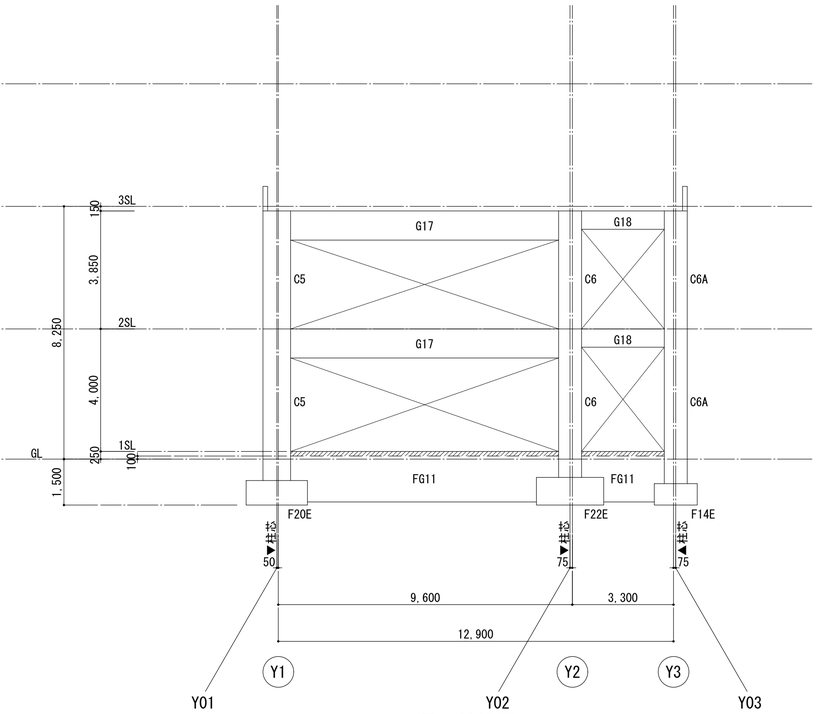
一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

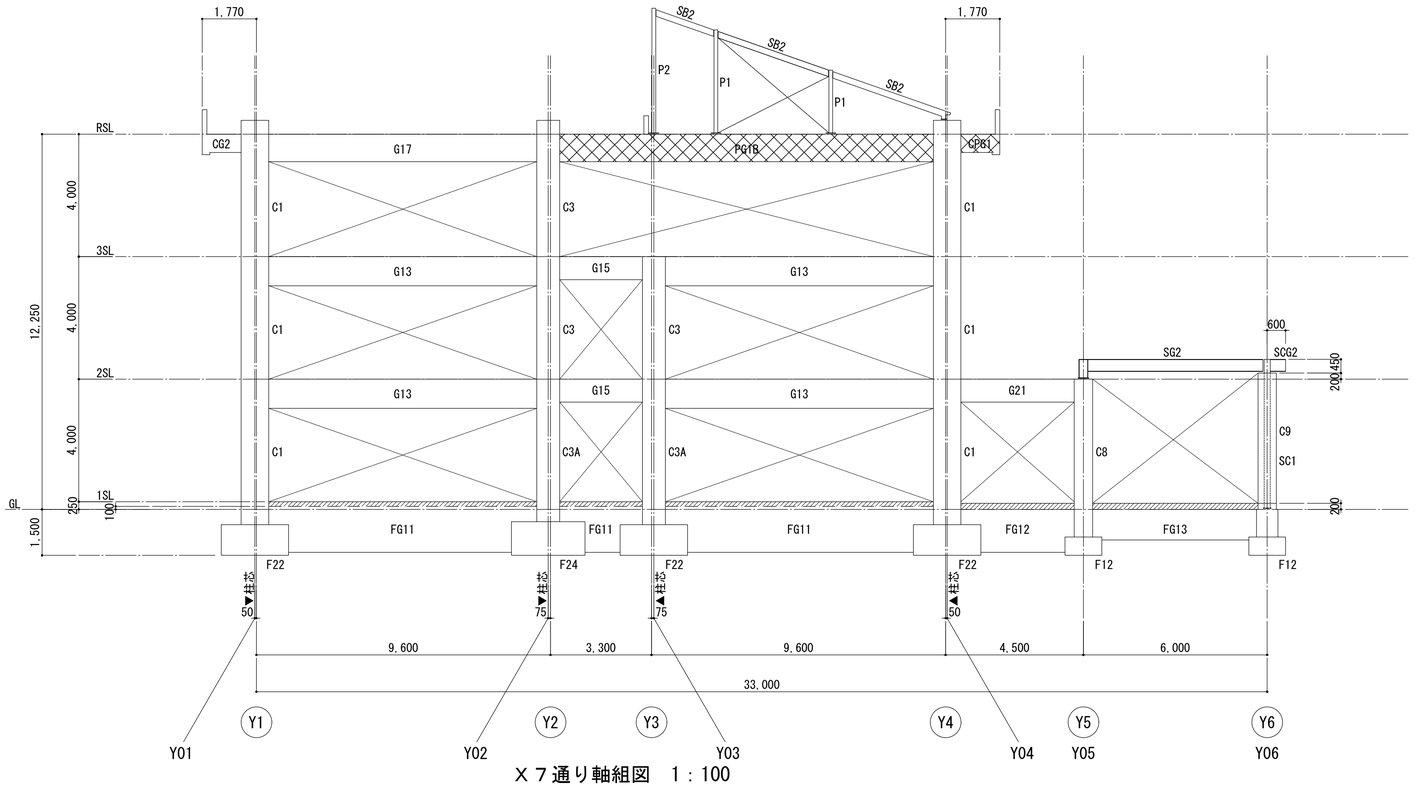
日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:100 A3　1:200	長南町役場庁舎建設工事	S－16
		図面名称　軸組図（４）	



X８通り軸組図　1：100



X９通り軸組図　1：100



X７通り軸組図　1：100

特記なき限り、以下とする。
- ▨ は梁増打を示す。
- ▼ は構造スリットを示す。
- 壁はW15とする。
- ▩ 部はプレストレストコンクリート梁を示す。
- ▨ 部は設備機器用架台及びふかしを示す。
- 鉄骨屋根鉛直ブレースは、1-M20とする。

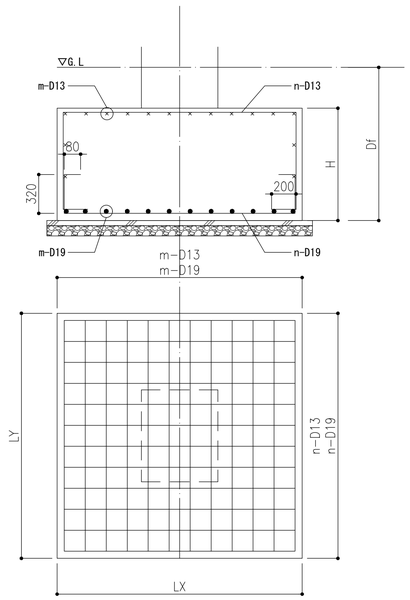
一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

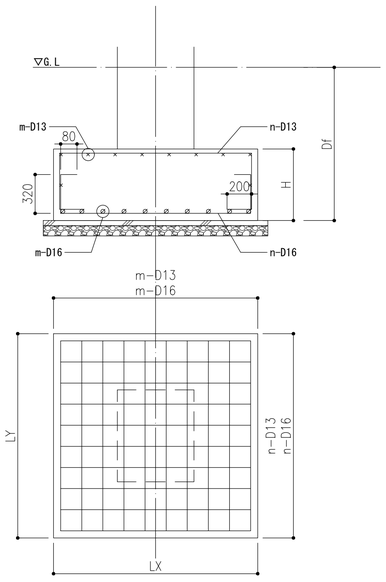
日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:100 A3　1:200	長南町役場庁舎建設工事 図面名称：軸組図（５）	Ｓ－１７

基礎リスト

特記なき限り下記による
1．基礎下は捨てコン50㎜、砕石100㎜とする。



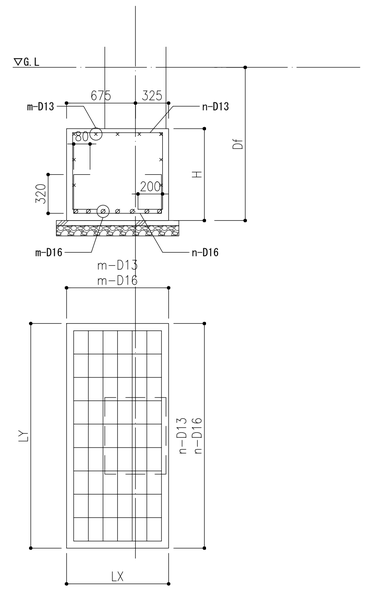
基礎符号	寸法		部材せい	配筋（ベース筋）		配筋（はかま筋）		根入深さ
	LX(㎜)	LY(㎜)	H(㎜)	m-D19	n-D19	m-D13	n-D13	Df(㎜)
F24	2400	2400	1100	12	12	12	12	1500
F24A	2400	2400	1100	12	12	12	12	2150
F22	2200	2200	1000	11	11	11	11	1500



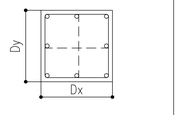
基礎符号	寸法		部材せい	配筋（ベース筋）		配筋（はかま筋）		根入深さ
	LX(㎜)	LY(㎜)	H(㎜)	m-D16	n-D16	m-D13	n-D13	Df(㎜)
F20	2000	2000	700	10	10	8	8	1500
F18	1800	1800	600	8	8	7	7	1500
F12	1200	1200	600	6	6	5	5	1500

鉄筋の種類及び記号

鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記号	・	×	⌀	●	○	⊙	⊗	◎



基礎符号	寸法		部材せい	配筋（ベース筋）		配筋（はかま筋）		根入深さ
	LX(㎜)	LY(㎜)	H(㎜)	m-D16	n-D16	m-D13	n-D13	Df(㎜)
F22E	1000	2200	900	7	10	5	10	1500
F20E	1000	2000	800	6	8	5	8	1500
F14E	1000	1400	700	5	7	5	7	1500

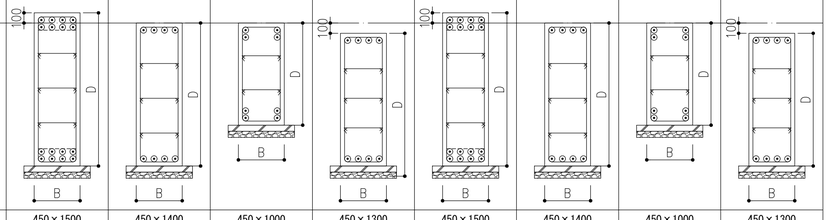
符　号	FC9，FC10
地中部	
Dx×Dy	700×700
主　筋	8-D22
HOOP	□ - D13-@150

地中梁リスト

特記なき限り下記による
1．スターラップは、□-D13@200とする。
2．幅止筋は、D10-@1000とする。
3．梁下は捨てコン50㎜、砕石60㎜とする。

鉄筋の種類及び記号

鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記号	・	×	⌀	●	○	⊙	⊗	◎

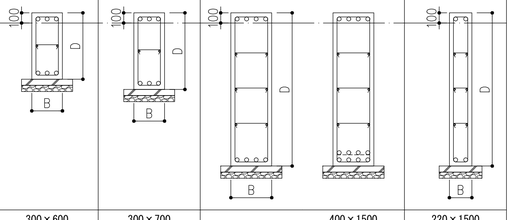
符　号	FG1	FG2	FG3	FG4	FG11	FG12	FG13	FG14
位　置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
▼G.L								
地中部								
B×D	450×1500	450×1400	450×1000	450×1300	450×1500	450×1400	450×1000	450×1300
上端筋	8-D25	4-D25	4-D25	4-D25	8-D25	4-D25	4-D25	4-D25
下端筋	8-D25	4-D25	4-D25	4-D25	8-D25	4-D25	4-D25	4-D25
STP								
腹　筋	6-D13	6-D13	4-D13	6-D13	6-D13	6-D13	4-D13	6-D13

地中小梁リスト

特記なき限り下記による
1．スターラップは、□-D10@200とする。
2．幅止筋は、D10-@1000とする。
3．梁下は捨てコン50㎜、砕石60㎜とする。

鉄筋の種類及び記号

鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記号	・	×	⌀	●	○	⊙	⊗	◎

符　号	FB1	FB2	FB3		FB4
位　置	全断面	全断面	端　部	中　央	全断面
▼G.L					
地中部					
B×D	300×600	300×700	400×1500		220×1500
上端筋	3-D22	3-D22	4-D22	4-D22	2-D22
下端筋	3-D22	3-D22	4-D22	8-D22	2-D22
STP			□ - D13-@200		
腹　筋	2-D10	2-D10	6-D10		6-D10

一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

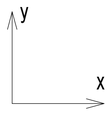
日　付	縮　尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和　3年　月	A1　1:30 A3　1:60	図面名称	基礎・地中梁リスト	S－18

柱リスト

特記なき限り下記による

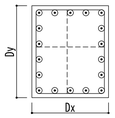
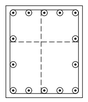
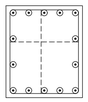
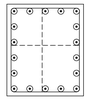
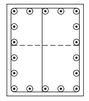
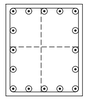
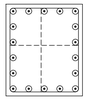
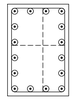
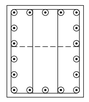
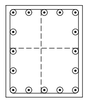
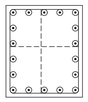
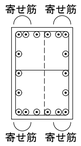
・仕口部HOOPは □-D13-@150とする
・HOOPは全て溶接閉鎖型とする
・副帯筋：D13-@500とする
・土に接する場合は柱型周囲を10mm以上増打してかぶり厚を確保する
・KSS785は、高強度せん断補強筋（大臣認定品、基準強度785N/mm2、溶接閉鎖型）とする

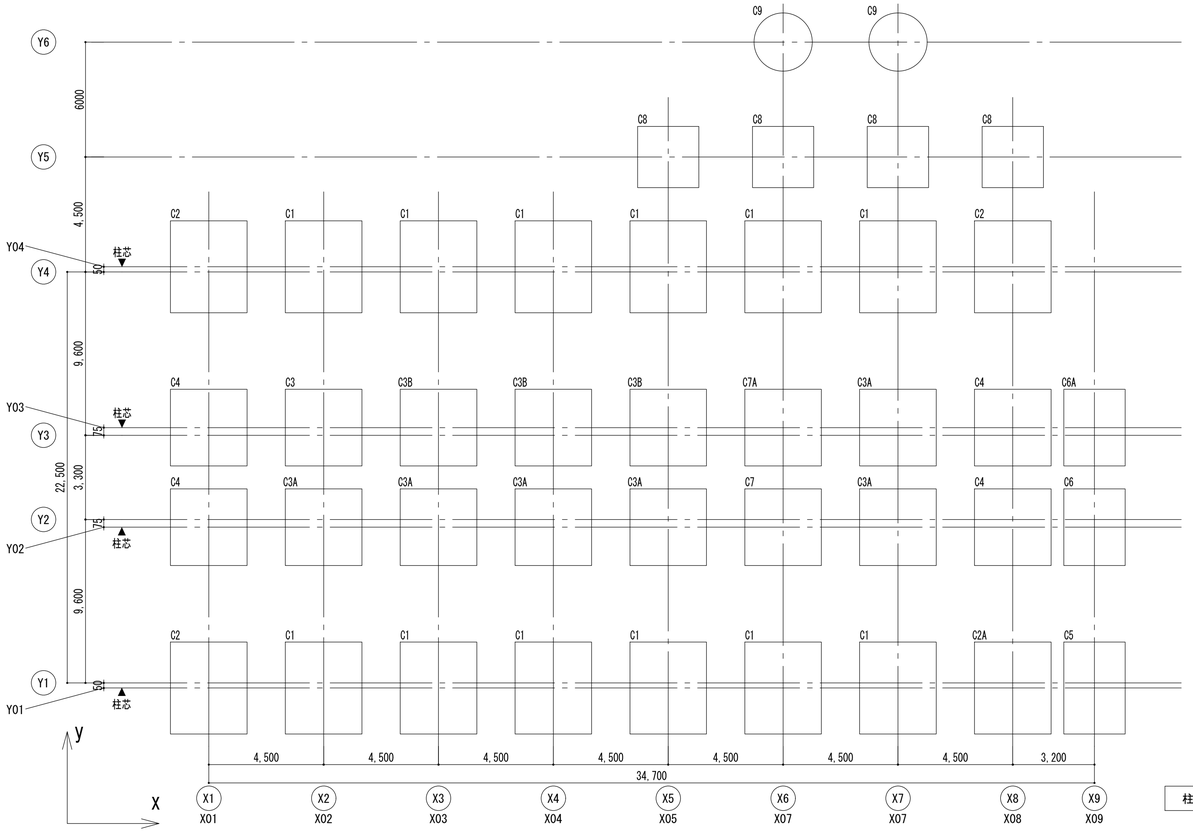
・RSL+450まで突出する柱の配筋は3階の柱配筋に準ずる



鉄筋の種類及び記号

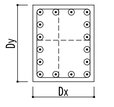
鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記号	・	×	⌀	●	○	⊙	⊗	◎

符　号	C1	C1A	C2	C2A	C3	C3A	C3B	C4	C5	C6	C6A
3　階											
Dx×Dy	750×900		750×900	750×900	750×750			750×750			
主　筋	18-D25		14-D25	14-D25	18-D25			14-D25			
HOOP	□ - D13-@100		□ - D13-@100	□ - D13-@100	□ - D13-@100			□ - D13-@100			
2　階											
Dx×Dy	750×900	750×900	750×900	750×900	750×750	750×750		750×750	600×900	600×750	600×750
主　筋	18-D25	18-D25	16-D25	18-D25	18-D25	18-D25		16-D25	16-D25	14-D25	12-D25
HOOP	□ - D13-@100	◫ - D13-@100	□ - D13-@100	□ - D13-@100	□ - D13-@100	⊟ - D13-@100		□ - D13-@100	□ - D13-@100	□ - D13-@100	□ - D13-@100
1　階											
Dx×Dy	750×900		750×900	750×900	750×750	750×750	750×750	750×750	600×900	600×750	600×750
主　筋	18-D25		16-D25	18-D25	18-D25	18-D25	18-D25	16-D25	18-D25	16-D25	14-D25
HOOP	◫ - D13-@100		□ - D13-@100	□ - D13-@100	⊟ - D13-@100	□ - D13-@100(KSS785)	◫ - D13-@100(KSS785)	□ - D13-@100	⊟ - D13-@100(KSS785)	⊞ - D13-@100	□ - D13-@100(KSS785)



柱キープラン（１階）

符　号	C4（Y3-X8）
RSLより上	
Dx×Dy	750×750
主　筋	12-D25
HOOP	□ - D13-@100

符　号	C7	C7A	C8	C9
3　階				
Dx×Dy	600×750			
主　筋	16-D25			
HOOP	□ - D13-@100			
2　階				
Dx×Dy	750×750			
主　筋	18-D25			
HOOP	□ - D13-@100			
1　階				
Dx×Dy	750×750	750×750	600×600	φ570
主　筋	18-D25	18-D25	10-D25	8-D25
HOOP	⊟ - D13-@100	◫ - D13-@100(KSS785)	□ - D13-@100	○ - D13-@100

一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日　付	縮　尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和　3年　月	A1　1：30 A3　1：60	図面名称	柱リスト	S－19

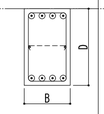
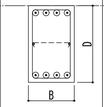
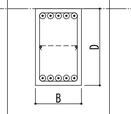
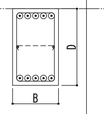
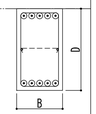
大梁リスト

特記なき限り下記による

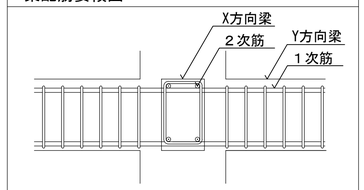
1．スターラップは□-D13@200とする
2．幅止筋は、D10-@1000とする
3．KSS785は、高強度せん断補強筋（大臣認定品、基準強度785N/mm2、溶接閉鎖型）とする

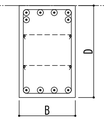
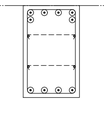
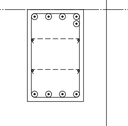
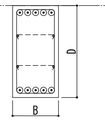
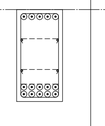
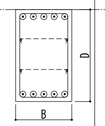
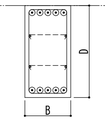
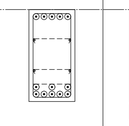
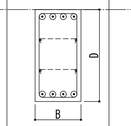
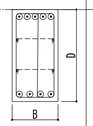
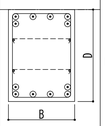
鉄筋の種類及び記号

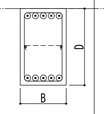
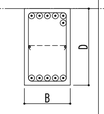
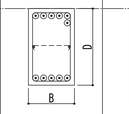
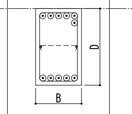
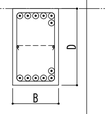
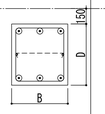
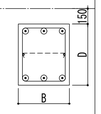
鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記号	・	×	⌀	●	○	⊙	⊗	◎

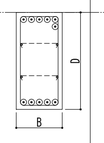
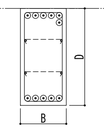
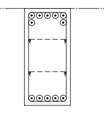
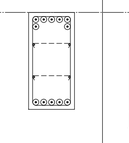
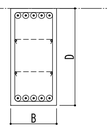
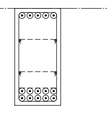
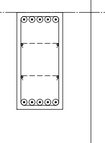
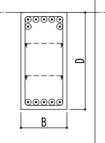
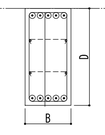
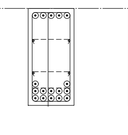
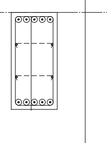
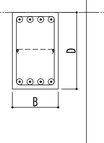
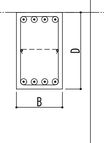
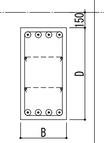
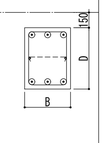
符　号	G1	G1A	G2	G2A	G3
位　置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
▼RSL R　階					
Ｂ×Ｄ	450×750	450×750	450×750	450×750	450×800
上端筋	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	5-D25
下端筋	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	5-D25
ＳＴＰ		□ - D13-@100		□ - D13-@100(KSS785)	
腹　筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10

梁配筋要領図



符　号	G11			G12		G13	G14		G15	G16	G17	S-23図のPRC大梁断面リスト内のPG1参照					
												PG1A			PG1B		
位　置	内　端	中　央	外　端	端　部	中　央	全断面	端　部	中　央	全断面	全断面	全断面	Y1端	中央	Y3端	Y2端	中央	Y4端
▼RSL R　階												PG1の外端と同断面	PG1の中央と同断面	PG1の内端と同断面	PG1の内端と同断面	PG1の中央と同断面	PG1の外端と同断面
Ｂ×Ｄ	550×900			450×900		550×900	450×900		450×900	450×900	650×900						
上端筋	6-D25	6-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	4-D25	5-D25	6-D25						
下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	10-D25	5-D25	5-D25	8-D25	4-D25	4-D25	6-D25						
ＳＴＰ	□ - D13-@150			□ - D13-@100			□ - D13-@150		□ - D13-@100	◫ - D13-@100(KSS785)	□ - D13-@150						
腹　筋	4-D10			4-D10		4-D10	4-D10		4-D10	4-D10	4-D10						

符　号	G1	G1A	G2	G2A	G2B	G3	G4
位　置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
▼3SL 3　階							
Ｂ×Ｄ	450×750	450×750	450×750	450×750	450×750	550×600	500×600
上端筋	5-D25	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	3-D25	3-D25
下端筋	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	6-D25	3-D25	3-D25
ＳＴＰ	□- D13-@200(KSS785)	□- D13-@200(KSS785)	□- D13-@200(KSS785)	□- D13-@150(KSS785)	□- D13-@200(KSS785)	□- D13-@100(KSS785)	□- D13-@200(KSS785)
腹　筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10

符　号	G11	G11A			G12			G13	G14			G15	G16	G17	G18
位　置	全断面	内　端	中　央	外　端	内　端	中　央	外　端	全断面	内　端	中　央	外　端	全断面	全断面	全断面	全断面
▼3SL 3　階															
Ｂ×Ｄ	450×950	450×950			450×950			450×950	450×950			450×750	450×750	450×900	450×600
上端筋	6-D25	6-D25	7-D25	7-D25	5-D25	5-D25	5-D25	7-D25	5-D25	5-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25	3-D25
下端筋	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	10-D25	5-D25	5-D25	5-D25	12-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25	3-D25
ＳＴＰ						□ - D13-@100		□ - D13-@150		◫ - D13-@100		□ - D13-@100	□ - D13-@100		
腹　筋	4-D10	4-D10			4-D10			4-D10	4-D10			2-D10	2-D10	4-D10	2-D10

一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日　付	縮　尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和　3年　月	A1　1：30 A3　1：60	図面名称	大梁リスト（1）	S－20

大梁リスト

特記なき限り下記による

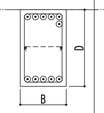
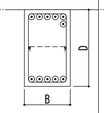
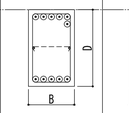
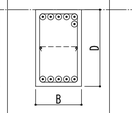
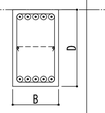
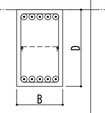
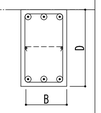
1．スターラップは□-D13@200とする

2．幅止筋は、D10-@1000とする

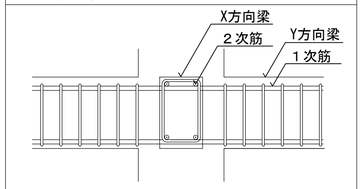
3．KSS785は、高強度せん断補強筋（大臣認定品、基準強度785N/mm2、溶接閉鎖型）とする

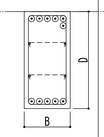
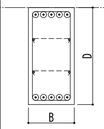
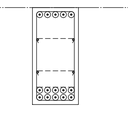
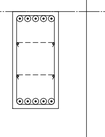
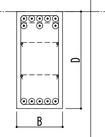
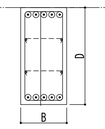
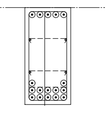
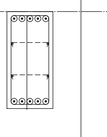
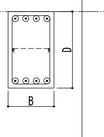
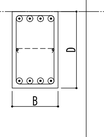
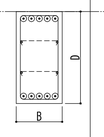
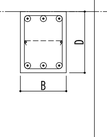
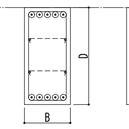
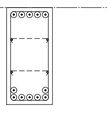
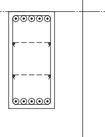
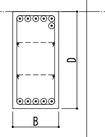
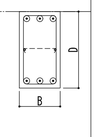
鉄筋の種類及び記号

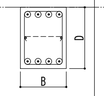
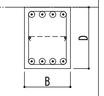
鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記号	・	×	⌀	●	○	⊙	⊗	◎

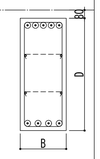
符　号	G1	G1A	G2	G2A	G3	G4	G5
位　置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
▼2SL 2　階							
Ｂ×Ｄ	450×750	450×750	450×750	450×750	450×750	450×750	400×750
上端筋	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	5-D25	5-D25	3-D25
下端筋	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	3-D25
ＳＴＰ	□- D13-@200(KSS785)	□- D13-@150(KSS785)	□- D13-@200(KSS785)	□- D13-@150(KSS785)	□- D13-@100(KSS785)	□- D13-@100(KSS785)	□- D13-@200(KSS785)
腹　筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10

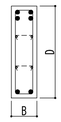
梁配筋要領図



符　号	G11	G12			G13	G14			G15	G16	G17	G18	G19			G20	G21
位　置	全断面	内　端	中　央	外　端	全断面	内　端	中　央	外　端	全断面	全断面	全断面	全断面	内　端	中　央	外　端	全断面	全断面
▼2SL 2　階																	
Ｂ×Ｄ	450×950	450×950			450×950	450×950			450×750	450×750	450×900	450×600	450×950			450×950	400×750
上端筋	6-D25	5-D25	5-D25	5-D25	8-D25	5-D25	5-D25	5-D25	4-D25	4-D25	5-D25	3-D25	5-D25	5-D25	5-D25	6-D25	3-D25
下端筋	5-D25	5-D25	10-D25	5-D25	5-D25	5-D25	12-D25	5-D25	4-D25	4-D25	5-D25	3-D25	5-D25	7-D25	5-D25	5-D25	3-D25
ＳＴＰ		□ - D13-@100			□ - D13-@100	◫ - D13-@100			□- D13-@100(KSS785)	□ - D13-@100			□ - D13-@150			□ - D13-@100	
腹　筋	4-D10	4-D10			4-D10	4-D10			2-D10	2-D10	4-D10	2-D10	4-D10			4-D10	2-D10

符　号	CPG1	CG2	CG2A
位　置	全断面	全断面	全断面
▼RSL R　階	S-23 PRC大梁関連図による	 柱面から900mmより先端側は上下共3-D25とする	 柱面から900mmより先端側は上下共3-D25とする
Ｂ×Ｄ		450×600	450×600
上端筋		4-D25	4-D25
下端筋		4-D25	4-D25
ＳＴＰ			
腹　筋		2-D10	2-D10

符　号	CG3
位　置	全断面
▼3.2SL 3　階 2　階	
Ｂ×Ｄ	450×1100
上端筋	5-D25
下端筋	4-D25
ＳＴＰ	
腹　筋	4-D10

符　号	CG4
位　置	全断面
外階段	
Ｂ×Ｄ	250×900
上端筋	4-D19
下端筋	2-D19
ＳＴＰ	□ - D10-@100
腹　筋	4-D10

一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日　付	縮　尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和　3年　月	A1　1：30 A3　1：60	図面名称	大梁リスト（２）	Ｓ－２１

小梁リスト

特記なき限り下記による

1．スターラップは、□-D10@200とする。

2．幅止筋は、D10-@1000とする。

鉄筋の種類及び記号

鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記号	・	×	⌀	●	○	⊙	⊗	◎

符　号	B1	B1A			B2	B3			B4	B5		B6		B7	
位　置	全断面	X1,8 端	中　央	X2,7 端	全断面	X7 端	中　央	X8 端	全断面	端　部	中　央	端　部	中　央	端　部	中　央
▼SL															
断　面	D B	D B			D B	D B			D B	D B		D B		D B	
Ｂ×Ｄ	300×500	300×500			300×600	300×600			300×400	300×750		300×700		300×750	
上端筋	3-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22
下端筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4-D22	3-D22	5-D22	3-D22	5-D22
ＳＴＰ														□ - D10-@100	
腹　筋					2-D10	2-D10				2-D10		2-D10		2-D10	

符　号	B10	B11	CB1	
位　置	全断面	全断面	先　端	基　端
▼SL				
断　面	D B	D B	D B	D B
			基端断面は梁面から1050mmまで	
Ｂ×Ｄ	250×600	250×450	300×600	
上端筋	2-D22	2-D22	3-D22	4-D22
下端筋	2-D22	2-D22	3-D22	3-D22
ＳＴＰ				
腹　筋	2-D10		2-D10	

スラブリスト

特記なき限り下記による

・防水下地面は梁・スラブ天端を20mm以上増打する

・スラブ下端打ち放し面は20mm増打する

・土に接する１階床下は10mm増打ちする（S1,S2）

・屋根面となるスラブ下にはポリスチレンフォーム20d打ち込みとする（最上階は庇を除き全面）

符　号	版　厚	位置	主筋方向	配力筋方向	備　考
S1	150	上端筋	D10,D13-@200	D10,D13-@200	下地地業：捨コンクリート：50　ポリスチレンフォーム50d
		下端筋	D10-@200	D10-@200	：砕石　：60　ポリエチレンシート0.15d
S2	150	上端筋	D13-@200	D13-@200	下地地業：捨コンクリート：50　ポリスチレンフォーム50d
		下端筋	D10,D13-@200	D10,D13-@200	：砕石　：60　ポリエチレンシート0.15d
S3	150	上端筋	D13-@150	D13-@200	
		下端筋	D10,D13-@200	D10,D13-@200	
S4	150	上端筋	D13-@200	D10,D13-@200	
		下端筋	D10-@200	D10-@200	
CS1	180	上端筋	D13-@100	D13-@100	
		下端筋	D10-@200	D10-@200	
CS2	150	上端筋	D13-@200	D13-@200	
		下端筋	D10-@200	D10-@200	
FS1	200	上端筋	D13-@100	D13-@100	下地地業：捨コンクリート：50
		下端筋	D13-@100	D13-@100	：砕石　：60
FS2	200	上端筋	D13-@200	D13-@200	下地地業：捨コンクリート：50
		下端筋	D13-@200	D13-@200	：砕石　：60

壁リスト

特記なき限り下記による

・幅止筋は、D10-@1000(タテヨコ)

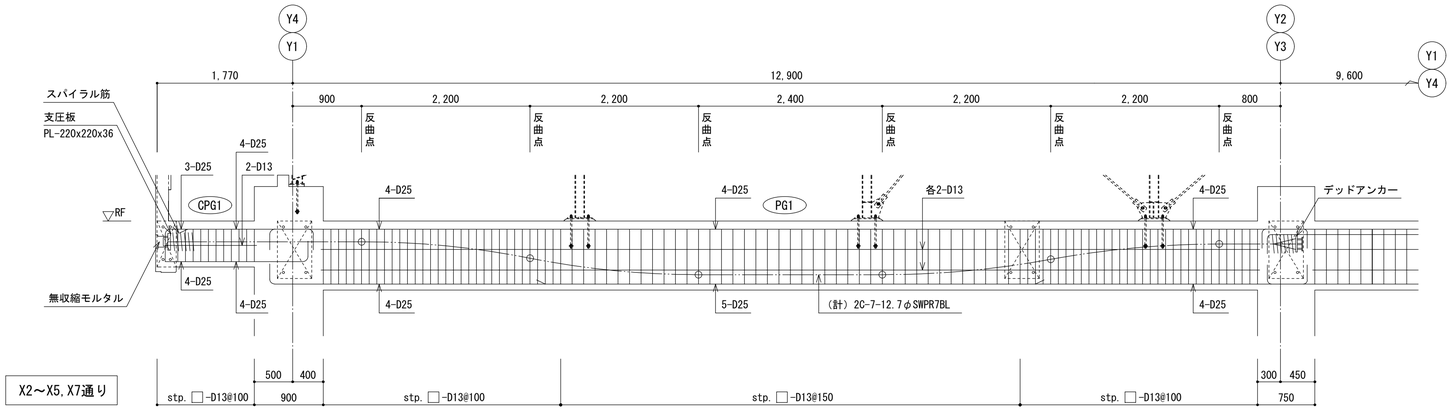
この範囲の EW, EWK, WK は縦筋を内側に配置する

符　号		W12	W15	W20	W21	W18K	W25K	EW20K	EW22K	EW20	EW21	EW22
水平断面		120	150	200	210	縦筋外 180	250	200	220	200	210	220
縦　筋		D10-@200（シングル）	D10-@200 （ダブル）	D13-@200 （ダブル）	D13-@200 （ダブル）	D13-@150 （ダブル）	D16-@150 （ダブル）	D13-@150 （ダブル）	D13-@200 （ダブル）	D13-@200 （ダブル）	D13-@200 （ダブル）	D13-@200 （ダブル）
横　筋		D10-@200（シングル）	D10-@200 （ダブル）	D13-@200 （ダブル）	D13-@200 （ダブル）	D13-@200 （ダブル）	D13-@200 （ダブル）	D13-@200 （ダブル）	D13-@200 （ダブル）	D13-@200 （ダブル）	D13-@200 （ダブル）	D13-@200 （ダブル）
開口補強筋	タテ	1-D13	2-D13	2-D13	2-D13			4-D16		4-D16	4-D16	4-D16
	ヨコ	1-D13	2-D13	2-D13	2-D13			4-D16		4-D16	6-D16	6-D16
	ナナメ	1-D13	1-D13	1-D13	1-D13			4-D16		4-D16	4-D16	4-D16

一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日　付	縮　尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:30 A3　1:60	長南町役場庁舎建設工事	S－22
		図面名称：小梁・壁・スラブリスト	

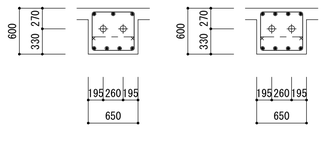


PRC大梁配線配筋図　S：1/40

PRC大梁断面リスト　S：1/40

注）・巾止め筋は、RC大梁に準ずる。

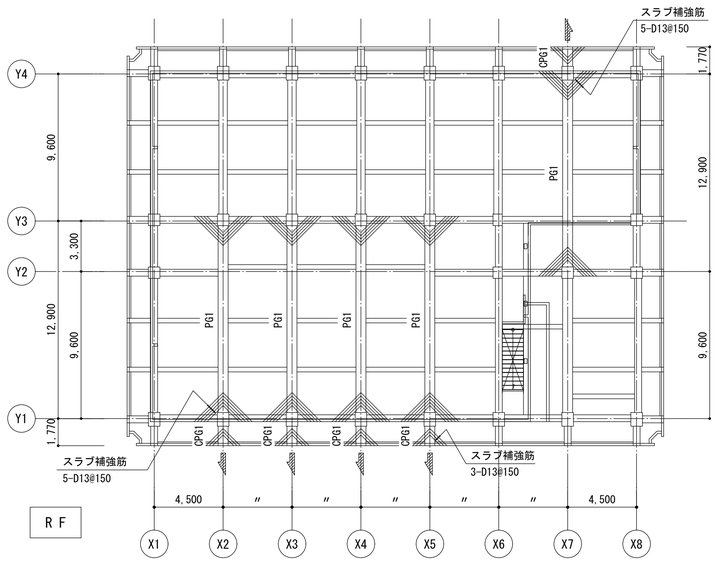
・外端がY1、内端がY3の場合をPG1Aとする。
・外端がY4、内端がY2の場合をPG1Bとする。

符号	CPG1		PG1		
位置	先端	基端	外端	中央	内端
R階					
PC鋼材	2C-7-12.7φSWPR7BL		2C-7-12.7φSWPR7BL		
上端筋	3-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25
下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	4-D25
スターラップ	□-D13@100	□-D13@100	□-D13@100	□-D13@150	□-D13@100
腹筋	2-D13		4-D13		

プレストレスト鉄筋コンクリートに関する事項

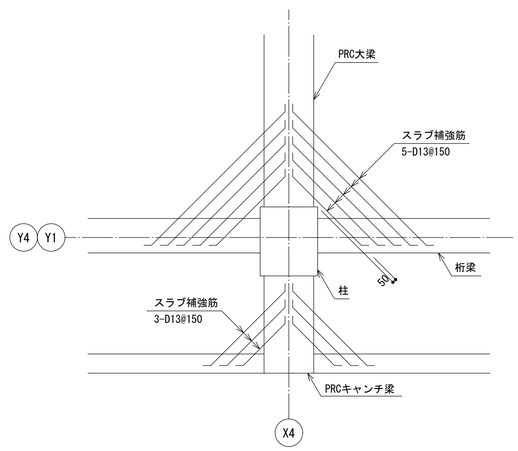
コンクリート	
1. 使用箇所	R階
2. コンクリート設計基準強度	27　N/mm2
3. プレストレス導入時強度	21　N/mm2
4. 施工上の注意	―

PC鋼材	
1. 使用箇所	R階
2. 使用鋼材	7-12.7φSWPR7BL
3. 引張強度	1,281　kN
4. 降伏荷重	1,092　kN
5. 施工時鋼材緊張力	896　kN
6. 施工上の注意	片引きとする。



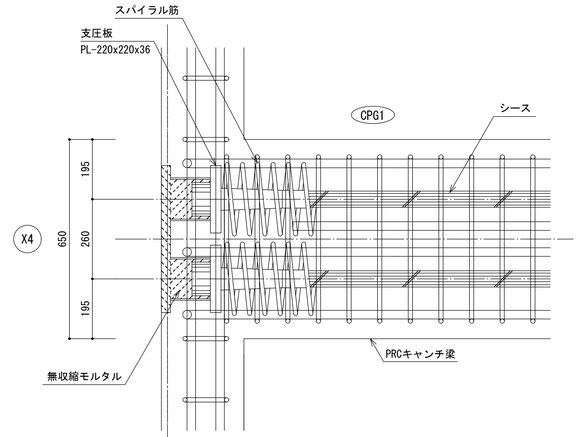
KEY　PLAN　S：1/200

注）・▱ は、緊張端を示す。

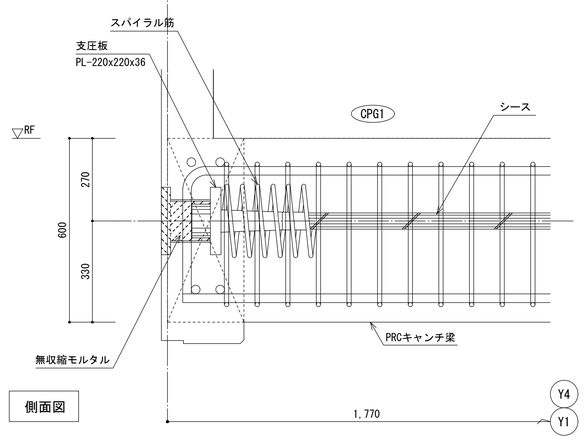


スラブ補強筋要領図　S：1/40

注）・スラブ補強筋は、スラブ断面の中央に配置すること。



平面図



側面図

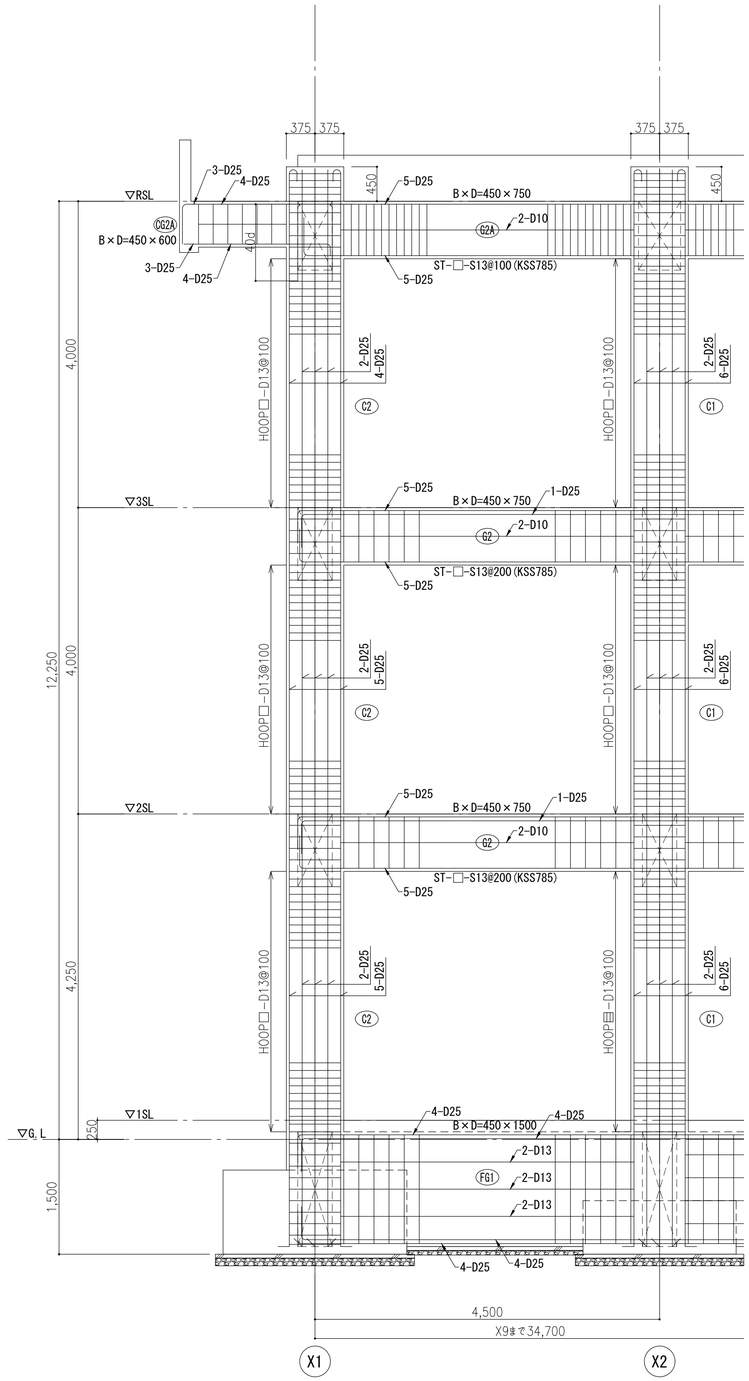
定着具納まり要領図　S：1/10

注）・配筋は、各リスト参照のこと。
・梁主筋は、定着具の位置を避けて配筋すること。

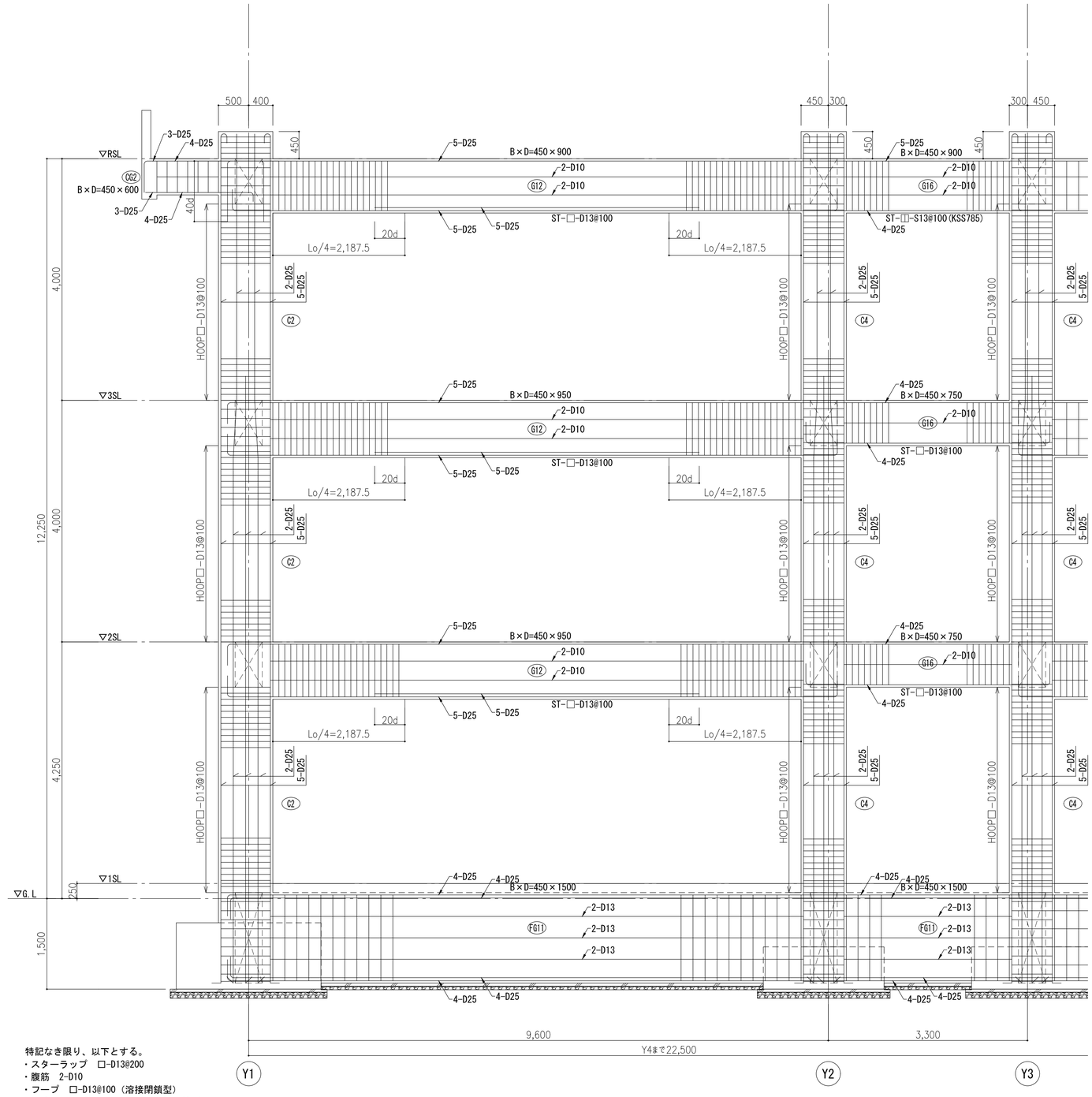
一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1：10,40,200 A3　1：20,80,400	長南町役場庁舎建設工事	S－23
		図面名称　ＰＲＣ大梁関連図	



Y1通り架構配筋図



X1通り架構配筋図

特記なき限り、以下とする。
・スターラップ　□-D13@200
・腹筋　2-D10
・フープ　□-D13@100（溶接閉鎖型）
・梁成内フープ　□-D13@150（溶接閉鎖型）
・フープSは高強度せん断補強筋を示す。
・スターラップSは高強度せん断補強筋を示す。

一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

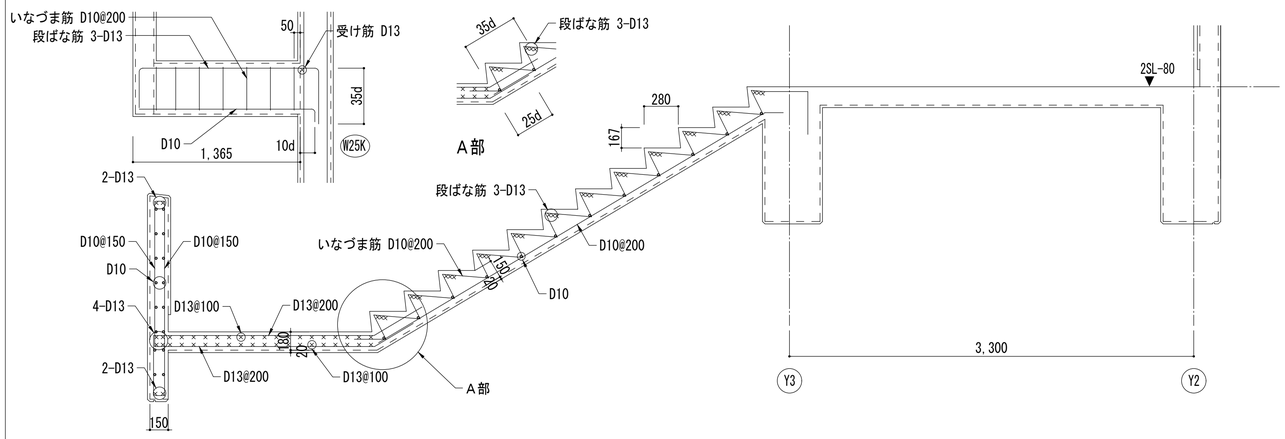
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1：40 A3　1：80	長南町役場庁舎建設工事	S－24
		図面名称　架構配筋図	

鉄筋の種類及び記号

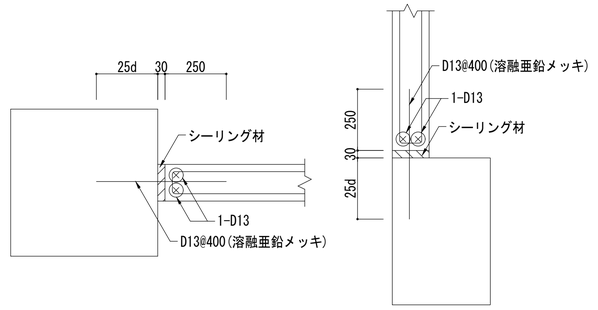
鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記号	・	×	⌀	●	○	⊙	⊗	◎

外部階段配筋詳細図



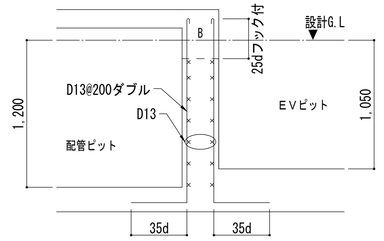
壁スリット要領図（完全スリット）

耐火仕様1時間・水密仕様とする。

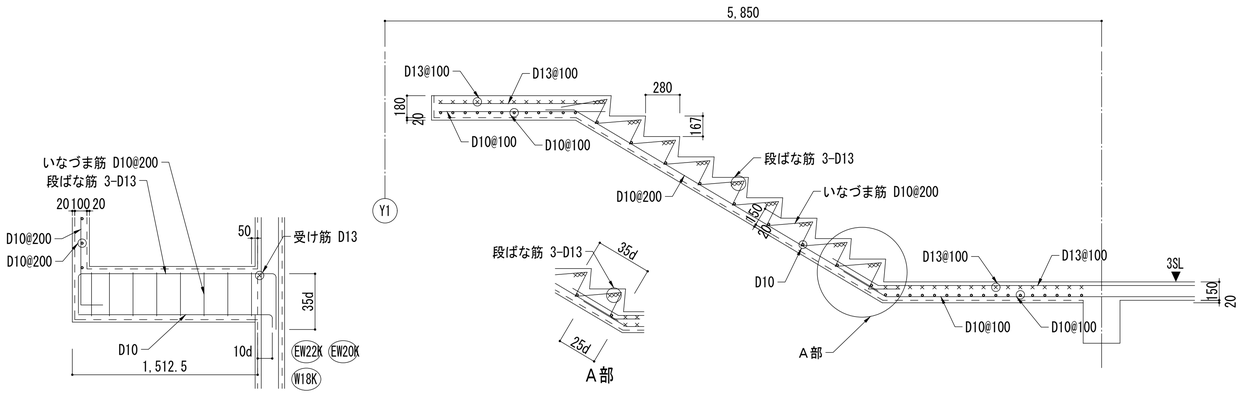


＜柱＞　＜梁＞

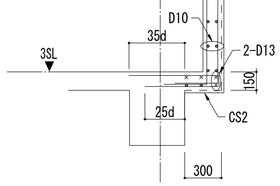
ＥＶピット部小梁下配筋図　B4,B2



内部階段配筋詳細図

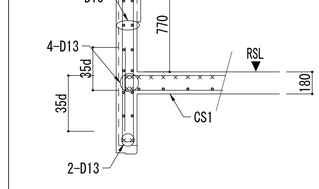


ＣＳ２、パラペット配筋詳細図

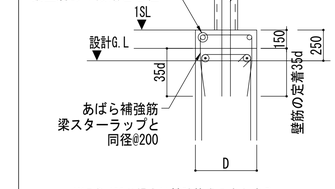


屋根パラペット配筋詳細図

庇出隅部

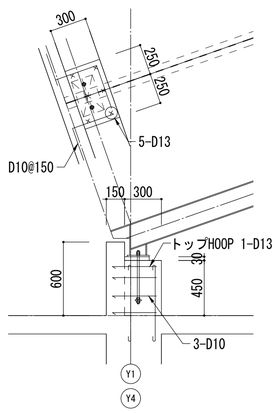


地中梁上フカシ配筋詳細図　FG,FB

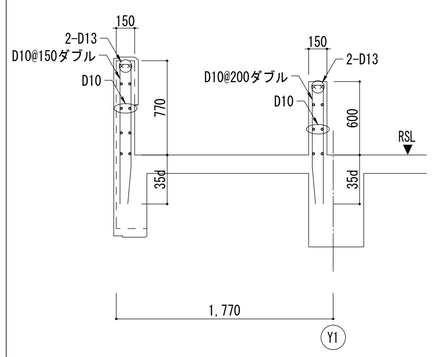


※D≧400の場合は補強筋を３本とする
FG補強筋D22は柱内定着とする

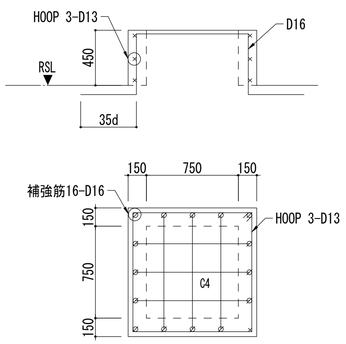
鉄骨屋根　SB2梁脚部RC架台配筋詳細図



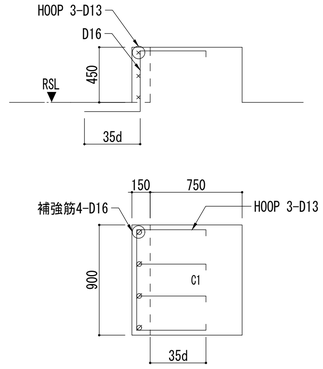
屋根パラペット配筋詳細図



設備架台詳細図（柱外周フカシ）

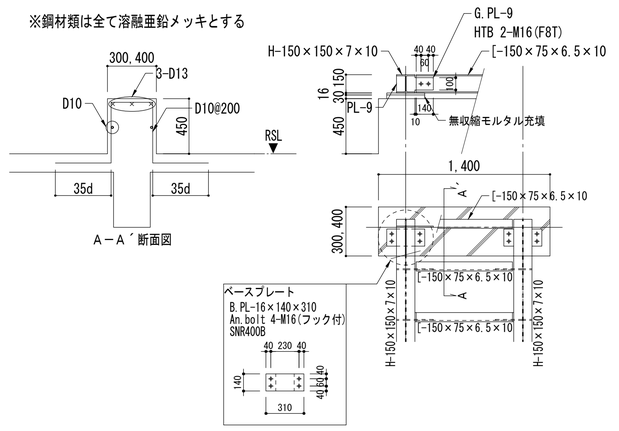


設備架台詳細図（柱側フカシ）



設備架台詳細図

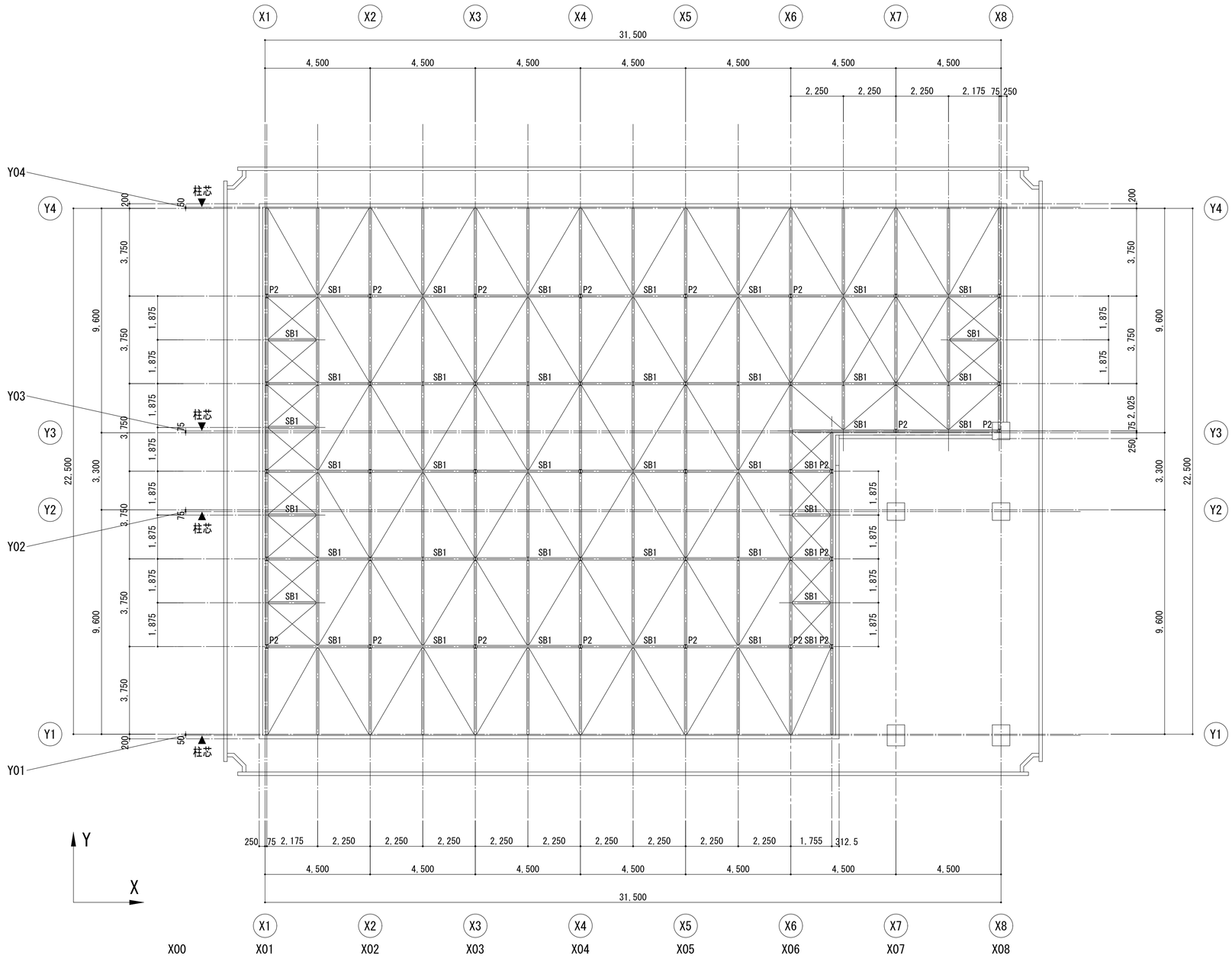
※鋼材類は全て溶融亜鉛メッキとする



一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:25 A3　1:50	長南町役場庁舎建設工事	S－25
		図面名称	雑詳細図



鉄骨小屋伏図　1：100

特記なき限り、以下とする。
- 鉄骨柱は、P1とする。
- 鉄骨梁は、SB2とする。
- 屋根面ブレースは、1-M16とする。

特記なき限り下記による
1. 形鋼類は、SN400Bとする。山形鋼は、SS400とする。
   6mm以上の鋼板類は、SN400Bとする。
2. ボルトは、高力ボルトS10Tとする。

部材リスト

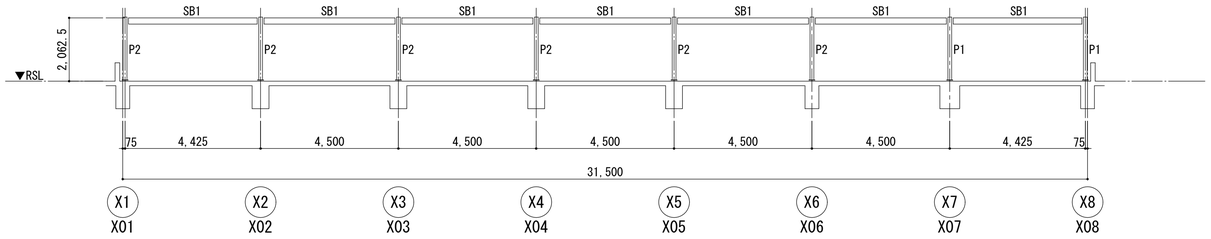
符　号	部　材	備　考
P1	H-125×125×6.5×9	BPL-16,A.Bolt 4-M16 WN L=320 定着板 PL-9×50×50
P2	H-125×125×6.5×9	BPL-12,A.Bolt 4-M16 WN L=320 定着板 PL-9×50×50
SB1	H-200×100×5.5×8	
SB2	H-200×100×5.5×8	
屋根ブレース	1-M16	JIS A 5540
鉛直ブレース	1-M20	JIS A 5540

一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

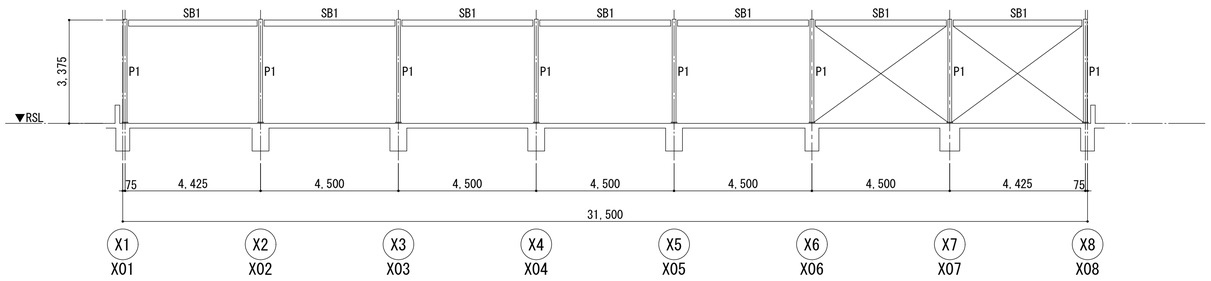
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日　付	縮　尺	工事名称	長南町役場庁舎建設工事	図面番号
令和　3年　月	A1　1:100 A3　1:200	図面名称	鉄骨小屋伏図	S－26

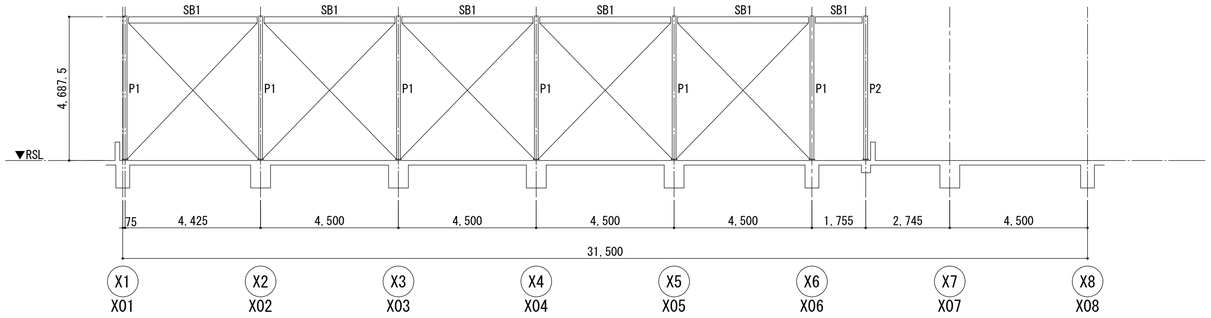
特記なき限り、以下とする。
・鉛直ブレースは、1-M20とする。



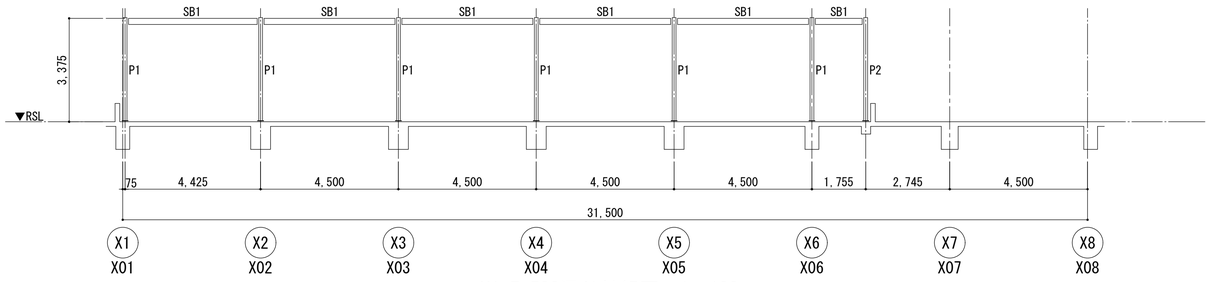
Y3+5,850通り軸組図　1：100



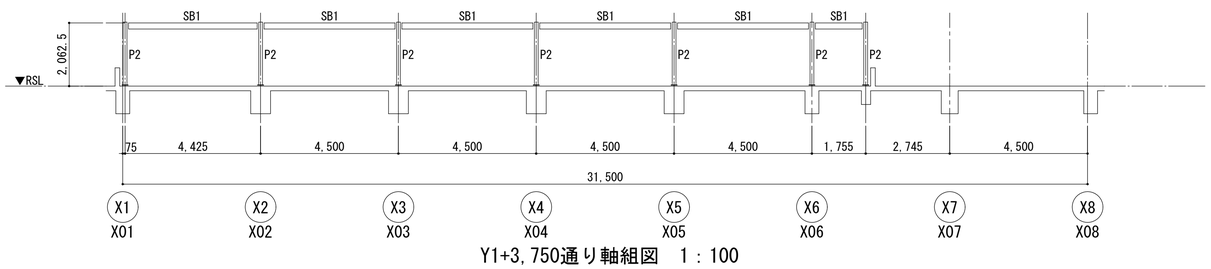
Y3+2,100通り軸組図　1：100



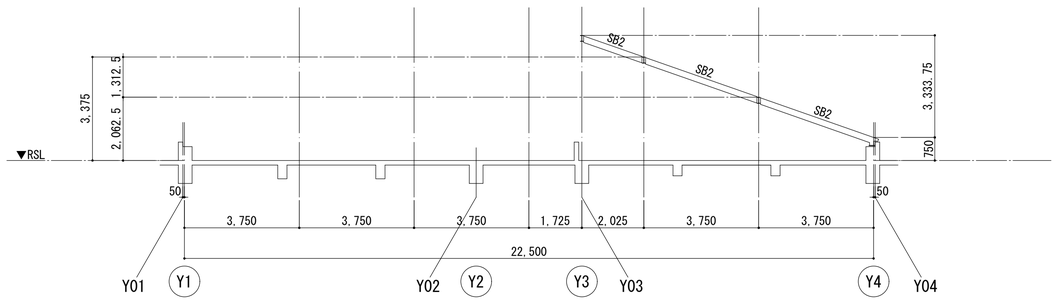
Y2+1,650通り軸組図　1：100



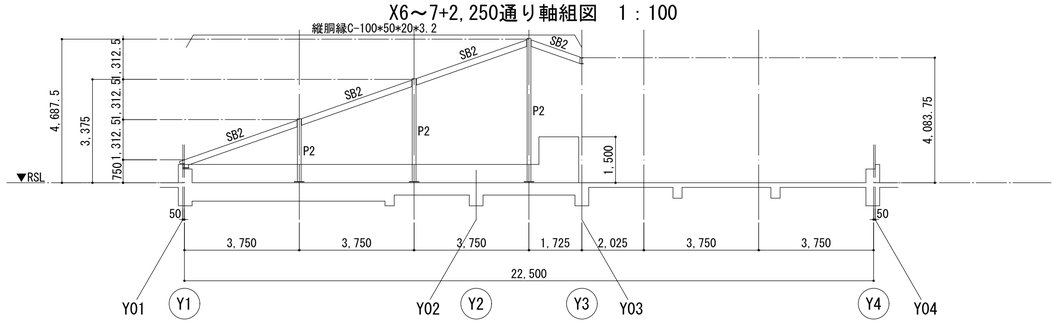
Y1+7,500通り軸組図　1：100



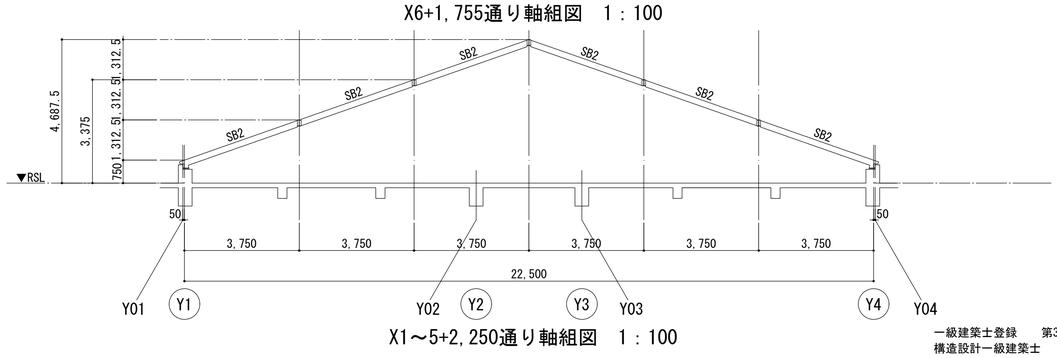
Y1+3,750通り軸組図　1：100



X6～7+2,250通り軸組図　1：100



X6+1,755通り軸組図　1：100

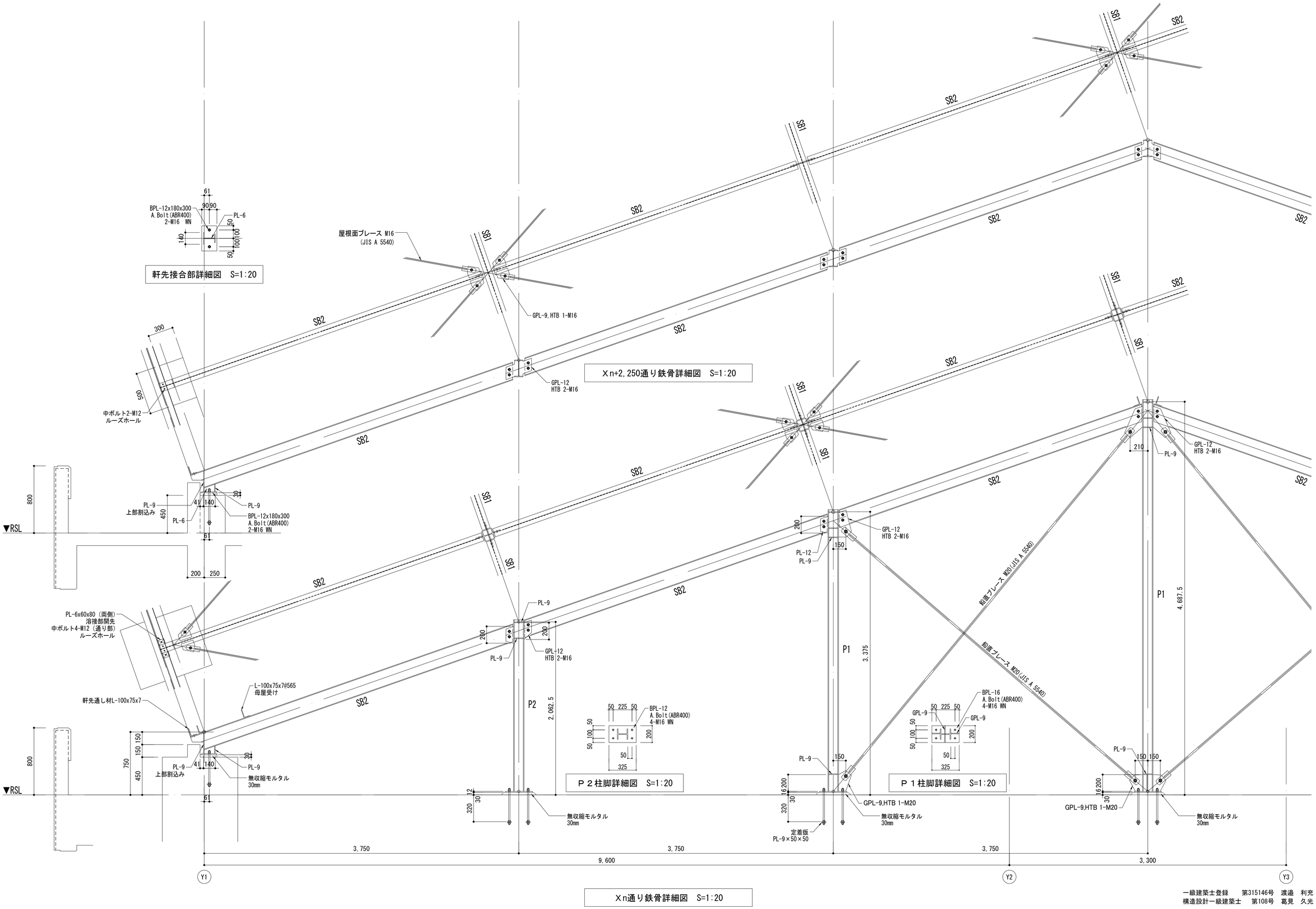


X1～5+2,250通り軸組図　1：100

一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

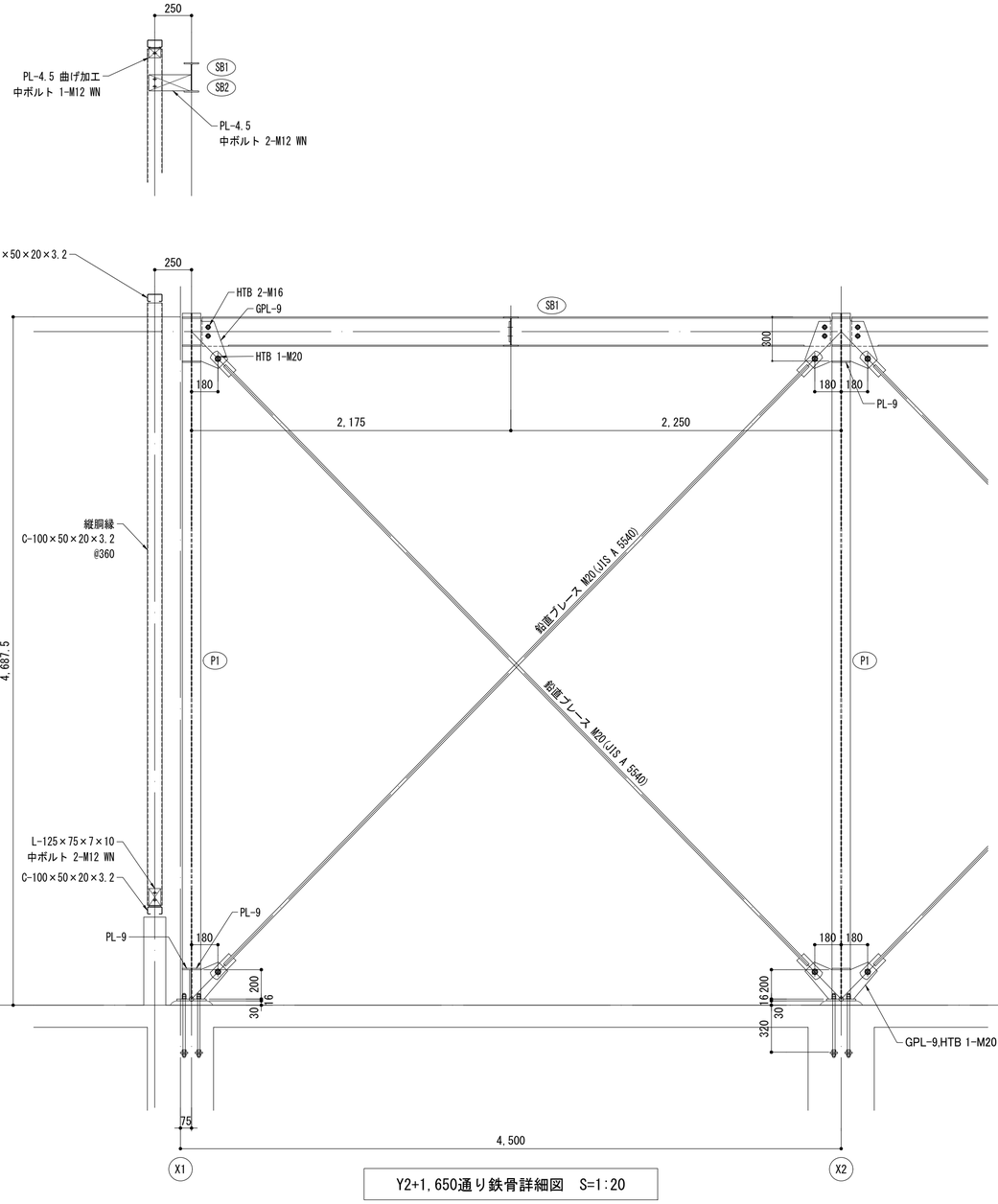
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:100 A3　1:200	長南町役場庁舎建設工事	S－27
		図面名称	鉄骨軸組図

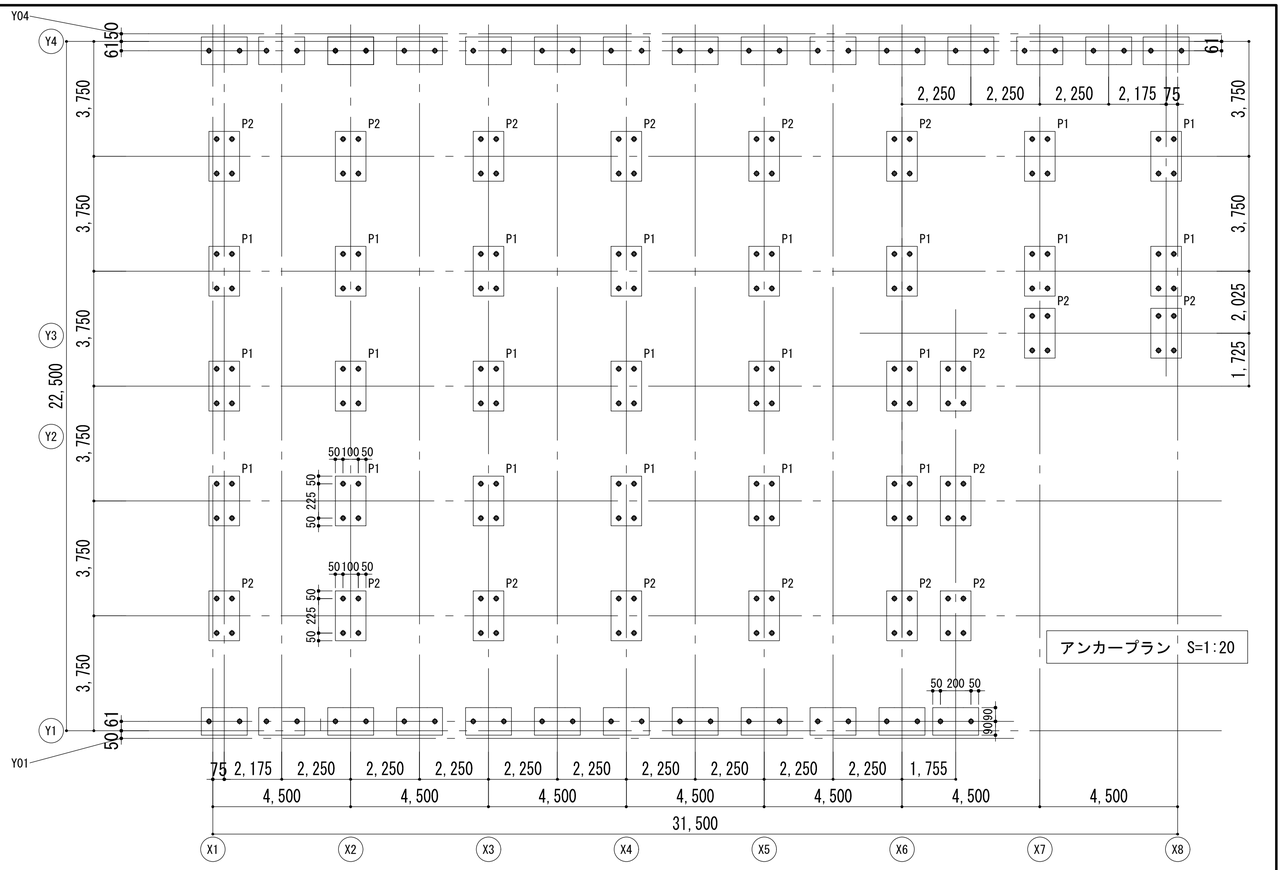


一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

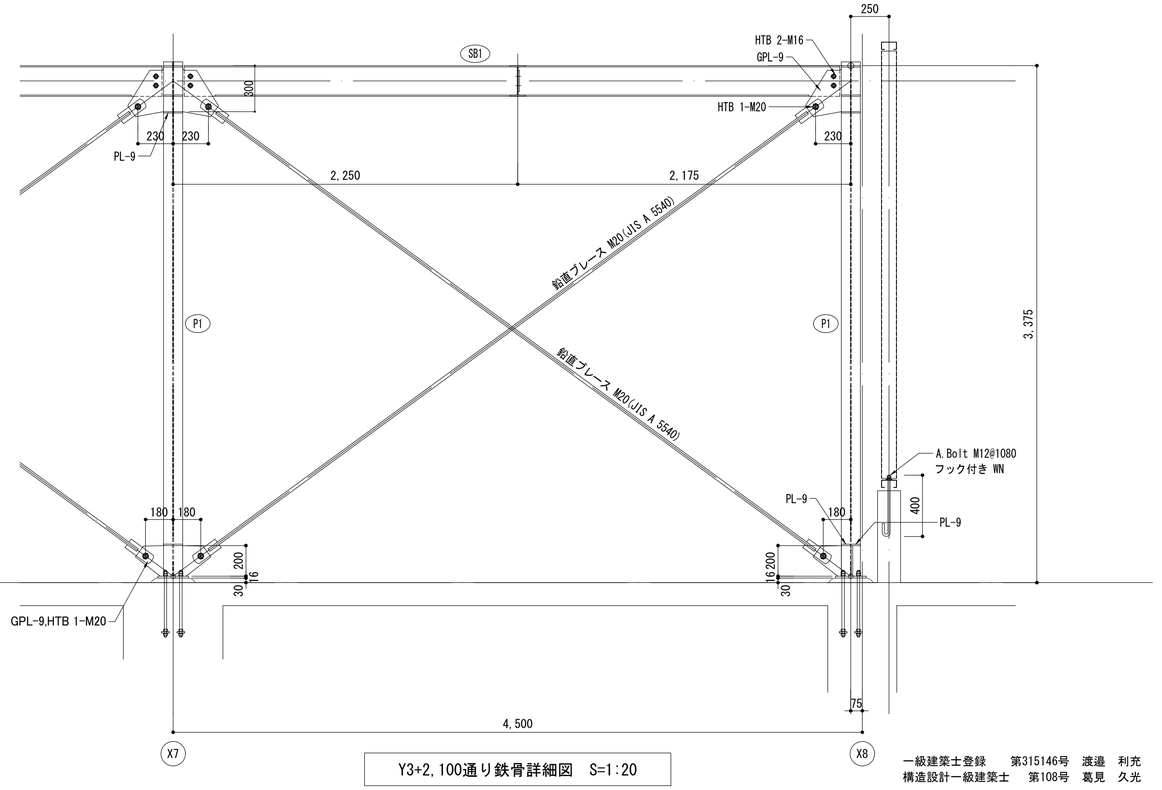
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号 株式会社　千町村建築研究所		日付 令和　3年　月	縮尺 A1　1:20 A3　1:40	工事名称 図面名称	長南町役場庁舎建設工事 鉄骨詳細図（１）	図面番号 S－２８



Y2+1,650通り鉄骨詳細図　S=1:20



アンカープラン　S=1:20

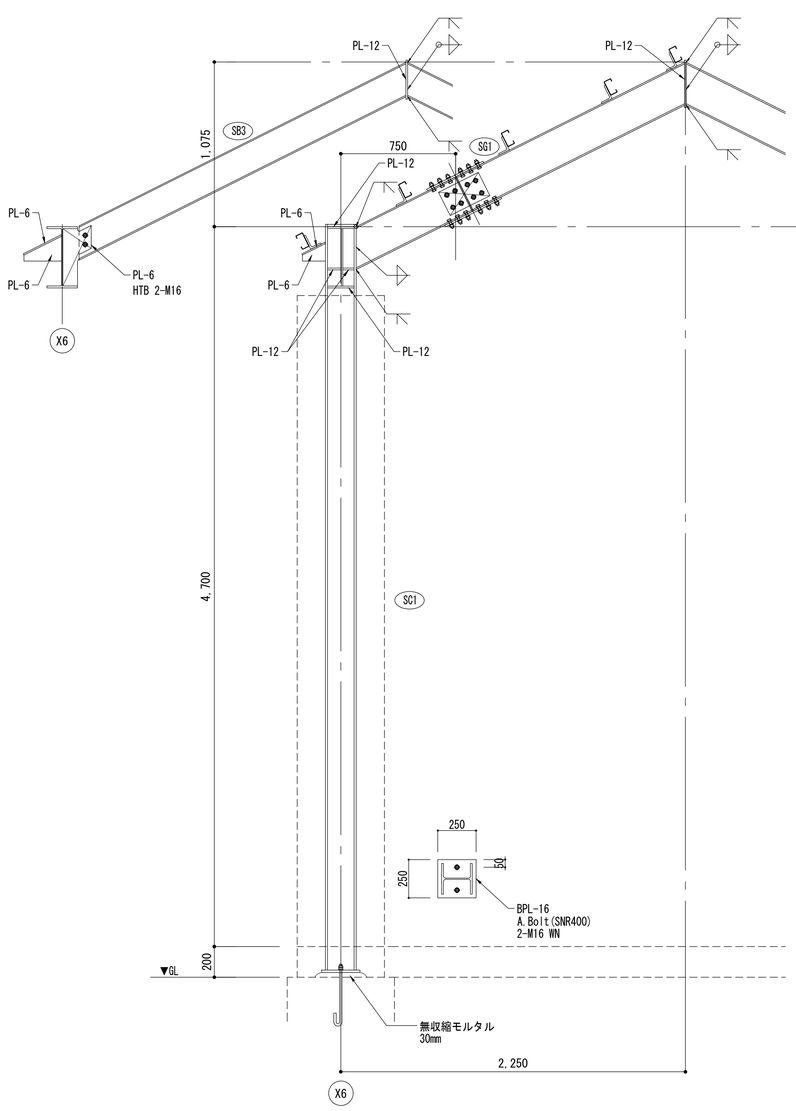


Y3+2,100通り鉄骨詳細図　S=1:20

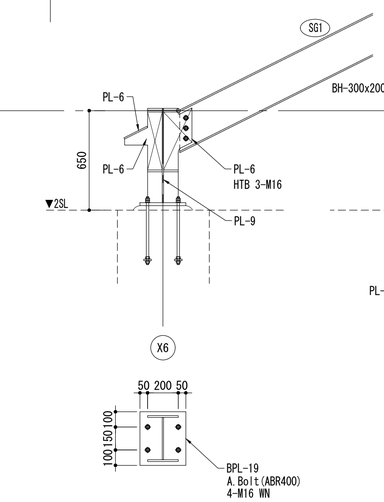
一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

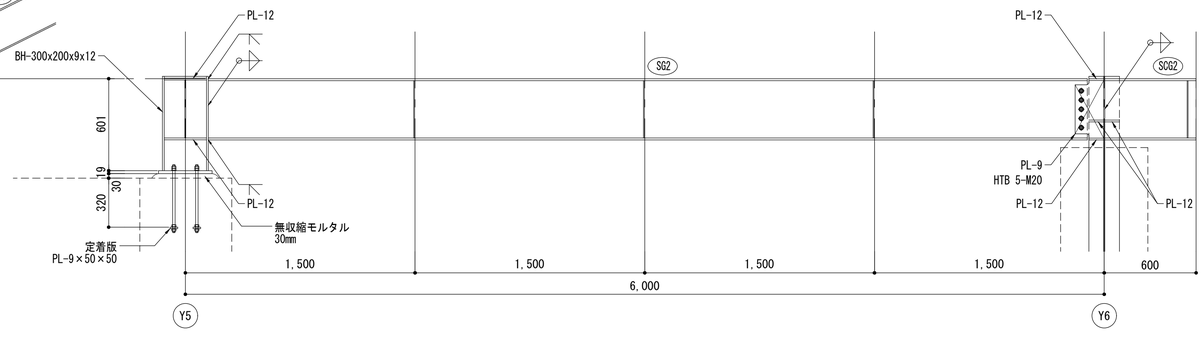
日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:20 A3　1:40	長南町役場庁舎建設工事	S－29
		図面名称　鉄骨詳細図（2）	



Y6通り鉄骨詳細図　S=1:20



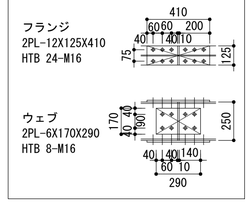
Y5通り鉄骨詳細図　S=1:20



X6通り鉄骨詳細図　S=1:20

SG1継手詳細図

H-250X125X6X9



特記なき限り下記による
1．形鋼類は、SN400Bとする。山形鋼は、SS400とする。
　6mm以上の鋼板類は、SN400Bとする。
2．ボルトは、高力ボルトS10Tとする。

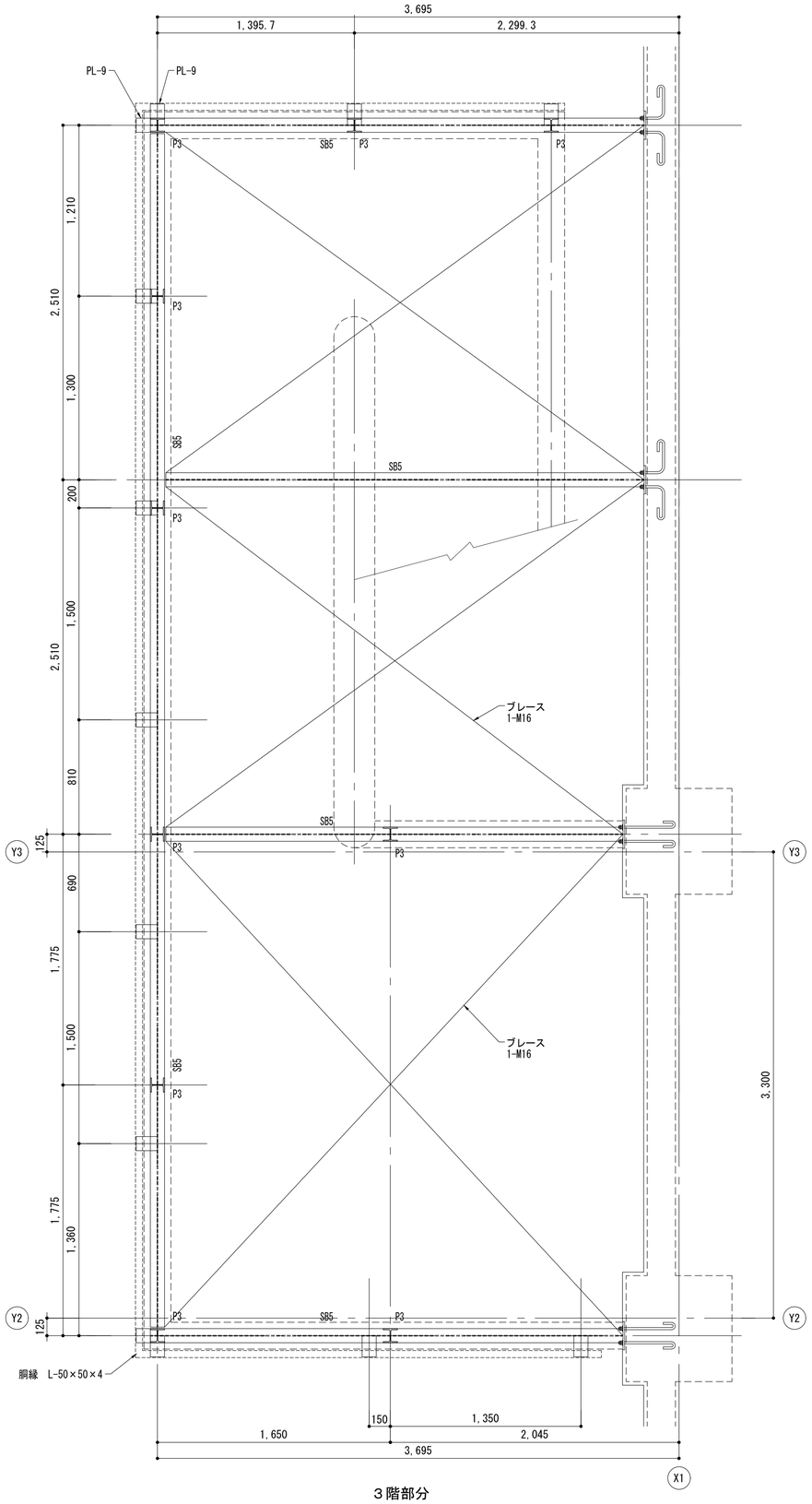
部材リスト

符号	部材	備考
SC1	H-200x200x8x12	
SG1	H-250x125x6x9	
SG2	H-400x200x8x13	
SCG2	H-400x200x8x13	
SB3	H-200x100x5.5x8	
SB4	H-100x100x6x8	
屋根ブレース	1-M16	JIS A 5540
母屋	C-100x50x20x2.3@750	L-100x75x7x10 中ボルト 2-M12 (Joint部 4-M12)　WN

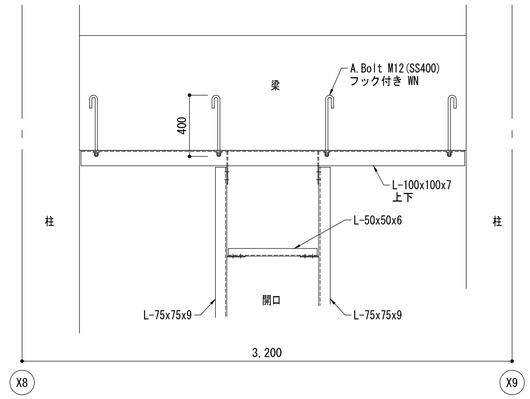
一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

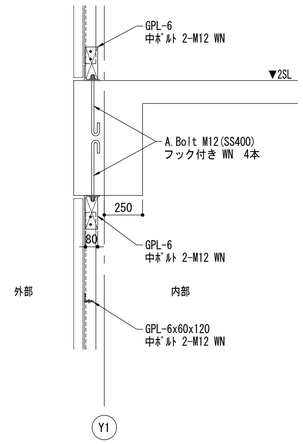
一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:20 A3　1:40	長南町役場庁舎建設工事	S－30
		図面名称	
		鉄骨詳細図（3）	



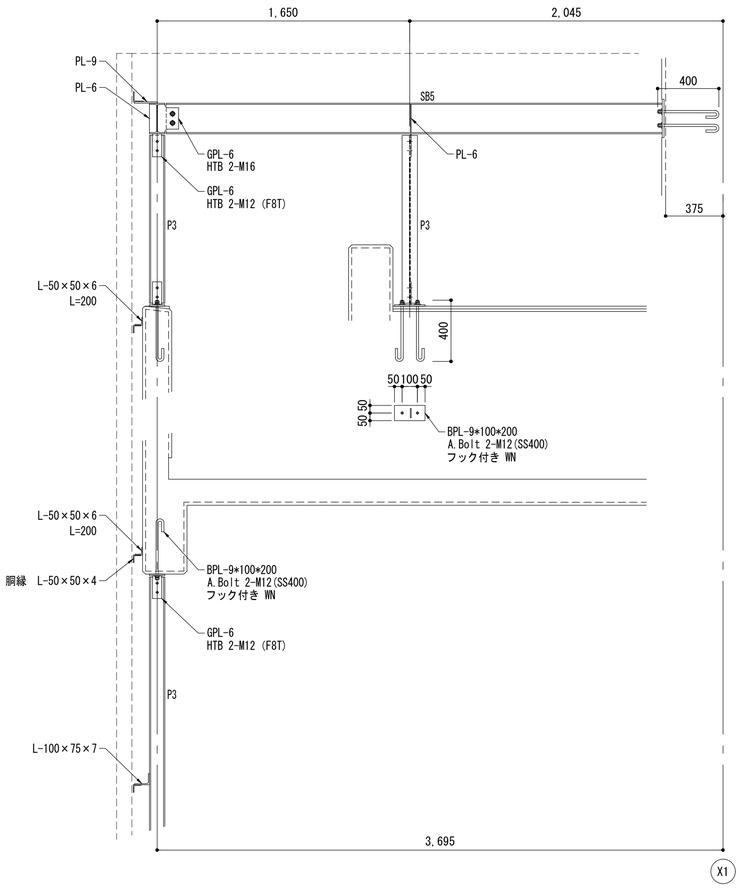
3階部分

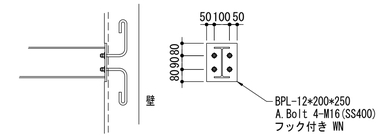




押出成形セメント板取付け部鉄骨詳細図　S=1:20

特記なき限り下記による
1．山形鋼は、SS400とする。
6mm以上の鋼板類は、SN400Bとする。





外階段ルーバー受け鉄骨詳細図　S=1:20

特記なき限り下記による
1．形鋼類は、SN400Bとする。山形鋼は、SS400とする。
6mm以上の鋼板類は、SN400Bとする。
2．高力ボルトはF8T（溶融亜鉛メッキ品）とする。
3．鋼材は全て溶融亜鉛メッキ処理（HDZ55）とする。
4．ボルト類は全て溶融亜鉛メッキ品とする。

部材リスト

符号	部材	備考
P3	H-100x100x6x8	
SB5	H-200x100x5.5x8	
水平ブレース	1-M16	JIS A 5540（メッキ品）
胴縁受け	L-100x75x7	
胴縁受け	L-50x50x6	A.Bolt 2-M12 L=300 WN
胴縁	L-50x50x4@1500	中ボルト 1-M12 WN

一級建築士登録　第315146号　渡邉　利充
構造設計一級建築士　第108号　葛見　久光

一級建築士事務所　千葉県知事登録第1-1801-5860号
株式会社　千町村建築研究所

日付	縮尺	工事名称	図面番号
令和　3年　月	A1　1:20 A3　1:40	長南町役場庁舎建設工事	S－31
		図面名称 鉄骨詳細図（4）	